

富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事

種別	No.	確認申請 添付図面	図面名称	種別	No.	確認申請 添付図面	図面名称	種別	No.	確認申請 添付図面	図面名称
意匠	A-01		表紙	意匠	A-66		展開図13	構造	S-01	○	構造概要書 特記仕様書
	A-02		図面目次		A-67		展開図14		S-02	○	鉄筋コンクリート造配筋標準図-1
	A-03		特記仕様書1		A-68		展開図15		S-03	○	鉄筋コンクリート造配筋標準図-2
	A-04		特記仕様書2		A-69		1階天井伏図		S-04	○	鉄筋コンクリート造配筋標準図-3
	A-05		特記仕様書3		A-70		2階天井伏図		S-05	○	鉄骨造基準図
	A-06		特記仕様書4		A-71		3階天井伏図		S-06	○	溶接基準図
	A-07		工事区分表		A-72		4階天井伏図		S-07	○	ハイベースNEO工法 設計施工標準図-1
	A-08	○	法規チェックリスト		A-73		1階壁仕様図		S-08	○	ハイベースNEO工法 各種寸法及び基礎柱形設計-2
	A-09	○	敷地配置図・附近見取図・敷地求積図		A-74		2階壁仕様図		S-09	○	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準 合成スラブ工業会仕様
	A-10	○	建築面積求積図・平均地盤算定図		A-75		3階壁仕様図		S-10	○	基礎伏図
	A-11	○	延床面積求積図		A-76		4階壁仕様図		S-11	○	地階伏図
	A-12	○	仕上表1		A-77	○	法規チェック表		S-12	○	1階伏図
	A-13	○	仕上表2		A-78	○	1階建具配置図		S-13	○	2階伏図
	A-14	○	仕上表3		A-79	○	2階建具配置図		S-14	○	3階伏図
	A-15	○	ピット階平面図		A-80	○	3階建具配置図		S-15	○	4階伏図
	A-16	○	1階平面図		A-81	○	4階建具配置図		S-16	○	屋根伏図
	A-17	○	2階平面図		A-82	○	建具表1		S-17	○	軸組図-1
	A-18	○	3階平面図		A-83	○	建具表2		S-18	○	軸組図-2
	A-19	○	4階平面図		A-84	○	建具表3		S-19	○	軸組図-3
	A-20	○	屋根伏図		A-85	○	建具表4		S-20	○	軸組図-4
	A-21	○	立面図1		A-86	○	建具表5		S-21	○	軸組図-5
	A-22	○	立面図2		A-87	○	建具表6		S-22	○	軸組図-6
	A-23	○	立面図3		A-88		建具詳細図		S-23	○	軸組図-7
	A-24	○	立面図4		A-89		部分詳細図1		S-24	○	基礎リスト
	A-25	○	断面図1		A-90		部分詳細図2		S-25	○	基礎柱・壁・スラブ・rc小梁リスト
	A-26	○	断面図2		A-91		部分詳細図3		S-26	○	基礎梁リスト
	A-27		矩計図1		A-92		部分詳細図4		S-27	○	雑詳細配筋図
	A-28		矩計図2		A-93		部分詳細図5		S-28	○	鉄骨部材リスト キャットウォーク構造図
	A-29		矩計図3		A-94		屋上設備機器基礎詳細図		S-29	○	鉄骨継手詳細図
	A-30		矩計図4		A-95		渡廊下詳細図		S-30	○	天井受材伏図
	A-31		矩計図5		A-96		D×棟改修詳細図		S-31	○	通り外軸組図-1
	A-32		矩計図6		A-97		1階家具備品配置図		S-32	○	通り外軸組図-2
	A-33		矩計図7		A-98		2階家具備品配置図		S-33	○	通り外軸組図-3
	A-34		矩計図8		A-99		3階家具備品配置図		S-34	○	屋上設備目隠しルーバー構造図
	A-35		屋内階段詳細図		A-100		4階家具備品配置図		S-35	○	鉄骨詳細図-1
	A-36		屋外階段詳細図1		A-101		家具備品リスト		S-36	○	鉄骨詳細図-2
	A-37		屋外階段詳細図2		A-102		家具詳細図		S-37	○	鉄骨詳細図-3
	A-38		1階平面詳細図1		A-103		ブラインドリスト		S-38	○	鉄骨詳細図-4
	A-39		1階平面詳細図2		A-104		ブラインド詳細図				
	A-40		1階平面詳細図3		A-105		サイン計画図1				
	A-41		2階平面詳細図1		A-106		サイン計画図2				
	A-42		2階平面詳細図2		A-107		サイン計画図3				
	A-43		2階平面詳細図3		A-108		サイン計画図4				
	A-44		3階平面詳細図1		A-109	○	エレベータ詳細図1				
	A-45		3階平面詳細図2		A-110	○	エレベータ詳細図2				
	A-46		3階平面詳細図3		A-111	○	エレベータ詳細図3				
	A-47		4階平面詳細図1		A-112	○	エレベータ詳細図4				
	A-48		4階平面詳細図2		A-113	○	エレベータ詳細図5				
	A-49		4階平面詳細図3		A-114	○	エレベータ詳細図6				
	A-50		ホール廻り展開図1		A-115		外構図				
	A-51		ホール廻り展開図2		A-116		外構詳細図1				
	A-52		ホール廻り展開図3		A-117		外構詳細図2				
	A-53		ホール廻り展開図4		A-118		現況解体図				
	A-54		展開図1		A-119		山留計画図				
	A-55		展開図2		A-120		仮設計計画図				
	A-56		展開図3		A-121	○	日影図				
	A-57		展開図4								
	A-58		展開図5								
	A-59		展開図6								
	A-60		展開図7								
	A-61		展開図8								
	A-62		展開図9								
	A-63		展開図10								
	A-64		展開図11								
	A-65		展開図12								

<p>③ 土工工事</p> <p>① 埋戻し及び盛土の材料及び工法等</p> <p>② 建設発生土の処理</p> <p>③ 山留めの撤去</p>	<p>種別 A種 B種 C種 D種 ・建設汚泥から再生した処理土六価クロム溶出試験 行行 行行</p> <p>・現場内で処理</p> <p>・構内指示の場所に堆積</p> <p>・構内指示の場所に敷き均し</p> <p>・構外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。</p> <p>なお、処理にあたっては「建設発生土情報交換システム」を活用する。</p> <p>構外指定場所へ搬出後 ※堆積 敷き均し</p> <p>受入場所： 受入時間帯：時分～時分 仮置き等： 搬出調査を監督職員に提出する</p>	<p>④ 混和材料</p> <p>⑩ 構造体強度補正値</p> <p>⑪ 養生期間</p> <p>⑫ 型枠</p> <p>⑬ 養生期間</p> <p>⑭ 型枠</p> <p>⑮ 養生期間</p> <p>⑯ 型枠</p>	<p>① 17 軽量形鋼構造</p> <p>② 18 溶融亜鉛めっき</p> <p>③ 19 コンクリートブロック</p> <p>④ 20 ALCパネル</p> <p>⑤ 21 押出成形セメント板 (ECP)</p> <p>⑥ 22 防水工事</p>	<p>① 完全溶込み部の超音波探傷試験 ※行行 行行</p> <p>② 工場溶接の場合</p> <p>③ 工事現場溶接の場合</p> <p>④ 耐火材吹付け</p> <p>⑤ 耐火材吹付け</p> <p>⑥ 耐火材吹付け</p> <p>⑦ 耐火材吹付け</p> <p>⑧ 耐火材吹付け</p> <p>⑨ 耐火材吹付け</p> <p>⑩ 耐火材吹付け</p> <p>⑪ 耐火材吹付け</p> <p>⑫ 耐火材吹付け</p> <p>⑬ 耐火材吹付け</p> <p>⑭ 耐火材吹付け</p> <p>⑮ 耐火材吹付け</p> <p>⑯ 耐火材吹付け</p> <p>⑰ 耐火材吹付け</p> <p>⑱ 耐火材吹付け</p> <p>⑲ 耐火材吹付け</p> <p>⑳ 耐火材吹付け</p>
<p>④ 地業工事</p> <p>① 支持地盤の確認</p> <p>② 既設コンクリート杭地業</p> <p>③ 鋼杭地業</p> <p>④ 場所打ちコンクリート杭地業</p> <p>⑤ 砂利地業に使用する砂利</p> <p>⑥ 床下防湿層</p>	<p>杭の支持力、支持地盤の位置及び種類、及びこれらの確認のための試験の方法は、構造特記仕様書及び構造図による。</p> <p>施工法 ・セメントミルク工法 ・特定埋込杭工法</p> <p>杭の種類 ① 連心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) ② 外鉄鋼管付きコンクリート杭 (SC杭) (鋼管材料 ・SKK400 SKK490)</p> <p>以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。</p> <p>1) 杭の寸法、継手の箇所数と工法、杭先端部の形状、杭頭の処理等</p> <p>2) 打込み工法における杭の設計支持力及び推定支持力の算定方法</p> <p>3) 打込み工法におけるプレローリングの掘削深さ及び径</p> <p>4) セメントミルク工法におけるアースオーガナーの掘削深さ及び杭の掘入深さ</p> <p>5) 杭の水平方向の位置ずれ及び傾斜の精度</p>	<p>⑦ 鉄骨製作工場</p> <p>⑧ 鉄骨製作工場</p> <p>⑨ 鉄骨製作工場</p> <p>⑩ 鉄骨製作工場</p> <p>⑪ 鉄骨製作工場</p> <p>⑫ 鉄骨製作工場</p> <p>⑬ 鉄骨製作工場</p> <p>⑭ 鉄骨製作工場</p> <p>⑮ 鉄骨製作工場</p> <p>⑯ 鉄骨製作工場</p> <p>⑰ 鉄骨製作工場</p> <p>⑱ 鉄骨製作工場</p> <p>⑲ 鉄骨製作工場</p> <p>⑳ 鉄骨製作工場</p>	<p>① ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟</p> <p>① 鋼材</p> <p>② 鋼材</p> <p>③ 鋼材</p> <p>④ 鋼材</p> <p>⑤ 鋼材</p> <p>⑥ 鋼材</p> <p>⑦ 鋼材</p> <p>⑧ 鋼材</p> <p>⑨ 鋼材</p> <p>⑩ 鋼材</p> <p>⑪ 鋼材</p> <p>⑫ 鋼材</p> <p>⑬ 鋼材</p> <p>⑭ 鋼材</p> <p>⑮ 鋼材</p> <p>⑯ 鋼材</p> <p>⑰ 鋼材</p> <p>⑱ 鋼材</p> <p>⑲ 鋼材</p> <p>⑳ 鋼材</p>	<p>① 脱気装置</p> <p>② シーリング</p> <p>③ 石工工事</p> <p>④ タイル工工事</p> <p>⑤ セメントモルタルによるタイル張り</p> <p>⑥ 有機系接着剤によるタイル張り</p> <p>⑦ 表面仕上げ</p> <p>⑧ 製材</p> <p>⑨ 造作用業成材</p> <p>⑩ 造作用業成材</p> <p>⑪ 造作用業成材</p> <p>⑫ 造作用業成材</p> <p>⑬ 造作用業成材</p> <p>⑭ 造作用業成材</p> <p>⑮ 造作用業成材</p> <p>⑯ 造作用業成材</p> <p>⑰ 造作用業成材</p> <p>⑱ 造作用業成材</p> <p>⑲ 造作用業成材</p> <p>⑳ 造作用業成材</p>
<p>⑤ 鉄筋工事</p> <p>① 鉄筋の種類</p> <p>② 溶接金綱</p> <p>③ 鉄筋の継手</p> <p>④ 鉄筋の最小かぶり厚さ</p> <p>⑤ 機械式継手</p> <p>⑥ 各部配筋</p> <p>⑦ コンクリートの種類</p> <p>⑧ コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類</p> <p>⑨ コンクリートの設計基準強度</p> <p>⑩ コンクリートの類別</p> <p>⑪ 気乾単位容積質量</p> <p>⑫ コンクリートの仕上げ</p> <p>⑬ セメントの種類</p> <p>⑭ 骨材の種類</p>	<p>鉄筋の種類</p> <p>種類記号 呼び径 (mm)</p> <p>SD295A ※D16以下</p> <p>SD345 ※D19以上</p> <p>SD390 ※D29以上</p>	<p>① 鉄骨製作工場</p> <p>② 鉄骨製作工場</p> <p>③ 鉄骨製作工場</p> <p>④ 鉄骨製作工場</p> <p>⑤ 鉄骨製作工場</p> <p>⑥ 鉄骨製作工場</p> <p>⑦ 鉄骨製作工場</p> <p>⑧ 鉄骨製作工場</p> <p>⑨ 鉄骨製作工場</p> <p>⑩ 鉄骨製作工場</p> <p>⑪ 鉄骨製作工場</p> <p>⑫ 鉄骨製作工場</p> <p>⑬ 鉄骨製作工場</p> <p>⑭ 鉄骨製作工場</p> <p>⑮ 鉄骨製作工場</p> <p>⑯ 鉄骨製作工場</p> <p>⑰ 鉄骨製作工場</p> <p>⑱ 鉄骨製作工場</p> <p>⑲ 鉄骨製作工場</p> <p>⑳ 鉄骨製作工場</p>	<p>① 鋼材</p> <p>② 鋼材</p> <p>③ 鋼材</p> <p>④ 鋼材</p> <p>⑤ 鋼材</p> <p>⑥ 鋼材</p> <p>⑦ 鋼材</p> <p>⑧ 鋼材</p> <p>⑨ 鋼材</p> <p>⑩ 鋼材</p> <p>⑪ 鋼材</p> <p>⑫ 鋼材</p> <p>⑬ 鋼材</p> <p>⑭ 鋼材</p> <p>⑮ 鋼材</p> <p>⑯ 鋼材</p> <p>⑰ 鋼材</p> <p>⑱ 鋼材</p> <p>⑲ 鋼材</p> <p>⑳ 鋼材</p>	<p>① 天然石張り</p> <p>② テラコ張り</p> <p>③ 壁の石張り工法</p> <p>④ 床及び階段の石張り</p> <p>⑤ タイルの形状、寸法等</p> <p>⑥ セメントモルタルによるタイル張り</p> <p>⑦ 有機系接着剤によるタイル張り</p> <p>⑧ 表面仕上げ</p> <p>⑨ 製材</p> <p>⑩ 造作用業成材</p> <p>⑪ 造作用業成材</p> <p>⑫ 造作用業成材</p> <p>⑬ 造作用業成材</p> <p>⑭ 造作用業成材</p> <p>⑮ 造作用業成材</p> <p>⑯ 造作用業成材</p> <p>⑰ 造作用業成材</p> <p>⑱ 造作用業成材</p> <p>⑲ 造作用業成材</p> <p>⑳ 造作用業成材</p>

8	畳敷き	複合フローリング	品名	工法	種別	厚さ/大きさ(mm)	樹種	仕上塗装等
		天然木化粧複合フローリング	釘どめ工法(根太張り)	A種・B種	標準仕上19.5.2による	※なら	※塗装品	
9	ポリスチレンフォーム床下地材	畳の種類	A種	B種	C種	D種(畳床の記号)		
		畳下地	厚さ(mm)	※40	※65	※80		
10	せっこうボードその他のボード張り	フローリング類	厚さ(mm)	※80	※95			
		種類	JISの記号	厚さ(mm)	規格等			
11	吸音板張り	種別	種類	記号	厚さ(mm)			
		種別	種類	記号	厚さ(mm)			
12	壁紙張り	種別	種類	記号	厚さ(mm)			
		種別	種類	記号	厚さ(mm)			
13	断熱材	種別	種類	記号	厚さ(mm)			
		種別	種類	記号	厚さ(mm)			
20	フリーアクセスフロア	種別	種類	記号	厚さ(mm)			
		種別	種類	記号	厚さ(mm)			

8	表示	衝突防止表示 法令に基づく表示(非常用出入口等) 産名札、ピクトグラフ、案内板等	※図示による ※消防法に適合する市販品による ※図示による
9	煙突ライニング	適用安全使用温度	※400℃・650℃
10	ブラインド	形式 機型 縦型 横型	操作方法/種類 コード式 操作棒式 1本操作コード 2本操作コード
11	ブラインドボックス及びカーテンボックス	材料 集成材(仕上げ) アルミニウム製 押出し型材(市販品) 種類:BB-1・BB-2(色合い:ブラウン系・ブラック・ステンカラー)	※図示
12	ロールスクリーン	操作方式 プルコード式(ストップバー付) ワンタッチチェーン式 チェーン式 電動式	スクリーンの種類 無地 柄物 遮光タイプ
13	カーテン及びカーテンレール	以下の事項は、図示による。 施工箇所、形式、開閉操作方式 きれいの種類、品質、特殊加工等 ひだの種類	
14	ピクチャーレール	レール ランナー	材質 形式 材質 耐荷重 備数
15	天井点検口	目地形状 目地タイプ	適用箇所 寸法(mm) 450×450 600×600
16	床点検口	材質 形式等	寸法(mm) 備考
17	収納家具、書架・物品棚	主要構造部材の材料 取納家具 書架・物品棚 移動式書架・物品棚	備考(品質) JIS S1033(わく)用取納家具による JIS S 1039(書架物品棚)による 書架(1種・2種・3種) 物品棚(5種・6種・7種)
18	くつきマット	材質(受枠共)、形状、寸法は図示による	
19	流し台ユニット	種類 流し台 コンロ台 トリ手棚 水切り棚	寸法(L×W×H) 適用内容 規格・品質等
20	屋内掲示板	枠の材質 表面の材質	※アルミニウム製 ※塩ビ発泡シート張り
21	洗面カウンター	材質 奥行き(mm)	メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) 人工大理石(仕様は図示) 約450 約600
22	防煙垂れ壁	固定式 材質 厚さ(mm) 高さ(mm)	備考 アルミ製枠付き
23	耐震スリット	種類 方向 タイプ	高さ(mm) 耐火性能 防水性能
24	止水板	形状 施工箇所	※図示
25	敷地境界石標	※コンクリートブロック製の市販品程度	かこう字(岩石記号等入り)
26	旗竿	材質 形式 地上高さ(m) 操作方法 固定方法 受金物	※アルミニウム合金製 ※テーパー型・同一断面型 6・8・10・12 ※ハンドル式・ロープ式 埋込式・ベース式・バンド式 ステンレス製SUS304

27	フェンス	耐震型 一般型 ビニル被覆エキスパンドフェンス 樹脂塗装メッシュフェンス 鋼管フェンス アルミフェンス	
28	屋外掲示板	照明器具(※有り・無し) 施設(※有り・無し)	
29	車止め支柱	ステンレス製(上下式鎖内蔵型、反射テープ付き、φ114.3mm、t2.5mm、H=GL+700mm) ※スプリング付 ※スプリング無し	
30	EXP-J金物	材質 厚さ(mm)	クリアランス 耐火性能 備考
31	鋼製書架及び物品棚	種類 規格等	JISによる種類 備考
32	プレキャストコンクリート	コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量最小値300kg/m3を満足する調査強度 図示 配筋及び取付方法 図示	
33	間知石及びコンクリート間知ブロック積み	材質 質量区分 積み方 目張り	※花こう岩 凝灰岩 A・B ※谷積み・布積み 図示 ※伸縮目地(材質:厚さ:)
34	鏡	取付箇所、寸法及び取付方法 図示 厚さ(mm)	
35	誘導用、注意喚起用床材	視覚障害者用タイル 適用箇所 種類 寸法(mm) 厚さ 色彩	
21	排水工事	1 排水管	排水管用材料 材質 管の種類 管形状(接合方法) ※排水力鉄筋コンクリート管 ※埋戻し土 ※埋戻し土 ※埋戻し土
		2 側溝、排水溝等	形状及び寸法 地盤に用いる材料
22	舗装工事	1 路床	路床の材料 種類 厚さ(mm) ※図示
		2 路床試験	路床土の支持力比試験 路床締固めの試験 砂の粒度試験 現場CBR試験 安定処理土のCBR試験 六価クロム溶出試験

4	アスファルト舗装	アスファルト舗装(表層及び基層の厚さは図示による) 材料 配合(加熱アスファルト混合物の種類)	※再生アスファルト ※ストリートアスファルト ※密路用砕石 アスファルトコンクリート再生骨材 ※密路用砕石 アスファルトコンクリート再生骨材 ※密路用砕石 アスファルトコンクリート再生骨材
5	コンクリート舗装	舗装の構成及び厚さ 材料 コンクリート 早強セメント 注入目地材料 コンクリート底厚さの試験	※図示 ※仕様値22.5による ※使用しない ※高弾性タイプ ※高強度タイプ ※図示による
6	カラー舗装	カラー舗装(表層及び基層の厚さは図示による) 舗装の種類 部位 車道部の基層	※図示 ※図示 ※図示 ※図示
7	透水性及び排水性アスファルト舗装	透水性アスファルト舗装(表層及び基層の厚さは図示による) 排水性アスファルト舗装(表層及び基層の厚さは図示による) 区分 種類 材料	※図示 ※図示 ※図示 ※図示
8	ブロック系舗装	コンクリート平板舗装 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地材 表面加工	※図示 ※図示 ※図示 ※図示
9	砂利敷き	区分 部位 厚さmm 種類	※図示 ※図示 ※図示 ※図示
10	区画線	舗装表示用塗料 規格番号 種類 施工時の条件 適用 寸法(mm) 色彩	※図示 ※図示 ※図示 ※図示 ※図示

項	工事施工区分	建築	電気	機械		造園	別途	備考
				空調	衛生			
1	コンクリート躯体貫通スリーブ取付	○	○	○	○			
2	同上周囲補強	○						
3	鉄骨貫通スリーブ（溶接一体）	○						
4	天井切込み（天井下地含む）	○	○	○	○			
5	同上補強及び補修仕上げ	○						
6	床及び壁面の切込み開口（設備工事に関係のもの）	○	○	○	○			
7	同上補強及び補修仕上げ（同上）	○						
8	床下トレンチ及びピット、タラップ	○						
9	同上換気口							
10	床下点検用ハッチ（蓋、枠、縁上部仕上げ）	○						
11	天井点検用ハッチ（同上）	○						
12	パイプシャフト点検用ハッチ（同上）	○						
13	発電機及びキュービクル基礎工事（補強筋共）	○						
14	同上アンカーボルト箱入れ、穴明け		○					
15	屋内各機器基礎工事（補強筋共）	○						
16	同上アンカーボルト箱入れ、穴明け		○					
17	屋上設置用機器基礎工事（補強筋共）	○						
18	同上アンカーボルト箱入れ、穴明け		○	○	○			
19	機械室内消音断熱仕上	○						
20	コンクリートダクト・チャンバー内消音断熱仕上							
21	シャッター（操作壁、スイッチ、操作線共）	○						
22	同上電源供給及び操作盤への接続工事		○					
23	自動ドア（操作盤、スイッチ、接続共）	○						

項	工事施工区分	建築	電気	機械		造園	別途	備考
				空調	衛生			
47	吊戸棚	○						
48	タオル掛、雑巾掛							
49	紙巻器				○			
50	一般カガミ、特殊カガミ	○			○			
51	カーテンボックス、ブラインドボックス	○						
52	カーテンレール	○						
53	カーテン及びブラインド	○	○					電動ブラインドの電源供給は電気設備工事
54	外部に面する吸排気ガラリ							
55	同上ダクト接続用金具							
56	ドアガラリ、換気口（内部）	○						
57	外部に面する換気口				○			
58	煙突（点検口共）							
59	煙導又は煙突との接続工事							
60	一般フード（厨房、調理、湯沸室等）							
61	外部に面するウエザーカバー				○			
62	壁付け換気扇類				○			
63	同上取付枠				○			
64	窓付換気扇類							
65	同上ガラス切込み							
66	外部に面する換気扇取付け後の防水シーリング	○			○			
67	天井埋込換気扇及びダクト、バンドキャップ				○			
68	避雷針及び同接地工事		○					
69	自動制御用2次側配管・配線				○	○		

項	工事施工区分	建築	電気	機械		造園	別途	備考
				空調	衛生			
24	同上電気供給及びスイッチへの配管配線		○					
25	煙感知器連動による自動開放閉鎖装置	○						
26	同上配管配線、レリーズ取付接続、受信盤取付		○					
27	煙感知器連動によるシャッター自動閉鎖装置	○						
28	同上配管配線、レリーズ取付接続、受信盤取付		○					
29	熱煙感知器連動によるダクト系統自動開放閉鎖装置							
30	同上配管配線接続工事							
31	液面電極棒（支持固定装置共）				○			
32	同上用リレー（制御盤内蔵）				○			
33	液面電極棒とリレーとの配管配線接続工事				○			
34	屋内消火栓ボックス				○			
35	同上表示ランプ、組込ベル、発信機とその取付工事		○					
36	消火器ボックス、消火器本体	○						
37	内部雨水配管用ネジ込みドレーン							
38	内部雨水配管、防露巻、化粧カバー							
39	内部雨水配管と雨水樹との接続工事							
40	雨水樋及び養生管、ルーフトレーン	○						
41	雨水縦樋末端と側溝又は雨水樹との接続工事				○			
42	雨水会所樹との接続工事	○			○			
43	雑排水樹、汚水樹及び雑水工事				○			
44	側溝最終樹と雑水会所樹との接続工事	○						
45	ステンレス製流し台（トラップ共）、ガス台				○			
46	一般陶器製流し台							

項	工事施工区分	建築	電気	機械		造園	別途	備考
				空調	衛生			
70	空調設備制御盤と2次側電気配管・配線			○				
71	テレビ電波障害近隣対策用配管							
72	電話交換器、試験台、MDF類						○	
73	同上用直流電源装置、充電器、蓄電池類							
74	同上用配管入線接続工事		○					
75	電話機						○	
76	エレベーター（扉共）	○						
77	同上用三方枠	○						
78	同上電源供給及び操作盤との接続工事		○					
79	同上用インターホン及び入線エレベーター内配管配線	○						
80	避難器具							
81	さく井工事							
82	厨房器具本体及び取付け、配管配線接続							
83	プラスタートラップ・グリーストラップ							
84	ユニットバス、ユニットシャワー							
85	流しの排水トラップ	○						
86								
87	受電通水後竣工引渡し迄の電気、ガス、上下水道使用料金	○	○	○	○			
88	同上の基本料金（電気）	○	○	○	○			
89	竣工引渡し迄の電気主任技術者の選任及び費用	○	○	○	○			
90	工事負担金（電気）	○	○	○	○			
91	同上（ガス）	○	○	○	○			
92	同上（上下水道）	○	○	○	○			

計画敷地 法規制概要		防火区画 (令112条)		非常用昇降機 (法34条2項) 乗降ロビー (令129条の13)		耐火構造概要 (令107条)	
地域地区	用途地域:第一種中高層地域 市街化区域						
建ぺい率/容積率	60% / 200%						
<申請建物>							
主要用途	大学(08110)						
防火対象物	消防法施行例別表第1.7項(大学)						
構造	耐火建築物						
主体構造	地下0階、地上4階建て S造						
耐火建築物等の種別	【耐火建築物】準耐火建築物(イ-1) 準耐火建築物(イ-2) 準耐火建築物(ロ-1) 準耐火建築物(ロ-2) その他 ・防火地域・準防火地域内による制限。 ・特殊建築物の規模による制限。	該当	非該当				
建築基準法チェック							
項目	内容	備考					
防火壁が必要な建築物 (法26条)	・延べ面積1,000㎡超えの建築物は、防火上有効な防火壁で、床面積1,000㎡ごとに区画する。 ・ただし書き適用の場合 耐火建築物or準耐火建築物【1,500㎡区画】	該当	非該当				
用途地域 (法43条)	第一種中高層地域						
接道 (法42・43条)	北側:42条1項1号道路 幅員4.0m、6.2m 東側:42条1項1号道路 幅員13.2m 南側:無し 西側:42条1項1号道路 幅員19.0m						
延焼の恐れのある部分 (法2条)	・防火地域・準防火地域内による制限。 ・特殊建築物の規模による制限。 ☆計画建物における外壁の耐火性能は1時間とする。	該当	非該当				
無窓の居室等の主要構造部 (法35条の3)	・政令で定める窓その他の開口部を有しない居室は、その居室の壁・天井の地下、仕上を不燃材料で造る。 (壁の地下、仕上の立上げはスラブまでとする。) 【政令で定める窓その他の開口部を有しない居室】 採光に有効な部分の面積の合計が当該居室の床面積の1/20未満である。	該当	非該当				
建築物の高さ (令2条1項6号)	・#####種々の最高高さとする。 ・屋根の突出部(避雷針)は高さに算入しない。						
階の算定 (令2条1項8号)	・地上階 階数に算入されない部分 昇降機塔、設備塔、物見塔その他これらに類する建築物の屋上部分、かつ、建築面積の1/8以下。 地階の倉庫、機械室その他これらに類する建築物の部分、かつ、建築面積の1/8以下。						
地盤面 (令2条2項)	・建物高さ、斜線制限の高さの基準となる地盤面。(平均地盤面)	該当	非該当				
斜線制限 (法56条・58条)	・道路斜線(容積率20/10以下):勾配1.25 適用距離20m ・隣地斜線:勾配1.25 立上り20m ・北側斜線:第一種・二種低住宅、第一種・二種中高層住居専用地域に適用)	該当	非該当				
日影規制 (法56条の2)	・測定面高さ:4m 10m以内の範囲の日影時間:4時間 10mを超える範囲の日影時間:2.5時間	該当	非該当				
廊下の幅 (令119条)	・地上階の居室床面積200㎡を超える階:中廊下1.6m以上 片廊下1.2m以上	該当	非該当				
直通階段への歩行距離 (令120条、121条)	・無窓居室(有効採光面積が床面積の1/20未満のもの) ・その他の居室の場合、下記による。 1. 50m以下 重様25m以下 (14階以下 主要構造部が準耐火構造or不燃材料かつ内装不燃化無し) 2. 60m以下 重様30m以下 (14階以下 主要構造部が準耐火構造以上or不燃材料かつ廊下等内装不燃化)	該当	非該当				
2以上の直通階段の設置 (令121条)	【5階以上の階 特殊建築物以外】下記①～④いずれかによる 1. 避難階の直上階:主要構造部が準耐火構造or不燃材料 居室の床面積400㎡超え 2. 避難階の直上階:上記1以外の場合 居室の床面積200㎡超え 3. その他の階:主要構造部が準耐火構造or不燃材料 居室の床面積200㎡超え 4. その他の階:上記3以外の場合 居室の床面積100㎡超え ・6階以上の階、かつ、居室のある階に適用。 ただし、下記a～c全てに該当する場合は、適用除外。 a. 居室の床面積の合計200㎡以下。 b. 避難上有効なバルコニー・屋外通路その他これらに類するものが設けられている。 c. 避難階又は地上に通ずる直通階段で、屋外避難階段又は特別避難階段が設けられている。	該当	非該当				
避難階段の設置 (令122条)	・物販売店店舗、床面積1,500㎡超え、地上3階以上 ・上記以外の用途、地上5階以上 ・すべての用途、地下2階以下 ただし、主要構造部が耐火構造、かつ、床面積100㎡(200㎡以内(共同住宅))ごとに、耐火構造の床・壁・特定防火設備で防火区画されている場合はこの限りではない。	該当	非該当				
特別避難階段の設置 (令122条)	・地上15階以上 ・地下3階以下 ただし、主要構造部が耐火構造、かつ、床面積100㎡(200㎡以内(共同住宅))ごとに、耐火構造の床・壁・特定防火設備で防火区画されている場合はこの限りではない。	該当	非該当				
避難階段及び特別避難階段の構造 (令123条)	・15階以上である。 ※14階建てまでは、特別避難階段の設置不要。 ・付室内装:仕上及び地下を不燃材料とする。 ・屋外避難階段の2m以内の範囲に開口部・給排気口を設けなければならない。	該当	非該当				
屋外への出口 (令125条)	・避難階、階段から屋外への出口の一に至る歩行距離、令第120条に規定する数値の2倍以下とする。 【内装不燃化 かつ 14階以下の場合に適用】 ・40m以下(30m≦10m(不燃)) (主要構造部が準耐火構造又は不燃材料かつ例第116条の2第1項1号に該当する窓その他の開口部を有しない居室。) (重様距離20m以下) ・60m以下(50m≦10m(不燃)) (上記以外の居室) (重様距離30m以下)	該当	非該当				
防火区画	・令112条ただし書きによる、防火区画(床面積100㎡以内ごと) ただし、階段・昇降路及び、廊下等避難の用に供する部分で耐火構造の床若しくは壁又は特定防火設備で区画されている部分は除く。 【面積区画】 1,500㎡以内ごとに区画する。 【壁穴区画】(11項) 主要構造部が準耐火構造、かつ、3階以上に居室がある場合に適用。 (床・壁:準耐火構造、防火設備) 【高層階区画】:11階以上の部分に適用(5～8項) ① 内装下地・仕上げ共不燃材料、床・壁耐火構造 床面積500㎡以内ごと 特定防火設備(6項) ② 内装下地・仕上げ共不燃材料 床・壁耐火構造 床面積200㎡以内ごと 特定防火設備(7項) 上記①②以外 床・壁耐火構造 床面積100㎡以内ごと 防火設備(5項) 【高層階区画の適用除外】 区画された階段室、昇降機(昇降ロビー含む) 廊下その他避難の用途に使用する部分 床面積の合計が200㎡以内の共同住宅の住戸(200㎡以内ごとに区画された共同住宅の住戸) 【異種用途区画】(13項) 複合用途の建築物で、その一部が法27条1項または2項に該当する建築物(床・壁:1時間準耐火構造、特定防火設備)	該当	非該当				
共同住宅の各戸の界壁は、準耐火構造とし、小屋裏又は天井裏に達せしめなければならない。(令114条1項)	・共同住宅の各戸の界壁は、準耐火構造とし、小屋裏又は天井裏に達せしめなければならない。(令114条1項) 各戸の界壁とは、住戸間の壁をいい、住戸と廊下等の境の壁は該当しない。 ただし、共同住宅における廊下部分の小部屋については、住戸間の延焼を防止するため、界壁と同様の措置を講ずることが望ましい。 (建築物の防火避難規定の解説:43 長壁又は共同住宅の各戸の界壁)	該当	非該当				
学校、病院、診療所(患者の収容施設を有しないものを除く)、児童福祉施設、ホテル、旅館、下宿、寄附舎又はマーケットの用途に供する建築物の当該用途に供する部分については、その防火上主要な間仕切り壁を準耐火構造とし、小屋裏又は天井裏に達せしめなければならない。	・学校、病院、診療所(患者の収容施設を有しないものを除く)、児童福祉施設、ホテル、旅館、下宿、寄附舎又はマーケットの用途に供する建築物の当該用途に供する部分については、その防火上主要な間仕切り壁を準耐火構造とし、小屋裏又は天井裏に達せしめなければならない。	該当	非該当				
特殊建築物(1)～(4)の建築物、かつ、延べ面積500㎡を超えるもの。 ・階数3以上、かつ、延べ面積500㎡を超える建築物。 ・天井から下方80cm以内の開口部が床面積の1/50以上の確認(無窓居室) ・延べ面積1,000㎡超えの建築物で、床面積200㎡超えの居室 ・風除室は排煙対象外。(建築物の防火避難規定の解説:24排煙設備の適用除外部分) ・別表(2)に掲げる用途に供する特殊建築物のうち、準耐火構造の床若しくは壁又は防火設備で区画された部分で、その床面積が100㎡以内(共同住宅200㎡のもの)(令126条の2第1項第1号) ・階段部分・昇降機の昇降路部分・防火区画されたPS・EPS(令126の2-1-3)	・特殊建築物(1)～(4)の建築物、かつ、延べ面積500㎡を超えるもの。 ・階数3以上、かつ、延べ面積500㎡を超える建築物。 ・天井から下方80cm以内の開口部が床面積の1/50以上の確認(無窓居室) ・延べ面積1,000㎡超えの建築物で、床面積200㎡超えの居室 ・風除室は排煙対象外。(建築物の防火避難規定の解説:24排煙設備の適用除外部分) ・別表(2)に掲げる用途に供する特殊建築物のうち、準耐火構造の床若しくは壁又は防火設備で区画された部分で、その床面積が100㎡以内(共同住宅200㎡のもの)(令126条の2第1項第1号) ・階段部分・昇降機の昇降路部分・防火区画されたPS・EPS(令126の2-1-3)	該当	非該当				
【住戸一令・屋内廊下一令】→N6							
【住戸一令・屋内廊下一令】→告2=OK							
令126条の2第1項第1号(100㎡以内ごとに準耐火構造の床・壁若しくは壁又は防火設備によって区画された部分)							
建設者告示1436号4-4に規定する排煙装置設置免除の建築物の部分 法27条第3項第2号の危険物の貯蔵庫、その他これらに類する建築物の部分で、法令に基づき、不燃性ガス消火設備又は粉末消火設備を設けたもの。 ・【設置者告示1436号4-2(1)～(4)】 高さ3m以下の建築物の部分に適用。 (1) (2)は室に適用、(3) (4)は居室に適用。 ・建設者告示1436号4-2(2)に規定する排煙装置設置免除の室 100㎡以下かつ令第126条の2第1項に掲げる防煙壁により区画。 ・建設者告示1436号4-2(4)に規定する排煙装置設置免除の居室 100㎡以下かつ仕上・下地共不燃 ・建設者告示1436号4-4に規定する排煙装置設置免除の室(又は居室) 高さ3mを超える建築物の床面積100㎡以内の室(又は居室)で、耐火構造の床・壁防火設備で区画され、かつ、内装仕上を準不燃材料としたもの ・H12告示1436号三 排煙口、床面からの高さが2.1m以上かつ、天井の高さの1/2以上の部分に設ける。	該当	非該当					
非常用昇降機(法34条2項) 乗降ロビー(令129条の13)	・高さ3mを超える建築物(政令で定めるものを除く。)(には、非常用昇降機を設けなければならない。 【非常用昇降機の設置を要しない建築物】(令129条の13の2) 一、高さ3mを超える部分を階段室、昇降機その他の建築設備の機械室、裝飾塔、物見塔、屋窓その他これらに類する用途に供する建築物。 二、高さ3mを超える部分の各階の床面積の合計が500㎡以下の建築物。 三、高さ3mを超える部分の階数が4以下の主要構造部が耐火構造とした建築物で、当該部分が床面積の合計100㎡以内ごとに耐火構造の床若しくは壁又は特定防火設備で区画されているもの 設置免除に係る床面積の合計及び階数の取扱い (建築物の防火避難規定の解説:10 非常用の昇降機) ある階において地盤面から測った高さ3mの位置が、当該階の途中(当該階の床面とその上階の床面との中間位置よりも下)にある場合、当該階は高さ3mを超える部分の階に含まれるものとして扱う。なお、この場合において令第2条八号により階数に参入されない層部分は、「高さ3mを超える部分の階数」にも算入しない。	該当	非該当				
非常用出入口(令126条の6)	・建築物の高さ3m以下の部分にある3階以上の階に設置 ただし、非常用エレベータ設置(令126条の6-1号)の場合は、設置不要。 ただし、規定する開口部10m以内ごとに設置(令126条の6-2号)の場合は、設置不要。 ※計画建物は、代替出入口を設置する。	該当	非該当				
敷地内の通路(令128条)	・敷地内通路幅1.5m以上の確保 1. 法別表(1)～(4)項の用途に供する特殊建築物 2. 階数3以上の建築物 3. 無窓居室を有する建築物 採光無窓 1/20 4. 延べ面積が1,000㎡を超える建築物	該当	非該当				
内装制限(令128条)	・大規模建築物 階数3以上かつ、延べ面積500㎡超え 居室:壁・天井を難燃とする。(1.2m以下の壁壁部分を除く) (3階以上に居室がある場合、居室の天井は準不燃とする) 通路・階段等:壁・天井を準不燃とする。 ※ただし学校等の用途に供する場合は設置不要	該当	非該当				
100㎡(共同住宅は200㎡)以内ごとに準耐火構造の床・壁・防火設備で区画されたものを除く。共同住宅の集客室等の居室部分は、高さ3m以下の部分であって200㎡以内ごとに区画されたものは適用除外。(建築物の防火避難規定の解説)除く。	・100㎡(共同住宅は200㎡)以内ごとに準耐火構造の床・壁・防火設備で区画されたものを除く。共同住宅の集客室等の居室部分は、高さ3m以下の部分であって200㎡以内ごとに区画されたものは適用除外。(建築物の防火避難規定の解説)除く。 ・100㎡(共同住宅は200㎡)以内ごとに準耐火構造の床・壁・防火設備で区画されたものを除く。 通路・階段等:壁・天井を準不燃とする。 ・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ設備+排煙設備を設けた部分は緩和 ・歩行距離緩和の場合、準不燃とする。(床土1.2m以下の部分も含む) ・防煙区画による間仕切り壁:不燃、天井:準不燃(間仕切り壁天井まで) ・排煙告示1436号四-ﾊﾞ-(1)を適合させる室は内装仕上を準不燃とする。 ・排煙告示1436号四-ﾊﾞ-(4)を適合させる室は内装仕上、下地とも不燃材料とする。	該当	非該当				
令128の3の2に規定する居室(無窓居室)を有する建築物は居室等を準不燃とする。	・令128の3の2に規定する居室(無窓居室)を有する建築物は居室等を準不燃とする。 ・内装に用いる材料は全てF☆☆☆☆とする。 ・小屋裏部分に用いる材料についても全てF☆☆☆☆とする。	該当	非該当				
換気設備(法28条)	・居室の床面積の1/20以上。	該当	非該当				
避難設備(令129条の14)	・高さ20mを超える建築物に設置。 ・建築物の高さ20mを超える部分を電撃から保護するように設けなければならない。	該当	非該当				
非常用照明(令126条の4)	・特殊建築物の居室 ・階数が3以上で延べ面積が500㎡を超える建築物の居室 ・無窓居室(第116条の2第1項-1号に該当する窓その他の開口部を有しない居室) ・延べ面積が1,000㎡を超える建築物の居室、及びこれらの居室から地上に通ずる廊下階段その他の通路 ・共同住宅の住戸は設置対象外。 ・共用の廊下・階段等は設置対象。 ※ただし学校等の用途に供する場合は設置不要	該当	非該当				
階段(令23条)	・屋内階段 幅員120cm以上 けあげ20cm以下 踏面24cm以上 踏幅 高さ4mを超える場合は高さ4m以内ごとに設ける。踏幅1.2m以上。 (直上階の居室の床面積の合計が200㎡をこえる地上階) ・屋外階段(直通階段 避難時に使用するもの):幅員90cm以上 踏幅 高さ4mを超える場合は高さ4m以内ごとに設ける。踏幅1.2m以上。 ・外部階段の開放性は1/2以上かつ1100以上とする。	該当	非該当				
採光(法28条) (令20条2項)	採光補正係数 A = $\frac{d}{h} \times \alpha \times \beta$ 第一種中高層地域 $\alpha = 6$ $\beta = 1.4$ d:窓の直上にある建築物の各部分から隣地境界線までの垂直距離 h:窓の中心から直上の建築物の各部分までの垂直距離	該当	非該当				
その他							

株式会社 福見建築設計事務所 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表) 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁	管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号 建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号 担当 早野 詩織	記事	工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事 図面名称 法規チェックリスト	日付 2023.10 縮尺 No scale	図面番号 A-08 意匠
---	--	----	---	---------------------------	-----------------



既存建物の竣工履歴

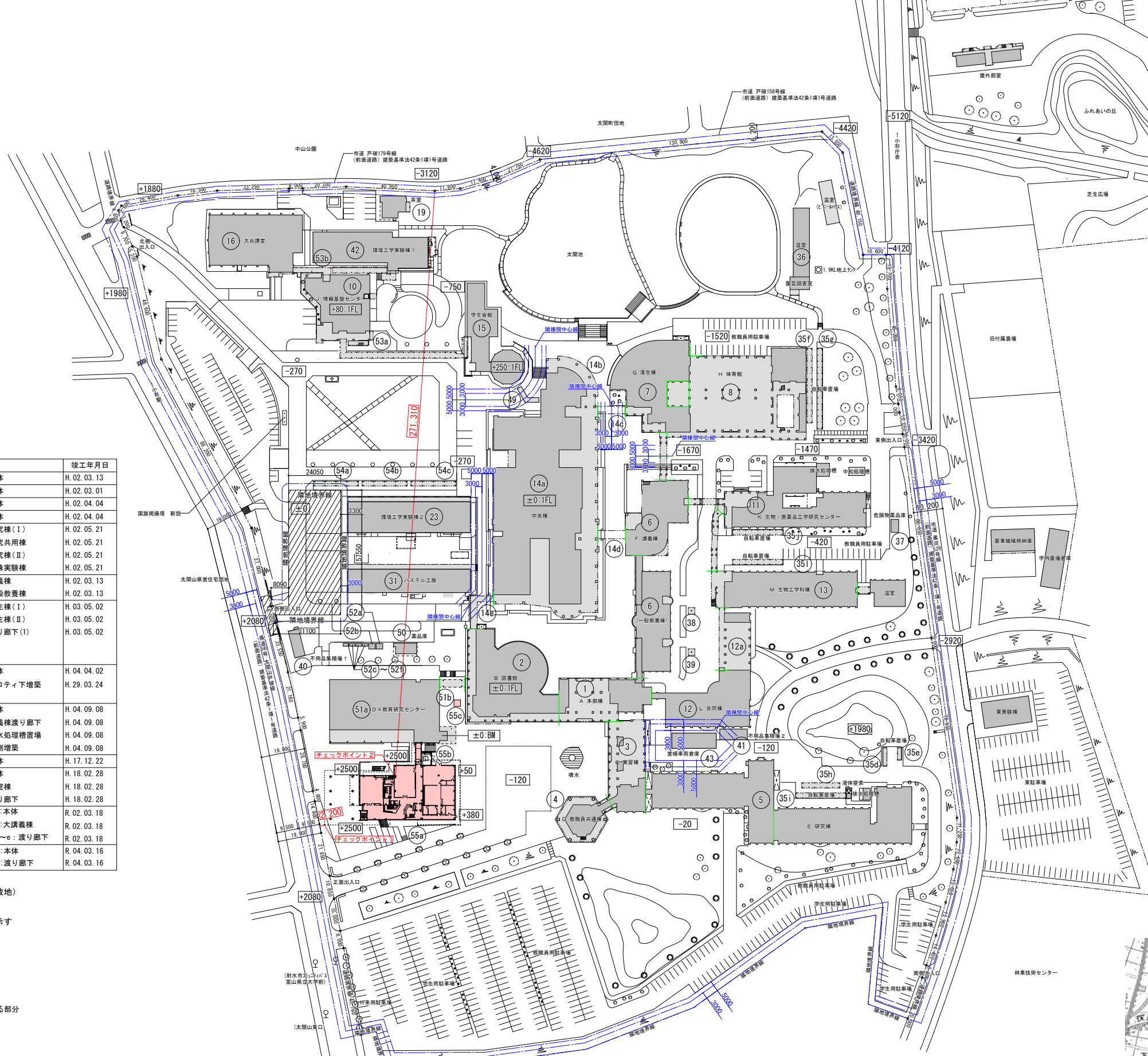
建物番号	名称	竣工年月日
①	A 本部棟	H.02.03.13
②	B 図書館	H.02.03.01
③	C 実習棟	H.02.04.04
④	D 教職員共通棟	H.02.04.04
⑤	E 研究棟	H.02.05.21
	研究棟(I)	H.02.05.21
	研究棟(II)	H.02.05.21
⑥	F 講義棟	H.02.03.13
	一般教養棟	H.02.03.13
	特殊実験棟	H.02.05.21
⑦	G 厚生棟	H.03.05.02
	厚生棟(I)	H.03.05.02
	厚生棟(II)	H.03.05.02
⑧	H 体育館	H.04.04.02
	ピロティ下増築	H.29.03.24
⑪	K 生物工学研究センター	H.04.09.08
	講義棟渡り廊下	H.04.09.08
	排水処理槽置場	H.04.09.08
⑫	L 合同棟	H.17.12.22
	本体	H.18.02.28
⑬	M 生物工学科棟	H.18.02.28
	温室棟	H.18.02.28
	渡り廊下	H.18.02.28
⑭	中央棟	R.02.03.18
	14a: 本体	R.02.03.18
	14c~e: 渡り廊下	R.02.03.18
⑮	DX教育研究センター	R.04.03.16
	51a: 本体	R.04.03.16
	51b: 渡り廊下	R.04.03.16

- 敷地対象外(仮設校舎敷地)
- 設計GLからの高さを示す
- 計画建物
- 設計GL±0 = 標高16.71m
- 延焼の恐れのある部分
- EXP. J位置を示す

法56条 高さの確認

■ 道路斜線制限の検討
 用途地域: 第一種中高層住居専用地域: 斜線勾配 1.25
 斜線制限適用距離: L=20m (容積率20/10以下)
 チェックポイント1 (道路近接部で確認): L=19.0m+2.2m+2.2m=23.4m>20.0m
 ∴ 道路斜線制限クリア

■ 北側斜線制限の検討
 用途地域: 第一種中高層住居専用地域 立上り: 10m、勾配1.25
 チェックポイント2 高さ(建物最高高さ): 22.50m
 斜線制限: 10m+271.310×1.25=349.14m
 22.50m<349.14m
 ∴ 北側斜線制限クリア



建物概要

建築物名称	富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事
敷地の地名地番	富山県射水市黒河5180
都市計画区域等	市街化区域
防火地域等	指定無し
用途地域等	第一種中高層住居地域
指定建ぺい率	60%
指定容積率	200%
主要用途	大学
建築物の構造	4階建て 鉄骨造
耐火建築物等	耐火建築物

・道路と道路に接する地盤高さ±0
 DX教育研究センター(既X1)からX軸方向に7.200m(X10)、DX教育研究センター(既Y1)からY軸方向に11.305m(Y7)の交点(XY)を配置基準点とする。
 DX教育研究センター(既X1)と情報工学部新棟(X10)はそれぞれ並行とする。

面積表

		単位: m ²			
敷地面積		114,745.00m ²			
		※使用CAD: JWWCADバージョン8.03a			
仮設校舎敷地(分筆)		1,415.07m ²			
※分筆後		113,329.93m ²			
建物名	新棟	渡り廊下	ポンプ室	計	
建築面積	1,528.25	37.90	9.00	1,575.15	
延べ床面積	4階	1,003.01	—	—	1,003.01
	3階	1,086.73	—	—	1,086.73
	2階	870.87	—	—	870.87
	1階	1,036.29	28.99	9.00	1,074.28
計	3,996.90	28.99	9.00	4,034.89	
容積率算定床面積					
エシベータ部分 計36.44m ² は不算入とする。					
容積率不算入面積 計: 36.44m ²					
容積率算定床面積 4,034.89m ² - 36.44m ² = 3,998.45m ²					



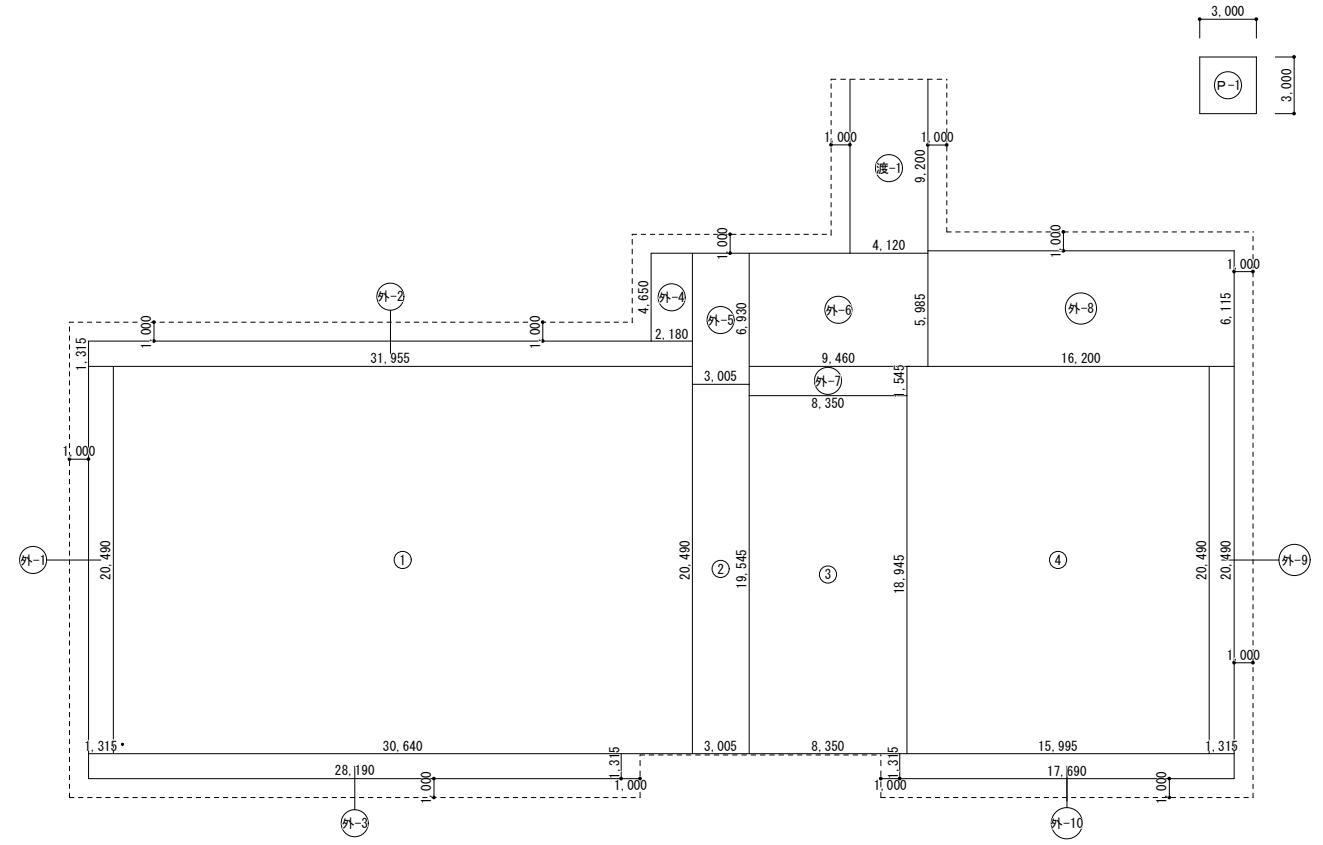
付近見取図(N.S)

	新棟	渡り廊下	ポンプ室	増築面積計
計	1,528.25	37.90	9.00	1,575.15

階数	新棟	渡り廊下	ポンプ室	増築面積計
4F	1,003.01	—	—	1,003.01
3F	1,086.73	—	—	1,086.73
2F	870.87	—	—	870.87
1F	1,036.29	28.99	9.00	1,074.28
計	3,996.90	28.99	9.00	4,034.89

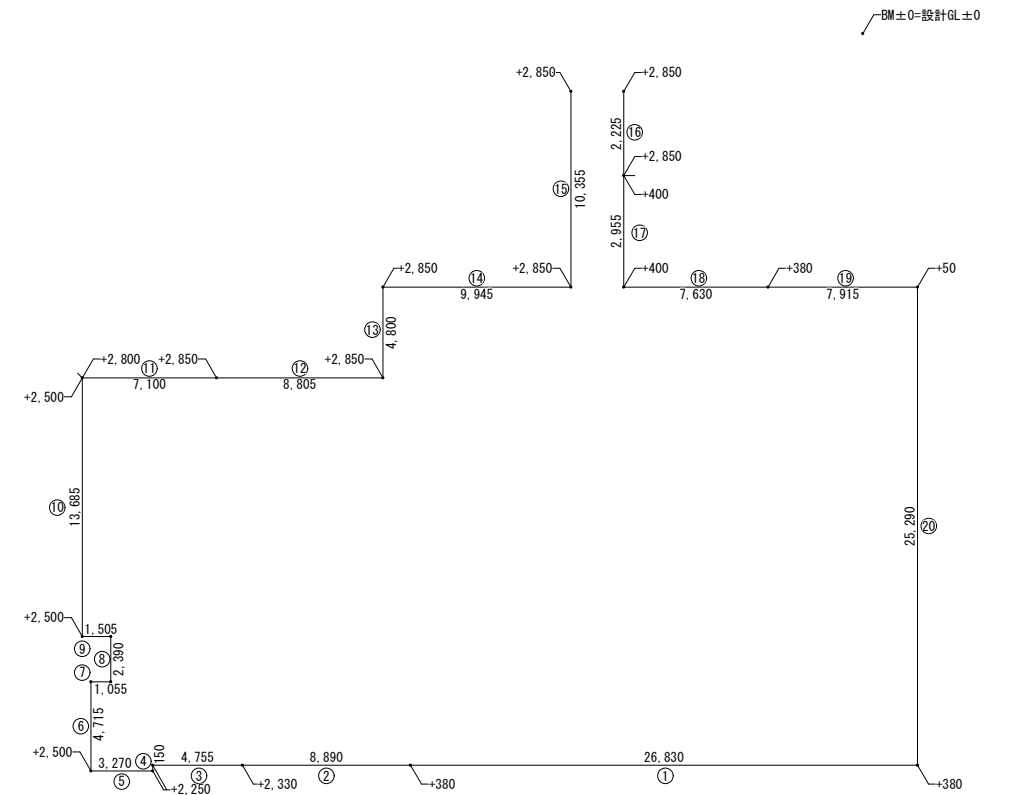
階数	新棟	渡り廊下	ポンプ室	増築面積計
4F	993.90	—	—	993.90
3F	1,077.62	—	—	1,077.62
2F	861.76	—	—	861.78
1F	1,027.18	28.99	9.00	1,065.17
計	3,960.46	28.99	9.00	3,998.45

名称	符号	算定式	単位m ²	面積
新棟	1	30.640 × 20.490	内部	627.814
	2	3.005 × 19.545		58.733
	3	8.350 × 18.945		158.191
	4	15.995 × 20.490		327.738
	計			1,172.476
	外-1	1.315 × 20.490		26.944
	外-2	31.955 × 1.315		42.021
	外-3	28.190 × 1.315		37.070
	外-4	2.180 × 4.650		10.137
	外-5	3.005 × 6.930		20.825
	外-6	9.460 × 5.985		56.618
外-7	8.350 × 1.545	12.901		
外-8	16.200 × 6.115	99.063		
外-9	1.315 × 20.490	26.944		
外-10	17.690 × 1.315	23.262		
計	外部	355.785		
合計	内部+外部	1,528.25		
渡り廊下	渡-1	4.120 × 9.200	37.904	
ポンプ室	P-1	3.000 × 3.000	9.000	
合計	新棟+渡り廊下+ポンプ室	1,575.15		
建築面積		1,575.15		



建築面積求積積図

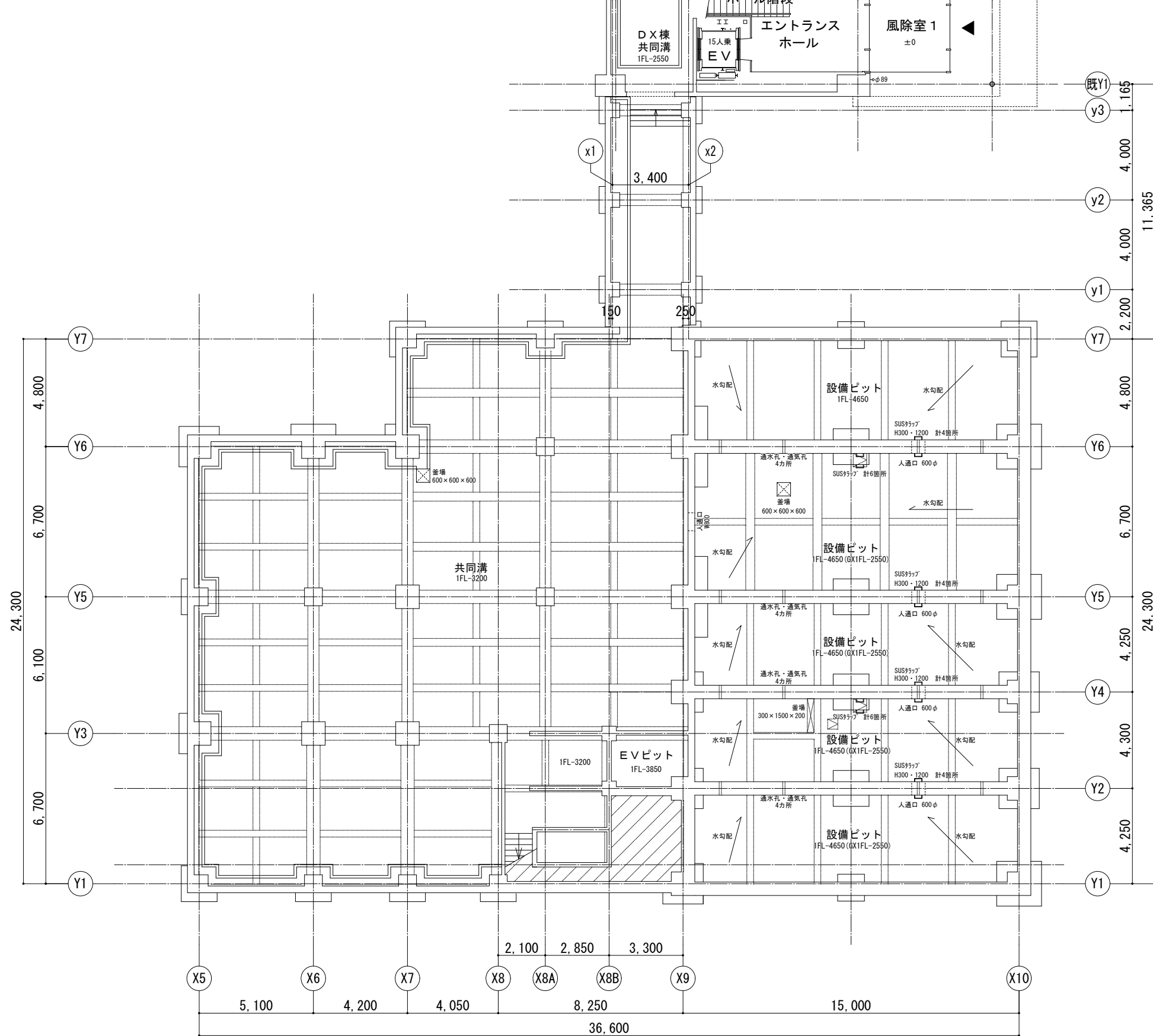
ポイント	レベル1	レベル2	周長	設置面積 (mm ²)
①	(+380 + +380) ×	26,830 × 1/2	10,195,400.000	
②	(+380 + +2330) ×	8,890 × 1/2	12,045,950.000	
③	(+2330 + +2250) ×	4,755 × 1/2	10,888,950.000	
④	(+2250 + +2250) ×	150 × 1/2	337,500.000	
⑤	(+2250 + +2500) ×	3,270 × 1/2	7,766,250.000	
⑥	(+2500 + +2500) ×	4,715 × 1/2	11,787,500.000	
⑦	(+2500 + +2500) ×	1,055 × 1/2	2,637,500.000	
⑧	(+2500 + +2500) ×	2,390 × 1/2	5,975,000.000	
⑨	(+2500 + +2500) ×	1,505 × 1/2	3,762,500.000	
⑩	(+2500 + +2500) ×	13,685 × 1/2	34,212,500.000	
⑪	(+2800 + +2850) ×	7,100 × 1/2	20,057,500.000	
⑫	(+2850 + +2850) ×	8,805 × 1/2	25,094,250.000	
⑬	(+2850 + +2815) ×	4,800 × 1/2	13,596,000.000	
⑭	(+2850 + +2850) ×	9,945 × 1/2	28,343,250.000	
⑮	(+2850 + +2850) ×	10,355 × 1/2	29,511,750.000	
⑯	(+2850 + +2850) ×	2,225 × 1/2	6,341,250.000	
⑰	(+400 + +400) ×	2,955 × 1/2	1,182,000.000	
⑱	(+400 + +380) ×	7,630 × 1/2	2,975,700.000	
⑲	(+380 + +50) ×	7,915 × 1/2	1,701,725.000	
⑳	(+50 + +380) ×	25,290 × 1/2	5,437,350.000	
計			154,265.000	233,849,825.000
	設置面積/周長		=	1,515.897
	平均地盤面		=	設計GL (BM) +1.500

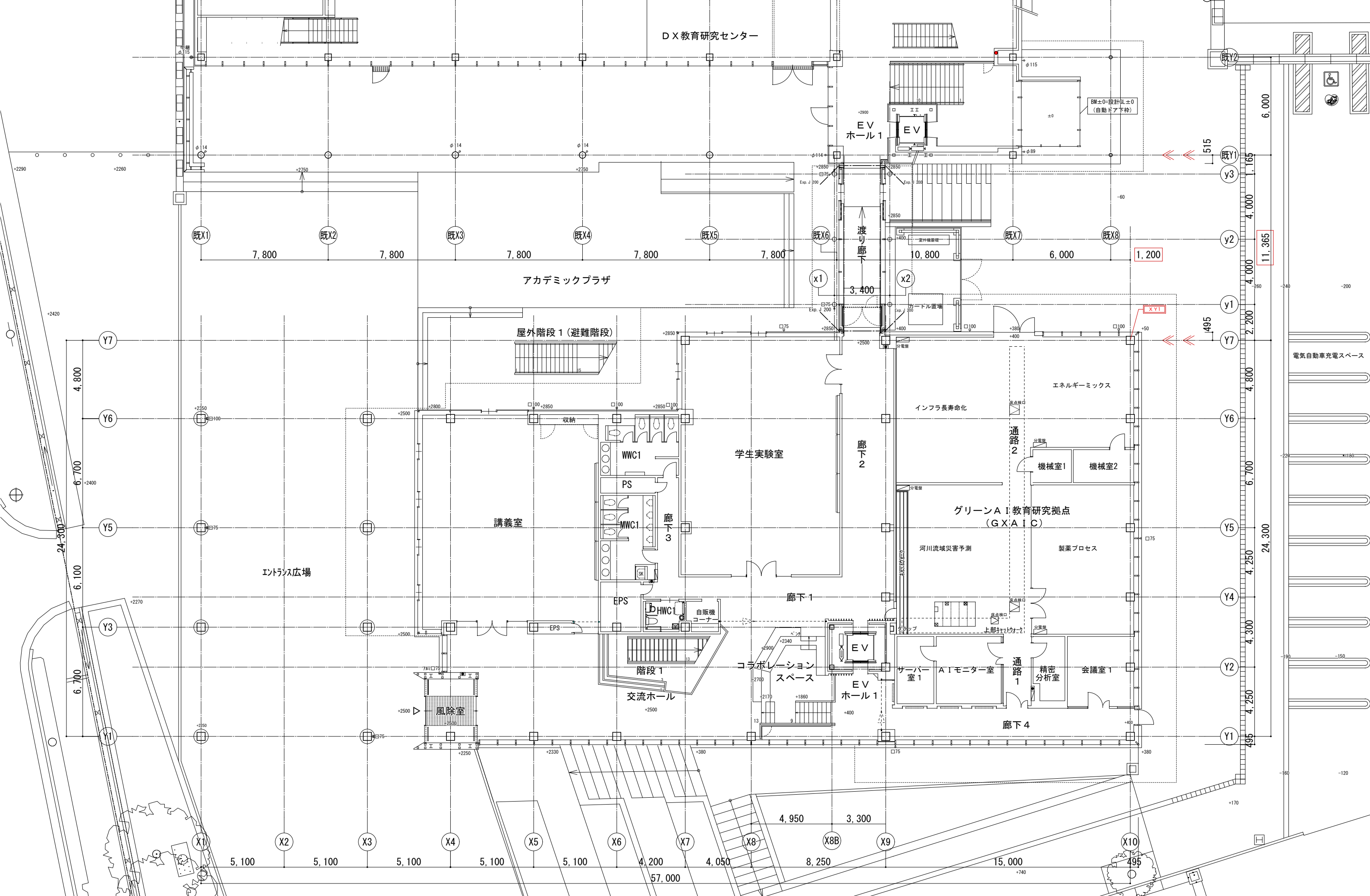


平均地盤算定図

階	室 名	床仕上 高さ (FL±)	床		巾木	H	壁 1		下地	壁 2	下地	壁内 遮音 グラスウール	廻り縁	天井		天井裏 遮音 グラスウール	造作材 【特記なき限り】 塗 装	内装 制限等	備考	
			床	下地			壁 1	壁 2						天井	CH					
1階	自販機コーナー	±0	M	t25 600×1200御影石JB仕上	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G					塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	3,000				
	MWC 1	±0	SL	t2.0ビニル床シート 小便器前汚垂タイル	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)	LGS	t12.5防水PB+t6.0ケイカル板目スカシ 不燃化紙塩ビフィルム貼り(小口巻込み) 目地底共		遮音 【ｽﾌﾟﾗﾞ 遮】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,500				
	WWC 1	±0	SL	t2.0ビニル床シート	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)	LGS	t12.5防水PB+t6.0ケイカル板目スカシ 不燃化紙塩ビフィルム貼り(小口巻込み) 目地底共		遮音 【ｽﾌﾟﾗﾞ 遮】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,500				
	HWC 1	±0	SL	t2.0ビニル床シート	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)				遮音 【ｽﾌﾟﾗﾞ 遮】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,500				
	PS・EPS	-20	Con	コンクリート金ゴテ押え 着色防塵材				LGS	t12.5PB 素地											
	階段 1	+520	鋼製床組	t12.0複合フローリング t12.0構造用合板				SL	t6ケイカル板+ 600×600角磁器質タイル 乾式金物工法						S2 直付LGS	t12.5PB+t9.0岩綿吸音板 30×150@150富山県産杉材E-準不燃処理 60×300@1.105 7ö押出型材E-準不燃処理	15,680 (15,530)			
1階 リニア 1教育研究拠点	インフラ長寿命化	-2100 (-2250) 【GVAIC FL±0】	Con	エポキシ樹脂系塗床 伸縮目地シール(PU-2) @3,000以内 t150押えコンクリート金ゴテ押え 6.0Φ100角ワケ-メッシュ	床材巻上	100	LGS	t12.5PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)						直貼 LGS	t25' スケ-ル厚手ガ-ラック(ﾌﾞﾗｯｸ) 顔縁貼り 鉄骨梁部:t12.5PB (V) E P 塗装	6,295			準不燃	
	製薬プロセス	-2100 (-2250) 【GVAIC FL±0】	Con	t5.0置敷き耐薬性ビニル床タイル OAフロアB H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	100	LGS	t12.5PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)						塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			準不燃
	河川流域災害予測	-2100 (-2250) 【GVAIC FL±0】	Con	エポキシ樹脂系塗床 伸縮目地シール(PU-2) @3,000以内 t150押えコンクリート金ゴテ押え 6.0Φ100角ワケ-メッシュ	床材巻上	100	LGS	t12.5防水PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)						直貼 LGS	t25' スケ-ル厚手ガ-ラック(ﾌﾞﾗｯｸ) 顔縁貼り 鉄骨梁部:t12.5PB (V) E P 塗装	6,295			準不燃	
	エネルギーミックス	-2100 (-2250) 【GVAIC FL±0】	Con	エポキシ樹脂系塗床 伸縮目地シール(PU-2) @3,000以内 t150押えコンクリート金ゴテ押え 6.0Φ100角ワケ-メッシュ	床材巻上	100	LGS	t12.5PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)						直貼 LGS	t25' スケ-ル厚手ガ-ラック(ﾌﾞﾗｯｸ) 顔縁貼り 鉄骨梁部:t12.5PB (V) E P 塗装	6,295			準不燃	
	機械室 1・2	-2100 (-2250) 【GVAIC FL±0】	Con	エポキシ樹脂系塗床 伸縮目地シール(PU-2) @3,000以内 t150押えコンクリート金ゴテ押え 6.0Φ100角ワケ-メッシュ	床材巻上	100	LGS	t12.5PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)				遮音 【ｽﾌﾟﾗﾞ 遮】		直貼 LGS	t25' スケ-ル厚手ガ-ラック(ﾌﾞﾗｯｸ) 顔縁貼り 鉄骨梁部:t12.5PB (V) E P 塗装	6,295			準不燃	
	通路 1・2	-2100 (-2250) 【GVAIC FL±0】	Con	エポキシ樹脂系塗床 伸縮目地シール(PU-2) @3,000以内 t150押えコンクリート金ゴテ押え 6.0Φ100角ワケ-メッシュ	床材巻上	100	LGS	t12.5PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)						直貼 LGS	t25' スケ-ル厚手ガ-ラック(ﾌﾞﾗｯｸ) 顔縁貼り 鉄骨梁部:t12.5PB (V) E P 塗装	6,295			準不燃	
	サーバー室 1	-2100 (-2250) 【GVAIC FL±0】	Con	t5.0置敷きビニル床タイル OAフロアB H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G				遮音 【ｽﾌﾟﾗﾞ 遮】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700				
	AIモニター室	-2100 (-2250) 【GVAIC FL±0】	Con	t5.0置敷きビニル床タイル OAフロアB H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5不燃PB + t12.5PB (V) EP-G						塩ビ見切	LGS	t9.5不燃PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			不燃
	精密分析室	-2100 (-2250) 【GVAIC FL±0】	Con	t5.0置敷きビニル床タイル OAフロアB H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G						塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			
	会議室 1	-2100 (-2250) 【GVAIC FL±0】	Con	t6.8カーベットタイル OAフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G				遮音 【ｽﾌﾟﾗﾞ 遮】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700				
	廊下 4	-2100 【GVAIC FL±0】	M	t25 600×1200御影石JB仕上				LGS	t9.5PB + t12.5PB t6.0リノリウムボード t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G	LGS	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ ノック工法			LGS	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ/ノック工法	5,100				
	2階	デ-バ-イン演習室	±0 (-150)	Con	t6.8カーベットタイル OAフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) 内装薄塗材E(準不燃)	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G		遮音 【ｽﾌﾟﾗﾞ 遮】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	3,000			準不燃
学科事務・資料室		±0 (-150)	Con	t6.8カーベットタイル OAフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5不燃PB + t12.5PB (V) EP-G				遮音 【天井遮】	塩ビ見切	LGS	t9.5不燃PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			遮音	
教員室 1～3		±0 (-150)	Con	t6.8カーベットタイル OAフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G				遮音 【天井遮】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			遮音	
研究室 1～3		±0 (-150)	Con	t6.8カーベットタイル OAフロアB H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G						直貼 LGS	t25' スケ-ル厚手ガ-ラック(ﾌﾞﾗｯｸ) 顔縁貼り 鉄骨梁部:t12.5PB (V) E P 塗装	4,195			準不燃	
ラ-ﾝｸﾞｺﾓﾝｽﾞ 1		±0 (-150)	Con	t2.8ビニル織物床タイル OAフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G						塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	3,000			準不燃
湯沸しコーナー 1		±0 (-150)	Con	t2.8ビニル織物床タイル OAフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)						塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	3,000			
EVホール 2		±0 (-150)	Con	t2.8ビニル織物床タイル OAフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ ノック工法	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) 内装薄塗材E(準不燃)	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G		塩ビ見切	S2 直付LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板 30×150@150富山県産杉材E-準不燃処理 60×300@1.105 7ö押出型材E-準不燃処理	11,700 (11,550)			準不燃
廊下 5		±0	SL	t2.8ビニル織物床タイル	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G						塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	3,000			
廊下 6		±0 (-150)	Con	t6.8カーベットタイル OAフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G						塩ビ見切	LGS	t15.0×W300富山県産杉材集成材準不燃処理 一部直天井(ｽﾌﾟﾗﾞ 現し)	3,000 4,220			
前室 1・2		±0	SL	t2.8ビニル織物床タイル	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G						塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	3,000			
コピー室 1		±0	SL	t2.8ビニル織物床タイル	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G						塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	3,000			
MWC 2		±0	SL	t2.0ビニル床シート 小便器前汚垂タイル	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)	LGS	t12.5防水PB+t6.0ケイカル板目スカシ 不燃化紙塩ビフィルム貼り(小口巻込み) 目地底共		遮音 【ｽﾌﾟﾗﾞ 遮】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,500				
WWC 2		±0	SL	t2.0ビニル床シート	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6化粧ケイカル板目スカシ 目地シール (MS-2)	LGS	t12.5防水PB+t6.0ケイカル板目スカシ 不燃化紙塩ビフィルム貼り(小口巻込み) 目地底共		遮音 【ｽﾌﾟﾗﾞ 遮】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,500				
PS・EPS		-20	Con	コンクリート金ゴテ押え 着色防塵材				LGS	t12.5PB 素地											
階段 2	+690	鋼製床組	t12.0複合フローリング t12.0構造用合板				LGS	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ ノック工法	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) 内装薄塗材E(準不燃)			S2 直付LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板 30×150@150富山県産杉材E-準不燃処理 60×300@1.105 7ö押出型材E-準不燃処理	11,010 (10,860)					

階	室 名	床仕上 高さ (FL±)	床		巾木	H	壁 1		下地	壁 2	壁内 遮音 グラスウール	廻り縁	天井		天井裏 遮音 グラスウール	造作材 【特記なき限り】 塗 装	内装 制限等	備考	
			下地	床			下地	天井					CH						
3階	教員室4～11	±0 (-150)	Co n	t6.8カーペットタイル ○AフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G			⑤遮音 【天井迄】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700	⑤遮音			
	研究室4～11	±0 (-150)	Co n	t6.8カーペットタイル ○AフロアB H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G					直貼 LGS	t25'グラスウール厚手ガラスウール(ブラック)額縁貼り 鉄骨梁部:t12.5PB (V) EP塗装	3,895			準不燃	
	コミュニケーションラウンジ	±0 (-150)	Co n	t6.8カーペットタイル ○AフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G					塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			準不燃
	湯沸しコーナー2	±0 (-150)	Co n	t2.8ビニル織物床タイル ○AフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6.0化粧ケイカル板目スカーシ 目地シール (MS-2)					塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			
	EVホール3	±0	SL	t6.8カーペットタイル	ソフト巾木	60	LGS	30×100#150富山県産杉縦L-V-準不燃処理 t12構造用合板+t12.5PB (V) 内装薄塗材E	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G			塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t12.5PB (V) 全面寒冷紗張りパテしごき(2回) EP	3,400			
	廊下7・9	±0 (-150)	Co n	t6.8カーペットタイル ○AフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t12.5PB + t12.5PB (V) EP-G					塩ビ見切	LGS	t15.0×W300富山県産材杉集成材準不燃処理 一部直天井(スグ)現し)	2,700 3,920			
	廊下8	±0	SL	t6.8カーペットタイル	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G					塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			廊下7 準不燃
	前室3・4	±0	SL	t6.8カーペットタイル	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G					塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			
	コピー室2	±0 (-150)	Co n	t6.8カーペットタイル ○AフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G					塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			準不燃
	MWC3	±0	SL	t2.0ビニル床シート 小便器前汚垂タイル	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6.0化粧ケイカル板目スカーシ 目地シール (MS-2)	LGS	t12.5防水PB+t6.0ケイカル板目スカーシ 不燃化粧塩ビフィルム貼り(小口巻込み) 目地底共	⑤遮音 【スグ迄】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,500				
	WWC3	±0	SL	t2.0ビニル床シート	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6.0化粧ケイカル板目スカーシ 目地シール (MS-2)	LGS	t12.5防水PB+t6.0ケイカル板目スカーシ 不燃化粧塩ビフィルム貼り(小口巻込み) 目地底共	⑤遮音 【スグ迄】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,500				
	HWC2	±0	SL	t2.0ビニル床シート	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6.0化粧ケイカル板目スカーシ 目地シール (MS-2)			⑤遮音 【スグ迄】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,500				
	PS・EPS	-20	Co n	コンクリート金ゴテ押え 着色防塵材				LGS	t12.5PB 素地										スラブ現し
4階	教員室12～16	±0 (-150)	Co n	t6.8カーペットタイル ○AフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G			⑤遮音 【天井迄】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700	⑤遮音			
	研究室12～16	±0 (-150)	Co n	t6.8カーペットタイル ○AフロアB H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G					直貼 LGS	t25'グラスウール厚手ガラスウール(ブラック)額縁貼り 鉄骨梁部:t12.5PB (V) EP塗装	3,920 4,370			準不燃	
	教授会室	±0 (-150)	Co n	t15.5カーペットタイル ○AフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t12.5PB+t6.0ケイカル板 二丁掛磁器質タイル	LGS	富山県産杉材t15~40L600~1800#がA張り 準不燃処理 t12構造用合板 不燃処理 t9.5PB + t12.5PB (V) 内装薄塗材E	⑤遮音 【スグ迄】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板 t12.5PB+t6.0ケイカル板目スカーシ 不燃化粧塩ビフィルム貼り(小口巻込み)目地底共	3,000 3,900			準不燃	
	会議室2	±0 (-150)	Co n	t6.5カーペットタイル ○AフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) 内装薄塗材E	LGS	t12.5PB+t6.0ケイカル板 二丁掛磁器質タイル	⑤遮音 【スグ迄】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	3,000				
	サーバー室2	±0 (-150)	Co n	t5.0置敷きビニル床タイル ○AフロアB H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G			⑤遮音 【スグ迄】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700				
	廊下10	±0 (-150)	Co n	t6.8カーペットタイル ○AフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t12.5PB + t12.5PB (V) EP-G					塩ビ見切	LGS	t15.0×W300富山県産材杉集成材準不燃処理 t25'グラスウール厚手ガラスウール(ブラック)額縁貼り	2,700 3,920			準不燃
	廊下11	±0	SL	t6.8カーペットタイル	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G					塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			
	廊下12	±0 (-150)	Co n	t6.5カーペットタイル ○AフロアA H=150 コンクリート金ゴテ押え 防塵材	ソフト巾木	60	LGS	t12.5PB+t6.0ケイカル板 二丁掛磁器質タイル	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) 内装薄塗材E			塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	3,000			
	EVホール4	±0	SL	t6.8カーペットタイル	ソフト巾木	60	LGS	30×100#150富山県産杉縦L-V-準不燃処理 t12構造用合板+t12.5PB (V) 内装薄塗材E	LGS	t12.5PB+t6.0ケイカル板 二丁掛磁器質タイル			塩ビ見切	S2 直付LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板 30×150#150富山県産杉L-V-準不燃処理 60×300#1.105 7ö押出型材L-V-7ö素樹脂接着塗装(2,700)	3,000 (2,850)			
	湯沸室	±0	SL	t2.8ビニル織物床タイル	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6.0化粧ケイカル板目スカーシ 目地シール (MS-2)					塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	3,000			
	前室5・6	±0	SL	t6.8カーペットタイル	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G					塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			
	コピー室3	±0	SL	t2.8ビニル織物床タイル	ソフト巾木	60	LGS	t9.5PB + t12.5PB (V) EP-G					塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,700			
	MWC4	±0	SL	t2.0ビニル床シート 小便器前汚垂タイル	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6.0化粧ケイカル板目スカーシ 目地シール (MS-2)	LGS	t12.5防水PB+t6.0ケイカル板目スカーシ 不燃化粧塩ビフィルム貼り(小口巻込み) 目地底共	⑤遮音 【スグ迄】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,500				
WWC4	±0	SL	t2.0ビニル床シート	ソフト巾木	60	LGS	t12.5防水PB+t6.0化粧ケイカル板目スカーシ 目地シール (MS-2)	LGS	t12.5防水PB+t6.0ケイカル板目スカーシ 不燃化粧塩ビフィルム貼り(小口巻込み) 目地底共	⑤遮音 【スグ迄】	塩ビ見切	LGS	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板	2,500					
PS・EPS	-20	Co n	コンクリート金ゴテ押え 着色防塵材				LGS	t12.5PB 素地										スラブ現し	





株式会社 福見建築設計事務所
 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

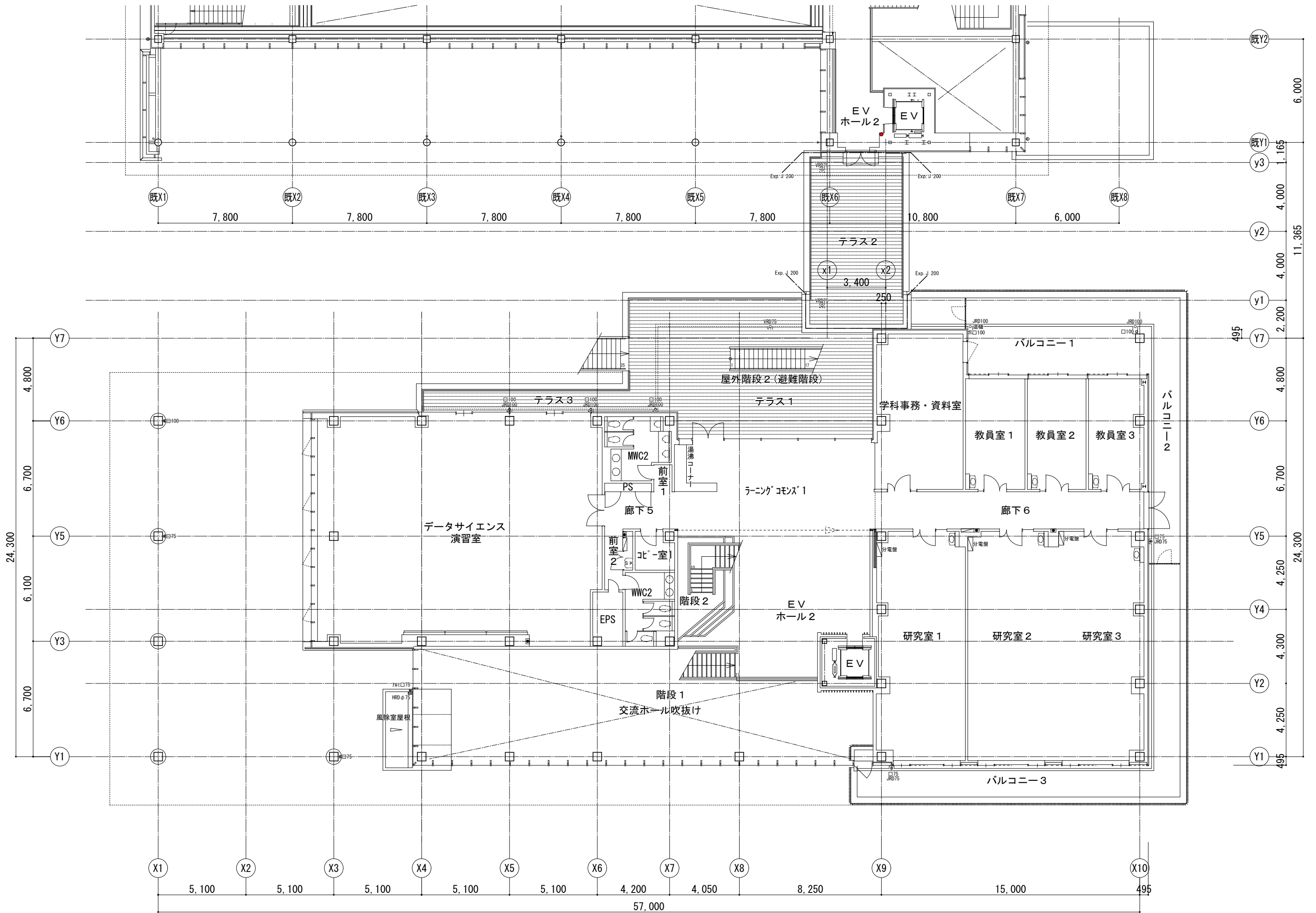
管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
 建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号
 担当 草野 圭亮

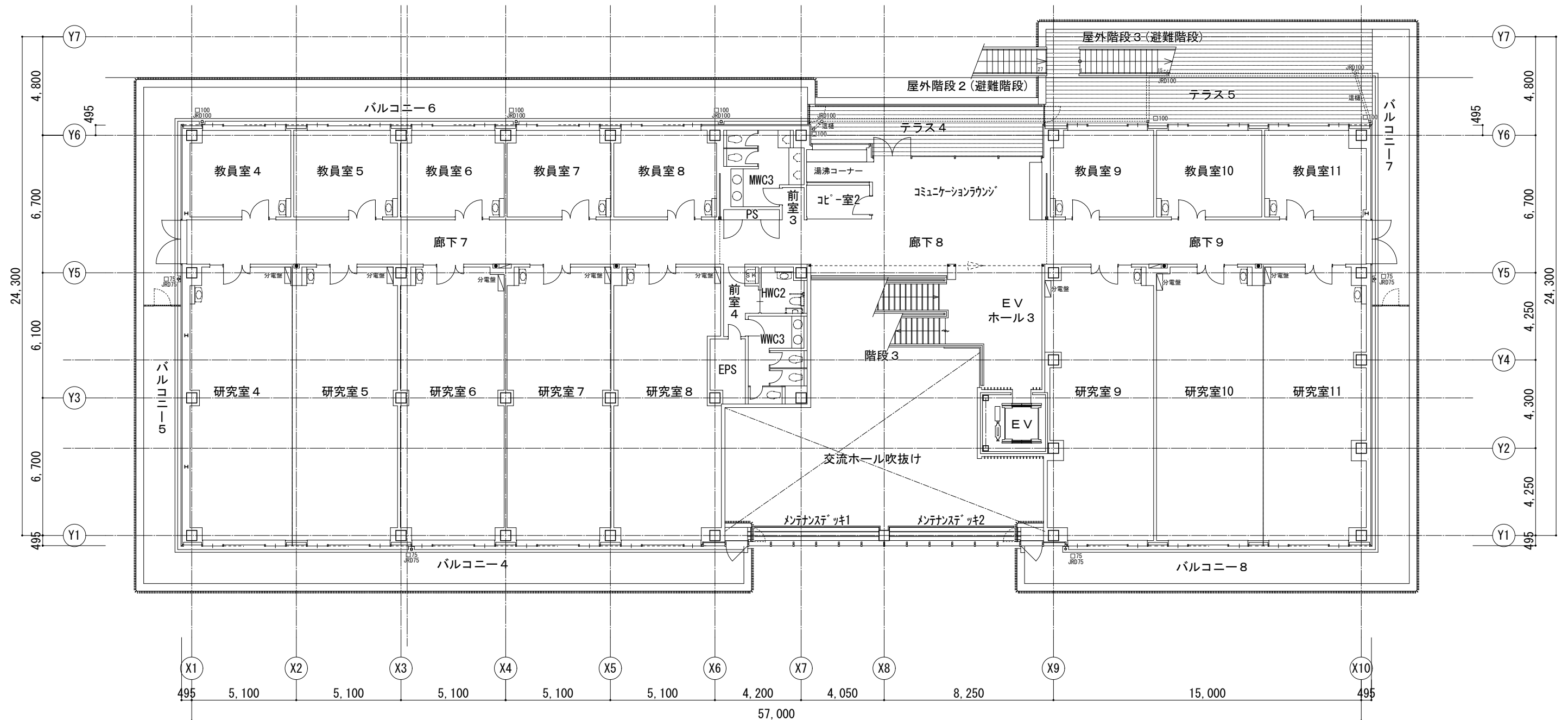
記事

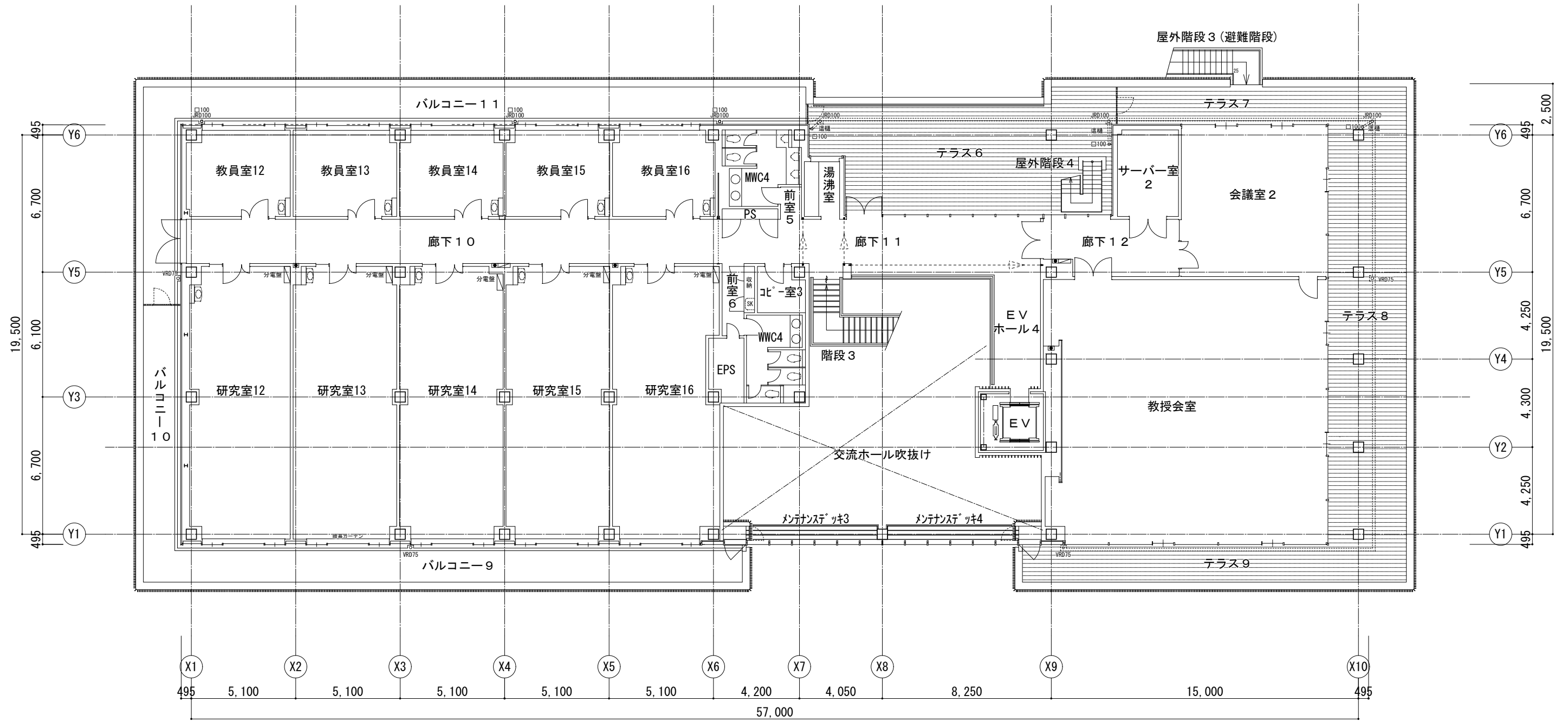
工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事
 図面名称 1階平面図

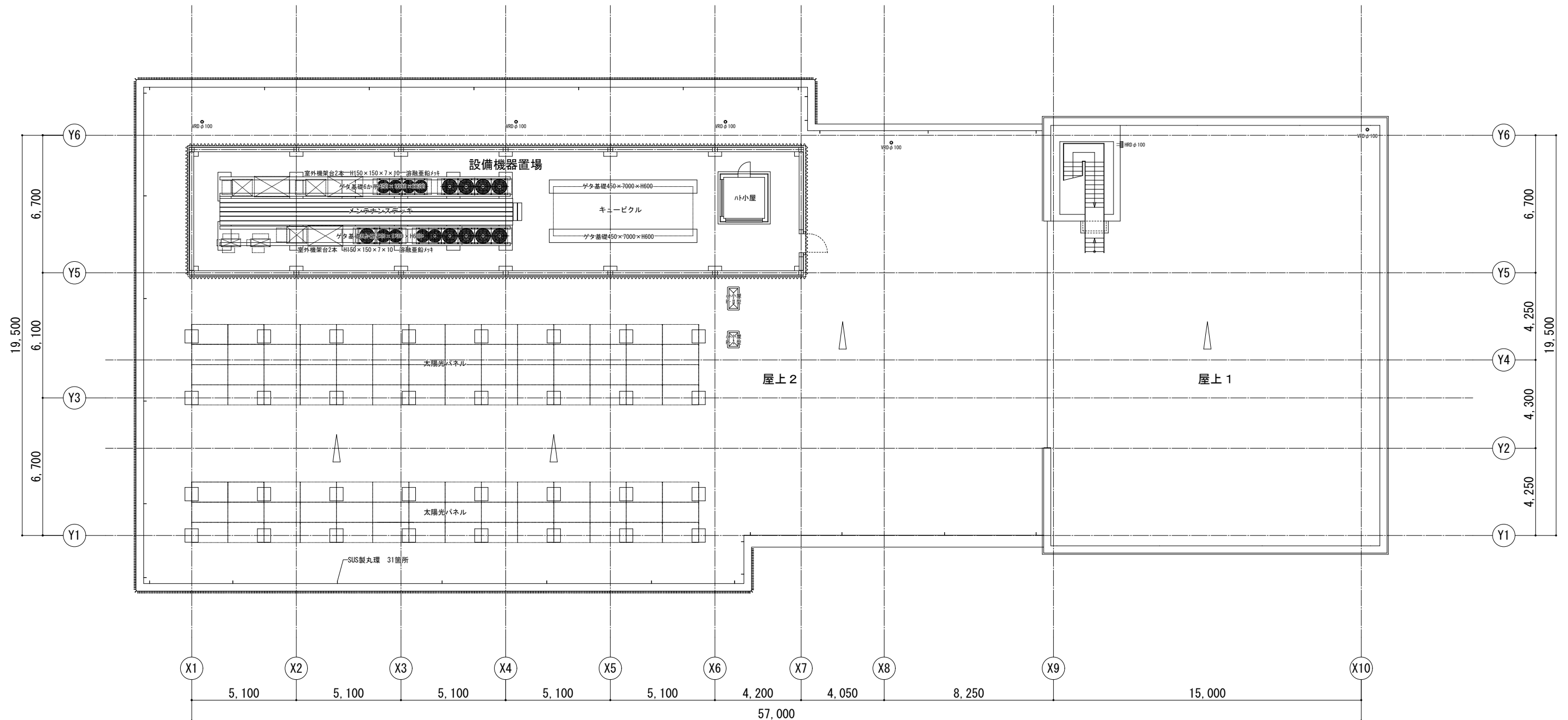
日付 2023.10
 縮尺 [A1] 1/100
 [A3] 1/200

図面番号 A-16
 意匠



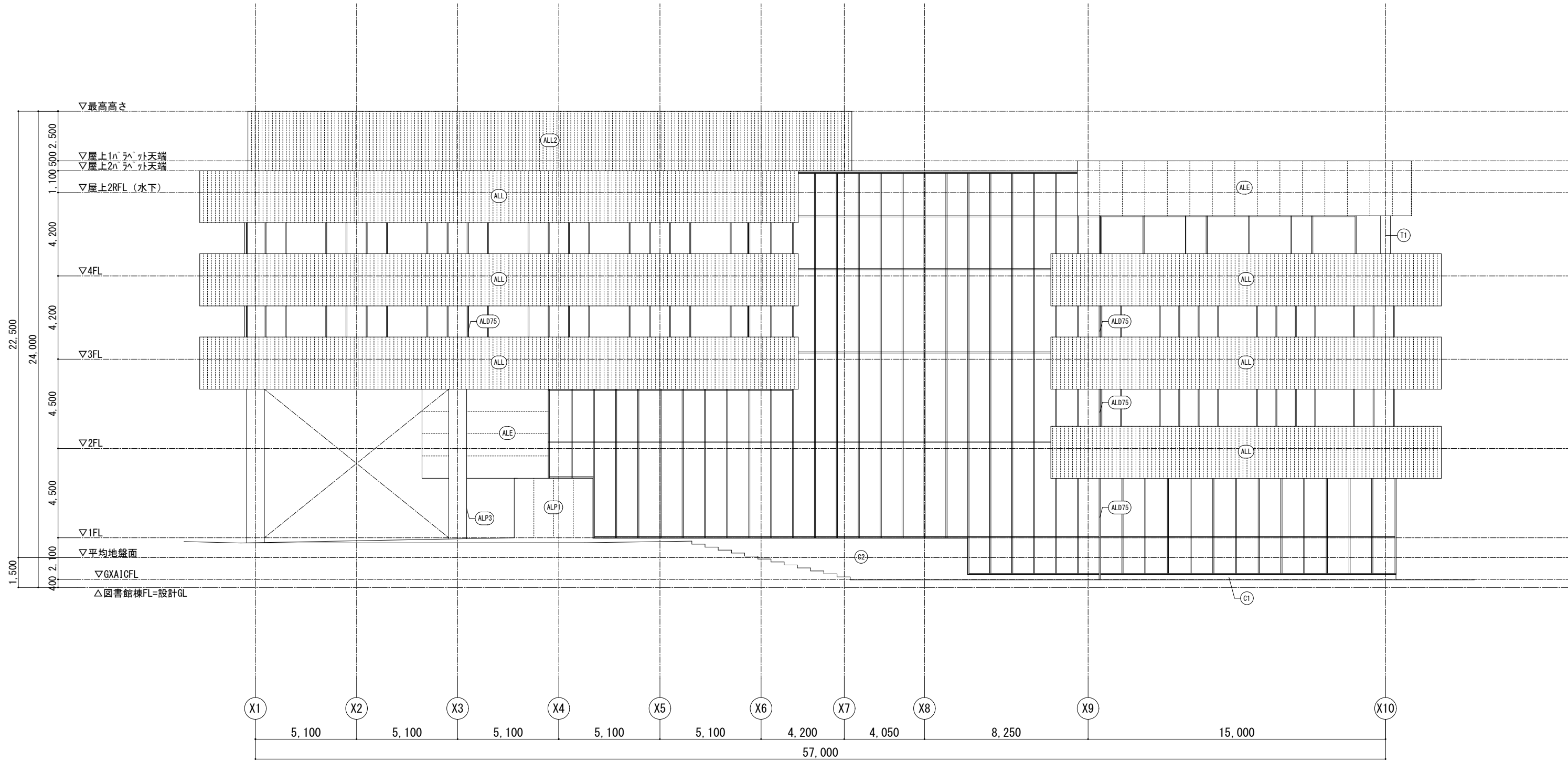






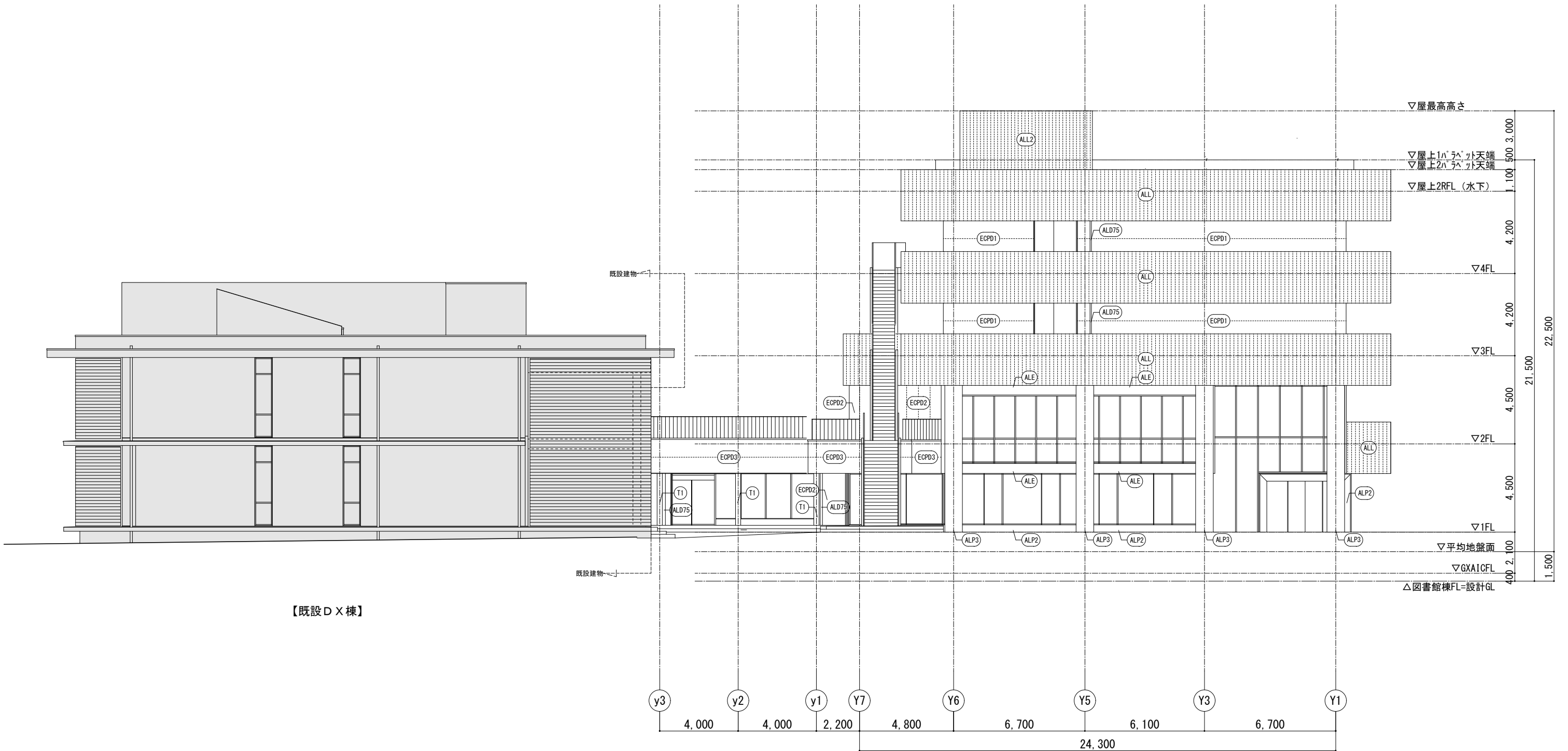
符号	仕上	下地
(ECPD1)	D.P.塗装	t60・25押出成形セメント板デザインパネル縦張り トヨタ【/ダ/】(株)同等品
(ECPD2)	D.P.塗装	t60・15押出成形セメント板デザインパネル縦張り プライムライン900【/ダ/】(株)同等品
(ECPD3)	D.P.塗装	t60・15押出成形セメント板デザインパネル縦張り プライムライン900【/ダ/】(株)同等品
(ECP1)	D.P.塗装	t60押出成形セメント板フラットパネル縦張り
(ALE)	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカン 目地部：ブラック塗装 766 リック/rr METALLICOLORS【三菱ケミカルインテック(株)同等品】	t80押出成形セメント板縦張り レキカスナストロン【/ダ/】(株)同等品
(ALP1)	t2.0焼付印刷アルミパネル 表面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼線
(ALP2)	t2.0アルミパネル フッ素樹脂焼付塗装 表面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼線
(ALP3)	t2.0アルミパネル曲面フッ素樹脂焼付塗装 表面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼線
(ALL)	t2.0アルミパネル フッ素樹脂焼付塗装 アルミ押出型材ルーバー20×100#80 電解着色B-2種 縦張り	St. アングル下地・鉄骨鋼線

符号	仕上	下地
(ALL2)	目隠しスクリーン 有孔折板AW 縦張り フォーミングスチール製パンチングパネル @175 ポリエステル樹脂静電粉体塗装	St. アングル下地 溶融亜鉛メッキの上D.P.塗装 鉄骨フレーム 溶融亜鉛メッキ
(T1)	耐火塗料	
(C1)	カラーフッ素樹脂塗装	塗装合板型枠コンクリート打放し
(C2)	クリアフッ素樹脂塗装	W120杉板本実型枠コンクリート打放し
(CE)	防水型複層塗材E	塗装合板型枠コンクリート打放し
(ALD100)	バンドレスアルミ壁礎 □100	
(ALD75)	バンドレスアルミ壁礎 □75	



符号	仕上	下地
ECPD1	D P 塗装	t60・25押出成形セメント板デザインパネル縦張り ト・316【/φ7(株)同等品】
ECPD2	D P 塗装	t60・15押出成形セメント板デザインパネル縦張り プライムライン900【/φ7(株)同等品】
ECPD3	D P 塗装	t60・15押出成形セメント板デザインパネル縦張り プライムライン900【/φ7(株)同等品】
ECP1	D P 塗装	t60押出成形セメント板フラットパネル縦張り
ALE	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカン 目地部：ブラック塗装 766 リック/フレ METALLICCOLORS【三菱ケミカルインダストリアル(株)同等品】	t80押出成形セメント板縦張り レールカスターストロンク【/φ7(株)同等品】
ALP1	t2.0焼付印刷アルミパネル 表面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼線
ALP2	t2.0アルミパネル フッ素樹脂焼付塗装 表面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼線
ALP3	t2.0アルミパネル曲面フッ素樹脂焼付塗装 表面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼線
ALL	t2.0アルミパネル フッ素樹脂焼付塗装 アルミ押出型材ルーバー20×100#80 電解着色B-2種 縦張り	St. アングル下地・鉄骨鋼線

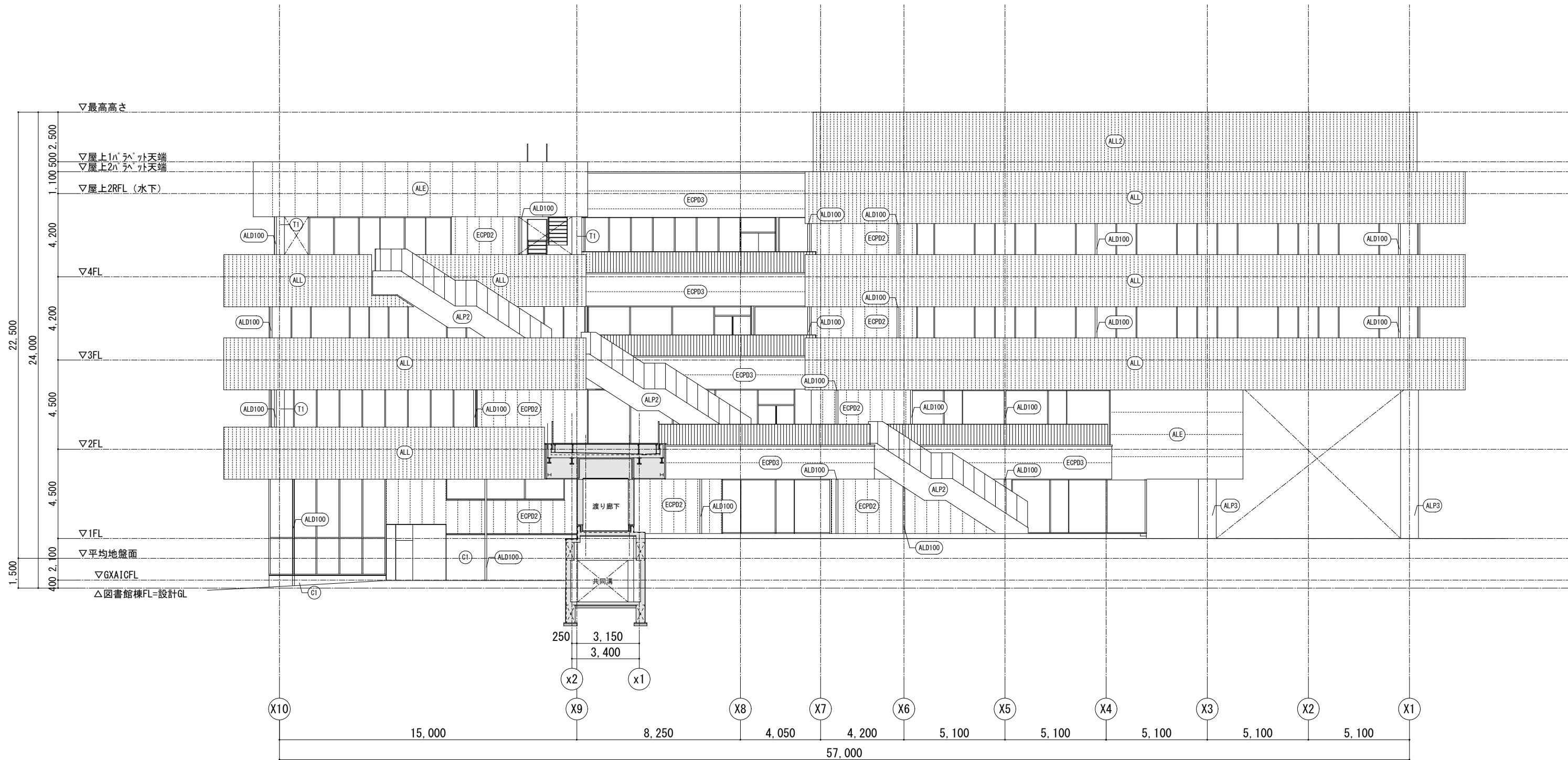
符号	仕上	下地
ALL2	目隠しスクリーン 有孔折板AW 縦張り フォーミングスチール製パンチングパネル @175 ポリエステル樹脂静電粉体塗装	St. アングル下地 溶融亜鉛メッキの上DP塗装 鉄骨フレーム 溶融亜鉛メッキ
T1	耐火塗料	
C1	カラーフッ素樹脂塗装	塗装合板型枠コンクリート打放し
C2	クリアフッ素樹脂塗装	W120杉板本実型枠コンクリート打放し
CE	防水型複層塗材E	塗装合板型枠コンクリート打放し
ALD100	バンドレスアルミ壁樋 □100	
ALD75	バンドレスアルミ壁樋 □75	



【既設D×棟】

符号	仕上	下地
ECPD1	D P 塗装	t60・25押出成形セメント板デザインパネル縦張り ト・31巾【/97(株)同等品】
ECPD2	D P 塗装	t60・15押出成形セメント板デザインパネル縦張り プライムライン900【/97(株)同等品】
ECPD3	D P 塗装	t60・15押出成形セメント板デザインパネル縦張り プライムライン900【/97(株)同等品】
ECP1	D P 塗装	t60押出成形セメント板フラットパネル縦張り
ALE	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スキャン 目地部：ブラック塗装 766 リック/フレ METALLICCOLORS【三菱ケミカルインテック(株)同等品】	t80押出成形セメント板縦張り レールカスタードロンク【/97(株)同等品】
ALP1	t2.0焼付印刷アルミパネル 裏面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼緑
ALP2	t2.0アルミパネル フッ素樹脂焼付塗装 裏面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼緑
ALP3	t2.0アルミパネル曲面フッ素樹脂焼付塗装 裏面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼緑
ALL	t2.0アルミパネル フッ素樹脂焼付塗装 アルミ押出型材ルーバー20×100#80 電解着色B-2種 縦張り	St. アングル下地・鉄骨鋼緑

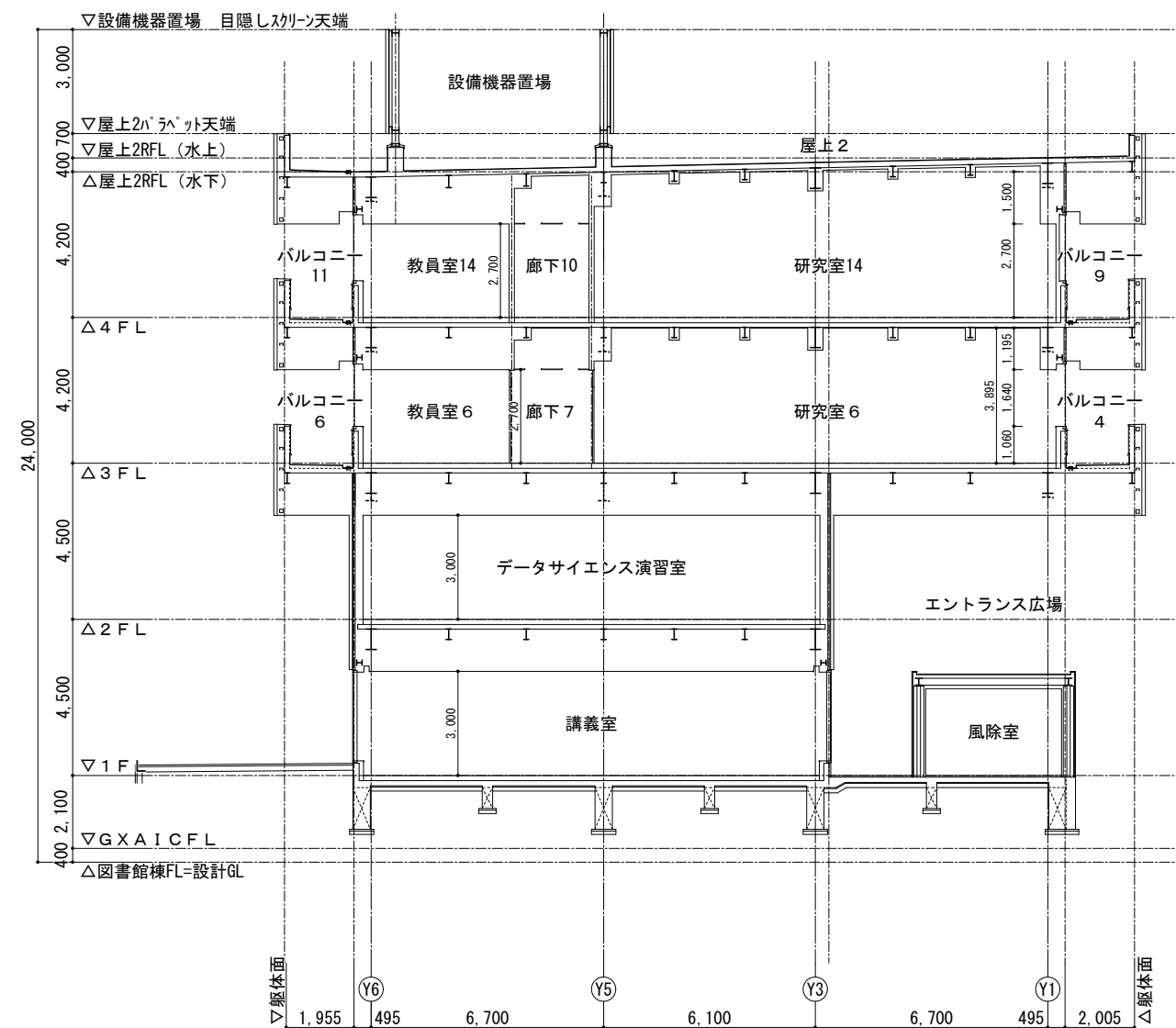
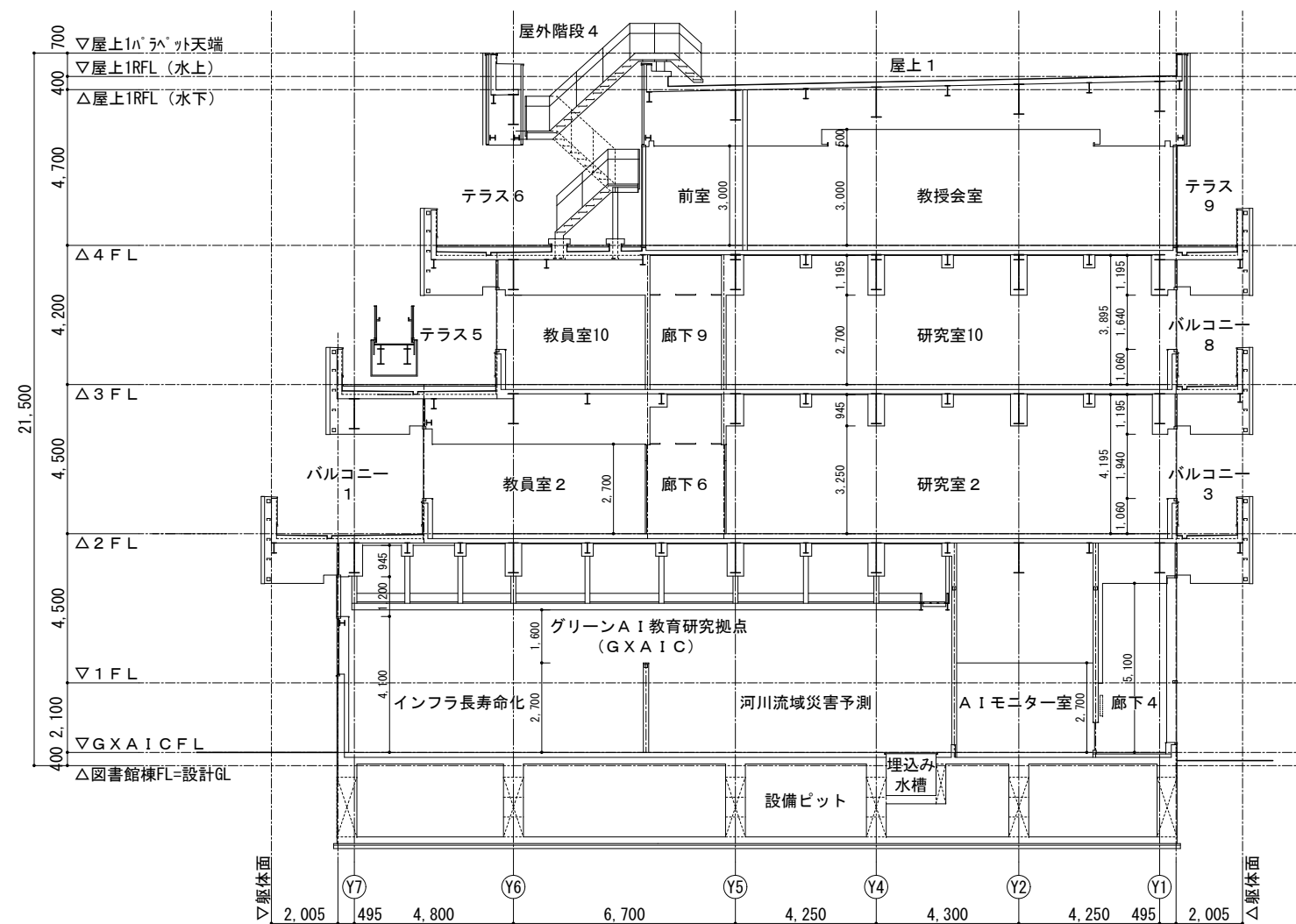
符号	仕上	下地
ALL2	目隠しスクリーン 有孔折板AW 縦張り フォーミングスチール製パンチングパネル @175 ポリエチレン樹脂静電粉体塗装	St. アングル下地 溶融亜鉛メッキの上DP塗装 鉄骨フレーム 溶融亜鉛メッキ
T1	耐火塗料	
C1	カラーフッ素樹脂塗装	塗装合板型枠コンクリート打放し
C2	クリアフッ素樹脂塗装	W120杉板本実型枠コンクリート打放し
CE	防水型複層塗材E	塗装合板型枠コンクリート打放し
ALD100	バンドレスアルミ壁礎 □100	
ALD75	バンドレスアルミ壁礎 □75	

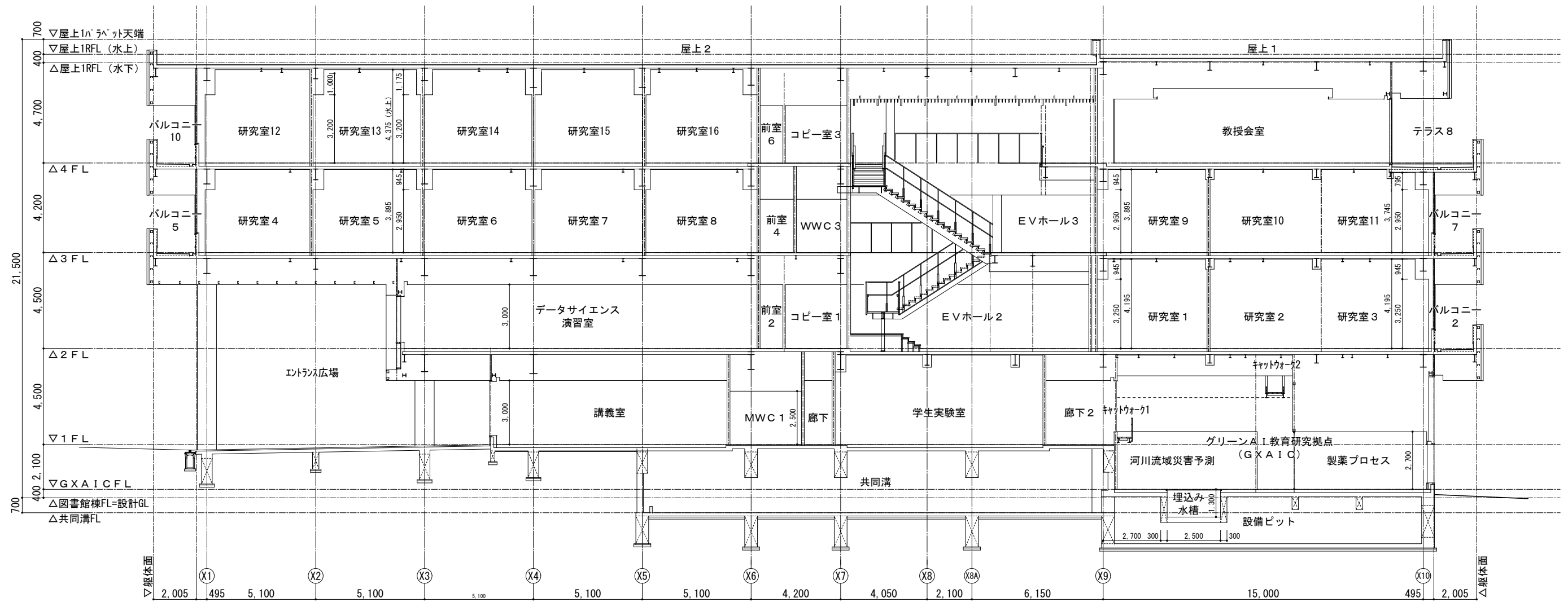


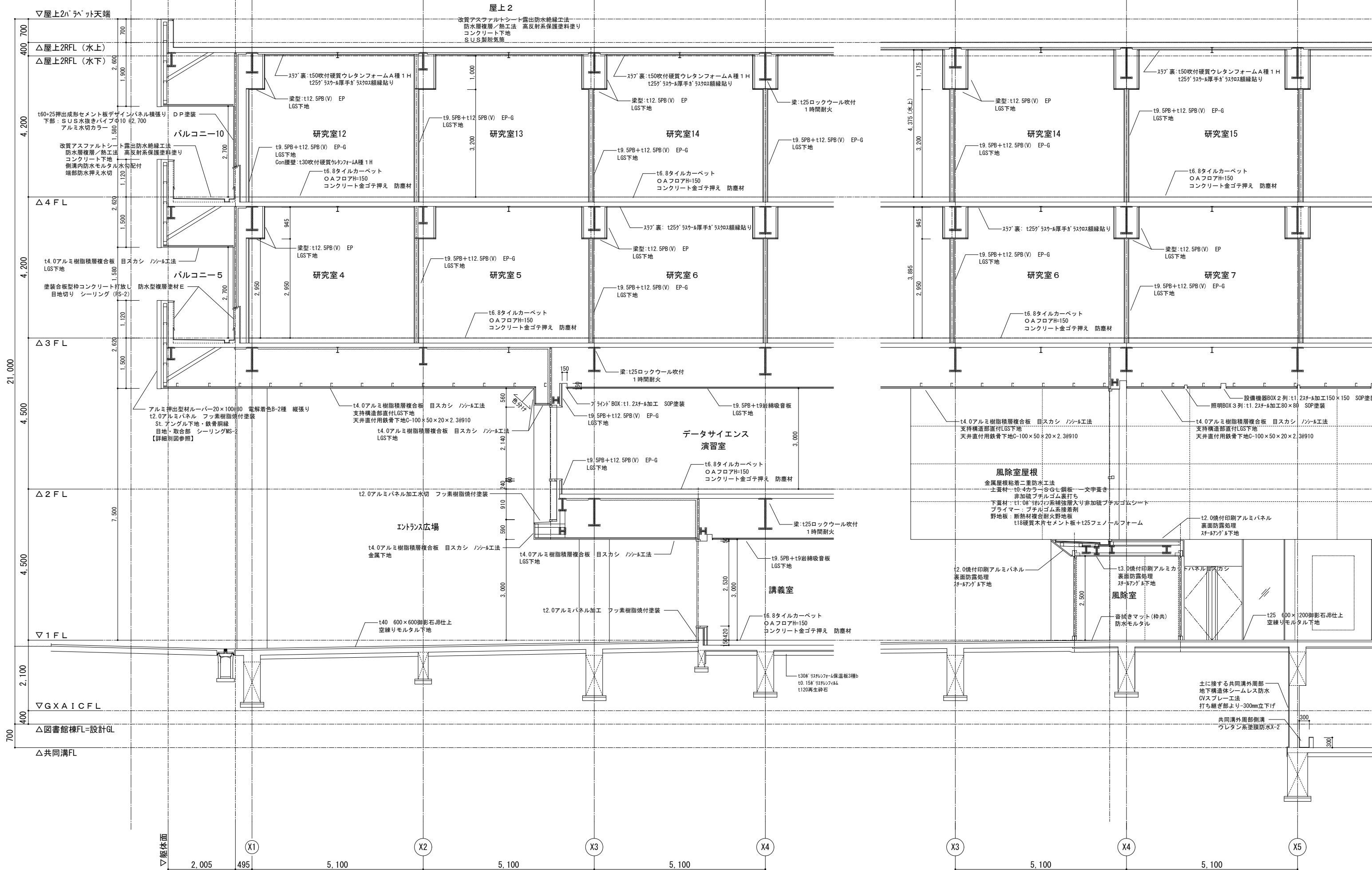
符号	仕上	下地
ECPD1	D P 塗装	t60・25押出成形セメント板デザインパネル縦張り t-35w【/97(株)同等品】
ECPD2	D P 塗装	t60・15押出成形セメント板デザインパネル縦張り プライムライン900【/97(株)同等品】
ECPD3	D P 塗装	t60・15押出成形セメント板デザインパネル縦張り プライムライン900【/97(株)同等品】
ECP1	D P 塗装	t60押出成形セメント板フラットパネル縦張り
ALE	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカン 目地部：ブラック塗装 766 リック/フレ METALLICCOLORS【三菱ケミカルインダストリアル(株)同等品】	t80押出成形セメント板縦張り レキカスナストロン【/97(株)同等品】
ALP1	t2.0焼付印刷アルミパネル 裏面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼緑
ALP2	t2.0アルミパネル フッ素樹脂焼付塗装 裏面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼緑
ALP3	t2.0アルミパネル曲面フッ素樹脂焼付塗装 裏面防露処理 目地・取合部 シーリングMS-2	St. アングル下地・鉄骨鋼緑
ALL	t2.0アルミパネル フッ素樹脂焼付塗装 アルミ押出型材ルーバー20×100#80 電解着色B-2種 縦張り	St. アングル下地・鉄骨鋼緑

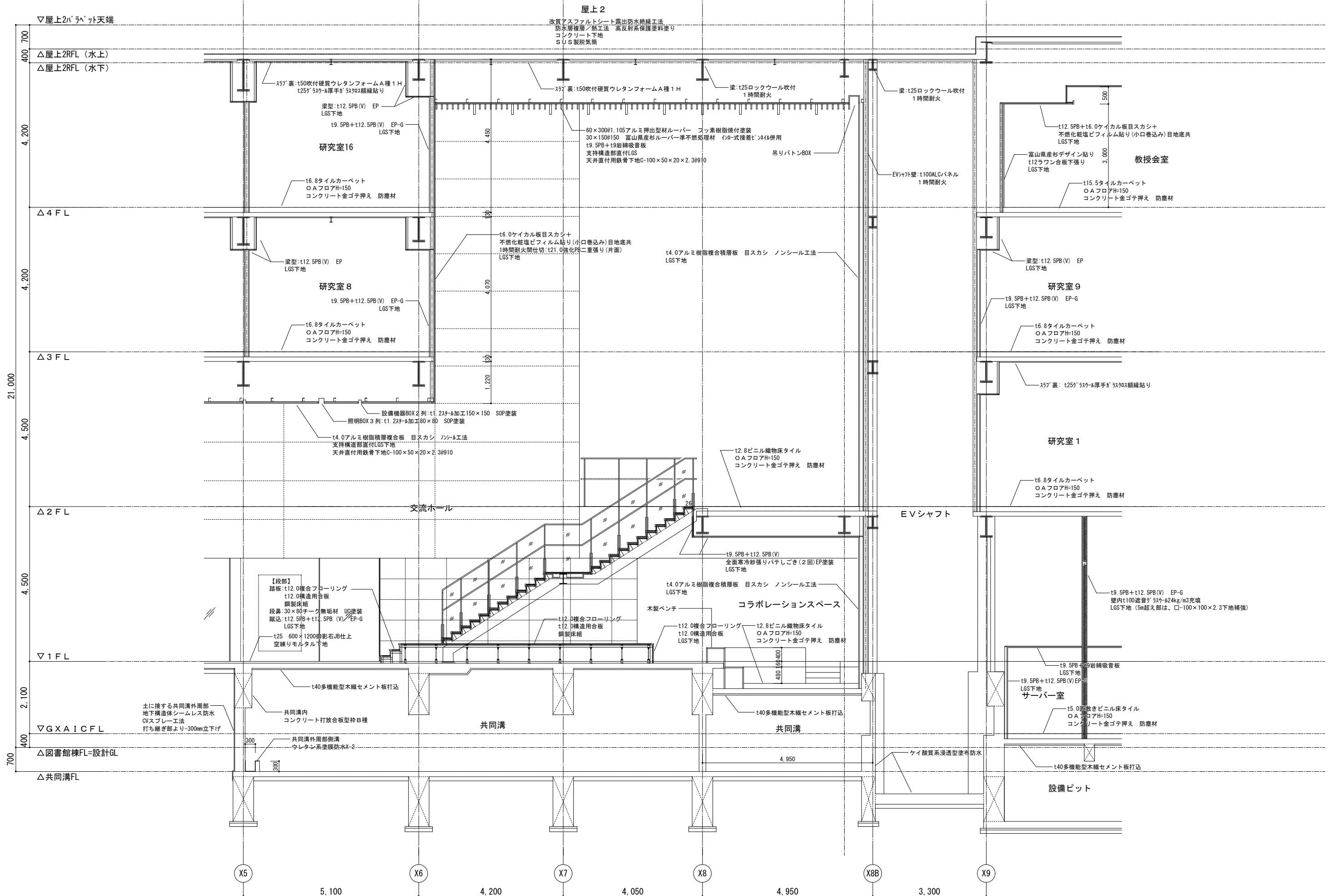
符号	仕上	下地
ALL2	目隠しスクリーン 有孔折板AW 縦張り フォーミングスチール製パンチングパネル @175 ポリエステル樹脂静電粉体塗装	St. アングル下地 溶融亜鉛メッキの上DP塗装 鉄骨フレーム 溶融亜鉛メッキ
T1	耐火塗料	
C1	カラーフッ素樹脂塗装	塗装合板型枠コンクリート打放し
C2	クリアフッ素樹脂塗装	W120杉板本実型枠コンクリート打放し
CE	防水型複層塗材E	塗装合板型枠コンクリート打放し
ALD100	バンドレスアルミ壁礎 □100	
ALD75	バンドレスアルミ壁礎 □75	

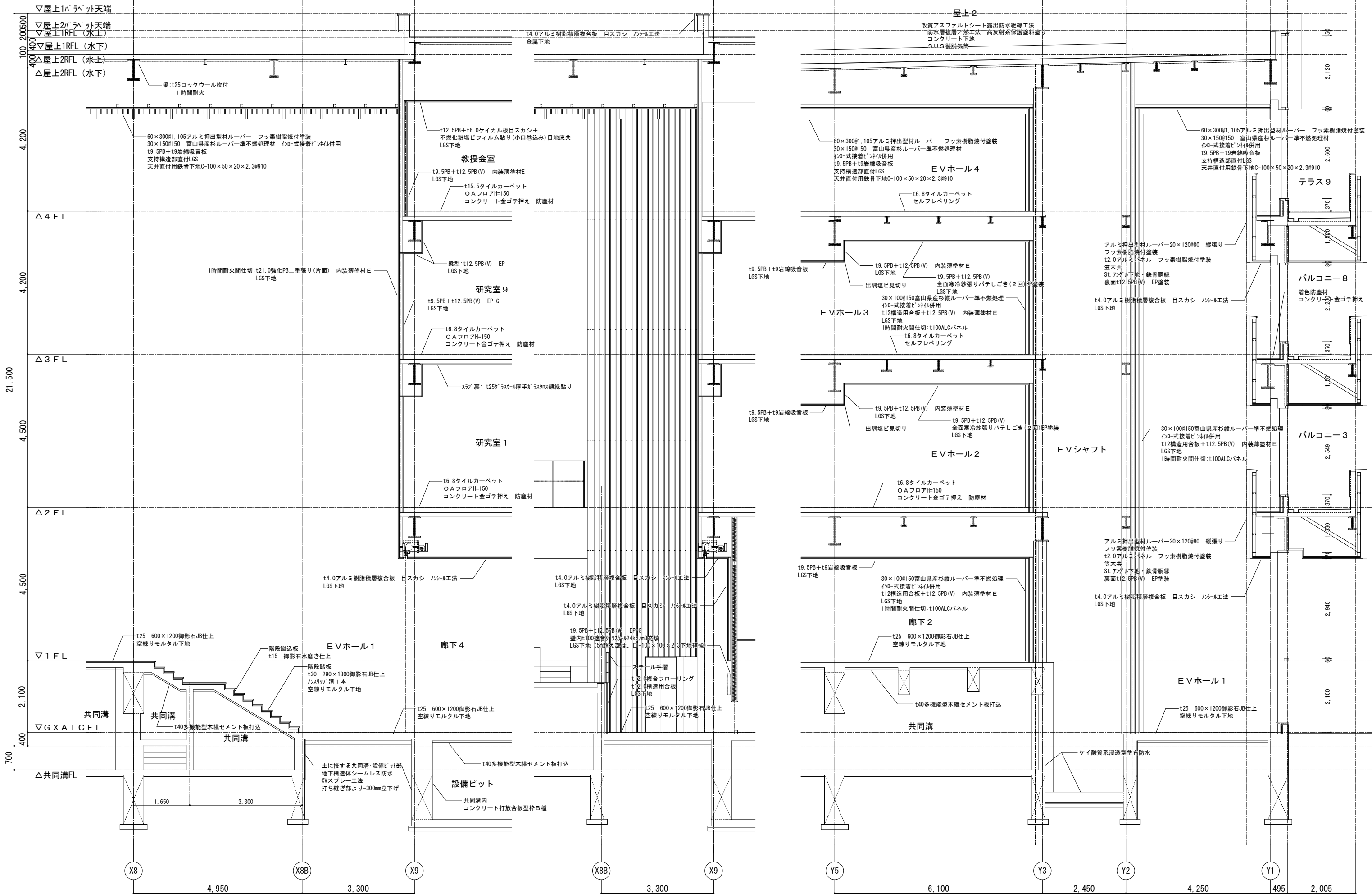


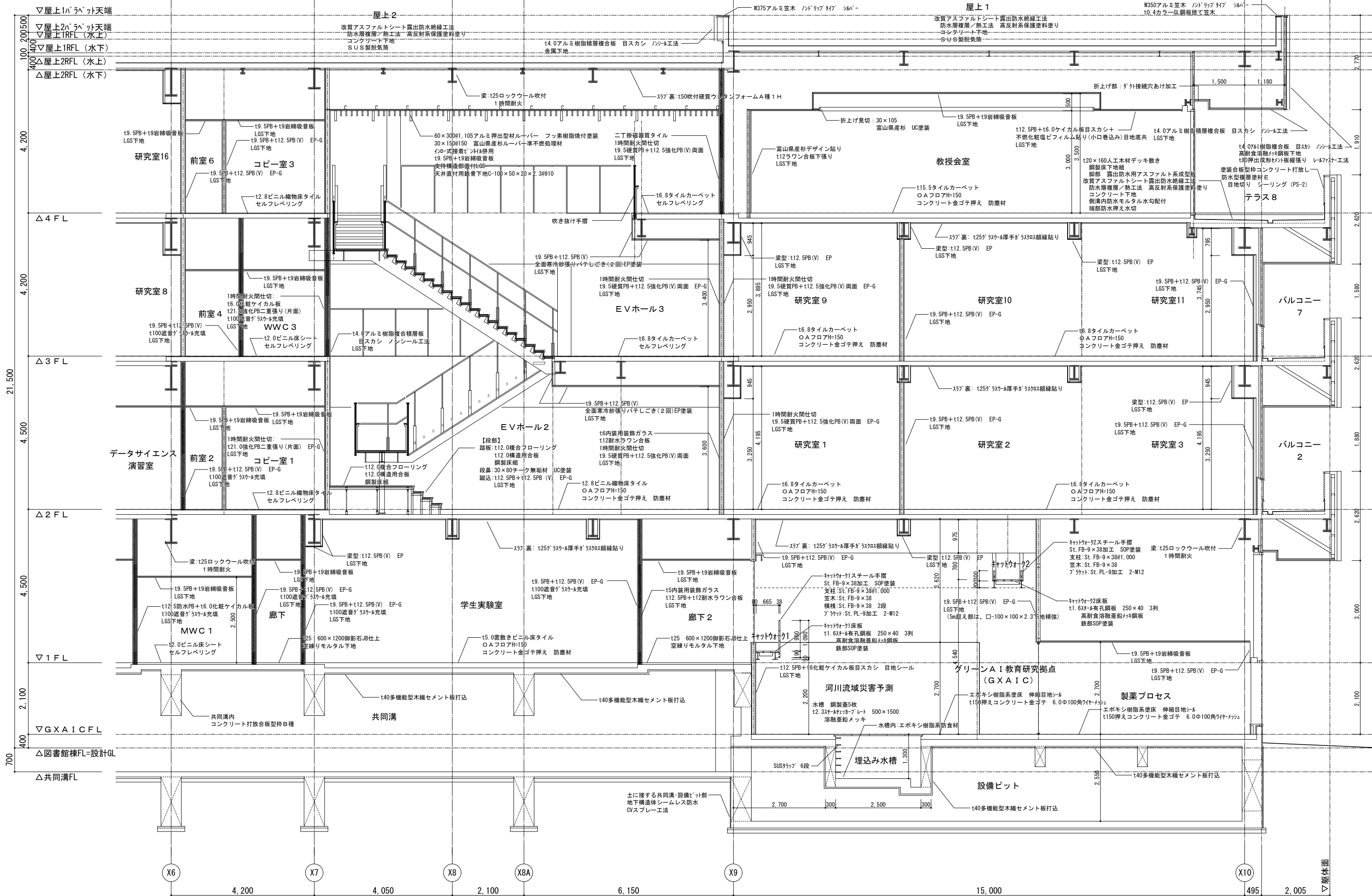


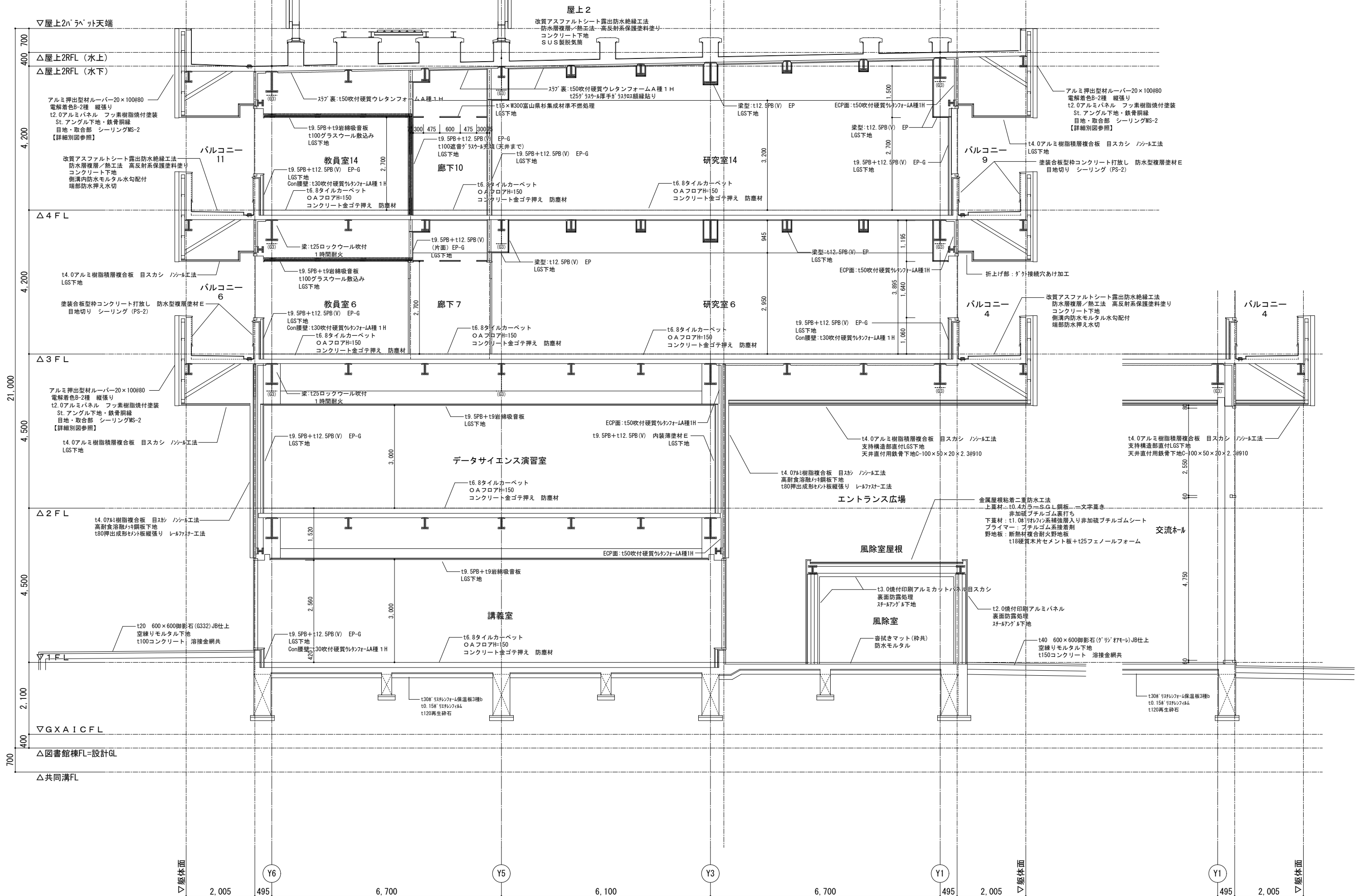


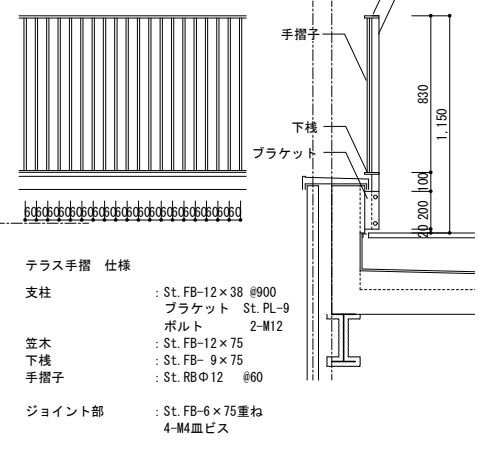
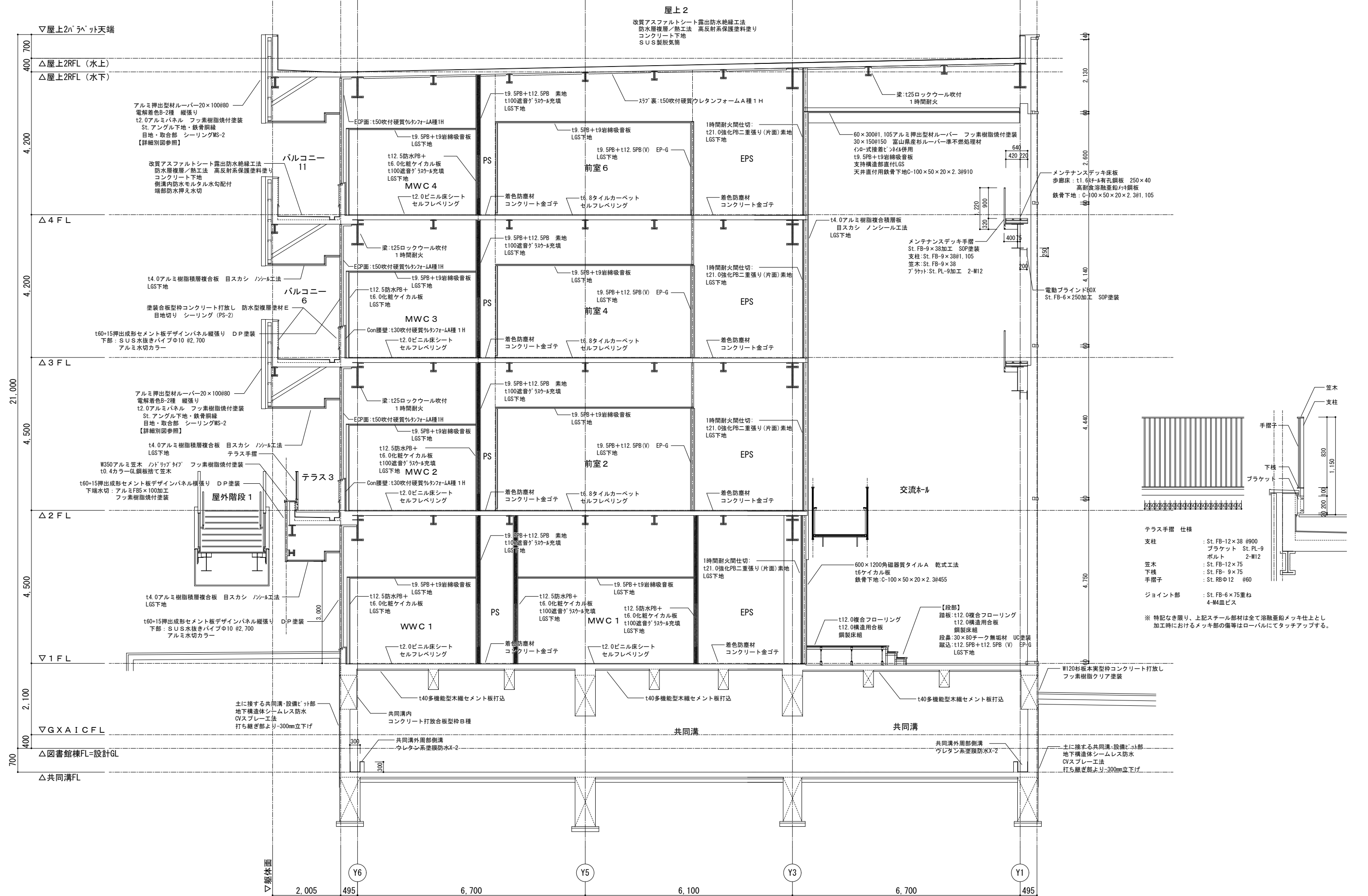




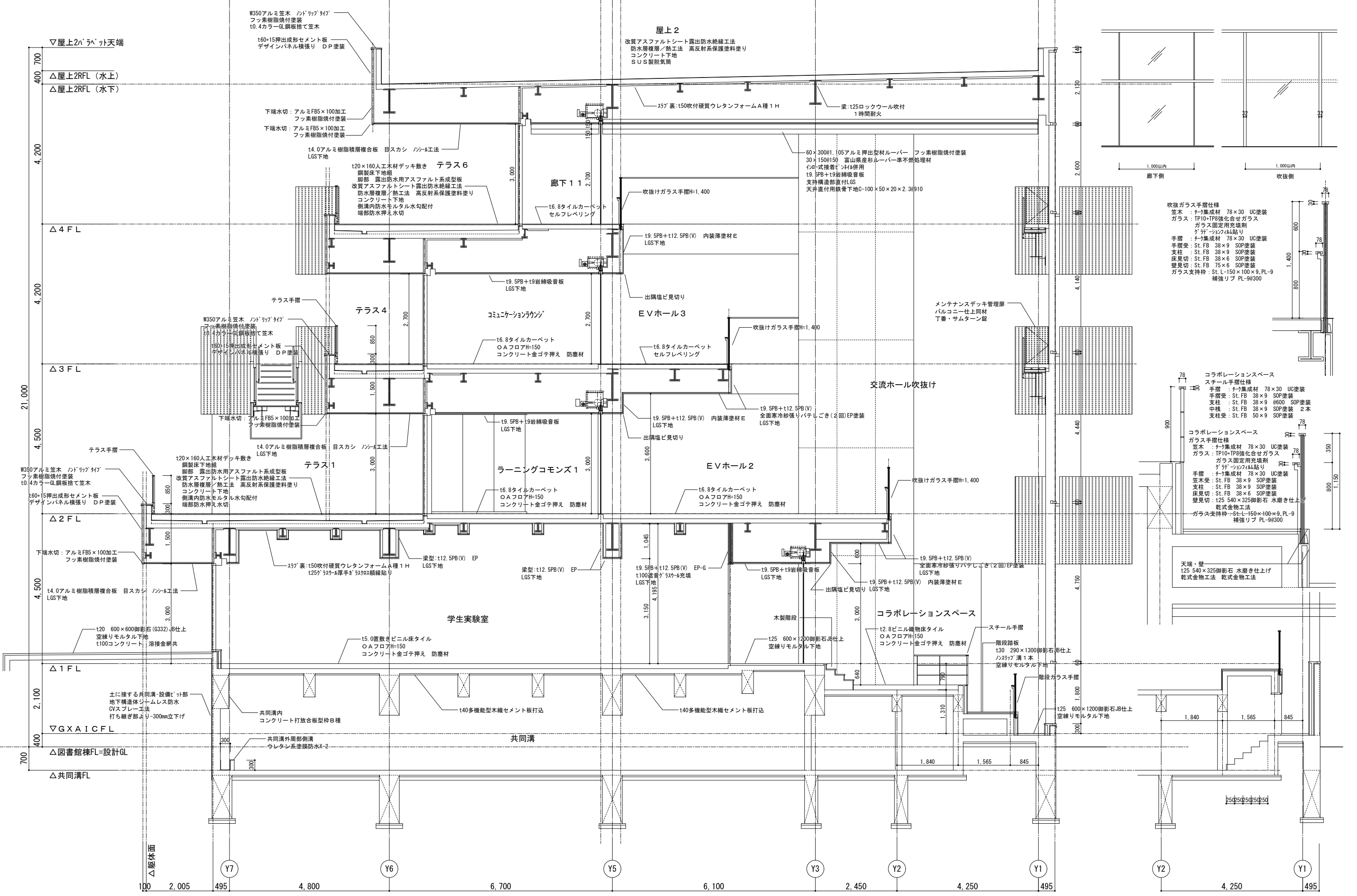








- テラス手摺 仕様
- 支柱 : St. FB-12×38 #900
 - ブラケット : St. PL-9
 - ボルト : 2-M12
 - 笠木 : St. FB-12×75
 - 下板 : St. FB-9×75
 - 手摺子 : St. RBΦ12 #60
 - ジョイント部 : St. FB-6×75重ね
 - 4-M4ビス
- ※ 特記なき限り、上記スチール部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上とし加工時におけるメッキ部の傷等はローバルにてタッチアップする。

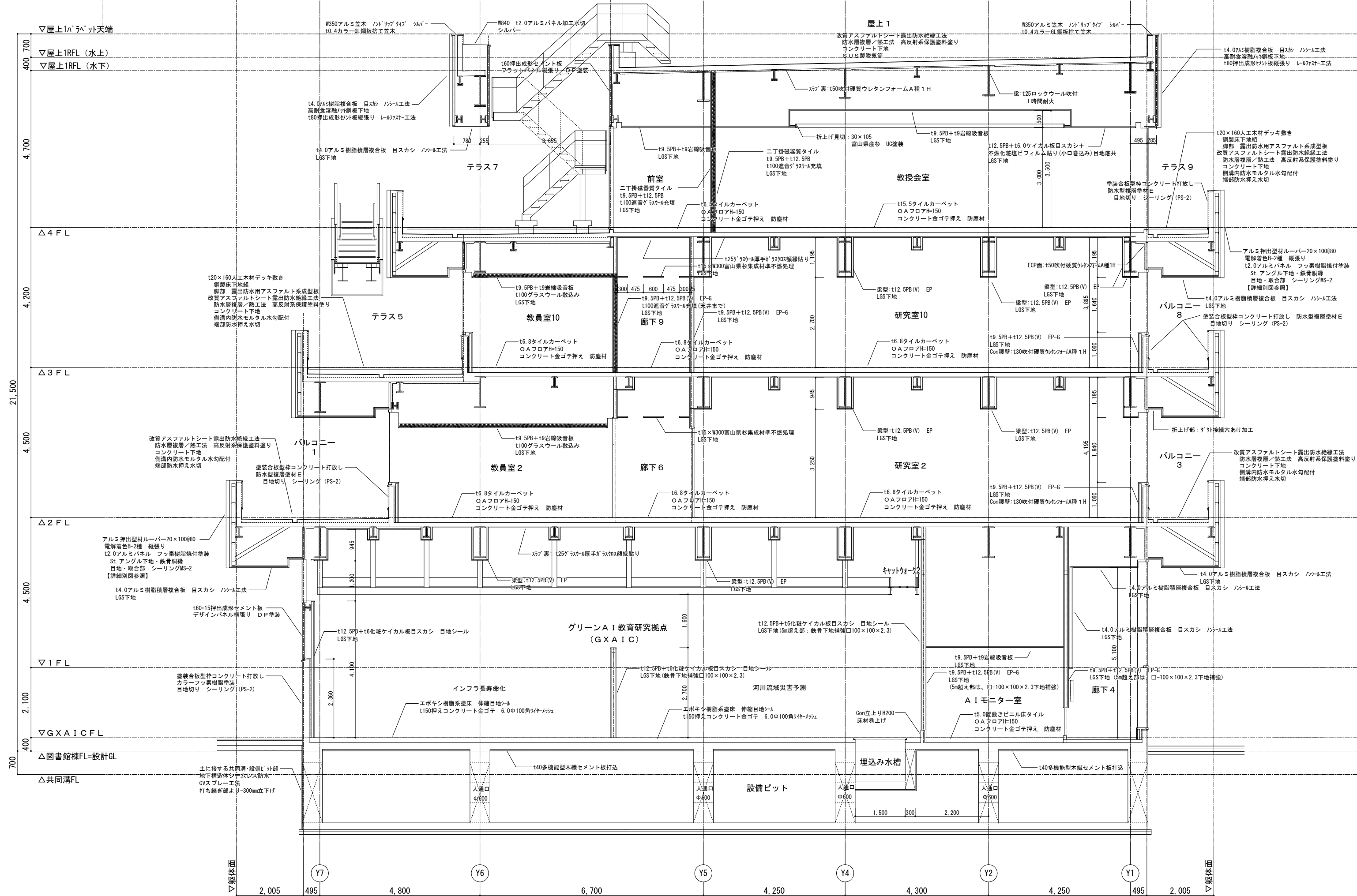


吹抜ガラス手摺仕様
 笠木：チリ集成材 78×30 UC塗装
 ガラス：TP10+TP8強化合せガラス
 ガラス固定用充填剤
 ケーシング4mm貼り
 手摺：チリ集成材 78×30 UC塗装
 手摺受：St.FB 38×9 SOP塗装
 支柱：St.FB 38×9 SOP塗装
 床見切：St.FB 38×6 SOP塗装
 壁見切：St.FB 75×6 SOP塗装
 ガラス支持枠：St.L-150×100×9、PL-9
 補強リブ PL-9#300

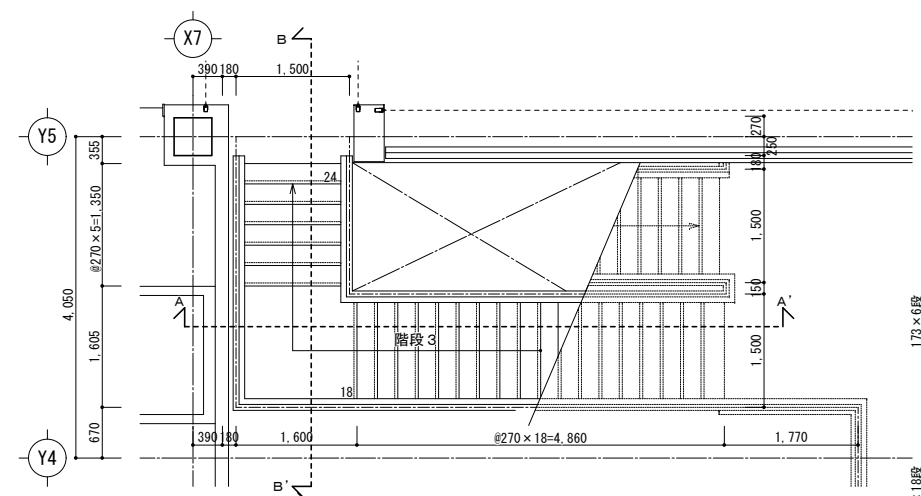
コラボレーションスペース
 スチール手摺仕様
 手摺：チリ集成材 78×30 UC塗装
 手摺受：St.FB 38×9 SOP塗装
 支柱：St.FB 38×9 #600 SOP塗装
 中横：St.FB 38×9 SOP塗装 2本
 支柱受：St.FB 50×9 SOP塗装

コラボレーションスペース
 ガラス手摺仕様
 笠木：チリ集成材 78×30 UC塗装
 ガラス：TP10+TP8強化合せガラス
 ガラス固定用充填剤
 ケーシング4mm貼り
 手摺：チリ集成材 78×30 UC塗装
 笠木受：St.FB 38×9 SOP塗装
 支柱：St.FB 38×9 SOP塗装
 床見切：St.FB 38×6 SOP塗装
 壁見切：t25 540×325御影石 水磨き仕上げ
 乾式金物工法
 ガラス支持枠：St.L-150×100×9、PL-9
 補強リブ PL-9#300

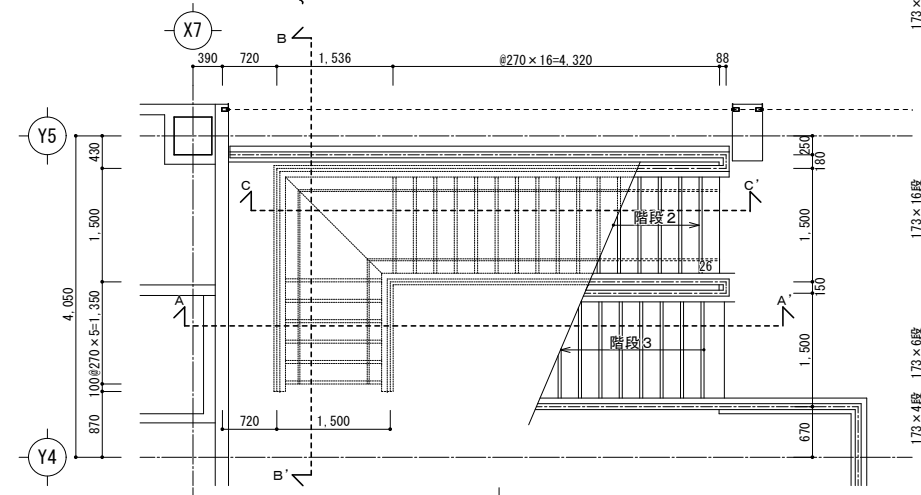
天井・壁
 t25 540×325御影石 水磨き仕上げ
 乾式金物工法



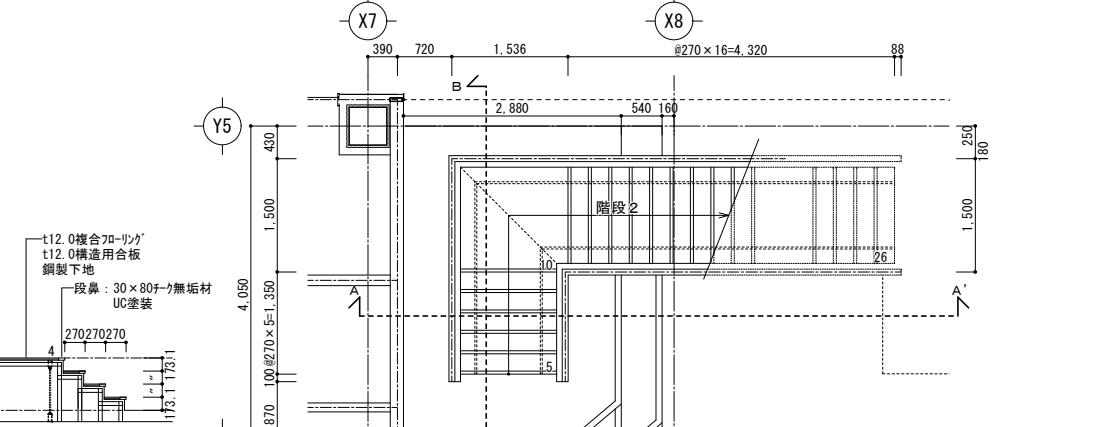
4階平面図



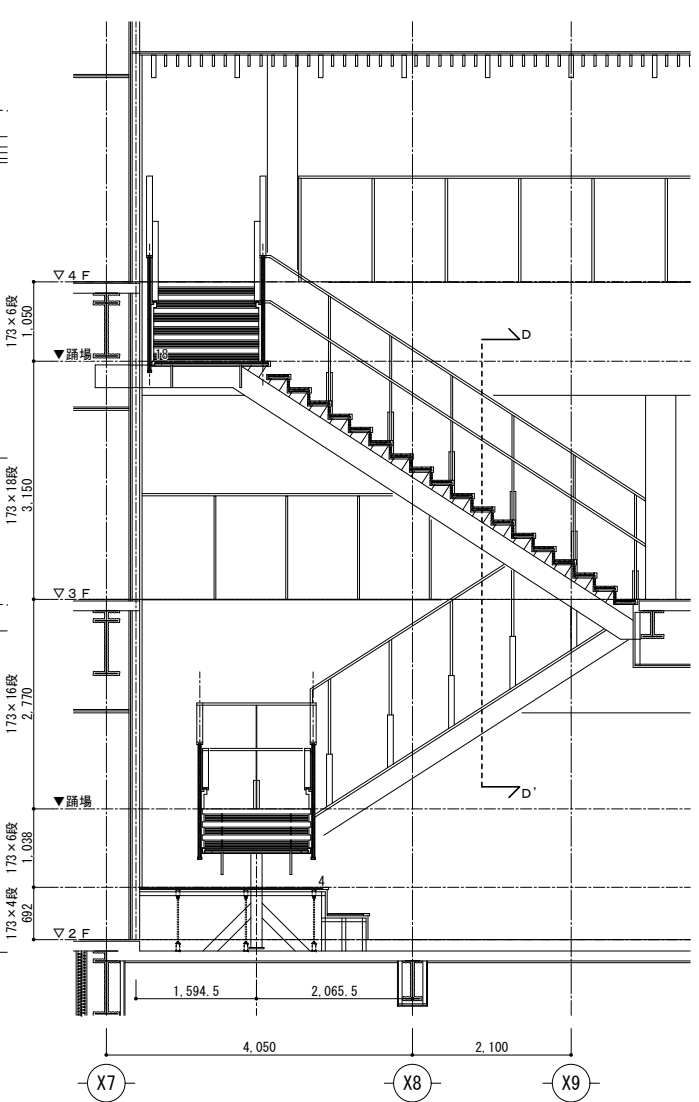
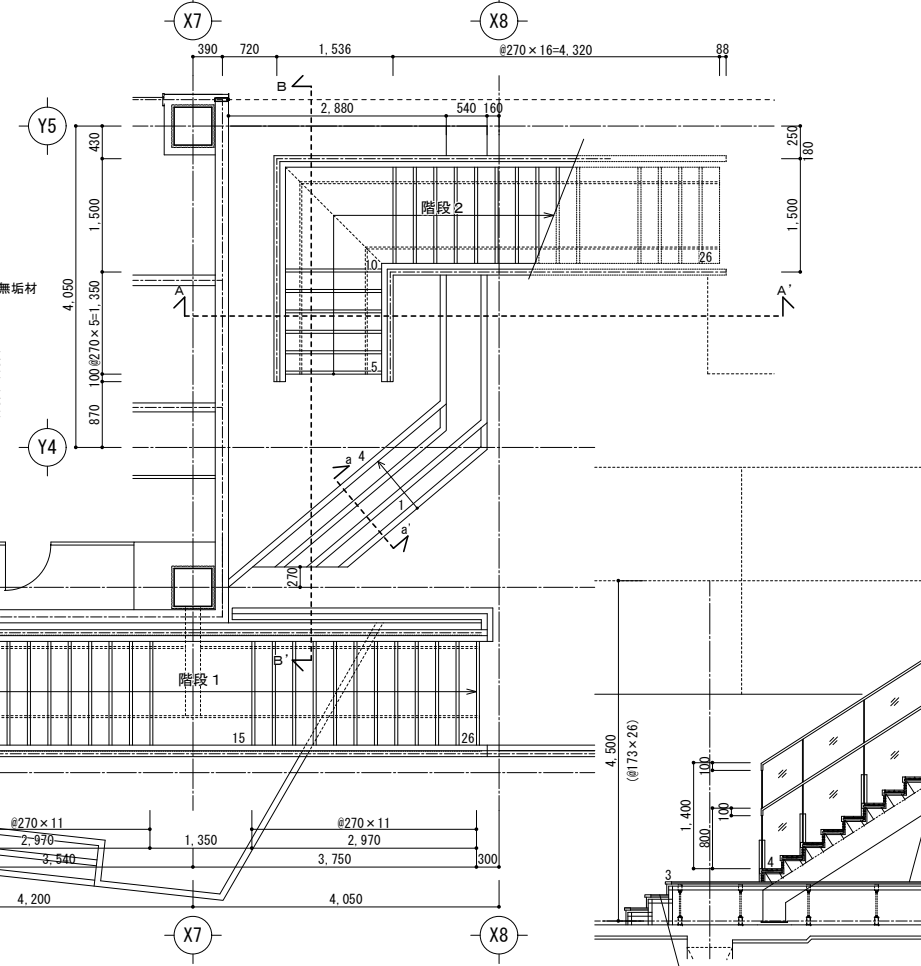
3階平面図



a-a'断面図

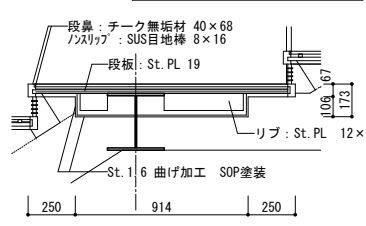


1・2階平面図

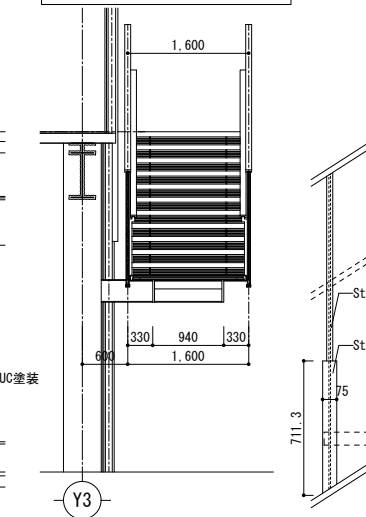


A-A'断面図

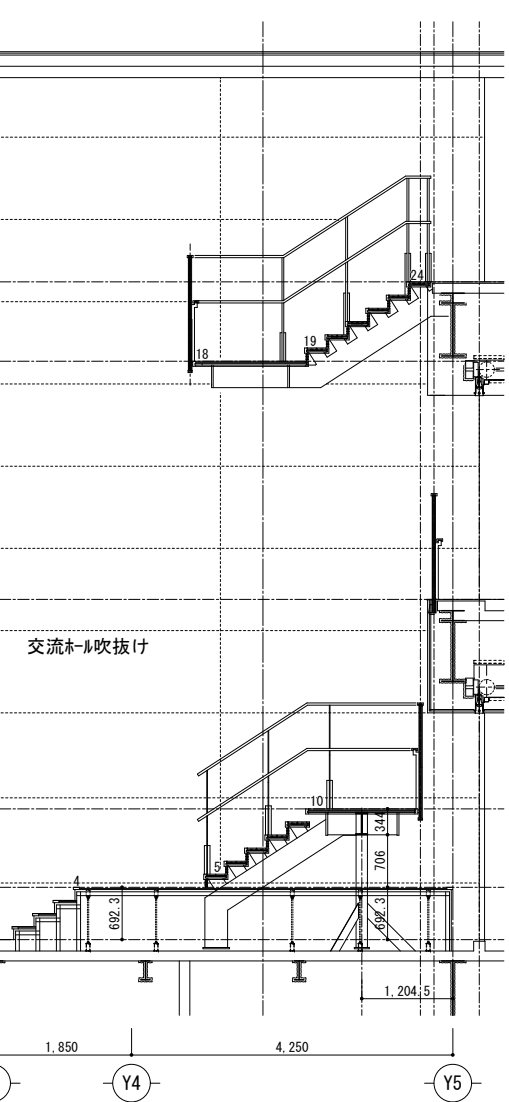
2~4階 階段断面図



階段1 踊場詳細図 1/20



階段1断面図2 1/20

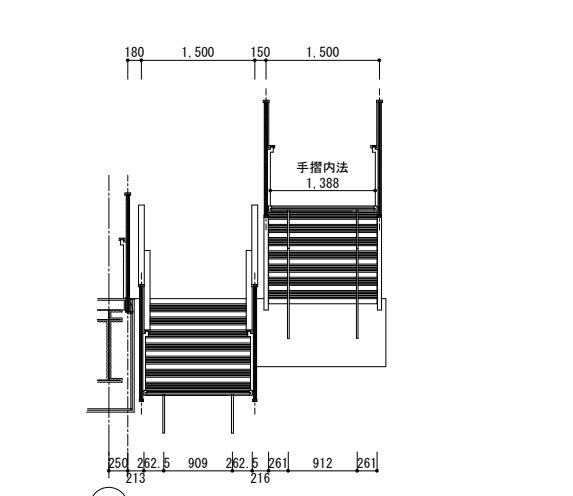


B-B'断面図

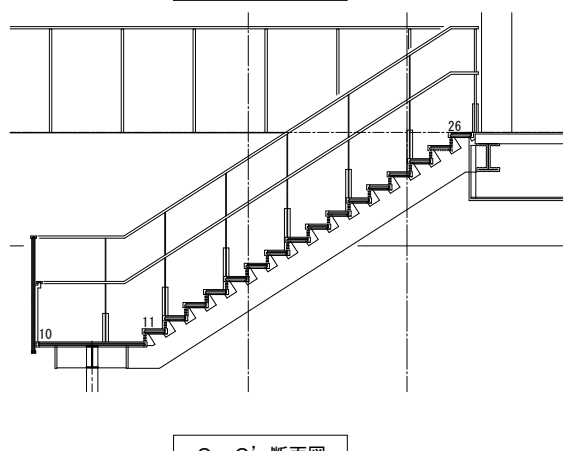
階段詳細図 1/20

ガラス手摺支柱A-A'詳細図 1/5

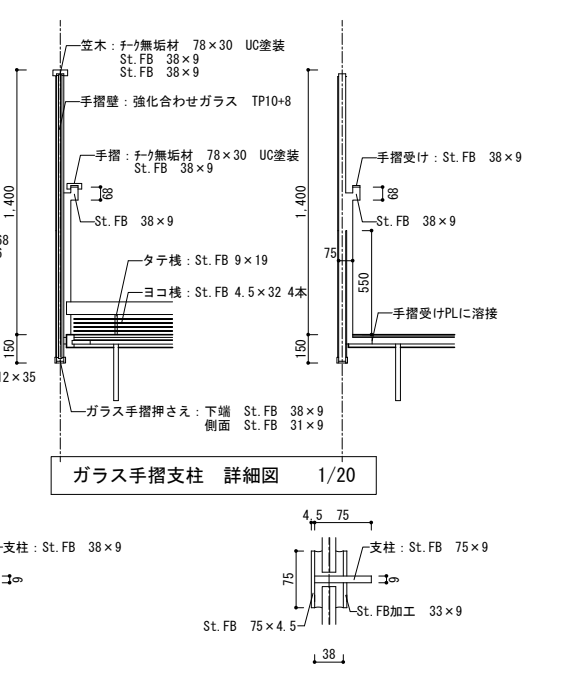
ガラス手摺支柱B-B'詳細図 1/5



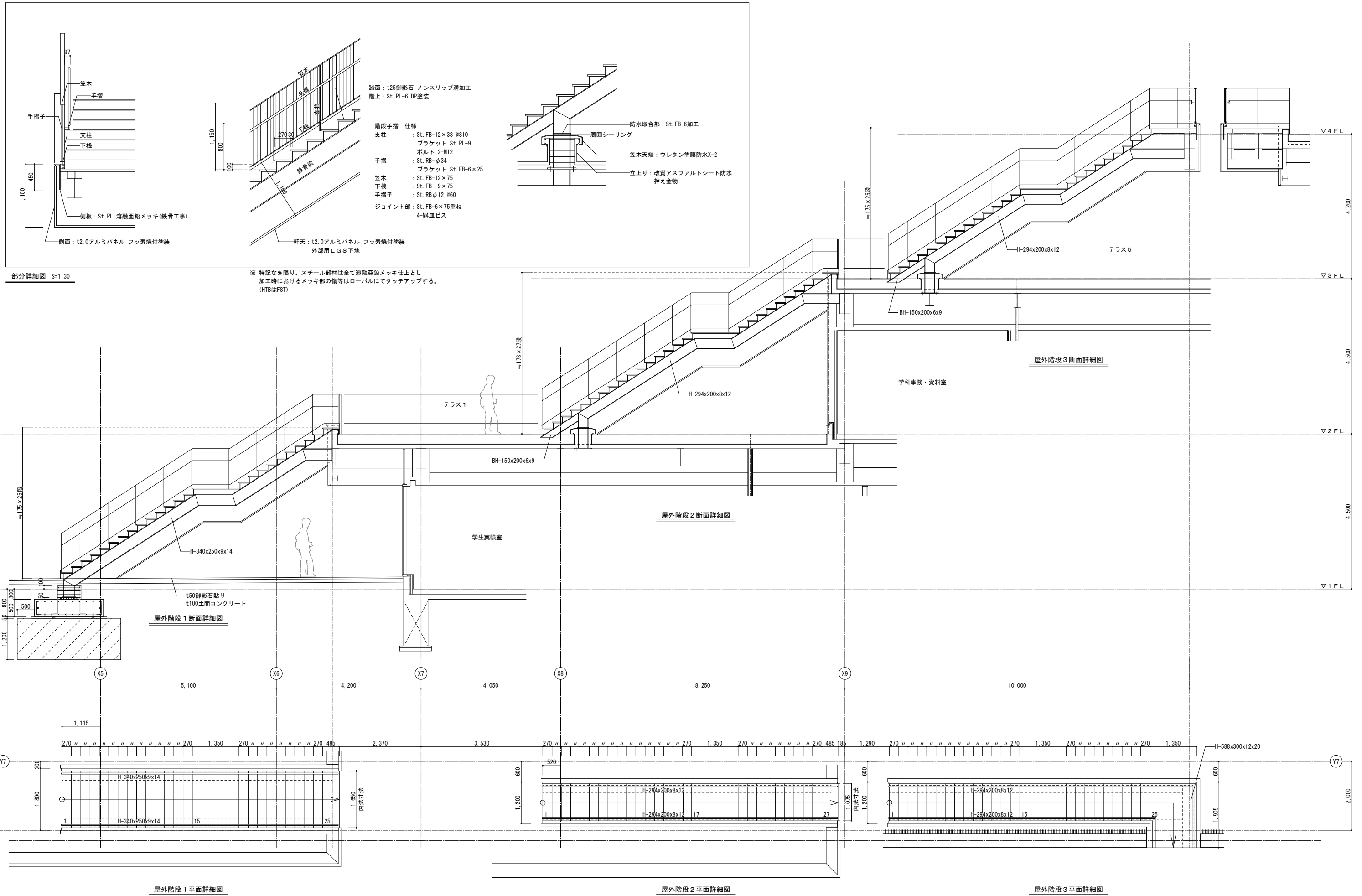
D-D'断面図

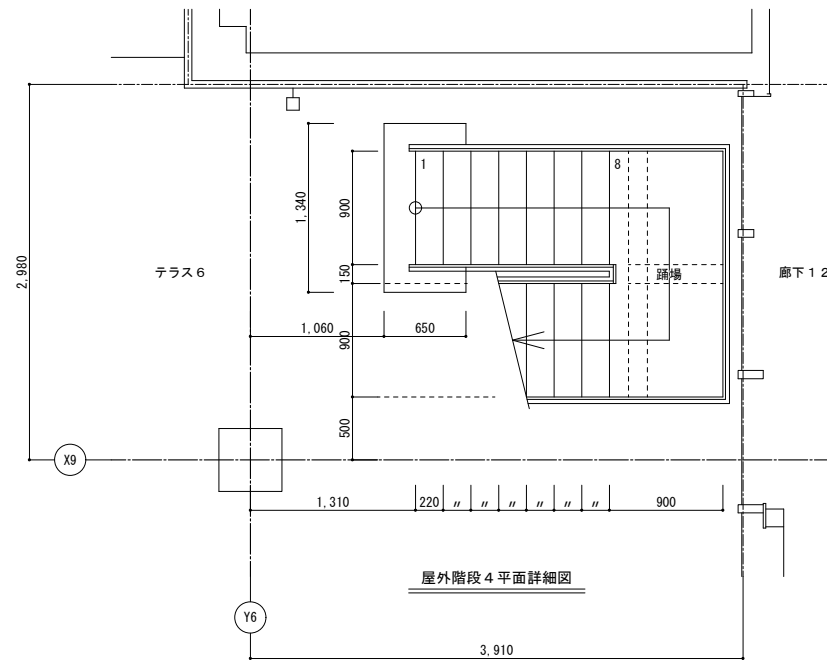


C-C'断面図

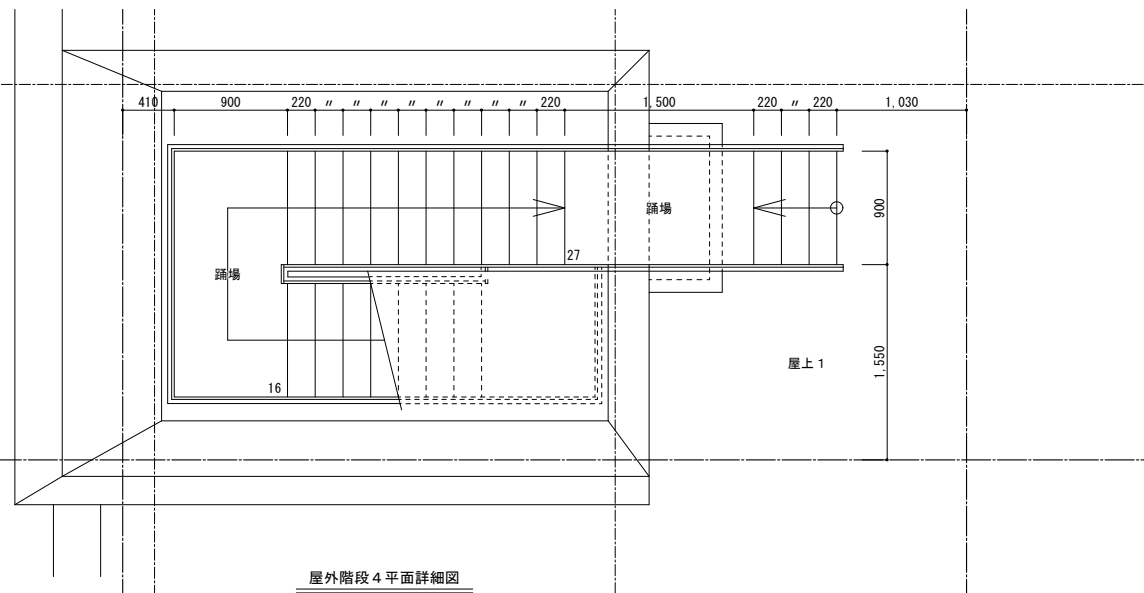


ガラス手摺支柱 詳細図 1/20



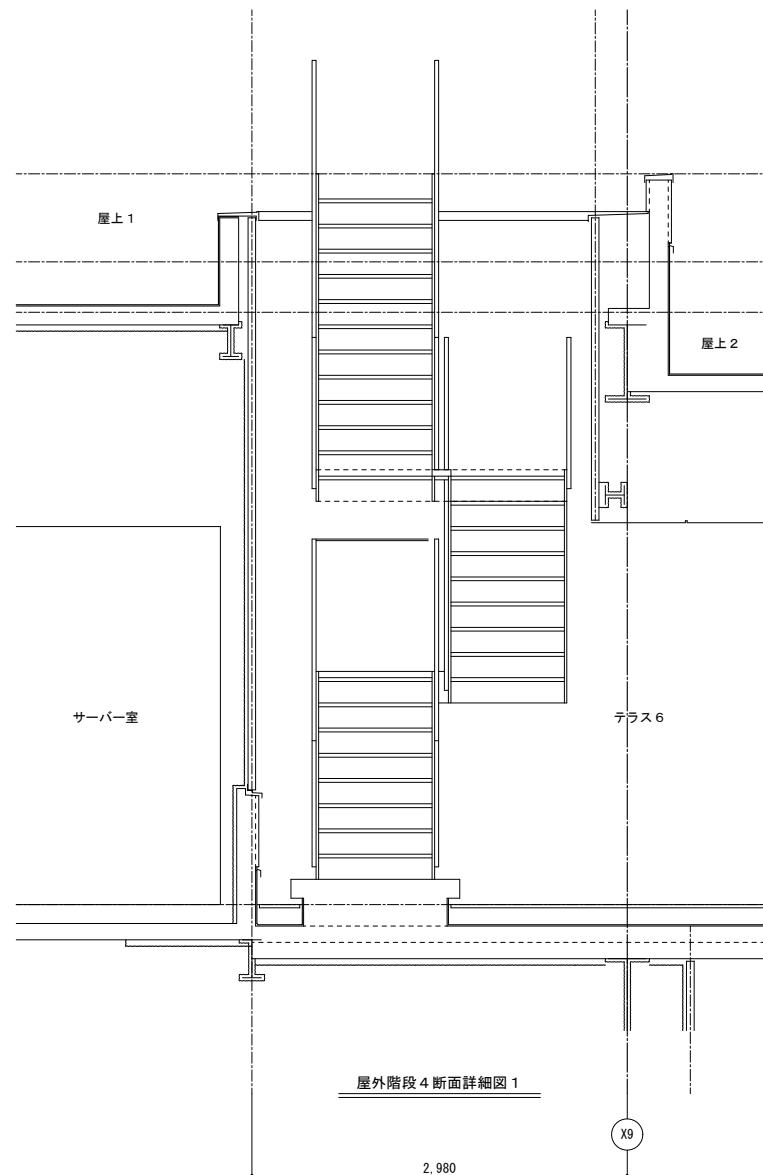


屋外階段4平面詳細図

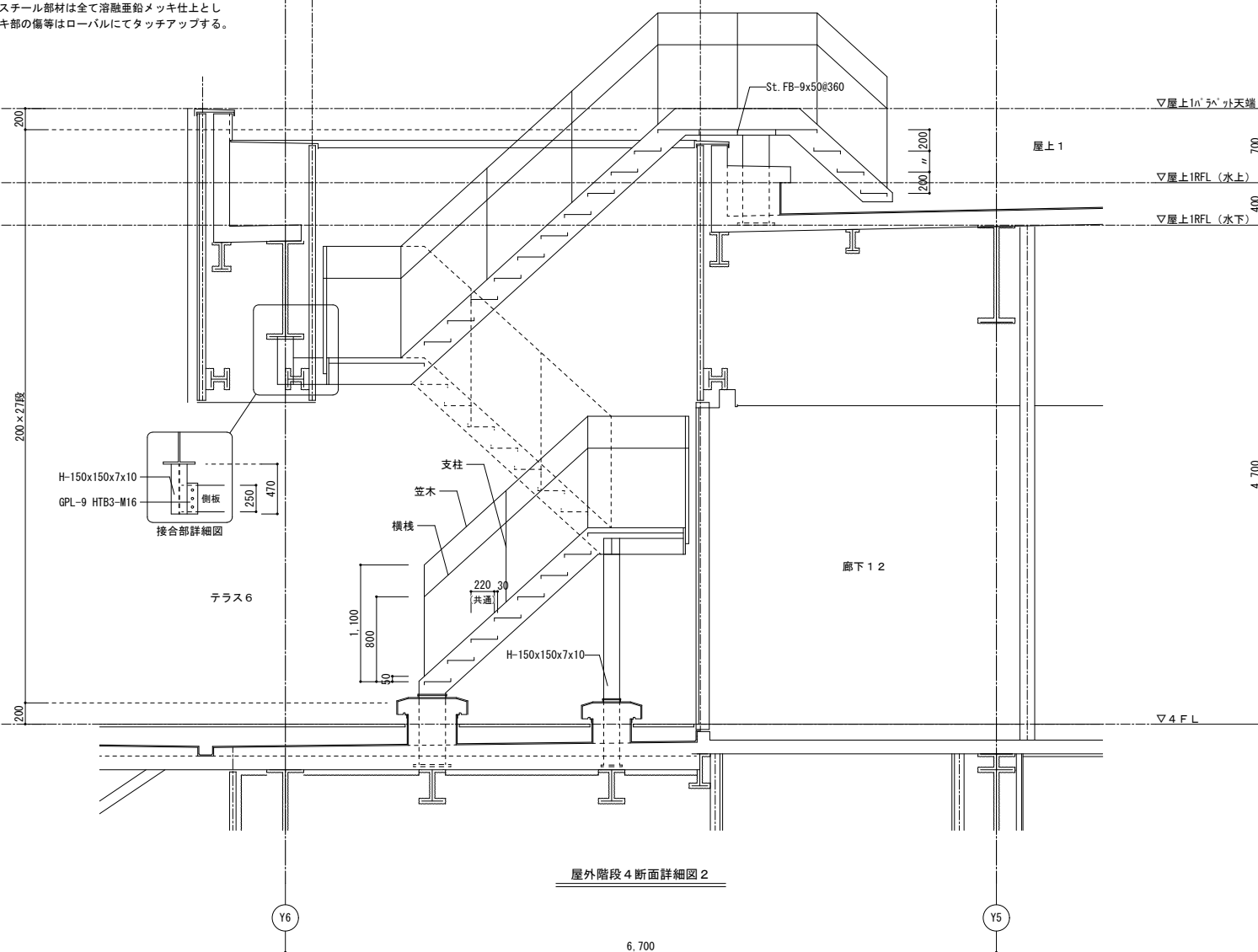


屋外階段4平面詳細図

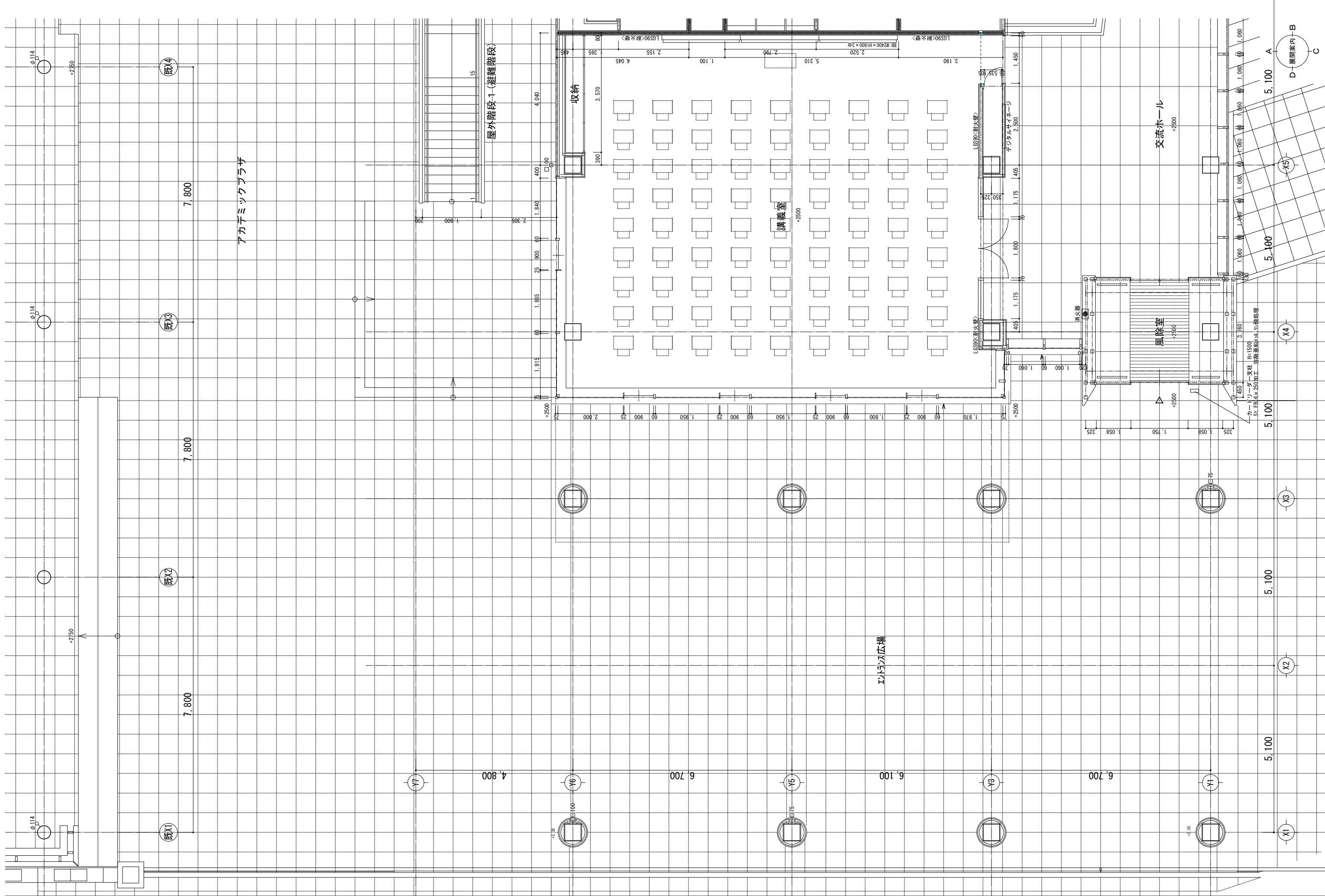
- 階段仕様
 側板: St. PL-9×250
 踏面: St. CPL-4.5 (踏場はSt. CPL-6) 端部H30曲げ加工
- 手摺仕様
 支柱: St. FB-12×32 #800以内
 ブラケット St. PL-9 側板外側に取付け
 ボルト 2-M12
 笠木・横棧: St. FB-12×32
 ジョイント部: St. FB-6×32重ね 4-M4皿ビス
- ※特記なき限り、上記スチール部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上とし加工時におけるメッキ部の傷等はローバルにてタッチアップする。(HTBIはF8T)

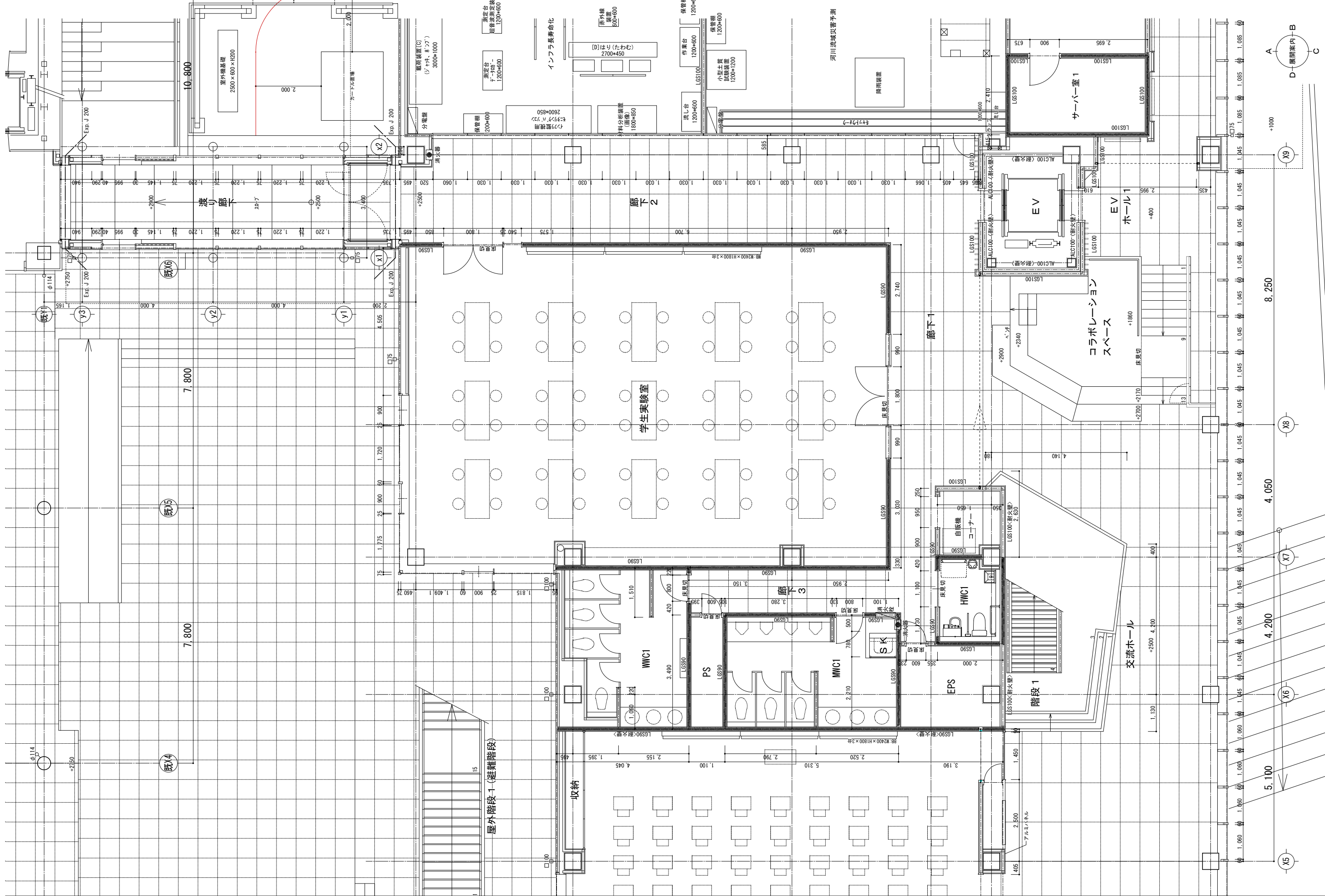


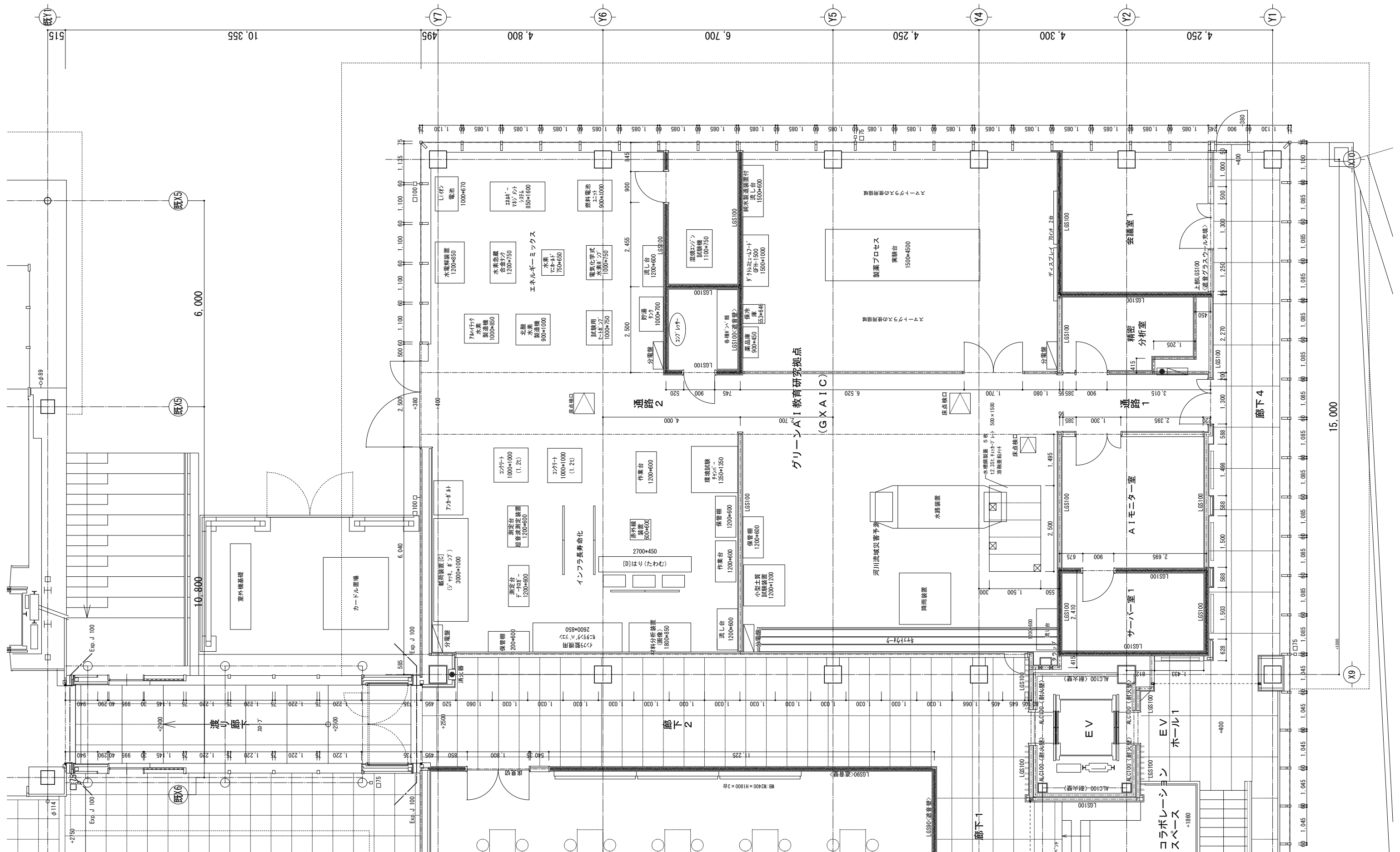
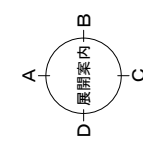
屋外階段4断面詳細図1



屋外階段4断面詳細図2







株式会社 福見建築設計事務所
 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

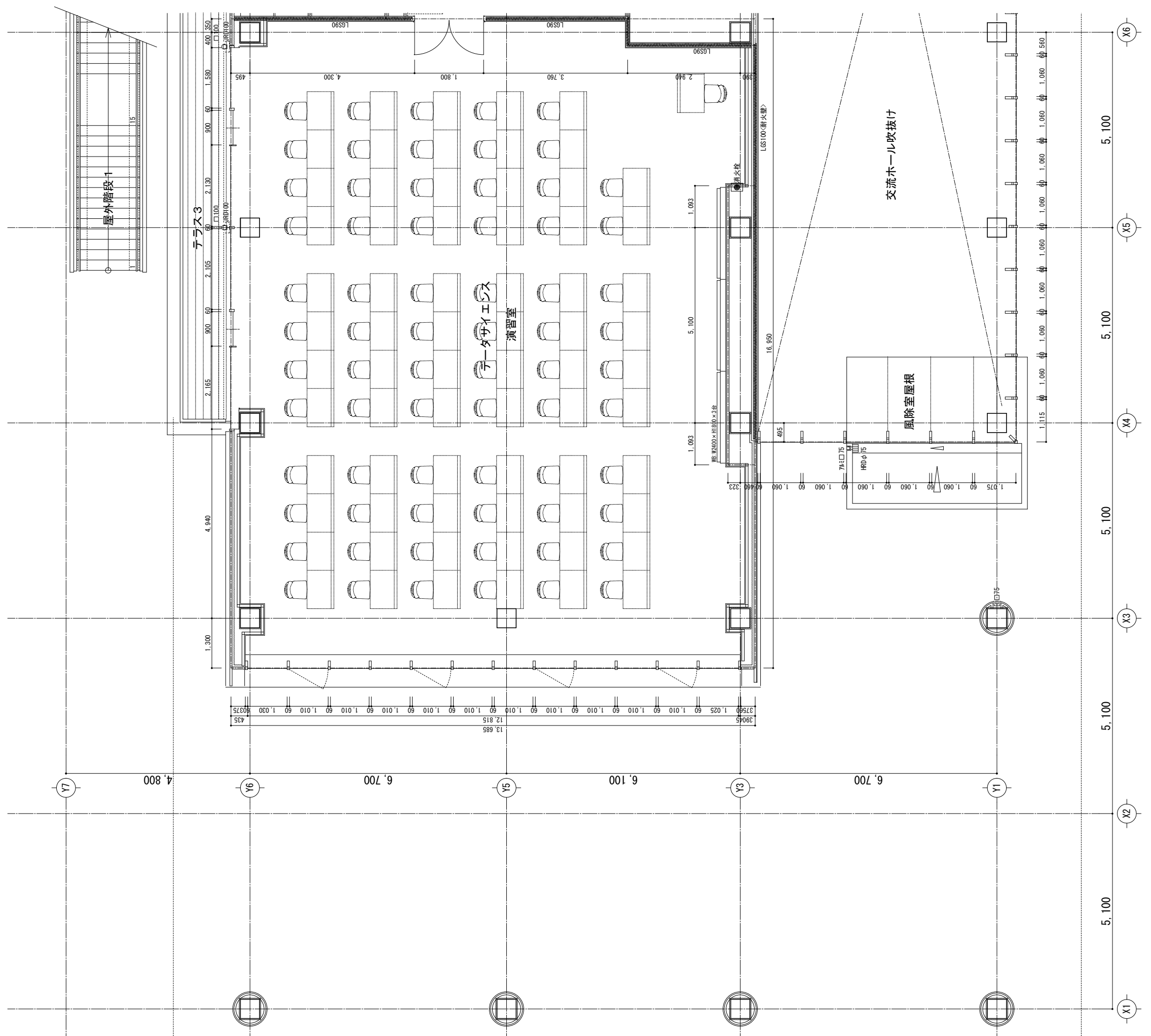
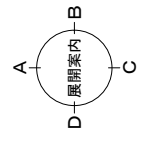
管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
 建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号
 担当 草野 圭亮

記事

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事
 図面名称 1階平面詳細図3

日付 2023.10
 縮尺 [A1] 1/100
 [A3] 1/200

図面番号 A-40
 巻 頁



株式会社 福見建築設計事務所
 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

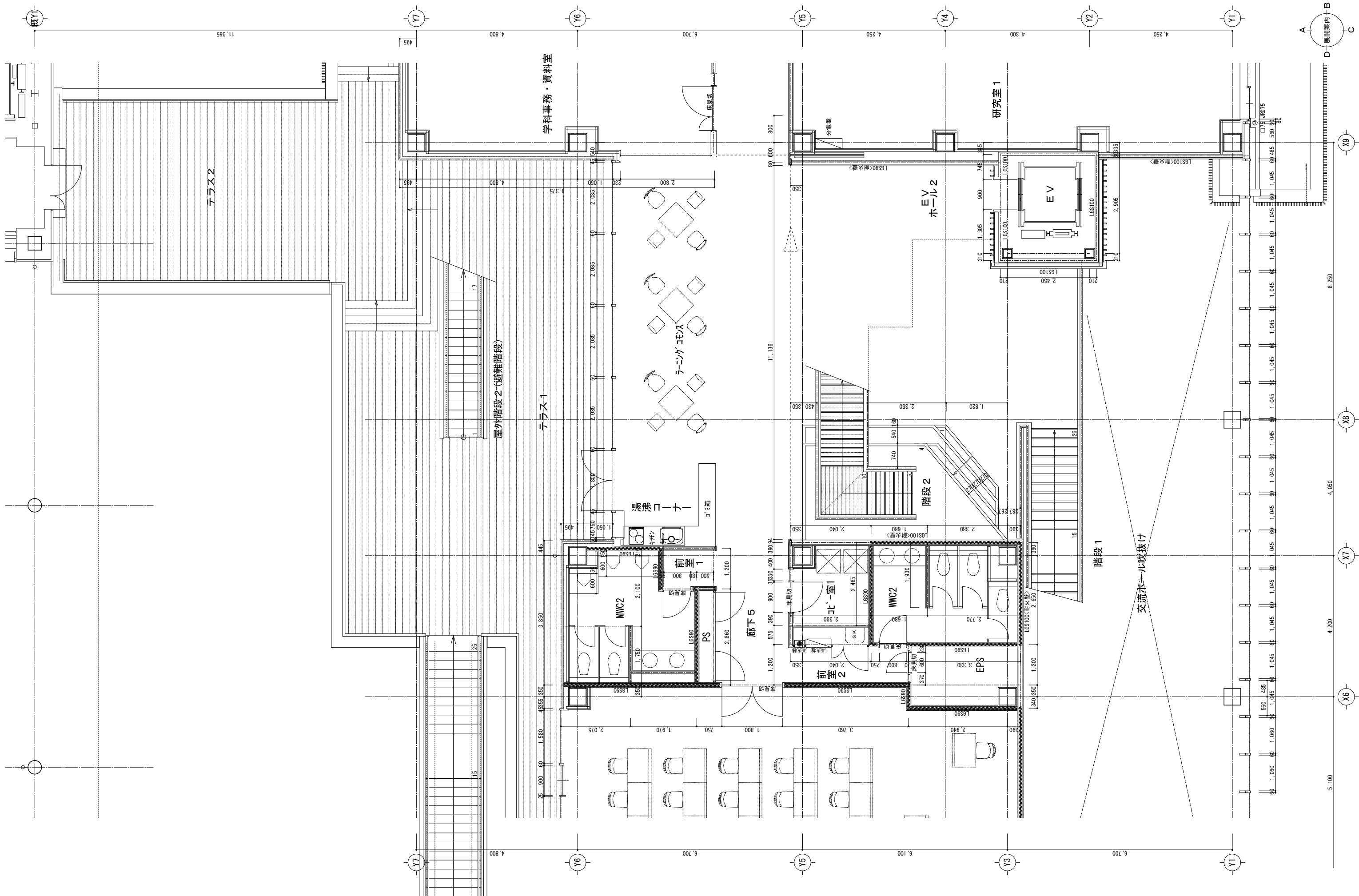
管理技術者	西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
建築担当主任技術者	高橋 航平 一級建築士登録第349562号
担当	草野 圭亮

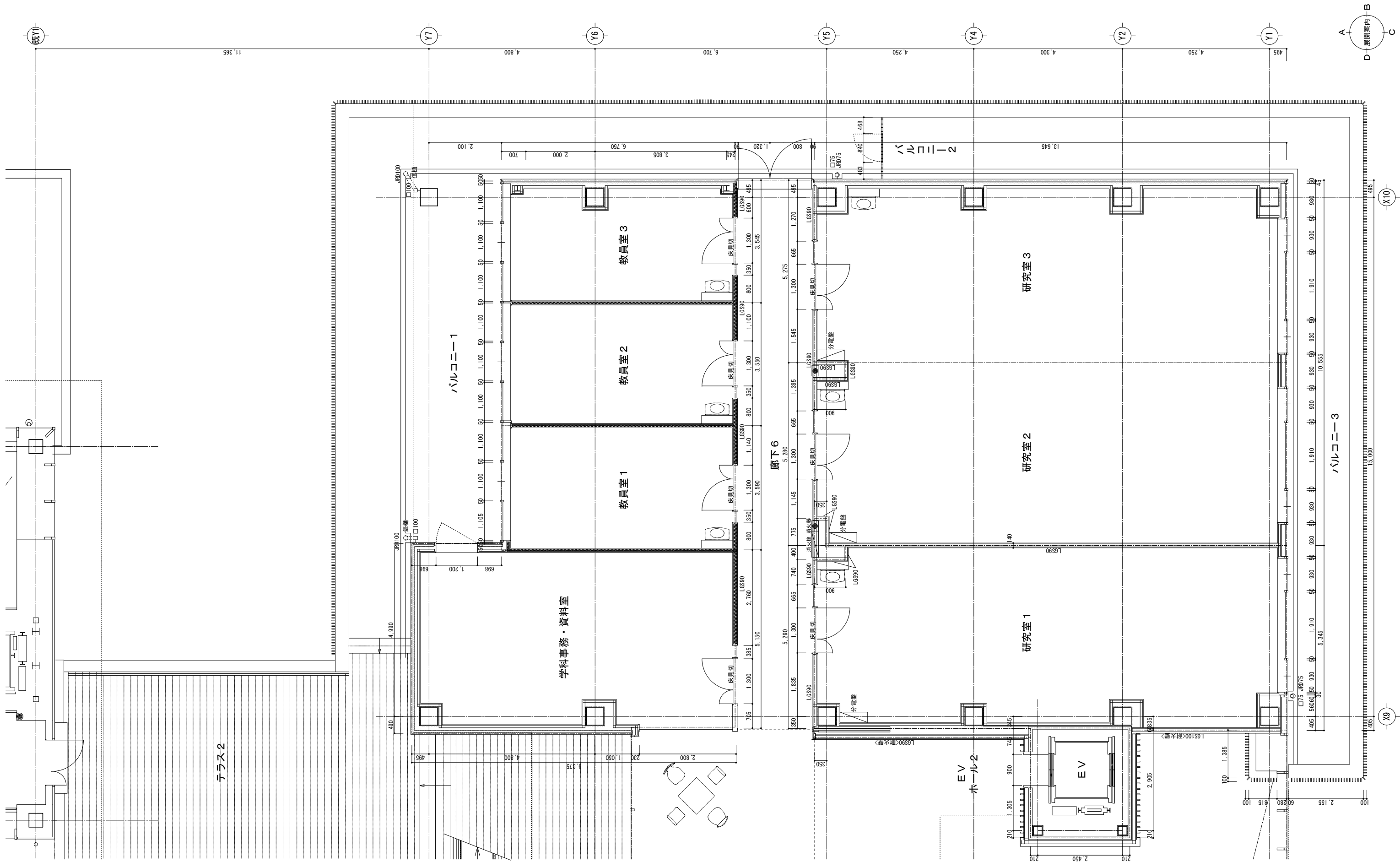
記事

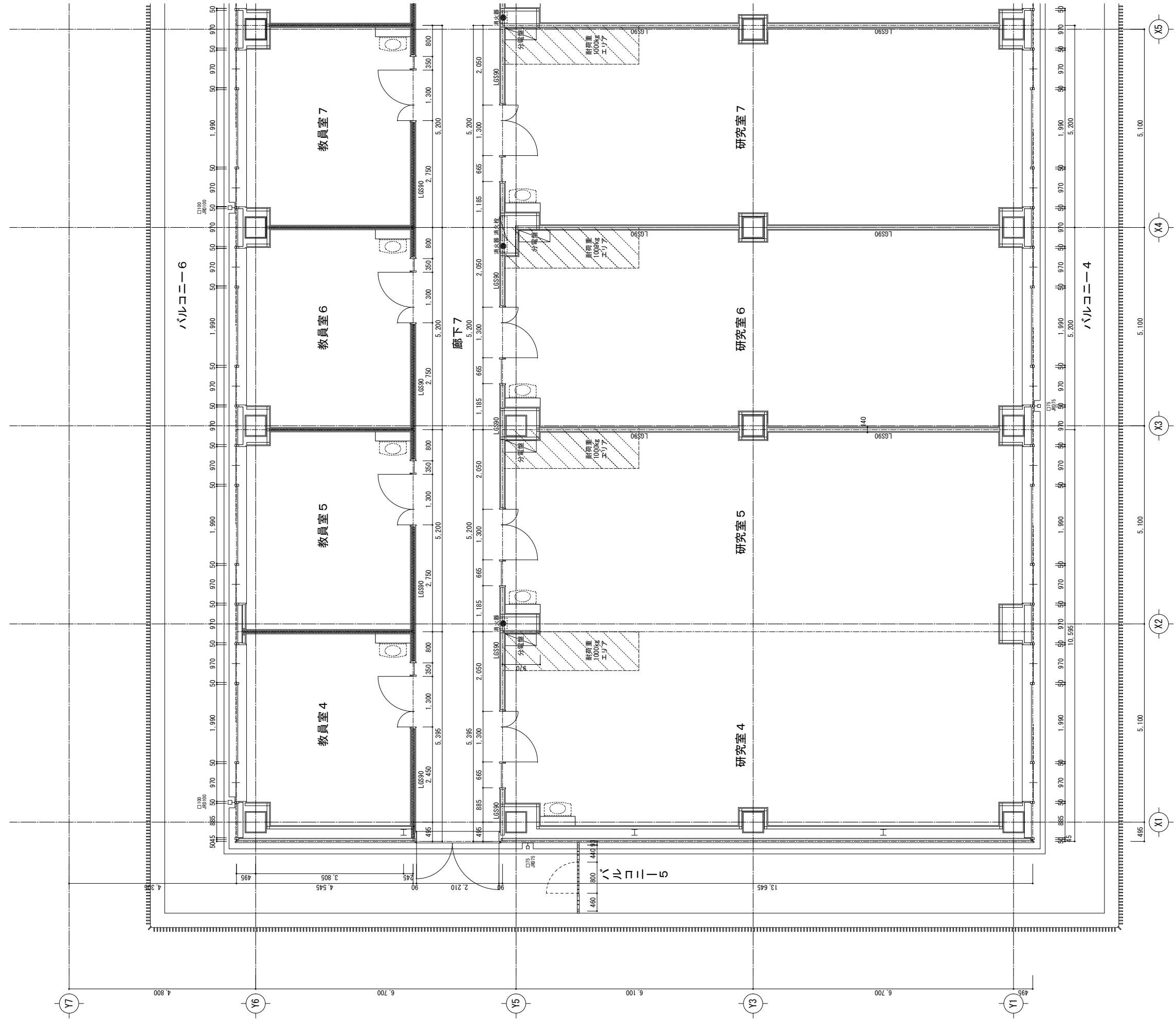
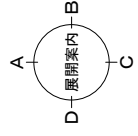
工事名称	富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事
図面名称	2階平面詳細図 1

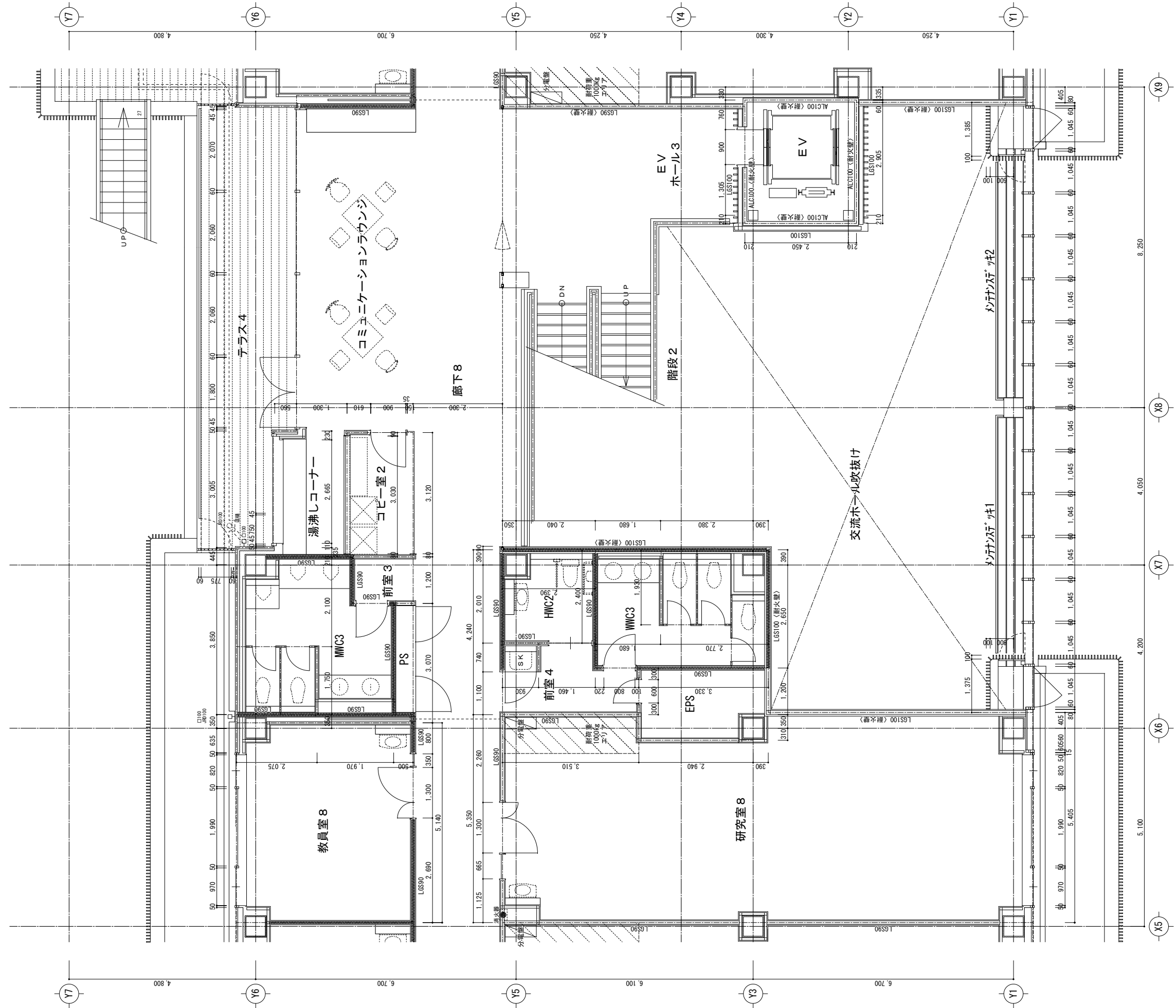
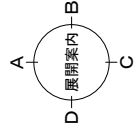
日付	2023.10
縮尺	[A1] 1/100 [A3] 1/200

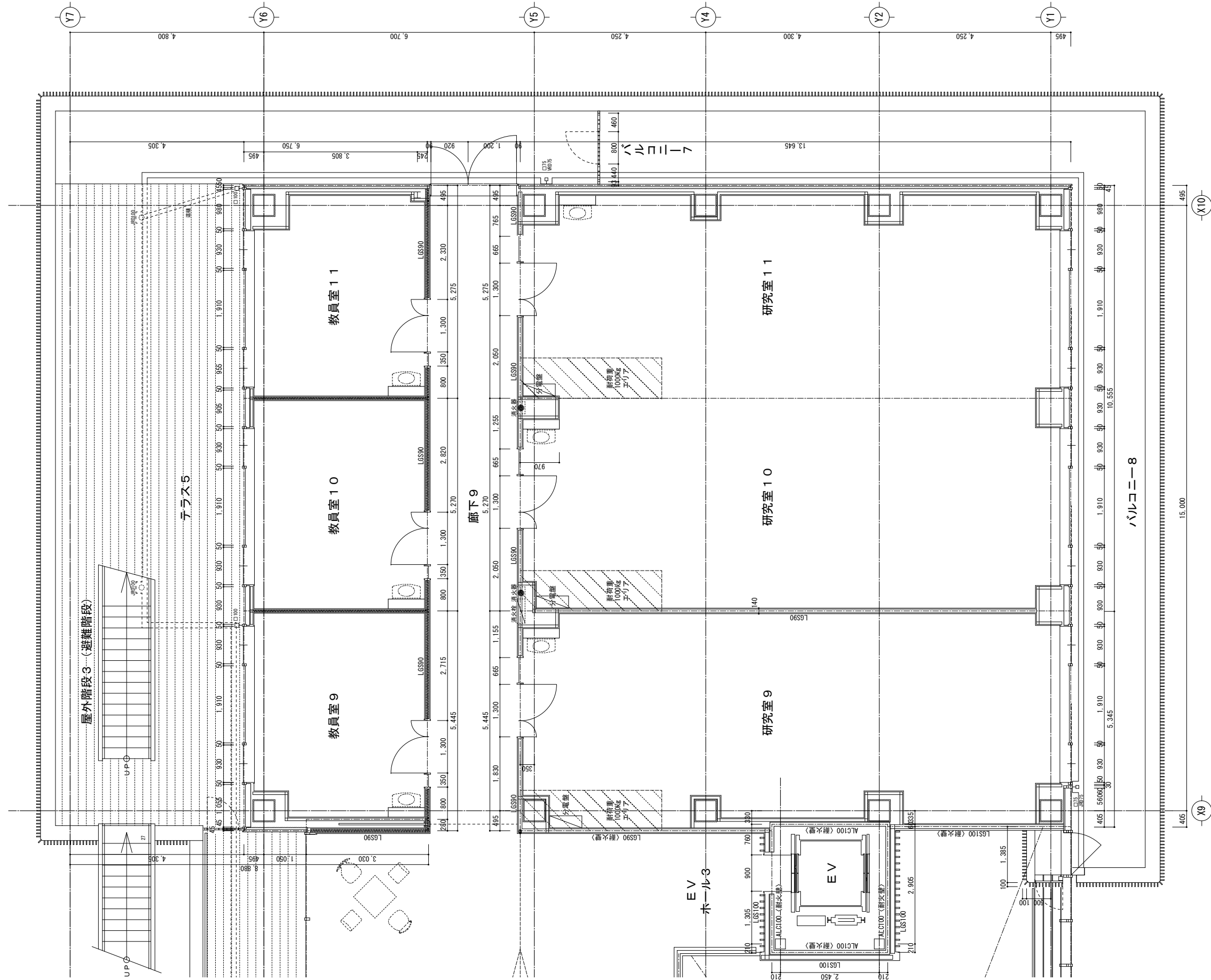
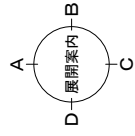
図面番号	A-41
意匠	

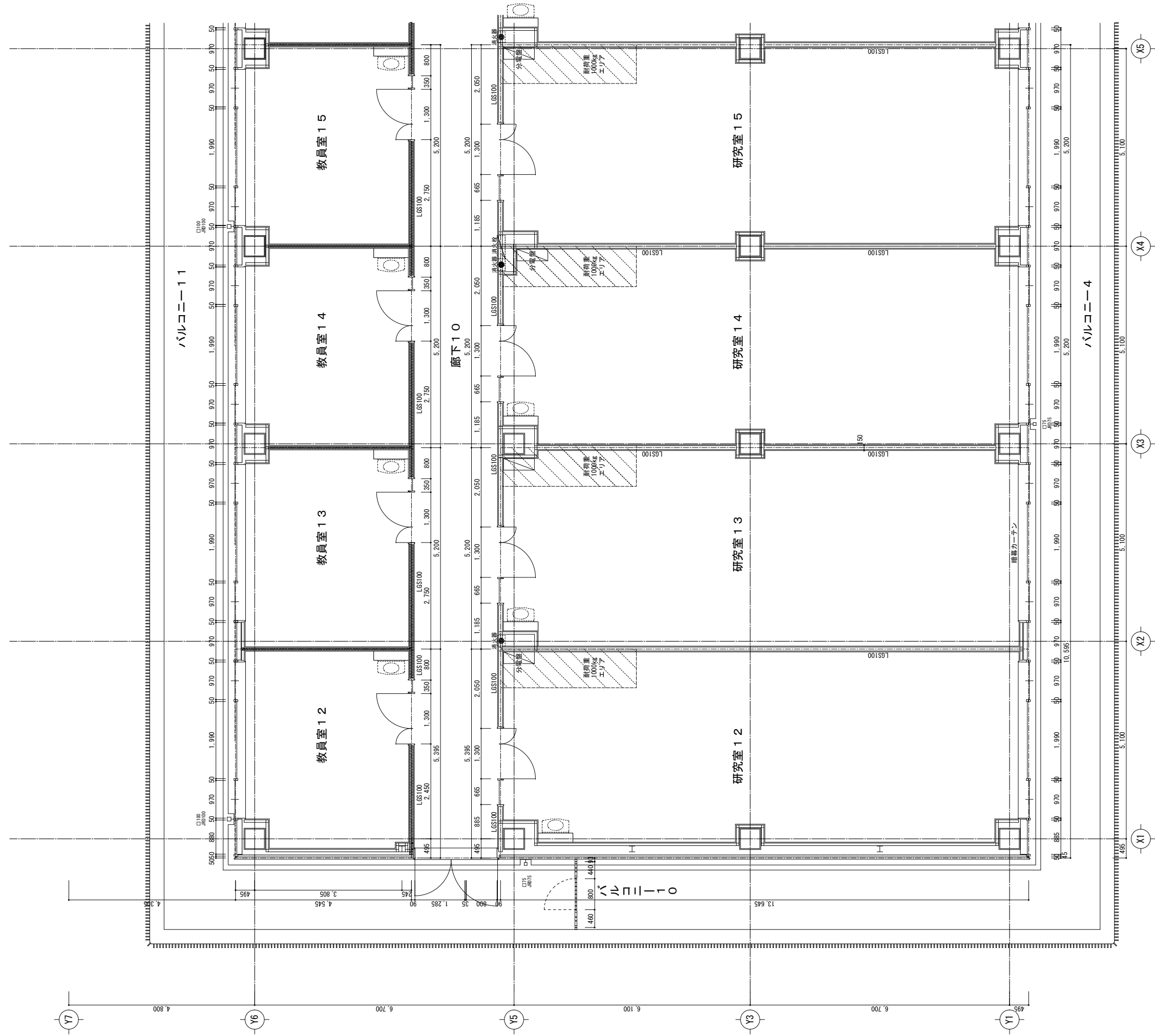
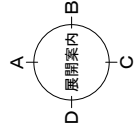


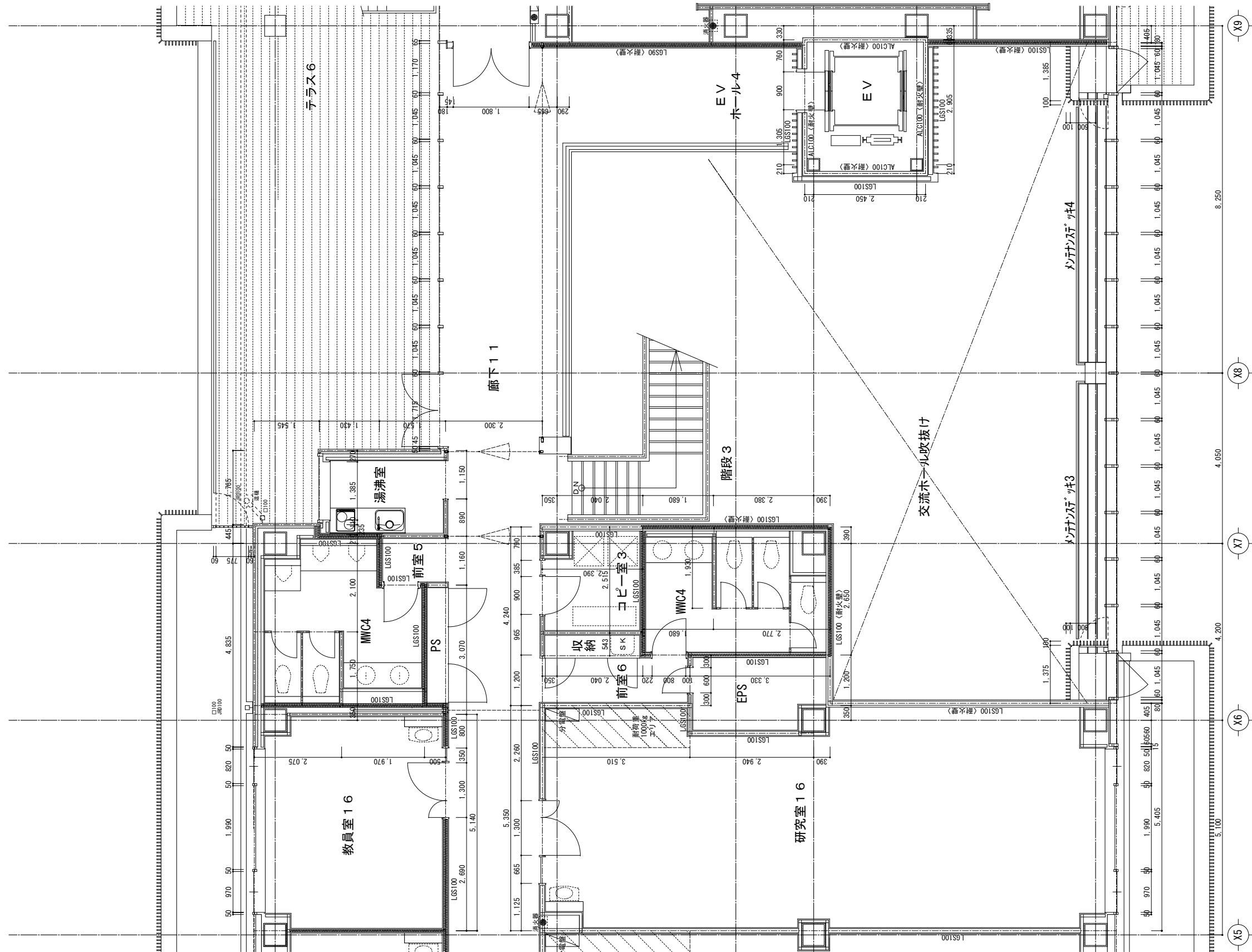
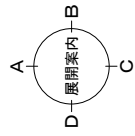


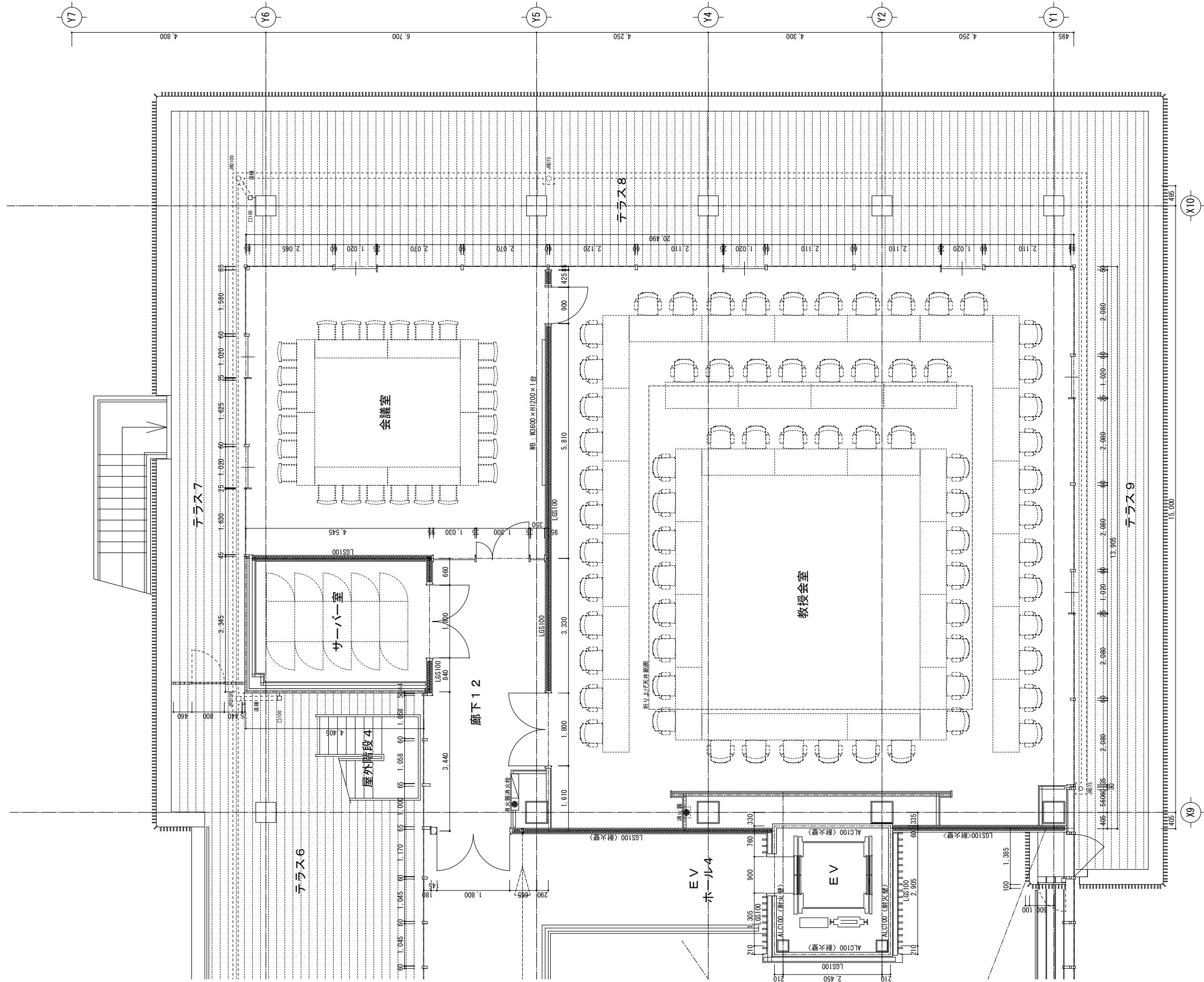
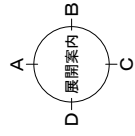


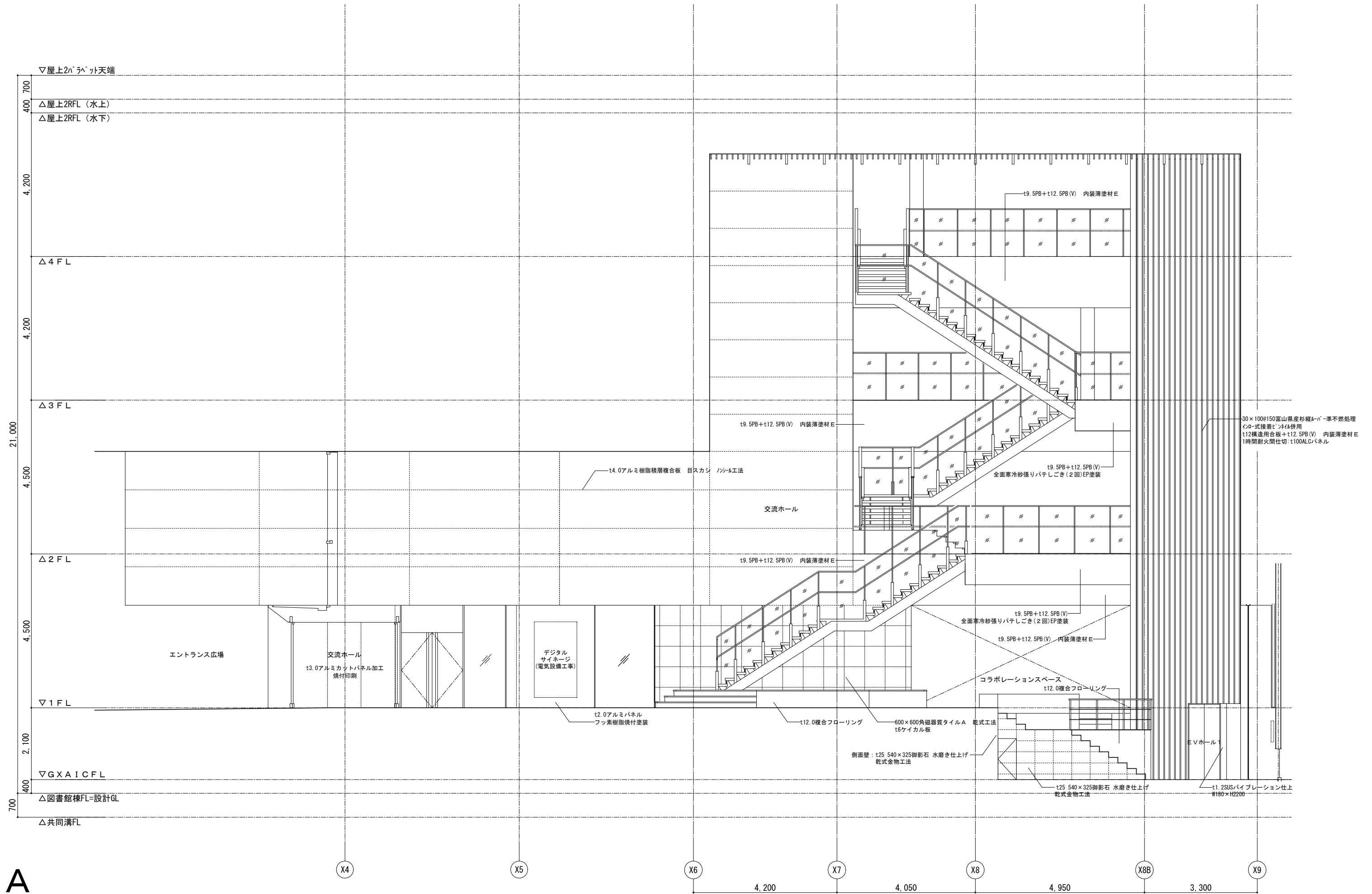












A

株式会社 福見建築設計事務所
 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

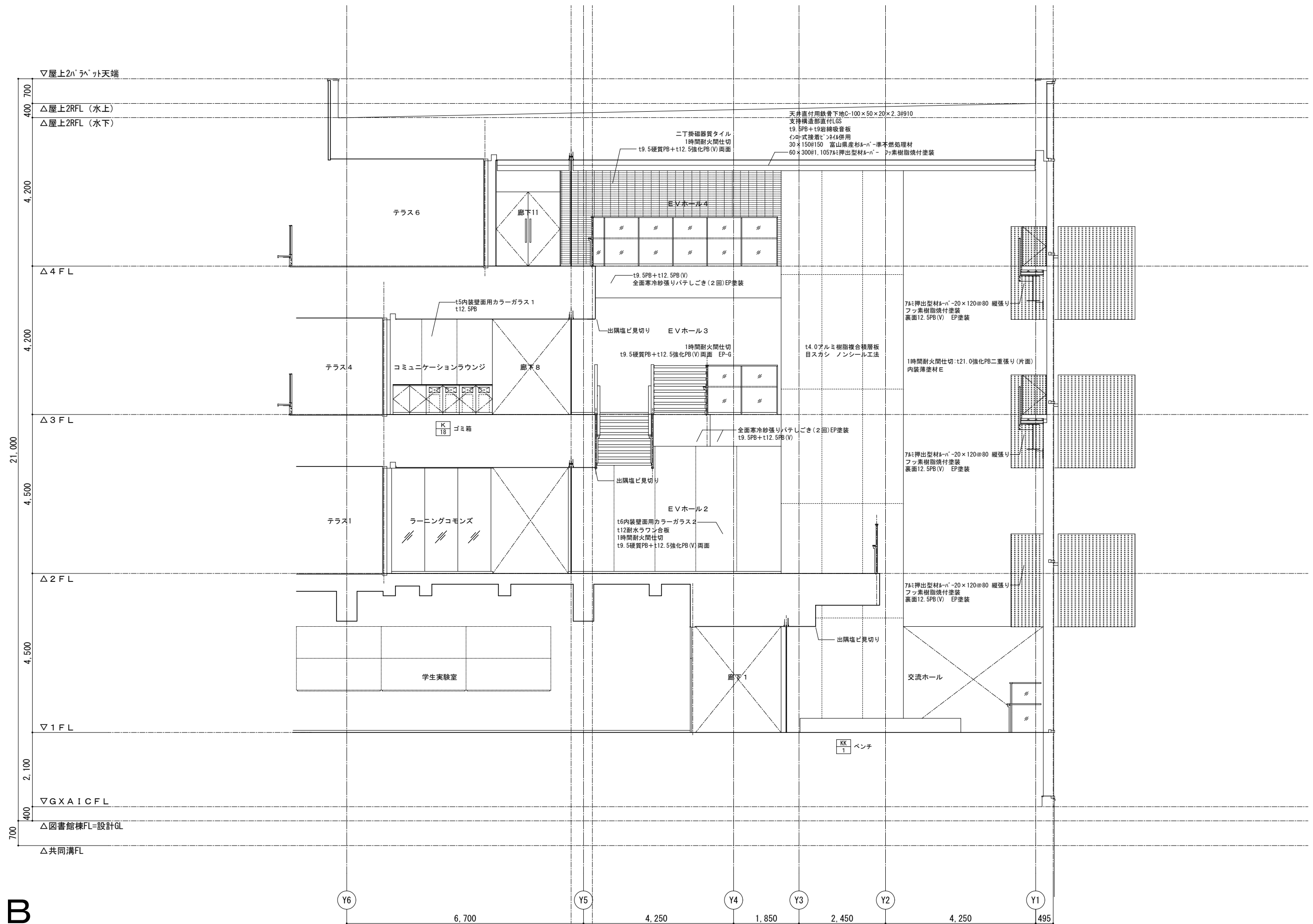
管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
 建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号
 担当 松原 希実

記事

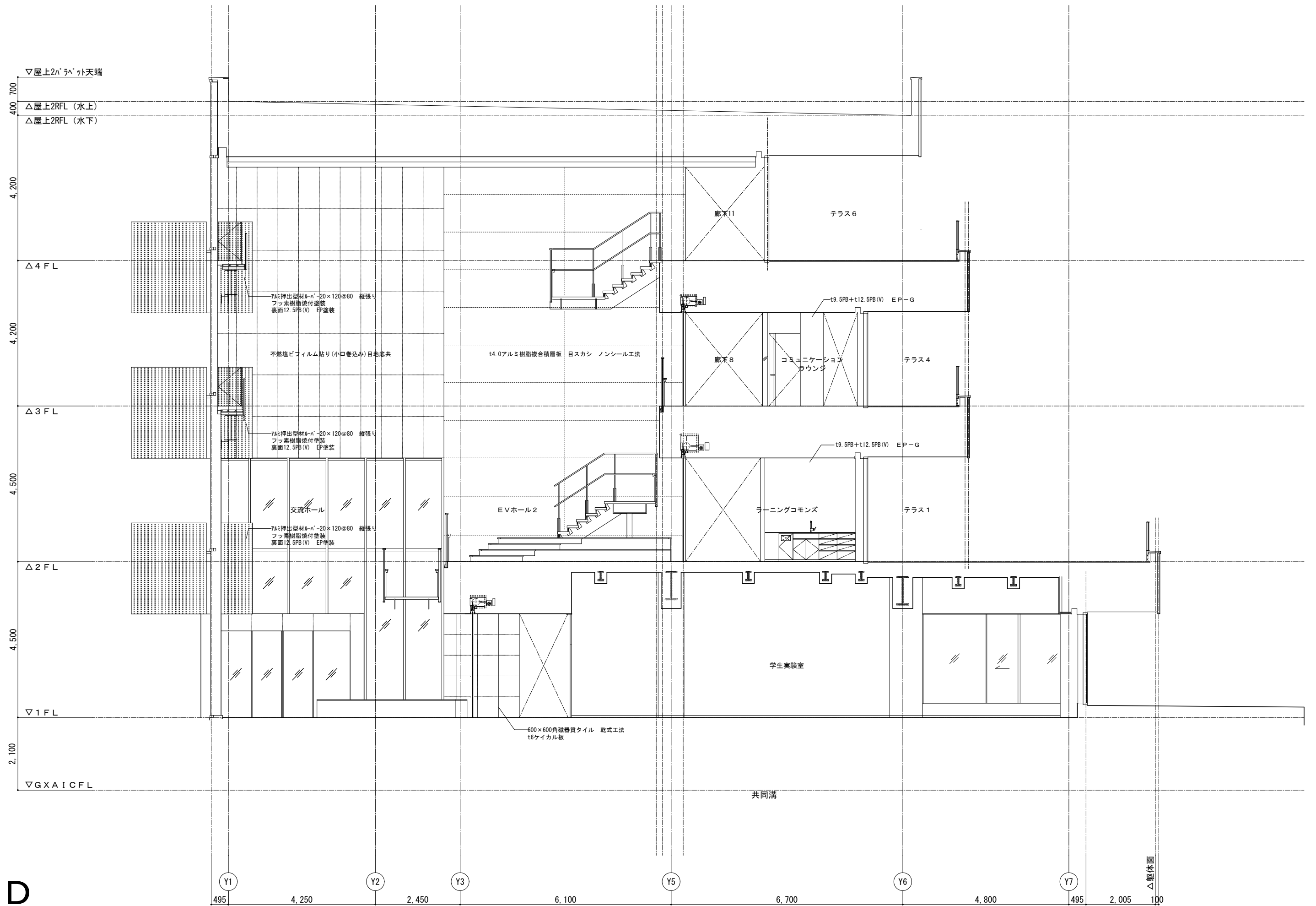
工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事
 図面名称 ホール廻り展開図 1

日付 2023.10
 縮尺 [A1] 1/50
 [A3] 1/100

図面番号 A-50
 意匠



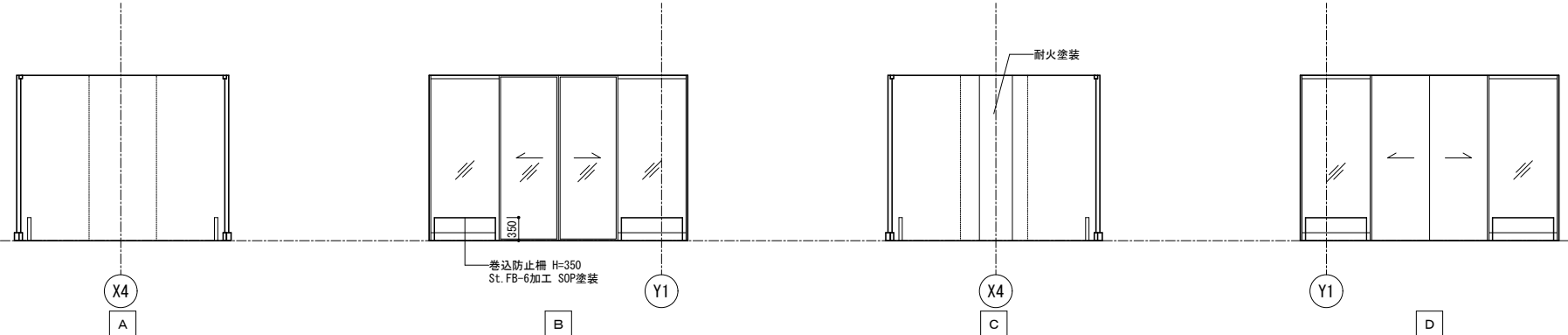




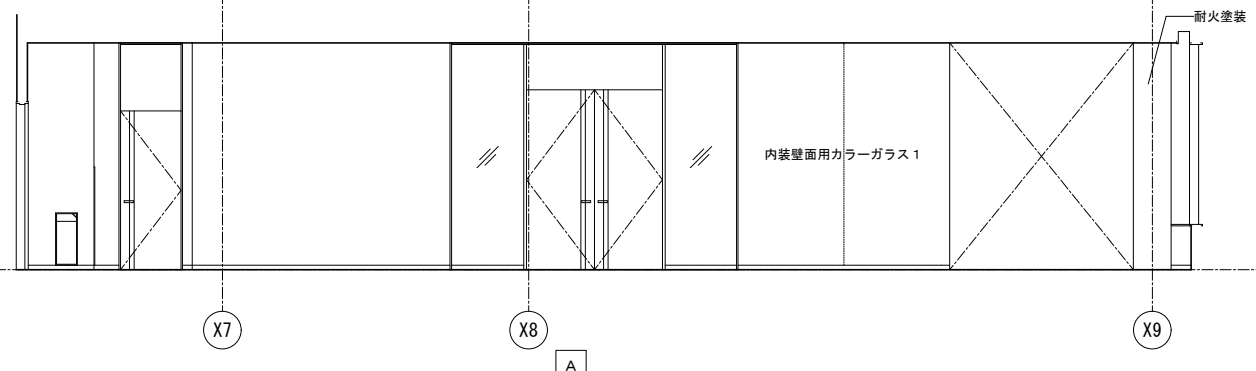
D

株式会社 福見建築設計事務所 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表) 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁	管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	記事	工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事	日付 2023.10	図面番号	
	建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号		図面名称 ホール廻り展開図4	縮尺 【A1】 1/50 【A3】 1/100	意匠	A-53
	担当 松原 希実					

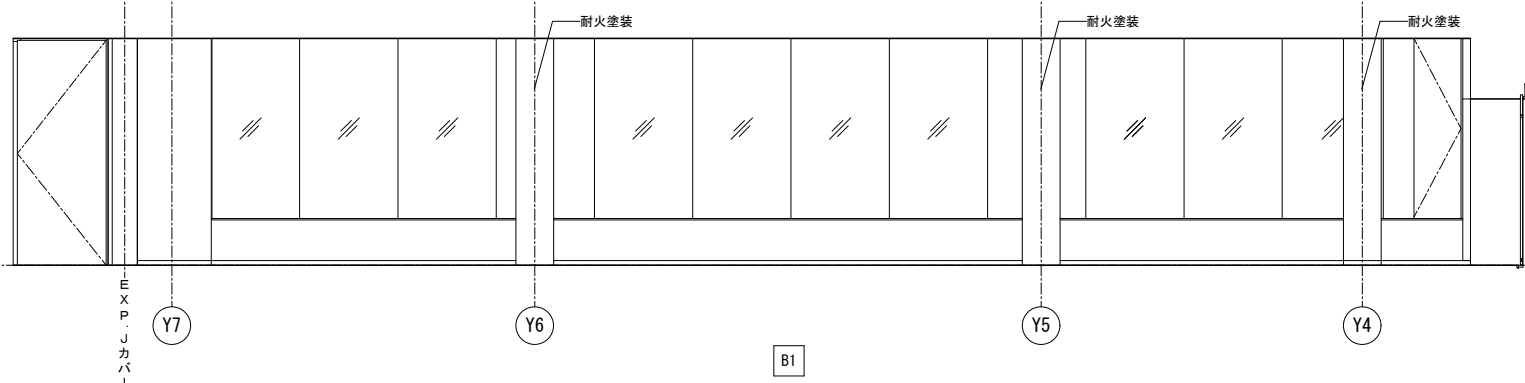
風除室
CH=2,500



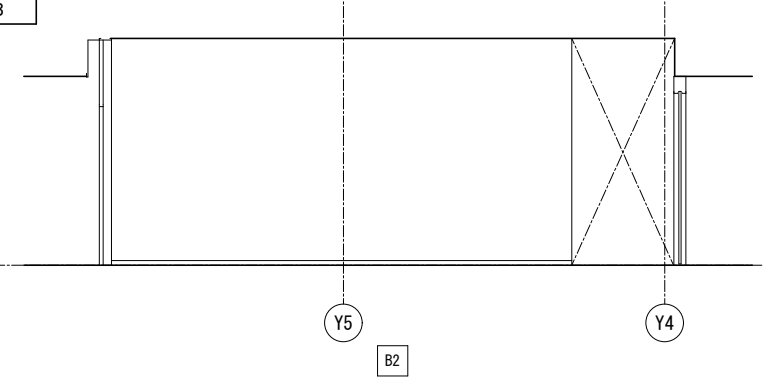
廊下 1



廊下 2

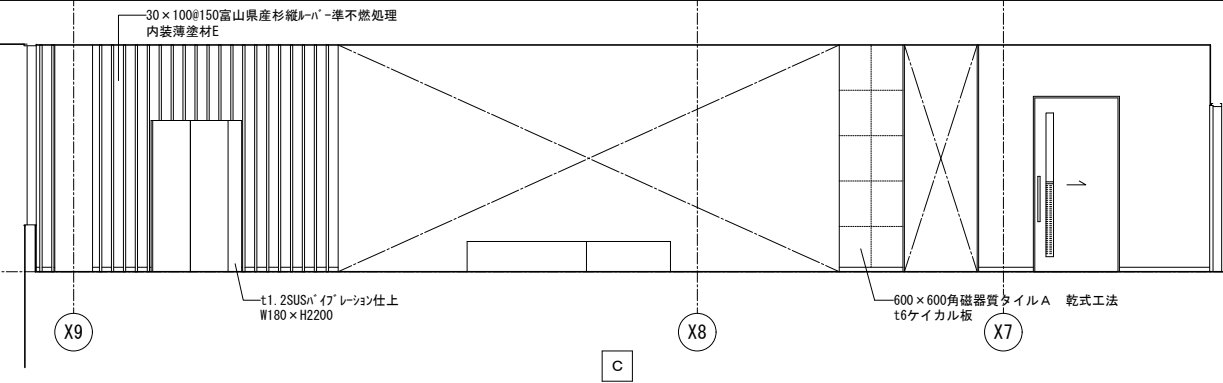


廊下 3



廊下 1~3
CH=3,000

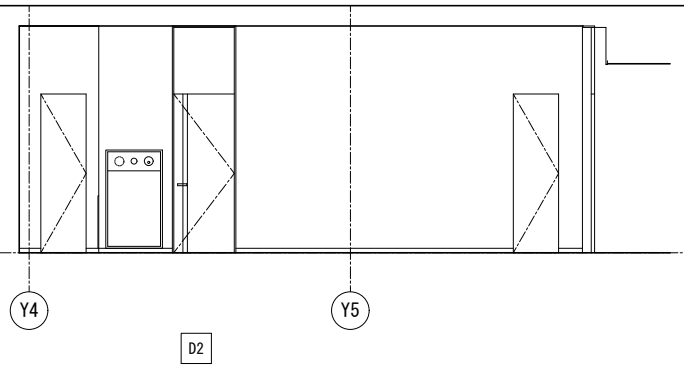
廊下 1



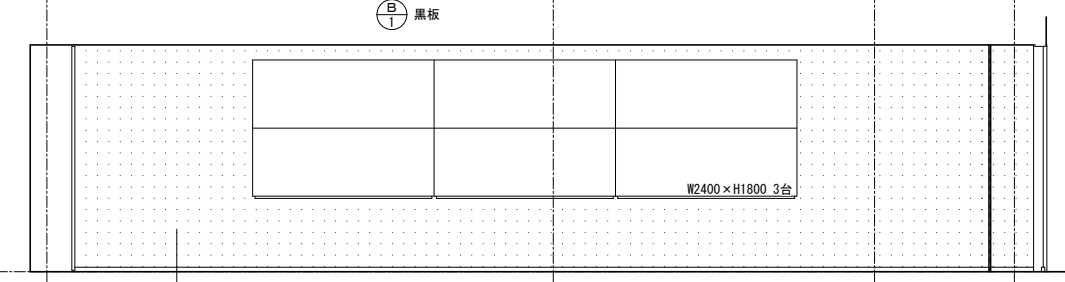
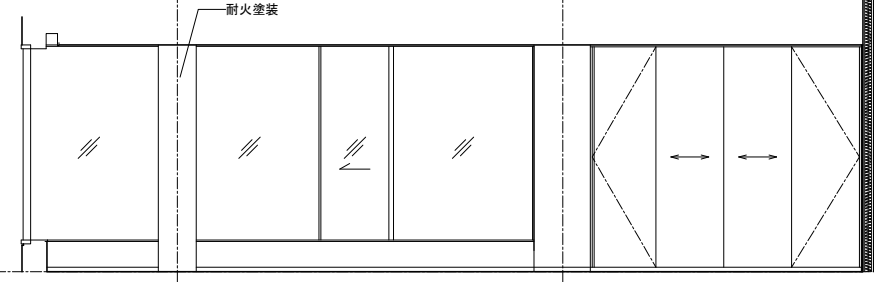
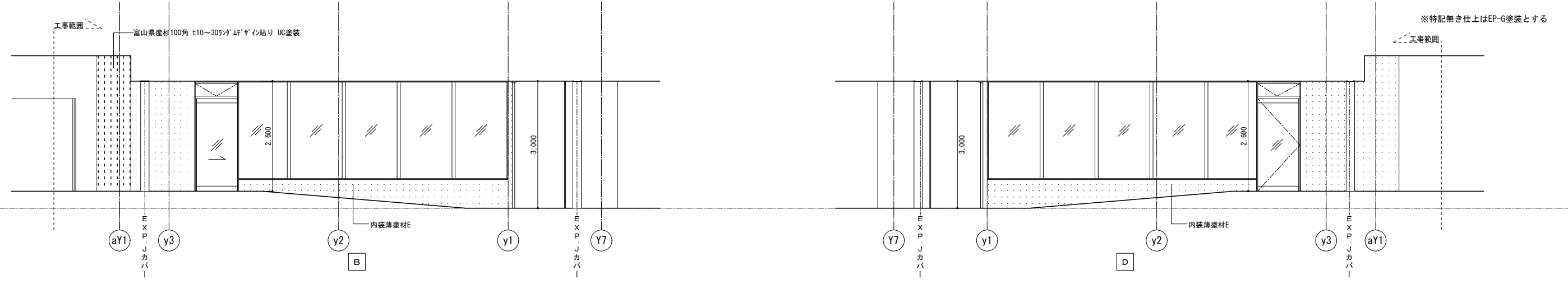
廊下 2



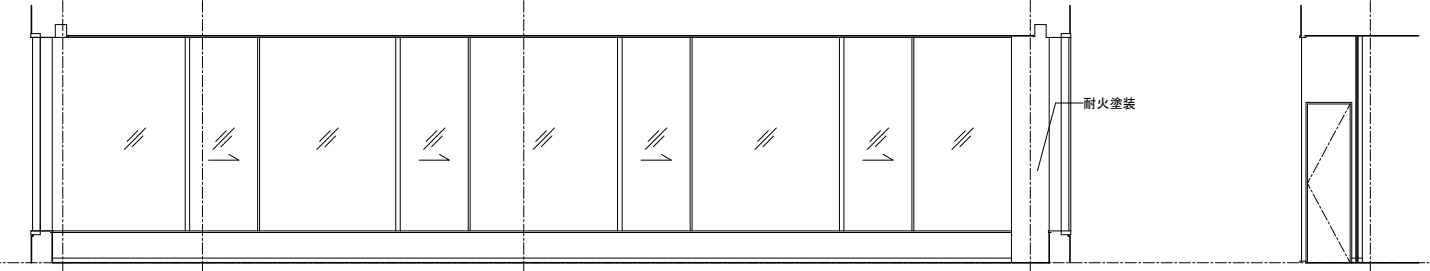
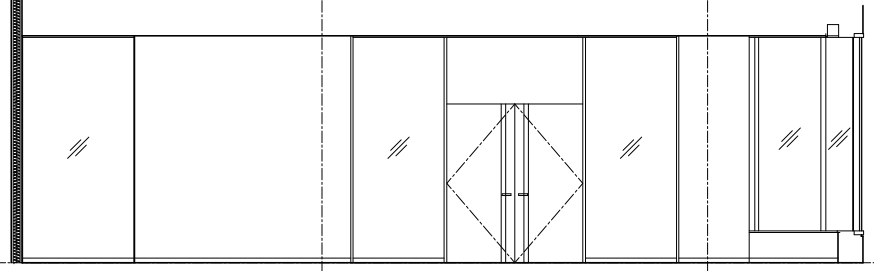
廊下 3

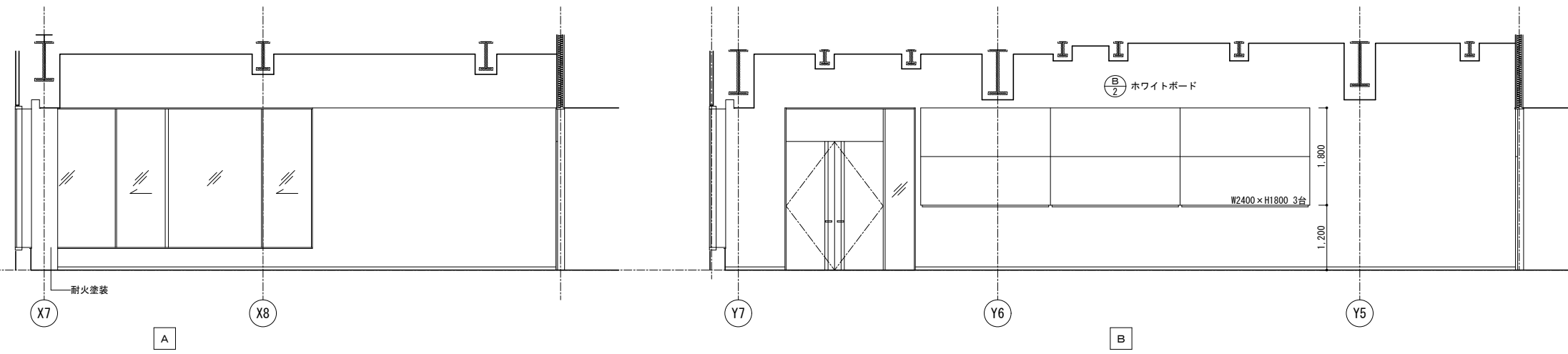


渡り廊下
CH=2,600~3,000

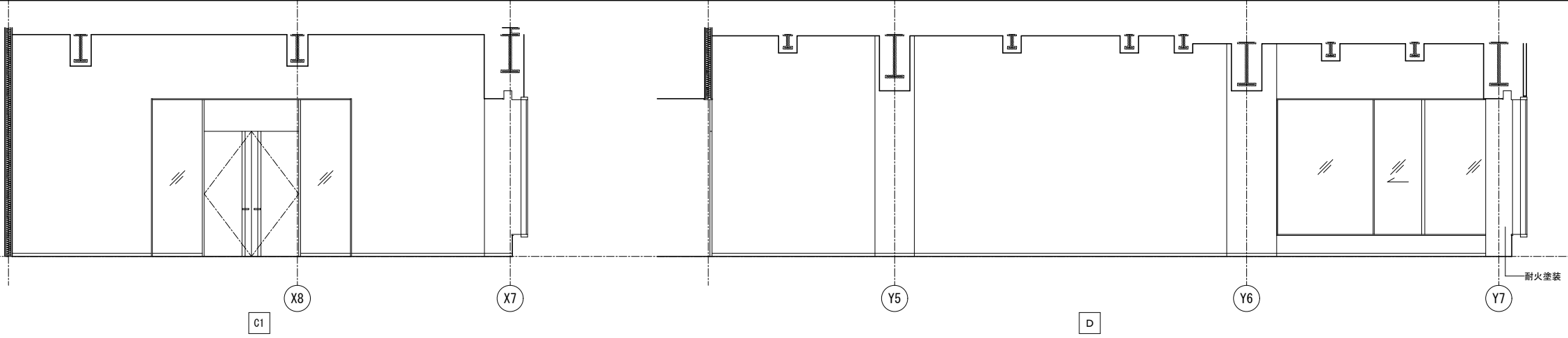


講義室
CH=3,000

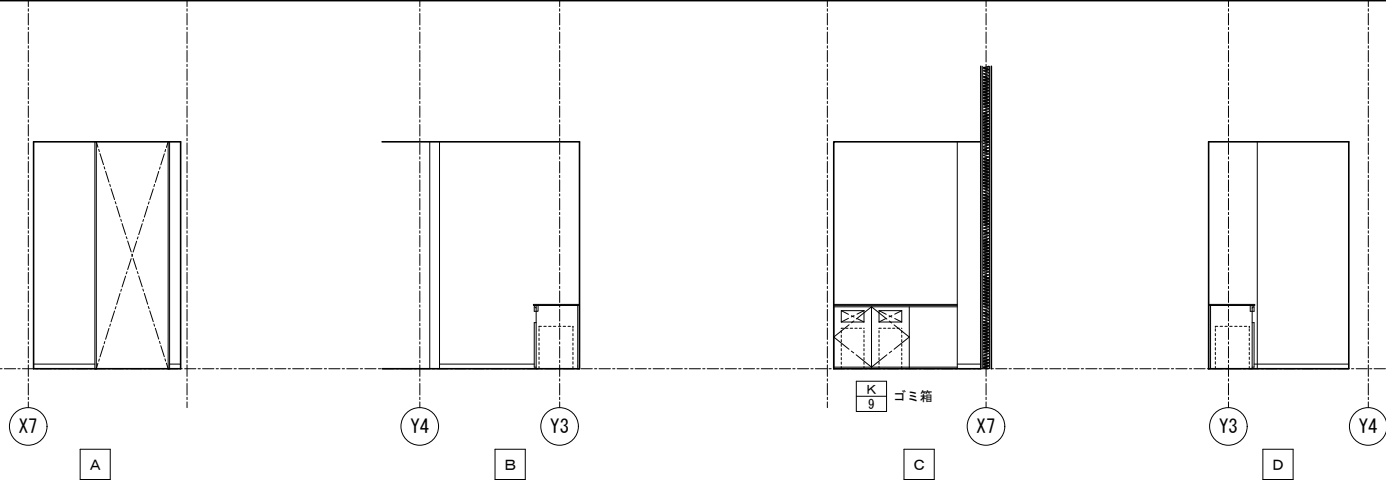




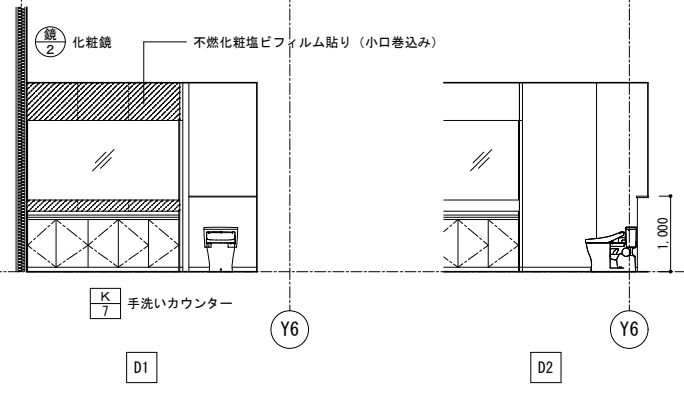
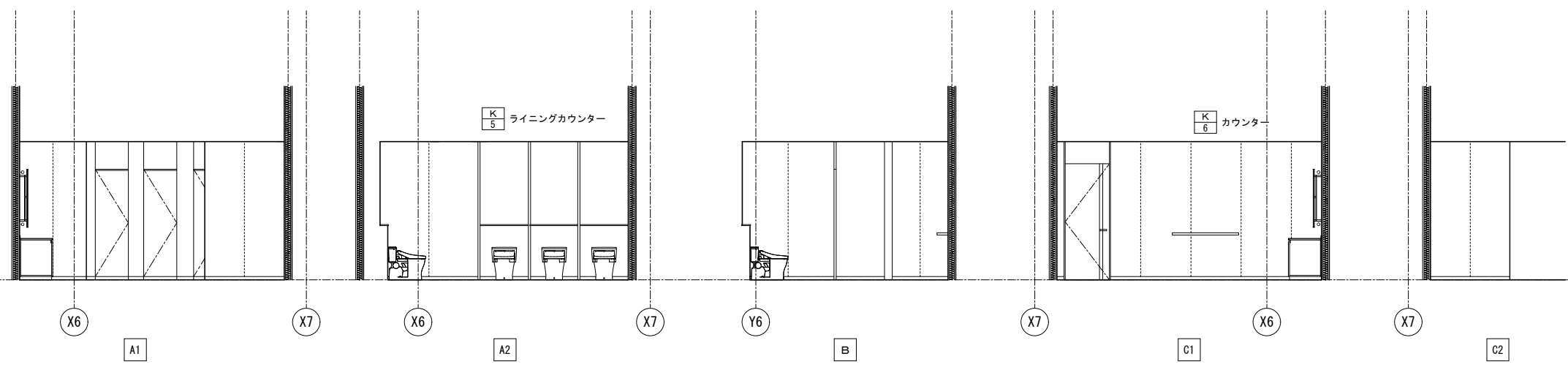
学生実験室
CH=4,220



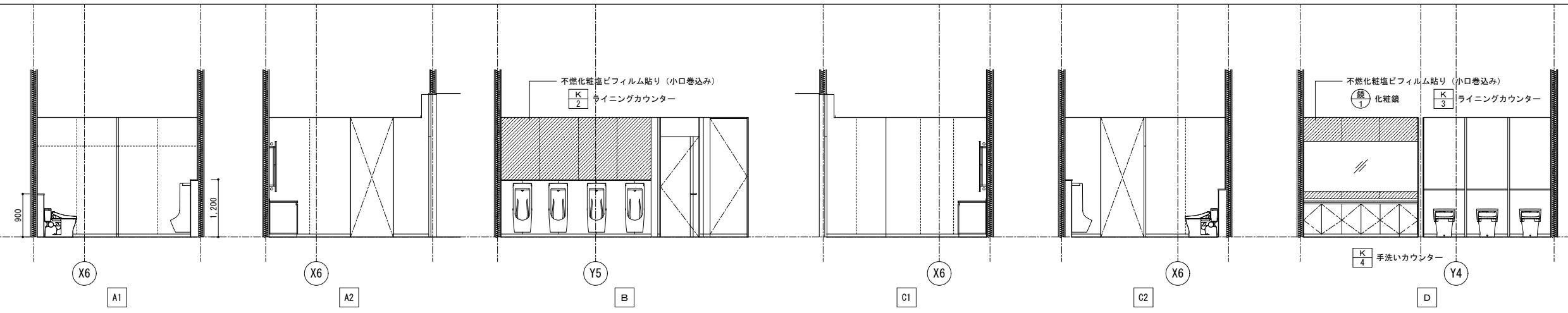
自販機コーナー
CH=3,000



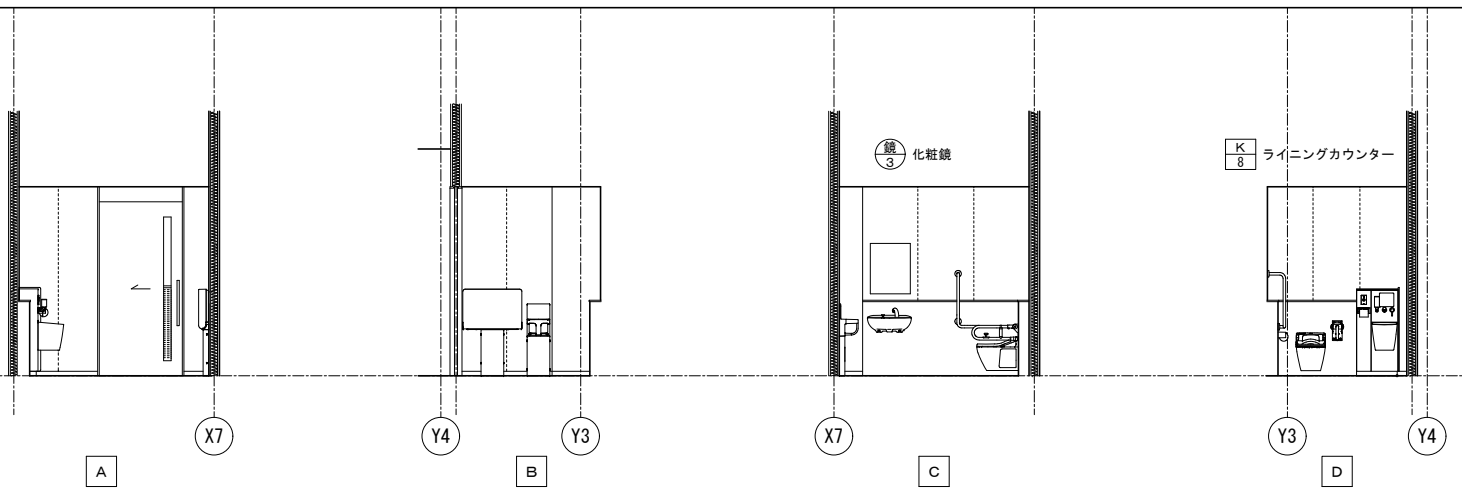
WWC1
CH=2,500



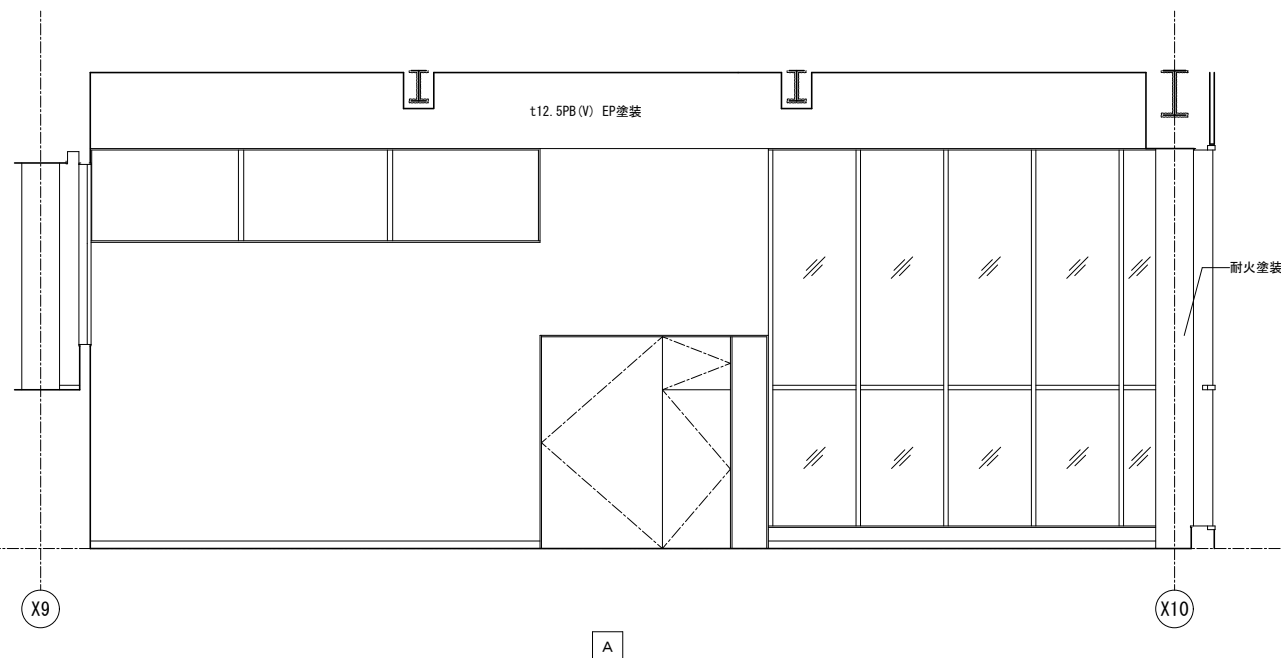
MWC1
CH=2,500



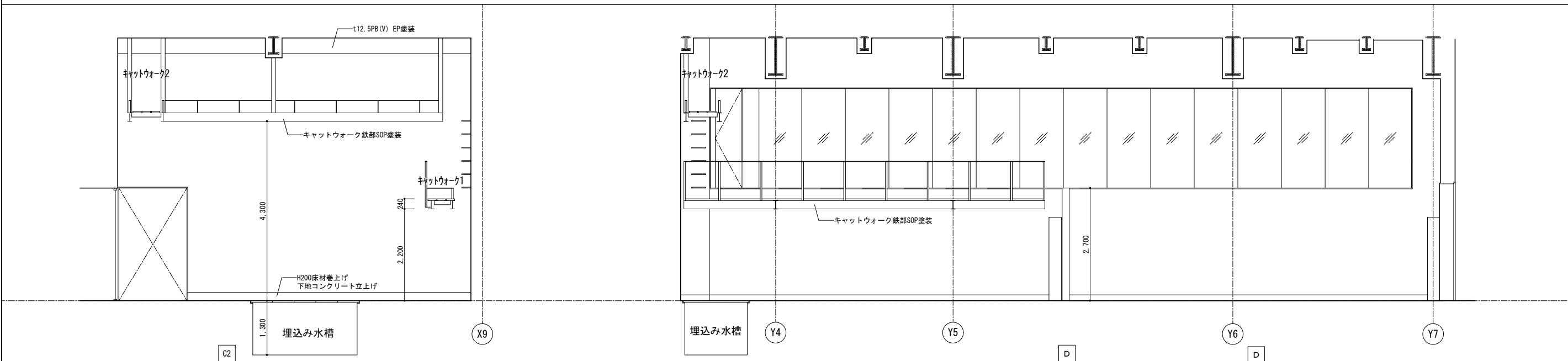
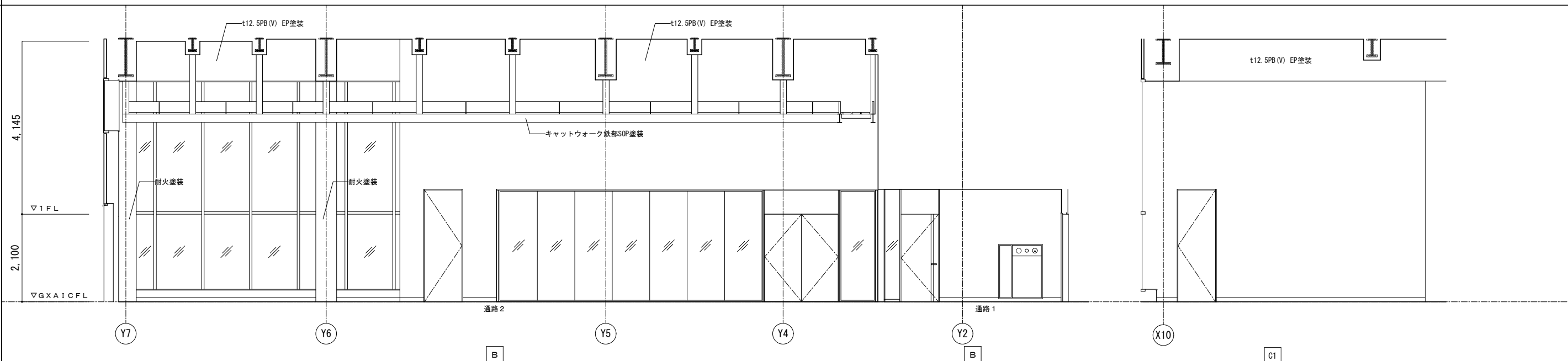
HWC1
CH=2,500



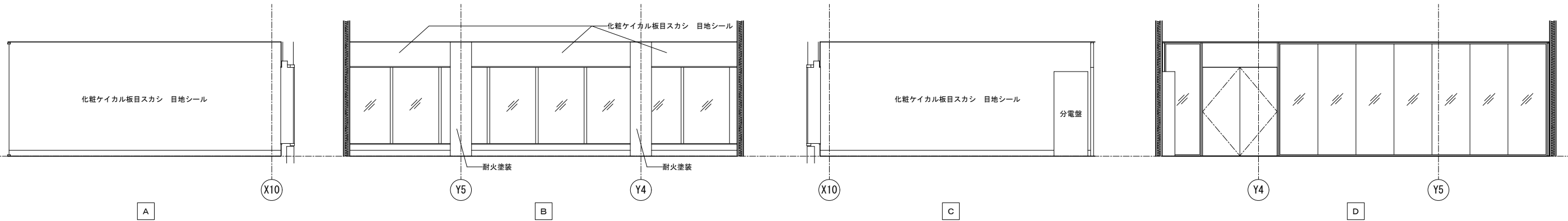
グリーンA1研究拠点
CH=6,495



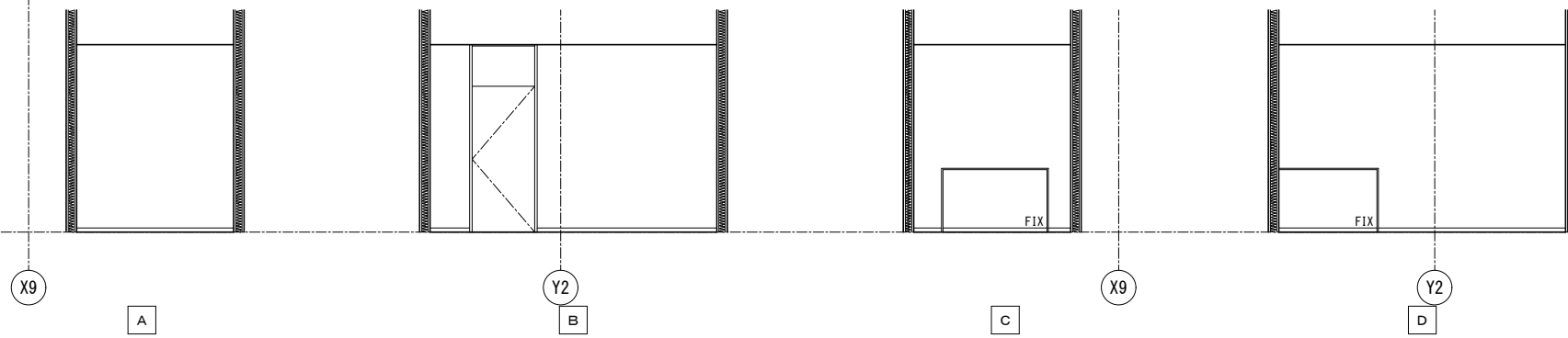
通路1、2
CH=6,495



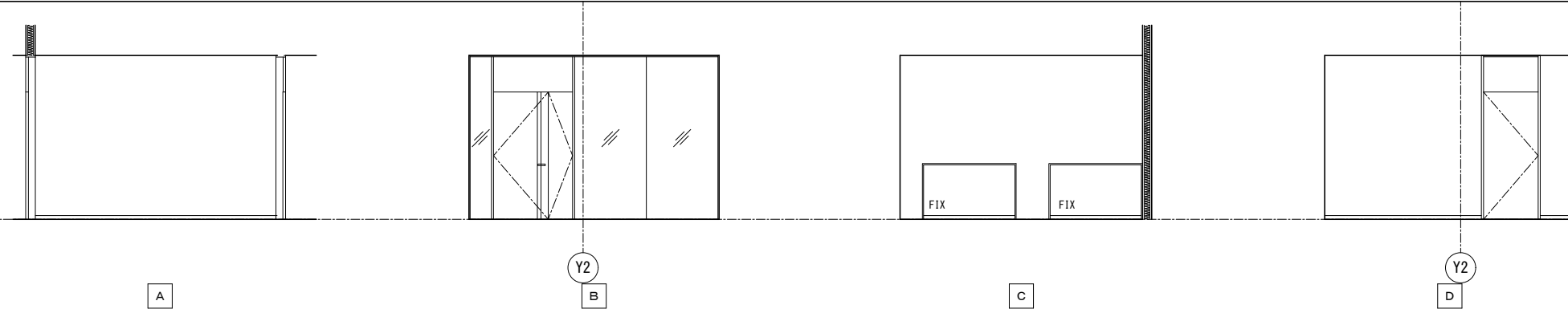
製薬プロセス
CH=2,700



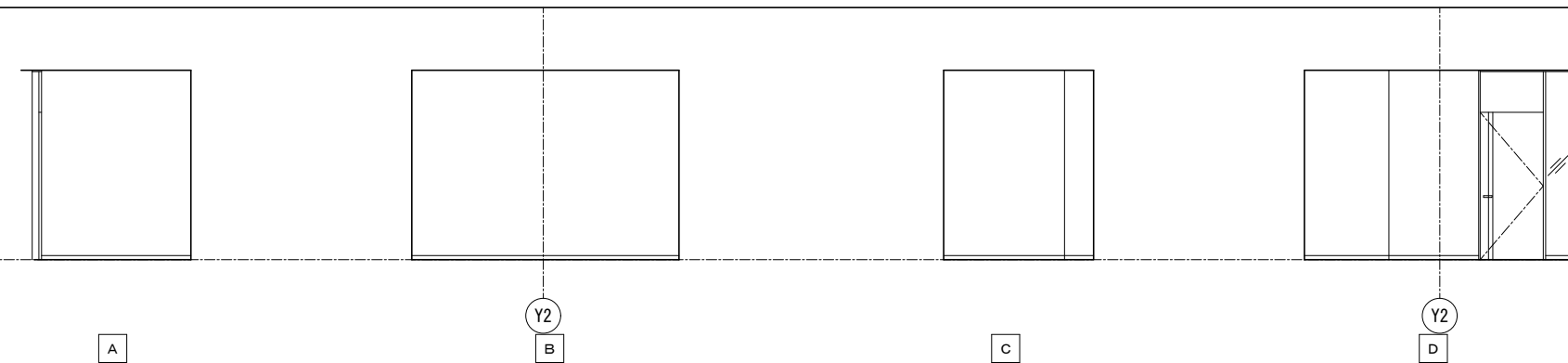
サーバー室
CH=2,700



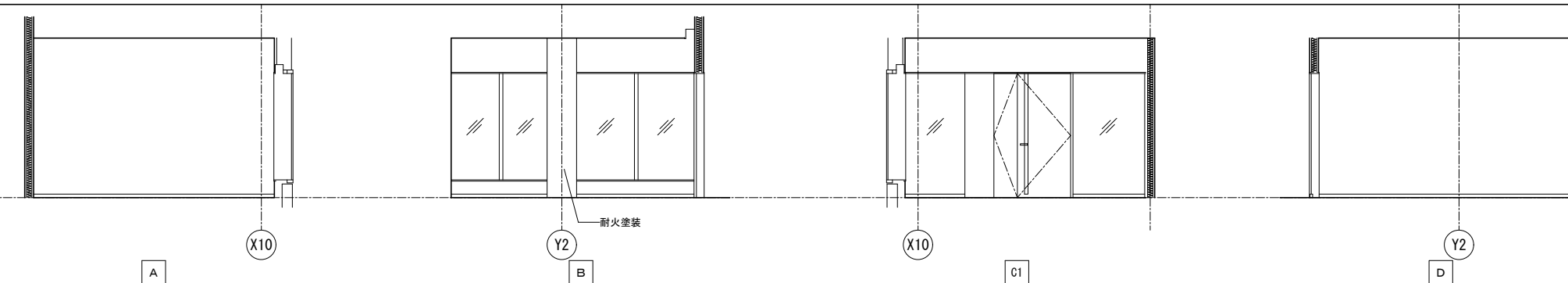
A I モニター室
CH=2,700



精密分析室
CH=2,700



会議室
CH=2,700



※特記無き仕上はEP-G塗装とする

株式会社 福見建築設計事務所

富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号

建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号

担当 松原 希実

記事

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事

日付 2023.10

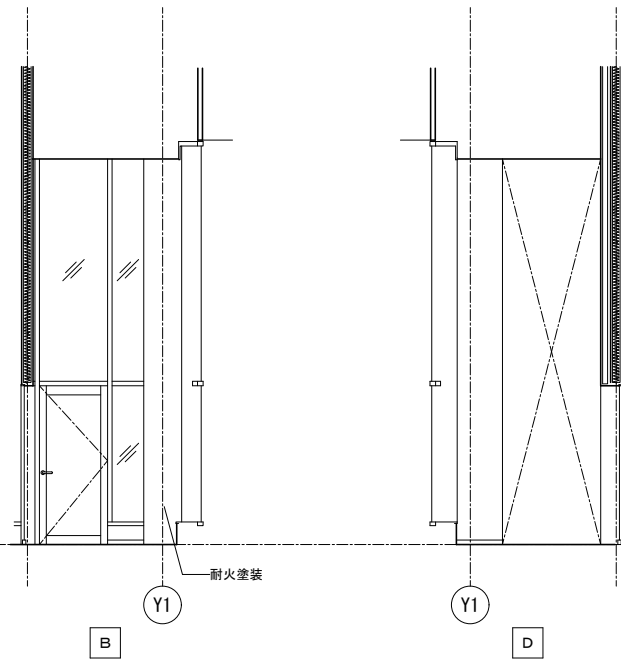
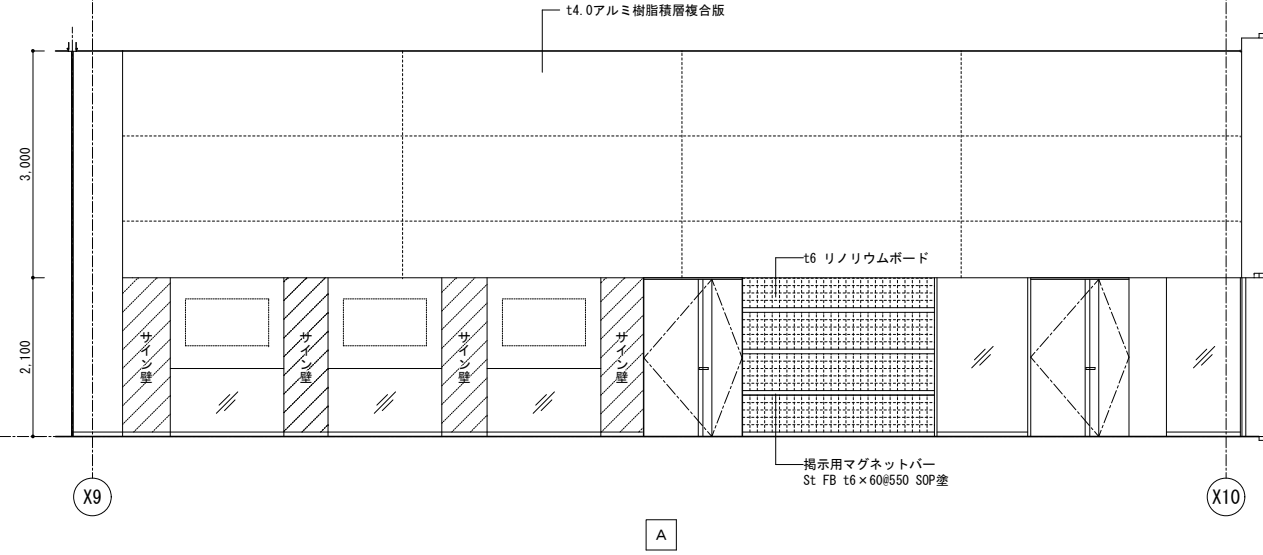
図面番号

図面名称 展開図 6

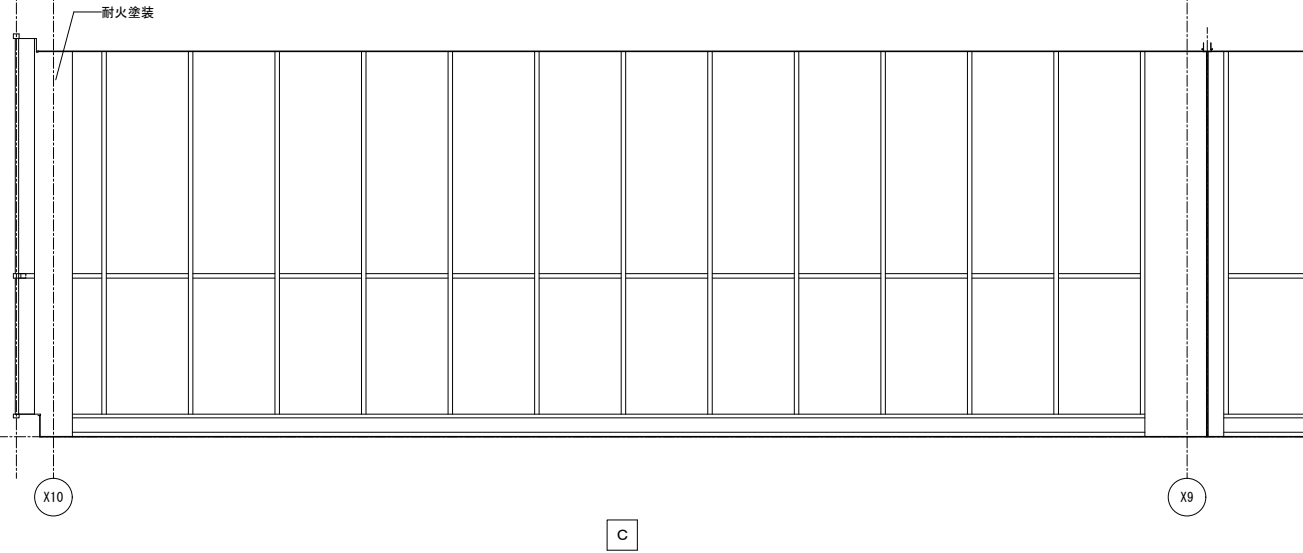
縮尺 【A1】 1/50
【A3】 1/100

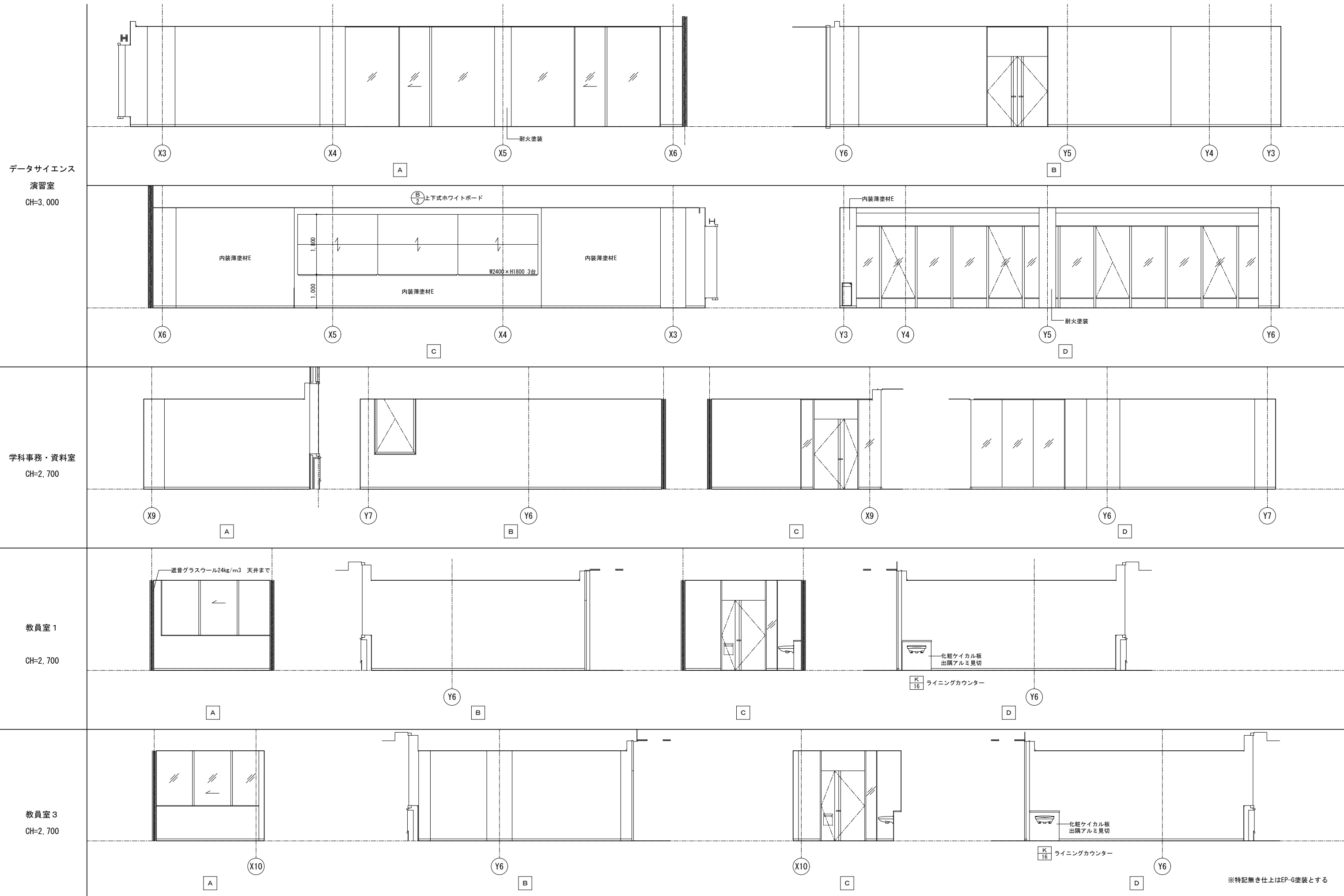
意匠

A-59



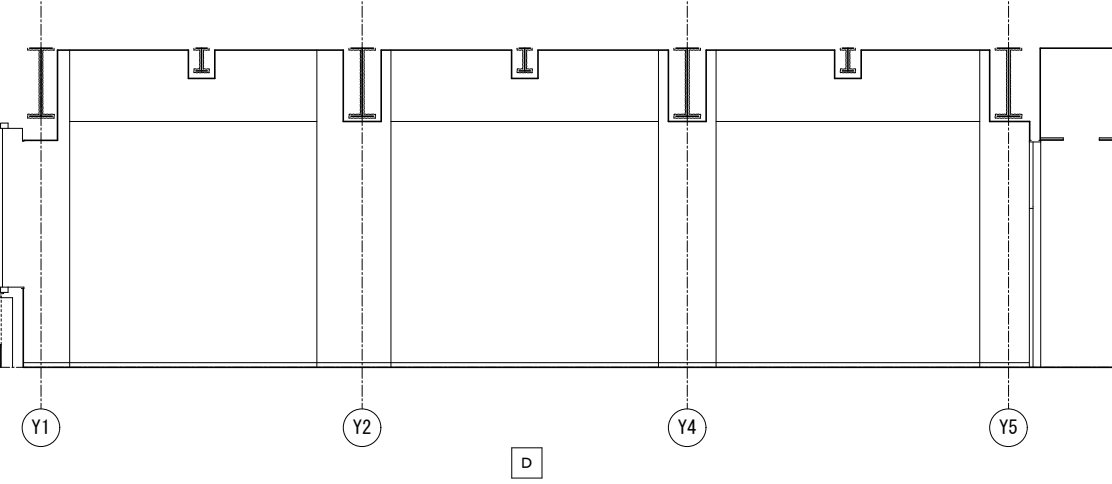
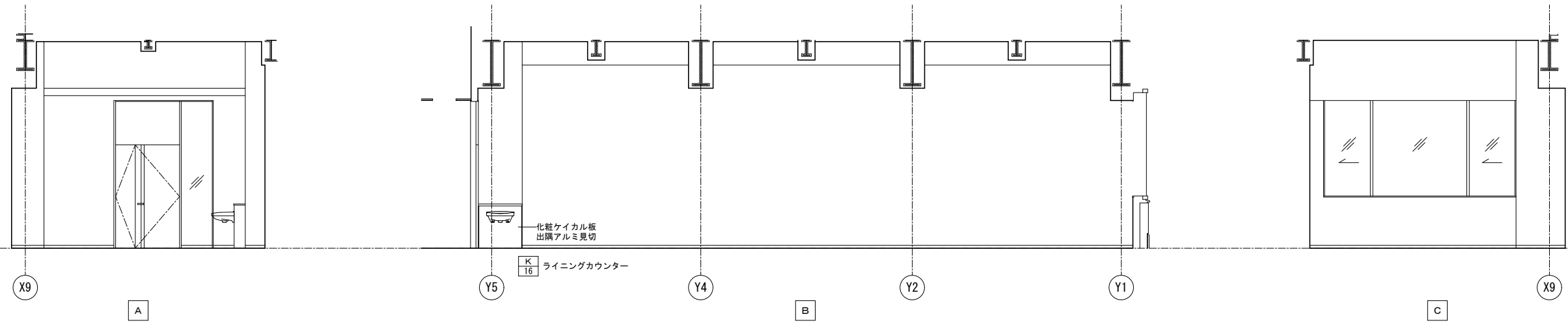
廊下4
CH=5,100



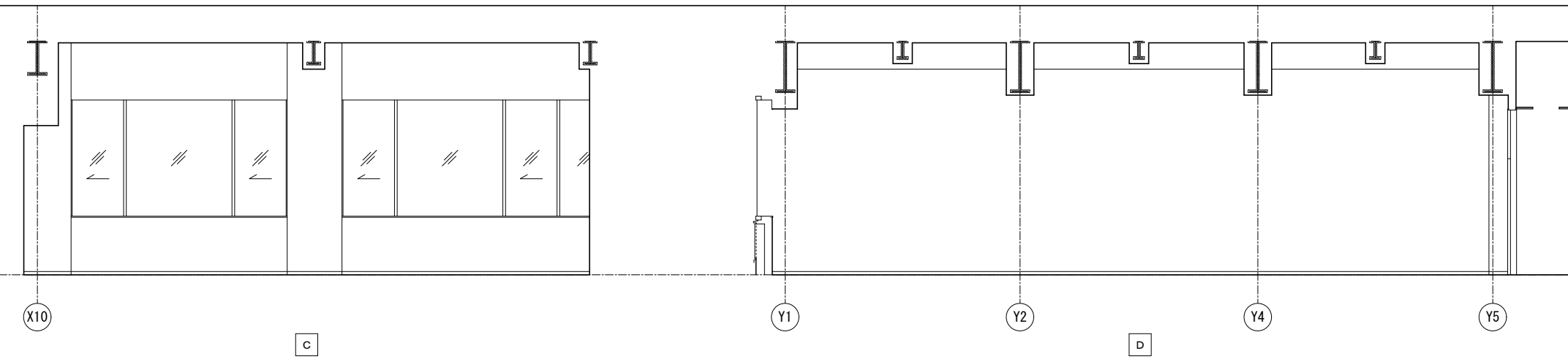
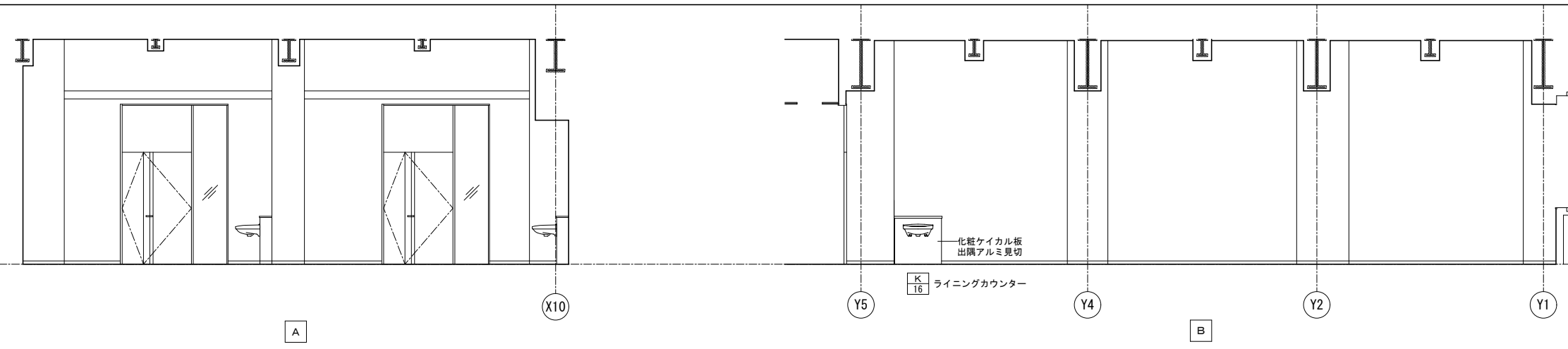


※特記無き仕上はEP-G塗装とする

研究室1
CH=4,195



研究室2・3
CH=4,195



株式会社 福見建築設計事務所
富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

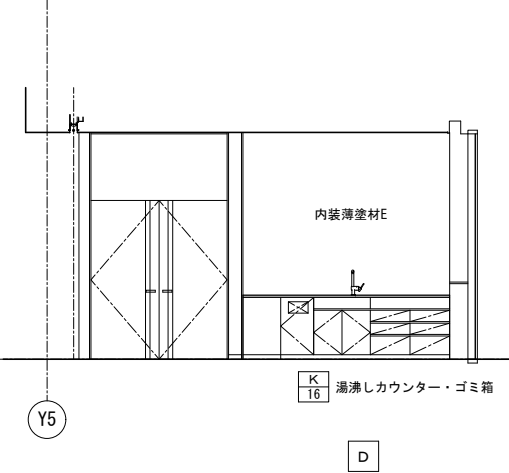
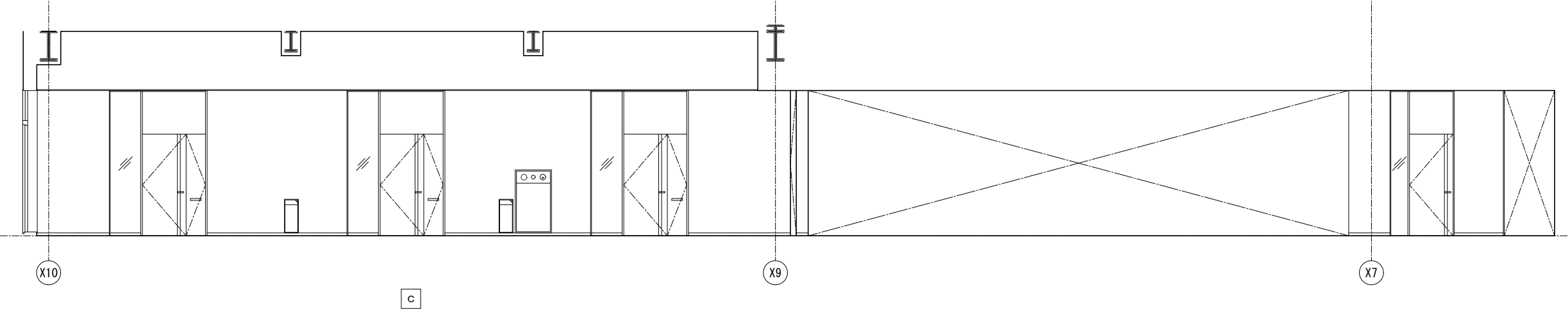
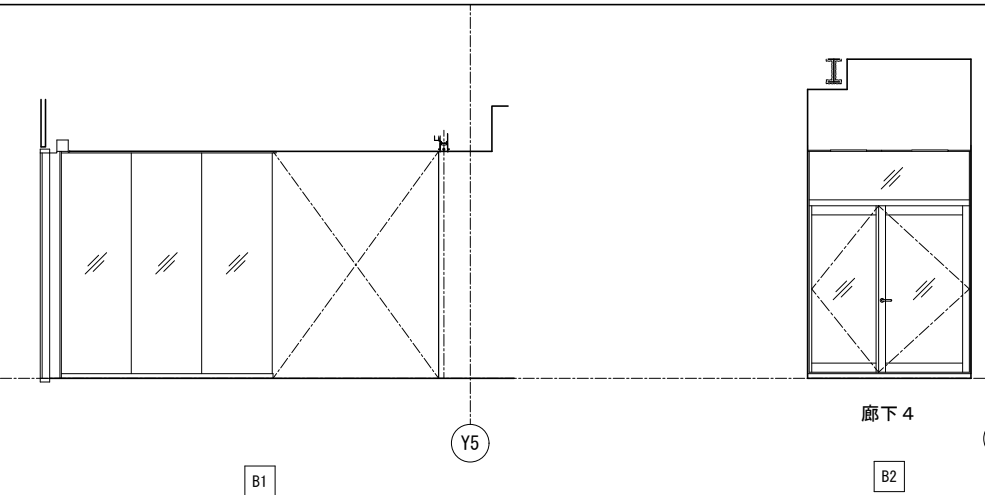
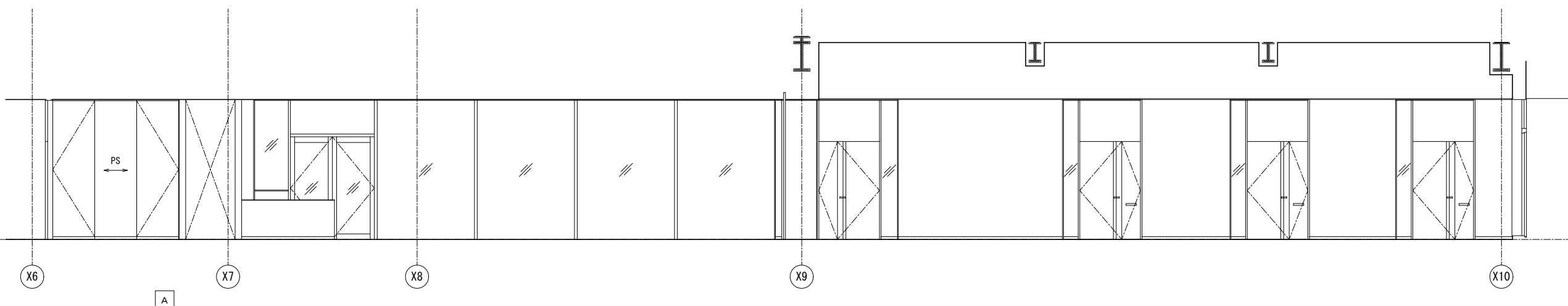
管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号
担当 松原 希実

記事

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事
図面名称 展開図 9

日付 2023.10
縮尺 [A1] 1/50
[A3] 1/100

図面番号 A-62
意匠



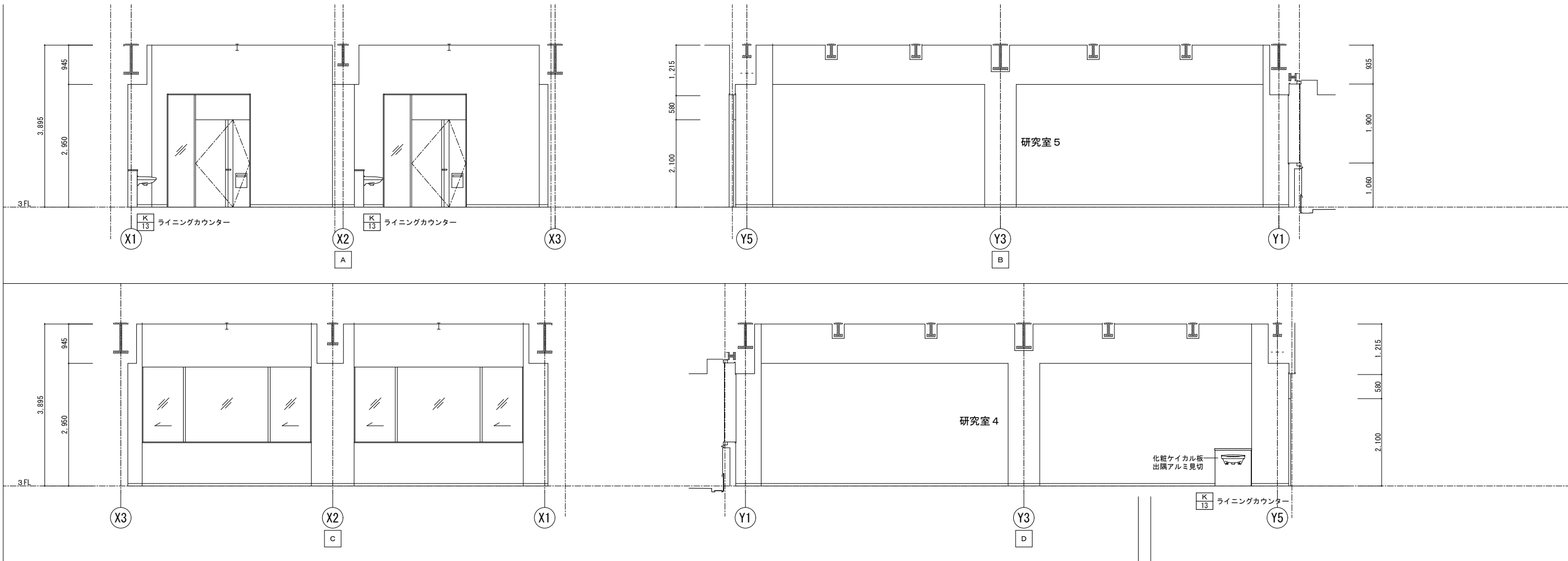
ラニング コモンズ 1
廊下 5, 6
CH=3,000

※特記無き仕上はEP-G塗装とする

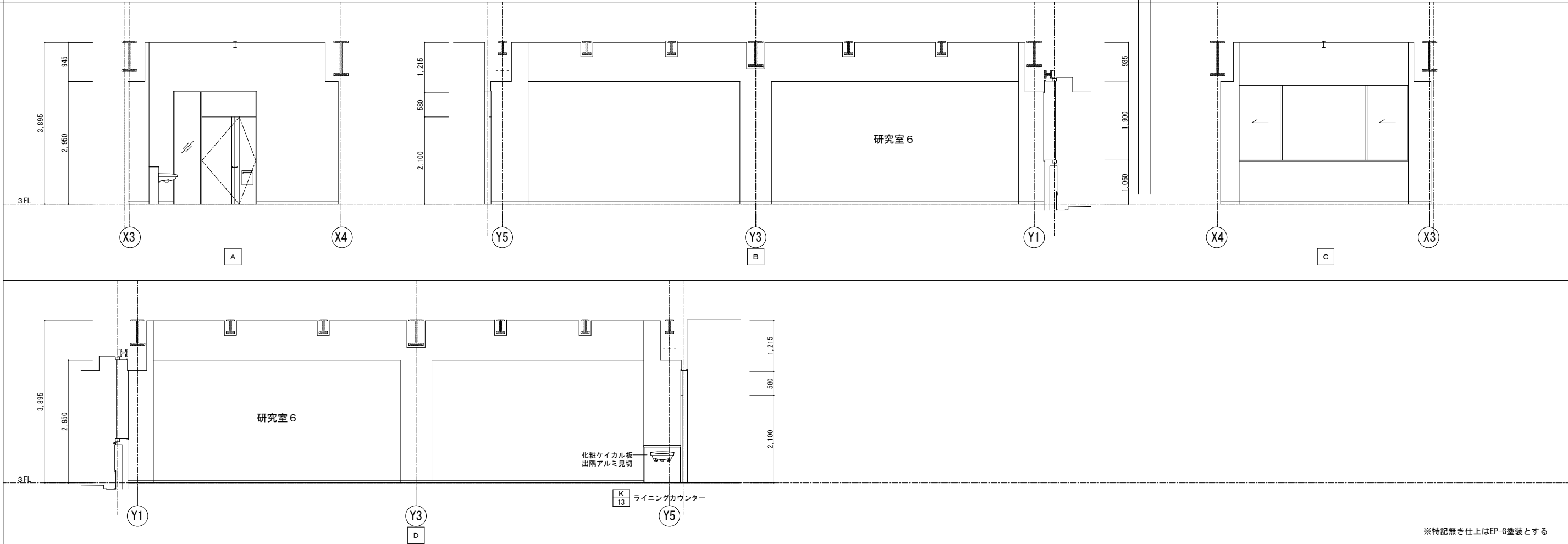
株式会社 福見建築設計事務所 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表) 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁	管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	記事	工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事	日付 2023.10	図面番号
	建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号		図面名称 展開図 10	縮尺 【A1】 1/50 【A3】 1/100	A-63
	担当 松原 希実		意匠		



研究室4・5
CH-3895



研究室6
CH-3895



※特記無き仕上はEP-G塗装とする

株式会社 福見建築設計事務所
富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

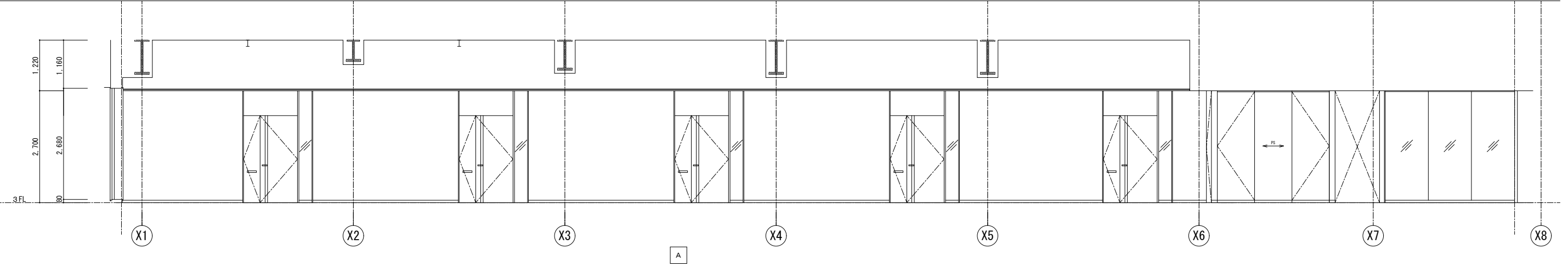
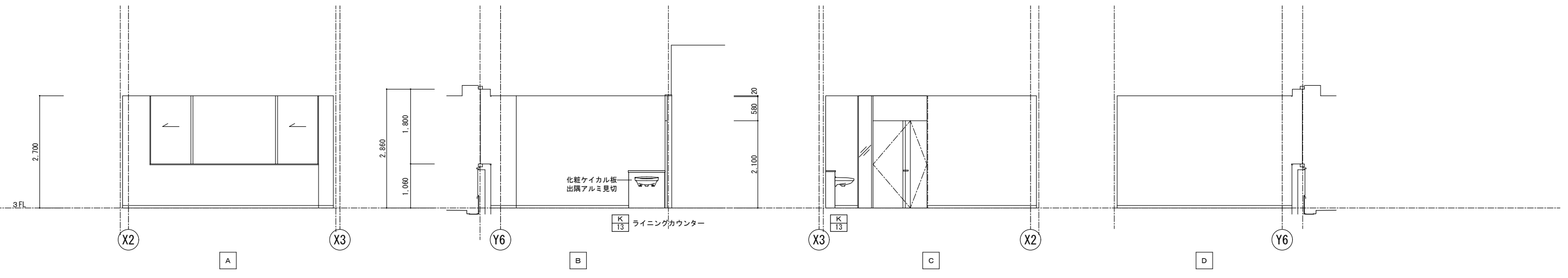
管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号 記事
建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号
担当 高橋 航平

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事
図面名称 展開図 1 2

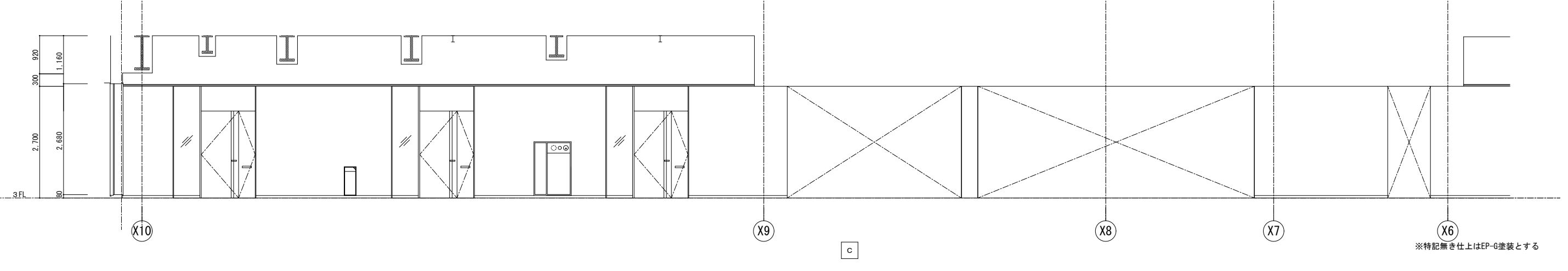
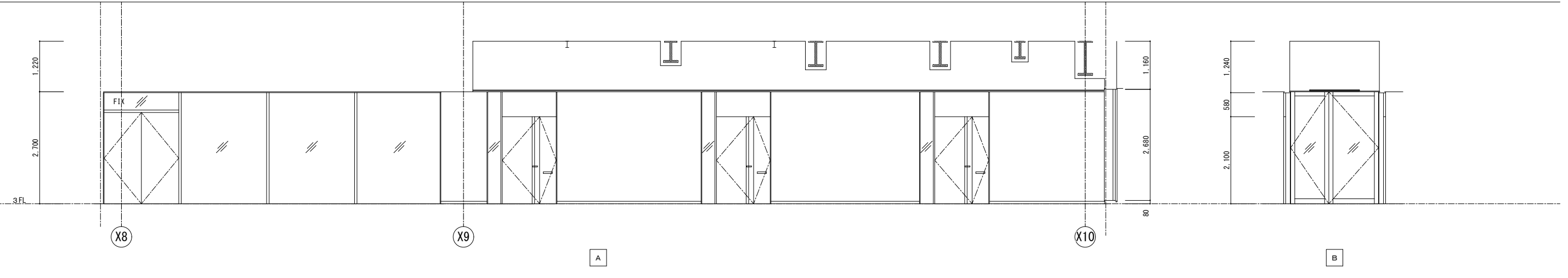
日付 2023.10
縮尺 【A1】 1/100
【A3】 1/200

図面番号 A-65
意匠

教員室 5
CH=2700



廊下 7、8、9
CH=2700~3920

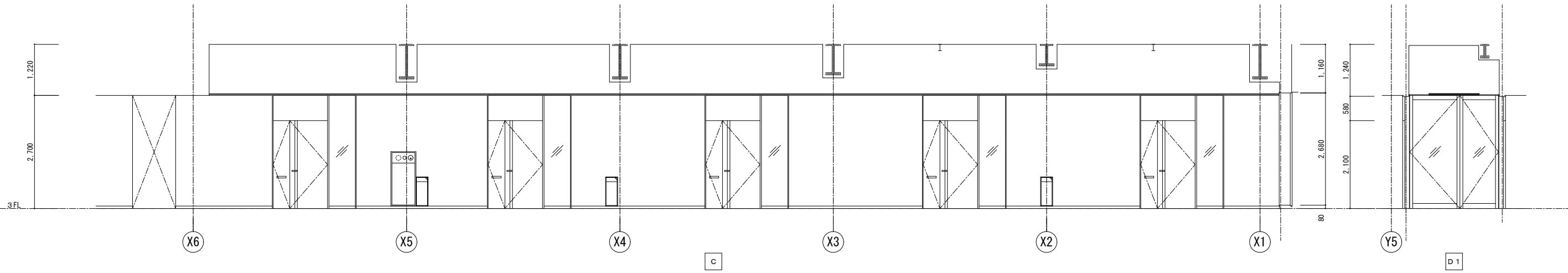


※特記無き仕上はEP-G塗装とする

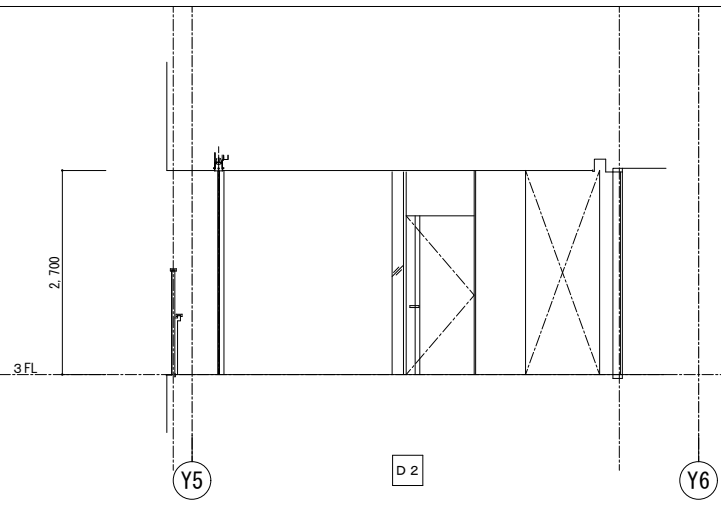
株式会社 福見建築設計事務所
富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

管理技術者	西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	記事
建築担当主任技術者	高橋 航平 一級建築士登録第349562号	
担当	高橋 航平	

工事名称	富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事	日付	2023.10	図面番号	A-66
図面名称	展開図 1 3	縮尺	[A1] 1/100 [A3] 1/200	意匠	



廊下 7、8、9
CH=2700~3920



※特記無き仕上はEP-G塗装とする

株式会社 福見建築設計事務所
富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

管理技術者	西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
建築担当主任技術者	高橋 航平 一級建築士登録第349562号
担当	高橋 航平

記事

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事

日付 2023.10

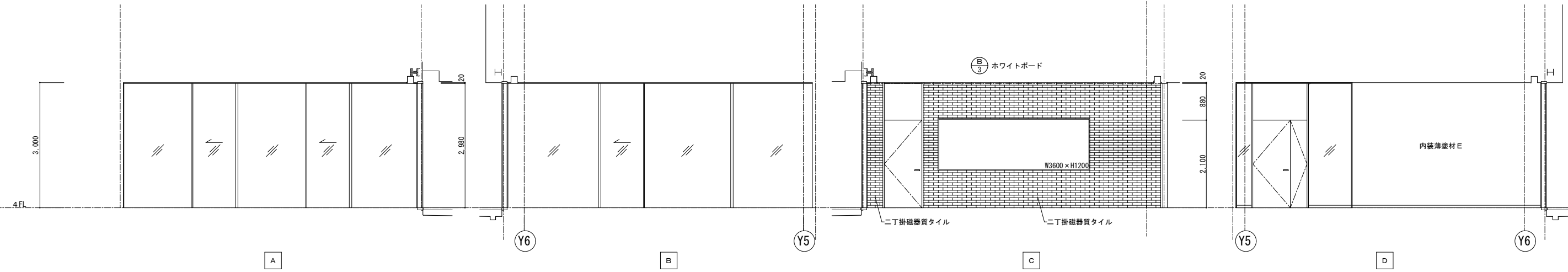
図面番号

図面名称 展開図 1 4

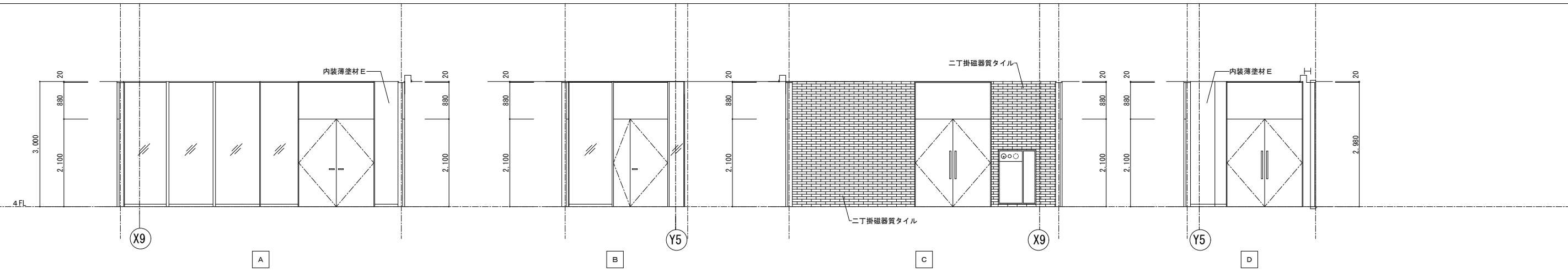
縮尺 【A1】 1/100
【A3】 1/200

A-67
意 匠

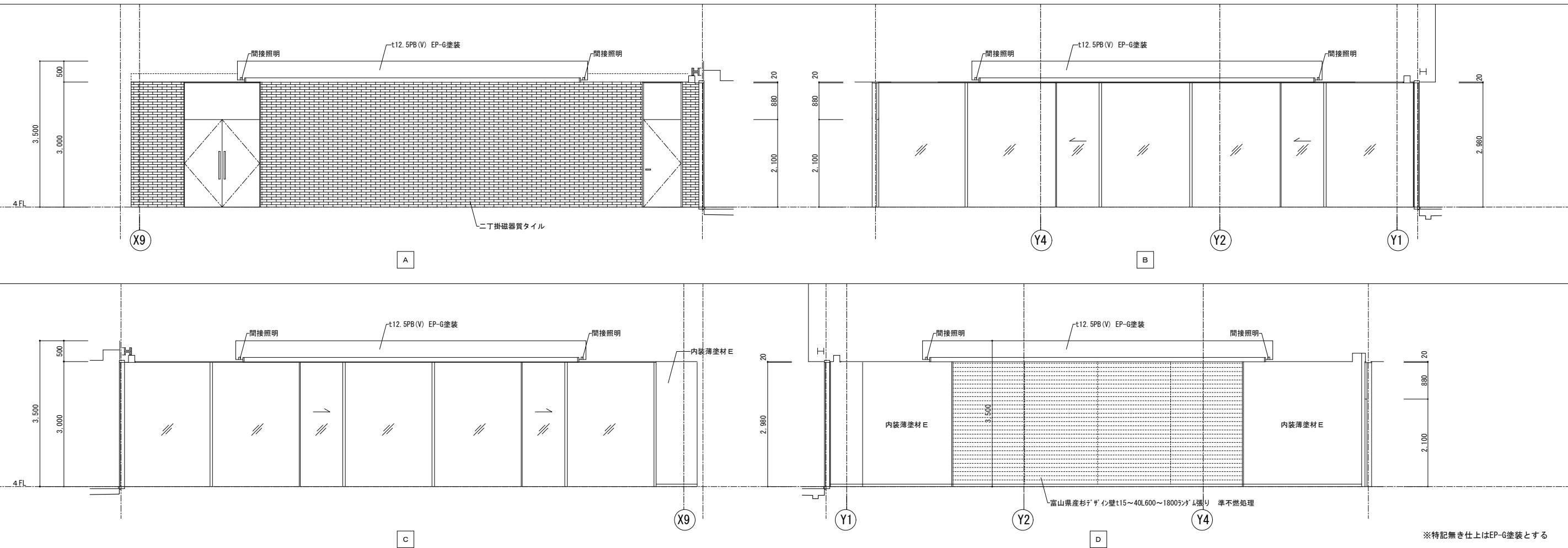
会議室
CH=3000



廊下 1 2
CH=3000



教授会室
CH=3000
CH=3500



※特記無き仕上はEP-G塗装とする

株式会社 福見建築設計事務所
富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号
担当 高橋 航平

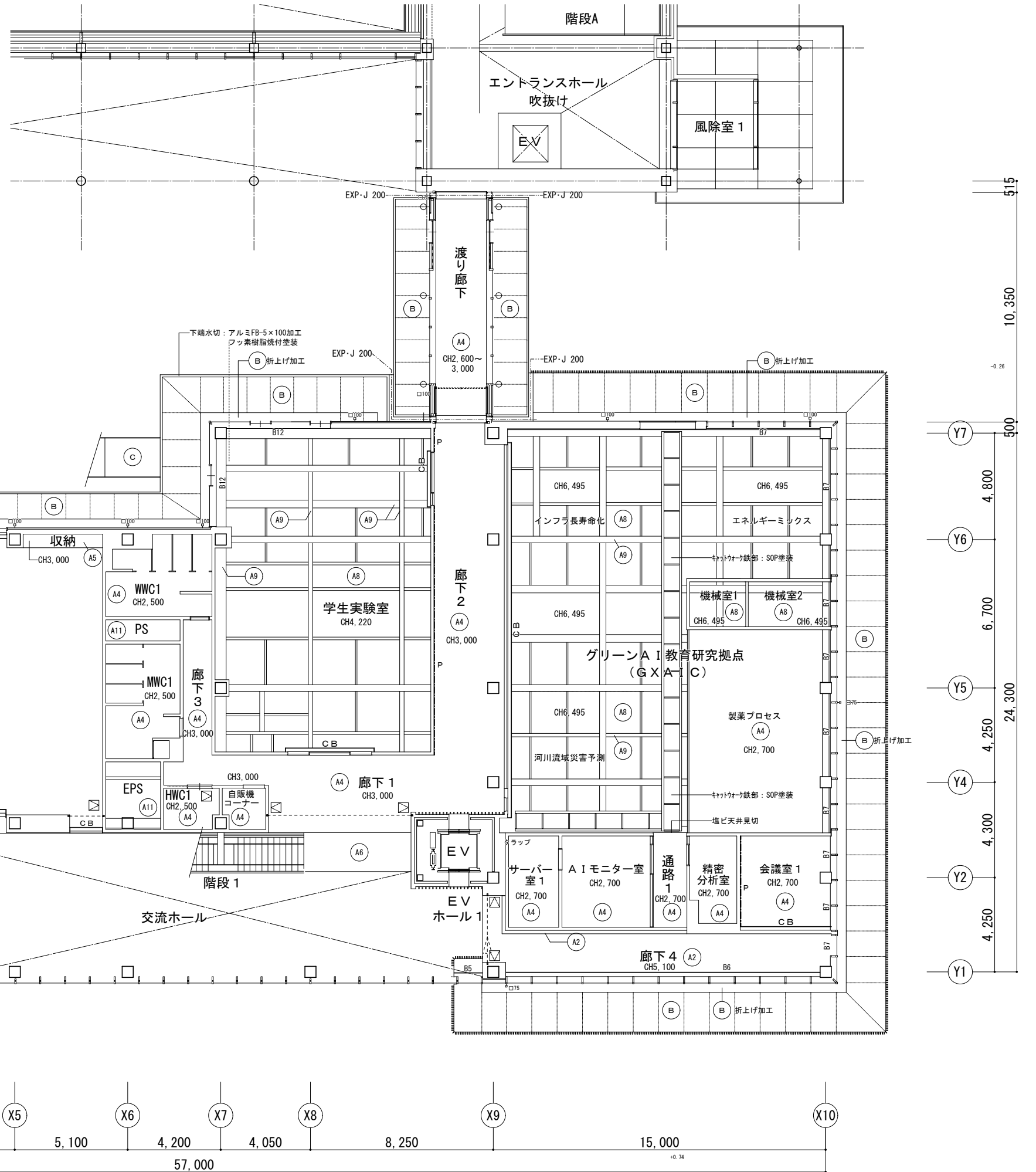
記事

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事
図面名称 展開図 1 5

日付 2023.10
縮尺 [A1] 1/100
[A3] 1/200

図面番号 A-68
意匠

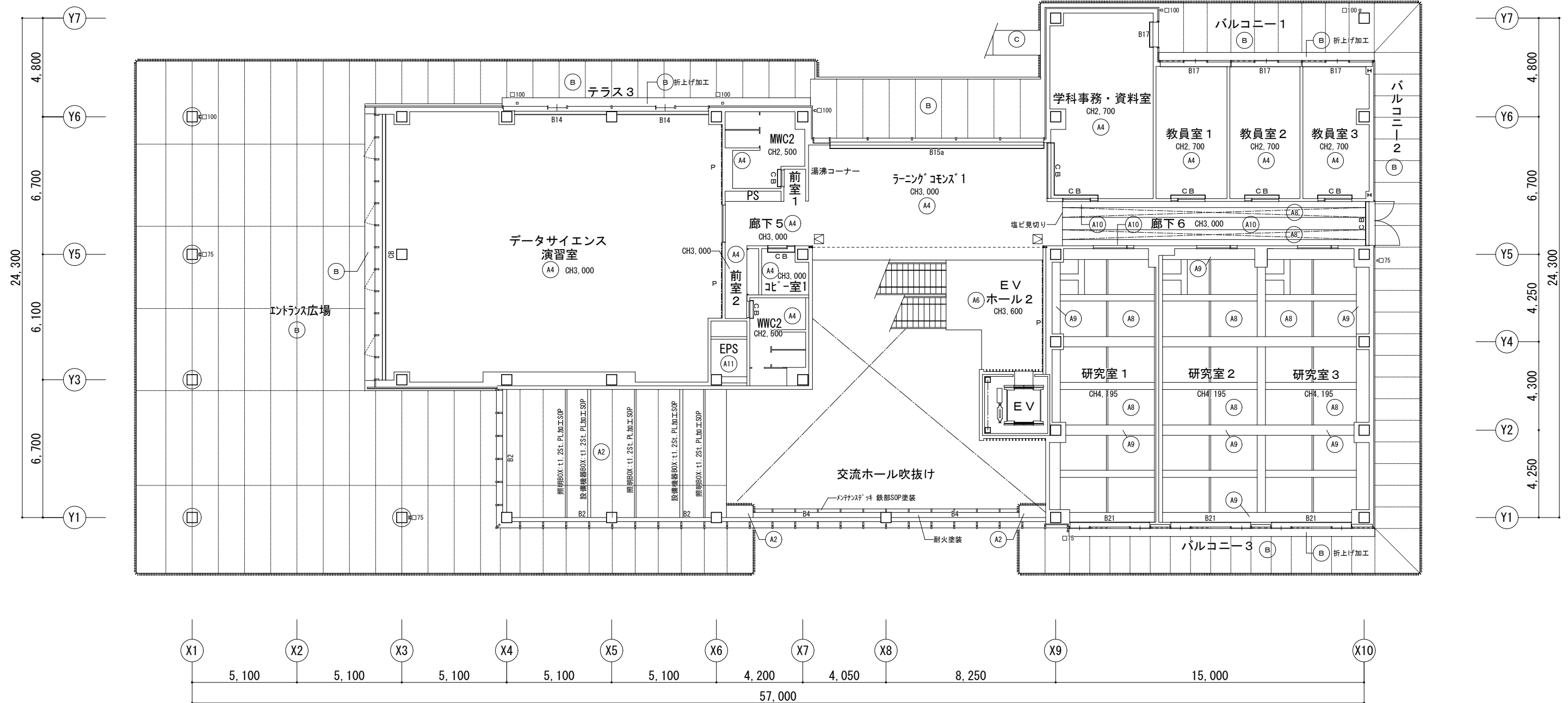
内部仕上凡例		外部仕上凡例	
A1	t3.0焼付印刷アルミカットパネル目スカシ	A	t2.0焼付印刷アルミカットパネル 目スカシ
A2	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ ノンシール工法	B	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ ノンシール工法 アルポリック/fr METALLICOLORS 目地部 ブラック塗装 ビス類共
A3	t12.5PB+t9.0岩綿吸音板 30×150@150富山県産杉ルバー-準不燃処理 60×300@1,080 7&M押出型材ルバー-フッ素樹脂焼付塗装	C	t2.0アルミパネル加工 フッ素樹脂焼付塗装
A4	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板		
A5	t9.5化粧PB	B##	ブラインドボックス：建具詳細図参照
A6	t9.5PB+t12.5PB(V) 全面寒冷紗張りパテしごき(2回) EP	CB	カーテンボックス：t1.2スチール加工 SOP塗装
A7	t12.5PB+t6.0ケイカル板目スカシ 不燃化珪塩ビフィルム(小口巻込み)目地底共	P	-----天井付ビッパレール(コルゲ-ラシ C-2B 514-484) CAフック1ヶ所@450
A8	t25ガラスウールガラスクロス(ブラック)額縁貼りピン止め		
A9	t12.5PB(V) EP	☒	天井点検口 450□アルミ製 目地タイプ(ホワイト)
A10	t15.0×W300富山県産杉集成材準不燃処理		
A11	スラブ現し		
A12	t9.5不燃PB+t9.0岩綿吸音板		
A13	鉄骨部 SOP		



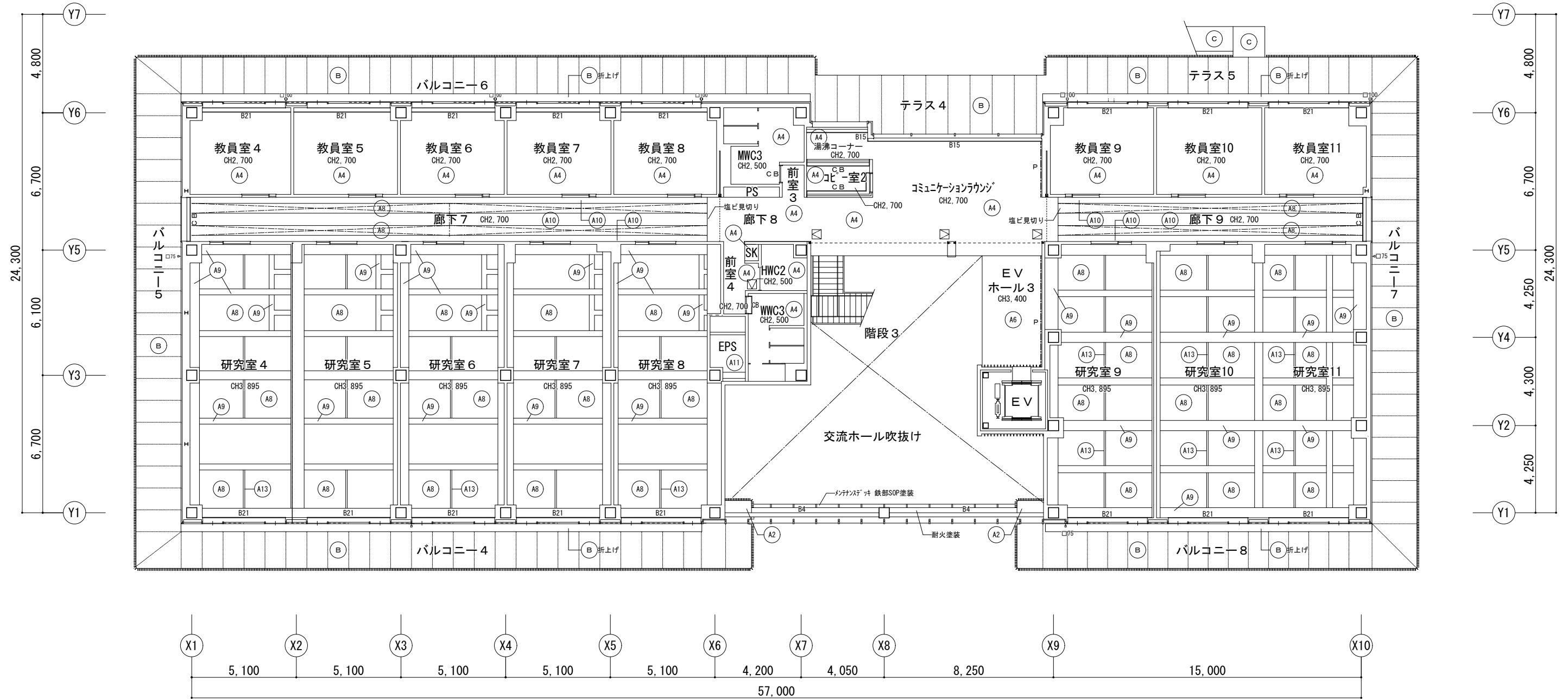
内部仕上凡例		外部仕上凡例	
A1	t3.0焼付印刷アルミカットパネル目スカシ	A	t2.0焼付印刷アルミカットパネル 目スカシ
A2	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ ノンシール工法	B	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ ノンシール工法 アルボリック/fr METALLICCOLORS 目地部 ブラック塗装 ビス類共
A3	t12.5PB+t9.0岩綿吸音板 30×150@150富山県産杉ルバー-準不燃処理 60×300@1.080 7M3押出型材ルバー-フッ素樹脂焼付塗装	C	t2.0アルミパネル加工 フッ素樹脂焼付塗装
A4	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板		
A5	t9.5化粧PB	B##	ブラインドボックス：建具詳細図参照
A6	t9.5PB+t12.5PB(v) 全面寒冷紗張りパテしごき(2回) EP	C B	カーテンボックス：t1.2スチール加工 SOP塗装
A7	t12.5PB+t6.0ケイカル板目スカシ 不燃化粧塩ビフィルム(小口巻込み)目地底共	P	-----天井付ビクファレール(コルゲーション C-2B 514-484) CAフック1ヶ所@450
A8	t25グラスウールガラスクロス(ブラック)額縁貼りピン止め		
A9	t12.5PB(V) EP	☒	天井点検口 450□アルミ製 目地タイプ(ホワイト)
A10	t15.0×W300富山県産杉集成材準不燃処理		
A11	スラブ現し		
A12	t9.5不燃PB+t9.0岩綿吸音板		
A13	鉄骨部 SOP		

【天井開口補強リスト】					
□200	20 箇所	□600×300	66 箇所	φ100	75 箇所
□400	47 箇所	□700×300	57 箇所	φ150	80 箇所
□450	223 箇所	□800×300	3 箇所	φ200	40 箇所
□600	22 箇所	□800×400	1 箇所	φ250	40 箇所
□900	38 箇所	□1000×400	1 箇所	φ300	25 箇所
□1000×100	30 箇所	□1100×700	6 箇所		
□1000×200	12 箇所	□1300×400	1 箇所		
□1200×200	3 箇所	□1400×700	1 箇所		
□1400×100	2 箇所	□1500×300	5 箇所		
□1500×100	7 箇所	□1235×100	157 箇所		

【天井点検口リスト】	
天井点検口：7M3製450角 目地タイプ(7M3焼付塗装品)	223 箇所
取付場所：現場指示による	

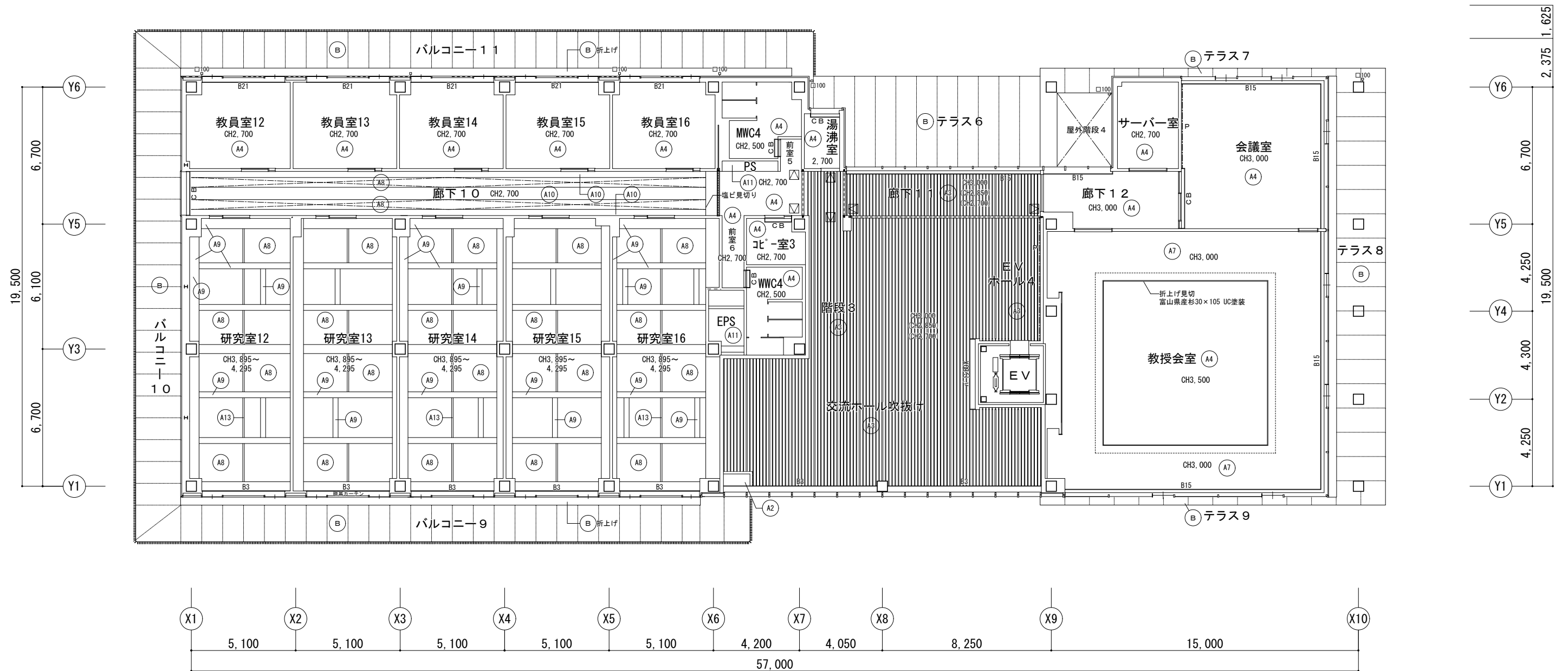


内部仕上凡例		外部仕上凡例	
A1	t3.0焼付印刷アルミカットパネル目スカシ	A	t2.0焼付印刷アルミカットパネル 目スカシ
A2	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ ノンシール工法	B	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ ノンシール工法 アルボリック/fr METALLICOLORS 目地部 ブラック塗装 ビス類共
A3	t12.5PB+t9.0岩綿吸音板 30×150@150富山県産杉ルバー準不燃処理 60×300@1,080 7&M押出型材ルバー素樹脂焼付塗装	C	t2.0アルミパネル加工 フッ素樹脂焼付塗装
A4	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板		
A5	t9.5化粧PB	B##	ブラインドボックス：建具詳細図参照
A6	t9.5PB+t12.5PB(V) 全面寒冷紗張りパテしごき(2回) EP	C B	カーテンボックス：t1.2スチール加工 SOP塗装
A7	t12.5PB+t6.0ケイカル板目スカシ 不燃化珪塩ビフィルム(小口巻込み)目地底共	P	-----天井付ビクフレール(コダテ) C-2B 514-484) CAフック1ヶ所@450
A8	t25ガラスウルガラスクロス(ブラック)額縁貼りピン止め		
A9	t12.5PB(V) EP	☒	天井点検口 450□アルミ製 目地タイプ(ホワイト)
A10	t15.0×W300富山県産杉集成材準不燃処理		
A11	スラブ現し		
A12	t9.5不燃PB+t9.0岩綿吸音板		
A13	鉄骨部 SOP		



株式会社 福見建築設計事務所 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表) 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁	管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号 建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号 担当 高橋 航平	記事	工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事 図面名称 3階天井伏図	日付 2023.10 縮尺 【A1】 1/100 【A3】 1/200	図面番号 A-71 意匠
--	--	----	--	---	--------------------

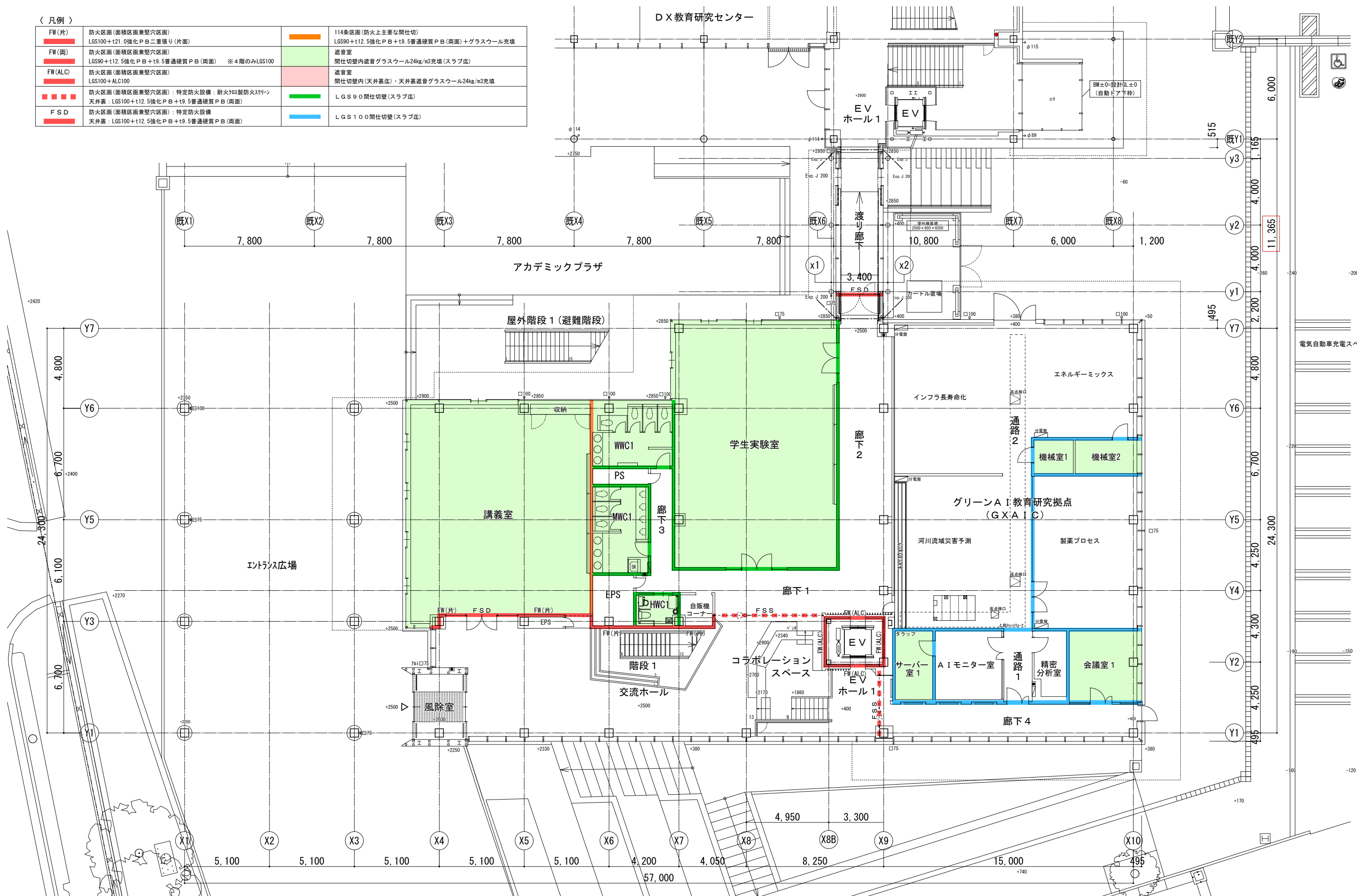
内部仕上凡例		外部仕上凡例	
A1	t3.0焼付印刷アルミカットパネル目スカシ	A	t2.0焼付印刷アルミカットパネル 目スカシ
A2	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ ノンシール工法	B	t4.0アルミ樹脂積層複合板 目スカシ ノンシール工法 アルボリック/fr METALLICOLORS 目地部 ブラック塗装 ビス類共
A3	t12.5PB+t9.0岩綿吸音板 30×150@150富山県産杉ルバー準不燃処理 60×300@1.080 7ミ押し型材ルバーフッ素樹脂焼付塗装	C	t2.0アルミパネル加工 フッ素樹脂焼付塗装
A4	t9.5PB+t9.0岩綿吸音板		
A5	t9.5化粧PB	B#	ブラインドボックス：建具詳細図参照
A6	t9.5PB+t12.5PB(v) 全面寒冷紗張りパテしごき(2回) EP	C B	カーテンボックス：t1.2スチール加工 SOP塗装
A7	t12.5PB+t6.0ケイカル板目スカシ 不燃化粧塩ビフィルム(小口巻込み)目地底共	P	-----天井付ビクフェーレン(コルゲ-ラ) C-2B 514-484) CAフック1ヶ所@450
A8	t25ガラスウールガラスクロス(ブラック)額縁貼りピン止め		
A9	t12.5PB(V) EP	☒	天井点検口 450□アルミ製 目地タイプ(ホワイト)
A10	t15.0×W300富山県産杉集成材準不燃処理		
A11	スラブ現し		
A12	t9.5不燃PB+t9.0岩綿吸音板		
A13	鉄骨部 SOP		



株式会社 福見建築設計事務所 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表) 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁	管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号 記事	工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事	日付 2023.10	図面番号 A-72	
	建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号	図面名称 4階天井伏図	縮尺 【A1】 1/100 【A3】 1/200	意匠	
	担当 高橋 航平				

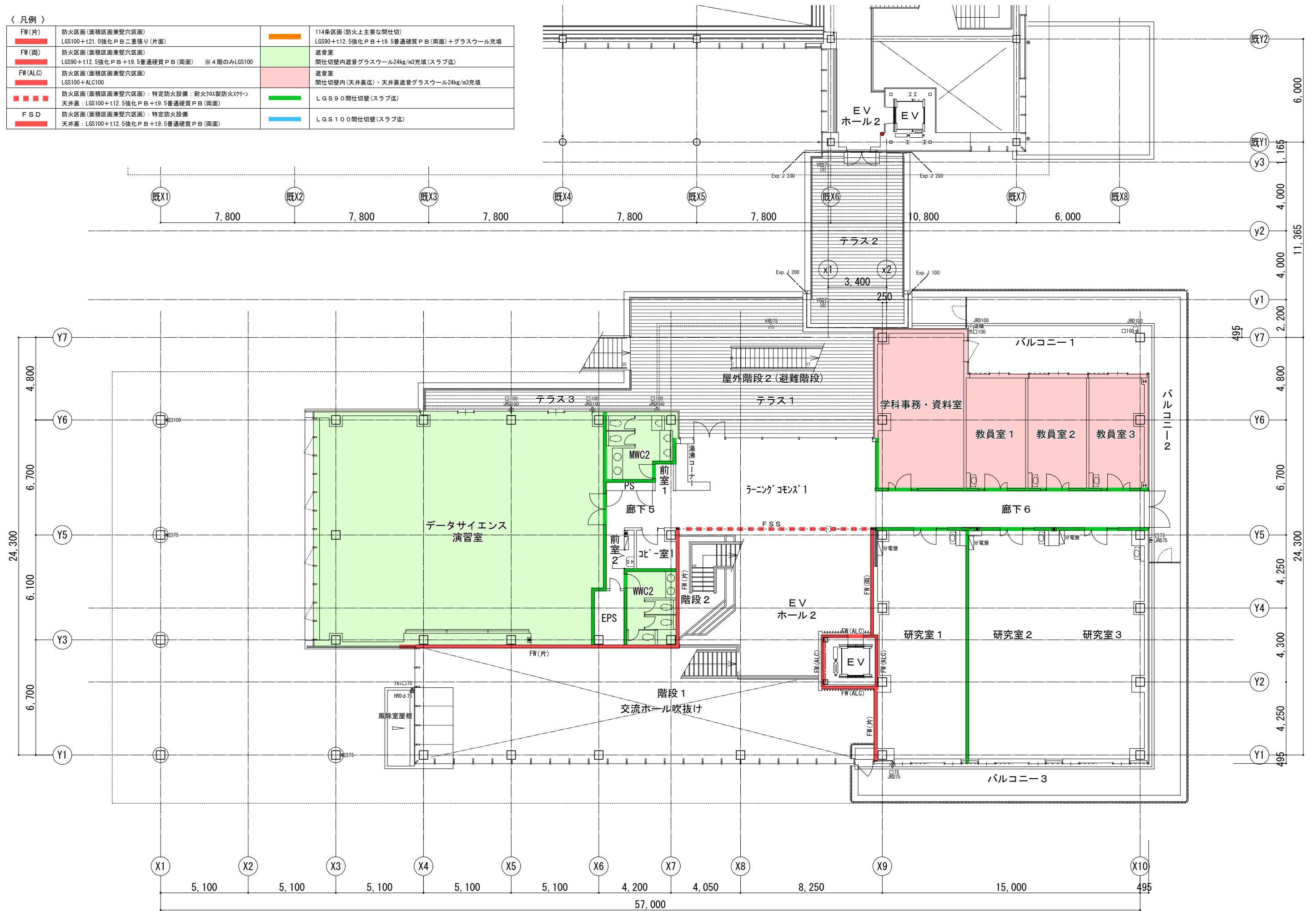
〈凡例〉

FW(片)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS100+t21.0強化PB二重張り(片面)	114条区画(防火上主要な間仕切)
FW(両)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS90+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面) ※4階のみLGS100	遮音室 間仕切壁内遮音グラスウール24kg/m3充填(スラブ造)
FW(ALC)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS100+ALC100	遮音室 間仕切壁内(天井裏造)・天井裏遮音グラスウール24kg/m3充填
FW(片)	防火区画(面積区画兼整穴区画): 特定防火設備: 耐火FRP製防火スクリーン 天井裏: LGS100+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面)	LGS90間仕切壁(スラブ造)
FSD	防火区画(面積区画兼整穴区画): 特定防火設備 天井裏: LGS100+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面)	LGS100間仕切壁(スラブ造)



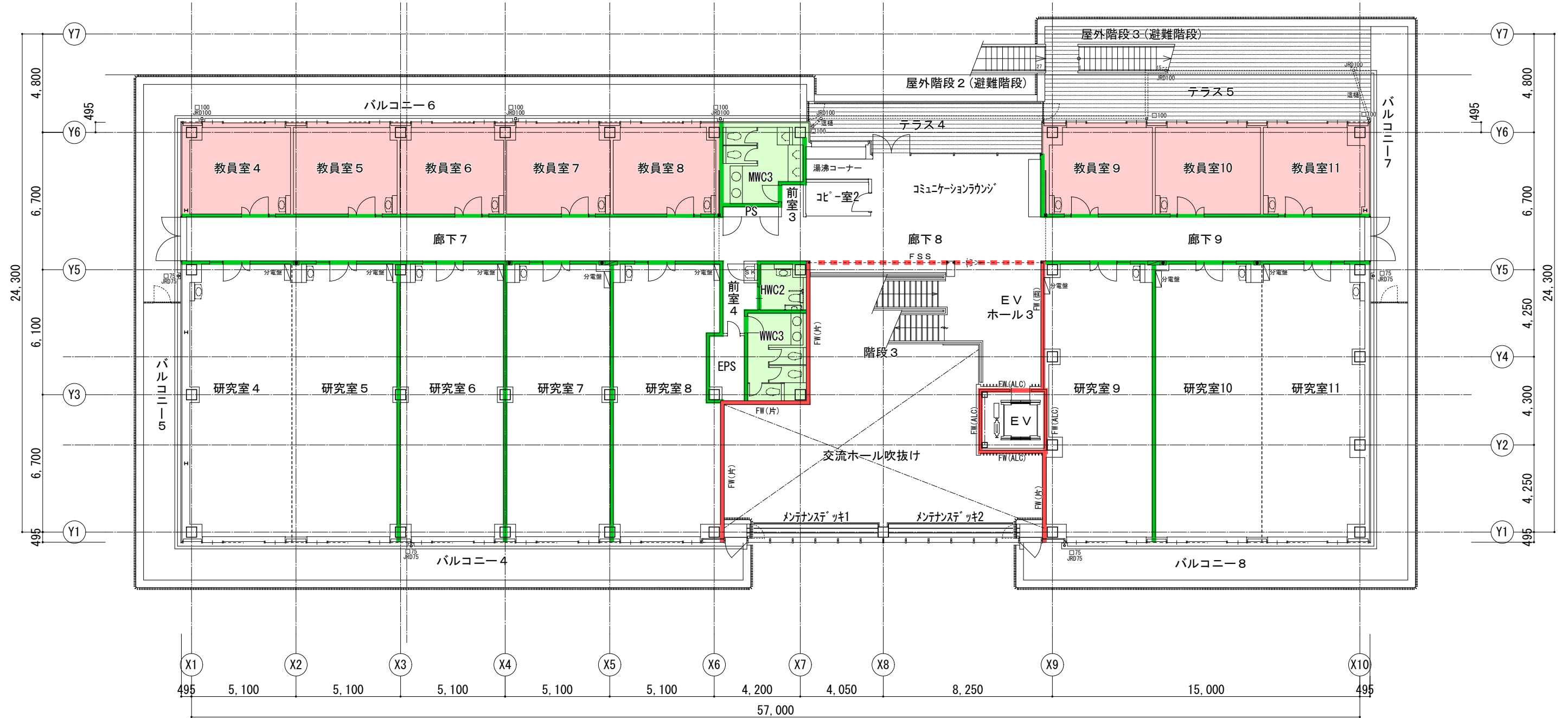
〈凡例〉

FW(片)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS100+t21.0強化PB二重張り(片面)	114条区画(防火上主要な間仕切) LGS90+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面)+グラスウール充填
FW(両)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS90+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面) ※4階のみLGS100	遮音室 間仕切壁内遮音グラスウール24kg/m3充填(スラブ迄)
FW(ALC)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS100+ALC100	遮音室 間仕切壁内(天井裏迄)・天井裏遮音グラスウール24kg/m3充填
FW(赤点)	防火区画(面積区画兼整穴区画): 特定防火設備: 耐火FR製防火スクリーン 天井裏: LGS100+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面)	LGS90間仕切壁(スラブ迄)
FSD	防火区画(面積区画兼整穴区画): 特定防火設備 天井裏: LGS100+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面)	LGS100間仕切壁(スラブ迄)



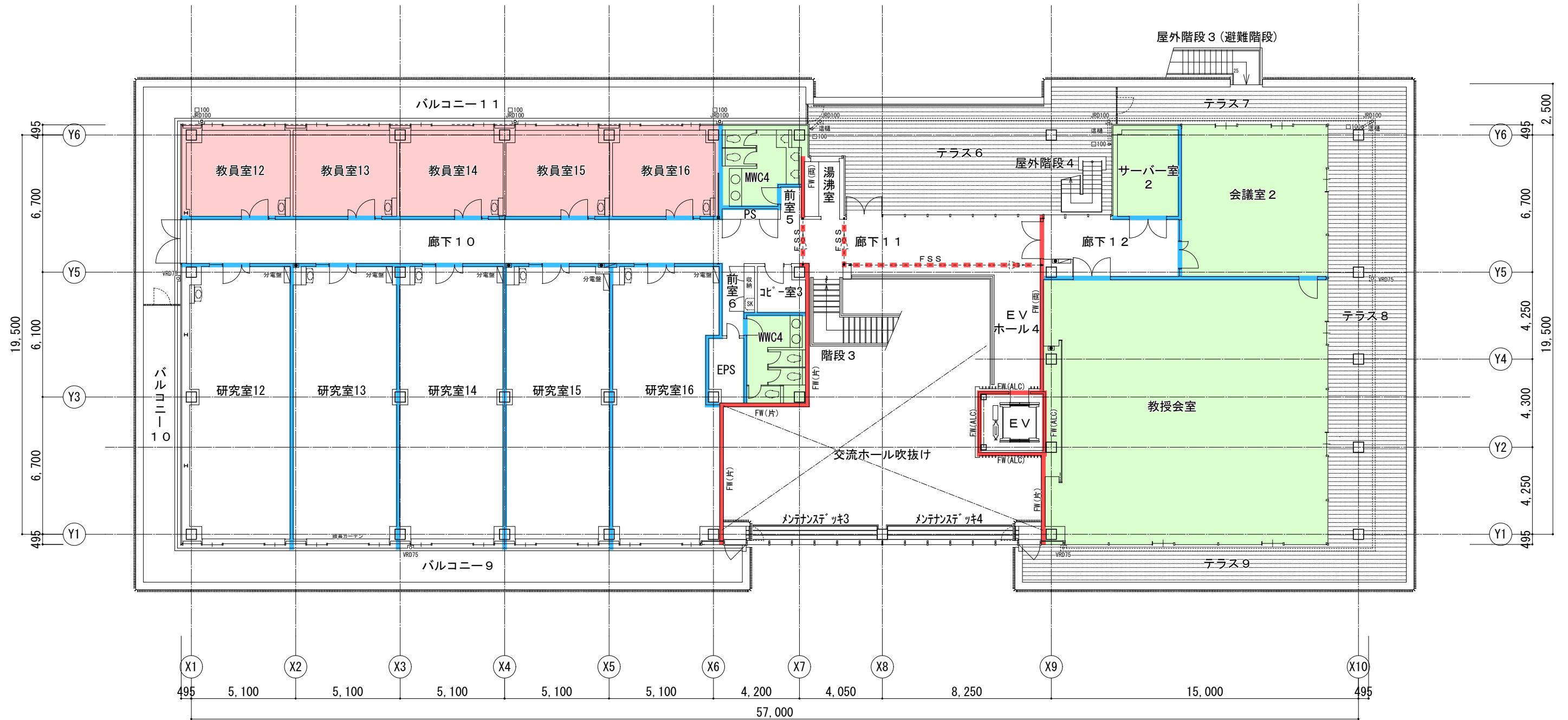
〈 凡例 〉

FW(片)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS100+t12.0強化PB二重張り(片面)	114条区画(防火上主要な間仕切)
FW(両)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS90+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面) ※4階のみLGS100	遮音室 間仕切壁内遮音グラスウール24kg/m ³ 充填(スラブ迄)
FW(ALC)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS100+ALC100	遮音室 間仕切壁内(天井裏迄)・天井裏遮音グラスウール24kg/m ³ 充填
FW(片)	防火区画(面積区画兼整穴区画)：特定防火設備：耐火吹抜防火スクリーン 天井裏：LGS100+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面)	LGS90間仕切壁(スラブ迄)
FSD	防火区画(面積区画兼整穴区画)：特定防火設備 天井裏：LGS100+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面)	LGS100間仕切壁(スラブ迄)

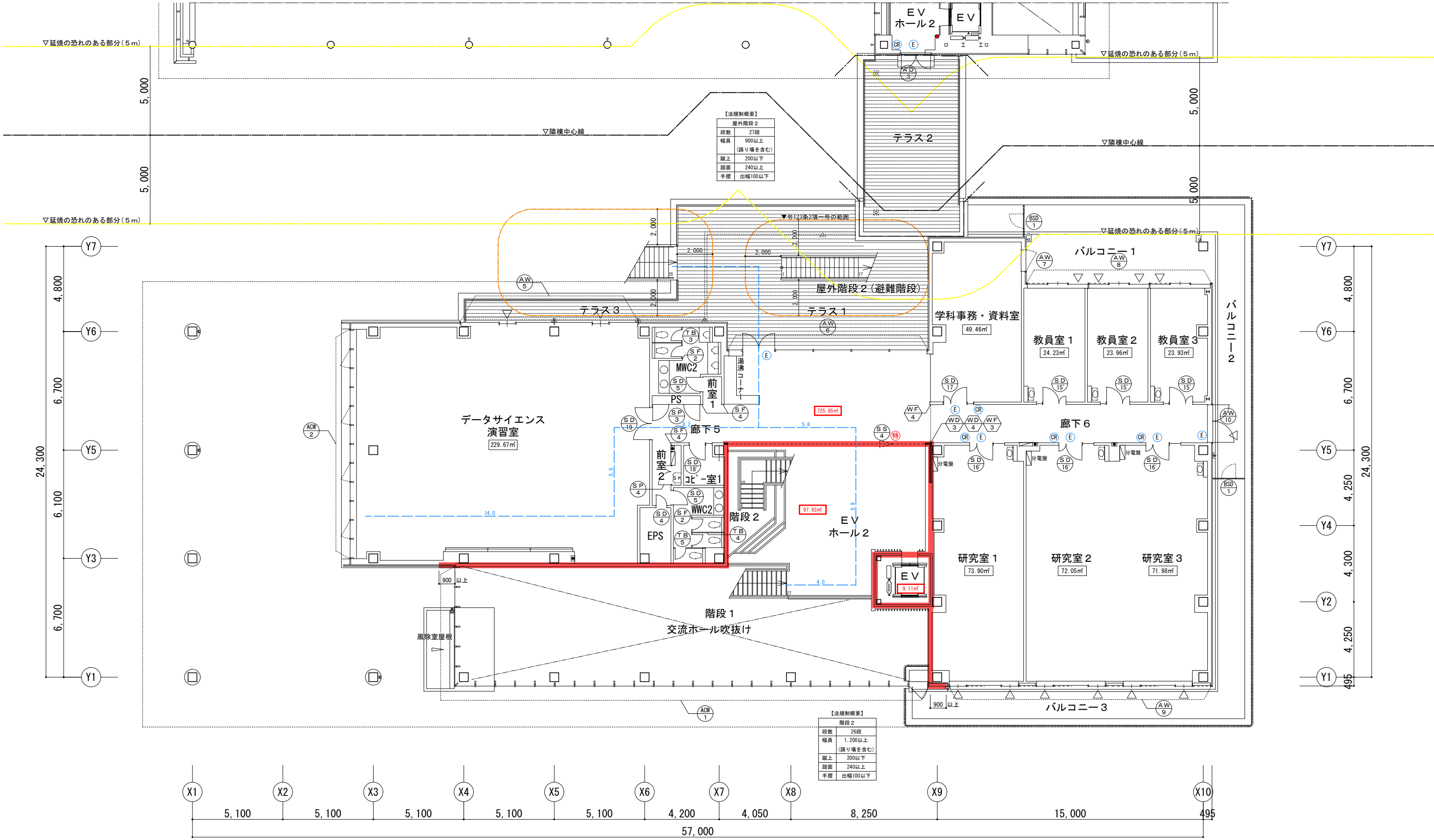


〈 凡例 〉

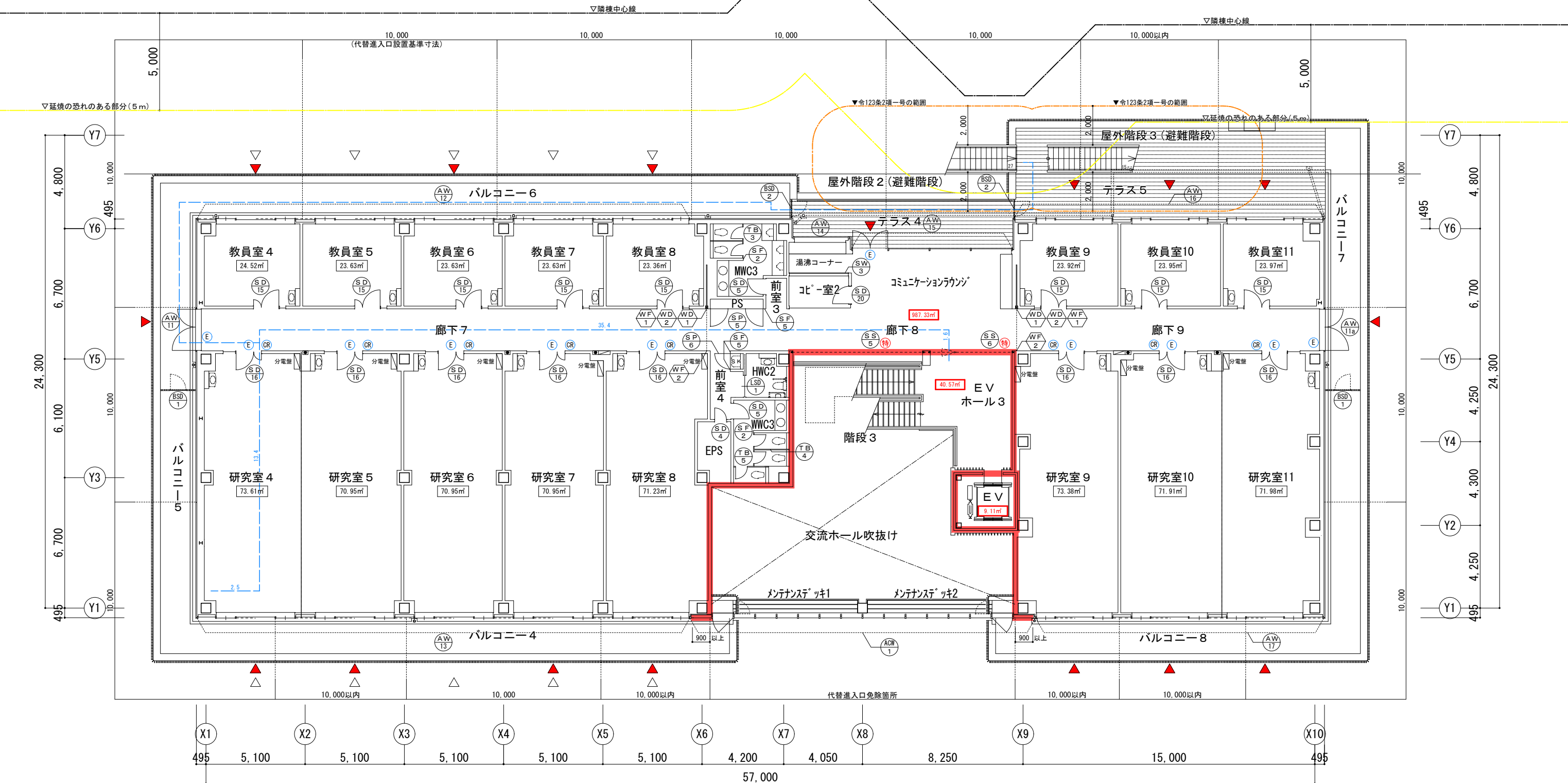
FW(片)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS100+t12.0強化PB二重張り(片面)	114条区画(防火上主要な間仕切)
FW(両)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS90+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面) ※4階のみLGS100	遮音室 間仕切壁内遮音グラスウール24kg/m3充填(スラブ迄)
FW(ALC)	防火区画(面積区画兼整穴区画) LGS100+ALC100	遮音室 間仕切壁内(天井裏迄)・天井裏遮音グラスウール24kg/m3充填
FW(片)	防火区画(面積区画兼整穴区画): 特定防火設備: 耐火吹吸防火スクリーン 天井裏: LGS100+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面)	LGS90間仕切壁(スラブ迄)
FSD	防火区画(面積区画兼整穴区画): 特定防火設備 天井裏: LGS100+t12.5強化PB+t9.5普通硬質PB(両面)	LGS100間仕切壁(スラブ迄)



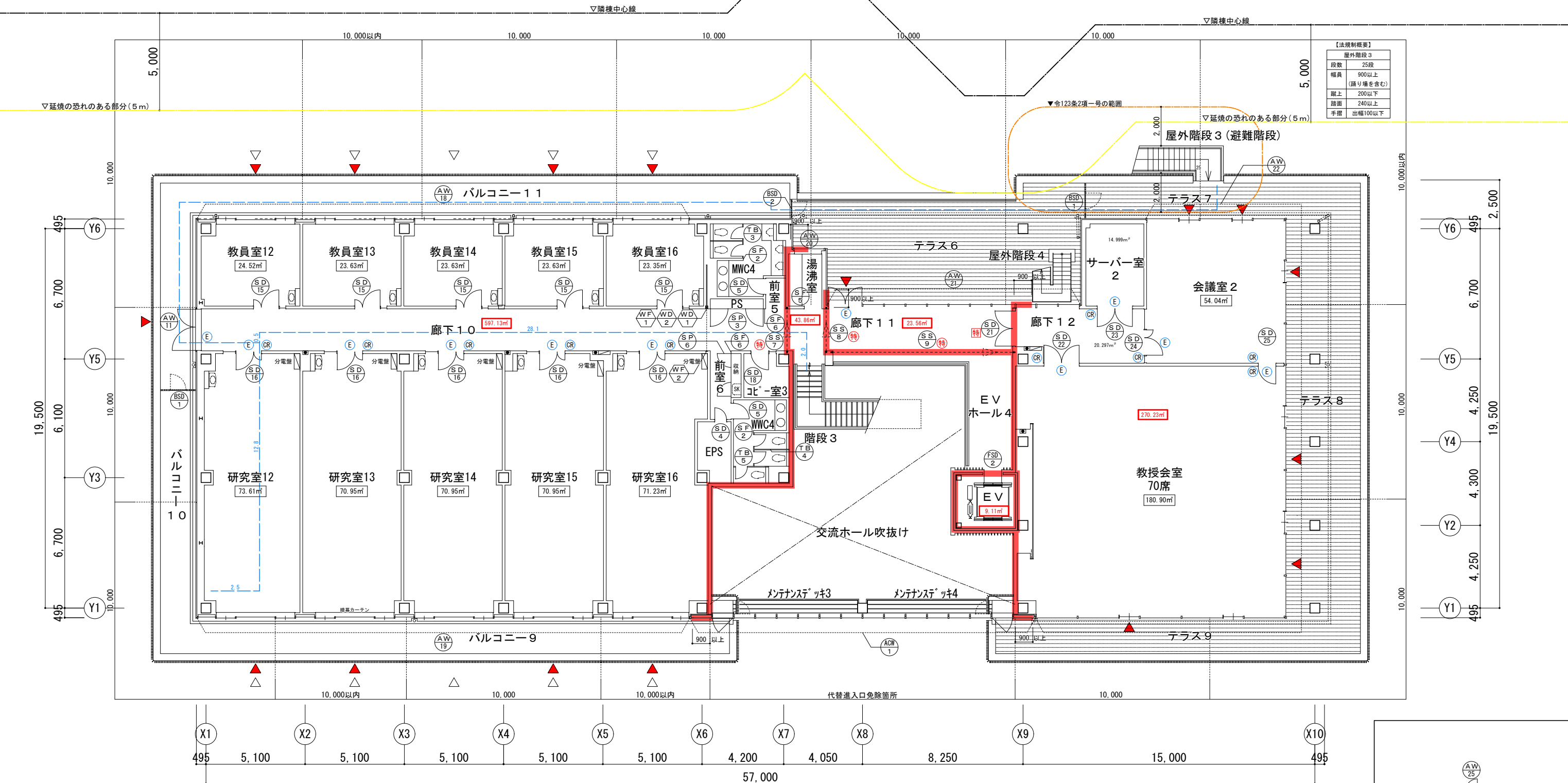
凡例	防火区画(面積区画兼整穴区画)	特	特定防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号	防	防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号	▽	消防法施行規則5条の2による開口部	T	テンキー	特記事項	防火区画に接する外壁の防火制限 -内装は全て準不燃以上とする。 -防火使用部は防火構造とする。	屋外避難階段から共用廊下に連絡する部分の扉は 開入りガラス窓付とし、非常時には当該部分を破壊し 解放が行えるものとする。
	令114条による界壁(防火上主要な間仕切)	特	特定防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第2号(遮煙性能付)	防	防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第2号(遮煙性能付)	▽	非常用出入口にかわる開口部(W750xH200以上) 幅員4m以上の空地部分に適用	E	電気錠	防火区画特記事項 ○区画貫通部分の前後及び1mは不燃処理とする。 ○PS:EPSは全て水平区画とする。 ○MR:不燃材料閉鎖 ○各階、水平区画とする。 ○防火区画に接する外壁の防火制限(90cm以上の幅準耐火構造) *令112条第10項の適用	-防火区画に接する外壁の防火制限 (50cm以上突出した準耐火構造のひさし、床、軸壁) *令112条第10項ただし書きの適用	屋外避難階段から共用廊下に連絡する部分の扉は 開入りガラス窓付とし、非常時には当該部分を破壊し 解放が行えるものとする。
	法35条の3 舞臺居室等による不燃区画 壁・天井の仕上、下地不燃材料	特	特定防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号(煙又は熱感知連動式)	防	防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号(煙又は熱感知連動式)	数字	令125条第三項による屋外への出口幅(m)	CR	カードリーダー	防火区画特記事項 ○区画貫通部分の前後及び1mは不燃処理とする。 ○PS:EPSは全て水平区画とする。 ○MR:不燃材料閉鎖 ○各階、水平区画とする。 ○防火区画に接する外壁の防火制限(90cm以上の幅準耐火構造) *令112条第10項の適用	-防火区画に接する外壁の防火制限 (50cm以上突出した準耐火構造のひさし、床、軸壁) *令112条第10項ただし書きの適用	屋外避難階段から共用廊下に連絡する部分の扉は 開入りガラス窓付とし、非常時には当該部分を破壊し 解放が行えるものとする。
	不燃区画(消防) 不燃材料で造った壁、床及び天井で区画 開口部は、防火設備	特S	特定防火設備(常時閉鎖式) S:煙感知連動式を示す(遮煙性能付)	防S	防火設備(常時閉鎖式) S:煙感知連動式を示す(遮煙性能付)	数字	歩行距離を示す			防火区画特記事項 ○区画貫通部分の前後及び1mは不燃処理とする。 ○PS:EPSは全て水平区画とする。 ○MR:不燃材料閉鎖 ○各階、水平区画とする。 ○防火区画に接する外壁の防火制限(90cm以上の幅準耐火構造) *令112条第10項の適用	-防火区画に接する外壁の防火制限 (50cm以上突出した準耐火構造のひさし、床、軸壁) *令112条第10項ただし書きの適用	屋外避難階段から共用廊下に連絡する部分の扉は 開入りガラス窓付とし、非常時には当該部分を破壊し 解放が行えるものとする。
	防火区画面積	S	特定防火設備(常時閉鎖式) 防火窓付なし(特定防火設備)									その他 ○各室面積 小数点第三位を四捨五入とする。 *特記事項の該当する項目に ○ を明記すること。



凡例		防火設備				特記事項	
防火区画(面積区画兼整穴区画)	特	特定防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号	防	防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号	▽	消防法施行規則5条の2による開口部	テンキー
令114条による界壁(防火上主要な開仕切)	特	特定防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第2号(遮煙性能付)	防	防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第2号(遮煙性能付)	▽	非常用出入口にかわる開口部(W750xH1200以上) 幅員4m以上の空地部分に適用	電気錠
法35条の3 舞臺居室等による不燃区画 壁・天井の仕上、下地共不燃材料	特	特定防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号(煙又は熱感知連動式)	防	防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号(煙又は熱感知連動式)	数字	令125条第三項による屋外への出口幅(m)	カードリーダー
不燃区画(消防) 不燃材料で造った壁、床及び天井で区画 開口部は、防火設備	特S	特定防火設備(常時閉鎖式) S:煙感知連動式を示す(遮煙性能付)	防S	防火設備(常時閉鎖式) S:煙感知連動式を示す(遮煙性能付)	数字	歩行距離を示す	
防火区画面積	S	遮煙付きEV乗り場戸(OAS****) 防犯窓付なし(特定防火設備)		消火器(10型ABC粉末)			

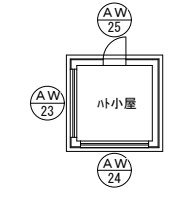


凡例	防火区画(面積区画兼整穴区画)	特	特定防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号	防	防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号	▽	消防法施行規則5条の2による開口部	T	テンキー	特記事項 乾式閉鎖切替 -内蔵は全て準不燃以上とする。 -火気使用廻りは防火構造とする。	防火区画に接する外壁の防火制限 -50cm以上突出した準耐火構造のひさし、床、軸壁) -令112条第10項ただし書きの適用	屋外避難階段から共用廊下に連絡する部分の扉は 網入りガラス窓付とし、非常時には当該部分を破壊し 解放が行えるものとする。
	令114条による界壁(防火上主要な開仕切)	特	特定防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第2号(遮煙性能付)	防	防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第2号(遮煙性能付)	▽	非常用出入口にかわる開口部(W750xH200以上) 幅員4m以上の空地部分に適用	E	電気錠	防火区画特記事項 ○区画貫通部分の前後及び1mは不燃処理とする。 ○PS:EPSは全て水平区画とする。 ○MR:不燃材床面とする。	○整穴区画は、面積区画を兼ねる。 防火区画特記事項 -防煙扉設置の下端は床面から2.2mとし、不燃材とする。 -排煙窓の自動開放装置は排煙室に近接した壁面の床面から 0.8m以上1.5m以下に設け見やすい方法で使用方法を示す。	○盤室の扉に関してはW:150以上、H:1/20H以上の 窓、及び表示(盤室内火報受信機)付きとし、 自動火災報知器連動電気錠の扉とする。
	法35条の3 舞臺居室等による不燃区画 壁・天井の仕上、下地不燃材料	特	特定防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号(種又は熱感知連動式)	防	防火設備(常時閉鎖式) 令112条第19項第1号(種又は熱感知連動式)	数字	令125条第三項による屋外への出口幅(m)	CR	カードリーダー			
	不燃区画(消防) 不燃材料で造った壁、床及び天井で区画 開口部は、防火設備	特S	特定防火設備(常時閉鎖式) S:煙感連動式を示す(遮煙性能付)	防S	防火設備(常時閉鎖式) S:煙感連動式を示す(遮煙性能付)	数字	歩行距離を示す					その他 ○各室面積 小敷点第三位を四捨五入とする。 ※特記事項の該当する項目に ○ を明記すること。
	防火区画面積	S	特定防火設備 防犯窓付なし(特定防火設備)									

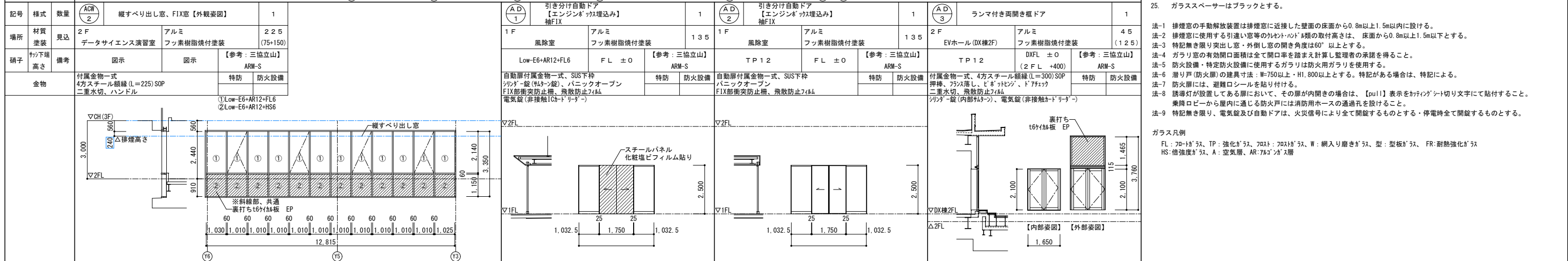
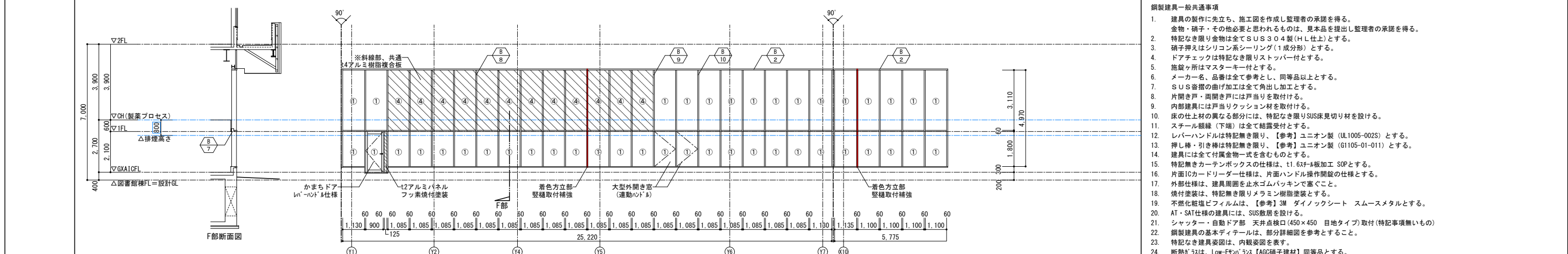
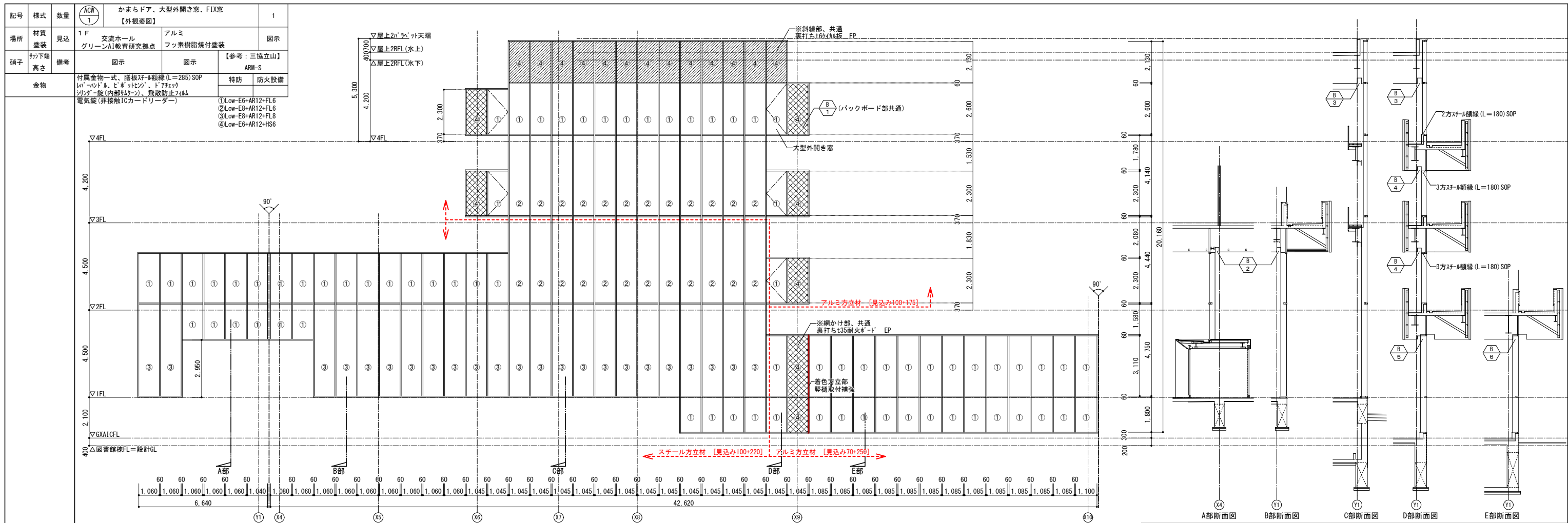


【法規制概要】	
屋外階段 3	
段数	25段
幅員	900以上 (踊り場を含む)
蹴上	200以下
踏面	240以上
手摺	出幅100以下

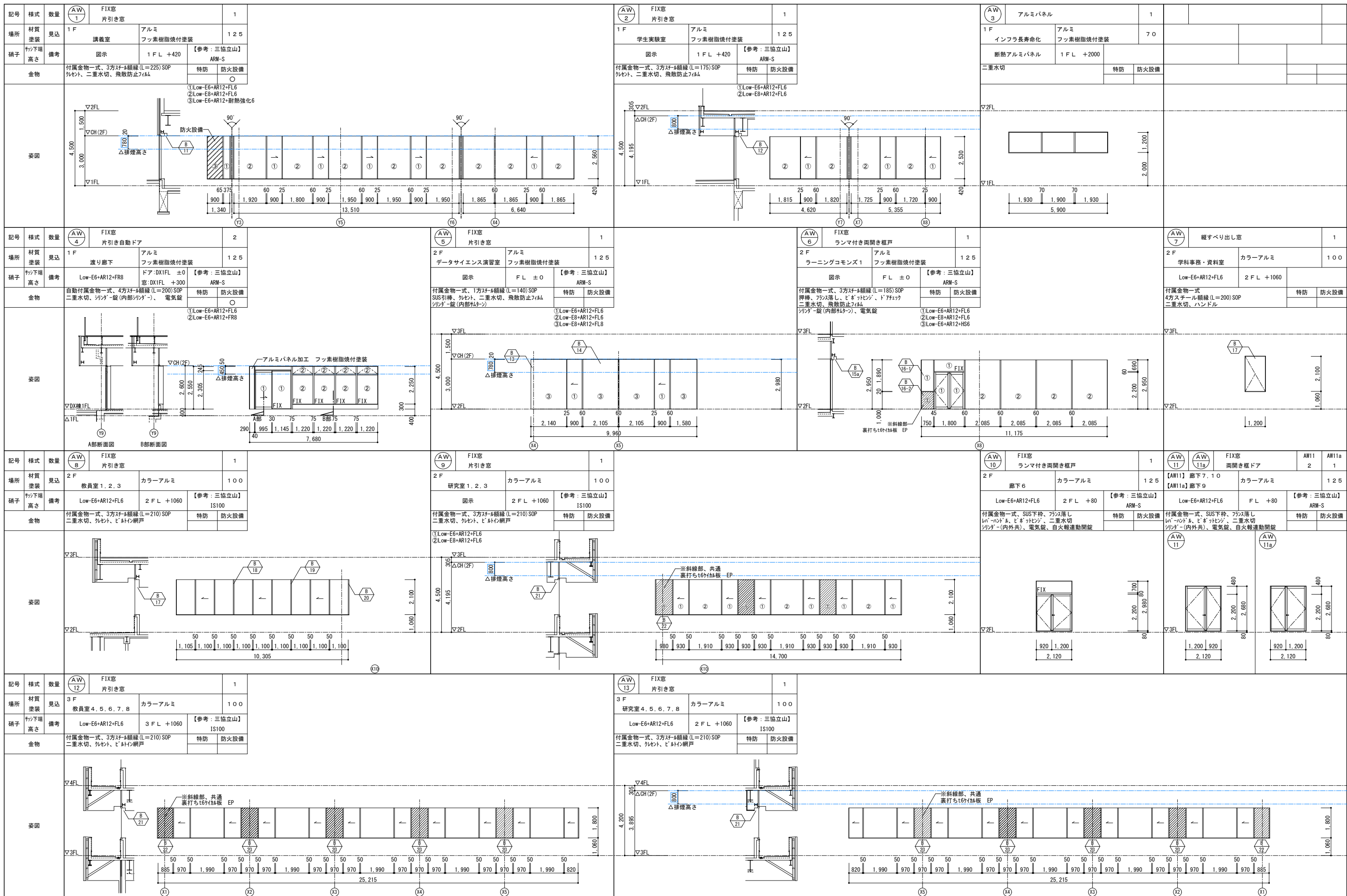
【法規制概要】	
階段 3	
段数	24段
幅員	1,200以上 (踊り場を含む)
蹴上	200以下
踏面	240以上
手摺	出幅100以下



屋上階建具配置図



- 鋼製建具一般共通事項**
1. 建具の製作に先立ち、施工図を作成し監理者の承諾を得る。
 2. 金物・硝子・その他必要と思われるものは、見本品を提出し監理者の承諾を得る。
 3. 特記なき限り金物は全てSUS304製(HL仕上)とする。
 4. 硝子押えはシリコン系シーリング(1成分形)とする。
 5. ドアチェックは特記なき限りストッパー付とする。
 6. 施錠ヶ所はマスターキー付とする。
 7. メーカー名、品番は全て参考とし、同等品以上とする。
 8. SUS番番の曲げ加工は全て角出し加工とする。
 9. 片開き戸・両開き戸には戸当りを取付ける。
 10. 内部建具には戸当りクッション材を取付ける。
 11. 床の仕上材の異なる部分には、特記なき限りSUS床見切り材を設ける。
 12. スチール額縁(下端)は全て結露受けとする。
 13. レバーハンドルは特記なき限り、【参考】ユニオン製(UL1005-002S)とする。
 14. 押し棒・引き棒は特記なき限り、【参考】ユニオン製(G1105-01-011)とする。
 15. 建具には全て付属金物一式を含むものとする。
 16. 特記なきカーテンボックスの仕様は、t1.6x7x板加工 SOPとする。
 17. 片面ICカードリーダー仕様は、片面ハンドル操作開錠の仕様とする。
 18. 外部仕様は、建具周囲を止水ゴムパッキンで塞ぐこと。
 19. 焼付塗装は、特記なき限りメラミン樹脂塗装とする。
 20. 不燃化化粧フィルムは、【参考】3M ダイノックシート スムースメタルとする。
 21. AT・SAT仕様の建具には、SUS散塵を設ける。
 22. シャッター・自動ドア 天井点検口(450x450 目地タイプ)取付(特記事項無いもの)
 23. 鋼製建具の基本ディテールは、部分詳細図を参考とすること。
 24. 特記なき建具図は、内観図を表示。
 25. 断熱ガラスは、Low-Eガラス【AGC硝子建材】同等品とする。
 26. ガラススペーサーはブラックとする。
- ガラス凡例**
- FL: 7mmガラス, TP: 強化ガラス, F0.5: フォトリソグラフィ, W: 網入り磨きガラス, 型: 型板ガラス, FR: 耐熱強化ガラス
 HS: 倍強度ガラス, A: 空気層, AR: 7mmガラス層



記号	様式	数量	AW14	FIX窓	1	AW15	FIX窓	1	AW16	FIX窓	1	AW17	FIX窓	1						
場所	材質 塗装	見込	3 F	湯沸コーナー	アルミ フッ素樹脂焼付塗装	1 2 5	3 F	コミュニケーションラウンジ	アルミ	1 2 5	3 F	研究室9, 10, 11	カラーアルミ	1 0 0						
積子	仕様 高さ	備考	Low-E6+AR12+FL6	FL ± 0	【参考：三協立山】 ARM-S	図示	FL ± 0	【参考：三協立山】 ARM-S	Low-E6+AR12+FL6	3 FL + 1060	【参考：三協立山】 IS100	Low-E6+AR12+FL6	3 FL + 1060	【参考：三協立山】 IS100						
金物	付属金物一式、3方ステンレス(L=175) 二重水切		特防		防火設備	付属金物一式、押棒、フッ素樹脂、ヒートシンク ドアチェック、シリンダー錠(内部錠付)		特防		防火設備	付属金物一式、3方ステンレス(L=210)SOP 二重水切、クレット、ヒートシンク		特防		防火設備					
姿図																				
記号	様式	数量	AW18	FIX窓	1	AW19	FIX窓	1	AW20	FIX窓	1									
場所	材質 塗装	見込	4 F	教員室12, 13, 14, 15, 16	カラーアルミ	1 0 0	4 F	研究室12, 13, 14, 15, 16	カラーアルミ	1 0 0	4 F	湯沸室	アルミ フッ素樹脂焼付塗装	1 2 5						
積子	仕様 高さ	備考	Low-E6+AR12+FL6	4 FL + 1060	【参考：三協立山】 IS100	Low-E6+AR12+FL6	4 FL + 1060	【参考：三協立山】 IS100	Low-E6+AR12+FL6	4 FL + 1060	【参考：三協立山】 IS100	Low-E6+AR12+FL6	FL ± 0	【参考：三協立山】 ARM-S						
金物	付属金物一式、3方ステンレス(L=210)SOP 二重水切、クレット、ヒートシンク		特防		防火設備	付属金物一式、3方ステンレス(L=210)SOP 二重水切、クレット、ヒートシンク		特防		防火設備	付属金物一式、3方ステンレス(L=175) 二重水切		特防		防火設備					
姿図																				
記号	様式	数量	AW21	FIX窓	1	AW22	FIX窓	1												
場所	材質 塗装	見込	4 F	廊下11	アルミ フッ素樹脂焼付塗装	1 2 5	4 F	会議室、教授会室	アルミ フッ素樹脂焼付塗装	1 2 5										
積子	仕様 高さ	備考	図示	FL ± 0	【参考：三協立山】 ARM-S	図示	FL ± 0	【参考：三協立山】 ARM-S	図示	FL ± 0	【参考：三協立山】 ARM-S									
金物	付属金物一式、押棒、フッ素樹脂、ヒートシンク ドアチェック、シリンダー錠(内部錠付)		特防		防火設備	付属金物一式、3方ステンレス(L=225)SOP クレット、二重水切、飛散防止フィルム		特防		防火設備	付属金物一式、3方ステンレス(L=225)SOP クレット、二重水切、飛散防止フィルム		特防		防火設備					
姿図																				
記号	様式	数量	AW23	アルミパネル	1	AW24	アルミパネル	1	AW25	片開きフラッシュドア	1									
場所	材質 塗装	見込	PHF	ハト小屋	カラーアルミ	7 0	PHF	ハト小屋	カラーアルミ	7 0	PHF	ハト小屋	カラーアルミ	7 0						
積子	仕様 高さ	備考	RFL + 900	RFL + 900	RFL + 900	RFL + 900	RFL + 900	RFL + 900	RFL + 900	RFL + 900	RFL + 900									
金物	二重水切		特防		防火設備	二重水切		特防		防火設備	ケースハンドル、二重水切 子番、ドアチェック、 シリンダー錠(内部錠付)		特防		防火設備					
姿図																				

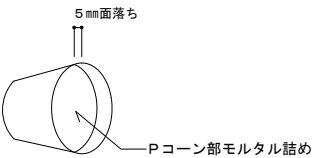
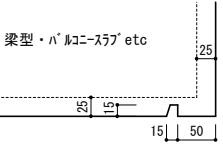
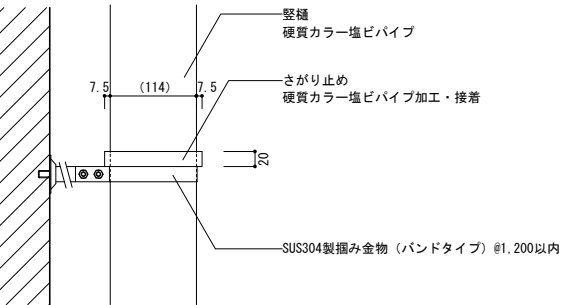
記号	様式	数量	(SD 1) 両開きフラッシュドア 【外部仕様】	1	(SD 2) 両開きフラッシュドア 両袖FIX・ランマスチールパネル	1	(SD 3) 片開きフラッシュドア	1	(SD 4) 片開きフラッシュドア	6	(SD 5) 片開きフラッシュドア ランマスチールパネル	4	(SD 6) 片開きフラッシュドア ランマスチールパネル	4	(SD 6) 両開きフラッシュドア 両袖FIX・ランマスチールパネル	1	
場所	材質 塗装	見込	1F グリーンAI教育研究拠点	50 (350)	1F 講義室	50 (100)	1F コラボレーションスペース	50 (300)	1~4F PS, EPS	40 (160)	3・4F MWC3・4, WWC3・4	50 (160)	1・2F MWC1・2, WWC1・2	50 (160)	1F 学生実験室	50 (315)	
硝子	ササ下 高さ	備考	FL ±0	SAT仕様	t 8耐熱強化ガラス	FL ±0	FL ±0	SD下地石圧着貼り	FL ±0	FL ±0	t 5フロスト	FL ±0	t 5フロスト	FL ±0	FL 3	強化合わせガラス TP6+6	
金物	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	
立面																	
記号	様式	数量	(SD 7) 両開きフラッシュドア 袖FIX・ランマスチールパネル	1	(SD 8) 片開きフラッシュドア 袖FIX	1	スリッBOX詳細図 1: 20	内部Fix連窓部共通 平面詳細図 1: 3	(SD 9) 片開きフラッシュドア ランマスチールパネル【SAT仕様】	1	(SD 10) 親子開きフラッシュドア 袖FIX・ランマスチールパネル	1	(SD 11) 親子開きフラッシュドア 袖FIX・ランマスチールパネル	1	(SD 12) 片開きフラッシュドア 袖FIX・ランマスチールパネル	1	
場所	材質 塗装	見込	1F 学生実験室	50 (315)	1F 廊下2	50 (160)			1F サーバー室	50 (170)	1F AIモニター室	50 (160)	1F 廊下4	50 (180)	1F 精密分析室	50 (160)	
硝子	ササ下 高さ	備考	FL 3	FL ±0	強化合わせガラス TP8+8	1F FL ±600			FL ±0	SAT仕様	FL ±0	FL ±0	FL ±0	FL ±0	FL ±0	FL 3	
金物	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 電気錠(非接触カードリーダー)	
立面																	
記号	様式	数量	(SD 13) 親子開きフラッシュドア 袖FIX・スチールパネル	1	(SD 14) 片開きフラッシュドア	2	(SD 15) 親子開きフラッシュドア 袖FIX・ランマスチールパネル	13	(SD 15) 親子開きフラッシュドア 袖FIX・ランマスチールパネル	3	(SD 16) 親子開きフラッシュドア 袖FIX・ランマスチールパネル	13	(SD 16) 鋼製建具一般共通事項				
場所	材質 塗装	見込	1F 会議室	50 (150)	1F 機械室1, 2	50 (160)	3・4F 教員室4~16	50 (160)	2F 教員室1~3	50 (160)	3・4F 研究室4~16	50 (160)	鋼製建具一般共通事項				
硝子	ササ下 高さ	備考	FL 3	FL ±0	SAT仕様	FL 3	FL ±0	FL 3	FL ±0	FL 3	FL ±0	FL 3	FL ±0	<ol style="list-style-type: none"> 建具の製作に先立ち、施工図を作成し監理者の承諾を得る。 金物、硝子、その他必要と思われるものは、見本品を提出し監理者の承諾を得る。 特記なき限り金物は全てSUS304製(HL仕上)とする。 硝子押えはシリコン系シーリング(1成形分)とする。 ドアチェックは特記なき限りストッパー付とする。 施錠箇所はマスターキー付とする。(既設マスターキー合せ) メーカー名、品番は全て参考とし、同等品以上とする。 SUS首摺の曲げ加工は全て角出し加工とする。 片開き戸・両開き戸には戸当りを取付ける。 内部建具には戸当たりクッション材を取付ける。 床の仕上材の異なる部分には、特記なき限りSUS床見切り材を設ける。 アルミ額縁及びスチール額縁(下端)は全て結露受付とする。 レバーハンドルは特記なき限り、【参考：ユニオン製(LU291)】とする。 建具には全て付属金物一式を含むものとする。 特記無きカーテンボックスの仕様は、t1.6 St. PL加工 焼付塗装とする。 ガラスウール(2号 24K)は厚内に充填する。 片面チンキー仕様は、片面ハンドル操作開錠仕様とする。 外部仕様は、建具周囲を止水ゴムパッキンで塞ぐこと。 焼付塗装は、特記なき限りメラミン樹脂塗装とする。 不燃化難燃ビフェイルムは、【参考：3M ダイノックシート ファインウッド】とする。 AT・SAT仕様の建具には、SUS散層を設ける。 シャッター・自動ドア部 天井点検口(450×450 目地タイプ)取付(特記事項無いもの) 鋼製建具の基本ディテールは、部分詳細図を参考とすること。 丁番は特記なき限り、ビボットピンとする。 特記無き限り外部、機械室、電気室廻りスチールドアは全てSAT以上とする。 SSのまぐさ、ガイドレールは全てSUS304とする。 SUS首摺は面取りを施すこととする。 特記なき限り、スチール額縁はt1.6とし、焼付塗装とする。 特記なき限り、スチール額縁の見方は20mmとする。 			
金物	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒	
立面																	
記号	様式	数量	(SD 16) 親子開きフラッシュドア 袖FIX・ランマスチールパネル	3	(SD 17) 親子開きフラッシュドア 袖FIX・ランマスチールパネル	1	(SD 18) 片開きフラッシュドア 袖FIX・ランマスチールパネル	1	(SD 18) 片開きフラッシュドア 袖FIX・ランマスチールパネル	1	(SD 19) 両開きフラッシュドア ランマスチールパネル	1	※防音ドア仕様～芯ガラスウール(2号 24K)				
場所	材質 塗装	見込	2F 研究室1~3	50 (160)	2F 学務事務・資料室	50 (160)	4F コピー室3	50 (160)	2F コピー室1	50 (160)	2F データサイエンス演習室	50 (150)	※防音ドア仕様～芯ガラスウール(2号 24K)				
硝子	ササ下 高さ	備考	FL 3	FL ±0	FL 3	FL ±0	FL 3	FL ±0	FL 3	FL ±0	FL 3	FL ±0					
金物	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒、目隠しフィルム 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒、目隠しフィルム 電気錠(非接触カードリーダー)	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒	特防	防火設備	付属金物一式、レール・ヘッド、フラス落し、ドフヱック ビス・ツルトビツ、シツダ之錠(内部付ク) 戸当り 戸当り、床見切: SUS目地棒	
立面																	

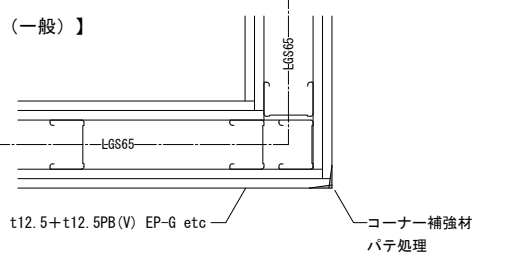
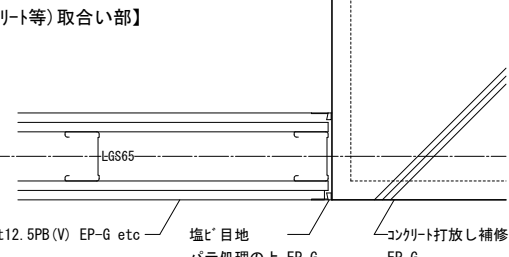
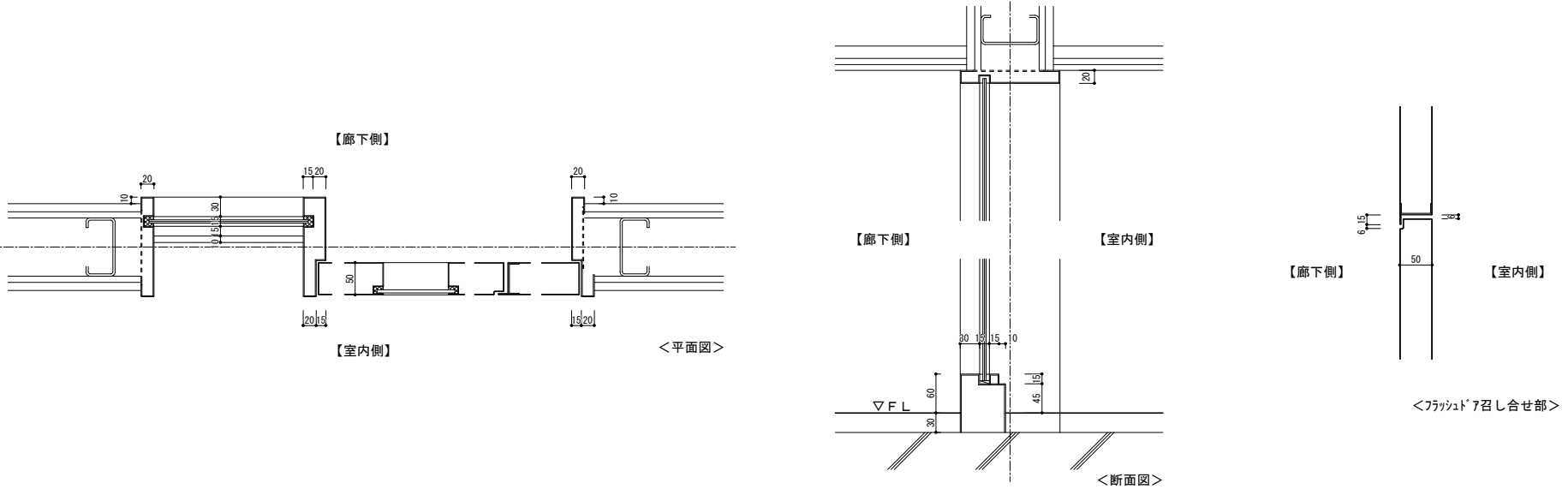
ガラス見例
FL: フォトリソ、TP: 強化ガラス、70スト: 70ストガラス、W: 網入り磨きガラス、型: 型板ガラス、FR: 耐熱強化ガラス、A: 空気層
HS: 倍強度ガラス

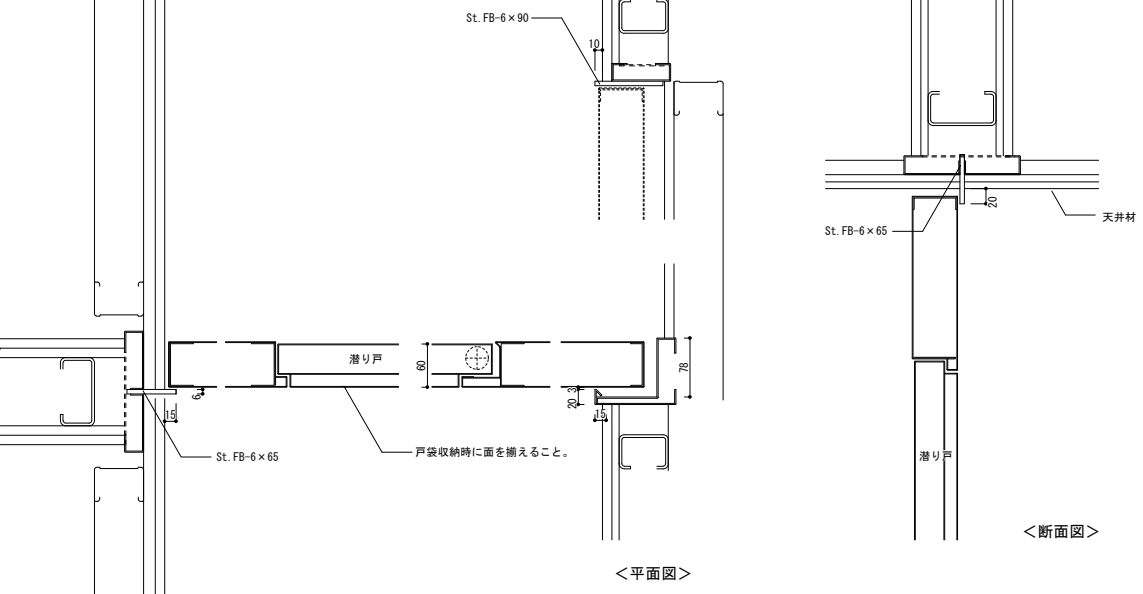
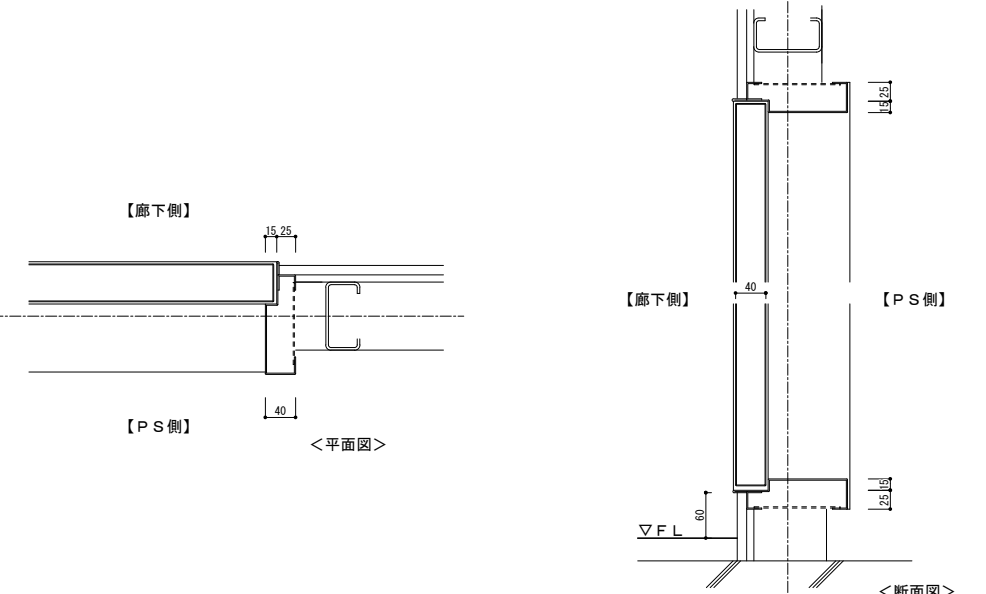
記号	様式	数量	(SD 20)	片開きフラッシュドア ランマステールパネル	1	(SD 21)	両開きフラッシュドア ランマステールパネル	1	(SD 22)	両開きフラッシュドア ランマステールパネル	1	(SD 23)	両開きフラッシュドア ランマステールパネル	1	(SD 24)	親子開きフラッシュドア 袖FIX・ランマステールパネル	1	(SD 25)	片開きフラッシュドア ランマステールパネル	1	(FSD 1)	両開きフラッシュドア	1
場所	材質 塗装	見込	3F	コビー室2 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	50	4F	廊下12 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t2.3x7mm 亜鉛メッキ鋼板 不燃化粧ビニル貼付 枠共	50	4F	教授会室 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 不燃化粧ビニル貼付 枠共	50	4F	サーバールーム 厚: t1.0x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 SOP塗 (両面枠共)	50	4F	会議室 厚: t1.0x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 不燃化粧ビニル貼付 枠共	50	4F	教授会室 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 不燃化粧ビニル貼付 枠共	50	1F	渡り廊下 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t2.3x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	50
積り	仕様	高さ	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	SAT仕様	FL ± 0	SAT仕様	FL ± 0	SAT仕様	FL ± 0	SAT仕様	FL ± 0	SAT仕様	FL ± 0	SAT仕様	FL ± 0	SAT仕様	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0
金物	付属金物一式、インペドム、フラスコ コントロール型DC(ストロン)無、ヒューズ 扉位置調整器、シリンダ(内部付)	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備
図面																							
記号	様式	数量	(FSD 2)	片引き片面フラッシュ点検ドア	1	(SF 1)	二方枠	1	(SF 2)	一方枠	9	(SF 3)	二方枠	1	(SF 4)	一方枠	3	(SF 5)	一方枠	4	(SF 6)	一方枠	4
場所	材質 塗装	見込	4F	エレベーター上部 枠: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 SOP塗装	30	1F	自販機コーナー 枠: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 SOP塗装	150	1~4F	MWC1~4, WMC1~4 枠: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 SOP塗装	140	1F	グリーンAI教育研究拠点 枠: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 SOP塗装	160	2F	前室1・2 枠: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 SOP塗装	140	3・4F	前室3・4, 湯沸室 枠: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 SOP塗装	160	1・4F	通路1・前室5 枠: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 SOP塗装	140
積り	仕様	高さ	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	
金物	付属金物一式	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備	特防	防火設備
図面																							
記号	様式	数量	(SP 1)	両開きスライドドア	1	(SP 2)	片開きフラッシュドア	1	(SP 3)	スライド点検扉	1	(SP 4)	親子開き点検扉	1	(SP 5)	スライド点検扉	1	(SP 6)	スライド点検扉	1	(SP 7)	スライド点検扉	1
場所	材質 塗装	見込	1F	講義室収納 厚: t1.0x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	40	1F	SK 厚: t1.0x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	40	2F	PS 厚: t1.0x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	40	2F	SK 厚: t1.0x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	40	3F	PS 厚: t1.0x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	40	3F	SK 厚: t1.0x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	40	4F	PS 厚: t1.0x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	40
積り	仕様	高さ	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	
金物	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	
図面																							
記号	様式	数量	(SP 8)	スライド点検扉	1	(BSD 1)	片開き点検扉	6	(BSD 2)	片開き点検扉	3	(LSD 1)	片引きフラッシュ自動ドア (壁収納タイプ)	2	(SW 1)	ガラススクリーン	1	(SW 2)	ガラススクリーン	4	(SW 3)	ガラススクリーン	1
場所	材質 塗装	見込	4F	SK 厚: t1.0x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	40	2~4F	バルコニー、テラス 枠: 角鋼管溶融亜鉛メッキ 50x50x11.6 厚: St. FB38x9溶融亜鉛メッキ	38	3・4F	バルコニー、テラス 枠: 角鋼管溶融亜鉛メッキ 50x50x11.6 厚: St. FB38x9溶融亜鉛メッキ	38	1・3F	HWC1.2 厚: t0.8x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 (140)	40	1F	交流ホール 強化合わせガラス TP6+6 焼付塗装	145	1F	サーバールーム、AIモニター室 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	145	3F	コビー室 厚: t1.6x7mm 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装	160
積り	仕様	高さ	FL ± 0	FL ± 65	FL ± 65	FL ± 65	FL ± 65	FL ± 65	FL ± 65	FL ± 65	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0		
金物	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	特防	防火設備	付属金物一式、ワイヤーステ スリットキー、平面ハンドル	
図面																							

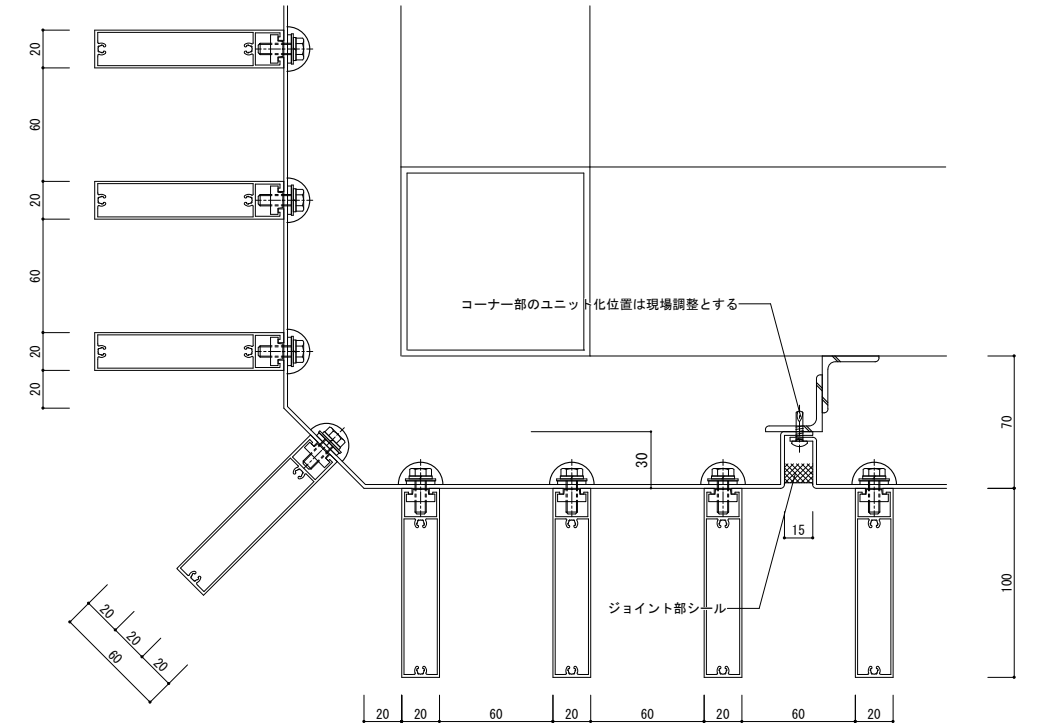
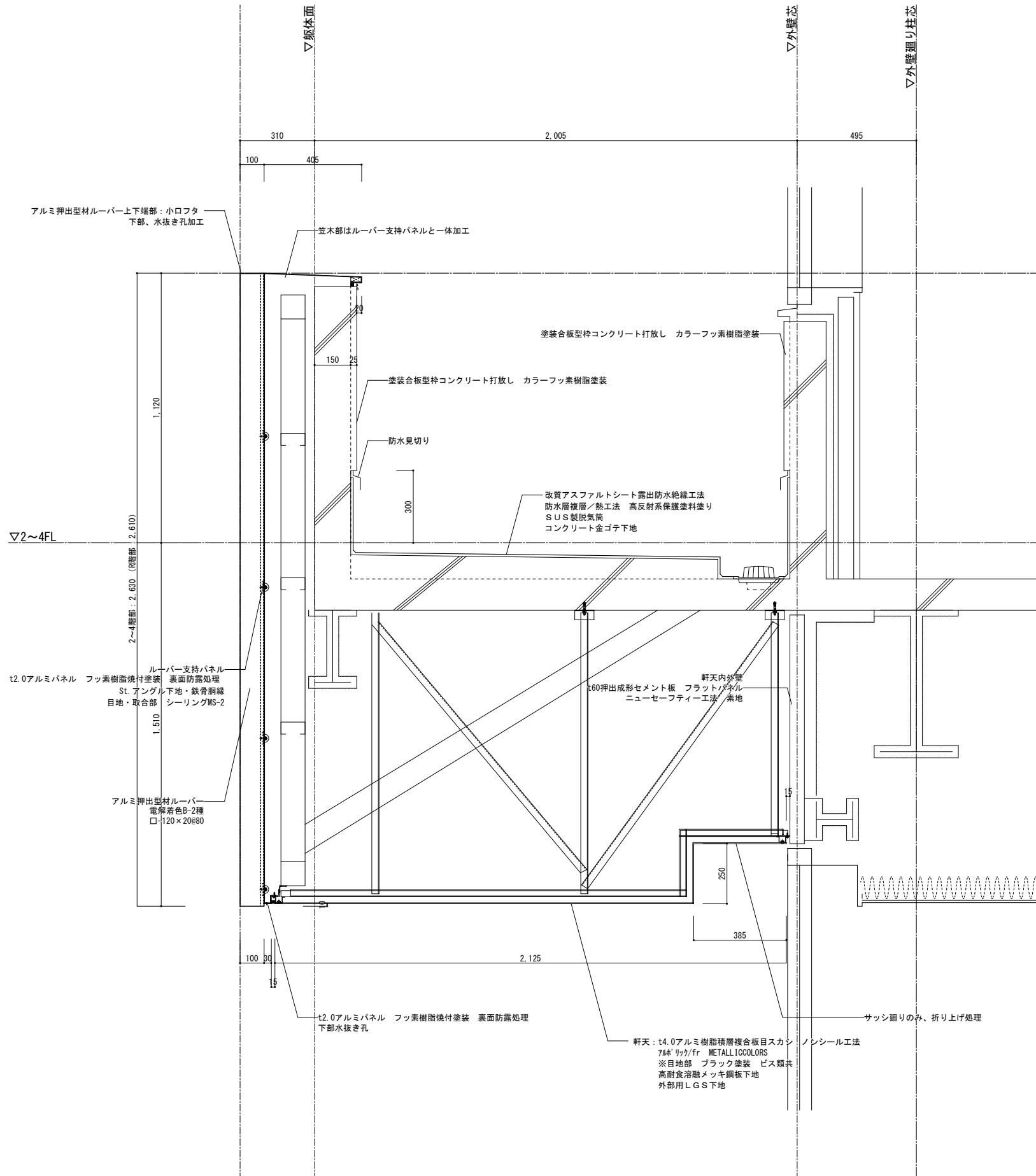
記号	様式	数量	(SS 1) 電動式防火防煙シートシャッター (天井用ケース)	1	(SS 2) 電動式防火防煙シートシャッター (天井用ケース)	1	(SS 3) 電動式防火防煙シートシャッター (天井用ケース)	1	(SS 4) 電動式防火防煙シートシャッター (天井用ケース)	1	(SS 5) 電動式防火防煙シートシャッター (天井用ケース)	1	(SS 6) 電動式防火防煙シートシャッター (天井用ケース)	1				
場所	材質 塗装	見込	1 F 講義室	樹脂コーティング t0.7耐熱ガラスクロス	1 F 廊下1	樹脂コーティング t0.7耐熱ガラスクロス	1 F EVホール	樹脂コーティング t0.7耐熱ガラスクロス	2 F ラーニングcommons	樹脂コーティング t0.7耐熱ガラスクロス	3 F コミュニケーションラウンジ	樹脂コーティング t0.7耐熱ガラスクロス	3 F コミュニケーションラウンジ	樹脂コーティング t0.7耐熱ガラスクロス				
硝子	材質 高さ	備考	防火設備 遮炎性能付き	火報連動閉鎖装置 遮炎性能付き	防火設備 遮炎性能付き	火報連動閉鎖装置 遮炎性能付き	防火設備 遮炎性能付き	火報連動閉鎖装置 遮炎性能付き	防火設備 遮炎性能付き	火報連動閉鎖装置 遮炎性能付き	防火設備 遮炎性能付き	火報連動閉鎖装置 遮炎性能付き	防火設備 遮炎性能付き	火報連動閉鎖装置 遮炎性能付き				
金物	まぐさ・座板：スチール焼付塗装 ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾌﾞB枠・ｼｯﾀｰ方立：t1.6ｽﾌﾟｰﾙ加工 避難時停止装置、音声発生装置		特防 防火設備 ○	まぐさ・座板：スチール焼付塗装 ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾌﾞB枠・ｼｯﾀｰ方立：t1.6ｽﾌﾟｰﾙ加工 避難時停止装置、音声発生装置	特防 防火設備 ○	まぐさ・座板：スチール焼付塗装 ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾌﾞB枠・ｼｯﾀｰ方立：t1.6ｽﾌﾟｰﾙ加工 避難時停止装置、音声発生装置	特防 防火設備 ○	まぐさ・座板：ｽﾌﾟｰﾙ焼付塗装、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾌﾞB枠 壁見切：St.4.0 FB(L=70) ｼｯﾀｰ方立：t1.6ｽﾌﾟｰﾙ加工 避難時停止装置、音声発生装置	特防 防火設備 ○	まぐさ・座板：ｽﾌﾟｰﾙ焼付塗装、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾌﾞB枠 壁見切：St.4.0 FB(L=70) ｼｯﾀｰ方立：t1.6ｽﾌﾟｰﾙ加工 避難時停止装置、音声発生装置	特防 防火設備 ○	まぐさ・座板：ｽﾌﾟｰﾙ焼付塗装、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾌﾞB枠 壁見切：St.4.0 FB(L=70) ｼｯﾀｰ方立：t1.6ｽﾌﾟｰﾙ加工 避難時停止装置、音声発生装置	特防 防火設備 ○	まぐさ・座板：ｽﾌﾟｰﾙ焼付塗装、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾌﾞB枠 壁見切：St.4.5 FB(L=70) ｼｯﾀｰ方立：t1.6ｽﾌﾟｰﾙ加工 避難時停止装置、音声発生装置	特防 防火設備 ○			
姿図			3,000		3,000		5,100		3,000		2,700		2,700					
記号	様式	数量	(SS 7) 電動式防火防煙シートシャッター (天井用ケース)	1	(SS 8) 電動式防火防煙シートシャッター (天井用ケース)	1	(SS 9) 電動式防火防煙シートシャッター (天井用ケース)	1	(FS 1) 防煙スクリーン (天井収納型)	1								
場所	材質 塗装	見込	4 F 廊下11	樹脂コーティング t0.7耐熱ガラスクロス	4 F 廊下11	樹脂コーティング t0.7耐熱ガラスクロス	4 F 廊下11	樹脂コーティング t0.7耐熱ガラスクロス	1 F 渡り廊下	ガラス繊維塩ビコーティング								
硝子	材質 高さ	備考	防火設備 遮炎性能付き	火報連動閉鎖装置 遮炎性能付き	防火設備 遮炎性能付き	火報連動閉鎖装置 遮炎性能付き	防火設備 遮炎性能付き	防火設備 遮炎性能付き	付属金物一式、可動レール	FL+2100	火報連動閉鎖装置	防火設備	防火設備					
金物	まぐさ・座板：ｽﾌﾟｰﾙ焼付塗装、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾌﾞB枠 壁見切：St.4.0 FB(L=70) ｼｯﾀｰ方立：t1.6ｽﾌﾟｰﾙ加工 避難時停止装置、音声発生装置		特防 防火設備 ○	まぐさ・座板：ｽﾌﾟｰﾙ焼付塗装、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾌﾞB枠 壁見切：St.6.0 FB(L=50) ｼｯﾀｰ方立：t1.6ｽﾌﾟｰﾙ加工 避難時停止装置、音声発生装置	特防 防火設備 ○	まぐさ・座板：ｽﾌﾟｰﾙ焼付塗装、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾌﾞB枠 壁見切：St.6.0 FB(L=65) ｼｯﾀｰ方立：t1.6ｽﾌﾟｰﾙ加工 避難時停止装置、音声発生装置	特防 防火設備 ○	付属金物一式、可動レール	付属金物一式、可動レール		防火設備	防火設備	防火設備					
姿図			2,700		2,700		3,000			2,500								
記号	様式	数量	(TB 1) トイレブース	1	(TB 2) トイレブース	1	(TB 3) トイレブース	3	(TB 4) トイレブース	3	(TB 5) トイレブース	3	(PT 1) 遮音スチールパーティション	1	(WD 1) 片開きフラッシュドア	3		
場所	材質 塗装	見込	1 F 女子トイレ1	メラミン樹脂化粧板	1 F 男子トイレ1	メラミン樹脂化粧板	2~4 F 男子トイレ2~4	メラミン樹脂化粧板	2~4 F 女子トイレ2~4	メラミン樹脂化粧板	2~4 F 女子トイレ2~4	メラミン樹脂化粧板	1 F 製薬プロセス	層：t0.5ｽﾌﾟｰﾙ 骨材：ｽﾌﾟｰﾙ 枠：焼付塗装	70	3・4 F 廊下7.9.10	シナ天然木化粧合板 堅木口・硝子押え：堅木NP	40
硝子	材質 高さ	備考	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	TP10+A+TP10	【参考：小松ｸﾞｰﾙ】 MW-SR	FL ± 0		FL ± 0	
金物	表示付スライドロック、付属金物一式 アルミールエッジ(表面材同色) SUS巾木、ｸﾞﾚｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、戸当り帽子掛け		特防 防火設備	表示付スライドロック、付属金物一式 アルミールエッジ(表面材同色) SUS巾木、ｸﾞﾚｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、戸当り帽子掛け	特防 防火設備	表示付スライドロック、付属金物一式 アルミールエッジ(表面材同色) SUS巾木、ｸﾞﾚｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、戸当り帽子掛け	特防 防火設備	表示付スライドロック、付属金物一式 アルミールエッジ(表面材同色) SUS巾木、ｸﾞﾚｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、戸当り帽子掛け	表示付スライドロック、付属金物一式 アルミールエッジ(表面材同色) SUS巾木、ｸﾞﾚｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、戸当り帽子掛け	防火設備	表示付スライドロック、付属金物一式 アルミールエッジ(表面材同色) SUS巾木、ｸﾞﾚｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、戸当り帽子掛け	表示付スライドロック、付属金物一式 アルミールエッジ(表面材同色) SUS巾木、ｸﾞﾚｰﾄﾞﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ、戸当り帽子掛け	レバーハンドル ピボットヒンジ、ドアチェック シリンドー錠(内部サムターン)	特防 防火設備	特防 防火設備	特防 防火設備	特防 防火設備	
姿図			1,660		1,660		1,660			1,660						2,700		
記号	様式	数量	(WD 2) パネル間仕切り	3	(WD 3) 片開きフラッシュドア	1	(WD 4) パネル間仕切り	1	(WF 1) 二方枠	6	(WF 2) 一方枠	3	(WF 3) 二方枠	2	(WF 4) 一方枠	1		
場所	材質 塗装	見込	3・4 F 廊下7.9.10	アルミ押出成形材 カラー	2 F 廊下6	シナ天然木化粧合板 堅木口・硝子押え：堅木NP	2 F 廊下6	アルミ押出成形材 カラー	3・4 F 廊下7.9.10	タモ集成材SOP	3・4 F 廊下7.9.10	タモ集成材SOP	2 F 廊下6	タモ集成材SOP	2 F 廊下6	タモ集成材SOP		
硝子	材質 高さ	備考	±5ポリカーボネート (透明パネル)	FL ± 0	パネル間仕切り 【タチカワ】同等品	FL ± 0	±5ポリカーボネート (透明パネル)	FL ± 0	パネル間仕切り 【タチカワ】同等品	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0	FL ± 0		
金物	付属金物一式 シリンドー錠、取手 下レール：SUS埋込型		特防 防火設備	付属金物一式 シリンドー錠、取手 下レール：SUS埋込型	特防 防火設備	付属金物一式 シリンドー錠、取手 下レール：SUS埋込型	特防 防火設備	付属金物一式 シリンドー錠、取手 下レール：SUS埋込型	付属金物一式 シリンドー錠、取手 下レール：SUS埋込型	特防 防火設備	付属金物一式 シリンドー錠、取手 下レール：SUS埋込型	付属金物一式 シリンドー錠、取手 下レール：SUS埋込型	付属金物一式 シリンドー錠、取手 下レール：SUS埋込型	付属金物一式 シリンドー錠、取手 下レール：SUS埋込型	付属金物一式 シリンドー錠、取手 下レール：SUS埋込型	付属金物一式 シリンドー錠、取手 下レール：SUS埋込型		
姿図			2,210		3,000		2,210			2,700		2,700		3,000		2,700		

記号	様式	ACW1取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	ACW1取合い詳細図(断面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40	ACW1取合い詳細図(断面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40	ACW1取合い詳細図(断面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40	ACW1取合い詳細図(断面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40	ACW1取合い詳細図(断面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40	ACW1取合い詳細図(断面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40
記号	様式	ACW1取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	ACW1取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	ACW1取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW1取合い詳細図(断面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW2取合い詳細図(断面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW5取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW5取合い詳細図(断面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40
		AW6, 14, 15取合い詳細図(断面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW6取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW8取合い詳細図(断面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW8取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW8取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW8取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW9, 16~18取合い詳細図(平面図) カーテンボックス	[A1] 1/20 [A3] 1/40
		AW9, 12, 13, 16, 17取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW12~13, 17~19取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW14取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW20取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW21取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40	AW22取合い詳細図(平面図) 間仕切り壁取り合い	[A1] 1/20 [A3] 1/40		

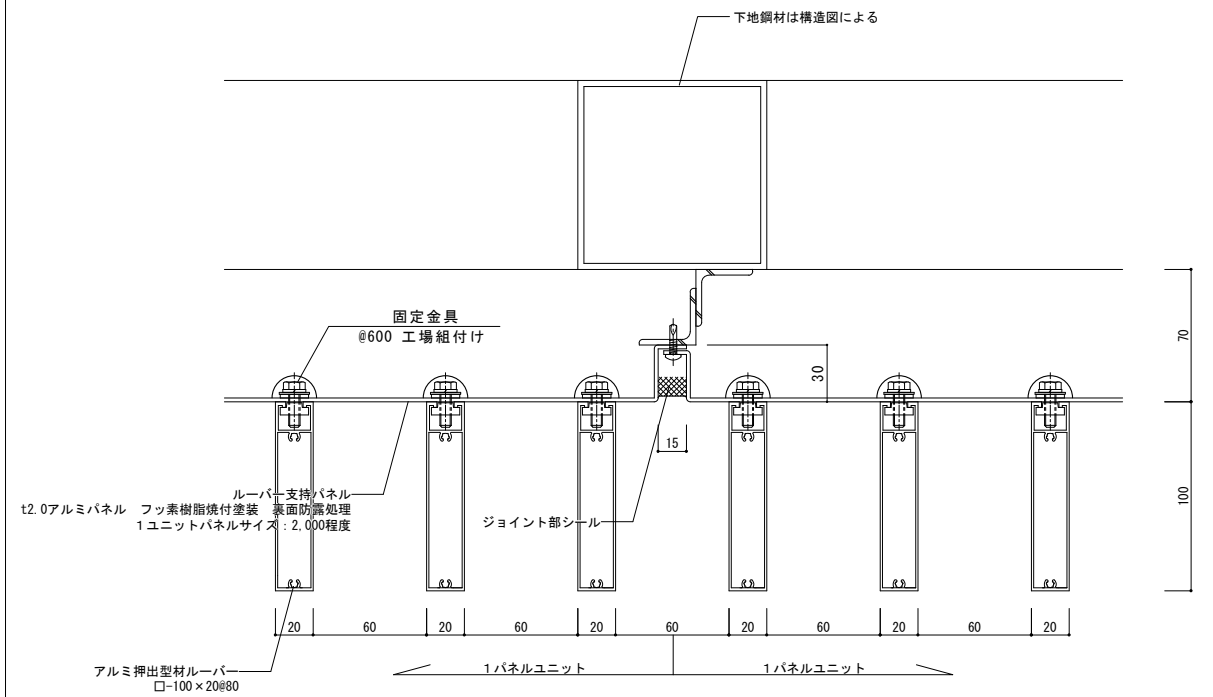
<p>躯体共通事項</p>	<p>躯体目地詳細 (全て共通) S=1:2</p>	<p>外部水切目地詳細 S=1:5</p>	<p>一般 縦樋さがり止め S=1:5</p>
<p>1. 躯体施工に先立ち型枠パネル及びセパ割り付け(壁面全て)図を作成し、 2. 躯体の出隅は、特記なき限り全てピン角納めとする。 3. 型枠のジョイント部、出隅コーナー部には、コンクリート打設時のノロ抜け防止のための テープ貼り等の止水処理を施す事。 4. 型枠のコーンは全てPコーン(ポリコーン)使用の事。 (内部の塗装合板型枠コンクリート打放し及びコンクリート打放しケレン掛け補修部も全て) 5. 鉄筋の結束筋は全て型枠を立て込む前に内側へ入れ込む事。 6. 躯体コーン部のモルタル詰めは、壁面より5mm以上面落ちさせる事。 下図参照</p>  <p>5mm面落ち Pコーン部モルタル詰め</p>	<p>シーリングは 仕上あり部 : 2成分形ポリウレタン系 (PU-2) Con打放し部 : 2成分形ポリサルファイド系 (PS-2)</p> <p>打継ぎ目地 横目地 縦目地</p> <p>床EXP目地 タイル目地巾にてシーリング タイル貼り 土間コンクリート目地切り サイズW4×H30 目地切り部シーリング EXP目地は特記なき限り9㎡以内</p>	<p>外部の外側に面する梁型下部及び外壁下端等は 水切目地切を施す。 特記なき限り、躯体ふかしは内外共25mmとする。</p>  <p>梁型・h' h' h' h' etc 25 15 50</p>	 <p>縦樋 硬質カラー塩ビパイプ さがり止め 硬質カラー塩ビパイプ加工・接着 SUS304製握み金物(バンドタイプ) #1.200以内</p>

<p>内部 一般 ボード仕上壁詳細 S=1:5</p>	<p>スチール製建具詳細図 一般ドア基本納まり S=1:5</p>		
<p>【コーナー部(一般)】</p>  <p>t12.5+t12.5PB(V) EP-G etc コーナー補強材 パテ処理</p> <p>【異種材(コンクリート等)取合い部】</p>  <p>t12.5+t12.5PB(V) EP-G etc 塩目地 パテ処理の上 EP-G コンクリート打放し補修 EP-G</p>	<p>スチール製建具詳細図 一般ドア基本納まり</p>  <p>【廊下側】 【室内側】 <平面図> 【廊下側】 【室内側】 <断面図></p>		

<p>スチール製建具詳細図 常開片開きフラッシュドア(防火扉)基本納まり S=1:5</p>	<p>スチール製建具詳細図 片開きフラッシュドア(PS扉)基本納まり</p>
 <p>St.FB-6×90 St.FB-6×65 天井材 溝り戸 戸袋収納時に面を揃えること。 <平面図> <断面図></p>	 <p>【廊下側】 【PS側】 <平面図> 【廊下側】 【PS側】 <断面図></p>

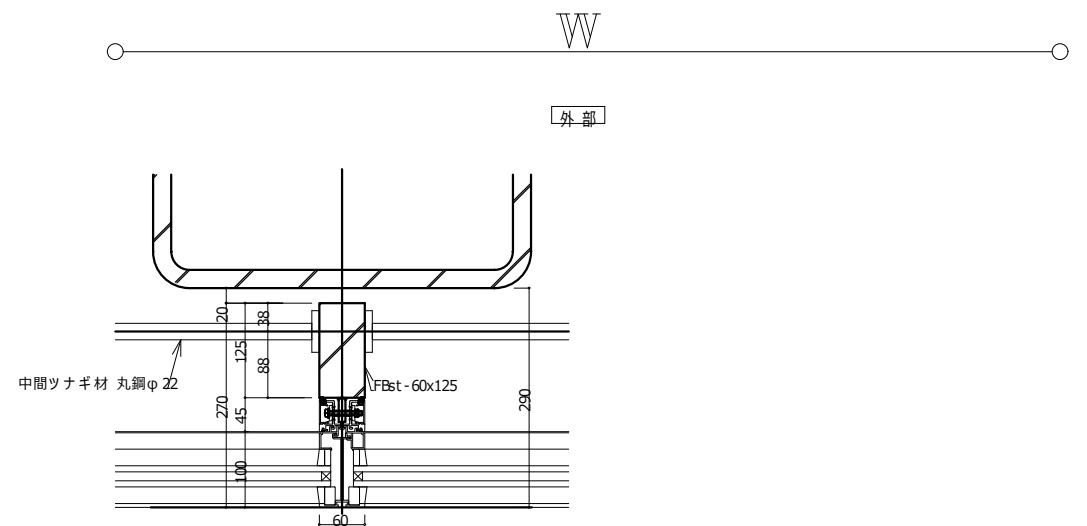
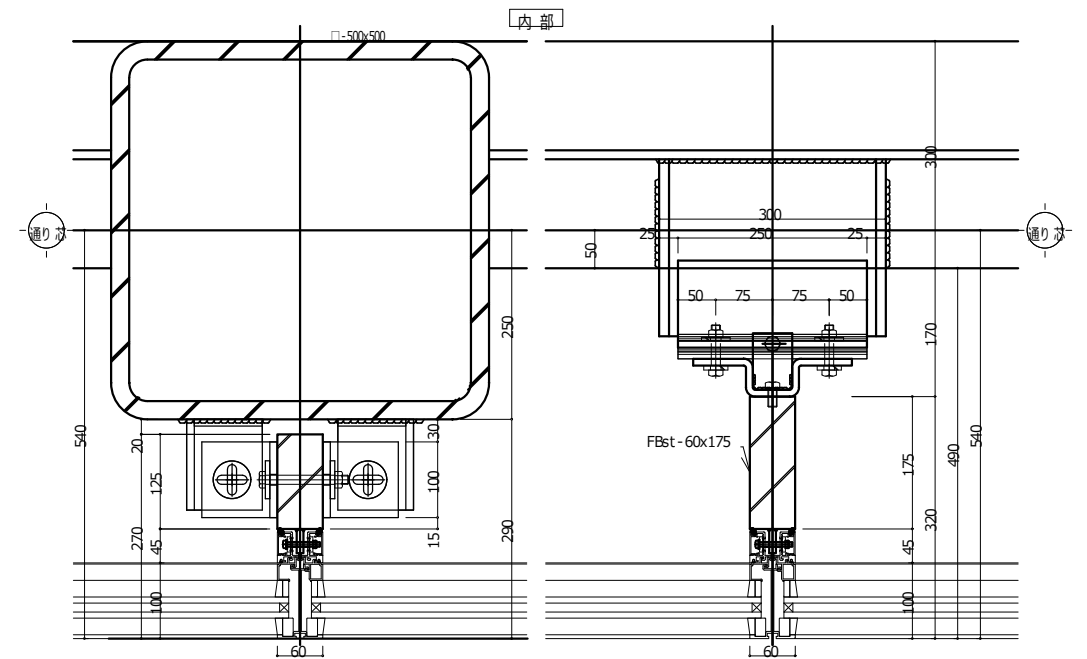
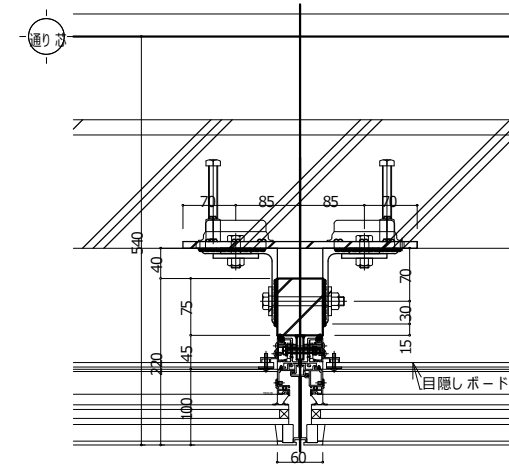
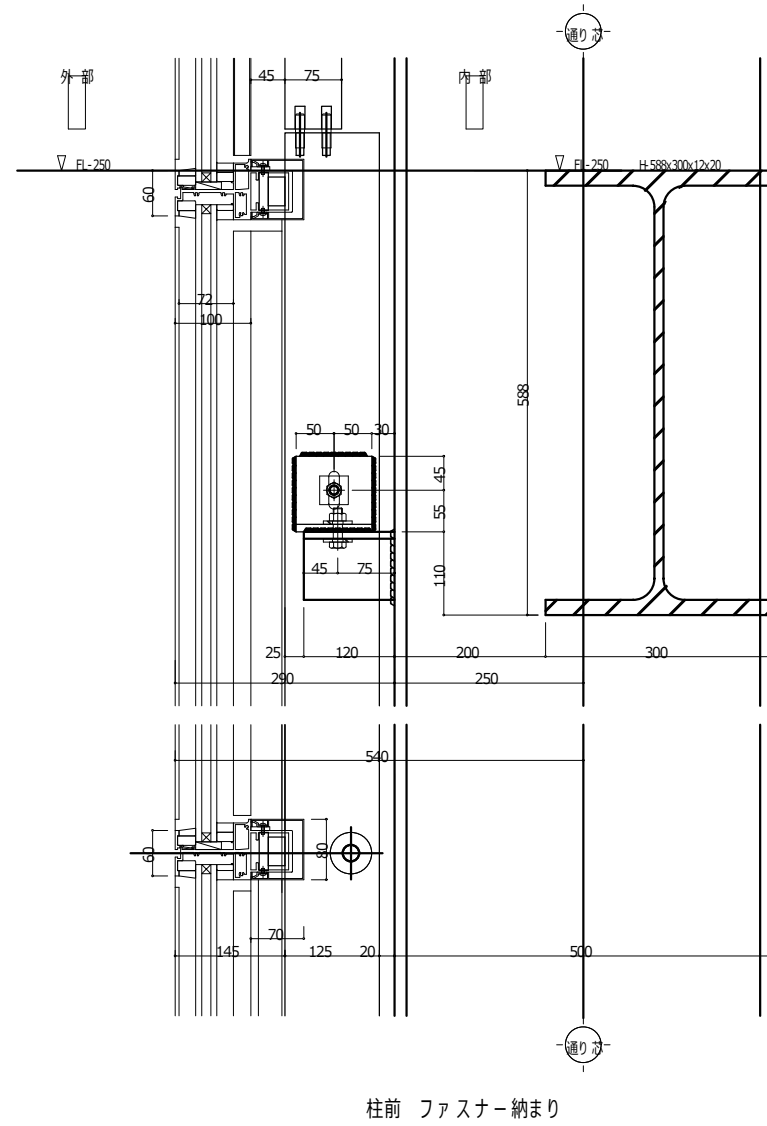
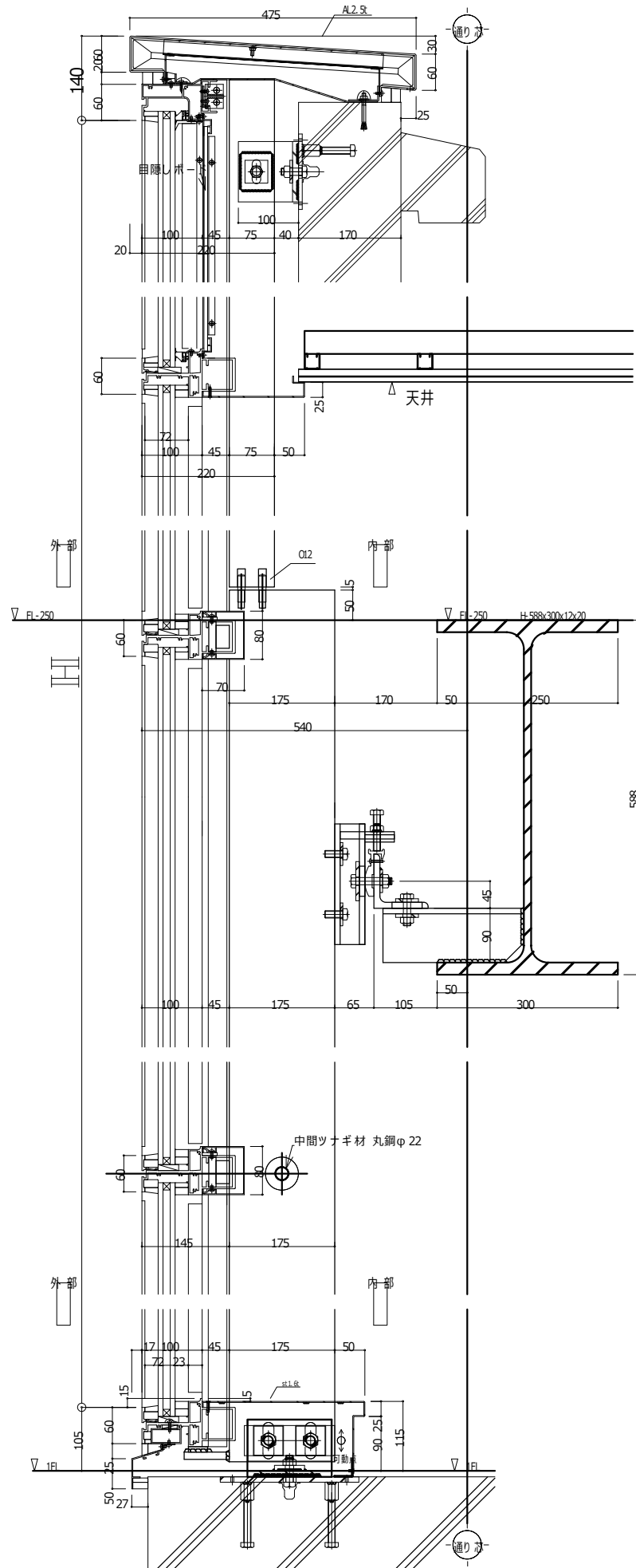


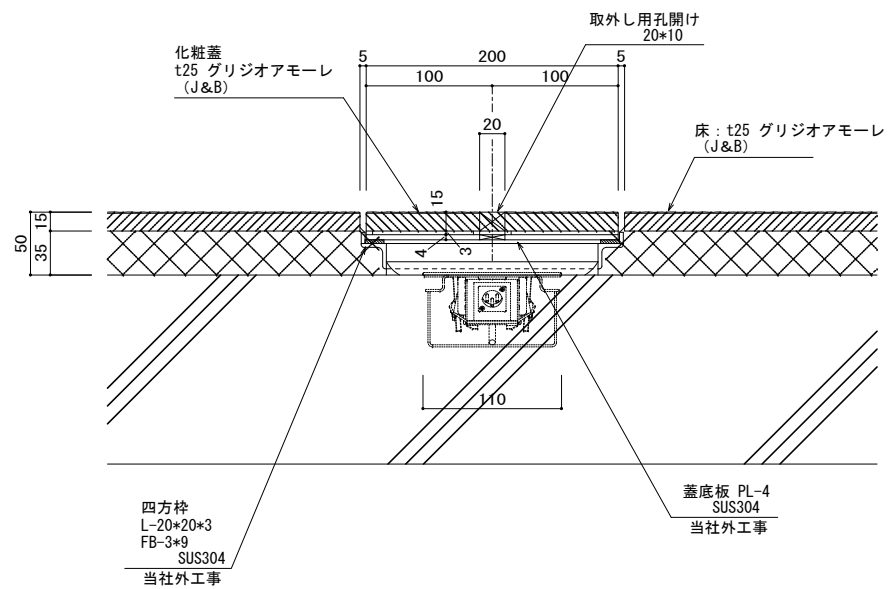
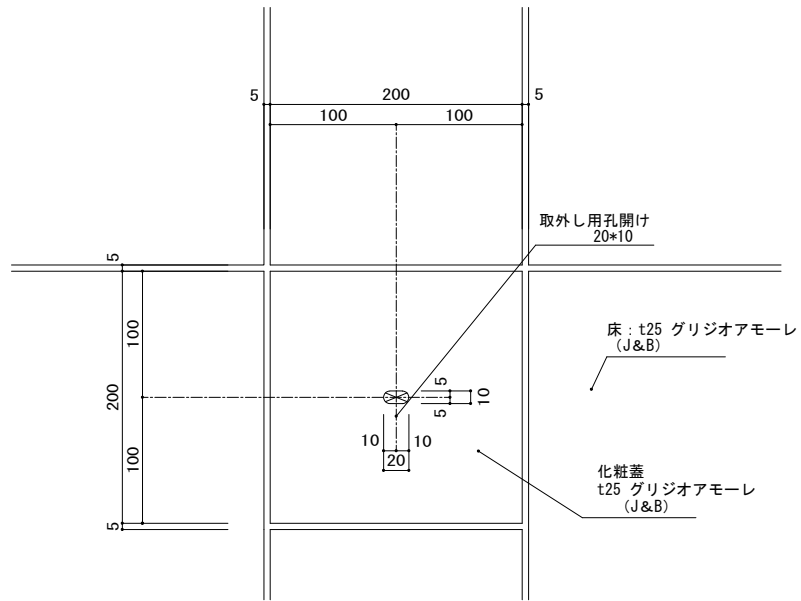
コーナー部



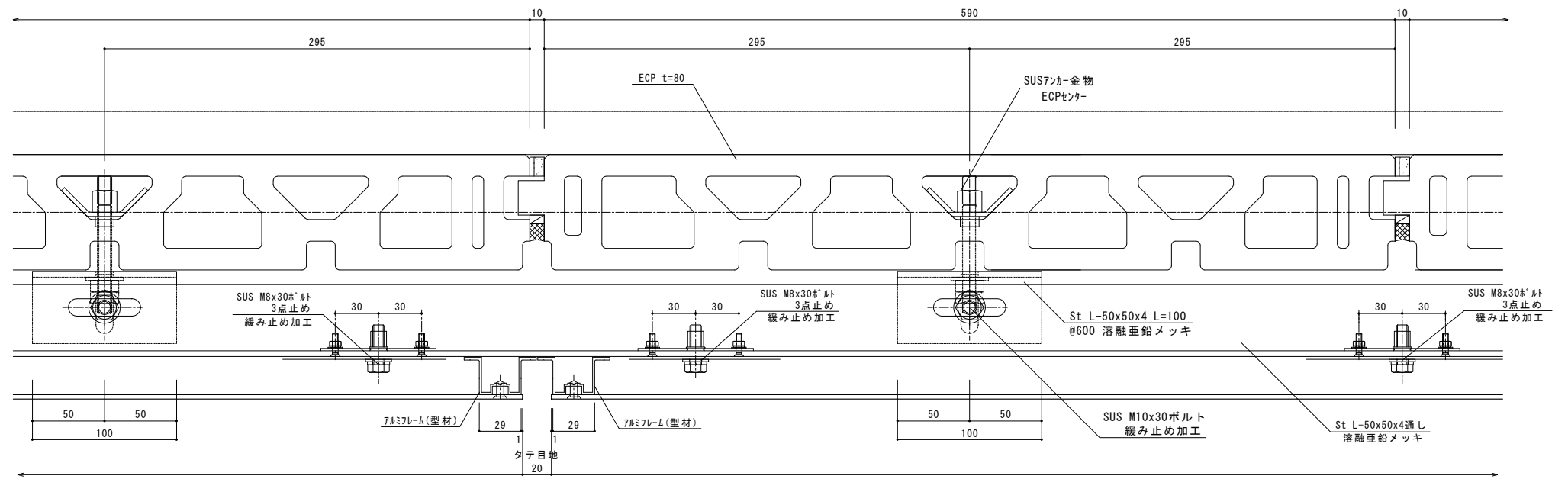
一般部

※2000×2000mm程度のモックアップ(3パターン)を作成の上、監督員の了承を得ること

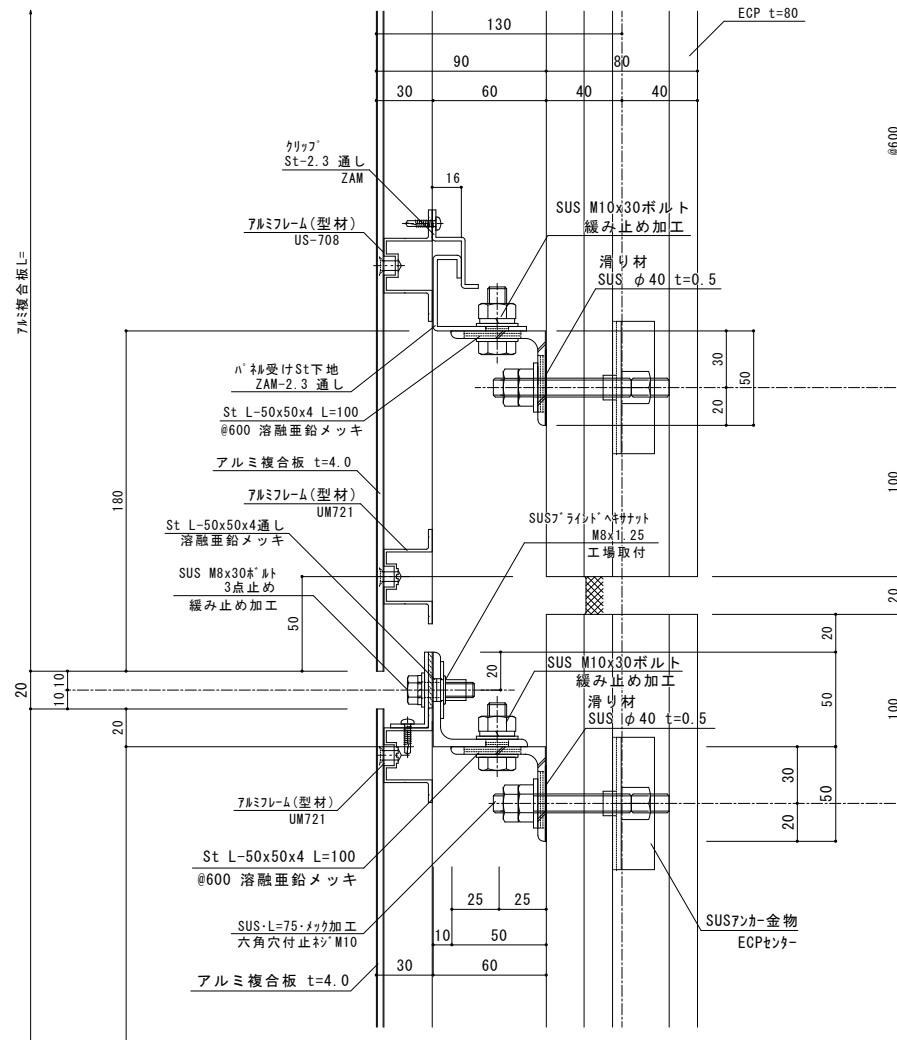




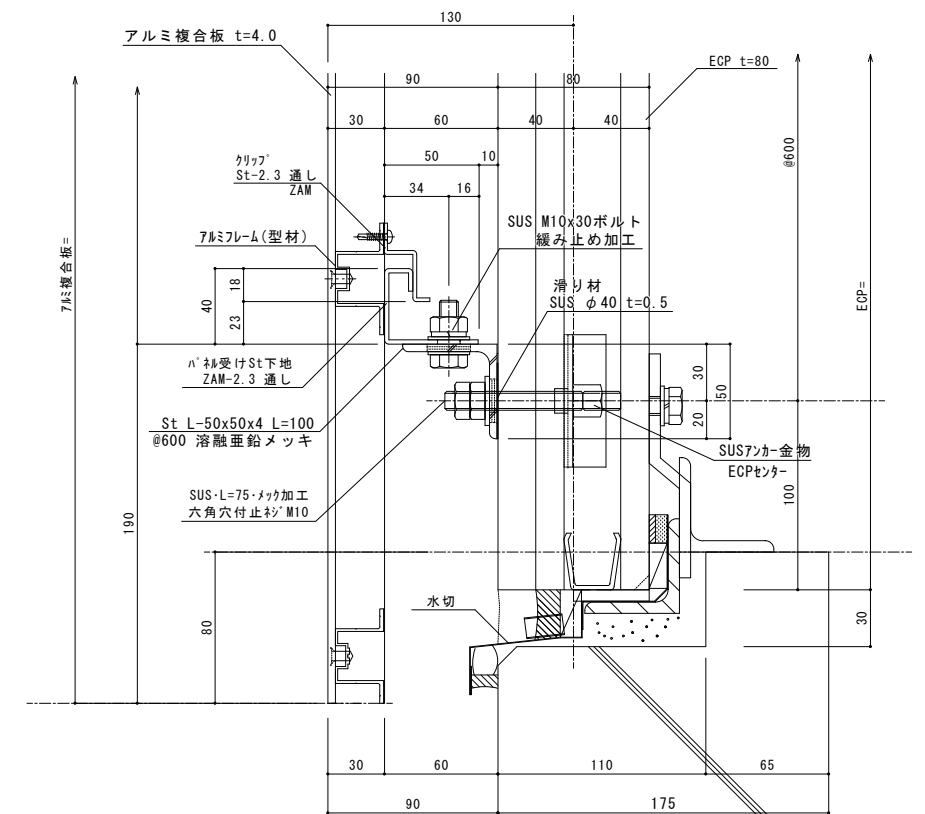
【化粧蓋: 詳細図】 (20か所)



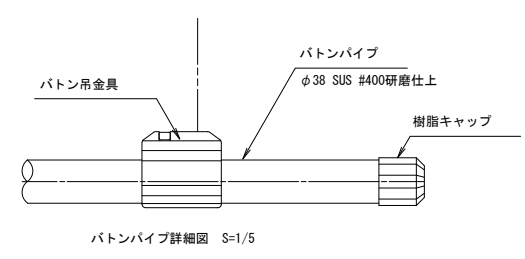
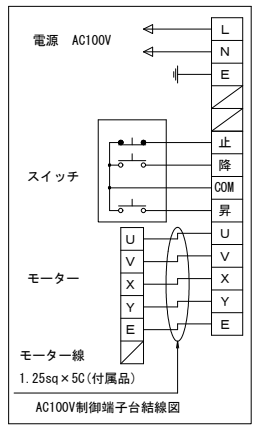
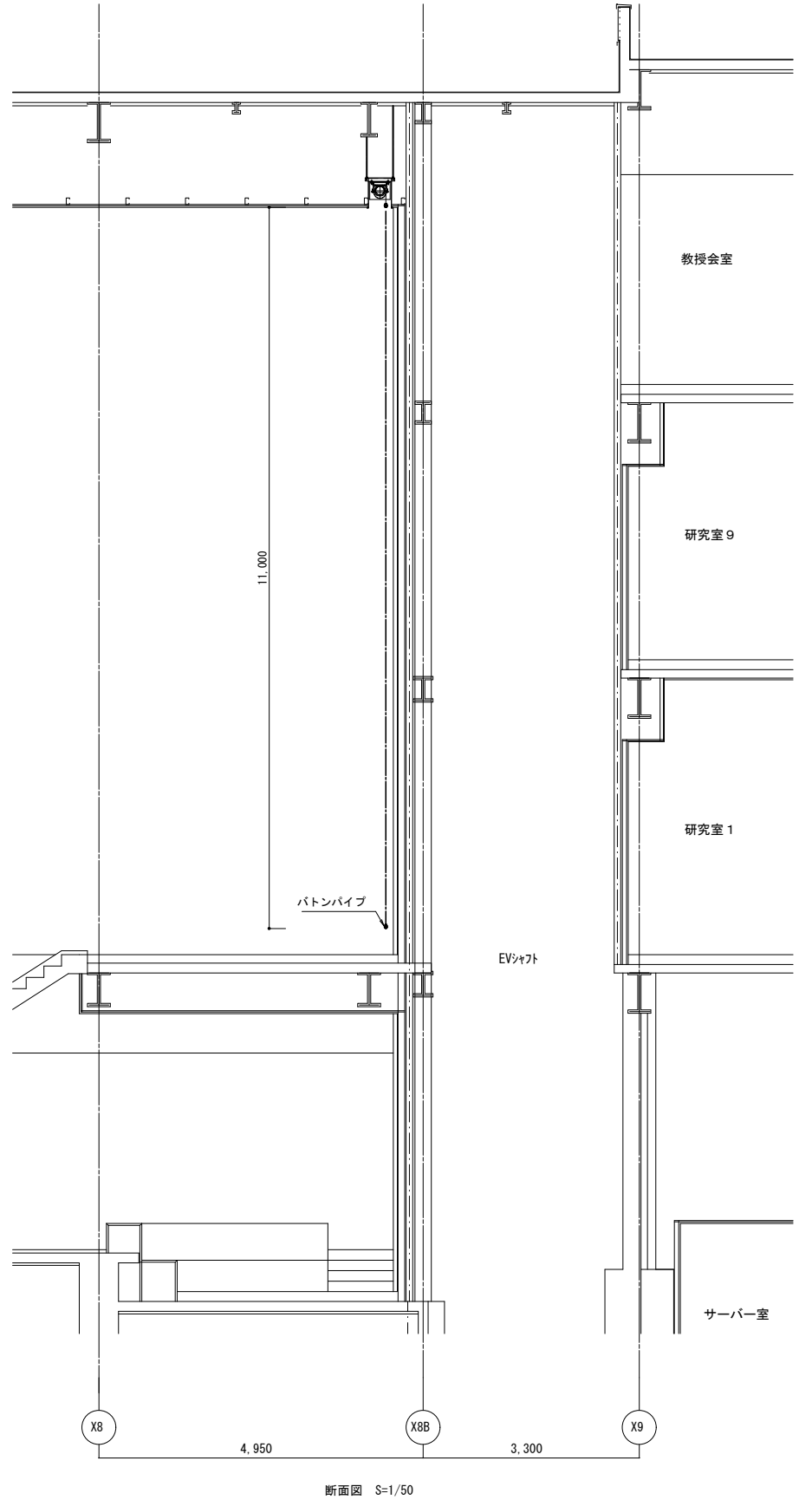
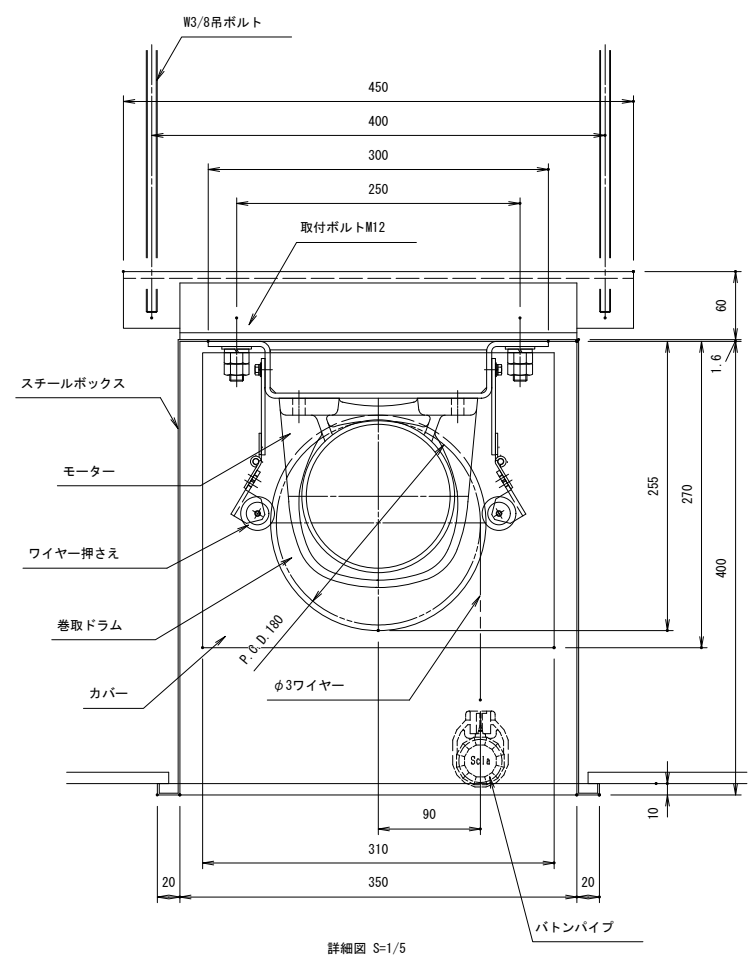
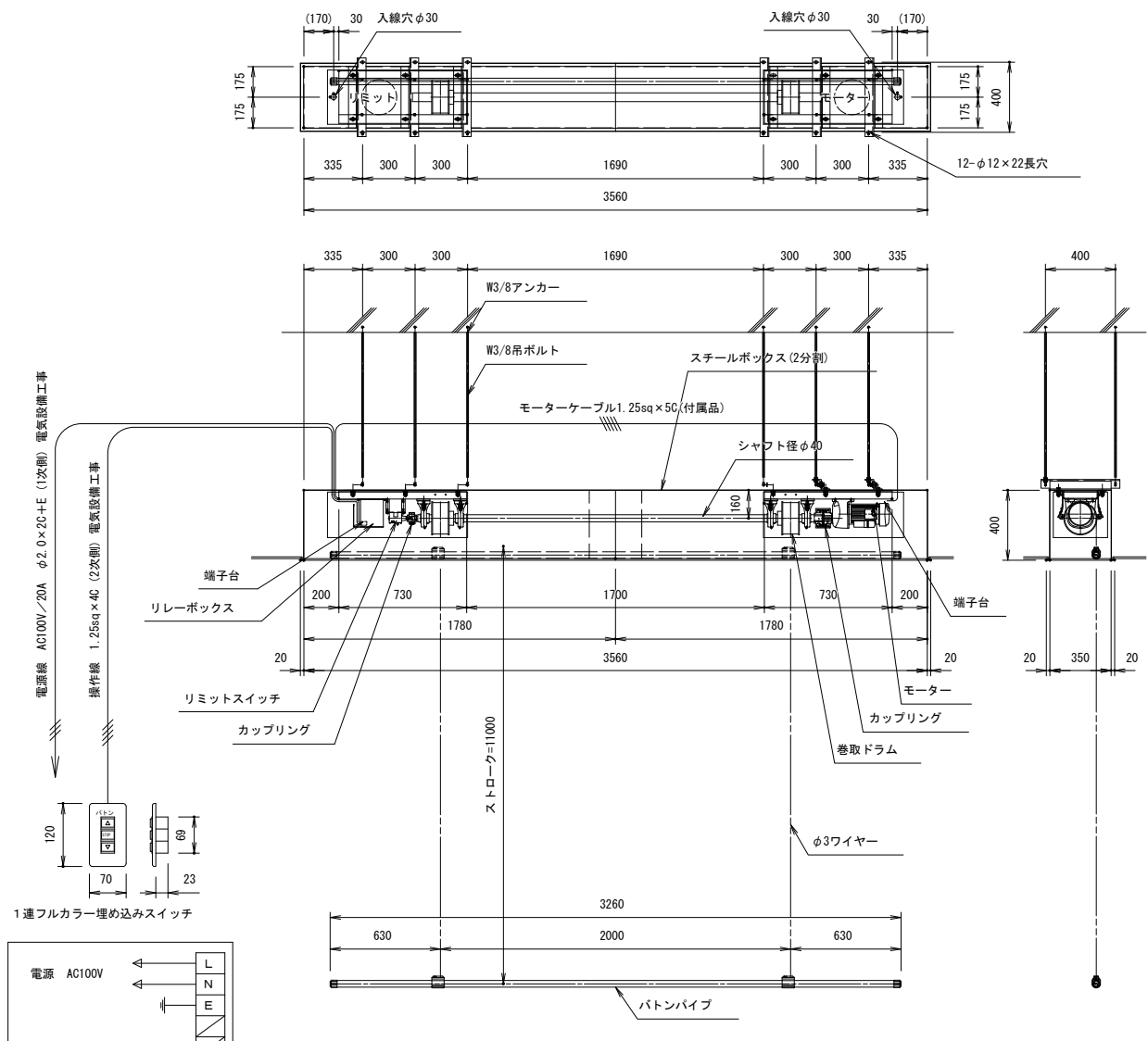
〈平面図〉



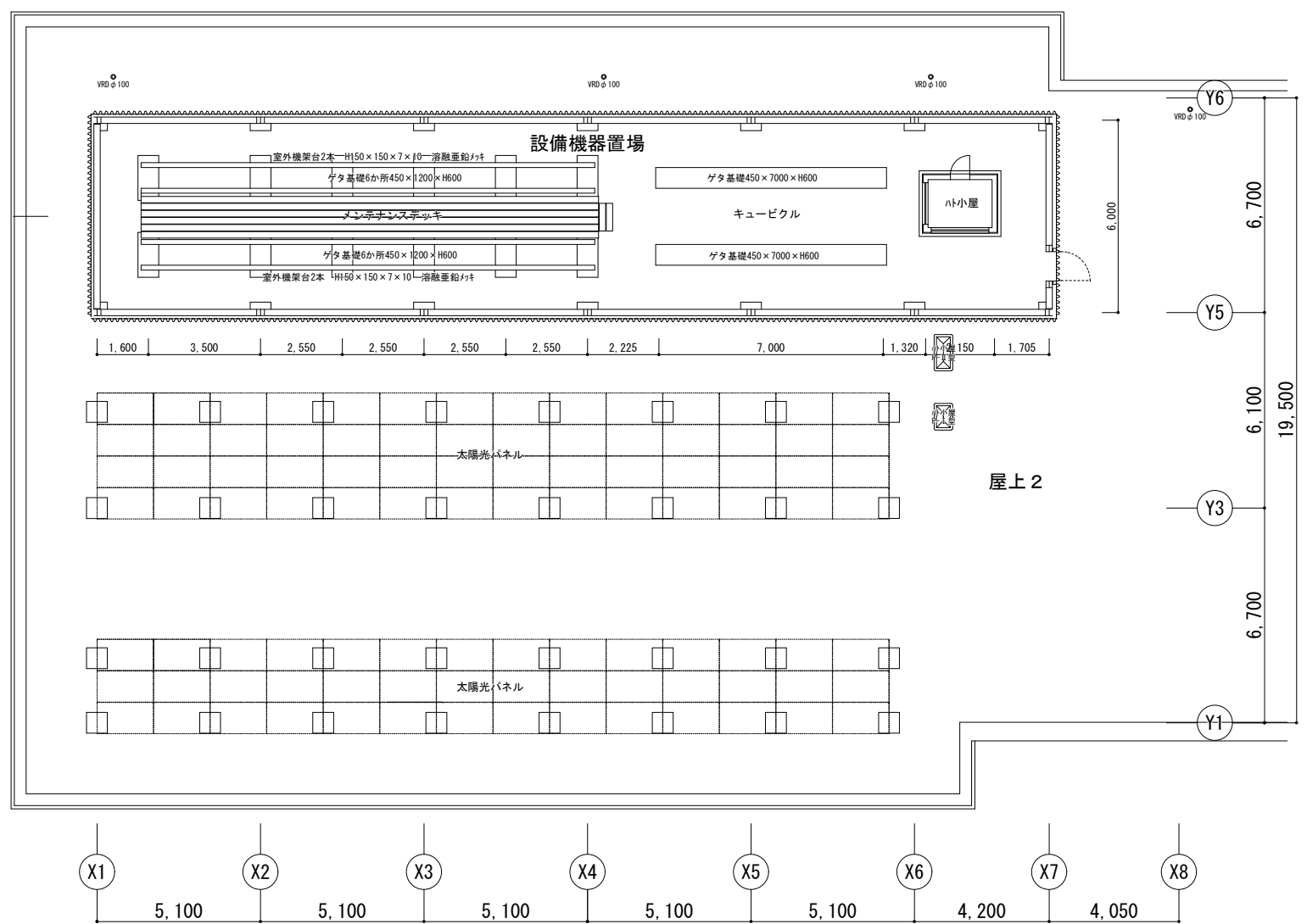
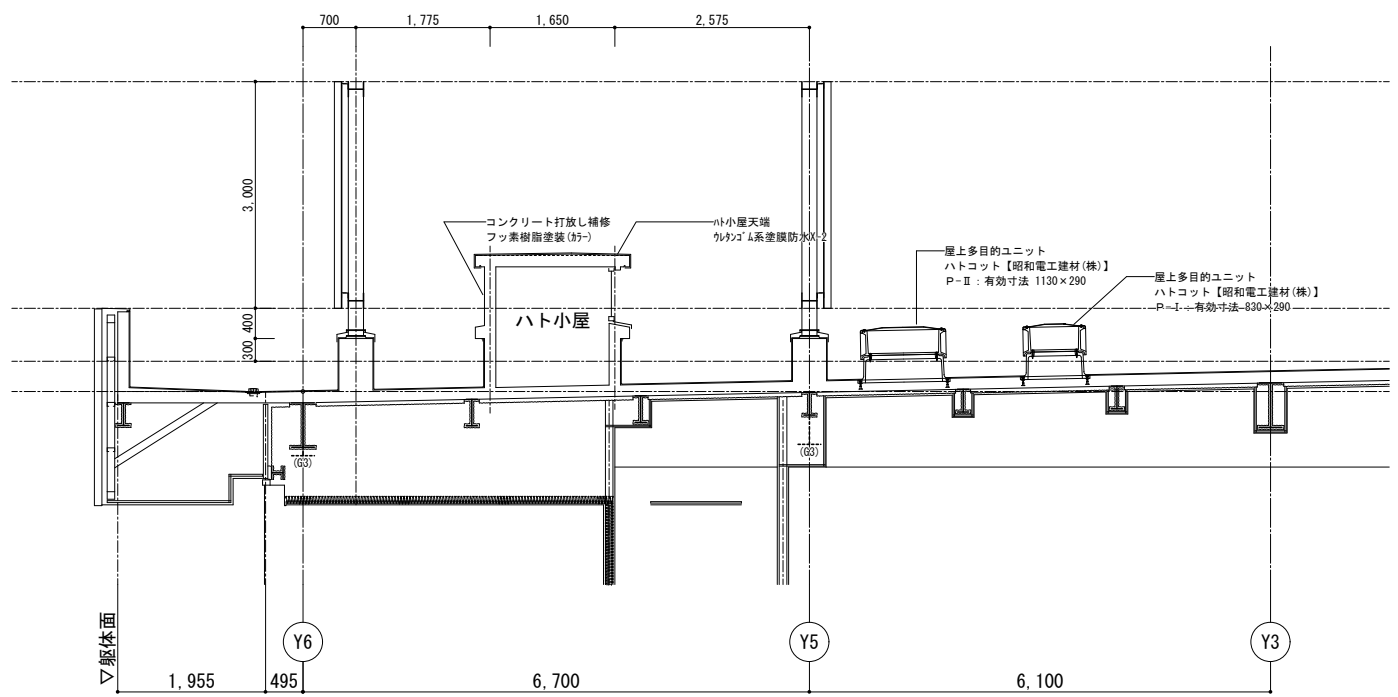
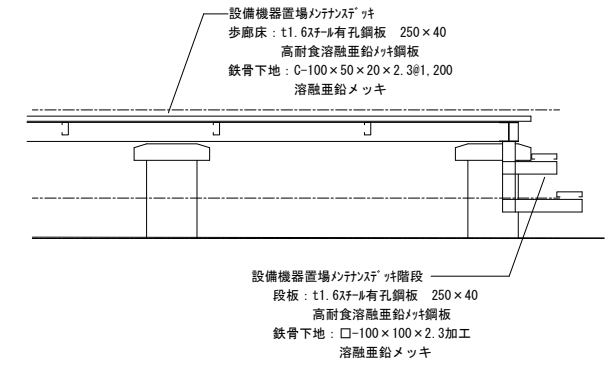
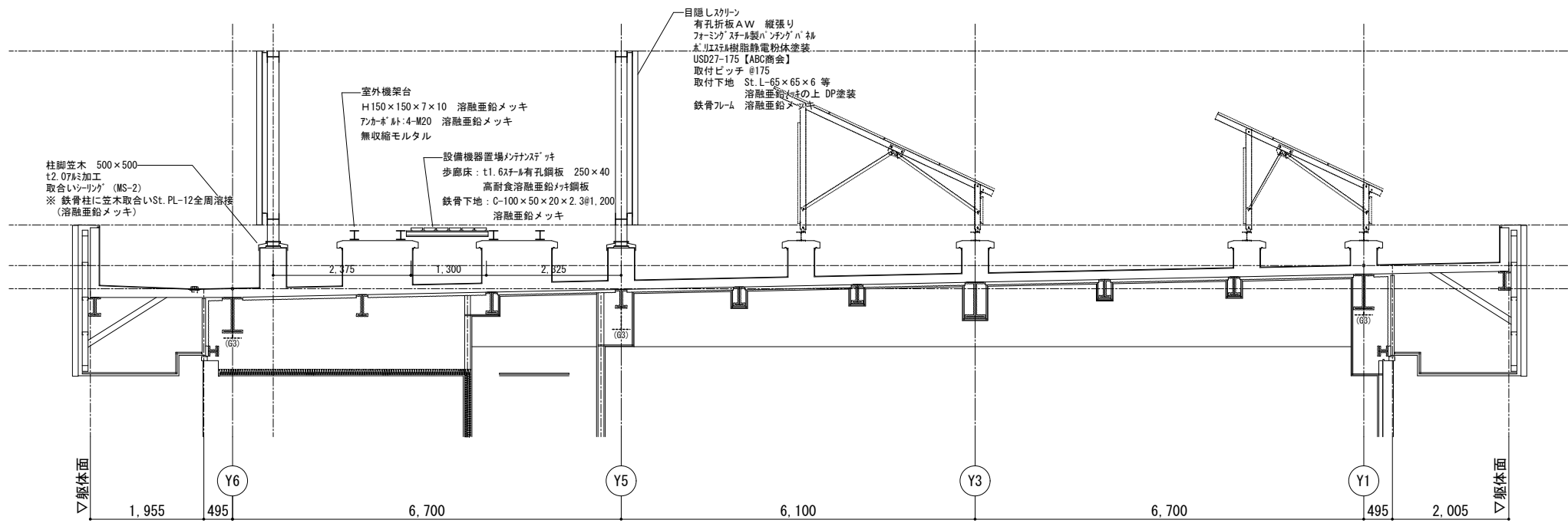
〈中間部断面図〉

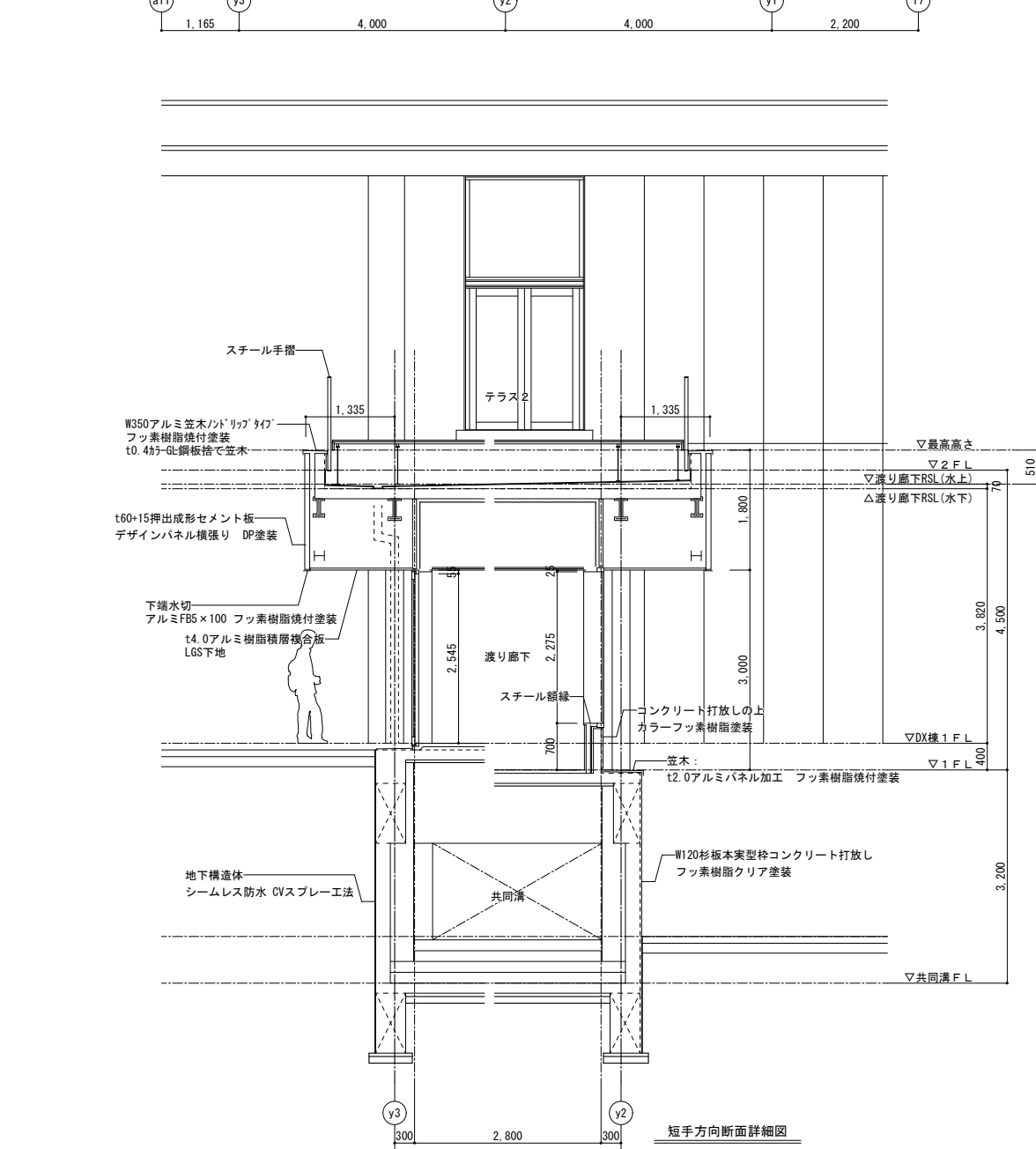
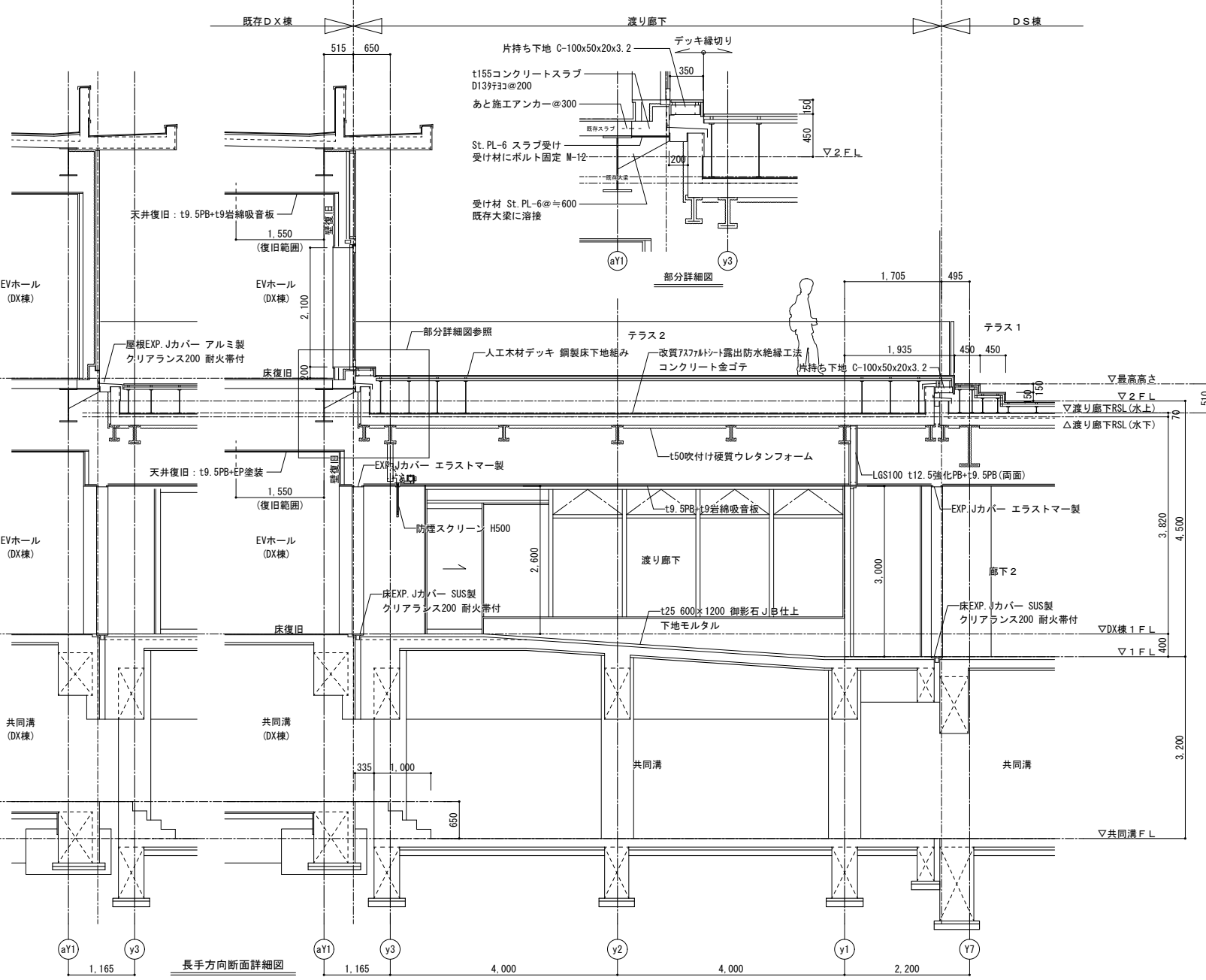
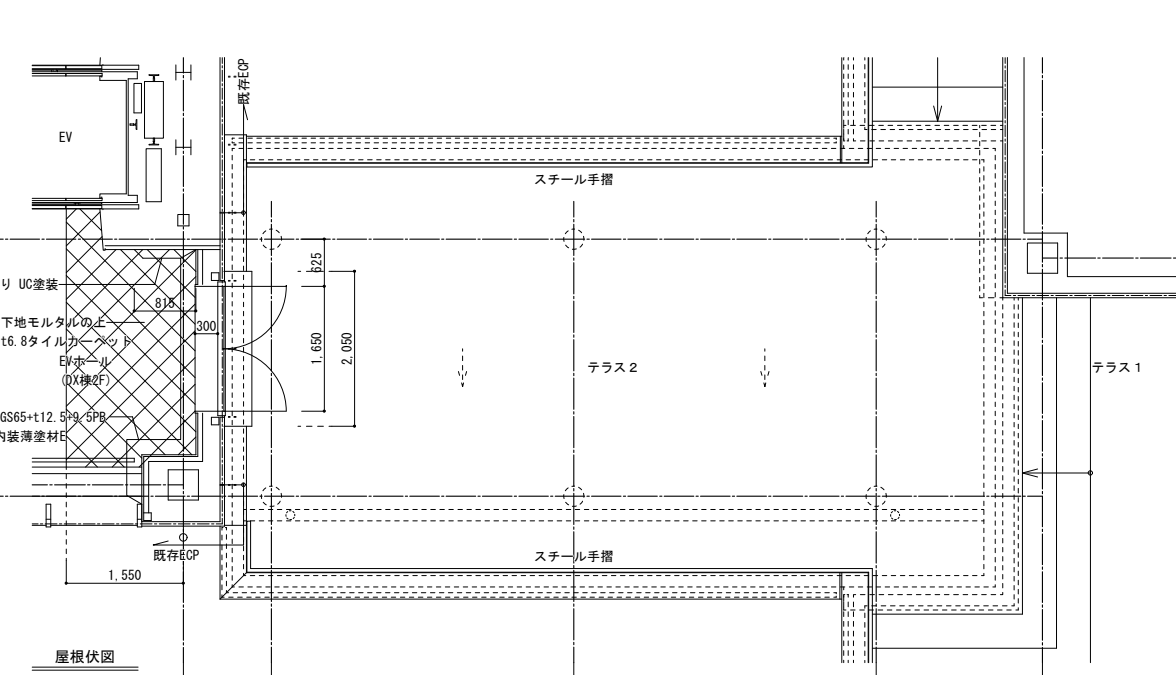
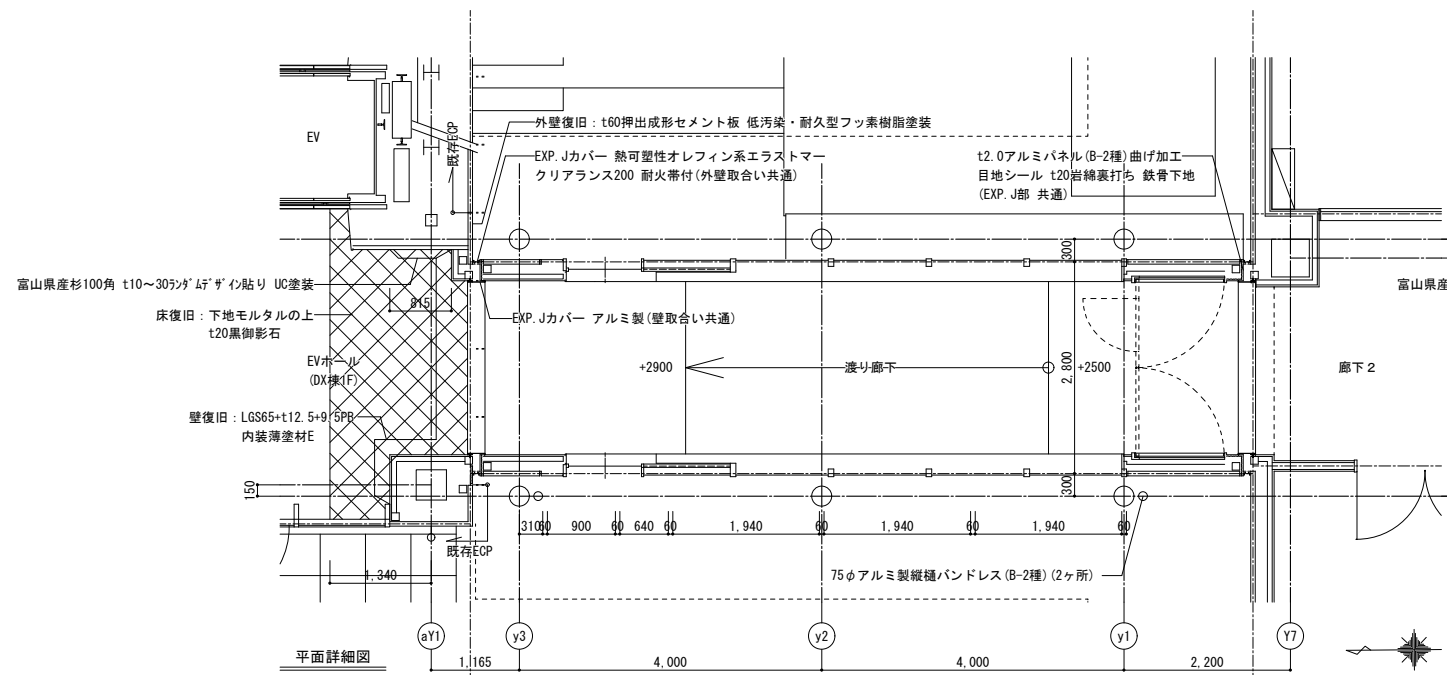


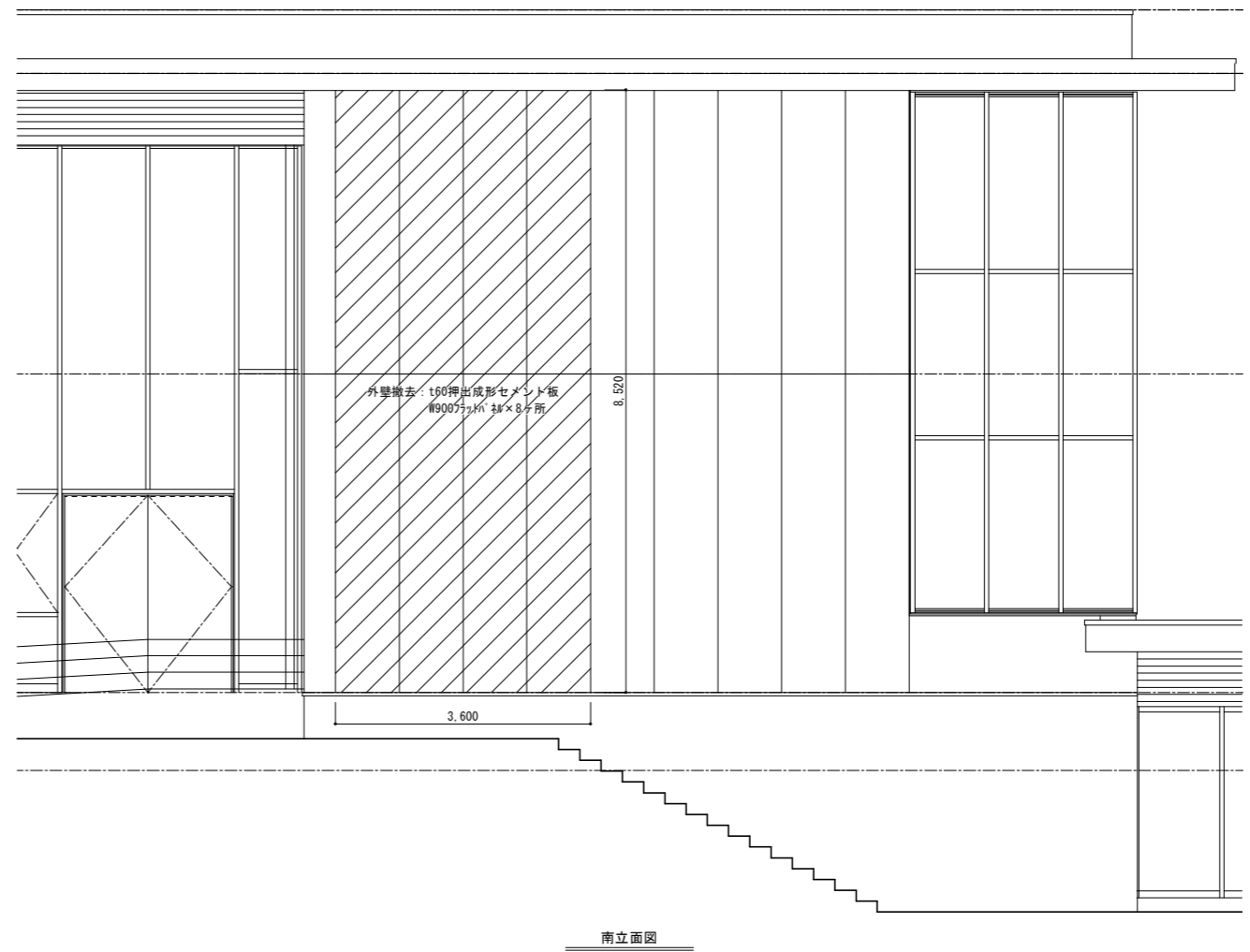
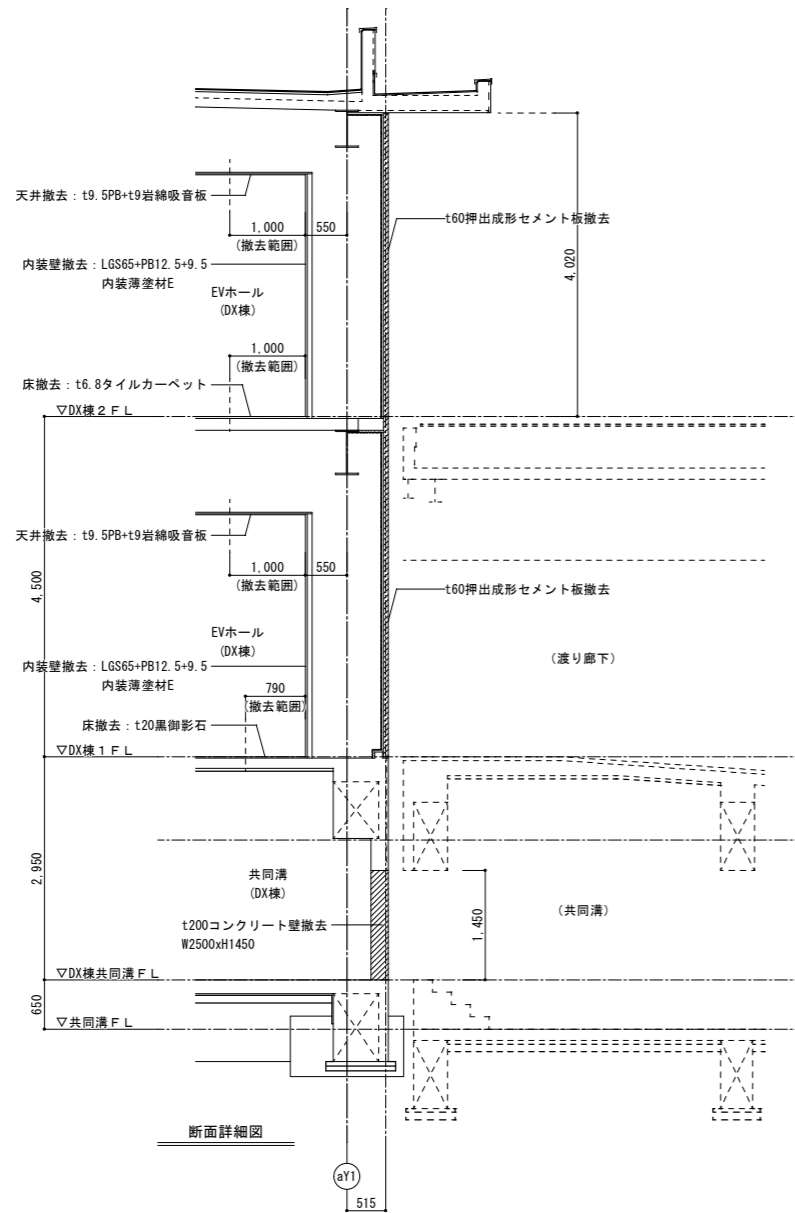
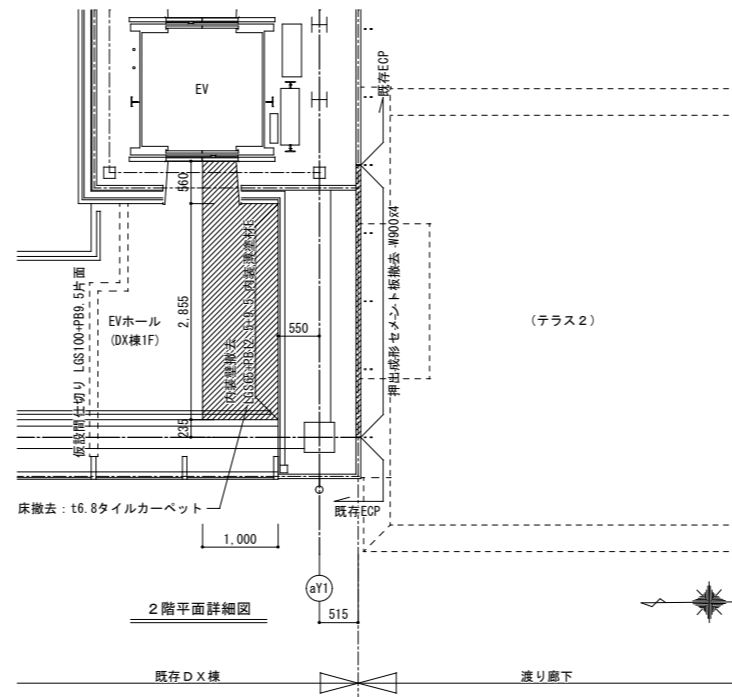
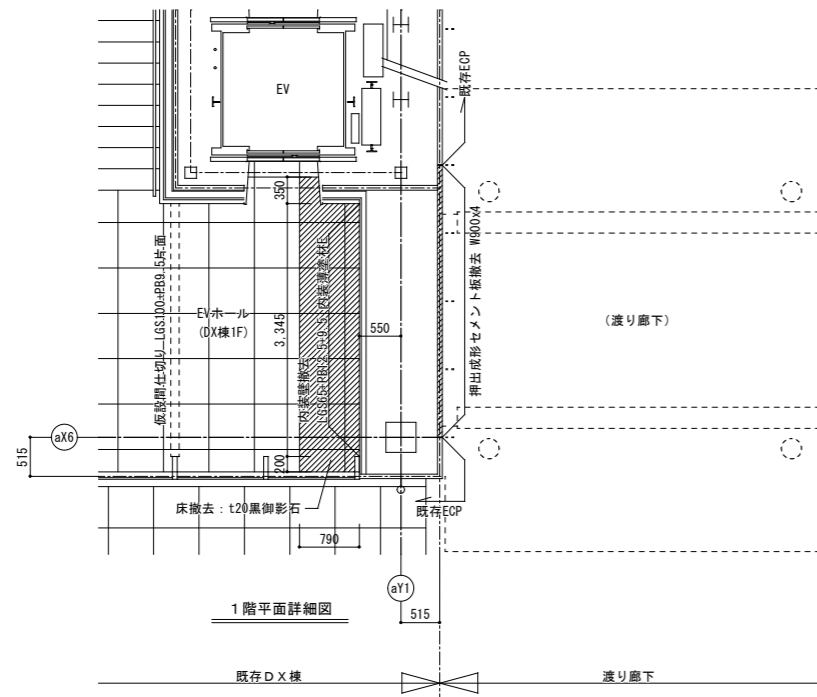
〈下部断面図〉



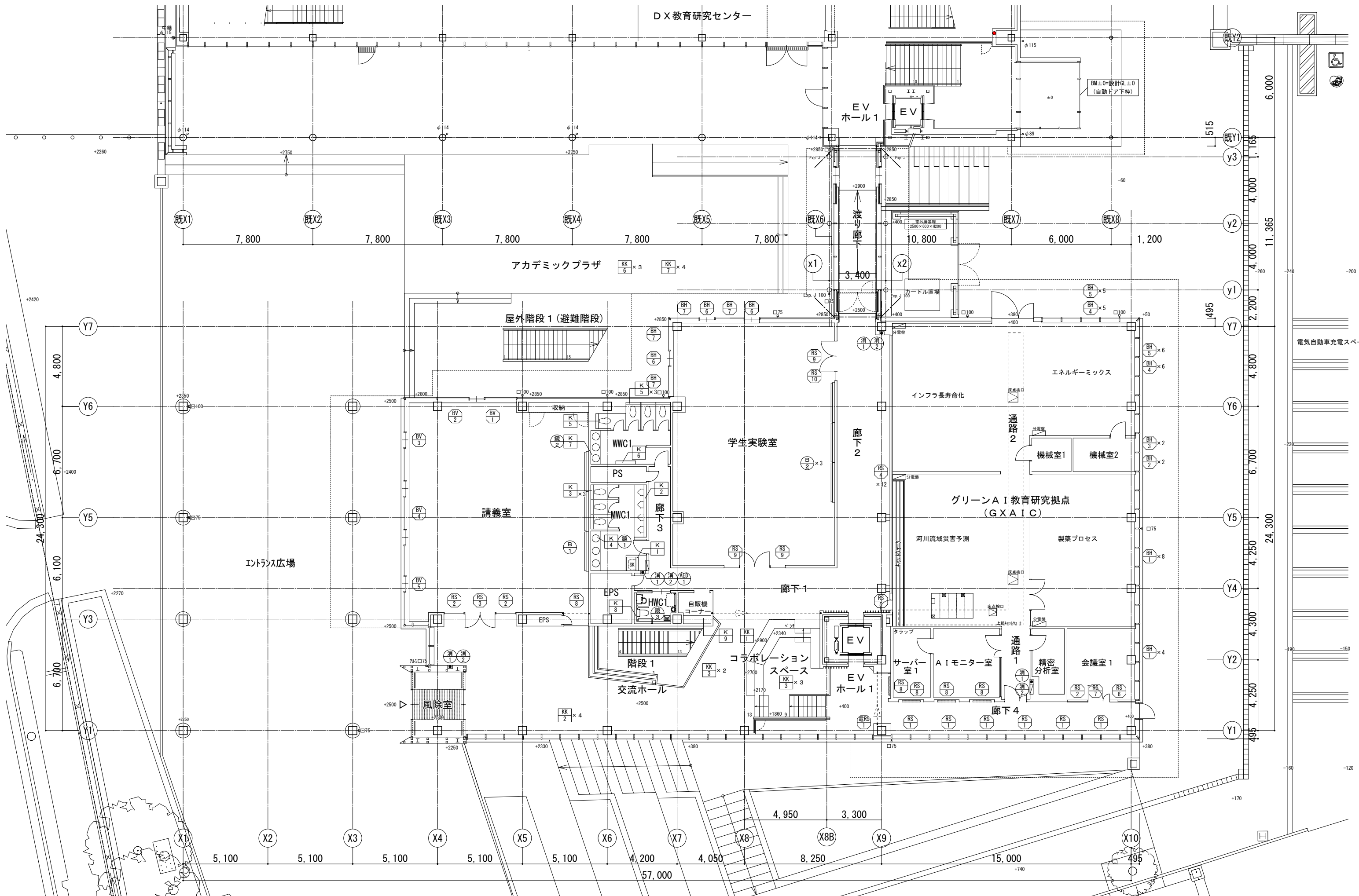
ボタン仕様一覧			
吊下荷重	80kg	付属品	1連フルカラーモダンプレート(ホワイト) カバー、スチールボックス(質量86kg)
ボタンバイブ	SUS-φ38×t1.5 #400研磨仕上	別売品	ワイヤレスリモコン
昇降速度	117/141mm/sec	電気設備工事	電気配線配管工事(1次、2次側共)、スイッチボックス
モーター	単相ギアモータ B付 出力200W 定格電流 5.1/4.5A		
電源	単相100V 50/60Hz		
制御	AC100V(タリ-出力無、接点制御有)		
質量	120kg		







株式会社 福見建築設計事務所 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表) 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁	管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号 記事 建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号 担当 高橋 航平	工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事 日付 2023.10 図面名称 DX棟改修詳細図 縮尺 【A1】 1/50 【A3】 1/100	図面番号 A-96 意匠
	富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事		



株式会社 福見建築設計事務所
 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

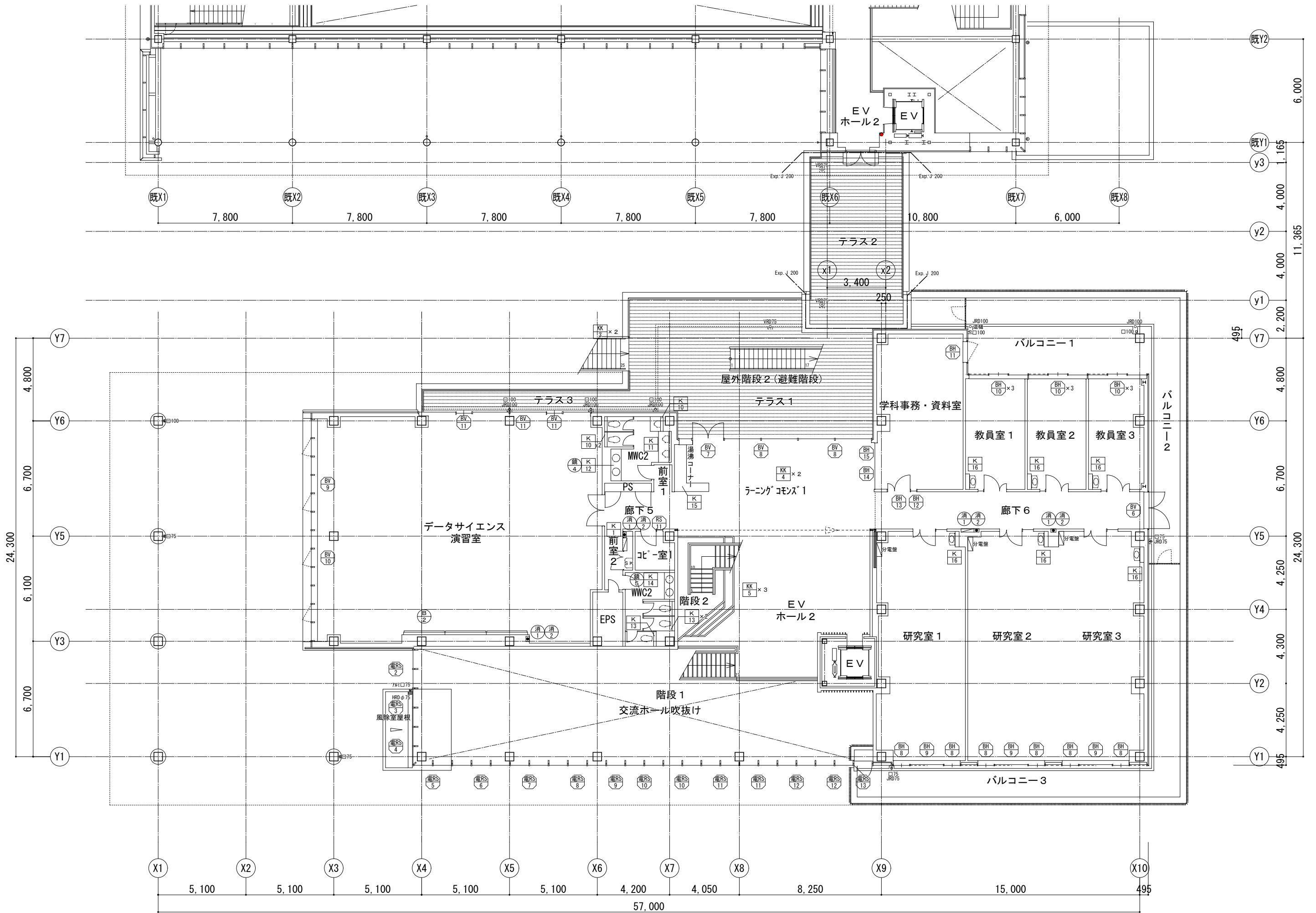
管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
 建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号
 担当 松原 希実

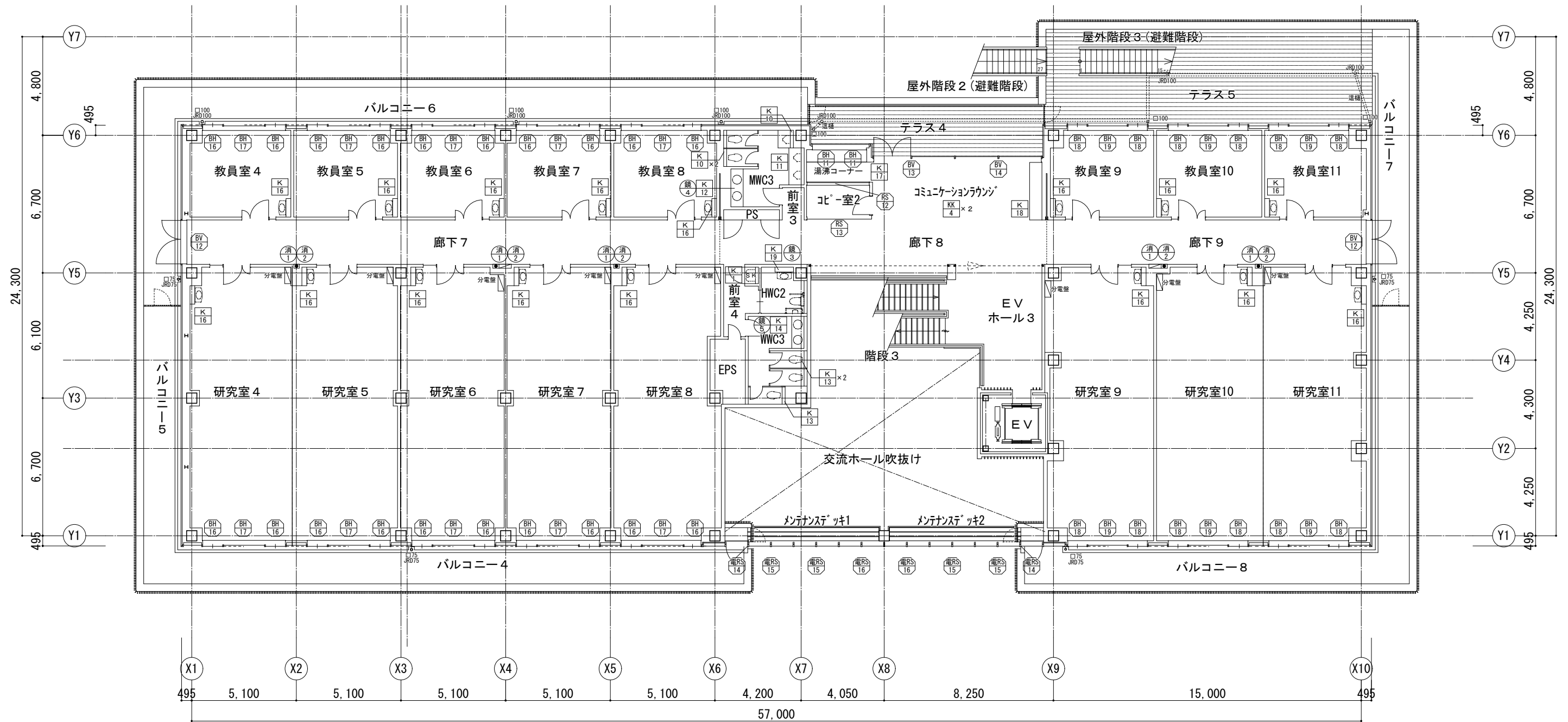
記事

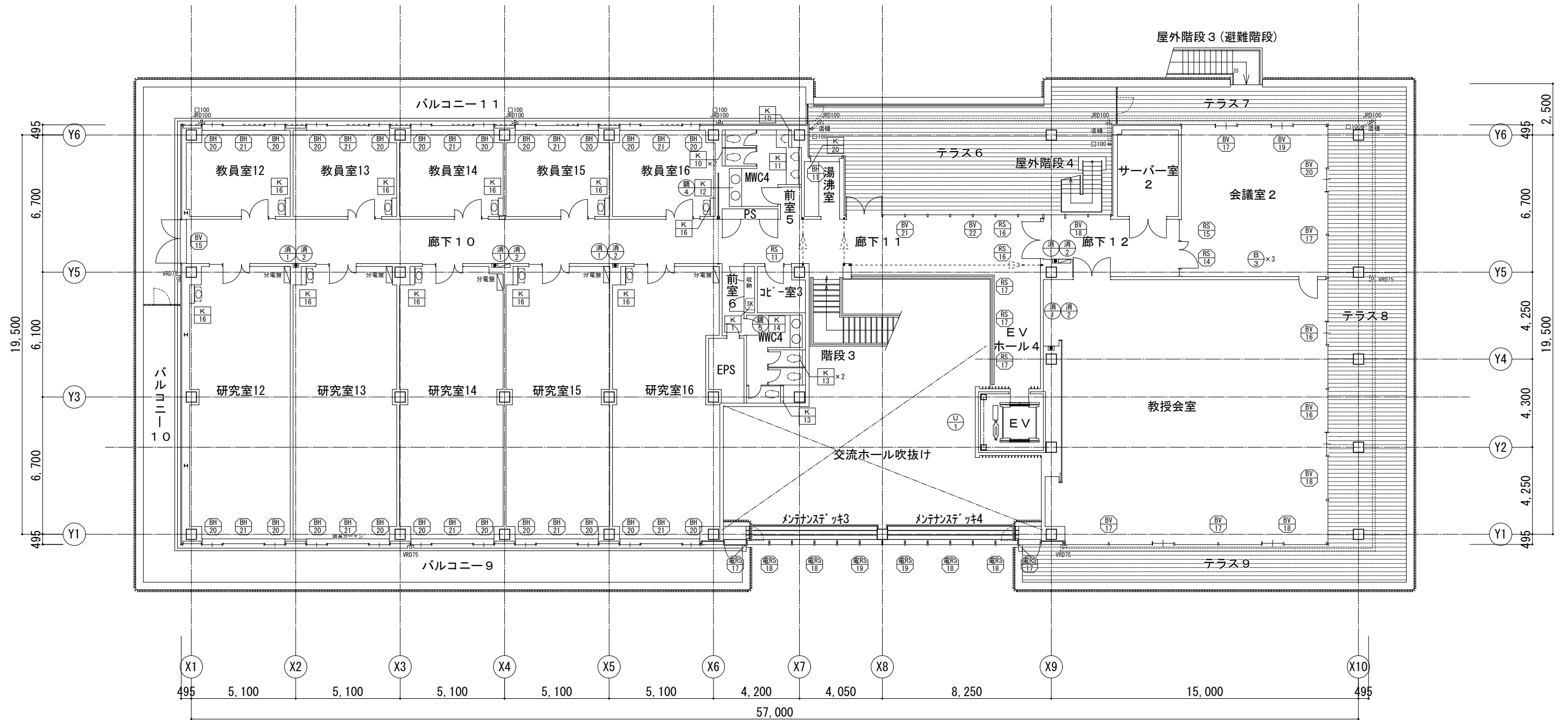
工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事
 図面名称 1階家具備品配置図

日付 2023.10
 縮尺 [A1] 1/100
 [A3] 1/200

図面番号 A-97
 意匠







家具・備品リスト											
記号	名称	場所	数量	仕様・寸法	備考 【参考メーカー】	記号	名称	場所	数量	仕様・寸法	備考 【参考メーカー】
K1	掃除用具棚	1F SK 2F SK 3F SK 4F SK	1	仕様：オープンBOX（可動棚1段） 本体：ポリ合板フラッシュ（木口：メラミン） 金物：SUSダボ、SUS回転フック3個 寸法：W820×D250×H600	詳細は、別図参照	鏡1	化粧鏡	1F MWC1	1	t5耐食鏡 縦面取り 上下SUSフレーム W2,400×H1,300	
K2	ライニングカウンター	1F MWC1	1	仕様：ポストフォームVPA 寸法：t20 W3,250×D150		鏡2	化粧鏡	1F WWC1	1	t5耐食鏡 縦面取り 上下SUSフレーム W2,000×H1,300	
K3	ライニングカウンター	1F MWC1	3	仕様：ポストフォームVPA 寸法：t20 W900 ×D150		鏡3	化粧鏡 (傾斜)	1F HWC1 3F WWC2	1 1	LW530	TOTO
K4	手洗いカウンター	1F MWC1	1	仕様：天板 t10人工大理石（洗面器用穴明加工） 本体・扉：メラミン化粧板フラッシュ 寸法：W2,390 × D600 × H800	詳細は、別図参照	鏡4	化粧鏡	2F WWC2 3F WWC3 4F WWC4	1 1 1	t5耐食鏡 縦面取り 上下SUSフレーム W1,850×H1,300	
K5	ライニングカウンター	1F WWC1	4	仕様：ポストフォームVPA 寸法：t20 W900 ×D150		鏡5	化粧鏡	2F WWC2 3F WWC3 4F WWC4	1 1 1	t5耐食鏡 縦面取り 上下SUSフレーム W1,550×H1,300	
K6	カウンター	1F WWC1	1	仕様：ポストフォームRDA 寸法：t20 W1,200×D200							
K7	手洗いカウンター	1F WWC1	1	仕様：天板 t10人工大理石（洗面器用穴明加工） 本体・扉：メラミン化粧板フラッシュ 寸法：W2,025 × D600 × H800	詳細は、別図参照	B1	上下式 ブラックボード	1F 講義室	3	アルミ枠 ホーローブラック アルミ粉受、映写兼用暗線入り W2,400×H1,800	
K8	ライニングカウンター	1F HWC1	1	仕様：ポストフォームVPA 寸法：t20 L2200+1860 × D150		B2	上下式 ホワイトボード	1F 学生実験室 2F デモシアタ演習室	3 3	アルミ枠 ホーローホワイト メーカー、メーカー受け、メーカーBOX、ピクチャレール W2,400×H1,800	
K9	ゴミ箱	1F 廊下1	1	仕様：本体・扉 メラミン化粧板フラッシュ 寸法：W1,850 × D520 × H3000	詳細は、別図参照	B3	ホワイトボード	4F 会議室	1	アルミ枠 ホーローホワイト メーカー、メーカー受け、メーカーBOX、ピクチャレール W3,600×H1,200	
K10	ライニングカウンター	2F WWC2 3F WWC3 4F WWC4	3 3 3	仕様：ポストフォームVPA 寸法：t20 W900 ×D150							
K11	ライニングカウンター	2F WWC2 3F WWC3 4F WWC4	1 1 1	仕様：ポストフォームVPA 寸法：t20 W1,800×D150		U1	電動昇降ボタン	4F 交流ホール	1	BKB-3620×11000 ワイヤレスリモコン、ペーパークリップ	【参考 シネマ工房】
K12	手洗いカウンター	2F WWC2 3F WWC3 4F WWC4	1 1 1	仕様：天板 t10人工大理石（洗面器用穴明加工） 本体・扉：メラミン化粧板フラッシュ 寸法：W1,850 × D600 × H800	詳細は、別図参照						
K13	ライニングカウンター	2F WWC2 3F WWC3 4F WWC4	3 3 3	仕様：ポストフォームVPA 寸法：t20 W840 ×D150		消1	消火器	1F 2F 3F 4F	4 4 5 5	ABC粉末消火器10型	
K14	手洗いカウンター	2F WWC2 3F WWC3 4F WWC4	1 1 1	仕様：天板 t10人工大理石（洗面器用穴明加工） 本体・扉：メラミン化粧板フラッシュ 寸法：W1,550 × D600 × H800	詳細は、別図参照	消2	消火器BOX 壁埋め込み型	1F廊下1・2、交流ホール他 2F廊下6、他 3F廊下7・9 4F廊下10・12、教授会室	4 4 5 5	UFB-1F-2720 専用ブラケット付き 標準ステッカー(ST-172-MG)	ユニオン
K15	湯沸しカウンター ゴミ箱	2F ランニングコモン	1	仕様：天板 t10人工大理石 本体・扉：メラミン化粧板フラッシュ 寸法：L2,735×2000×D600×H850	詳細は、別図参照						
K16	ライニングカウンター	2F 研究室、教員室 3F 研究室、教員室 4F 研究室、教員室	6 16 10	仕様：ポストフォームVPA 寸法：t20 W1,800×D235		AED1	AEDボックス	1F 廊下3	1	UAB-104	ユニオン
K17	湯沸しカウンター	3F 湯沸しコーナー	1	仕様：天板 t10人工大理石 本体・扉：メラミン化粧板フラッシュ 寸法：W2,930×D600×H850	詳細は、別図参照						
K18	ゴミ箱	3F コミュニケーションテイクン	1	仕様：天板 t10人工大理石 本体・扉：メラミン化粧板フラッシュ 寸法：W2,810×D600×H850	詳細は、別図参照						
K19	ライニングカウンター	3F HWC2	1	仕様：ポストフォームVPA 寸法：t20 W1,600×D150							
K20	湯沸しカウンター ゴミ箱	4F 湯沸室	1	仕様：天板 t10人工大理石 本体・扉：メラミン化粧板フラッシュ 寸法：W2,680 × D700 × H850	詳細は、別図参照						
KK1	ベンチ	1F コフレレーションスペース	1	仕様：ホワイトオーク材 幅はぎ材 UC塗装	詳細は、別図参照						
KK2	角材ベンチ	1F 交流スペース	4	仕様：県産スギ無垢材積層フローリング 100×100 上小節 UC塗装 台輪 メラミン化粧板 寸法：W1,800 × D400 × H460	【参考 飛騨産業】 HSK-180404J						
KK3	サイドテーブル	1F 交流スペース コフレレーションスペース	2 3	仕様：天板 ホワイトアッシュ突板 本体 スチール 寸法：W530 × D450 × H550	【参考 飛騨産業】 HSK-PIET550						
KK4	テーブルセット	2F ランニングコモン 3F コミュニケーションテイクン	3 2	テーブル：HSK-9090B-GV-BL 椅子：KD200AB、SL221B、OS201AB、EM204	【参考 飛騨産業】						
KK5	テーブルセット	2F ランニングコモン	3	テーブル：HSK-UT1 椅子：TF201-EGR	【参考 飛騨産業】						
KK6	テーブルセット	外部 7号ミッドラ	3	寸法：W1700 × D1700 × H740	【参考 愛知】 VRS-4SH						
KK7	テーブルセット	外部 7号ミッドラ	4	寸法：W1600 × D1600 × H740	【参考 愛知】 VRS-3SH						

【家具工事共通仕様】
・金物は全てSUS製とする。(SUS304)
・メラミン化粧板フラッシュの木口は全てメラミンとする。
※メラミンテープは使用しない。
・コーナー部は全て面取とする。
・上記リストの仕様、寸法等は別図（詳細図等）による。
・仕様、寸法等は施工図を作成し監理者の確認を得ること。
・人工大理石仕様：AIGA:デポネリア>SJC1 同等品とする。

<p>符号/名称/箇所数 K 1 掃除用具棚 4箇所</p>	<p>符号/名称/箇所数 K 4 鏡 1 手洗カウンター・鏡 1箇所</p>	<p>符号/名称/箇所数 K 7 鏡 2 手洗カウンター・鏡 1箇所</p>	<p>符号/名称/箇所数 K 9 ゴミ箱 1箇所</p>	<p>符号/名称/箇所数 K 12 鏡 4 手洗カウンター・鏡 3箇所</p>
<p>室名 MWC 1、前室2、前室4、前室6</p> <p>参考品番</p> <p>仕様 仕様：オープンボックス（可動棚1段） 本体：t=20 ポリ合板フラッシュ 小口：メラミンコア材同色 金物：SUSダボ、SUS回転フック3個</p>	<p>室名 MWC 1</p> <p>仕様 天板：人造大理石 (AICA:デューコリア>SJC1 同等)、下地：t=18耐水合板、開孔加工 本体：t=20 メラミン化粧合板フラッシュ、小口：メラミンコア材同色 扉：t=20 メラミン化粧合板フラッシュ、小口：メラミンコア材同色、斜め手掛 内部：ポリ合板フラッシュ 鏡：t=6 耐食鏡 メラミン化粧板、t3x25 SUS.FB、合板下地 スライド丁番</p>	<p>室名 WWC 1</p> <p>仕様 天板：人造大理石 (AICA:デューコリア>SJC1 同等)、下地：t=18耐水合板、開孔加工 本体：t=20 メラミン化粧合板フラッシュ、小口：メラミンコア材同色 扉：t=20 メラミン化粧合板フラッシュ、小口：メラミンコア材同色、斜め手掛 内部：ポリ合板フラッシュ 鏡：t=5 耐食鏡 メラミン化粧板、t3x25 SUS.FB、合板下地 スライド丁番</p>	<p>室名 廊下1</p> <p>仕様 本体：t=20 メラミン化粧合板フラッシュ、小口：メラミンコア材同色、開孔加工 扉：t=20 メラミン化粧合板フラッシュ、小口：メラミンコア材同色、斜め手掛 内部：ポリ合板フラッシュ スライド丁番</p>	<p>室名 MWC 2、MWC 3、MWC 4</p> <p>仕様 天板：人造大理石 (AICA:デューコリア>SJC1 同等)、下地：t=18耐水合板、開孔加工 本体：t=20 メラミン化粧合板フラッシュ、小口：メラミンコア材同色 扉：t=20 メラミン化粧合板フラッシュ、小口：メラミンコア材同色、斜め手掛 内部：ポリ合板フラッシュ 鏡：t=6 耐食鏡 メラミン化粧板、t3x25 SUS.FB、合板下地 スライド丁番</p>
<p>符号/名称/箇所数 K 14 鏡 5 手洗カウンター・鏡 3箇所</p>	<p>符号/名称/箇所数 K 15 湯沸しカウンター・ゴミ箱 1箇所</p>	<p>符号/名称/箇所数 K 17 湯沸しカウンター 1箇所</p>	<p>符号/名称/箇所数 K 18 ゴミ箱 1箇所</p>	
<p>室名 WWC 2、WWC 3、WWC 4</p> <p>仕様 天板：人造大理石 (AICA:デューコリア>SJC1 同等)、下地：t=18耐水合板、開孔加工 本体：t=20 メラミン化粧合板フラッシュ、小口：メラミンコア材同色 扉：t=20 メラミン化粧合板フラッシュ、小口：メラミンコア材同色、斜め手掛 内部：ポリ合板フラッシュ 鏡：t=5 耐食鏡 メラミン化粧板、t3x25 SUS.FB、合板下地 スライド丁番</p>	<p>室名 湯沸しコーナー1</p> <p>仕様 初め・ゴミ箱：メラミン化粧板フラッシュ (内部共) (小口共) 天板・シンク：人造大理石 (AICA:デューコリア>SJC1 同等) 止水フタ、SUS水切り網かご KBFN25S 同等 排水金物一式 (排水トラップ 横引きタイプ) 裏面・側面制振材張り及び防露処理。 引き出し：メラミン化粧板フラッシュ (小口共)、扉パネル小口上端 手掛け加工、スライド蝶番 引き出し：メラミン化粧板フラッシュ (小口共)、スライドレール 水栓金具：30 281 00C (ｸﾞｰｰ) 寒冷地仕様、付属金物一式 IHヒーター：W450 2口 ｸﾞｰｰ無し 【日立ﾌﾞﾗｲﾀﾞｽ：HT-40A 同等】</p>	<p>室名 湯沸しコーナー2</p> <p>仕様 初め：メラミン化粧板フラッシュ (内部共) (小口共) 天板・シンク：人造大理石 (AICA:デューコリア>SJC1 同等) 止水フタ、SUS水切り網かご KBFN25S 同等 排水金物一式 (排水トラップ 横引きタイプ) 裏面・側面制振材張り及び防露処理。 引き出し：メラミン化粧板フラッシュ (小口共)、扉パネル小口上端 手掛け加工、スライド蝶番 引き出し：メラミン化粧板フラッシュ (小口共)、スライドレール 水栓金具：30 281 00C (ｸﾞｰｰ) 寒冷地仕様、付属金物一式 IHヒーター：W450 2口 ｸﾞｰｰ無し 【日立ﾌﾞﾗｲﾀﾞｽ：HT-40A 同等】</p>	<p>室名 ｺﾞﾐ箱</p> <p>仕様 ゴミ箱本体：メラミン化粧板フラッシュ (内部共) (小口共) 天板：人造大理石 (AICA:デューコリア>SJC1 同等) 引き出し：メラミン化粧板フラッシュ (小口共)、扉パネル小口上端 手掛け加工、スライド蝶番</p>	
<p>符号/名称/箇所数 K 20 湯沸しカウンター・ゴミ箱 1箇所</p>	<p>符号/名称/箇所数 K K 1 ベンチ 1式</p>			
<p>室名 湯沸室</p> <p>仕様 初め・ゴミ箱：メラミン化粧板フラッシュ (内部共) (小口共) 天板・シンク：人造大理石 (AICA:デューコリア>SJC1 同等) 止水フタ、SUS水切り網かご KBFN25S 同等 排水金物一式 (排水トラップ 横引きタイプ) 裏面・側面制振材張り及び防露処理。 引き出し：メラミン化粧板フラッシュ (小口共)、扉パネル小口上端 手掛け加工、スライド蝶番 引き出し：メラミン化粧板フラッシュ (小口共)、スライドレール 水栓金具：30 281 00C (ｸﾞｰｰ) 寒冷地仕様、付属金物一式 IHヒーター：W450 2口 ｸﾞｰｰ無し 【日立ﾌﾞﾗｲﾀﾞｽ：HT-40A 同等】</p>	<p>室名 コラボレーションスペース</p> <p>仕様 天板・側板：ホワイトオーク材 幅はぎ材 留め加工 U.C塗装 取付け下地共</p>	<p>工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事</p> <p>日付 2023.10</p> <p>図面名称 家具詳細図</p> <p>縮尺 [A1] 1/50 [A3] 1/100</p> <p>図面番号 A-102</p> <p>意匠</p>		

ブラインドリスト

Table with columns: 記号, 名称, 場所, 数量, 仕様, 寸法 W x H, 参考 (同等品以上), 記号, 名称, 場所, 数量, 仕様, 寸法 W x H, 参考 (同等品以上), 記号, 名称, 場所, 数量, 仕様, 寸法 W x H, 参考 (同等品以上). Rows list various blind products with their specifications and dimensions.

株式会社 福見建築設計事務所
富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)

管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号
担当 草野 圭亮

記事

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事

日付 2023.10

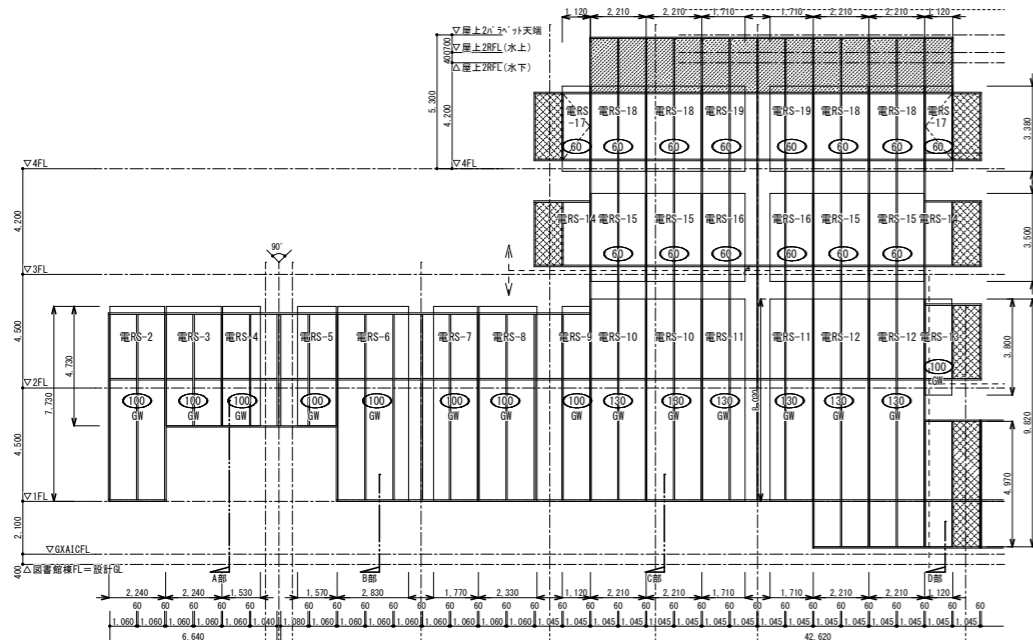
図面番号 A-103

図面名称 ブラインドリスト

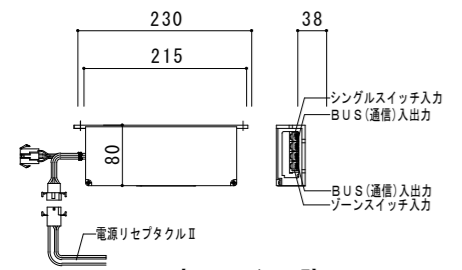
縮尺 No Scale

意匠

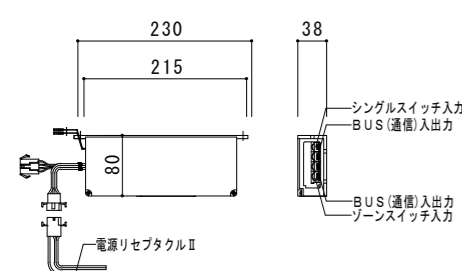
※備考 ブラインドボックスの厚みにおいては、下記の数値以上の製作とする。
・アルミの場合 t2.0mm以上
・スチールの場合 t1.6mm以上
※電RS-1~9・13ブラケット部は+t1.6及び電RS-10~12でt2.3の追加補強が必要とする。



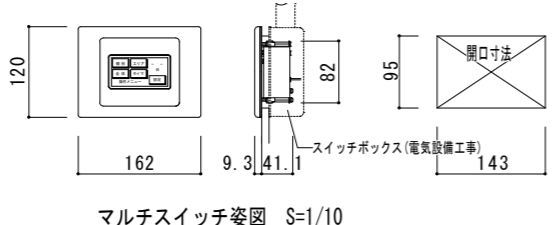
ACW-1 製品配置立面図(外観図) S=1/150



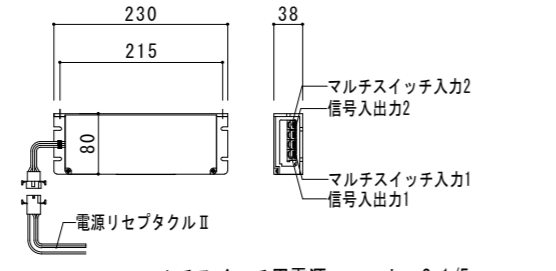
【RSE100タコスII用】
モーターコントローラーII S=1/10



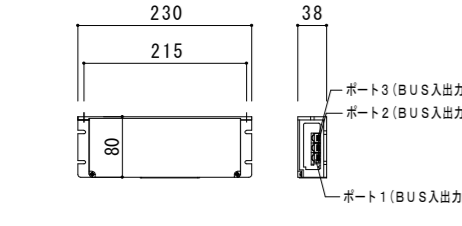
【RSE130タコスII用】
モーターコントローラーII S=1/5



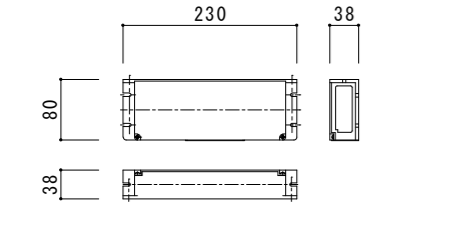
マルチスイッチ姿図 S=1/10



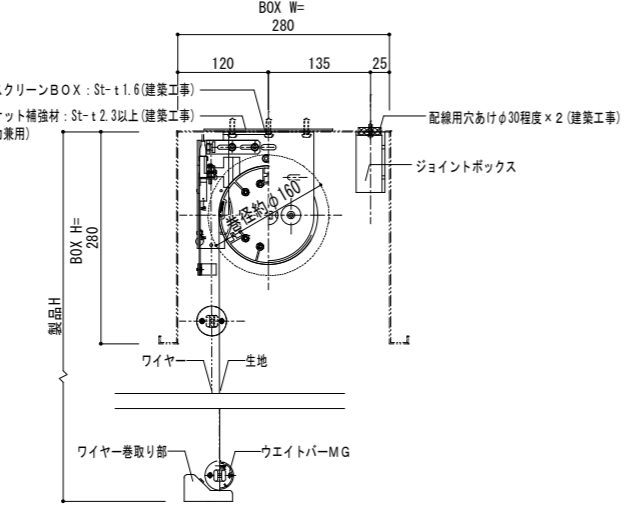
マルチスイッチ用電源ユニット S=1/5



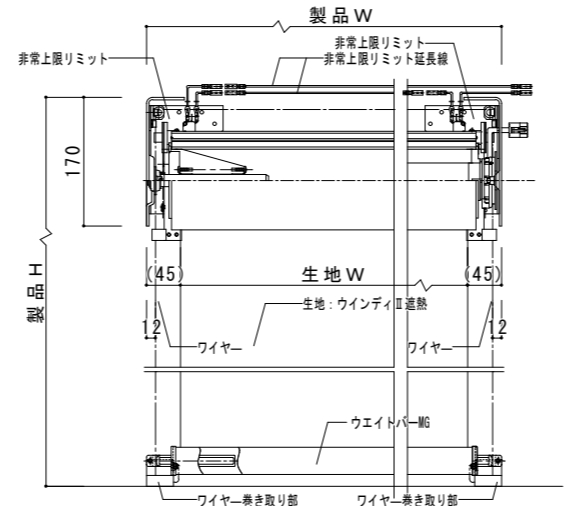
パスパツファII S=1/10



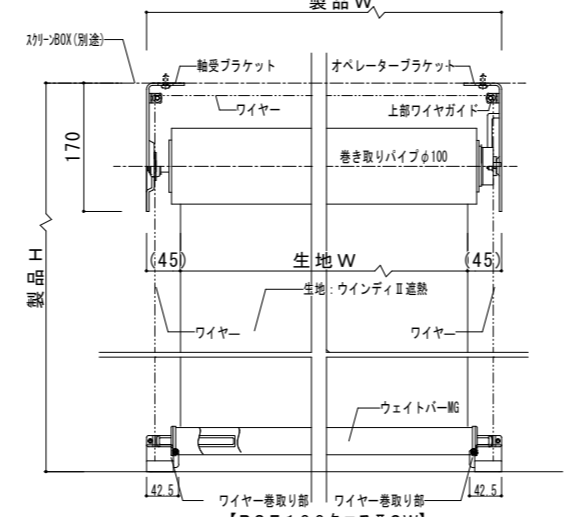
ジョイントボックス(モーターコントローラーIIケース)



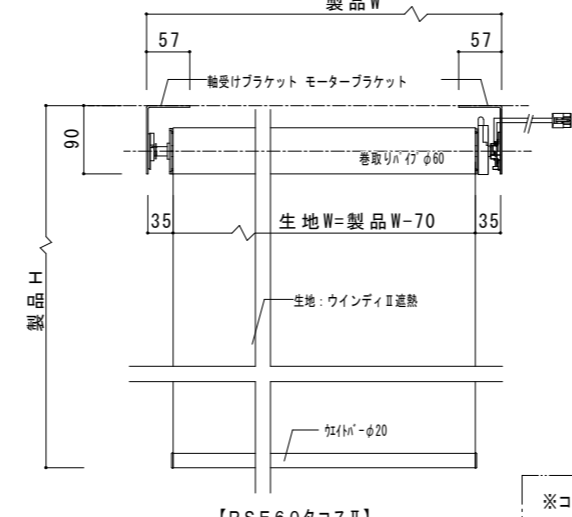
【RSE130タコスIIGW】
縦断面BOX納まり図 S=1/5



【RSE130タコスIIGW】
電動ロールスクリーン製品姿図 S=1/5



【RSE100タコスIIGW】
電動ロールスクリーン製品姿図 S=1/5



【RSE60タコスII】
電動ロールスクリーン製品姿図 S=1/5

製品凡例

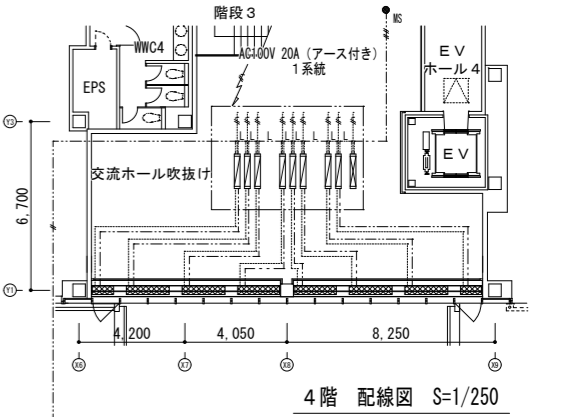
●	ロールスクリーンラルク大型電動タイプ
○	タチカワ RSEタコスII 生地: ウィンディII遮熱 (消費電力 130・100:170W/1台 60:130W/1台)
□	マルチスイッチ モーターコントローラー別置

配線図凡例

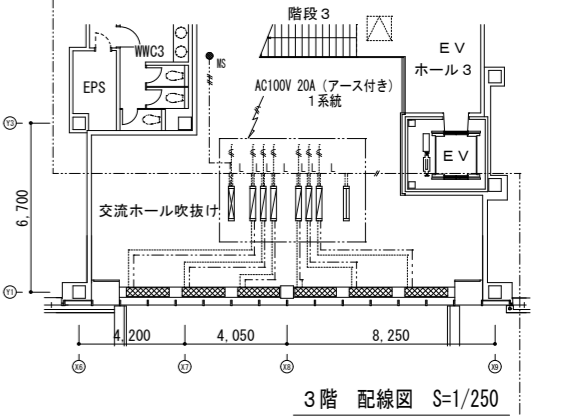
—●—	AC100V 20A (アース付き)	(電気設備工事)
—	※VVVF 1.6φ-4芯	電源線 (電気設備工事)
—	※VVVF 1.6φ-3芯	電源線 (電気設備工事)
—	MVVS 0.75mm ² -4芯	スイッチ線 (電気設備工事)
—	MVVS 0.75mm ² -2芯	信号線 (電気設備工事)
—	LANケーブル(8極8芯) カテゴリー5/5e	接続コネクタ付・信号線
—	モーターコントローラーII (W230×H80×D38)	モーターコントローラーII
□	ジョイントボックス (W230×H80×D38)	ジョイントボックス
—	バスパツファII (信号増幅器: 電源無タイプ) (W230×H80×D38)	バスパツファII
—	マルチスイッチ用電源ユニット (W230×H80×D38)	マルチスイッチ用電源ユニット
●	マルチスイッチ (一斉・グループ・個別・タイマー操作スイッチ)	マルチスイッチ
△	天井点検口	(建築工事)

※電圧降下について検討願います。
※φ1.6又は2.0mm²以上であれば他線種でも使用可です。

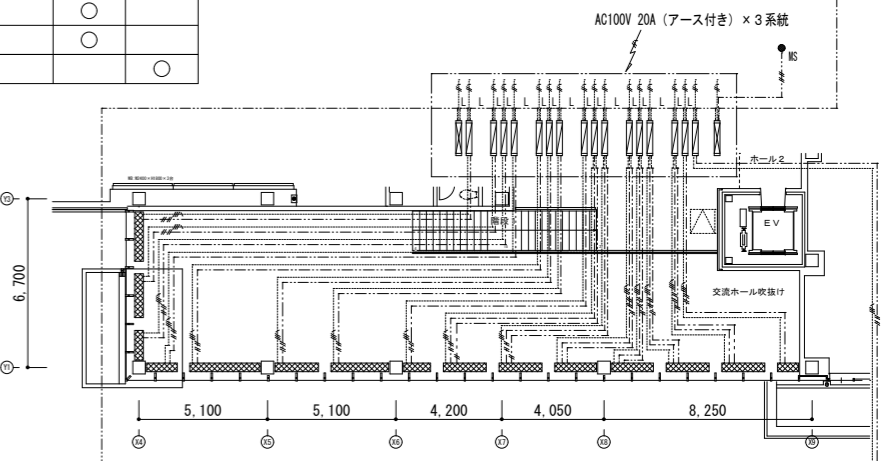
項目	スクリーン工事	電気設備工事	建築工事
電源供給		○	
ジョイントボックス、カバージョイントの設置	○		
ジョイントボックス内の配線	○		
ジョイントボックス間のワタリ配線・配管		○	
モーターコントローラーII~スイッチ間の配線		○	
製品本体~モーターコントローラーII間の配線		○	
モーターコントローラーII~モーターコントローラーII間の配線		○	
スクリーンボックスの配線用穴アケ・スイッチ用壁穴あけ			○



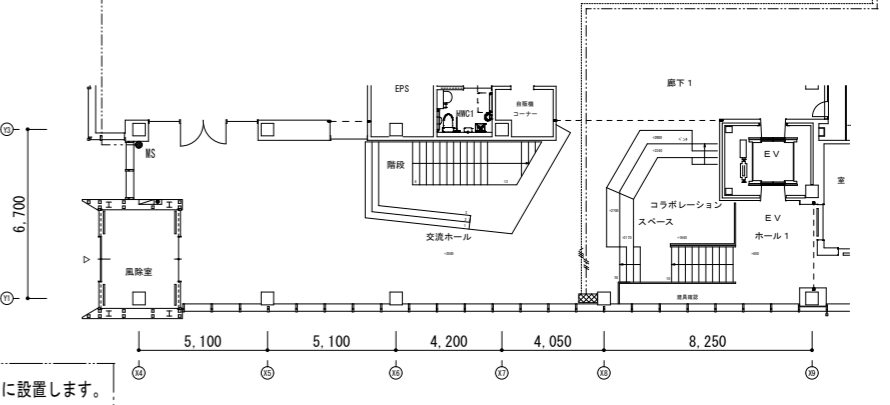
4階 配線図 S=1/250



3階 配線図 S=1/250



2階 配線図 S=1/250



1階 配線図 S=1/250

※コントローラー類は各階まとめて天井ふところ内に設置します。
天井点検口は建築工事です。

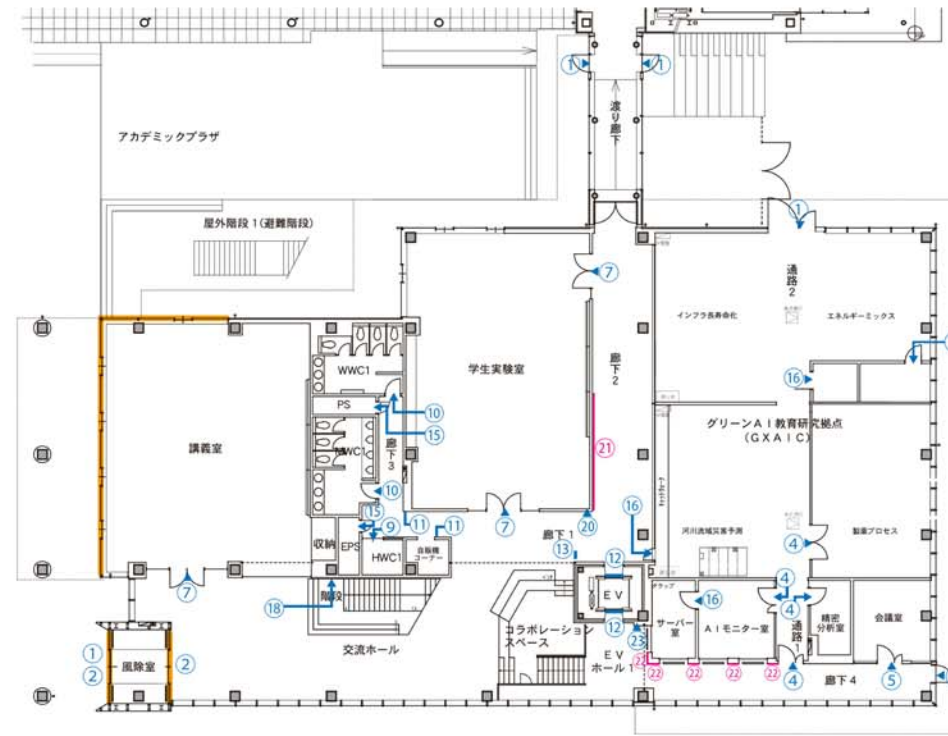
※スイッチ位置は打ち合わせの上決定します。
1階 配線図 S=1/250

サインリスト

サインリスト									
CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE	TOTAL	GF	1F	2F	3F	4F	NOTE
①	館名文字サイン	ガラス面シート貼	6	2	3	1			
②	注意表示サイン	ガラス面シート貼	2		2				
③	室名サイン (在空表示有)	壁付+ドアシート貼	16			3	8	5	
④	室名サイン (在空表示無)	壁付+ドアシート貼	20	4		3	8	5	
⑤	室名サイン (会議室在空表示有)	壁付+ドアシート貼	1	1					
⑥	室名サイン (ガラス面)	ガラス面シート貼	3			1	1	1	
⑦	室名サイン (両扉室名表示)	壁付+ドアシート貼	3	3					
⑧	階数表示サイン	壁付	2				1	1	
⑨	ピクトサイン (身障者用トイレ)	ドアシート貼	2	1		1			
⑩	ピクトサイン (男女トイレ)	壁付+ドアシート貼	8		2	2	2	2	
⑪	ピクトサイン (突出)	突出	8		2	2	2	2	
⑫	エレベーターサイン	ドアシート貼	5	1	1	1	1	1	
⑬	エレベーター案内サイン	突出	4		1	1	1	1	
⑭	ゴミ箱サイン	設備シート貼	4		1	1	1	1	
⑮	バックヤード室名サイン (TYPE-1)	ドアシート貼	8		2	2	2	2	
⑯	バックヤード室名サイン (TYPE-2)	ドアシート貼	5	3	1			1	
⑰	衝突防止サイン	ガラス面シート貼	≒100m						
⑱	総合案内サイン	壁付+壁面シート貼	1	1					
⑲	室名サイン (教授会室)	壁付	3					1	
⑳	各階フロア案内サイン	壁付+壁面シート貼	4		1	1	1	1	
㉑	マグネット掲示壁サインA	壁付	1		1				
㉒	マグネット掲示壁サインB	壁付	5	5					
㉓	フロア案内サイン	壁付	1	1					
㉔	シンボルサイン		2						
㉕	自立サイン		2						
㉖	駐車場案内サイン		1						

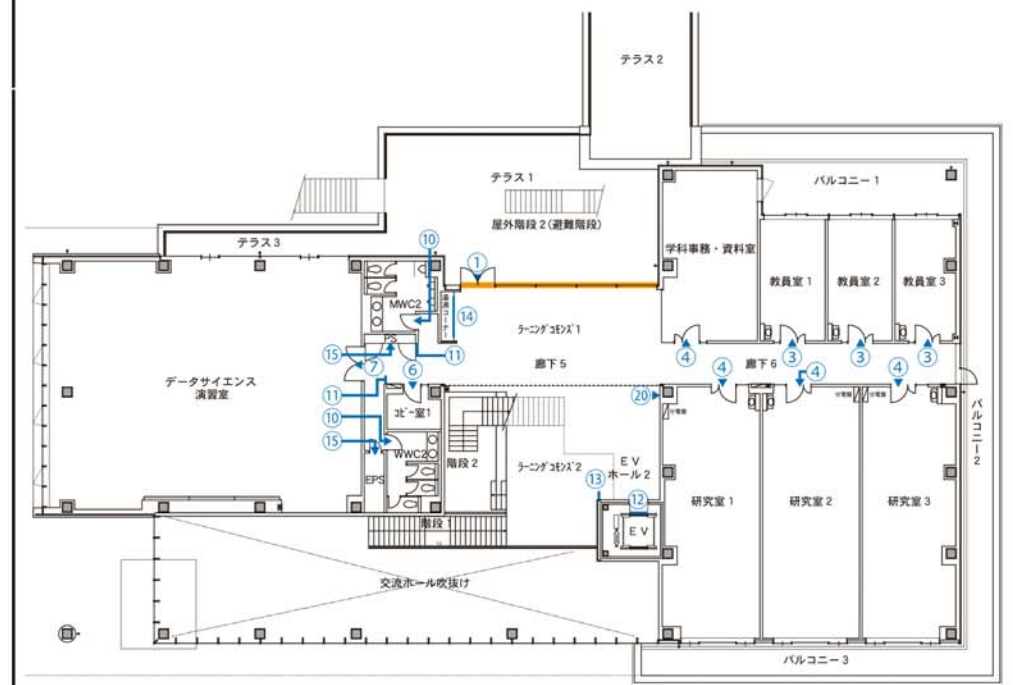
- ・外壁: ㉔ シンボルサイン
- ・外構: ㉕ 自立サイン
- ⑳ 駐車場案内サイン

サインプロット図 1F



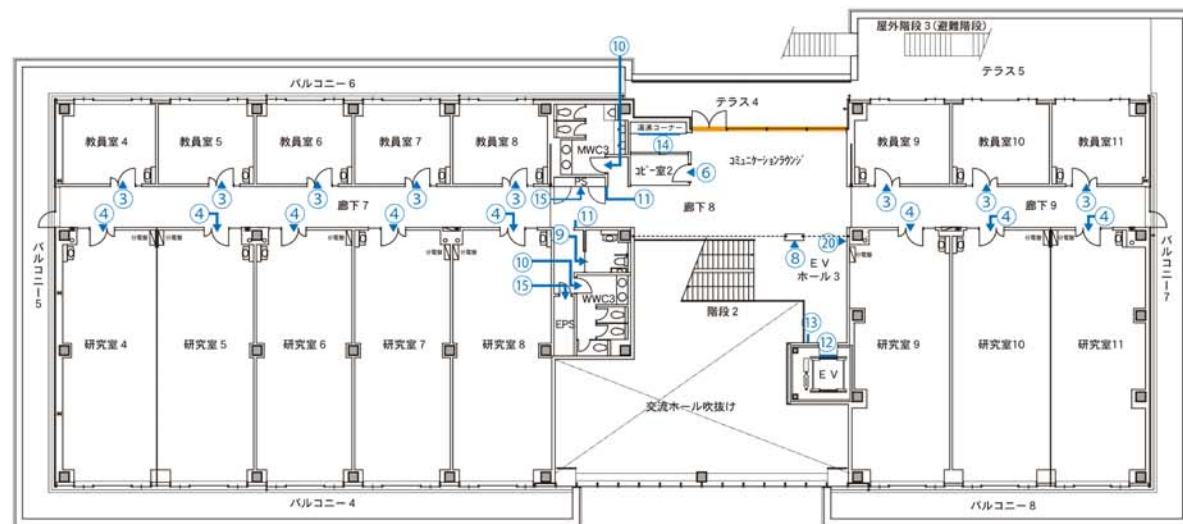
17 衝突防止サイン

サインプロット図 2F



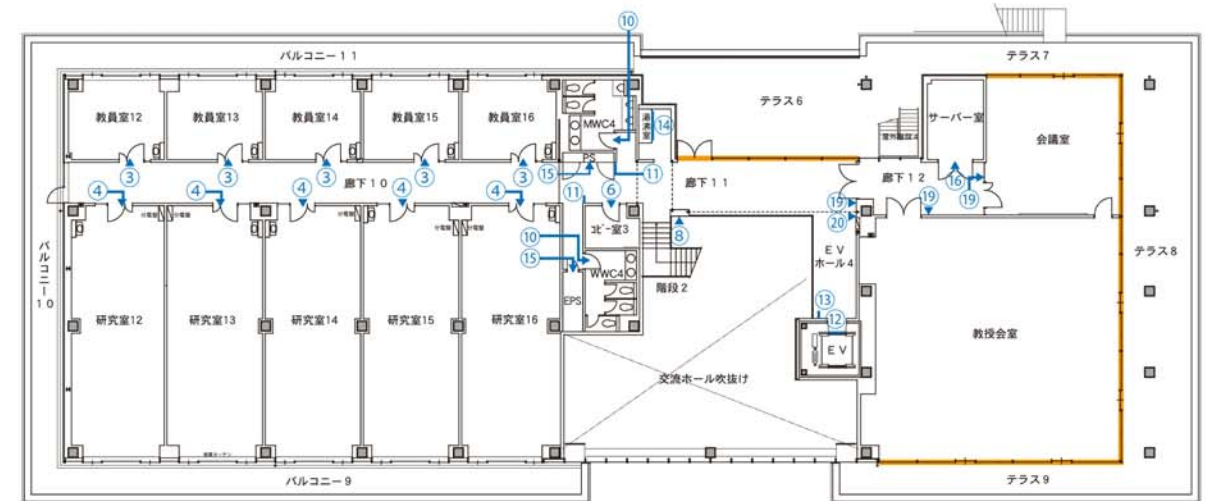
17 衝突防止サイン

サインプロット図 3F

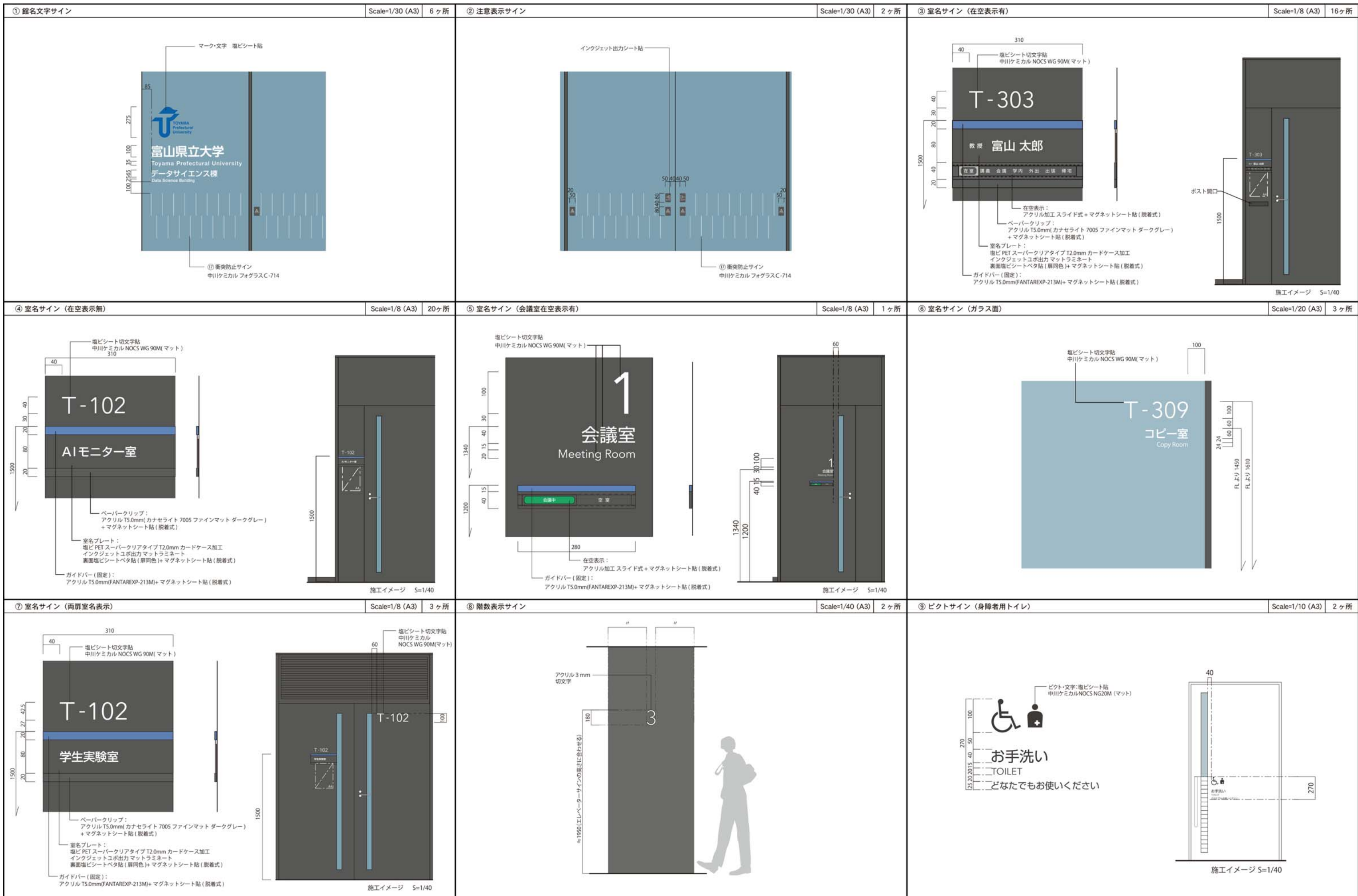


17 衝突防止サイン

サインプロット図 4F



17 衝突防止サイン



⑩ ピクトサイン (男女トイレ) Scale=1/10 (A3) 8ヶ所

施工イメージ S=1/40

⑪ ピクトサイン (突出) Scale=1/10 (A3) 8ヶ所

施工イメージ S=1/40

⑫ エレベーターサイン Scale=1/40 (A3) 5ヶ所

施工イメージ S=1/40

⑬ エレベーター案内サイン Scale=1/10 (A3) 4ヶ所

施工イメージ S=1/40

⑭ ゴミ箱サイン Scale=1/20 (A3) 4ヶ所

施工イメージ S=1/40

⑮ バックヤード室名サイン (TYPE-1) Scale=1/2 (A3) 8ヶ所

施工イメージ S=1/40

⑯ バックヤード室名サイン (TYPE-2) Scale=1/4 (A3) 5ヶ所

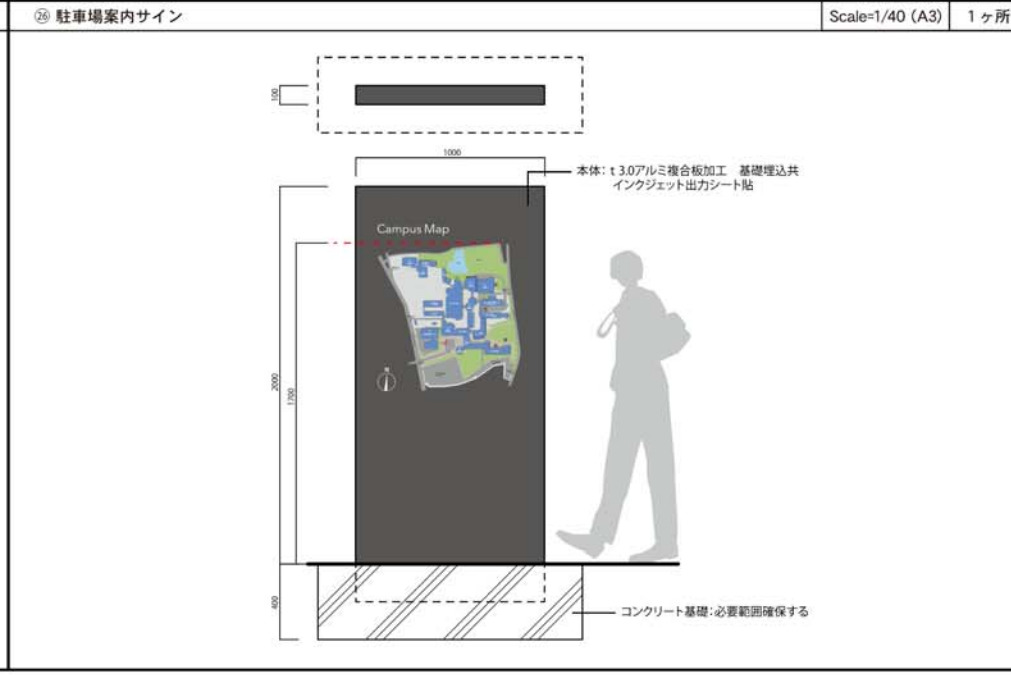
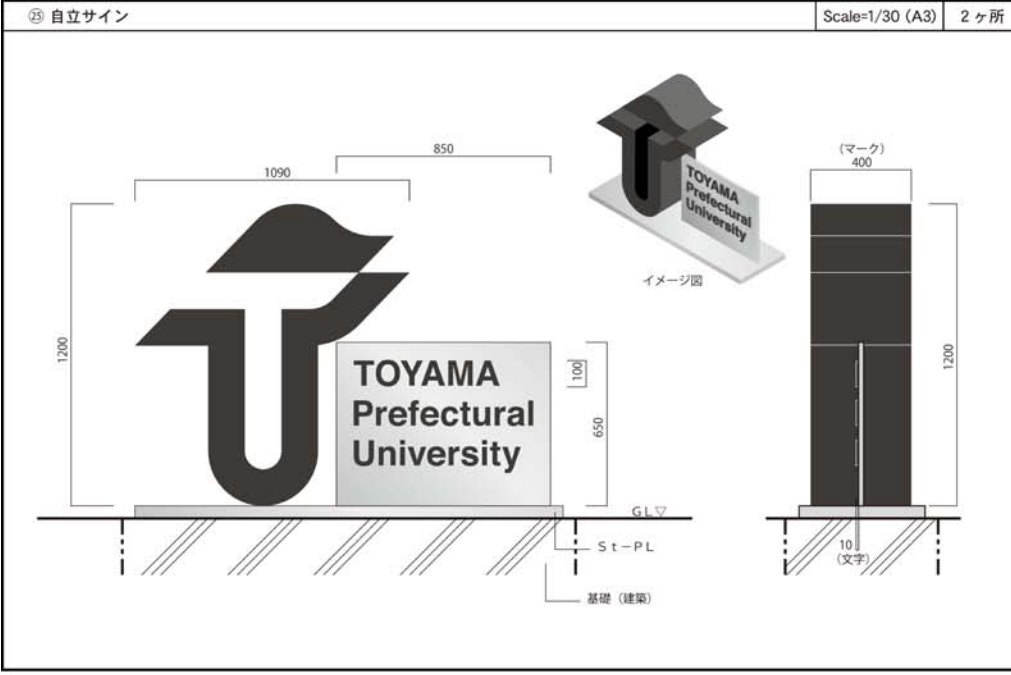
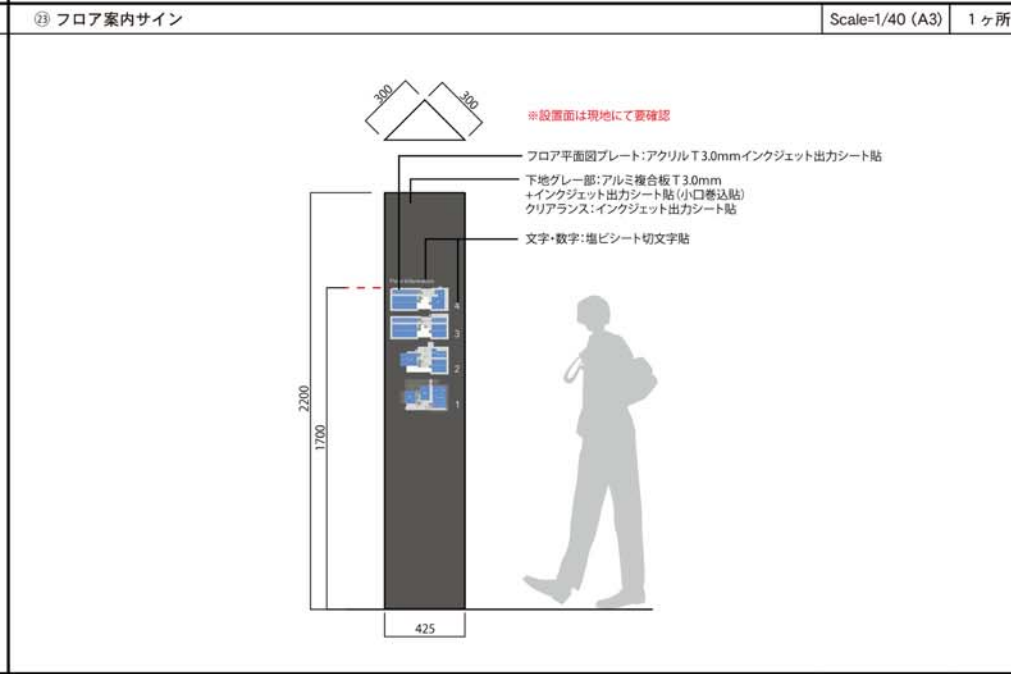
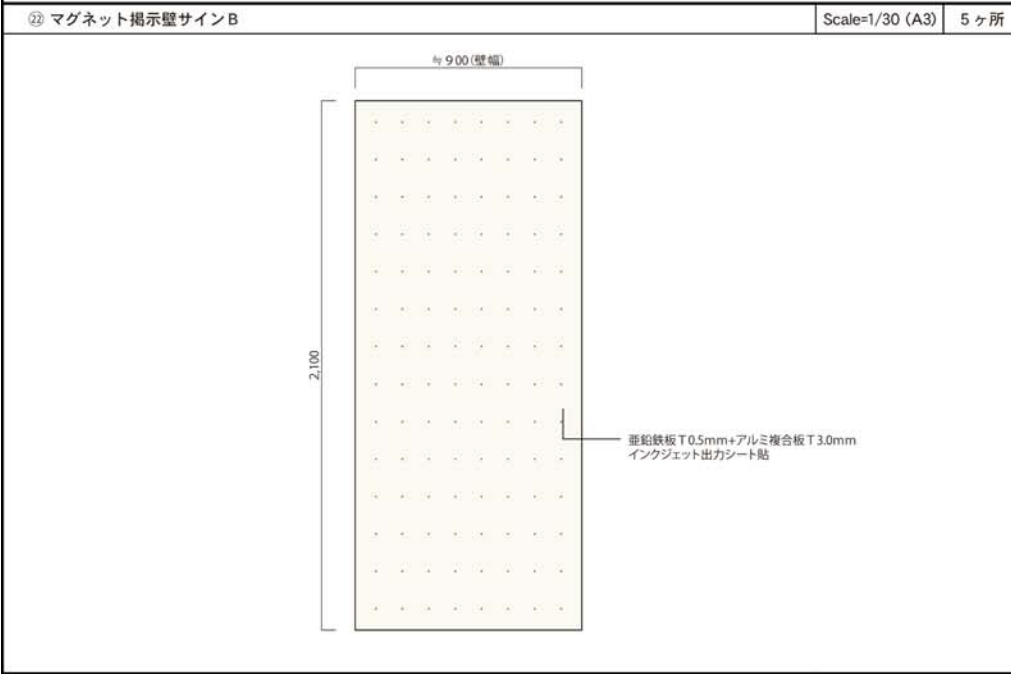
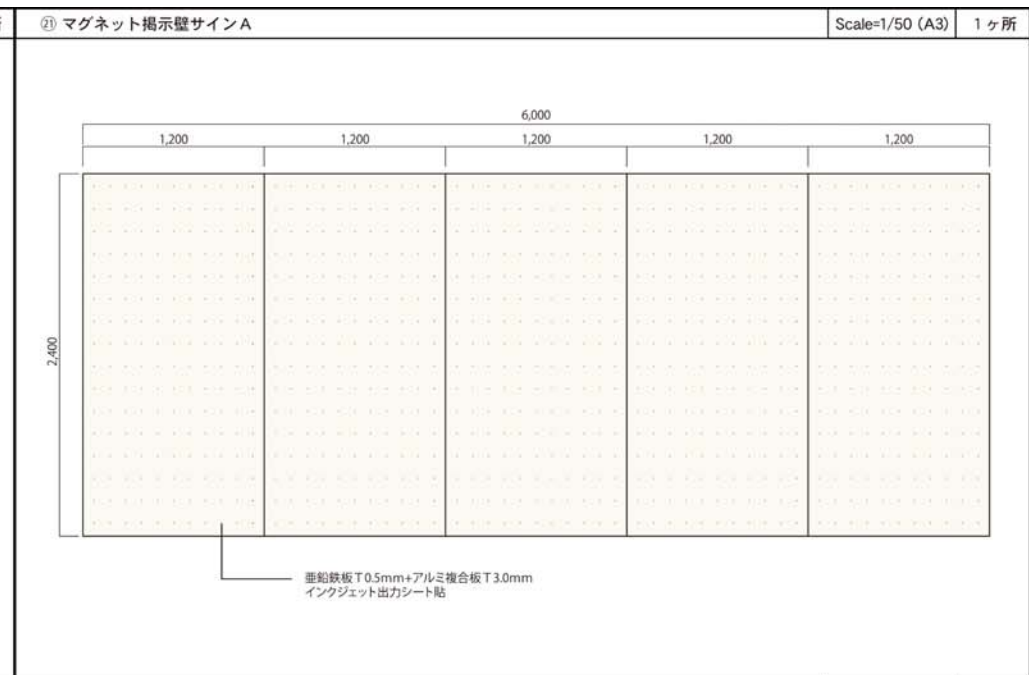
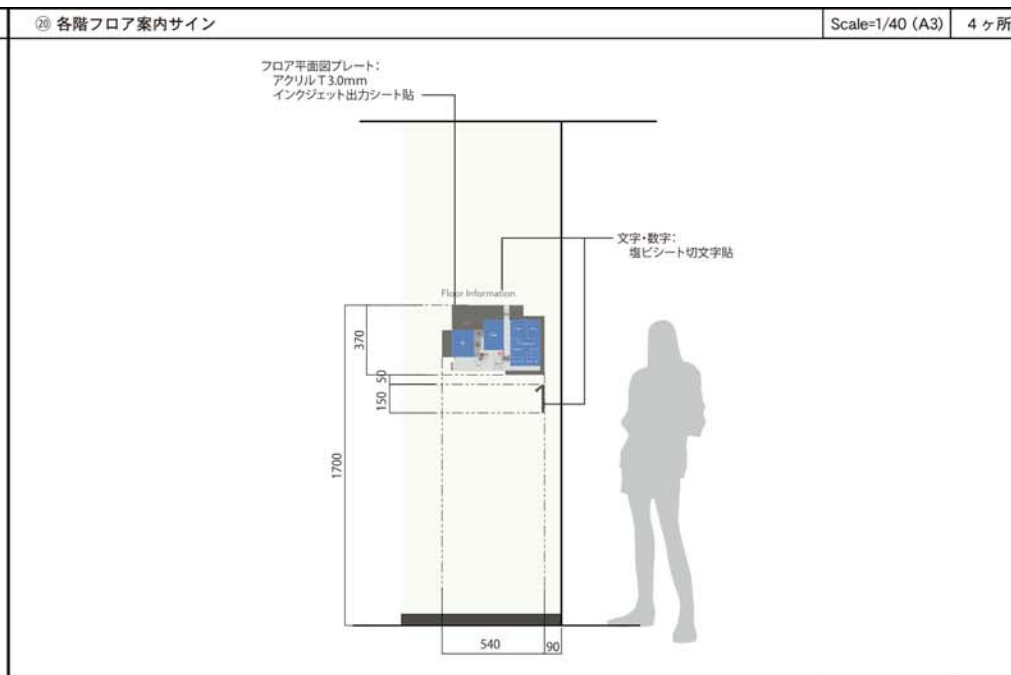
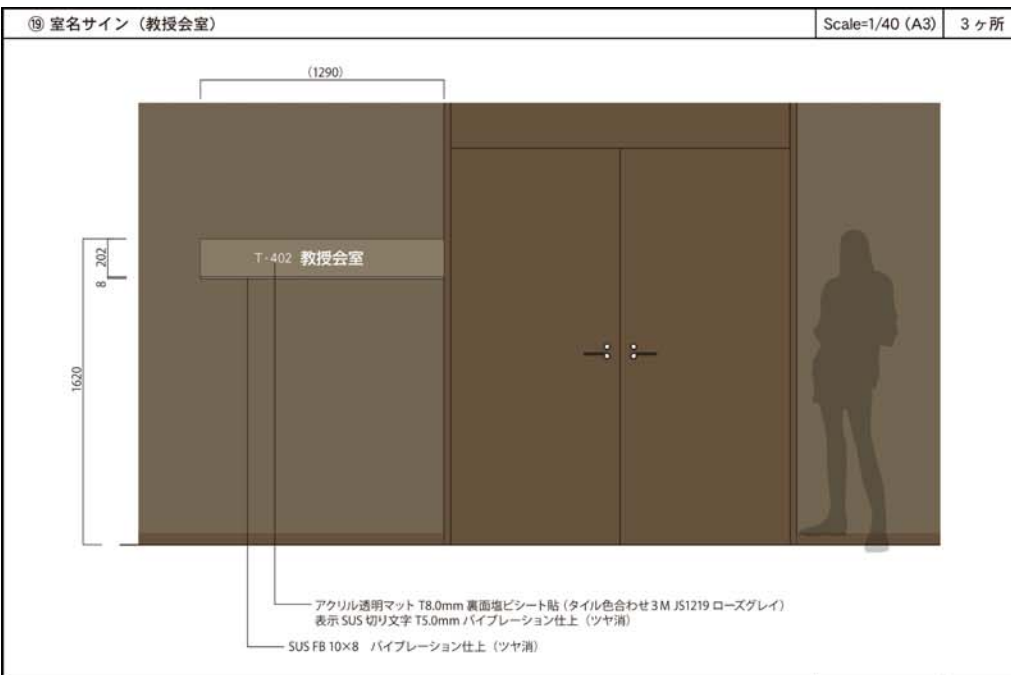
施工イメージ S=1/40

⑰ 衝突防止サイン Scale=1/10 (A3) 1ヶ所

施工イメージ S=1/40

⑱ 総合案内サイン Scale=1/40 (A3) 1ヶ所

施工イメージ S=1/40



仕 様 一 覧	
号 機	---
用 途	乗用 (車いす仕様)
機 種	X10R (エクシオール/機械室レス) X102
制 御 方 式	インバータ制御方式 (電力回生無し)
運 転 操 作 方 式	乗合全自動方式
積 載	1000 kg 15 名
速 度	90 m/min
動力用電源	三相3線 200 V 60 Hz
照明用電源	単 相 100 V 60 Hz
巻上電動機	9.2 kW
停止階及び数	(正面) G 階 1 箇所 (背面) 1-4 階 4 箇所
かご内法	(間口)1600mm (奥行)1500mm (高さ)2350mm
出入口寸法	(間口)900mm (高さ) 2200 mm
戸の方式	2枚 両引き(電動式)
おもり	50 %バランス
荷重条件 ※1	250 kg以下
地震時管制運転	● : (P・S波) リスタート運転機能付
火災時管制運転	●
停電時自動着床	●
冠水時管制運転	●
自家発電時管制運転	-
緊急地震速報連動	-
長周期地震時管制運転	-
セーフティ機能	カードアクセスセンサー ● : (光電式) 光電式ドアノック ● 光電式多光軸ドアセンサー ● ドアエッジセンサー - ドアウインカー -
ユニバーサル対応	車いす仕様 ● 音声案内装置 ● : 四ヶ国語対応 (通常時 : 日英、緊急時 : 日英中韓) 視覚障がい者仕様 ● 聴覚障がい者仕様 ● (応答灯付インターホン押しボタン) 発音機能付タクトイルボタン ● 走行お知らせ音 ● 敷居隙間 10mm ●
特記仕様	AirTap 非接触ボタン (一般用副操作盤、車いす用操作盤、インジケータ押ボタン) / 抗置仕様ボタン (乗場/かご) / 行先階キャンセル機能/ 放送用スピーカー/ 映像分配器/
高調波対策	(1) 標準対策 ● 【EMIフィルタ 電相リアクトル】 【回路分類No. 31 6パルス換算係数Ki=3.4】 / (2) オプション対策 - 【(1) + DCRリアクトル】 【回路分類No. 33 6パルス換算係数Ki=1.8】 /

乗	三方枠	全階	大径 ステンレスパイレーション仕上
		幕 板	G階 - 1-4階 ステンレスパイレーション仕上 (扉面一)
屏	全階	ステンレスパイレーション仕上	
		適煙乗場ドア	● : 正面 : 全階 ● : 背面 : 全階
防犯窓	数 居	全階	硬質アルミ製
		表示機器	全階 液晶表示 (湿雑度表示付) / 押ボタン緑込
押ボタン	全階	35φ抗菌樹脂ボタン/非接触呼登録 (一体型)	
		フェースプレート	全階 ステンレスパイレーション仕上
天井	デラックスタイプ		
袖壁	ステンレスパイレーション仕上 (入口柱一体)		
入口柱	-		
側壁	鋼板塗装仕上		
扉板	鋼板塗装仕上		
扉	鋼板塗装仕上		
幅木	アルミアルマイト仕上		
床	t=6.0 ゴムタイル		
敷居	硬質アルミ製		
換気装置	クーラー (蒸散式)		
主操作盤	表示機器	液晶表示 / 操作盤緑込	
	押ボタン	35φ抗菌樹脂ボタン/非接触呼登録 (一体型)	
フェースプレート	ステンレスパイレーション仕上		
	手すり	32φ ステンレスパイレーション仕上 (端部垂鉛ダイカス ^製)	
鏡	凸面鏡		
ガード	ステンレスパイレーション仕上 (H=300)		
保護扉	-		
床マット	-		
ITVカメラ	● : 122万画素、メンテナンスカメラ兼用		
特記仕様			

基本仕様	
最寄階救出運転	
戸開き不能時救出運転	
乗り過ぎ検出 (警報ブザー及び音声案内)	
各階強制停止運転 (各停運転)	
昇降機耐震設計・施工指針 (2016年版) 対応	
戸開走行保護装置	
イオンフル (プラズマクラスター技術搭載/シャープ (株) 商標)	
耐震クラス (A14)	

エコロジー機能	
かご天井 LED照明 (液晶インジケータのバックライトもLED化)	
シックハウス対策 (法令 (建基) に基づいたシックハウス対策に対応)	
かご照明の自動休止	

NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能	
地震管制後の自動診断・仮復旧運転	
メンテナンス用カメラによる、遠隔映像監視・遠隔閉込救出対応	
24時間リモート点検	
聴覚障がい者仕様 : 応答液晶表示 (仕様が付加された場合、契約に問わず有効)	
情報モニター : コンテンツの配信及び表示 (モニター本体の有無は仕様による)	

※1 4輪手押し台車等で荷物を積み込む場合は、台車の重量を含んで、荷重条件以下に分けて積み込みください。
-

車いす仕様	
乗 場	車いす専用乗場ボタン
かご内室	車いす専用かご主副操作盤 (主側のみインジケータ付)
	簾
セーフティ機能	手すり
	戸開放時間の延長
	戸閉速度の低減
	自動着床修正装置
	光電式多光軸ドアセンサー

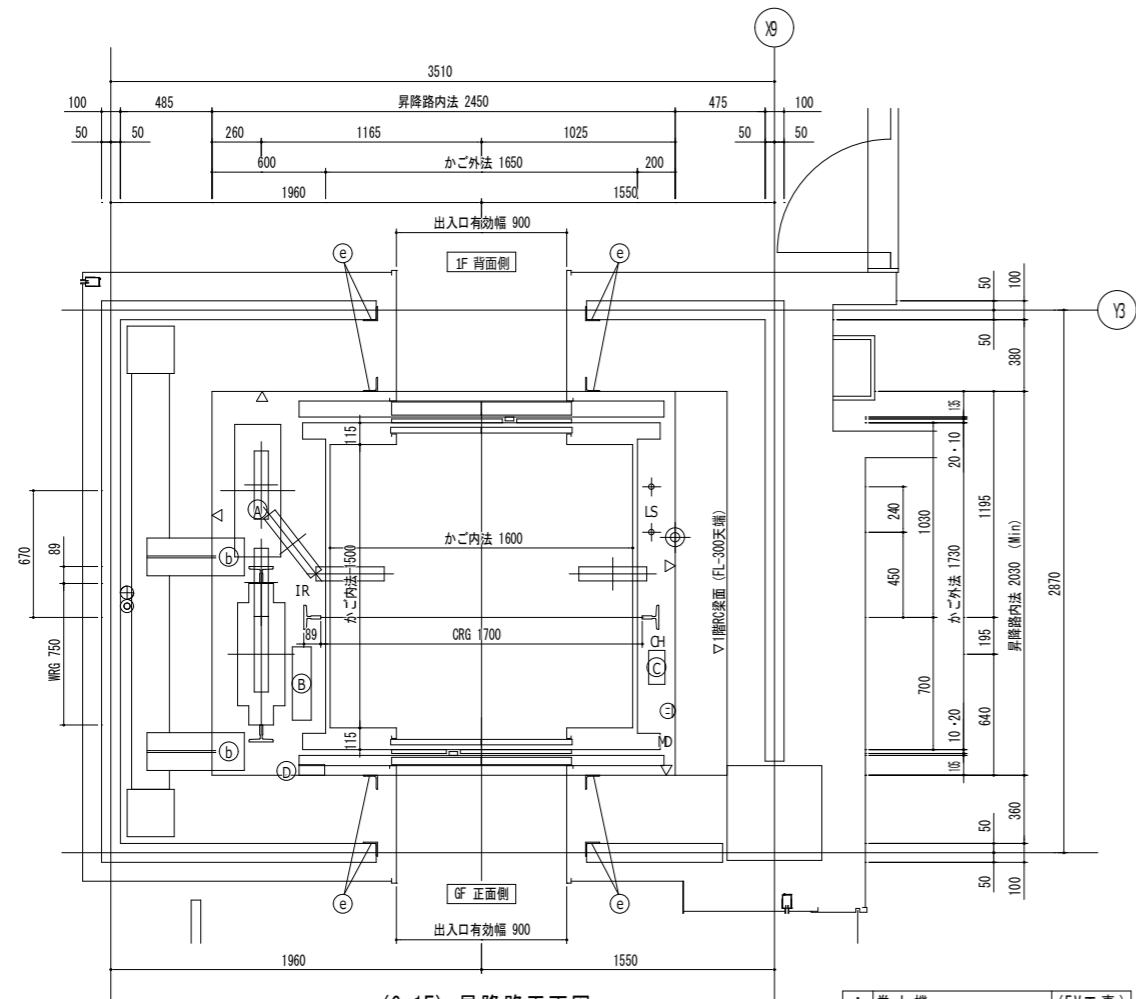
遮煙エレベータ乗場ドア	
認定番号 CAS-0599 (国住指第4108号)	
正面 : 全 背面 : 全階乗場ドアは、上記認定品とする。	
認定条件通り 停電時自動着床装置と火災管制運転 (自動) を合わせて設置しております。	

遮煙エレベータ乗場ドア設置上の注意事項	
・遮煙エレベータ乗場ドア設置条件として、建物の火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給いただく必要があります。	
・建物側で自動火災報知設備の設置義務が無い場合においても、遮煙エレベータ乗場ドア設置階のエレベータホールに煙感知器などの火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給願います。	

エレベータ除外工事	
建築工事関係除外工事	
<ol style="list-style-type: none"> 昇降路の築造工事。 (コンクリート打ち継ぎにより必要となるはりまたは肉付け工事) ・昇降路のコンクリート強度は 21N/mm² (FC21) 以上。 ・昇降路のコンクリート壁厚は 150mm 以上。 ・昇降路の壁 (面) は、5cm² の任意の面に直角方向の外力 (300N) が作用しても15mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造とする。 各階出入口 (インジケータ、押印用孔含む) の孔あけ工事。 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め もしくはロックウール詰め工事。 乗場付後の出入口廻りの壁・床及び建築物補修仕上工事。 屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備工事。 (排水口・水勾配・庇など) ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。 (エレベータ工事の着工前に完了のこと) ・防水厚は 25mm 以下。 昇降路頂部の荷吊り用ビーム (20 kN) 設置工事。 鉄骨構造の昇降路に於ける鉄骨材の耐火処理工事及び耐火材の飛散防止処理工事。 レール支持用 (ファスナープレート) の設置工事。 敷居受材設置工事。 	
設備工事関係除外工事	
<ol style="list-style-type: none"> エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。 昇降路外のインターホン・非常ベル、その他エレベータに必要な配管配線工事。 ピット点検用コンセント設置工事。 昇降路頂部の煙感知器設置工事。 (昇降路頂部より点検が可能な事) エレベータ遠隔監視用電話線 (電話中継盤から監視ユニット設置場所まで) の配管配線工事。 	
注意事項	
<ol style="list-style-type: none"> 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降機に必要な配管設備にあつては、昇降機の機能に支障無きよう願います。また、昇降路壁には、エレベータ以外の電気、水道等の配管・器具類を埋め込まないでください。 エレベータ受電端における電源電圧の変動は±5%以内、照明用は±2%以内、電圧不平衡率は5%以内に保つよう電源を設置下さい。 昇降路内温度は40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにしてください。 昇降路には有毒ガスや甚だしい塵埃い等が入らないようにして下さい。 昇降路および出入口は風雨に直接さらされたり、塩分の影響を受けないようにして下さい。 エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。 (必要に応じてコンクリート孔あけ、および埋戻し工事) 据付工事用仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願います。 工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。 	



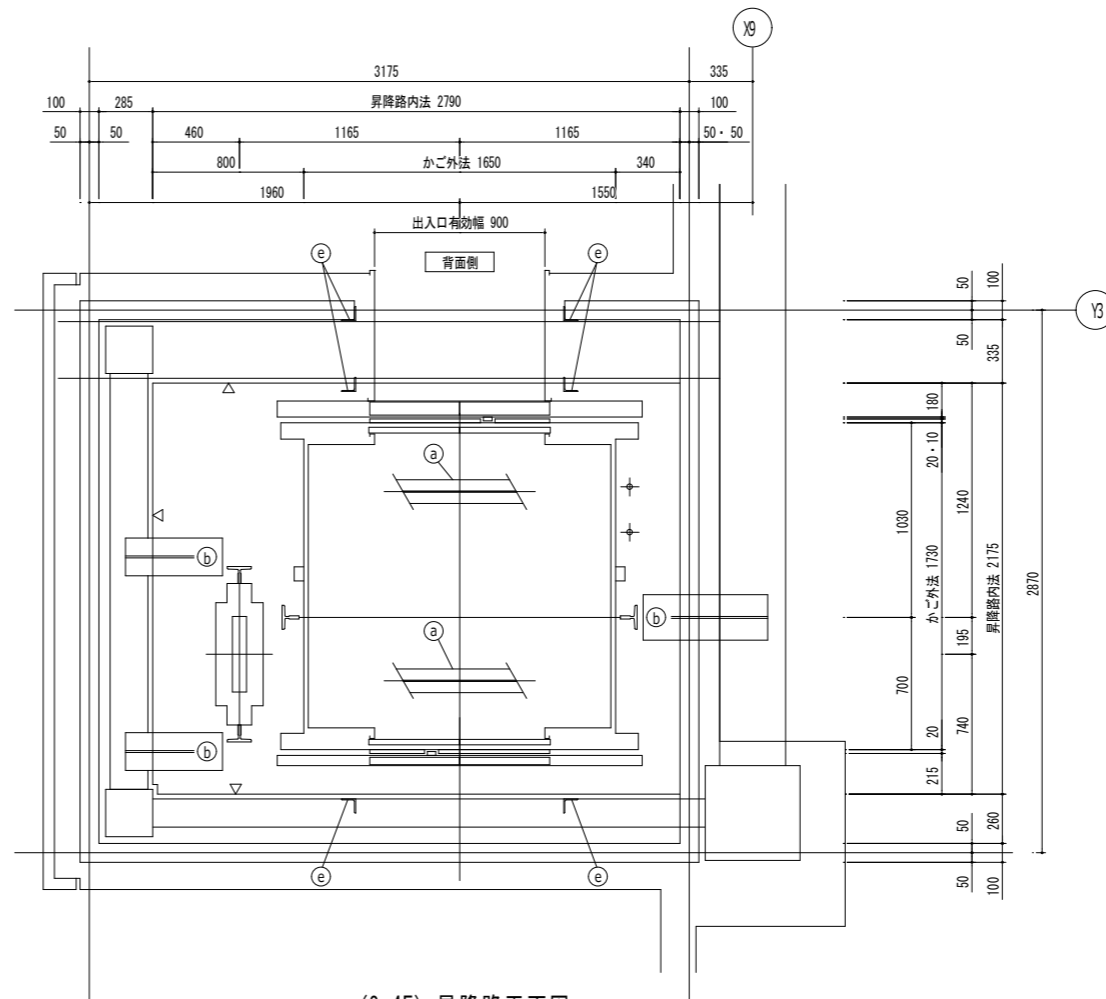
タッチレスでエレベータを操作する装置
納入仕様 □含む □含まず



(G, 1F) 昇降路平面図

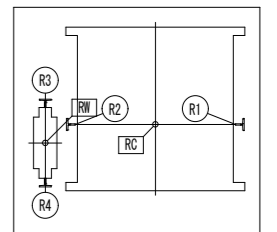
注：ピット内は、塗膜防水仕上願います。
△：防水仕上を示す。
※中間階に中間ビーム・ファスナー施工とする。

A	巻上機	(EV工事)
B	制御盤	(EV工事)
C	受電箱・ビットタラップ	(EV工事)
D	地震感知器	(EV工事)



(2-4F) 昇降路平面図

耐火ヒコク面 (厚さ25mm) を示す。
※中間階に中間ビーム・ファスナー施工とする。



ビット部反力 (kN) : 長期荷重

R1	R2	R3	R4
31	39	39	14

ビット床衝撃力 (kN) : 短期荷重

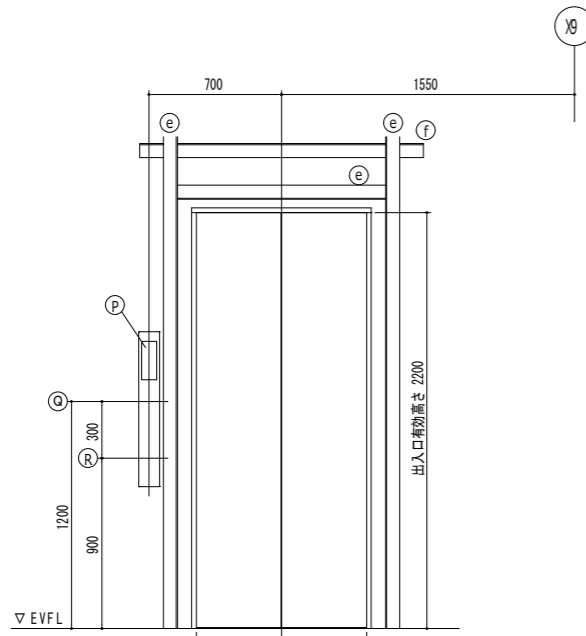
RC	RW
114	102

レールに作用する荷重値 (kN)

Py	Px	Py
	かご	6.9
おもり		
		8.2

短期荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください

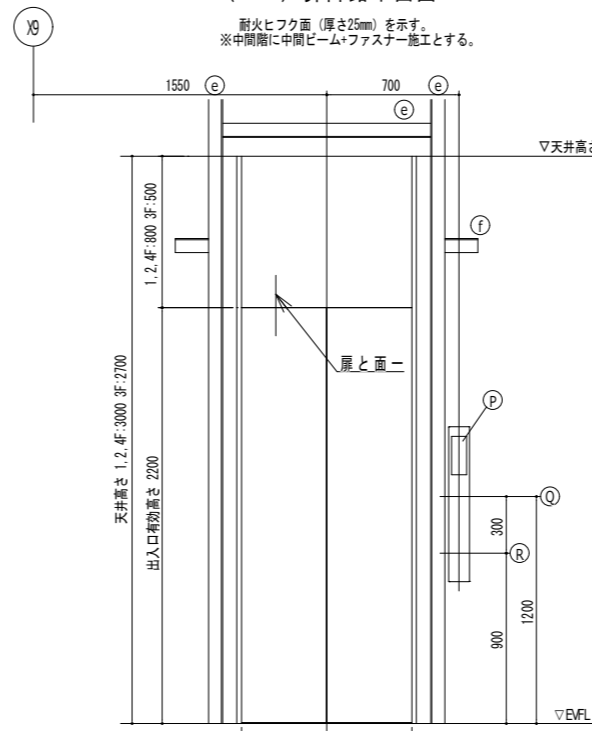
a	20kN吊りビーム	(建築工事)
b	FL-12t	(建築工事)
e	L-75x75x6	(建築工事)
f	L-65x65x6	(建築工事)
g	C-200x90x8	(建築工事)



(GF) 出入口正面図

正面側

P	インジケータ
Q	一般用押釦芯
R	重いず用押釦芯



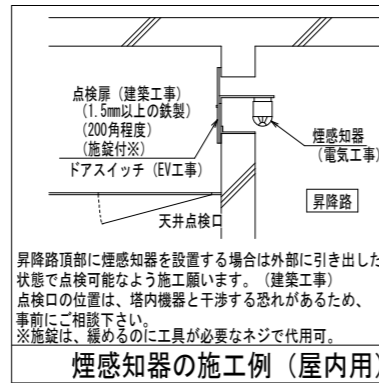
(1-4F) 出入口正面図

背面側

P	インジケータ
Q	一般用押釦芯
R	重いず用押釦芯

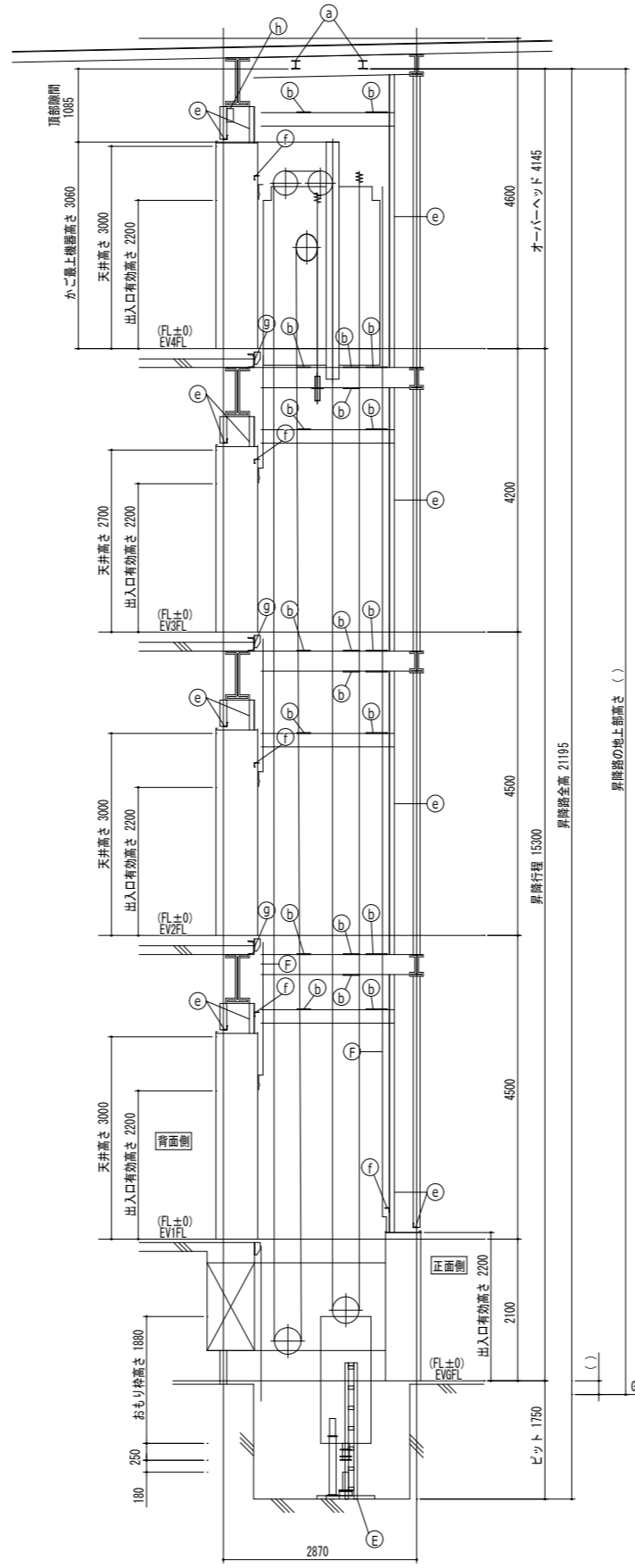
電源設備 (1台あたり) 【電気工事】							
記号	種別	線種等	引込み高さ	引出し線長さ			
⊕	動力用電源	3φ 3W AC 200V 60Hz	φL-100	3500mm			
		幹線サイズ (mm) ²			14	22	38
		幹線こう長 (m)			48	74	121
		電気室ブレーカ (A)			50		
		接地線 (mm) ²			3.5		
		電源設備容量 (kVA)			9.0		
⊙	照明用電源	制御室内降圧トランス容量 (kVA)	0.15				
		1φ 2W AC 100V 60Hz	φL-100	5500mm			
		照明用電源容量 (kVA)			1.0		
⊖	ビットコンセント	AC100V 10A 1個	φL-200				
⊗	電話回線用配線	別途打ち合わせによる	φL+100	5500mm			
⊕	弱電用配線	別途打ち合わせによる	φL+100	8000mm			

高調波対策
高周波漏洩電流と高周波ノイズの影響を低減するため、できるだけ建屋側でも下記対策をお願いします。
1. 漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、感度電流値は昇降機1台あたり50mA (感度設定値100mA相当) の漏洩電流として設定下さい。
2. 昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも「インバータ対応型」を使用して下さい。
3. 昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
4. 昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。
5. 昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。(接地極は同一で構いません。)
6. 昇降機の昇降路や動力線の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。

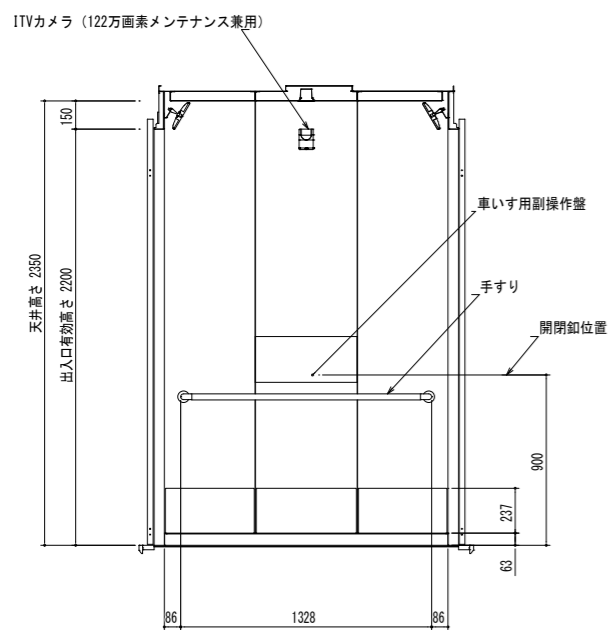


a	20kN 吊りビーム	(建築工事)
b	PL-12t	(建築工事)
e	L-75×75×6	(建築工事)
f	L-65×65×6	(建築工事)
g	□-200×90×8	(建築工事)

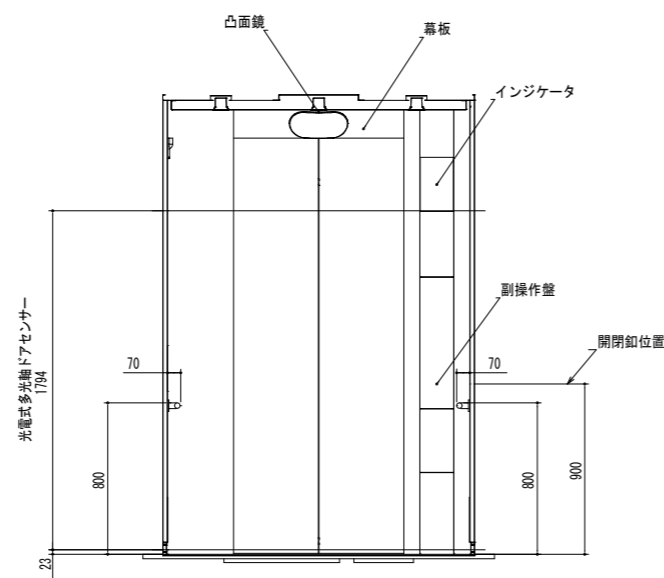
h	煙感知器	(電気工事)
E	トラップ	(EV工事)
F	フェッシャープレート	(EV工事)



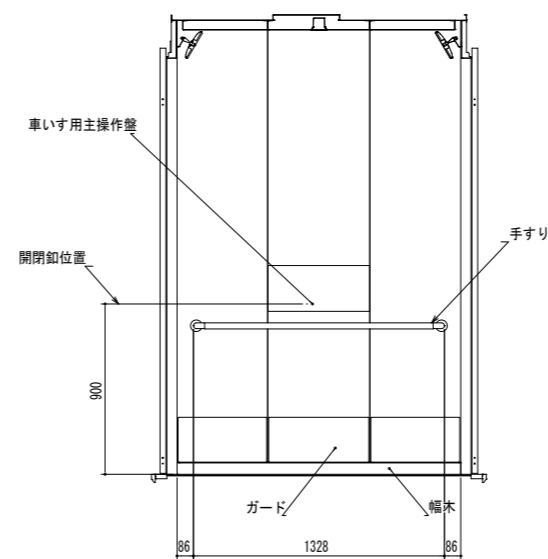
昇降路断面図



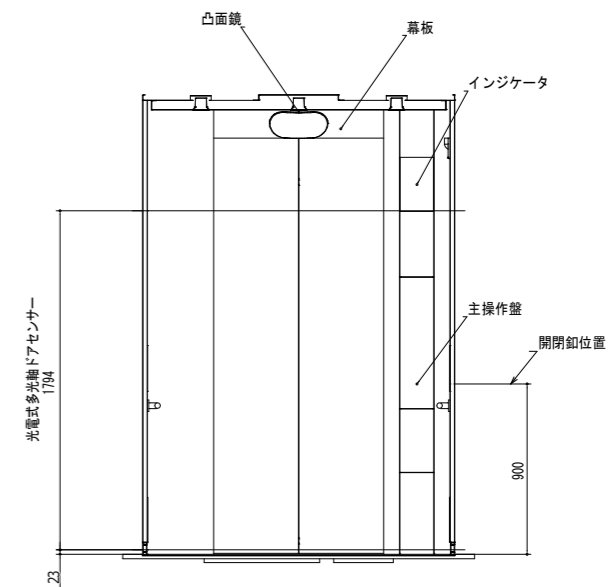
矢視 A



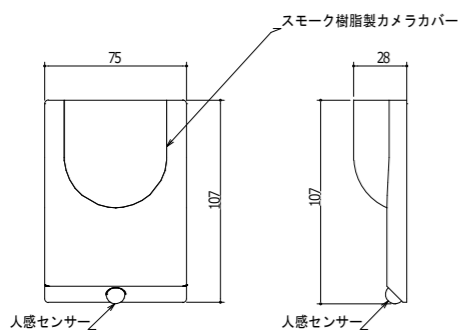
矢視 B



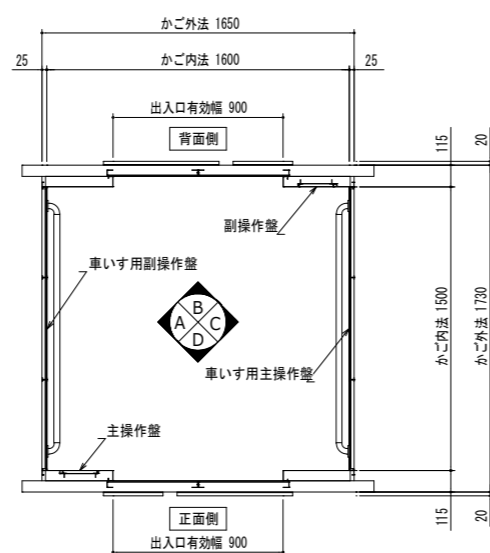
矢視 C



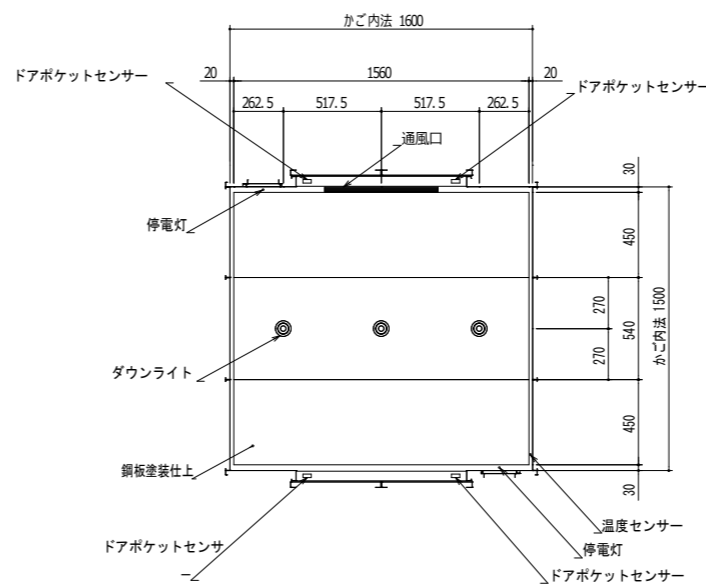
矢視 D



カメラ詳細図



かがり平面図

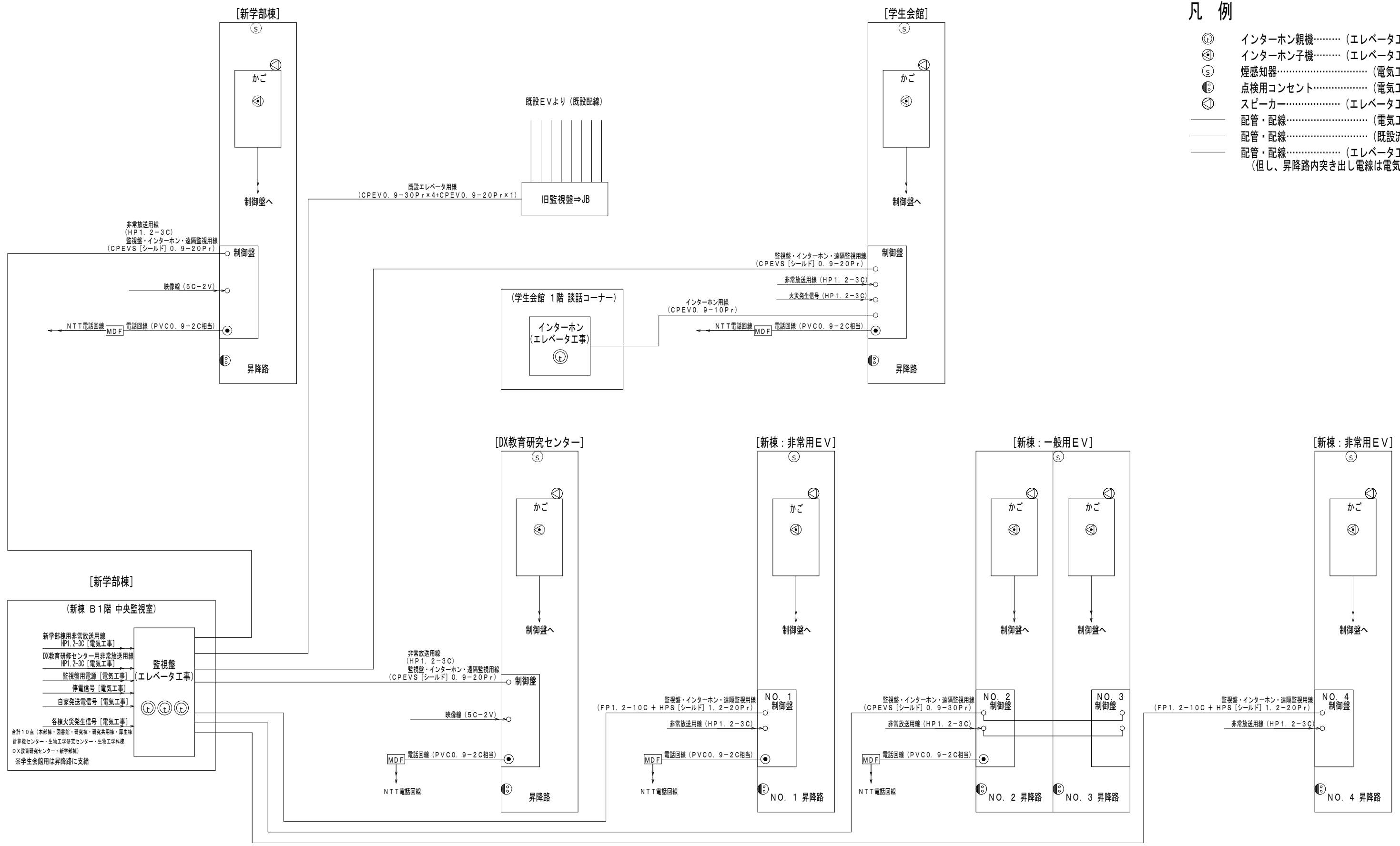


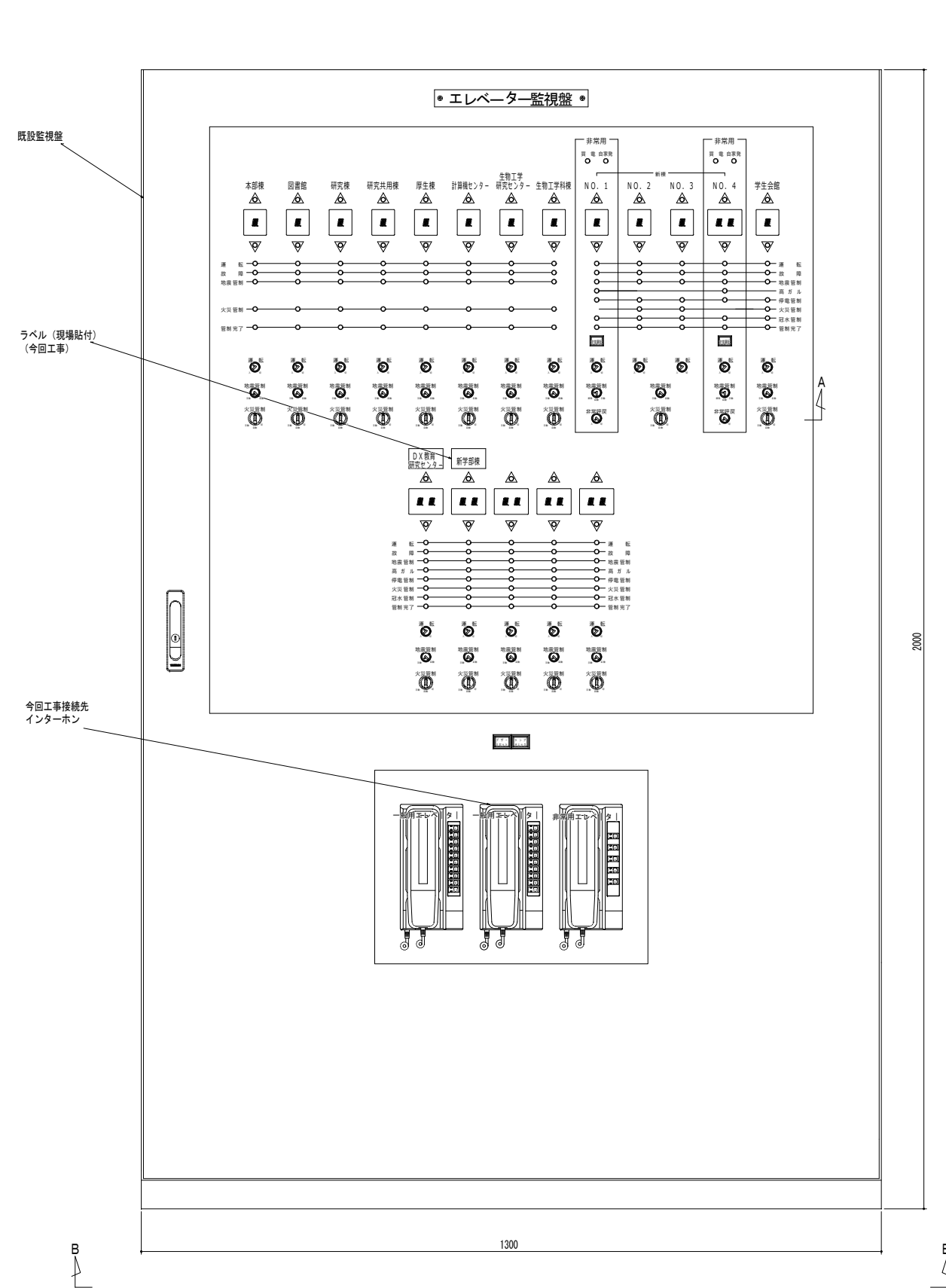
天井見上図

項目	意匠内容
かご内法	間口 1600 mm × 奥行 1500 mm
出入口寸法	幅 900 mm × 高さ 2200 mm
積載	積載 1000 kg / 定員 15 名
側壁	鋼板塗装仕上
幕板	鋼板塗装仕上
扉	鋼板塗装仕上
天井	デラックスタイプ (SCD-02)
袖壁	ステンレスパイプレーション仕上 (入口柱一体)
幅木	アルミアルマイト仕上
床	t=6.0 ゴムタイル
敷居	硬質アルミ製
照明	LED照明
停電灯	LED
換気装置	クーラー (蒸散式・イオン付)
手すり	32φ ステンレスパイプレーション仕上 (端部: 30φ 垂鉛ダイカスト塗装仕上)
ガード	t=2.0 ステンレスパイプレーション仕上
鏡	凸面鏡
付属品	音声案内装置 放送用スピーカー ドアポケットセンサー 光電式ドアニック 光電式多光軸ドアセンサー 点字 ITVカメラ (122万画素 メンテナンス兼用)

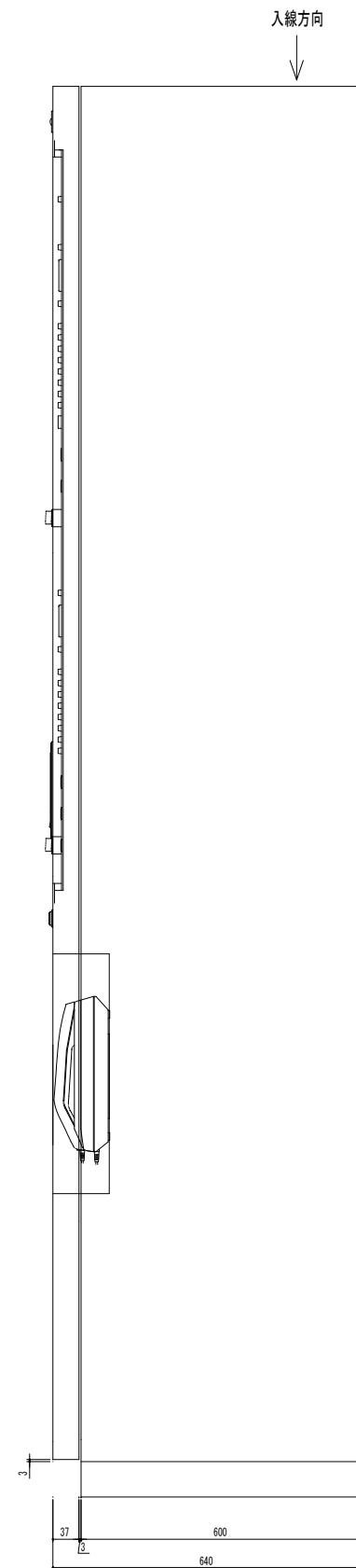
凡例

- Ⓢ インターホン親機…………… (エレベータ工事)
- Ⓢ インターホン子機…………… (エレベータ工事)
- Ⓢ 煙感知器…………… (電気工事)
- Ⓢ 点検用コンセント…………… (電気工事)
- Ⓢ スピーカー…………… (エレベータ工事)
- 配管・配線…………… (電気工事)
- 配管・配線…………… (既設流用)
- 配管・配線…………… (エレベータ工事)
(但し、昇降路内突き出し電線は電気工事)



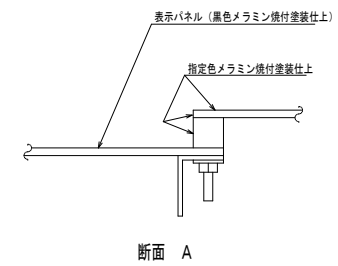


エレベーター監視盤 1/10

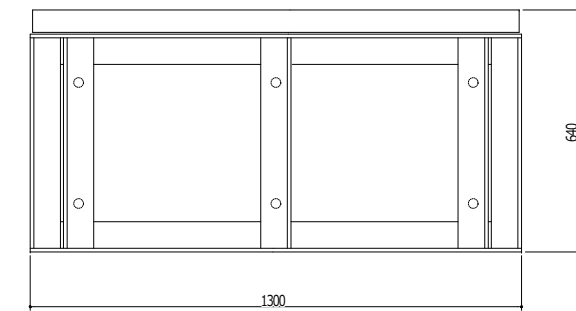


意匠内容

- 1. 「新学部棟」ラベルは白地に文字は黒色。

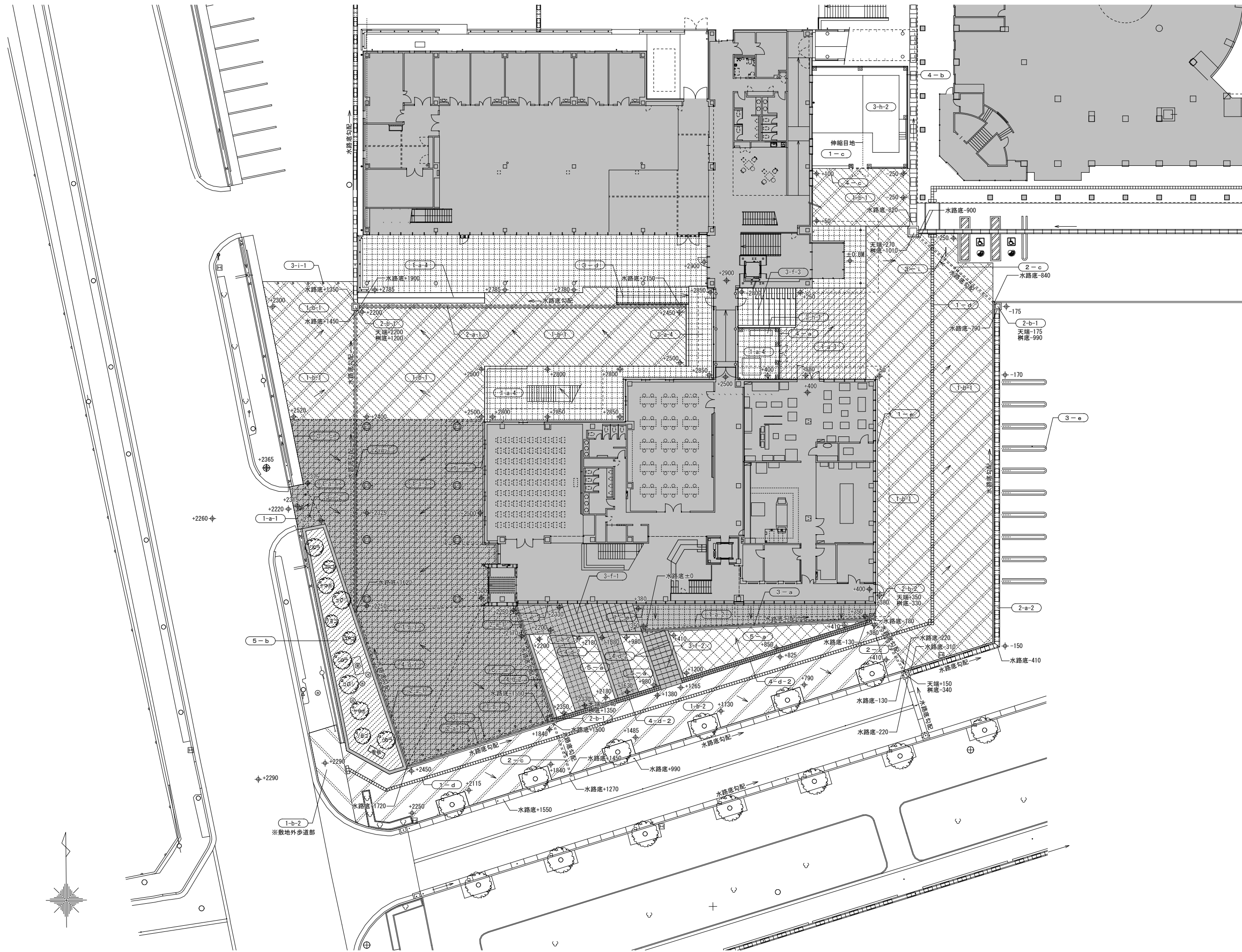


断面 A



矢視 B-B' 図 1/20

取付場所：新棟 B1階 中央監視室

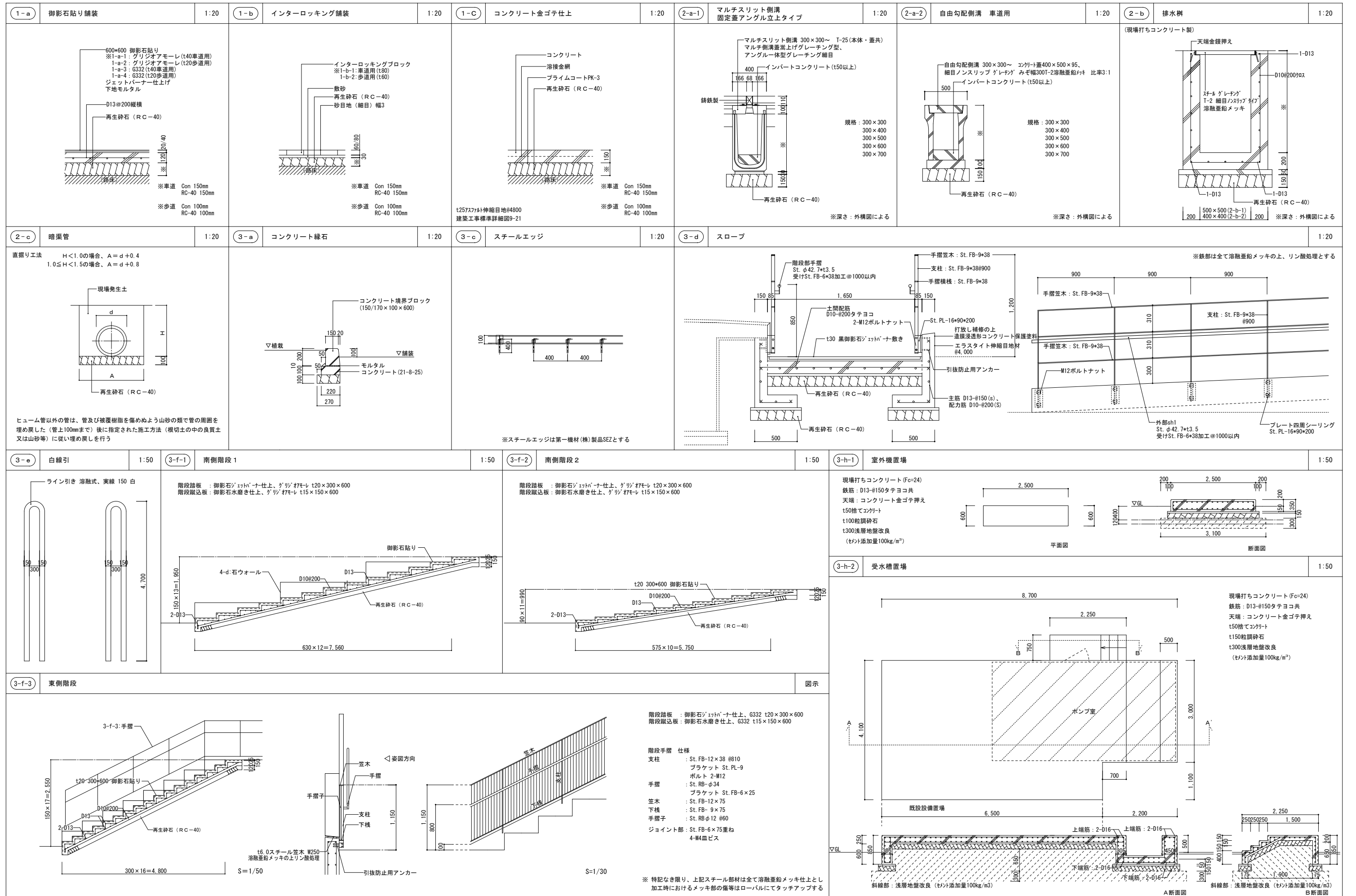


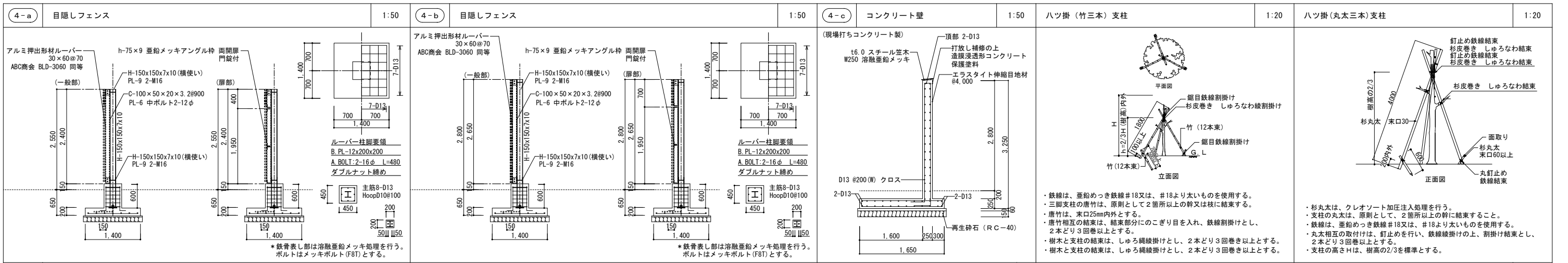
外構リスト	
1. 舗装工事	1-a: 御影石 1-a-1: グリジオアモレ(t40車道用) 1-a-2: グリジオアモレ(t20歩道用) 1-a-3: G332(t40車道用) 1-a-4: G332(t20歩道用) 1-b: インターロッキング舗装 標準仕様 1-b-1: 車道用 1-b-2: 歩道用 ※敷地外歩道部: 道路法第24条工事施工承認申請要 1-c: コンクリート金ゴテ仕上 1-d: 300×300×12 視覚障害者誘導・注意喚起用ブロック (インターロッキングブロック) 敷設 1-e: 損妻青黒割栗石 (150-200) 排水樹化化粧: 20カ所 ※設置箇所は現場指示 ※1-a・1-c・1-e: t25エラストイト伸縮目地φ4800
2. 排水工事	2-a: 自由勾配側溝 2-a-1: 固定蓋アングル立上タイプ (溝幅300) 2-a-2: 車道用 2-b: 排水樹 (現場打ちコンクリート製) 2-b-1: 500×500 (スチール垂鉛メッキグレーチング) 2-b-2: 400×400 (スチール垂鉛メッキグレーチング) 2-c: 暗渠管
3. 工作物工事	3-a: コンクリート縁石 3-c: スチールエッジ 3-d: スロープ 3-e: 白線引 3-f: 階段 3-f-1: 南側階段 1 3-f-2: 南側階段 2 3-f-3: 東側階段 3-g: 車止め 3-g-1: 埋没式 (LP-570AM-BF-70:UNION 同等) 3-g-2: 脱着式 (LP-570A-NRDU:UNION 同等) 3-h: 設備基礎 3-h-1: 室外機置場 3-h-2: 受水槽置場
4. 囲障工事	4-a: 目隠しフェンス 4-b: 目隠しフェンス 4-c: コンクリート壁 4-d: 石ウォール
5. 造園工事(別途工事)	5-a: コウライシバ (t300 植栽用良質土の上) 5-b: 灌木・地被混植 (t300 植栽用良質土の上) フイリアオキ: 5株/m ² (樹高0.6、葉張り0.4) アセビ: 6株/m ² (樹高0.5、葉張り0.3) イヌツゲ: 9株/m ² (樹高0.6、葉張り0.25) シャリンバイ: 5株/m ² (樹高0.5、葉張り0.4) ハマヒサカキ: 5株/m ² (樹高0.5、葉張り0.4) ヒラドツツジ: 4株/m ² (樹高0.5、葉張り0.5) ガクアジサイ: 5株/m ² (樹高0.5、3本立) ニシキギ: 6株/m ² (樹高0.5、葉張り0.3) 高木 シラカシ: シラカシ (樹高5.0、目通り0.3、葉張り1.5) エゴノキ: エゴノキ (樹高5.0、株立、葉張り2.0) ヤマボウシ: ヤマボウシ (樹高5.0、株立、葉張り2.0) コブシ: コブシ (樹高5.0、目通り0.3、葉張り1.8) ソヨゴ: ソヨゴ (樹高3.0、株立、葉張り1.0) ※樹木支柱 ソヨゴ: 八掛け(竹三本) その他: 八掛け(丸太三本)
凡例	→: 水勾配

株式会社 福見建築設計事務所
 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

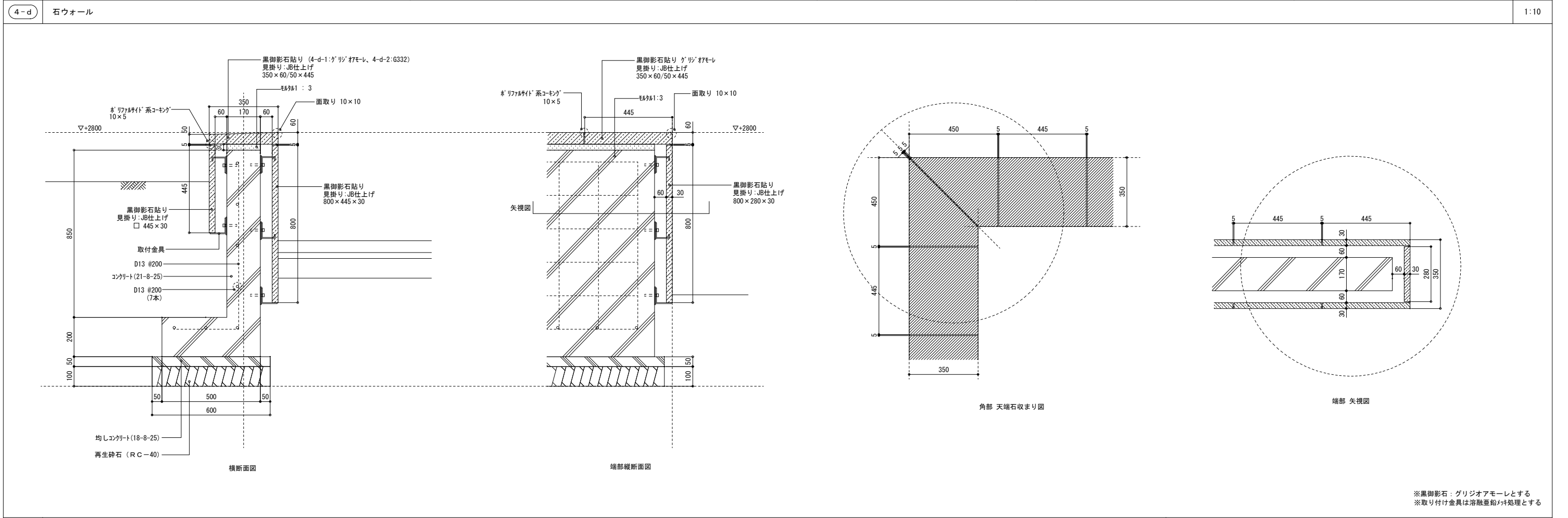
管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号 記事
 建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号
 担当 高橋 航平

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事 日付 2023.10 図面番号
 図面名称 外構図 縮尺 [A1] 1/200 [A3] 1/400 意匠 A-115

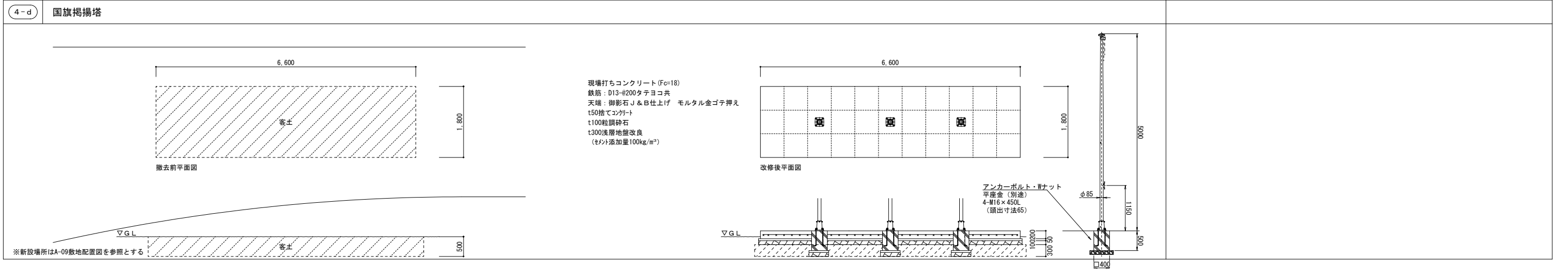


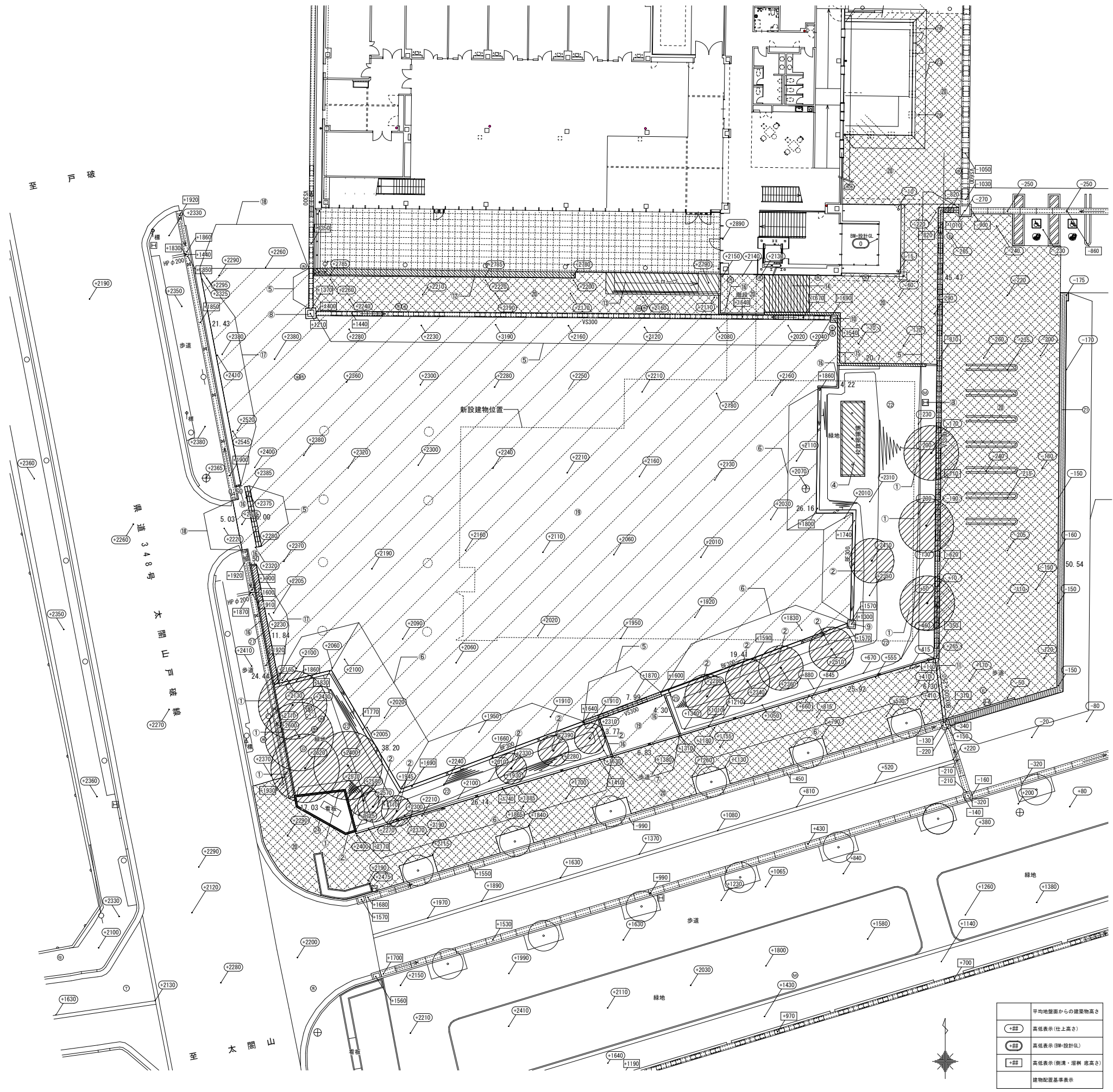


- ・鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18又は、#18より太いものを使用する。
- ・三脚支柱の唐竹は、原則として2箇所以上の幹又は枝に結束する。
- ・唐竹は、末口25mm内外とする。
- ・唐竹相互の結束は、結束部分にのこぎり目を入れ、鉄線割掛けとし、2本どり3回巻き以上とする。
- ・樹木と支柱の結束は、しゆる縄割掛けとし、2本どり3回巻き以上とする。
- ・樹木と支柱の結束は、しゆる縄割掛けとし、2本どり3回巻き以上とする。



※黒御影石: グリジオアモレとする
 ※取り付け金具は溶融亜鉛メッキ処理とする





No	名称	仕様	参考数量
①	高木 撤去	伐採・伐根・処分	7 箇所
②	中木 撤去	伐採・伐根・処分	11 箇所
③	外灯 撤去	H4.0m程度	1 箇所
④	校旗掲揚場 撤去	H5.0m程度	1 箇所
⑤	自由勾配側溝300×300~	コンクリート蓋共	59.5 m
⑥	U型側溝360A 撤去		135.8 m
⑦	U型側溝360A 撤去	グレーチング蓋共	6.8 m
⑧	排水樹600×600 撤去	グレーチング蓋共	1 箇所
⑨	排水樹500×500 撤去	グレーチング蓋共	1 箇所
⑩	排水樹400×400 撤去	グレーチング蓋共	1 箇所
⑪	ボックスカルバート 撤去	300×250	6.3 m
⑫	階段 撤去	踏幅25.500×踏面580×蹴上290 1段 RC造	1 箇所
⑬	スロープ 撤去	幅2.000×長さ11.200×高さ500 RC造 手摺共	1 箇所
⑭	階段 撤去	踏幅3.650×踏面300×蹴上150 14段 RC造	1 箇所
⑮	コンクリート擁壁 撤去	H2.80m 手摺共	20.7 m
⑯	コンクリート縁石 撤去	120×120×600	44.0 m
⑰	スチールエッジ 撤去	H100	33.3 m
⑱	カッター入れ		55.6 m
⑲	アスファルト舗装 撤去	t50	2279.4 m ²
⑳	インターロッキング舗装 撤去	t50 視覚障害者誘導・注意喚起用インターロッキングブロック 共	1167.3 m ²
㉑	コンクリート舗装 撤去	t150	30.3 m ²
㉒	切土		389.7 m ³
㉓	目隠しフェンス 撤去	H1.8m アルミ製 基礎共	24.2 m
㉔	植栽帯縁石 撤去	180×300×600	17.0 m
㉕	立看板 撤去	H2300 スチール製 基礎共	1 箇所
㉖	ポラード灯 撤去		2 箇所
㉗	生垣(‘ダグアンツ’・キヌヒイ) 撤去	伐採・伐根・処分	1 式

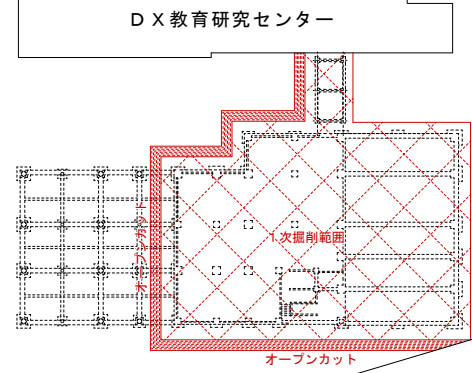
株式会社 福見建築設計事務所
 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号 記事
 建築担当主任技術者 高橋 航平 一級建築士登録第349562号
 担当 松原 希美

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事 日付 2023.10. 図面番号
 図面名称 現況解体図 縮尺 [A1] 1/200 [A3] 1/400 意匠 A-118

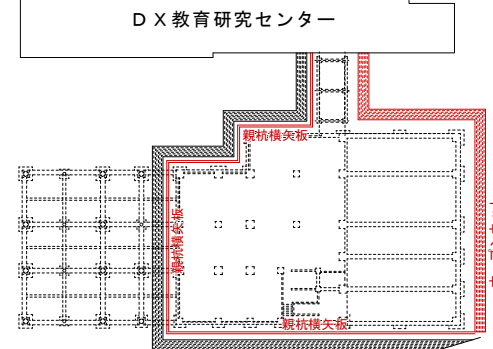
【工事手順 1】

- ① 共同溝・設備ピット範囲 1 次掘削：設計 G L ± 0 迄 (赤囲い内)
- ② 既製コンクリート杭打設



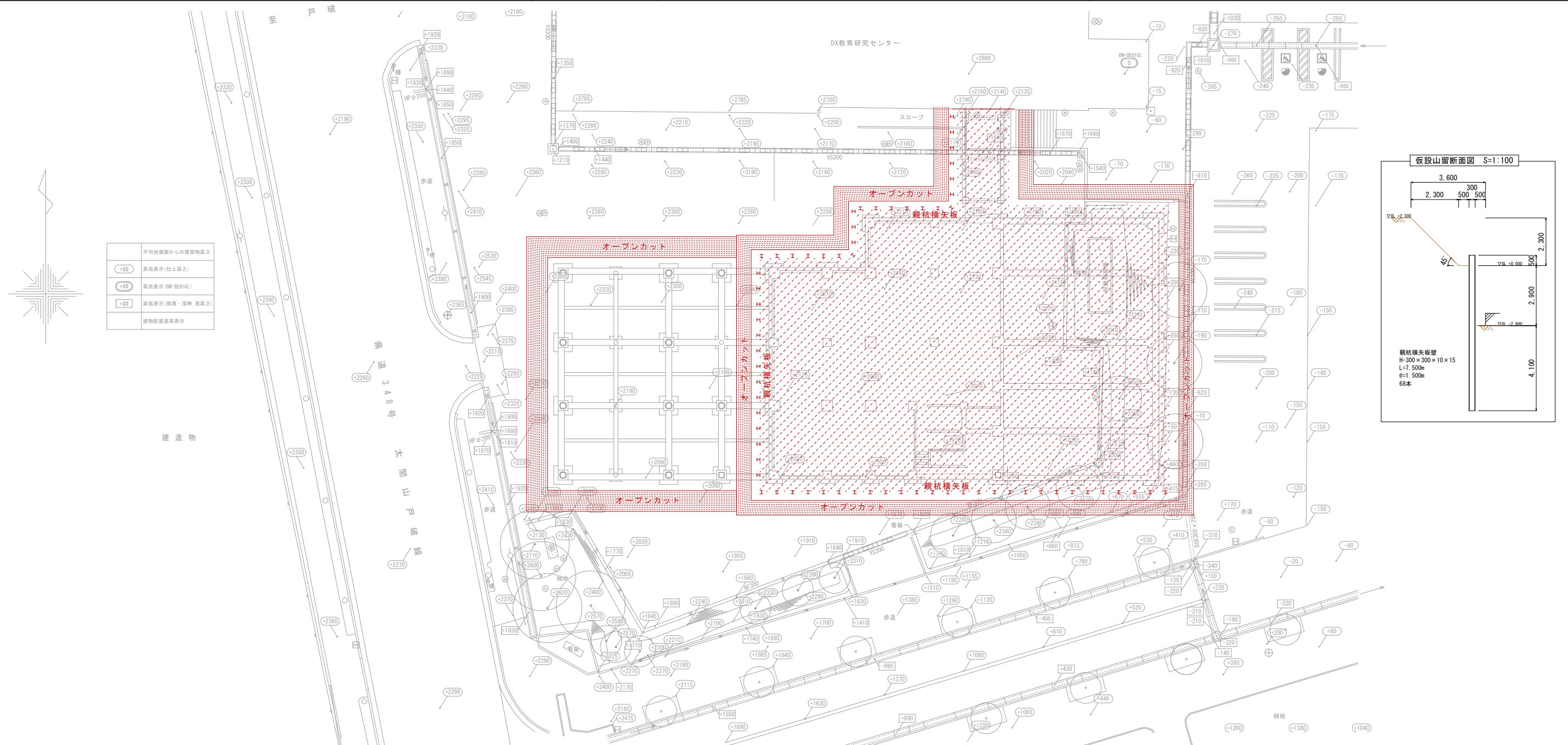
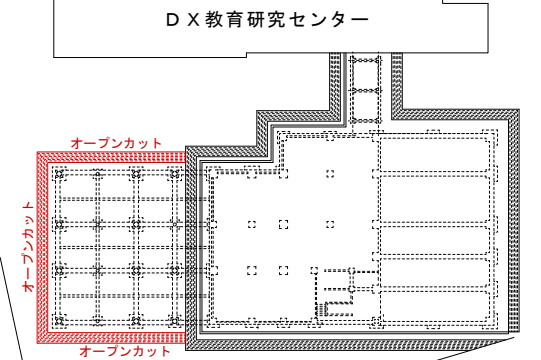
【工事手順 2】

- ① 親杭横矢板工事
- ② 共同溝・設備ピット範囲 2 次掘削布掘り



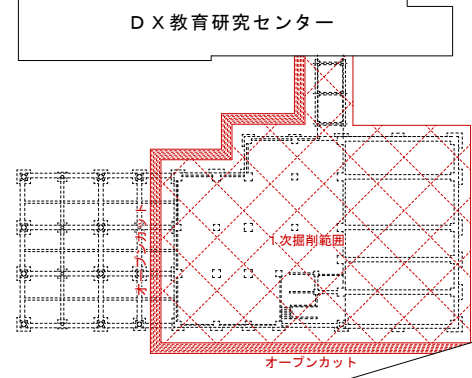
【工事手順 3】

- ① 共同溝・設備ピット範囲外掘削布掘り



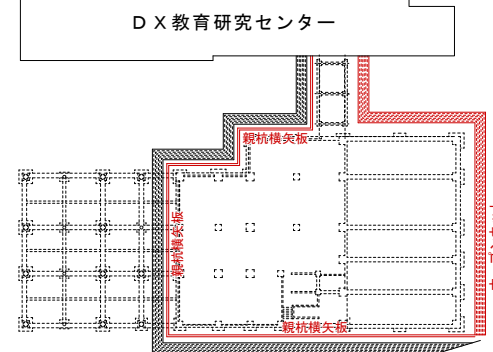
【工事手順 1】

- ① 共同溝・設備ピット範囲 1 次掘削：設計 G L ± 0 迄 (赤囲い内)
- ② 既製コンクリート杭打設



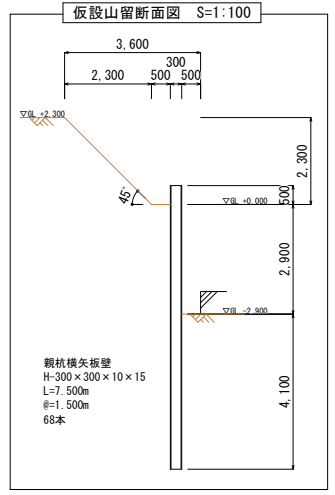
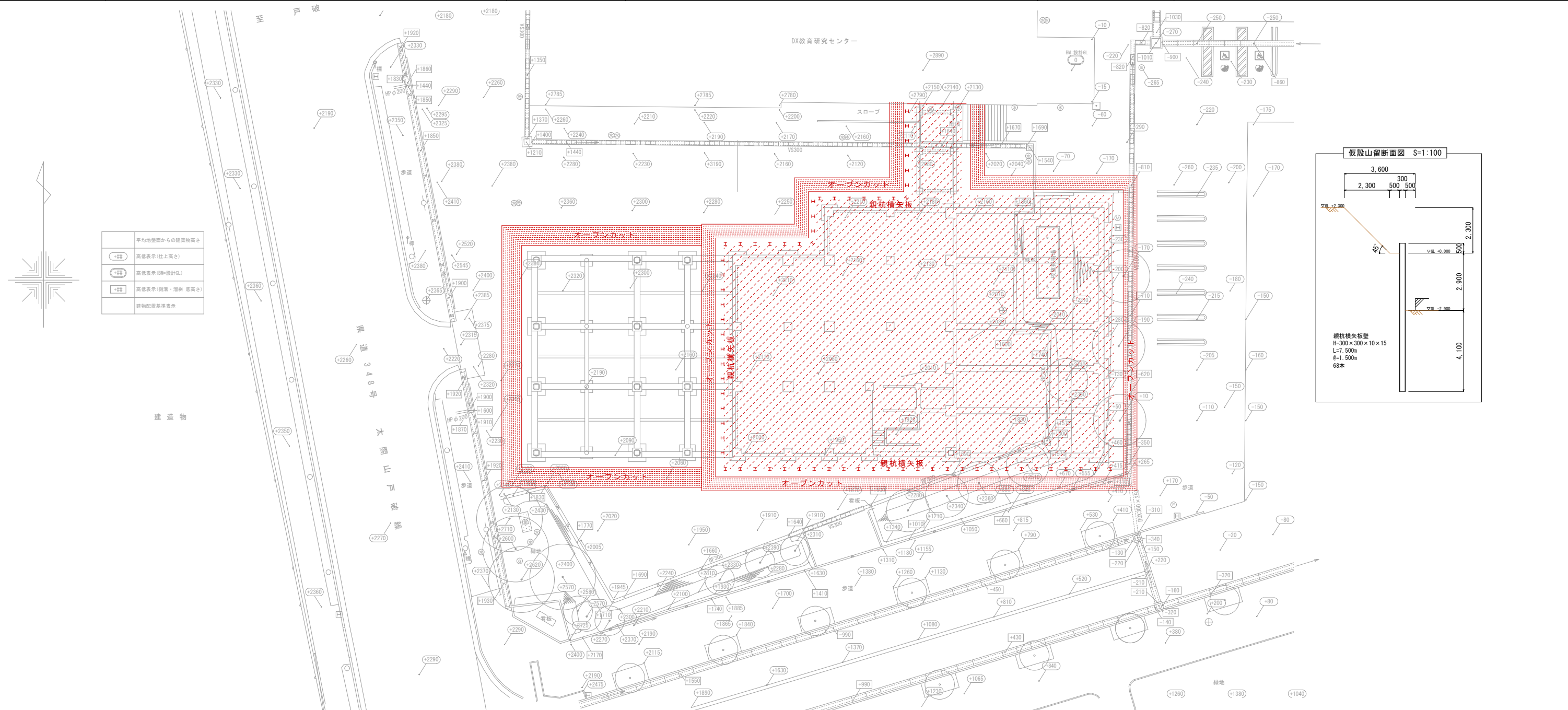
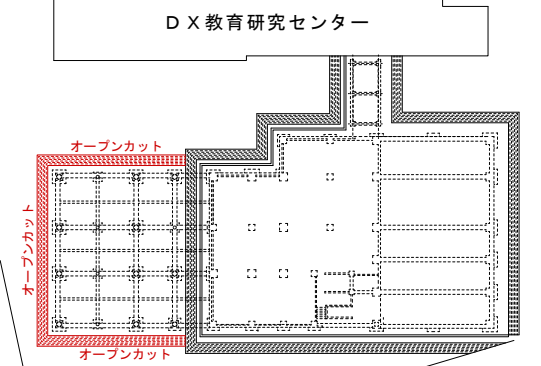
【工事手順 2】

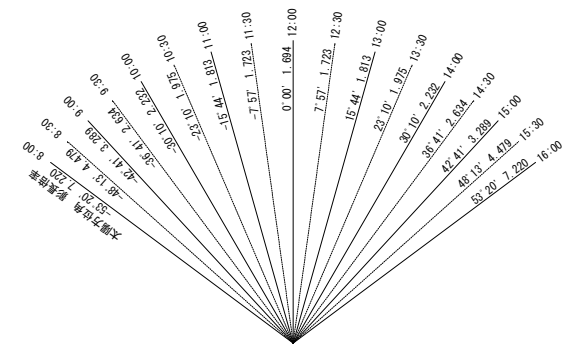
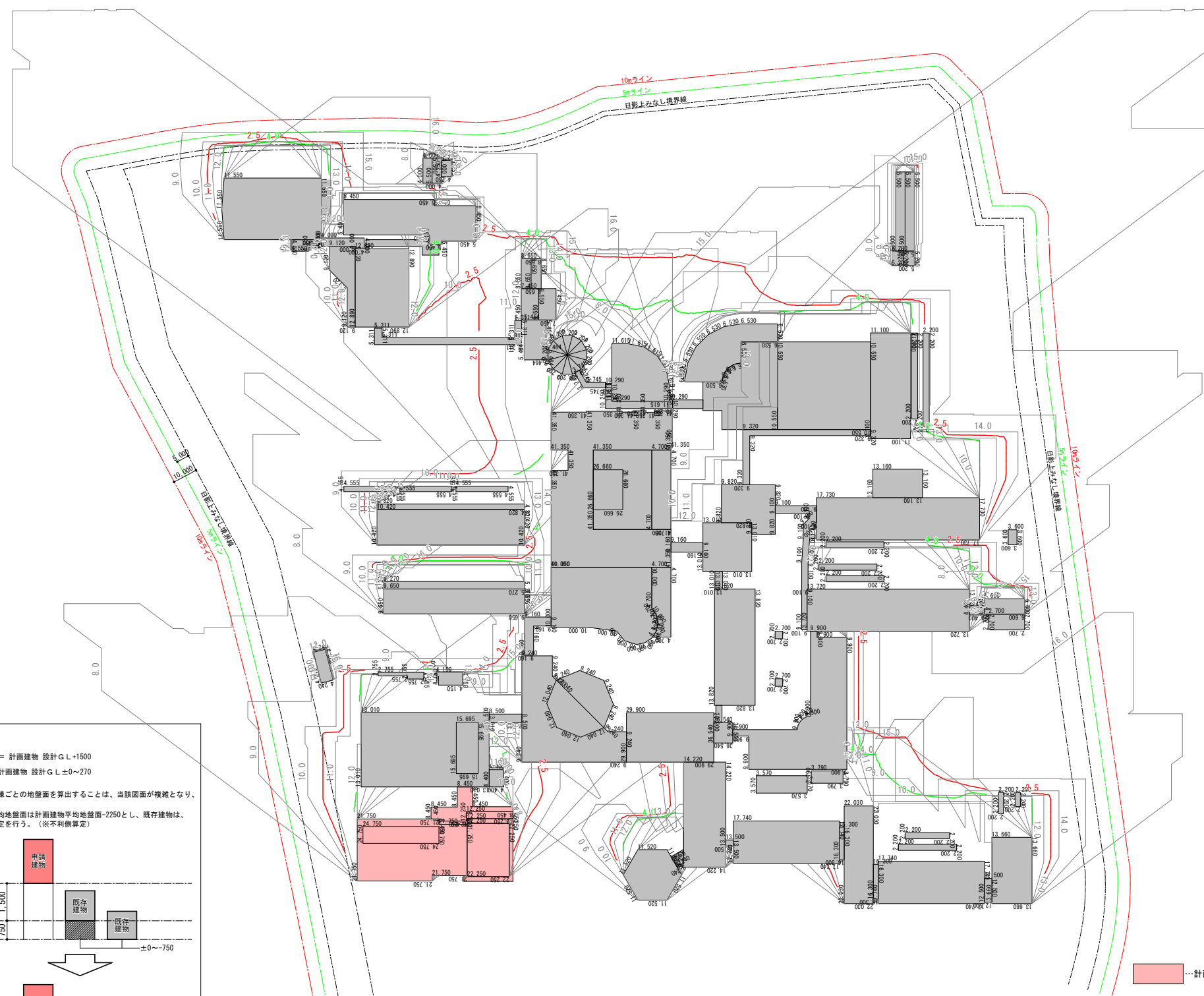
- ① 親杭横矢板工事
- ② 共同溝・設備ピット範囲 2 次掘削布掘り



【工事手順 3】

- ① 共同溝・設備ピット範囲外掘削布掘り





日影長さ表 [緯度 = 36°] [冬至]
最高高さ = (日影算定用) 平均地盤面 + 41.350 (m)
測定面高さ = 4.000 (m)

時刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	7.220	548.720
8:30	4.479	340.404
9:00	3.289	249.964
9:30	2.634	200.184
10:00	2.232	169.632
10:30	1.975	150.100
11:00	1.813	137.788
11:30	1.723	130.948
12:00	1.694	128.744
12:30	1.723	130.948
13:00	1.813	137.788
13:30	1.975	150.100
14:00	2.232	169.632
14:30	2.634	200.184
15:00	3.289	249.964
15:30	4.479	340.404
16:00	7.220	548.720

影倍率表 [緯度 = 36°] [冬至]

時刻	太陽高度	太陽方位角	影長倍率	X倍率	Y倍率
8:00	7°53'	-53°20'	7.220	-5.791	4.312
8:30	12°35'	-48°13'	4.479	-3.340	2.984
9:00	16°55'	-42°41'	3.289	-2.230	2.417
9:30	20°47'	-36°41'	2.634	-1.574	2.112
10:00	24°08'	-30°10'	2.232	-1.122	1.930
10:30	26°52'	-23°10'	1.975	-0.777	1.815
11:00	28°53'	-15°44'	1.813	-0.492	1.745
11:30	30°08'	-7°57'	1.723	-0.239	1.707
12:00	30°33'	0°00'	1.694	0.000	1.694
12:30	30°08'	7°57'	1.723	0.239	1.707
13:00	28°53'	15°44'	1.813	0.492	1.745
13:30	26°52'	23°10'	1.975	0.777	1.815
14:00	24°08'	30°10'	2.232	1.122	1.930
14:30	20°47'	36°41'	2.634	1.574	2.112
15:00	16°55'	42°41'	3.289	2.230	2.417
15:30	12°35'	48°13'	4.479	3.340	2.984
16:00	7°53'	53°20'	7.220	5.791	4.312

平均地盤面について

①今回申請建物(敷地西側)の地盤面±0 = 計画建物 設計GL+1500
 ②既存建物(敷地西側)周囲の地盤面 = 計画建物 設計GL±0~-270

■敷地内に建つ建物の数が多いため、各様ごとの地盤面を算出することは、当該図面が複雑となり、かつ困難である。
 よって上記①、②より、日影算定用平均地盤面は計画建物平均地盤面-2250とし、既存建物は、日影算定用平均地盤面からの高さで算定を行う。(※不利側算定)

△計画建物 平均地盤面
 △計画建物 設計GL±0=図書室棟FL
 △日影算定用 平均地盤面

△計画建物 平均地盤面
 △計画建物 設計GL±0=図書室棟FL
 △日影算定用 平均地盤面

■申請建物高さに2250加える ※不利側算定

■令135条の12第1項第2号の規定は適用しないものとした。 ※不利側算定

構造概要書

1. 構造設計概要

Table with 2 columns: Item (e.g., Project Name, Building Location, Building Use, Area, Height, Floors, Materials) and Value (e.g., 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事, 富山県射水市黒河5180番地, 大学, etc.)

Table for structural form and calculation route, including X and Y directions, frame type (ラーメン構造), and truss type (トラス構造).

Table for load distribution (積載荷重) in N/m², listing room names (講義室, 実験室, etc.) and their respective slab, small room, and seismic loads.

Table for seismic load (地震荷重) with parameters like T=0.61 sec, Rt=1.0, Co=0.2, and alpha=1.0.

Table for wind load (風荷重) with parameters like q=1.100N/m², Vo=30 m/s, and various wind pressure coefficients.

Table for snow load (積雪荷重) with parameters like maximum depth 200 cm and unit weight 30 N/m².

Table for soil and water table (土圧、水位及び凍上線) with parameters like Ka=0.5 and groundwater level GL-4.5m.

Table for special loads (特殊荷重) in KN, listing equipment like water tanks, oil tanks, and solar panels.

2. 地質柱状図

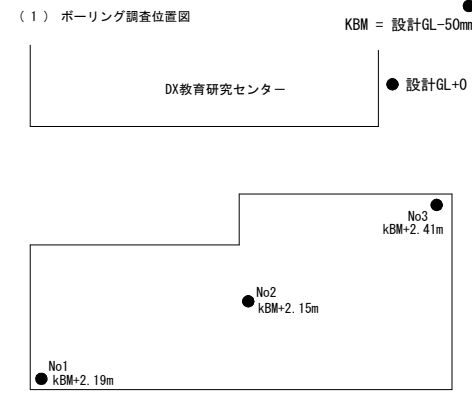
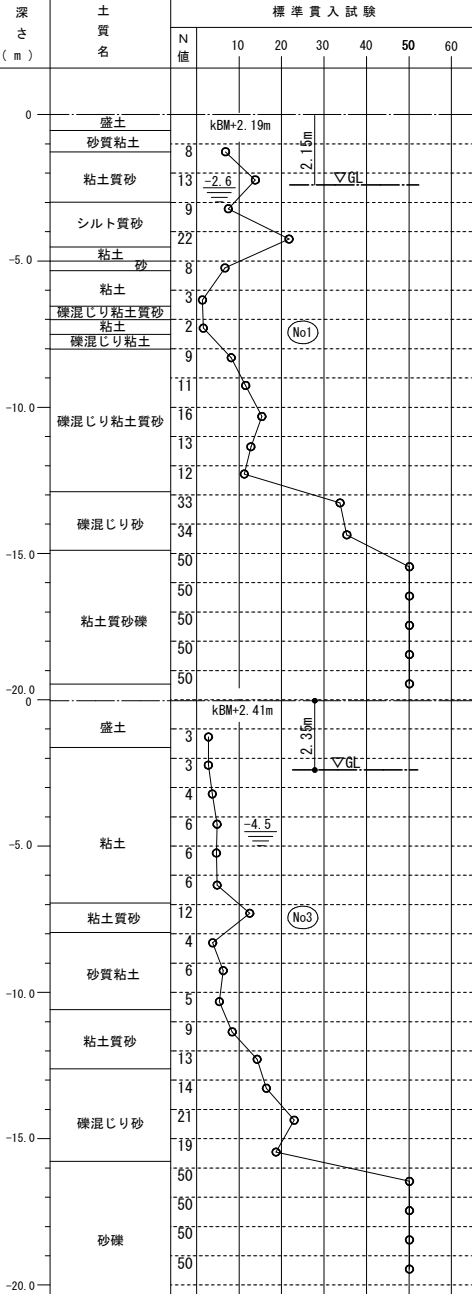


Table for test hole information: Test Hole No.1 No.3, Construction Period (2023.2.14~3.14), and Contractor (北日本地質(株)).



特記仕様書

1. 共通事項

- List of general items including drawing standards, construction standards, and specific notes for reinforced concrete and steel reinforcement.

2. 地業工事

Table for ground work (地業工事) including sand filling and concrete placement details for various foundation types.

- Additional specifications for foundation types (基礎形式) such as independent foundations, pile foundations, and mat foundations.

Table for reinforcement specifications (形状・寸法, 継手, 許容支持力) for various rebar types and sizes.

3. コンクリート工事

Table for concrete work (コンクリート工事) detailing material types, strength, and testing methods for different concrete elements.

4. 鉄筋工事

Table for reinforcement work (鉄筋工事) including rebar types, lap joints, and welding specifications.

5. 鉄骨工事

Table for steel work (鉄骨工事) detailing steel types, connections, and surface treatments for various structural members.

6. その他

Table for other items (その他) including storage periods for concrete and steel, and material specifications for reinforcement.

(4) 鉄骨製作

- Specifications for steel fabrication, including material grades (M, H), welding methods, and inspection procedures.

(5) 溶接

- Specifications for welding, including standards, inspection methods, and requirements for joint strength.

(6) さび止め塗装

- Specifications for anti-rust coating, including application methods, materials, and maintenance cycles.

(7) 耐火被覆の材料

- Specifications for fireproofing materials, including types and application requirements.

鉄筋コンクリート造配筋基準図 - 1

1. 一般共通事項

(1) 鉄筋の表示記号

鉄筋の断面表示は下記の記号による。

呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29
表示記号	●	×	∇	●	○	⊙	⊗
最大径	11	14	18	21	25	28	33

(2) 鉄筋のかぶり厚さ

① 一般の場合

構造部位	かぶり厚さ		かぶり厚さ
	一般	土(常時水)に接する部分	
床スラブ、屋根スラブ、非耐震壁	屋内	30	50
	屋外	40 ※1 30	
柱、はり、耐震壁	屋内	40	かぶり厚さ
	屋外	50 ※1 40	
基礎、基礎ばり、耐圧板	—		70
地下外壁、擁壁	50 ※2	40	70
煙突	70		70

- ※1. 耐久性上有効な仕上げのある場合で、係員の承認を受けた時。
 - ※2. コンクリートの品質および施工方法に応じて、係員の承認を受けた時。
- 注) 最小かぶり厚さは、上表の値-10mmとする。

- 1) 主筋にD29以上の異形鉄筋を使用する場合の最小かぶり厚さは主筋外端より1.5d以上とする。ただし土に接する部分は1.5d+20以上とする。
- 2) 床スラブリャのコンクリート仕上げ部分(床スラブリャの上を、コンクリートのまま直接コテなどで仕上げられる場合)の打増しは下記による。

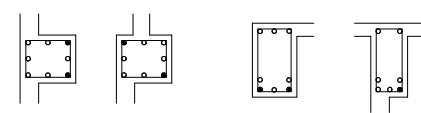
そのまま床仕上げとなる場合		打増し15
敷物、張物などの下地の場合		a
防水層下地の場合		打増し10

(3) 鉄筋の折曲げ基準

① 端部(フック形状)

曲げ角度	図	鉄筋の種類	内径(D)	余長(L)	備考
180°		SD295A (SD30A)	D16以下	3d以上	・柱及び梁(基礎を除く)の出隅部分 ・煙突の主筋
		SD295B (SD30B)	D19~D38	4d以上	
		SD345 (SD35)	4d以上		
135°		SD295A (SD30A)	D16以下	3d以上	・フープ ・スターラップ
		SD295B (SD30B)	D19~D38	4d以上	
		SD345 (SD35)	4d以上		
90°		SD295A (SD30A)	D16以下	3d以上	・U字形スターラップのキャップタイ ・幅止め筋 ・スラブ筋、壁筋の末端部
		SD295B (SD30B)	D19~D38	4d以上	
		SD345 (SD35)	4d以上		

- d: 呼び名に用いた数値
- ※1 片持スラブリャの上端筋の先端、壁の自由端に用いる鉄筋の数値
- ※2 柱、梁の出隅部分とは、下記の場合をいう。



② 上表以外の鉄筋末端部に必ずフックをつける箇所

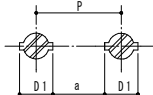
- 1) 最上階の柱頭で大きめにL2の定着長がとれない場合。
- 2) くい基礎のベース筋の先端
- 3) 片持ちばり、片持ちスラブリャの上端筋の先端
- 4) その他設計図に特記ある場所

(3) 中間部(バンド形状)

曲げ角度	図	使用箇所	鉄筋の種類	鉄筋径	内径(D)
90°以下		フープ スターラップ スパイラル筋	SD295A (SD30A)	D16以下	3d以上
			SD295B (SD30B)	D19以上	4d以上
同上		スラブ筋 壁筋	SD295A (SD30A)	D16以下	4d以上
			SD295B (SD30B)	D19~D25	6d以上
同上		上記以外	SD295A (SD30A)	D16以下	6d以上
			SD295B (SD30B)	D19~D25	6d以上
同上		上記以外	SD345 (SD35)	D29~D38	8d以上
			SD390 (SD40)	D29~D38	8d以上

(4) 鉄筋の最小間隔とあき

- 鉄筋相互のあきは下記のうち最大のものとする。
- 1) a=25mm
 - 2) a=1.25×粗骨材最大寸法
 - 3) a=1.5d (d: 鉄筋の呼び名の数値)
- 鉄筋の間隔 P=a+D1 (D1: 最大径)

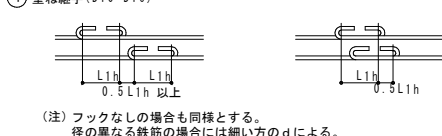


あきの最小値—粗骨材最大寸法2.5の場合を示し()内は2.0の場合を示す。

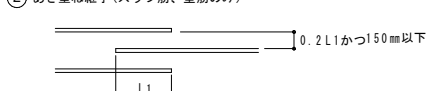
呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29
あきの最小値	31	31	31	31	33	38	44
(2.5)	(25)	(25)	(25)	(29)			

(5) 鉄筋の継手基準

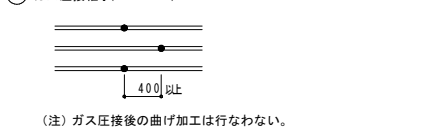
① 重ね継手(D10~D16)



② あき重ね継手(スラブ筋、壁筋のみ)



③ ガス圧接着棒(D19~D32)



(6) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ ()はフックありの場合

鉄筋の種類	コンクリートの基準強度 Fc (N/mm2)	重ね継手長さ (L1h)	定着長さ [フックなし]		
			L1	L2 (L2h)	下地筋 L3 (L3h)
SD295A	18	(35d)	45d	40d (30d)	20d (10d)
	21	(30d)	40d	35d (25d)	
	24 27	(25d)	35d	30d (20d)	
SD345	18	(35d)	50d	40d (30d)	
	21	(30d)	45d	35d (25d)	
	24 27	(25d)	35d	30d (20d)	
SD390	21	(35d)	50d	40d (30d)	
	24 27	(35d)	45d	35d (25d)	
	30 33 36	(30d)	40d	35d (25d)	

柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さは40dと上記表の大きい値とする。

1. L1: 2.以外直線定着長さ
2. L2: 割製破壊の恐れのない箇所への直線定着長さ
3. L3: 小梁及びスラブリャの下地筋の直線定着長さ

投影定着長さ

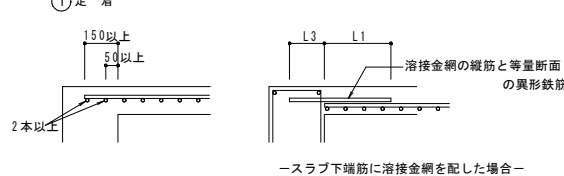
鉄筋の種類	コンクリートの基準強度 Fc (N/mm2)	投影定着長さ	
		(La)	(Lb)
SD295A	18	20d	15d
	21		
	24 27	15d	
SD295B	18		
	21	20d	15d
	24 27	20d	15d
SD345	18	20d	
	21		
	24 27	20d	15d
SD390	21	20d	
	24 27		
	30 33 36	20d	15d

La: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ(基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブリャを含む)

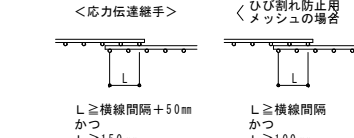
Lb: 小梁及びスラブリャの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ(片持ち小梁及び片持ちスラブリャを除く)

(7) 溶接金網の定着と重ね継手

① 定着



② 継手 <応力伝達継手>



(8) その他

① 打ち継ぎ

- a. 打ち継ぎ部位置・形状などは特記による。特記のない場合、打ち継ぎ部は、梁、床スラブリャおよび屋根スラブリャでは、その中央付近に、柱および壁では、床スラブリャ、基礎の上端または梁の下端に設け、水平または垂直とする。
- b. 打ち継ぎ部は、レイタンスおよびせいの弱いコンクリートを取り除き、健全なコンクリートを露出させ、コンクリート打ち込み前に十分な水湿しを行う。

② コンクリート収縮(誘発)目地、他

- a. 外壁収縮(誘発)目地 : 縦目地3.0mピッチ程度に設ける。
- b. 打ち継ぎ目地 : 各階に設ける。その他は収縮目地に同じ。
- c. 壁体の目地 : 収縮目地及び内外壁体目地は同位置とする。
- d. 壁及びスラブリャ内の電気配管 : 埋め込み配管は極力少なくし、かつダブル配管の内側へ配管のこと。

③ コンクリートの打ち増し

- a. 外壁の打ち増し : 外壁を形成する柱・梁・壁は、外部側に厚さ()mmの打ち増しとする。
- b. 床モノリシック工法の打ち増し : ()mmとする。

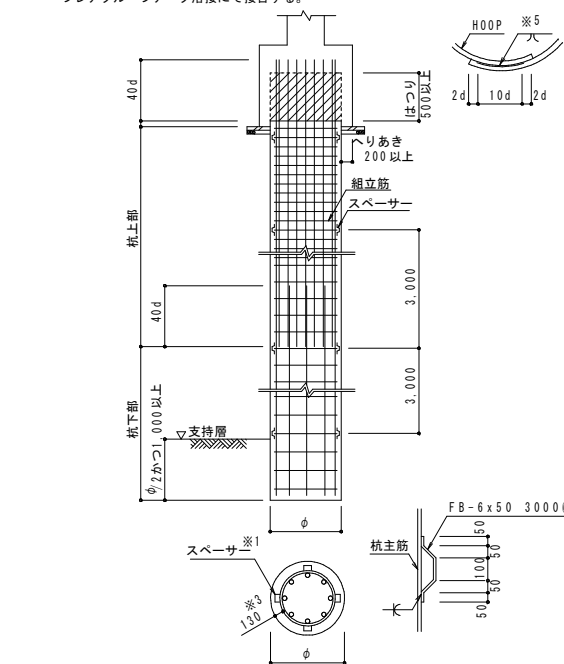
(9) 鉄筋の余長、重ね継手長さ及び定着長さの換算表

		(単位: mm)													
鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	40	45	50	55	60
4d	40	60	70	80	90	100	120	130	140	160					
5d	50	70	80	100	110	130	150	160	180	190					
6d	60	80	100	120	140	150	180	200	210	230					
8d	80	110	130	160	180	200	240	260	280	310					
10d	100	130	160	190	220	250	290	320	350	380					
15d	150	200	240	290	330	380	440	460	530	570					
20d	200	260	320	380	440	500	580	640	700	760					
25d	250	330	400	480	550	630	730	800	880	950					
30d	300	390	480	570	660	750	870	960	1,050	1,140					
35d	350	460	560	670	770	880	1,020	1,120	1,230	1,330					
40d	400	520	640	760	880	1,000	1,160	1,280	1,400	1,520					
45d	450	590	720	860	990	1,130	1,310	1,440	1,580	1,710					

2. 杭

(1) 場所打コンクリート杭

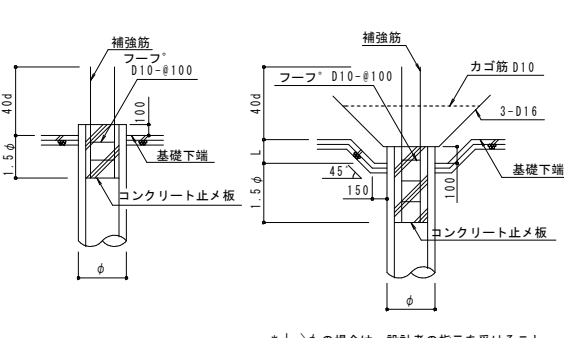
- 特記なき限り、下記に準ずる。
1. スペーサー FB-6x50 (平面上に4ヶ所以上) 3,000#
 2. 組立筋 D22-3,000#
 3. かぶり厚 130
 4. 主筋の重ね継手およびフーチングへの定着長さは、40d以上とする。
 5. フープは正しく円形に加工し、片面10d以上のフレアグループアーク溶接にて接合する。



(2) 既製杭

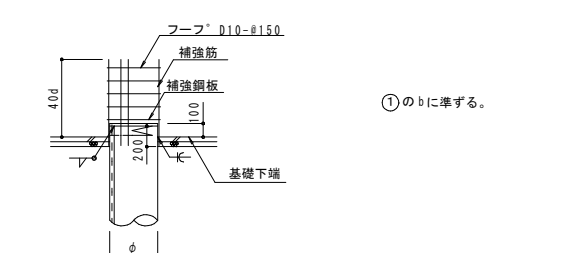
① PC杭又はPHC杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合



② 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

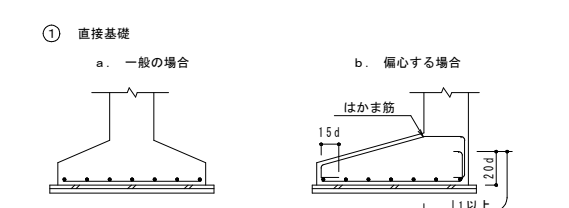


杭径	300.350 φ	400 φ	450 φ	500 φ	600 φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16

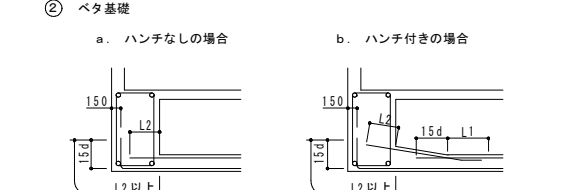
3. 基礎

(1) 基礎スラブリャの納まり

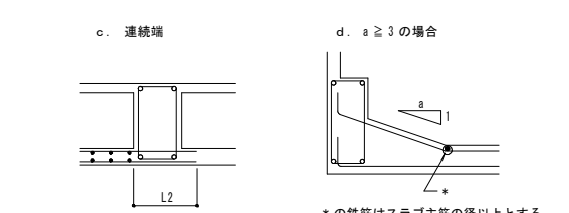
① 直接基礎



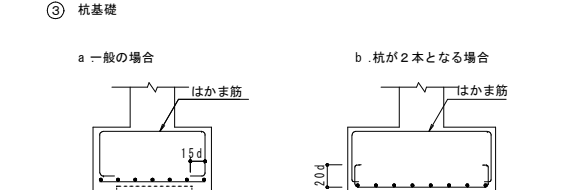
② ベタ基礎



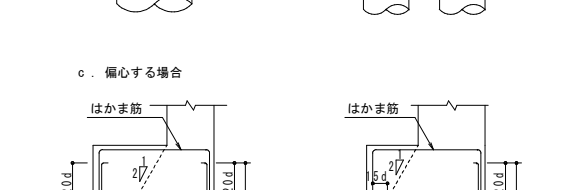
③ 杭基礎



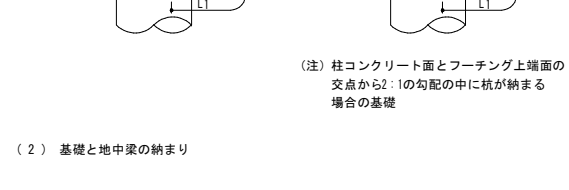
(2) 基礎と地中梁の納まり



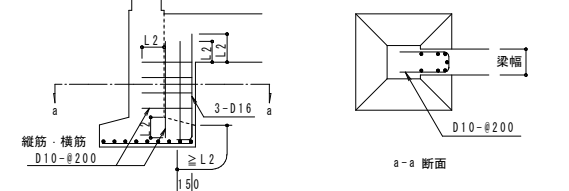
(2) 基礎と地中梁の納まり



(2) 基礎と地中梁の納まり



(2) 基礎と地中梁の納まり



鉄筋コンクリート造配筋基準図 - 2

4. 柱

(1) 柱筋の余長・定着及び継手位置
主筋の継手可能位置を示す。

(2) フープの割付け

柱頭4隅にはフックをつける

柱筋の交差する部、柱筋の継手位置はフープをダブル掛けとする。

P1, P2, P3 フープのピッチ (設計図による)

(3) フープの形状

① 一般形状

② タイプ形状

③ スパイラルフープの形状

④ 柱打ち増し部補強筋 (構造図に特記がある場合は特記による。)

⑤ 隅筋 (二段筋)

(注) Pは1-(3)鉄筋の最小間隔による。連続筋は6φ≧1500かつ各層2箇所以上とする。

5. 梁

(1) 梁筋の余長・定着及び継手位置
主筋の継手可能位置を示す。 (注) 下端筋は上向き定着としている。

① 基礎梁の余長・定着及び継手位置

a. (最下階) 地反力を受けない場合 タイプA

b. 上階荷重を受ける場合 タイプB

c. 地反力を受ける場合 タイプC

(注) タイプB, タイプCは、伏図又はリストにより指示された場合にのみ使用可。

② 大梁の余長・定着及び継手位置

a. 余長・継手位置

ノーハンチ梁

ハンチ梁

b. 定着

b-1. 一般の場合

b-2. 段差のある場合

eがD/6未満の段差がある場合

eがD/6以上の段差がある場合

(注) eは水平くい違いの場合にも準ずる。

eがD/6以上の段差がある場合

(最上階) (一般階) (最下階)

先端小梁 (頭つなぎ梁)

片持梁

筋折り下げ

鉛直断面

水平断面

小梁外端部

小梁連続部

③ 片持梁

a. 一般の梁と連続する場合

※印の梁の主筋は半数以上を折曲げて定着させる事。

〔一般階〕 (最上階)

b. 一般の梁と連続しない場合

④ 小梁

a. 連続梁の場合

⑤ 小梁筋の大梁への定着

a. 一般の場合

捨て筋を流して結束部に定着してもよい

b. eがB/6未満の段差がある場合 (注) eは水平くい違いの場合にも準ずる。

c. eがB/6以上の段差がある場合

d. 打ち増し部への定着

⑥ 先端小梁の片持梁への定着

先端小梁 (頭つなぎ梁)

片持梁

筋折り下げ

鉛直断面

水平断面

小梁外端部

小梁連続部

(2) スターラップの割付け及び腹筋の納まり

第1スターラップ 腹筋

第1スターラップ 腹筋

※小梁との接合部は腹筋を適さなくてもよい。

※はφ≧D13以上かつスターラップ筋径以上とする。

梁 成	D < 600	600 ≦ D < 900	900 ≦ D < 1,200	1,200 ≦ D < 1,500
腹 筋	不 要	2-D10	4-D10	6-D10

(3) スターラップ形状

① 一般形状

タイプA, タイプB, タイプC, タイプD, タイプE, タイプF, タイプG

(注) 1. タイプB, タイプC, タイプGは床スラブ一体打ちの場合のみ可。
2. フックの位置は原則として交互配筋とする事。

② 基礎梁の場合

基礎梁も原則として①によるが、梁成の大きい場合は下記の配筋も可とする。

< D=2000以上打ち継ぎの有る場合 >

(4) 梁打ち増し部補強筋 (構造図に特記がある場合は特記による。)

印は打ち増し部を示す。

① 上部打ち増し ② 側部打ち増し ③ 下部打ち増し

⑤ 二段筋 (6) 柱面と梁面が同一になる場合の納まり

(注) P, aは1-(3)鉄筋の最小間隔の項による。

※柱主筋径だけスターラップ筋幅を狭めて加工する事。

(7) 梁貫通孔補強

① 貫通孔範囲及び貫通孔径

位置	貫通孔の径
A	D/3以下
B	D/4以下
C	不可

※印の寸法はD/4かつ250以上とする。

② 貫通孔補強

a. 一般の場合

b. φ≦100 (中梁の場合φ≦200)の場合

③ その他の貫通孔補強

a. 既製品による補強を行う場合は、設計者の指示を受ける事。

貫通孔径	横筋	斜筋	補強スターラップ	備考

6. 壁

(1) 壁筋の定着

① 柱・梁への定着

a. 柱

b. 梁

② 非耐力壁の隅角部、交差部の定着

a. シングル配筋の場合

b. ダブル配筋とシングル配筋の場合

c. ダブル配筋の場合

③ スラブへの定着

④ 壁端部の定着

a. 耐力壁の場合

b. 非耐力壁の場合

⑤ 地下外壁の定着及び継手位置

a. 梁への定着

*地下外壁の外側鉄筋を地中ばりにて定着する場合、定着長さは規定長さでよいが、約1mごとに耐圧スラブの上端まで下げて鉄筋位置を確保する。

b. 地下外壁の継手位置

壁位置の継手可能位置を示す

(2) 壁開口補強

① 耐力壁の開口補強

(注) ひび割れ防止筋は別に配筋する事。

② ひび割れ防止筋

(3) 外壁収縮(誘発)目地

内目地を設けられない場合には、収縮目地の断面欠損率はふかしを含めた壁厚の25%以上とする。

符号	t	a	b	c	d	備考
W15	150	20以上	30	20以下	15	
W18	180	20以上	35	20以下	15	

(4) 構造目地

符号	t	a	補強筋
W15	150	20以上	D10 - 200 #
W18	180	20以上	D10 - 200 #

(4) 構造スリット(完全)

スリット間は既成耐震スリット製品による。

7. スラブ

(1) スラブ筋の余長及び継手位置

スラブ筋の継手可能位置を示す。

(2) 定着

① 周辺固定スラブ

② 片持スラブ

③ 庇

④ 片持スラブ先端の手すり、パラベット

(3) スラブ段差部の納まり

(4) 置スラブのシアコネクター

(注) 上記はe<tの場合に適用し、e≧tの場合は設計図による。

(5) スラブの開口補強

(6) スラブの出隅入隅部補強(各階共通)

A: 出隅部補強
B: 入隅部補強
C: 片持スラブの出隅部補強
D: 片持スラブの入隅部補強

補強の定着方法

スラブ補強筋共通事項

平面

断面

(7) 片持スラブ誘発目地仕様

1. 誘発目地ピッチは、7,000以下とする。
2. 片持スラブの出寸法の変化する場合には、その位置にもうけること。
3. コンクリート手すりのある場合には、ある部分とない部分の境にもうけること。

(8) 階段

① 片持スラブ階段

② 一方スラブ階段

階段種別	厚さ		配筋			壁補強筋
	D1	D2	主筋A	主筋B	配力筋	

注) 壁補強筋は、上下層の梁にL2定着させる。

階段種別	厚さ D1	厚さ D2	部位			配筋		
			上端筋	下端筋	上端筋	下端筋	上端筋	下端筋

鉄骨造基準図 1

1. 柱・梁の仕口および接合

(1) 仕口

① H型柱 (柱通し型) (一般部) (段差部)

② B〇X型柱 (梁通し型)

注) P2*: 水平スチフナが1.2mm以下の場合 F2
F2*: ウェブ厚が1.6mm以上の場合 P2

2. 柱脚形状

(1) ベースプレート

(2) 柱脚根巻部および埋込部補強

① B〇X柱鉄骨部補強

② コンクリート部補強

(3) 共通事項

アンカーボルトの穴径と長さ 材質 SS400

ボルト径	穴径	L1	L2	導入軸力
M16	21以下	690	—	1.0 t
M20	25以下	800	1,050	1.6 t
M24	29以下	935	1,275	2.3 t
M30	35以下	1,150	1,525	3.5 t
M36	41以下	—	—	5.1 t

3. 高力ボルトおよびボルトのピッチ・ゲージ

(1) 表示記号、およびピッチ、縁端距離

ねじ径	M12	M16	M20	M22	M24
記号	●	—	+	+	*
穴径	12.5	17.0	21.5	23.5	25.5
ピッチ P	設計 50	60	60	60	60
最小	30	40	50	55	60
標準	はしあき e1 25 (30)	35 (40)	40 (50)	45 (55)	50 (60)
縁端距離	へりあき e2 25	30	35	40	45

(2) ゲージ

AあるいはB	g1	g2	B	g1	g2	a	b	最大軸径	B	g3
40	22	—	100	56	—	100	16	40	24	—
45	25	—	125	75	—	120	45	16	50	30
50※30	30	—	150	90	—	145	55	22	65	35
60	35	—	175	105	—	170	65	22	70	40
65	35	—	200	120	—	195	70	24	75	40
70	40	—	250	150	—	245	95	24	80	45
75	40	—	300※	150	40	295	105	24	90	50
80	45	—	350	140	70	345	135	24	100	55
90	50	—	400	140	90	395	165	24	—	—
100	55	—	—	—	—	—	—	—	—	—
125※	50	35	—	—	—	—	—	—	—	—
130※	50	40	—	—	—	—	—	—	—	—
150※	55	55	—	—	—	—	—	—	—	—
175	60	70	—	—	—	—	—	—	—	—
200	60	90	—	—	—	—	—	—	—	—

4. 標準継手形状

(1) 一般継手形状

(2) 組立柱継手形状

*高力ボルト挿入のため上記寸法を確保する。

5. プレースの接合

(1) プレース (保有力接合)

① 軒部

② 棟部

③ 柱・梁ピン接合

④ 梁・梁剛接合

⑤ 梁・梁ピン接合

主材	H.T.B	G	E	必要溶接長 (L)				備考
				A	B	C	D	
M12or130Bar	1-M16	6x60	42	42	54	40		
M16or160Bar	1-M16	9x75	56	56	72	55		
M20or190Bar	1-M20	9x85	56	56	72	75		
L-65x65x 6	5-M16	9x90	107	107	123			
L-75x75x 6	5-M16	9x90	122	122	138			
L-75x75x 9	5-M20	9x125	170	170	186			
L-90x90x10	5-M20	9x155	164	164	180			
L-90x90x13	5-M20	9x195	222	222	238			
L-100x100x10	5-M20	9x170	246	246	262			
2L-65x65x 6	5-M16	9x235	198	198	214			
2L-75x75x 6	5-M16	9x190	227	227	243			
2L-75x75x 9	5-M20	12x205	266	266	286			
2L-90x90x 7	5-M20	12x205	256	256	276			
2L-90x90x10	5-M20	12x270	349	349	359			
2L-100x100x10	6-M20	12x305	387	387	407			

6. その他の接合部

(1) H型鋼

① 軒部

② 棟部

③ 柱・梁ピン接合

④ 梁・梁剛接合

⑤ 梁・梁ピン接合

注) エレクションピースは溶接完了後切り落とし、見え掛かりとなるものはグラフインダーにて仕上げる。

7. 間柱、耐風梁、母屋、胴縁

(1) 間柱

(2) 耐風梁

(3) 母屋

(4) 胴縁

母屋、胴縁の取付けベース

取付けベース	中ボルト
h=75 L-90x90x7	2-M12
h=100 L-100x100x7	2-M12
h=120 L-120x120x8	2-M12
h=125 L-130x130x9	2-M12

8. デッキプレート (合成床版)

(1) 梁との溶接

(2) 受梁へのかかり寸法および端部処理

9. 頭付きスタッド

径	h	P	e	※ t
16φ	80	120~600	80以上	9以上
19φ	80	145~600	95以上	9以上

鉄骨造基準図 2

4. 溶接開先標準		C 完全溶込み溶接 (単位mm)										その他の溶接 (単位mm)					
溶接方法	記号	V形	K形	I形	V形	X形	アーケ手溶接 ガスシールドアーケ溶接 セルブガスシールドアーケ溶接					その他の溶接					
M	B	1	4	11	21	24	31					9	その他の溶接				
アーケ手溶接	突合せ継手																
	T継手	2	5	12								10					
G	C	3	6	13		26						※1.G部ビード仕上り形状 G:研削 M:切削 アーケ手溶接の場合の α', a, S ガスシールド溶接の場合の α', a, S					
適用板厚		T ≤ 19		6 ≤ T		19 ≤ T		T ≤ 6		T ≤ 6		T ≤ 19		16 ≤ T			
各寸法		G R α ₁ 0 2 45°		G R α ₁ 7 2 35°		G D ₁ R D ₂ α ₁ α ₂ 0 1/2(T-R) 2 1/3(T-R) 45° 60°		G G T () 内はMCの場合を示す		G 6 *MCは適用不可		G D ₁ R D ₂ α ₁ α ₂ 0 2 60°		G D ₁ R D ₂ α ₁ α ₂ 0 2/3(T-R) 2 1/3(T-R) 60° 60°		G D ₁ R D ₂ α ₁ α ₂ 0 2 60°	
溶接姿勢		F, H, V, O		F, H, V, O		F, H, V, O		F, H, V, O		F, H, V, O		F, H, V, O		F, H, V, O			
サブアーケ手自動溶接	S	B			71	74	81	84	91	2A							
	T継手	52	55	62	72					2B							
	C	53	56	63	73	76				5A							
適用板厚		T ≤ 19		16 ≤ T		19 < T		T ≤ 9		T ≤ 9		T ≤ 19		12 ≤ T		19 ≤ T	
各寸法		G R α ₁ 0 T-R 6		G D ₁ R α ₁ 7 T-R 2 35°		G D ₁ R D ₂ α ₁ α ₂ 0 1/2(T-R) 6 1/2(T-R) 60° 60°		G 6		G D ₁ R α ₁ 0 T-R 6 60°		G D ₁ R α ₁ 6 T-R 2 30°		G D ₁ R D ₂ α ₁ α ₂ 0 2/3(T-R) 6 1/3(T-R) 60° 60°		G D ₁ R D ₂ α ₁ α ₂ 0 2 60°	
溶接姿勢		F		F		F		F		F		F		F			

P 部分溶込み溶接 (単位mm)	
溶接方法	記号
アーケ手自動溶接	V形 P1
	K形 P2
適用板厚	
T ≤ 16	
16 < T	
16 < T	
各寸法	
G R α ₁ 0 2 45°	
G D R α ₁ 0 1/2(T-R) 2 45°	
G D R α ₁ 0 1/2(T-R) 2 60°	
溶接姿勢	
F, H, V, O	

FL フレア溶接 (単位mm)	
記号	形状
FL1	
FL2	
FL3	
適用板厚	
T ≤ 9	
T ≤ 9	
各寸法	
G R α ₁ 0 T-R 6	
G D R α ₁ 6 T-R 2 30°	
溶接姿勢	
F	

F すみ肉溶接 (単位mm)	
記号	形状
F1	
F2	
適用板厚	
T ≤ 16	
16 < T	
各寸法	
G R α ₁ 0 T-R 6	
G D R α ₁ 6 T-R 2 30°	
溶接姿勢	
F	

特記事項

- 本基準図は鉄骨の工場溶接、および工事現場溶接を行なう場合に適用する。
- 余盛高さおよび完全溶込み溶接T継手の補強すみ肉溶接の製作目録値は、下記による。
注) この数値を超えた場合には、JASS6 鉄骨工事の付則6、鉄骨精度検査基準内の限界許容差と比較し、これを超える場合は、係員と協議し必要な処置をとるものとする。

余盛高さ			補強すみ肉溶接	
突合せ継手	すみ肉溶接	T継手		
ビード幅 B	余盛高さ h	0 ≤ Δh ≤ 0.4S かつ Δh ≤ 4mm	t ≤ 40	S = 1/4
B < 15	0.5 ≤ h ≤ 3		40 < t	S = 10
15 ≤ B < 25	0.5 ≤ h ≤ 4			
25 ≤ B	0.5 ≤ h ≤ 1/2 B			

3. 溶接部の寸法許容差は下記による。

注) この数値を超えた場合には、JASS6 鉄骨工事の付則6、鉄骨精度検査基準内の限界許容差と比較し、これを超える場合は、係員と協議し必要な処置をとるものとする。

仕口のずれ (ダイヤフラムとフランジのずれ)		突合せ継手の食い違い	T継手のすきま (隅肉溶接)
t2 ≤ t1 の場合	t1 < t2 の場合	t ≤ 15	e ≤ 3
t1 ≤ 22.5	e ≤ 2t1/15	e ≤ 1	e ≤ 1/15
22.5 < t1	e ≤ 3	15 < t < 30	ただし e が 2mm を超える場合は
		30 ≤ t	サイズを e だけ増加する。

4. エンドタブ、裏当て金および裏はつり

- 完全溶込み溶接
 - 原則として、エンドタブを使用する。ただし、回し溶接等により健全な溶接部が得られると認められる場合は、省略することができる。
 - 鋼製エンドタブおよび裏当て金の材質は、母材と同等級以上のものを用い、寸法形状は下記を標準とする。
- エンドタブの除去
 - 耐火被覆およびコンクリート等で覆われる場所は、原則として除去しない。ただし、鉄筋と干渉する時、および仕上塗装する場合は5mmを残してガス切断し、グラインダーにて平滑に仕上げること。この場合L形切断となる部分は、図示のように曲線形に行なう。

エンドタブ (単位mm)	
溶接方法	エンドタブ
手	B1 t1 B2 t2
半自動	30~50 母材と同厚 ≤25
自動	50~100

3. スカップ すみ肉溶接

- スカップ
 - スカップの大きさは、半径 r=35mm 以内を原則とする。(ただし、裏成が150mm未満の場合は、半径 r=20mm とする。)
 - 隅角においては、原則として回し溶接を行なう。
- すみ肉溶接
 - 角部においては、原則として回し溶接を行なう。

注) . () 内は自動溶接の場合を示す。

ハイベースNEO工法設計施工標準 (ハイベースNEO工法は、S造及びCFT造に適用)

2021/8

大臣認定
BCJ評定

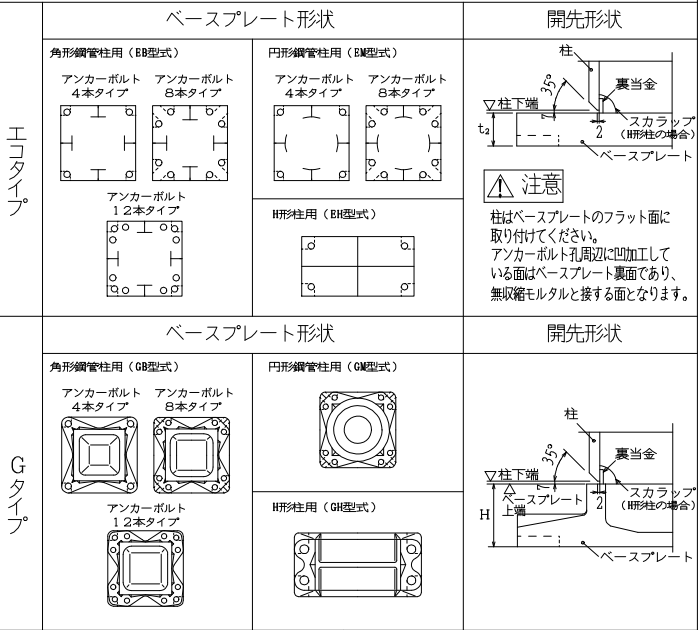
MSTL-0404、0180 (Gタイプ用ベースプレート)
MBLT-0042~0046 (アンカー用ボルトセット)
BCJ評定-ST0058 (Gタイプ)
BCJ評定-ST0059 (エコタイプ)

本工法の設計・施工は、鋼構設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事、建築工事標準仕様書・解説書 JASS 5 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

工場加工

1. 溶接材料
被覆アーク溶接 低木素系4.90N/mm² 級高強度鋼用 (JIS Z3211、旧JIS Z3212) 相当以上
ガスシールドアーク溶接 軟鋼及び4.90N/mm² 級高強度鋼用マグ溶接用ソリッドワイヤ (JIS Z3312) 相当以上
※高強度材を用いる場合、JASS6等の指針に従い柱とハイベースの強度ランクの高い方に適した溶接材料を使用する。

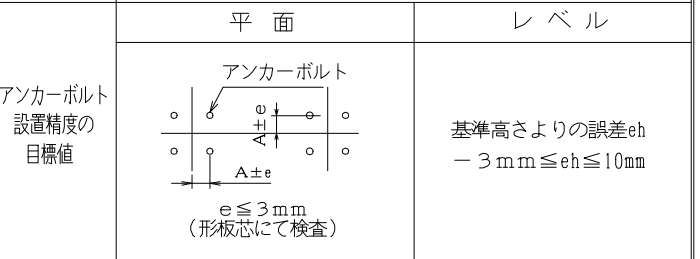
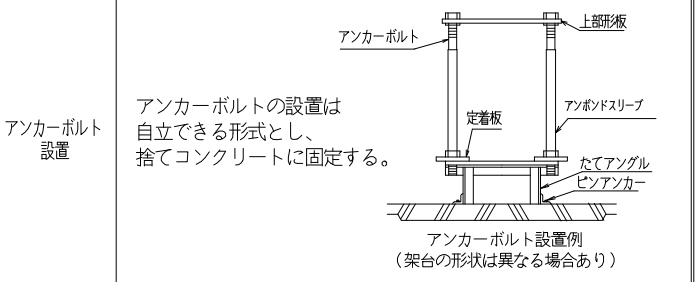
2. ベースプレートの鉄骨柱への取付け (柱端部に開先を設ける)
※ 柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接
開先はMC-TL-1 B、GC-TL-1 Bによる ※開先形状は参考



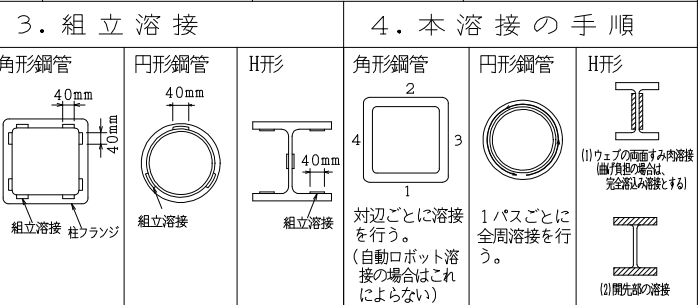
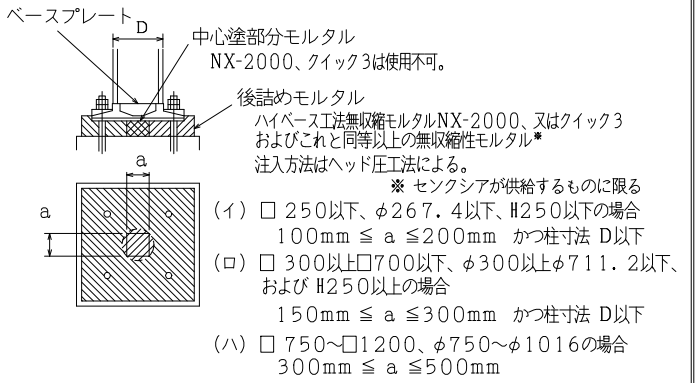
現場施工

(#): センクシアの担当範囲

1. 捨てコンクリート打設
柱脚部の捨てコンクリートの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。
2. 墨出し
3. アンカーボルト搬入 (#)
4. アンカーボルト据付 (#)



5. 鉄筋配筋・型枠の立込み
6. 基礎コンクリート打設
基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。
7. 中心塗り部分モルタル施工



5. 溶接施工一般
予熱 鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。
余盛 溶接余盛はベースプレート側A点から柱側B点へ向かってなめらかにする。余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手またはT継手余盛り高さに準拠する (Gタイプ)。
H形柱の溶接 エンドタブの取付とH形柱ウェブのすみ肉溶接

6. 検査
方法 溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正 (1) 有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。(2) 溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から50mm以上、はつり取り再溶接する。

注意 柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱によって曲ることがあります。

設計

1. 材質
(1) ベースプレート・アンカーボルト・ナット・座金・定着板
エコタイプ (EB型式、EM型式、EH型式)

	ベースプレート	アンカーボルト	エコナット	ナット	座金	定着板
規格	JIS G3136	HAB (大臣認定取得材)	JIS B1181 (六角ナット)	JIS G3106	JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材)	
ねじの種類	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
備考	SN490B SN490相当板厚4mm以下 板厚4mm超 降伏比 70%以下	—	—	強度区分	SM490A	SS400

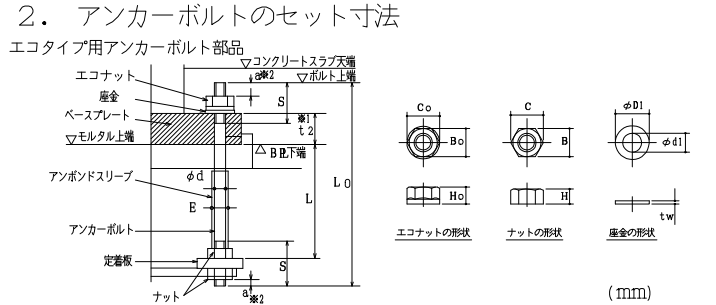
エコタイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。
Gタイプ (GB型式、GM型式、GH型式)

	ベースプレート	アンカーボルト	ナット	座金	定着板
規格	HCW490b HCW490st (大臣認定取得材)	HAB (大臣認定取得材)	JIS B1181 (六角ナット)	JIS G3106	JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材)
ねじの種類	—	メートル並目	メートル並目	—	—
備考	SN490B等 降伏比 70%以下	—	—	SM490A	SS400

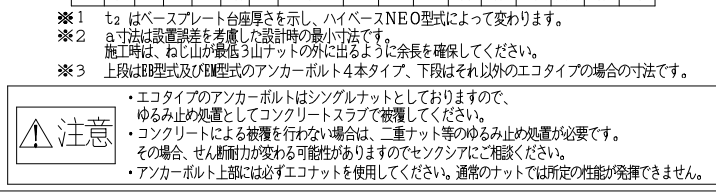
(2) ベースプレート下面のモルタル
後詰めモルタル ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮性モルタル*
中心塗り部分モルタル ○無収縮モルタルパッド用又は普通モルタル (NX-2000及びクイック3は使用不可。) ○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

(3) 基礎・基礎ばり
コンクリート 日本建築学会「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート
設計基準強度は、 $f_c = 18 \sim 36 \text{ N/mm}^2$
鉄筋 JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼
柱形 へりあき量は、ベースプレート外形寸法の0.1倍以上確保しなければならない。

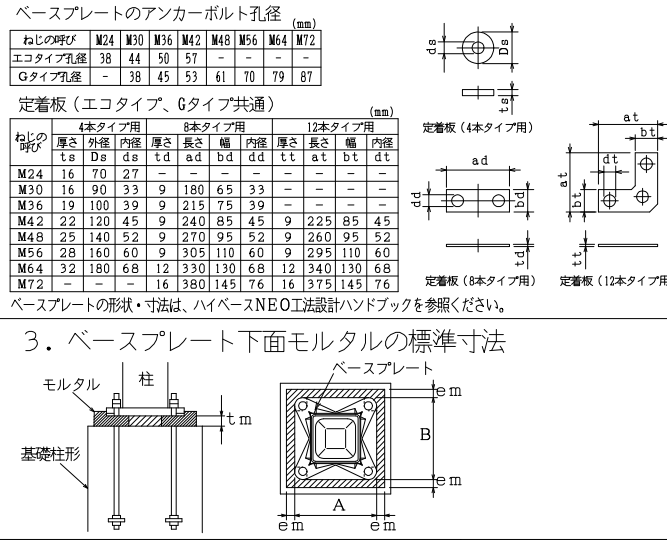
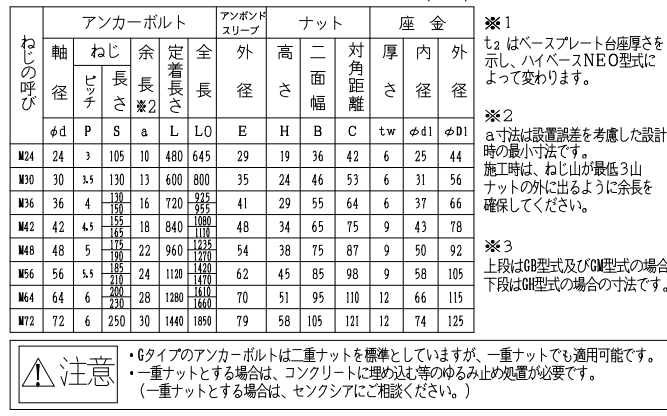
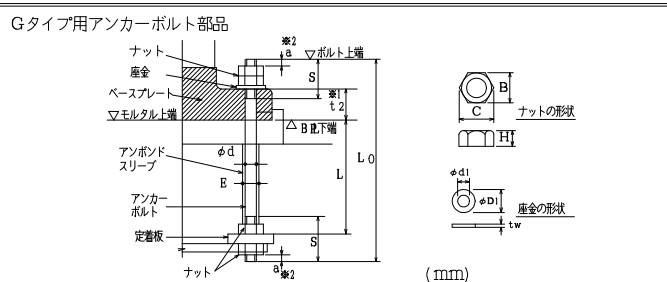
2. アンカーボルトのセット寸法
エコタイプ用アンカーボルト部品



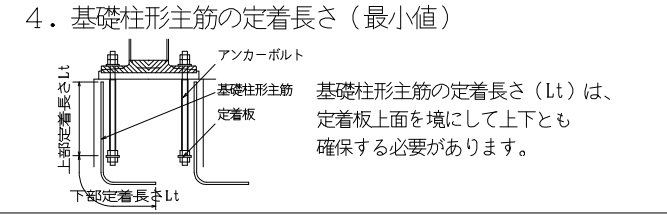
呼び	軸径	ねじピッチ	余長	定着長さ	全長	外径	高さ	対角距離	厚さ	内径	外径		
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36	42	6	25	44
M30	30	3	130	13	600	800	35	24	46	53	6	31	56
M36	36	4	138	16	720	945	41	29	55	64	6	37	66
M42	42	4	155	18	840	1080	48	34	65	75	9	43	78
M48	48	5	185	22	960	1275	54	38	75	87	9	50	92
M56	56	5	195	24	1120	1460	62	45	85	98	9	58	105
M64	64	6	220	28	1280	1660	70	51	95	110	12	66	115
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125



注意 エコタイプのアンカーボルトはシングルナットとしておきますので、ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。
コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。その場合、せん断耐力が変わる可能性がありますのでセンクシアにご相談ください。
アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは所定の性能が発揮できません。



各部名称	寸法	備考
中心塗り部分モルタルの厚さ (tm)	標準寸法 $tm = 50 \text{ mm}$	許容範囲 $30 \leq tm \leq 70 \text{ mm}$
ベースプレート周辺のモルタル幅 (em)	$em \geq 30 \text{ mm}$	許容範囲 $em \geq 25 \text{ mm}$



センクシア株式会社

URL <https://www.senqcia.co.jp/>

本社 TEL 03-4214-1932
札幌 TEL 011-708-1177
東北 TEL 022-213-5595

関東 TEL 027-322-9411
中部 TEL 052-582-3356
北陸 TEL 076-233-5260

関西 TEL 06-6395-2133
中四国 TEL 082-240-1630
九州 TEL 092-452-0341

株式会社 福見建築設計事務所
富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号 記事
構造担当主任技術者 小見 直輝 一級建築士登録第334722号 構造設計一級建築士交付番号第10733号

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事 日付 2023.10 図面番号
図面名称 ハイベースNEO工法設計施工標準-1 縮尺 [A1] 1/100 [A3] 1/200 構造

QL デッキ合成スラブ設計・施工標準 **耐火仕様** **JFE 建材 株式会社** 合成スラブ工業会仕様

QLデッキ合成スラブリート設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」、「鉄骨工事技術指針」、「建築工事標準仕様書・同解説」JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事、
(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工標準 2018」、合成スラブ工業会「合成スラブリート設計・施工マニュアル」、QLデッキ設計マニュアル、同施工マニュアルによる。

設 計

材料/デッキプレート [ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理
□QL99-50 □QL99-75	端部加工 □有 □無	□表面防錆処理(一次塗装) QLプライマー(P) ^{※1}
		□垂れ止め [□Z12 □Z27] □JFEI [®] (高耐食溶融めっき鋼板) [□Y18 □Y27] □その他 () □無し
材 質	JIS G 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G	

*1 現場納入までの一歩防錆 (JIS K 5621 2種または3種相当)

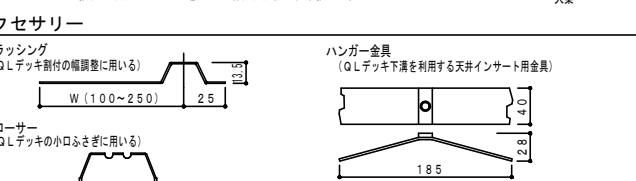
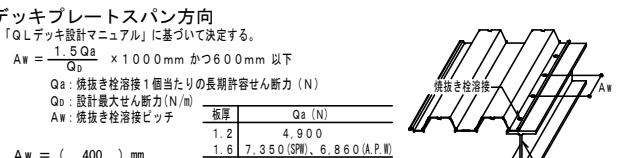
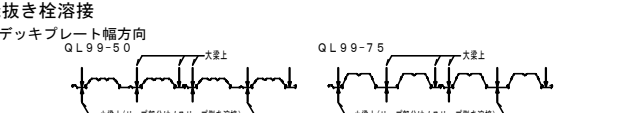
種 類	□普通コンクリート □軽量コンクリート [□1種 □2種]
設計基準強度	□18 □21 □24 □ () N/mm ²
厚さ(QLデッキ山)	□60 □70 □80 □85 □90 □95 □100 □ () mm

材料/溶接金網・異形鉄筋	
溶接金網	JIS G 3551 □φ6-75×75 □φ6-150×150 □φ6-100×100 () ^{※2}
異形鉄筋	JIS G 3112、3117 □D10-150×150 □D10-200×200 □ ()
耐久補強筋	JIS G 3112、3117 D13-φ300 ^{※2} 線径6mm以上を用いたもの
接 合	
梁 と の 接 合	□打付キスタッド JIS B 1198 □φ13 □φ16 □φ19 □φ22 (各長さ・ピッチは特記による ^{※3})
	□溶接キ接合 (下記溶接キ接合の項による)
	□打込み板 (接合箇所は特記による)
	□その他 ()
<small>*3 最小長さはデッキ高さ+30mm以上とする</small>	

耐 火		
デッキプレート	耐火区分	認定番号
QL99-50 QL99-75	床1時間	単続 □FP060FL-9101
	床2時間	連続 □FP060FL-9095
		単続 □FP120FL-9113
		連続 □FP120FL-9107
<small>(注) 床2時間は床1時間耐火を含む</small>		

特 記
支保工有無 □他: () □ ()
□無 □有

上欄内の採用項目に□を記して下さい。



施工時許容スパン表 (デッキプレートの検討)

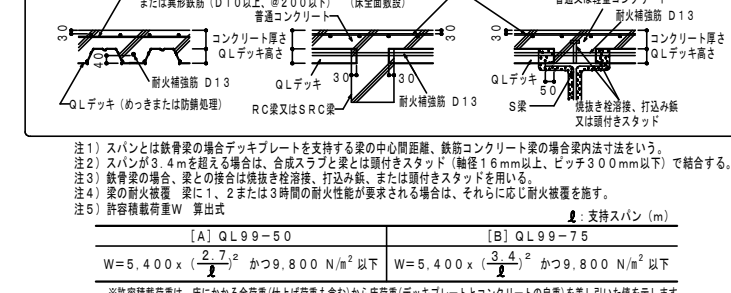
コンクリート厚 (mm)	60	70	80	90	100
単続 (内法)	2.52 (2.52)	2.47 (2.47)	2.42 (2.42)	2.37 (2.37)	2.33 (2.33)
2連続	3.38 (3.38)	3.31 (3.31)	3.24 (3.24)	3.18 (3.18)	3.13 (3.13)
3連続	3.12 (3.12)	3.05 (3.05)	2.99 (2.99)	2.93 (2.93)	2.88 (2.88)

耐 火 仕 様

【連続支持合成スラブ】				
耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	許容積荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m以下	80mm以上 φ6-150×150
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上 φ6-100×100
		QL99-50	3.0m以下	80mm以上 φ6-150×150
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	95mm以上 φ6-100×100
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上 φ6-100×100
		QL99-50	2.7m以下	85mm以上 φ6-100×100

【単純支持合成スラブ】				
耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	許容積荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上 φ6-150×150
	軽量コンクリート	QL99-75	2.7m以下	80mm以上 φ6-150×150
		QL99-50	3.4m以下	90mm以上 φ6-100×100
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	95mm以上 φ6-100×100
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上 φ6-100×100
		QL99-50	2.7m以下	85mm以上 φ6-100×100

耐火区分別許容積荷重				
耐火区分	コンクリート種類	品 名	支持スパン	許容積荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上 φ6-150×150
	軽量コンクリート	QL99-75	2.7m以下	80mm以上 φ6-150×150
		QL99-50	3.4m以下	90mm以上 φ6-100×100
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	95mm以上 φ6-100×100
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m以下	90mm以上 φ6-100×100
		QL99-50	2.7m以下	85mm以上 φ6-100×100

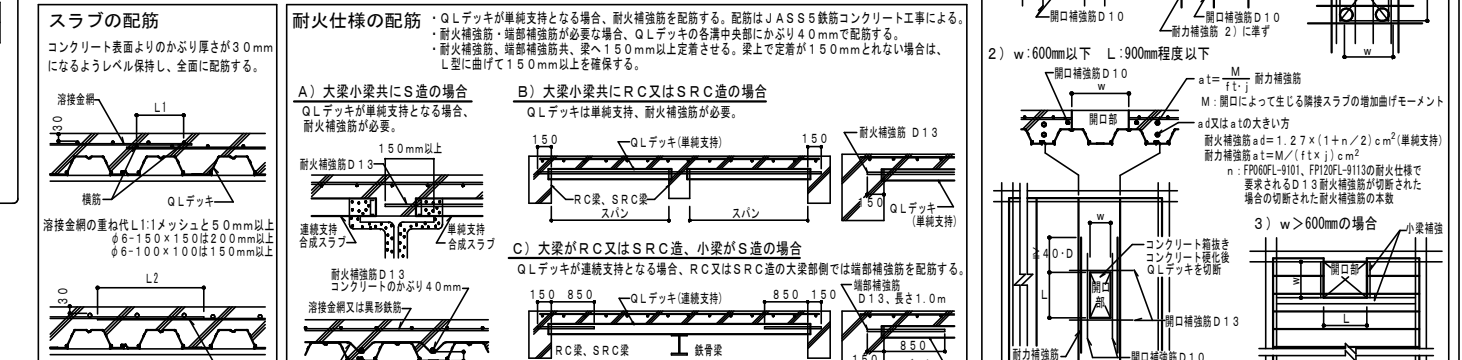
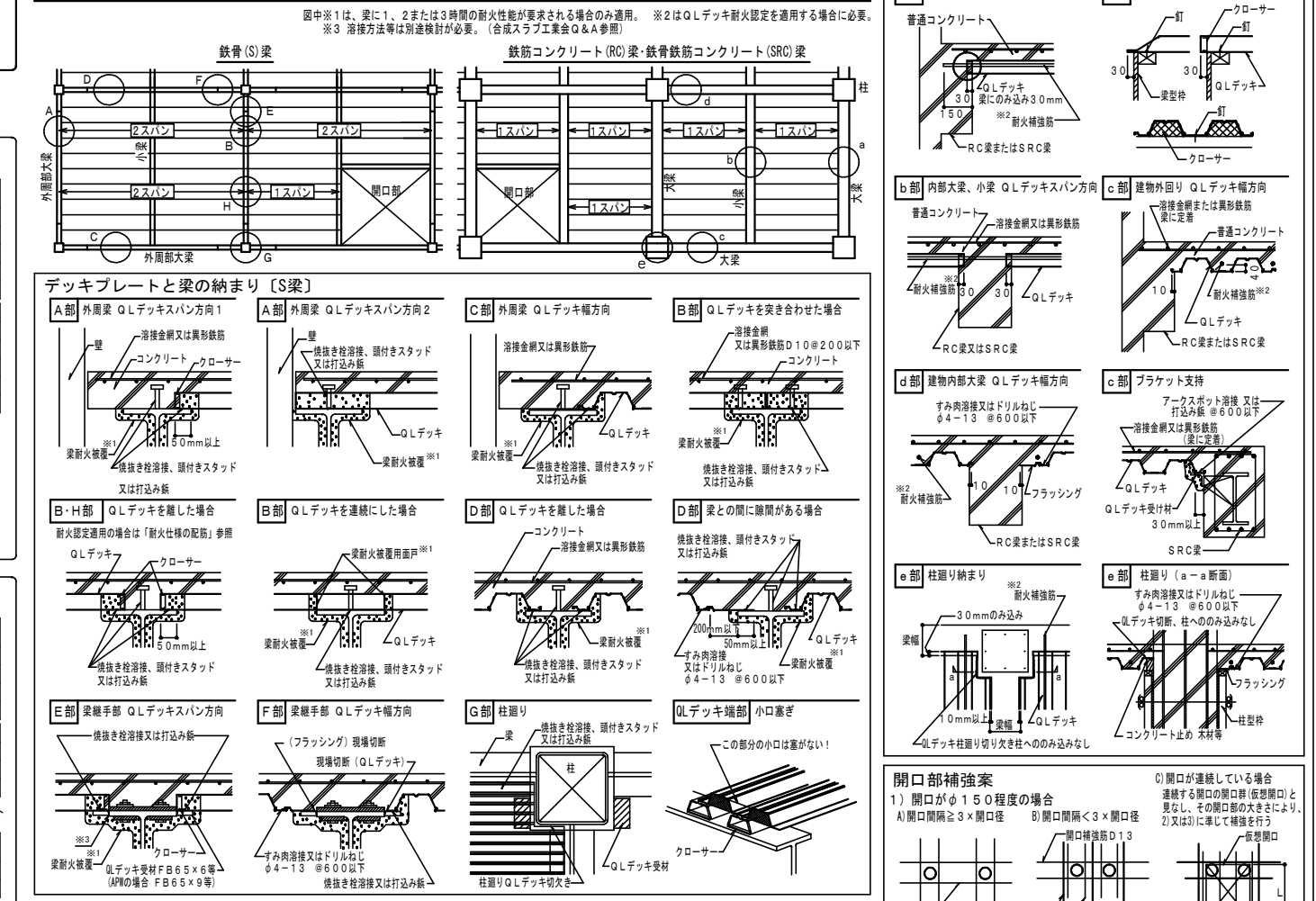


注1) スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支える梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内寸法をいう。
注2) スパンが3.4mを超える場合は、合成スラブとは打付キスタッド (軸径16mm以上、ピッチ300mm以下) で結合する。
注3) 鉄骨梁の場合、梁との結合は溶接キ接合、打込み板、または打付キスタッドを用いる。
注4) 梁の耐火保護 梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じた耐火保護を施す。
注5) 許容積荷重 W 算出式

敷 込 み		
敷込み	鉄骨梁の場合	RC梁またはSRC梁の場合
1) 敷込み	1) 敷込み	1) デッキプレートは梁型枠内に止める。
2) 敷込み	2) デッキプレートの梁型枠への向きが傾斜しないよう注意する。	2) デッキプレートの梁型枠への向きが傾斜しないよう注意する。
3) 敷込み	3) デッキプレート長手方向の梁の向きが傾斜しないよう注意する。	3) デッキプレート長手方向の梁の向きが傾斜しないよう注意する。

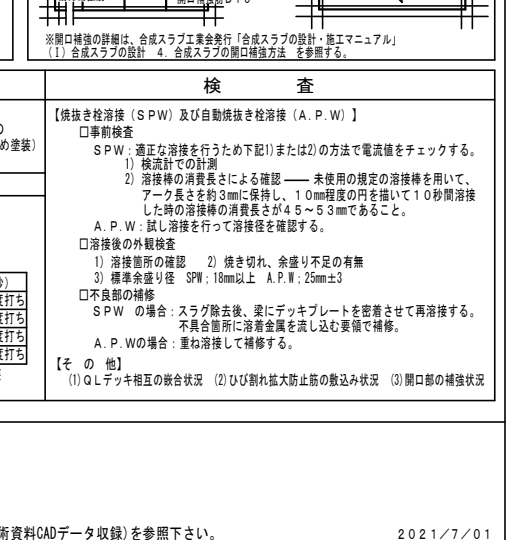
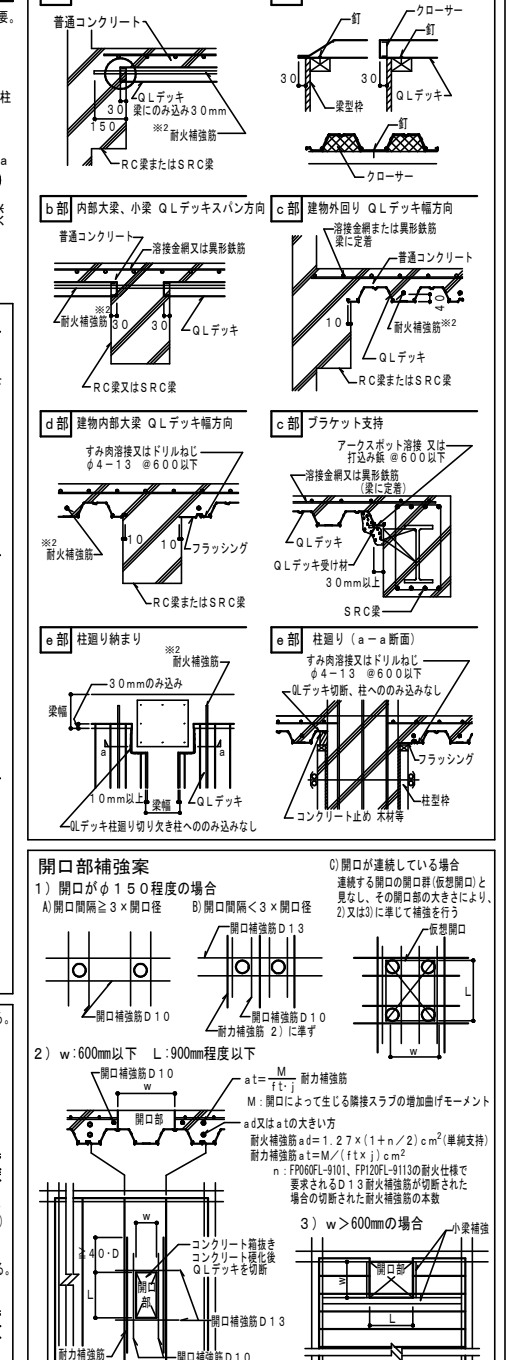
S造・施工時のスパンの取り方	
【単純支持】	【連続支持】

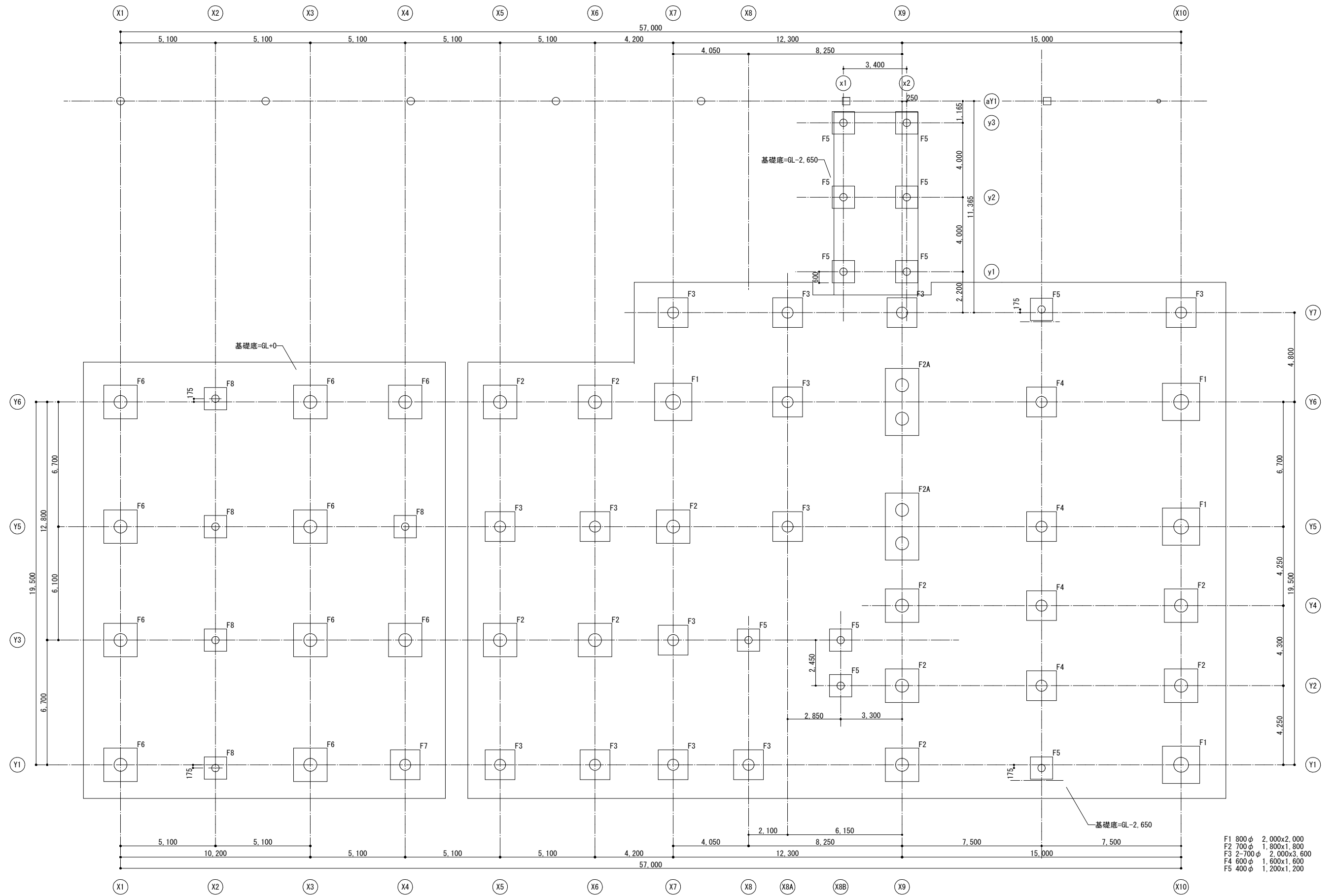
標 準 納 ま り



その他の納まり・参考例については、QLデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

デッキプレートと梁の納まり [RC・SRC梁]





- F1 800φ 2,000x2,000
- F2 700φ 1,800x1,800
- F3 2-700φ 2,000x3,600
- F4 600φ 1,600x1,600
- F5 400φ 1,200x1,200

杭基礎伏図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

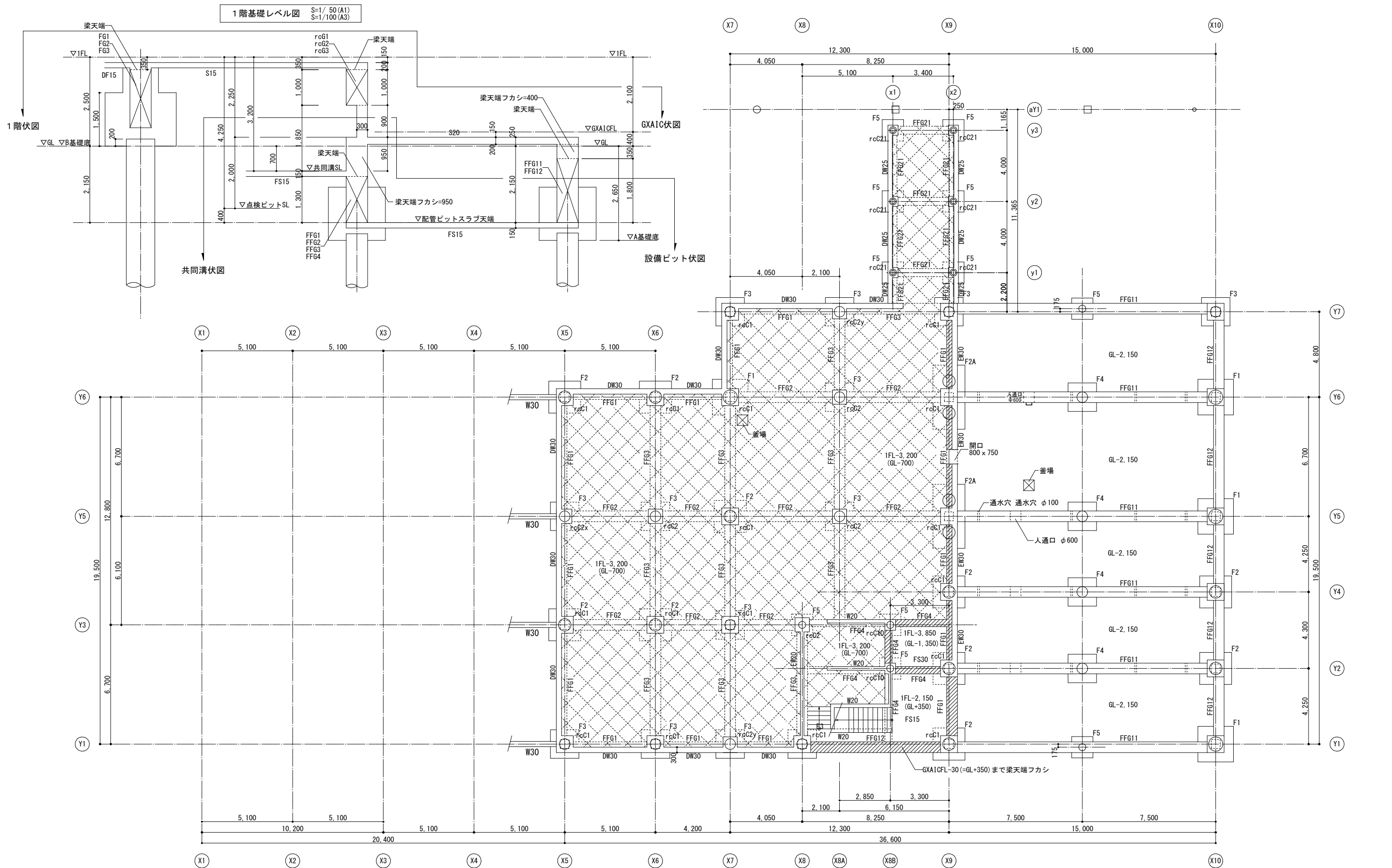
杭工法
MAGNUM-BASIC工法

杭先端
GL+0.10m

..... F6...P6 上杭: HSCφ700(SKK490 t=9.105N) 5.0m 下杭: PHCφ700(A種85N) 9.0m n=1.20 LRa=2400kN/本
 F7...P7 上杭: HSCφ600(SKK490 t=9.105N) 5.0m 下杭: PHCφ600(A種85N) 9.0m n=1.20 LRa=2000kN/本
 F8...P8 上杭: PHCφ400(C種85N) 5.0m 下杭: PHCφ400(A種85N) 9.0m n=1.20 LRa=900kN/本

杭先端
GL-2.55m

..... F1...P1 上杭: HSCφ800(SKK490 t=9.105N) 5.0m 下杭: PHCφ800(A種85N) 7.0m n=1.20 LRa=3500kN/本
 F2...P2 上杭: HSCφ700(SKK490 t=9.105N) 5.0m 下杭: PHCφ700(A種85N) 7.0m n=1.20 LRa=2700kN/本
 F2a...P2杭1, 2本打ち基礎
 F3...P3 上杭: HSCφ600(SKK490 t=9.105N) 5.0m 下杭: PHCφ600(B種85N) 7.0m n=1.20 LRa=2000kN/本
 F4...P4 PHCφ600(C種85N) 12.0m n=1.20 LRa=2000kN/本
 F5...P5 PHCφ400(C種85N) 12.0m n=1.20 LRa=1000kN/本



1階基礎レベル図 S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

共同溝床

スラブ天端=GL-700

共同溝伏図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

1SL=GL-700=1FL-3.200
特記無きスラブはFS15とする。

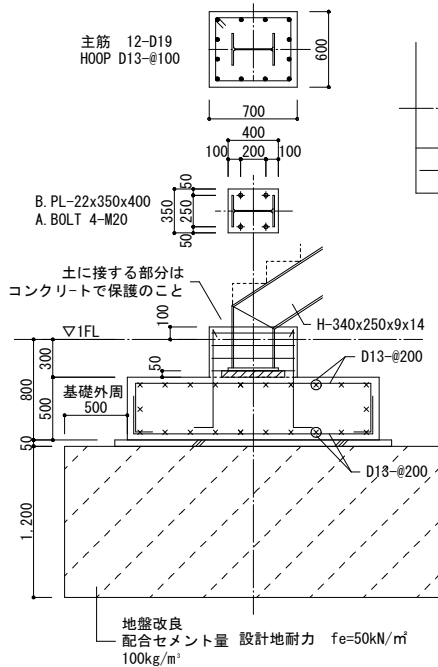
設備ピット伏図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

GX1FL=GL+400=1FL-2.100
特記無きスラブはS20とする。

特記無し

設備ピットスラブ天端=GX1FL-2.550

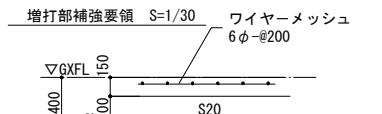
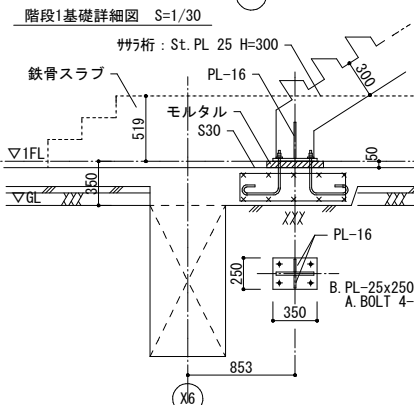
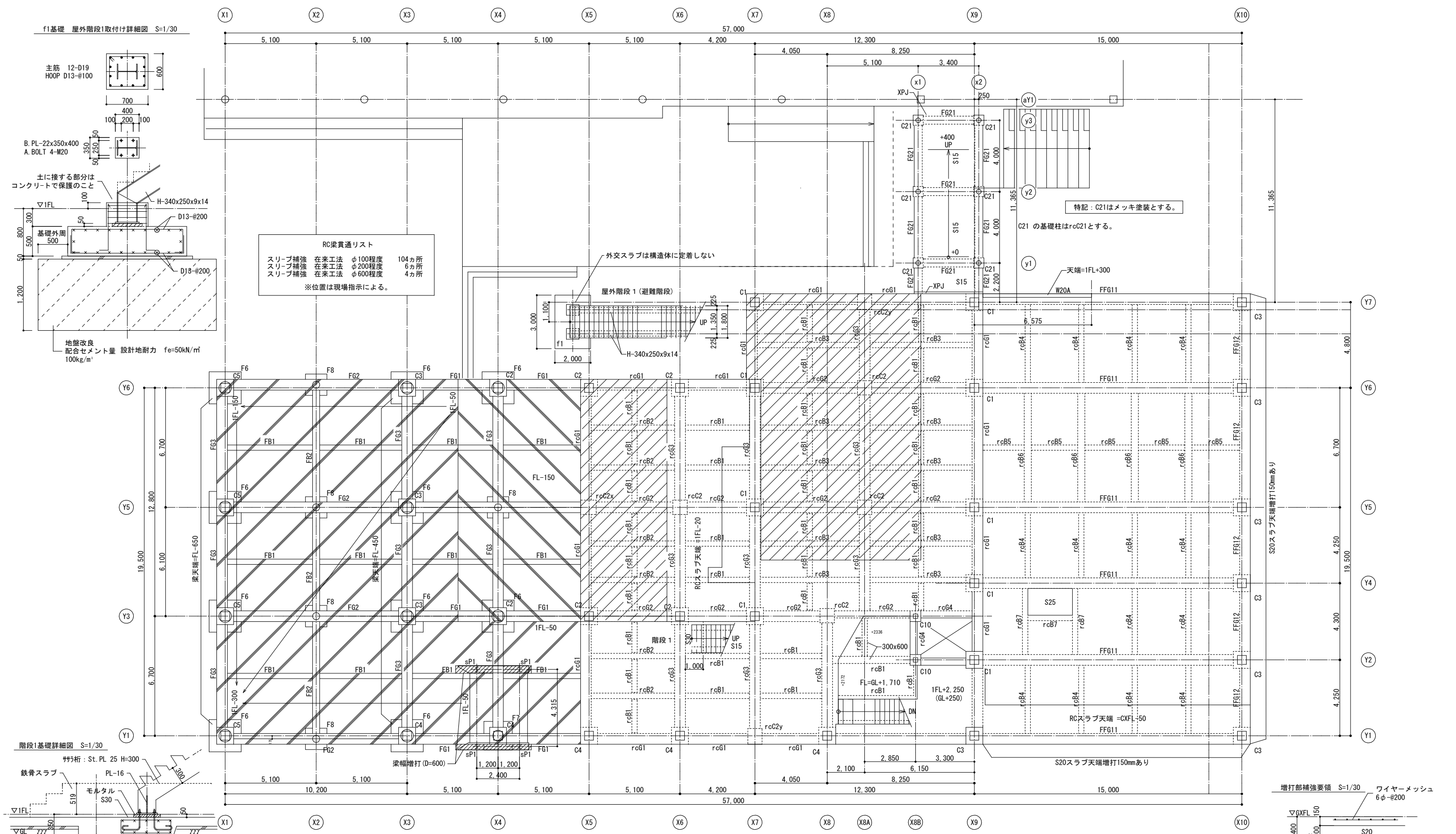
f1基礎 屋外階段1取付け詳細図 S=1/30



RC梁貫通リスト

スリブ補強	在来工法	φ100程度	104カ所
スリブ補強	在来工法	φ200程度	6カ所
スリブ補強	在来工法	φ600程度	4カ所

※位置は現場指示による。



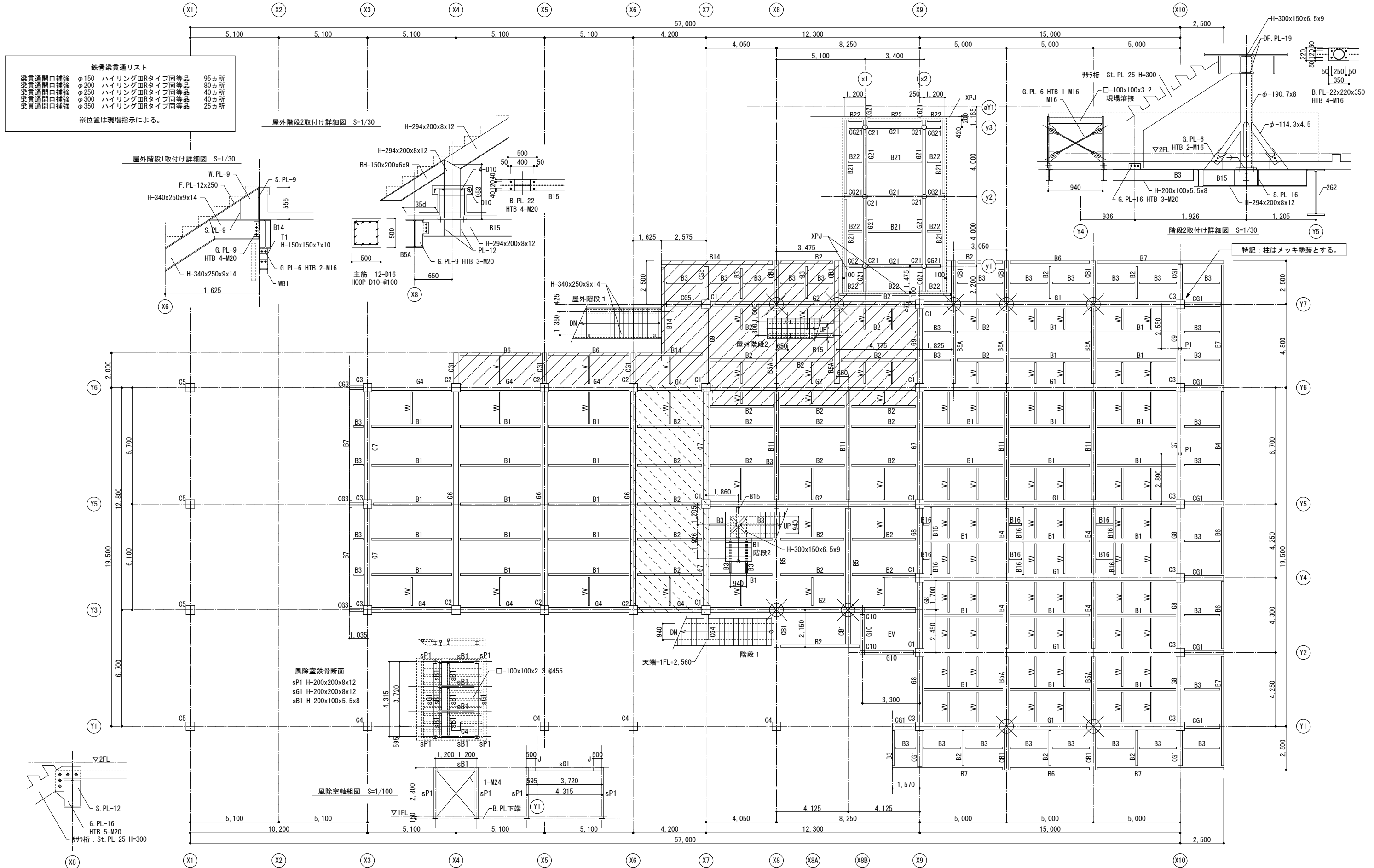
1階伏図 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)

IFL=GL+2.500

GXAIC伏図 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)

GX1FL=GL+400=IFL-2.100
特記無きスラブはS20とする。

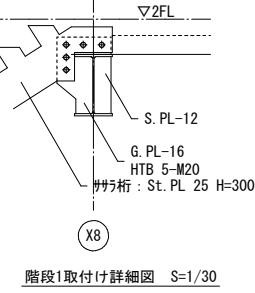
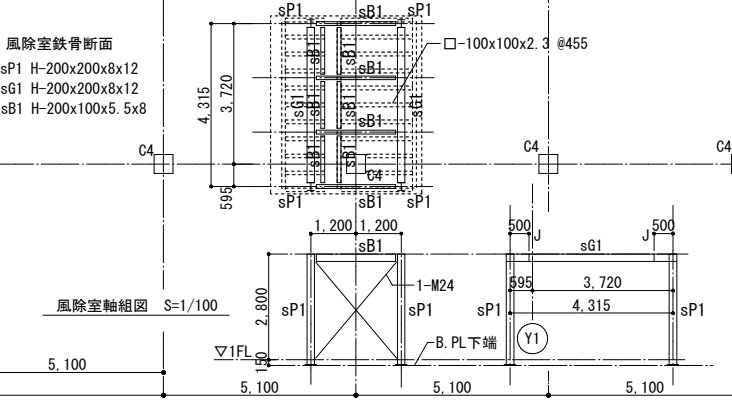
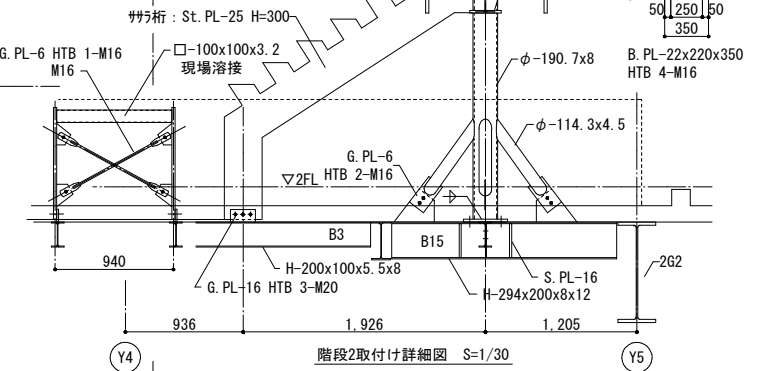
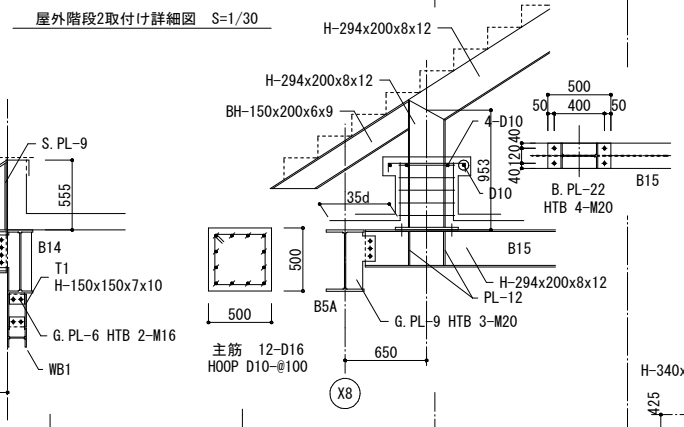
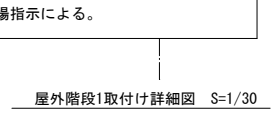
- 特記なき土間スラブはDS15とする。
- 特記なき土間スラブはDS15とする。
- 特記なきRCスラブ天端 = IFL-50
- 特記なきRCスラブ天端 = IFL-150
- 特記なきRCスラブ天端 = IFL-50
- 特記なきRCスラブ天端 = IFL-150
- 特記なき構造スラブはS15とする。
- 特記なき構造スラブはS15とする。
- 特記なきスラブ天端 = GX1FL-150



鉄骨梁貫通リスト

梁貫通開口補強 φ150	ハイリングⅢRタイプ同等品	95カ所
梁貫通開口補強 φ200	ハイリングⅢRタイプ同等品	80カ所
梁貫通開口補強 φ250	ハイリングⅢRタイプ同等品	40カ所
梁貫通開口補強 φ300	ハイリングⅢRタイプ同等品	40カ所
梁貫通開口補強 φ350	ハイリングⅢRタイプ同等品	25カ所

※位置は現場指示による。



2階伏図 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3) 2FL=1FL+4,500

固定仕口を示す

QLデッキ方向

鉄骨梁天端 = デッキスラブ天端 - 130

特記無し

デッキスラブ天端 = 2FL-150
鉄骨梁天端 = 2FL - 280

デッキスラブ天端 = 2FL-300
鉄骨梁天端 = 2FL - 430

デッキスラブ天端 = 2FL-20
鉄骨梁天端 = 2FL - 150

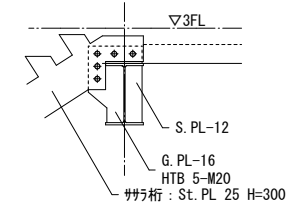
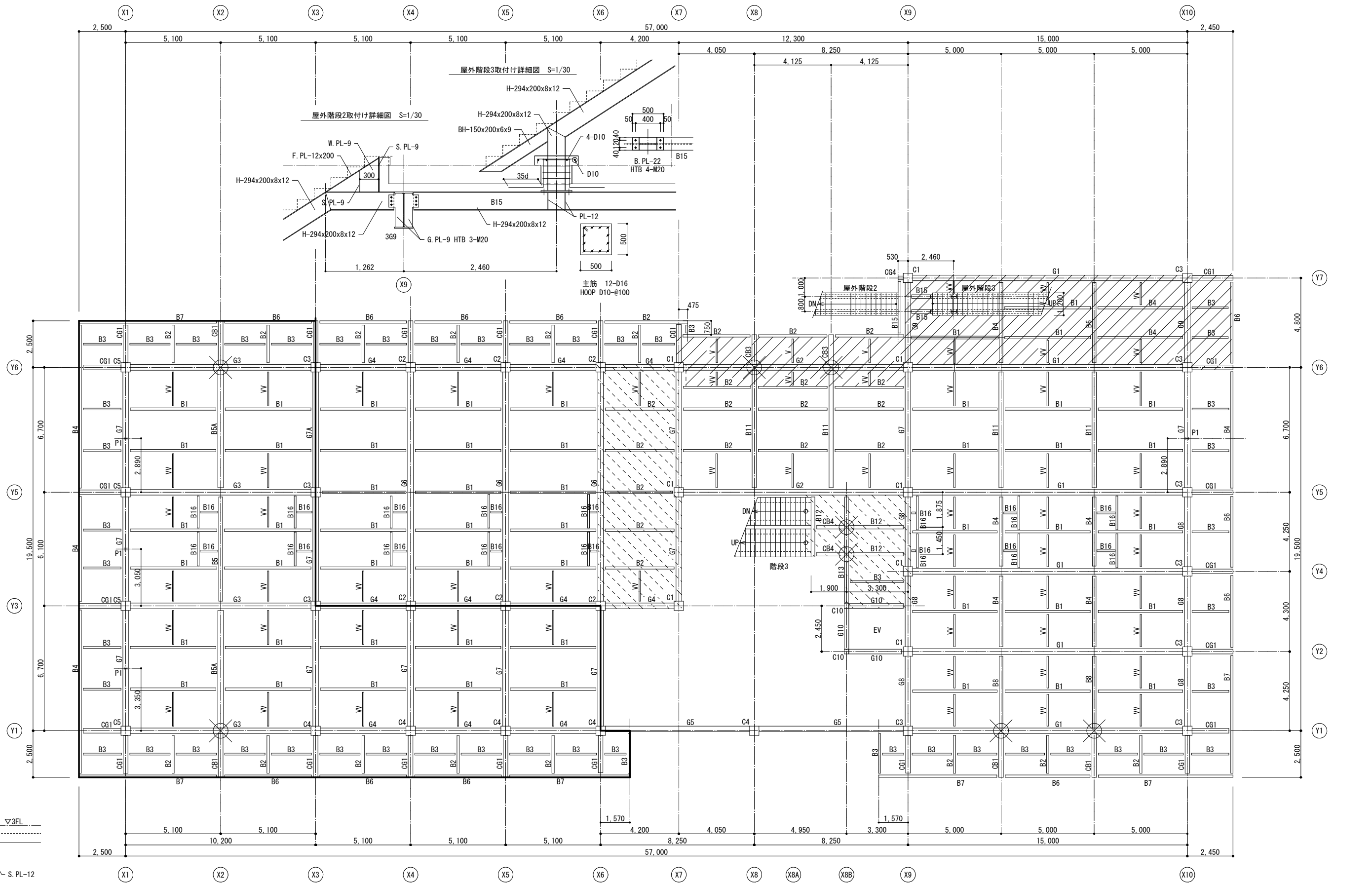
株式会社 福見建築設計事務所
富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
構造担当主任技術者 小見 直輝 一級建築士登録第334722号
構造設計一級建築士交付番号第10733号

記事

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事
日付 2023.10
図面名称 2階伏図
縮尺 [A1] 1/100 [A3] 1/200

日付 2023.10
図面番号 S-13
構造



階段3付け詳細図 S=1/30

別図で天井受け下地材表示

- ⊗ — 固定仕口を示す
- ↔ — 0Lデッキ方向
- 3階伏図 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3) 鉄骨梁天端 = デッキスラブ天端 - 130
- 特記無し
- デッキスラブ天端 = 3FL-150 鉄骨梁天端 = 3FL - 280
- ▨ — デッキスラブ天端 = 3FL-300 鉄骨梁天端 = 3FL - 430
- ▧ — デッキスラブ天端 = 3FL-200 鉄骨梁天端 = 3FL - 150

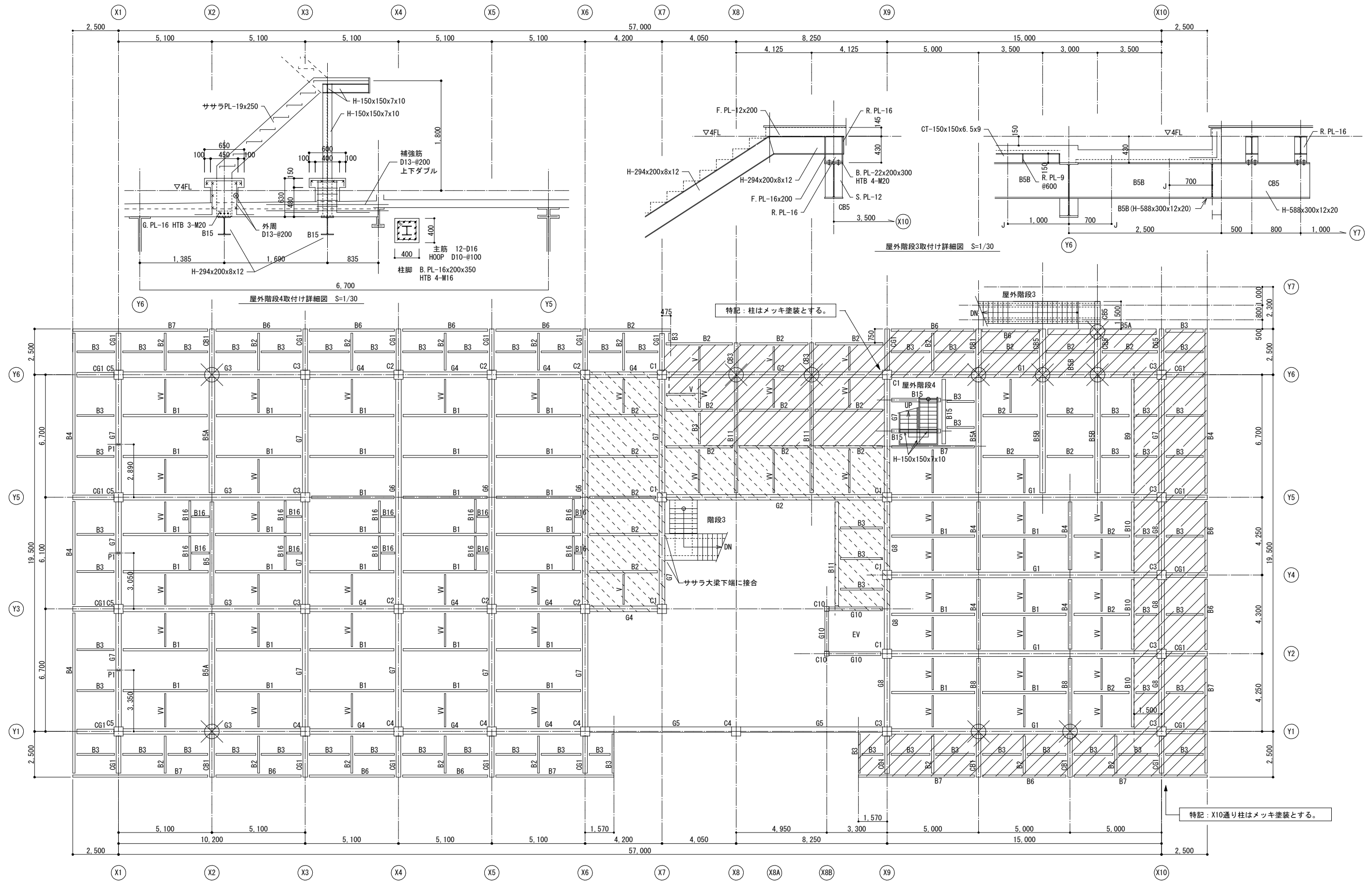
株式会社 福見建築設計事務所
 富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
 管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
 構造担当主任技術者 小見 直輝 一級建築士登録第334722号
 構造設計一級建築士交付番号第10733号

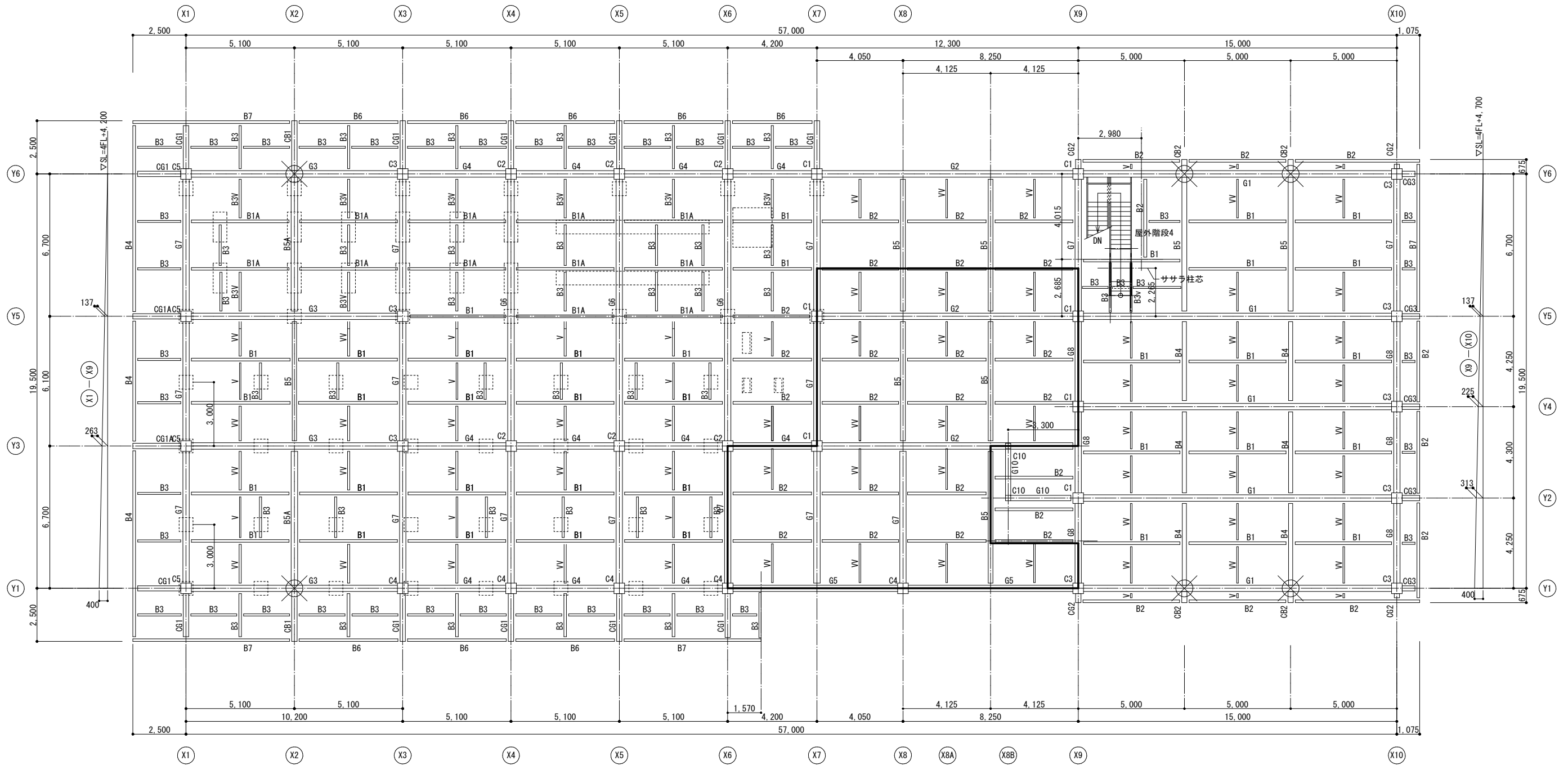
記事

工事名称 富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事
 日付 2023.10
 図面名称 3階伏図
 縮尺 [A1] 1/100 [A3] 1/200

図面番号 S-14
 構造



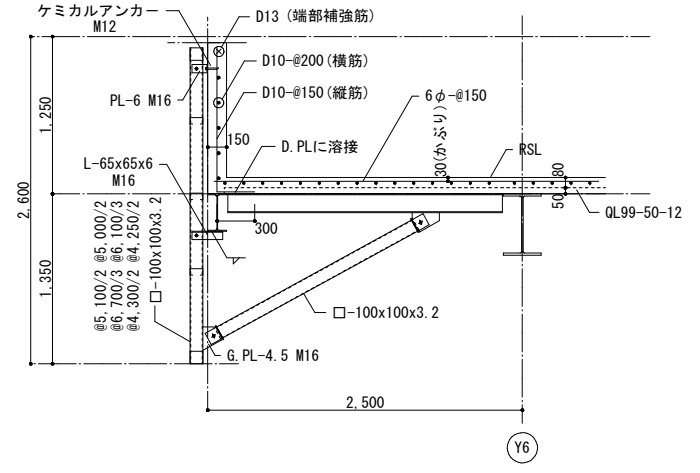
⊗ 固定仕口を示す ← OLデッキ方向 4階伏図 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3) 鉄骨梁天端 = デッキスラブ天端 - 130 特記無し — デッキスラブ天端 = 4FL-150 鉄骨梁天端 = 4FL - 280 [斜線] — デッキスラブ天端 = 4FL-300 鉄骨梁天端 = 4FL - 430 [点線] — デッキスラブ天端 = 4FL-20 鉄骨梁天端 = 4FL - 150



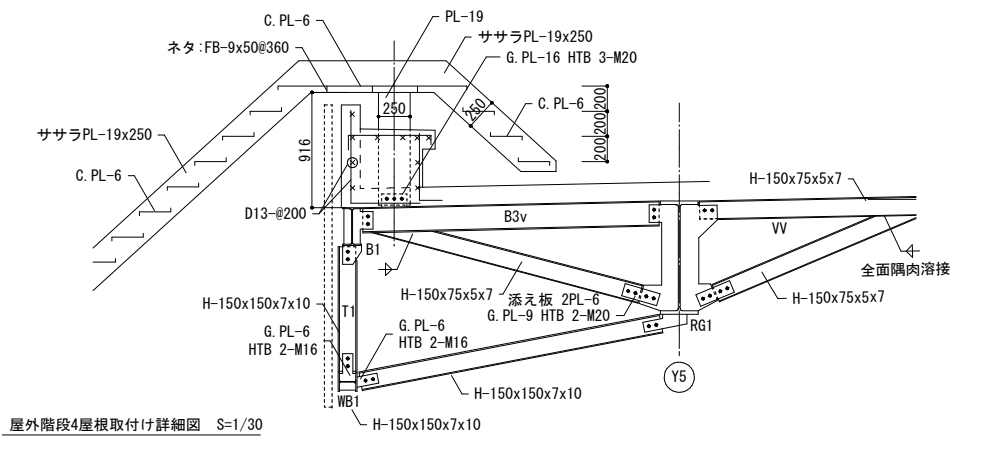
R階伏図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
水下=4FL+4,200 (水上+400)

⊗ — 固定仕口を示す ↑ — QLデッキ方向 鉄骨梁天端 = デッキスラブ天端 - 130

別図で天井受け下地材表示



屋根底・バルコニー・テラス先端手すり構造詳細図 S=1/30



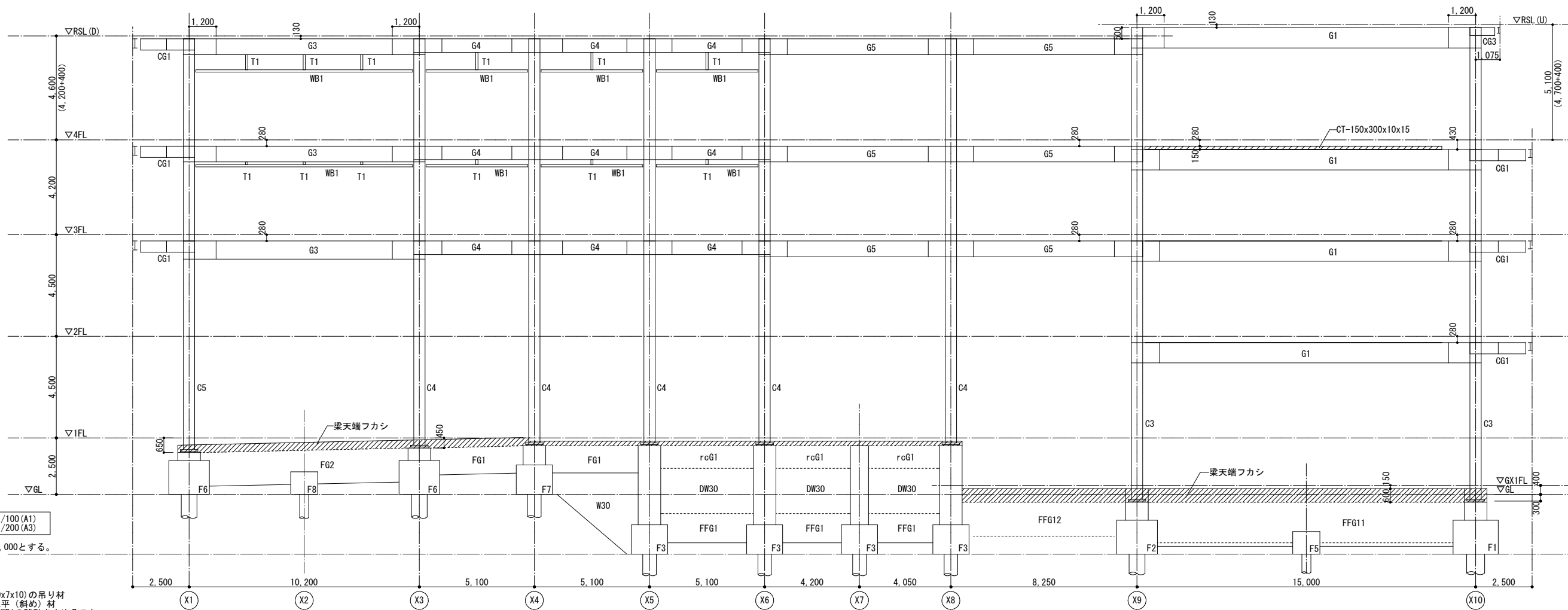
屋外階段4屋根取付け詳細図 S=1/30

株式会社 福見建築設計事務所
富山市弥生町二丁目1番1号 phone 富山 076-432-7855 (代表)
管理建築士 1級建築士登録第247715号 西野 晴仁

管理技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号
構造担当主任技術者 小見 直輝 一級建築士登録第334722号
構造設計一級建築士交付番号第10733号

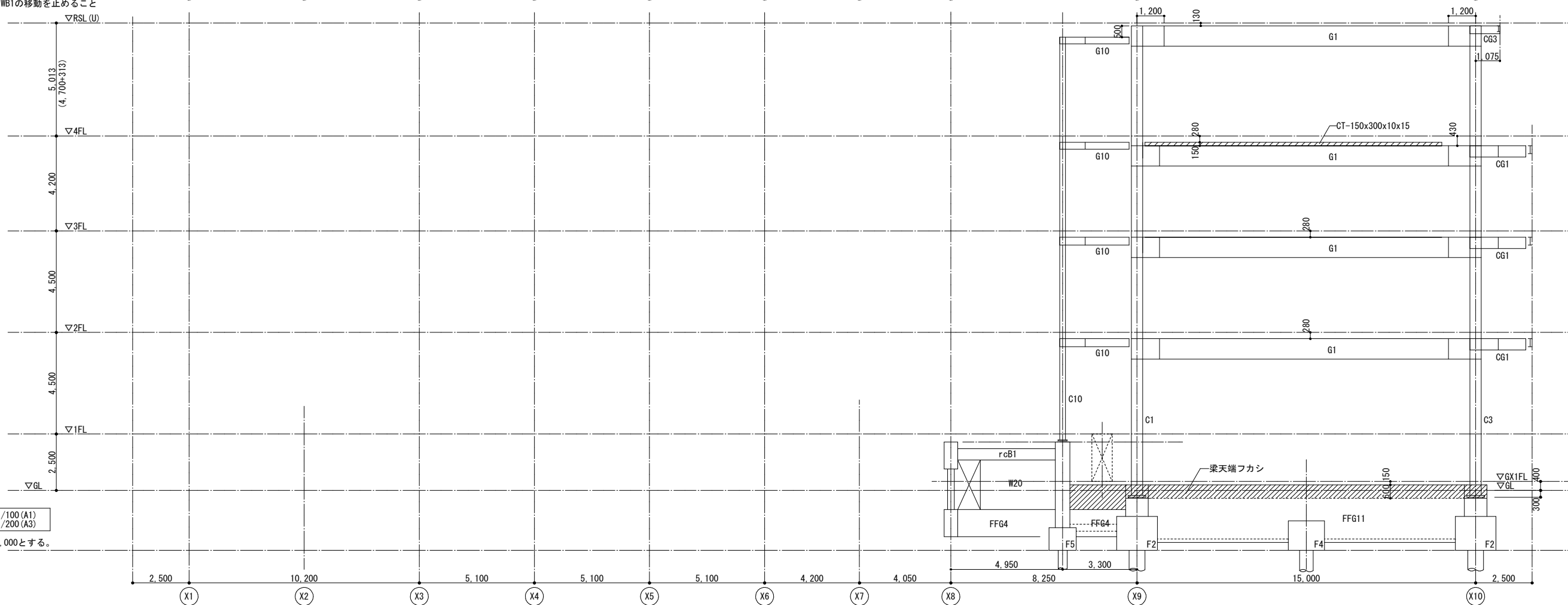
記事

工事名称	富山県立大学情報工学部設置に伴う新棟新築工事	日付	2023.10	図面番号	S-16
図面名称	屋根伏図	縮尺	[A1] 1/100 [A3] 1/200	構造	

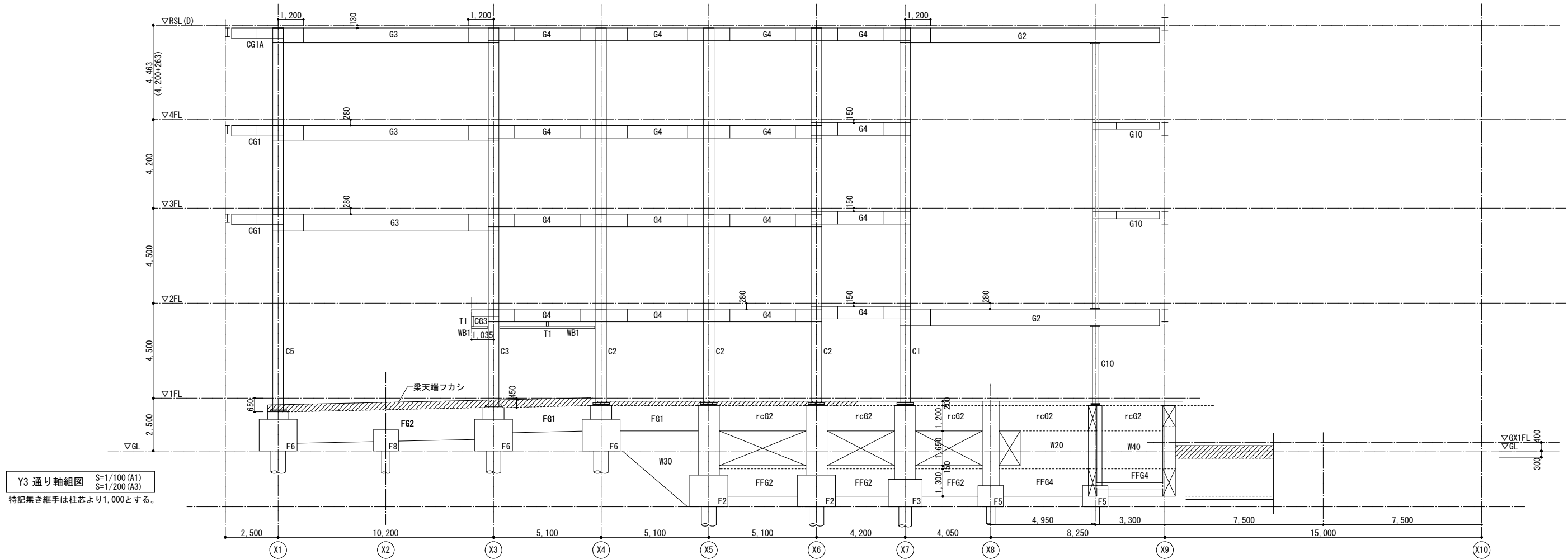


Y1 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。

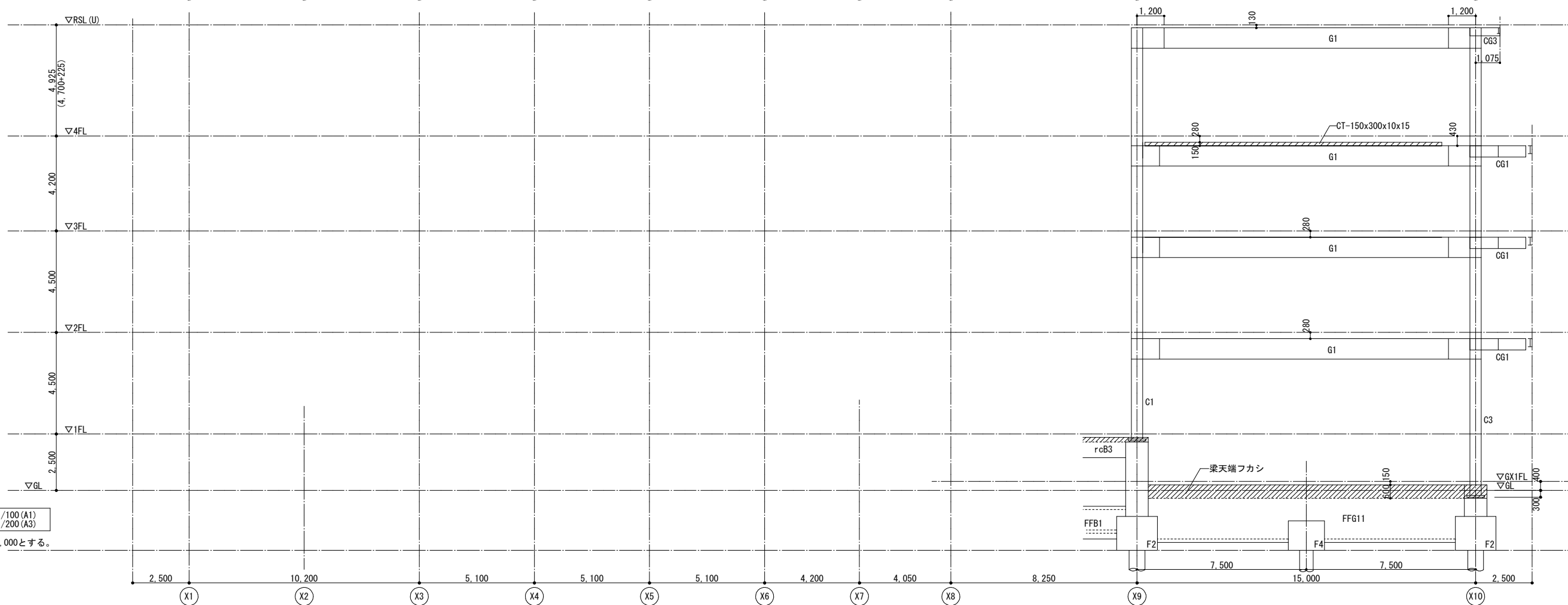
特記
耐風梁 WB1 (横使い: 150x150x7x10) の吊り材
T1 (H=150x150x7x10) 途中に水平 (斜め) 材
H1 (150x150x7x10) を配置してWB1の移動を止めること



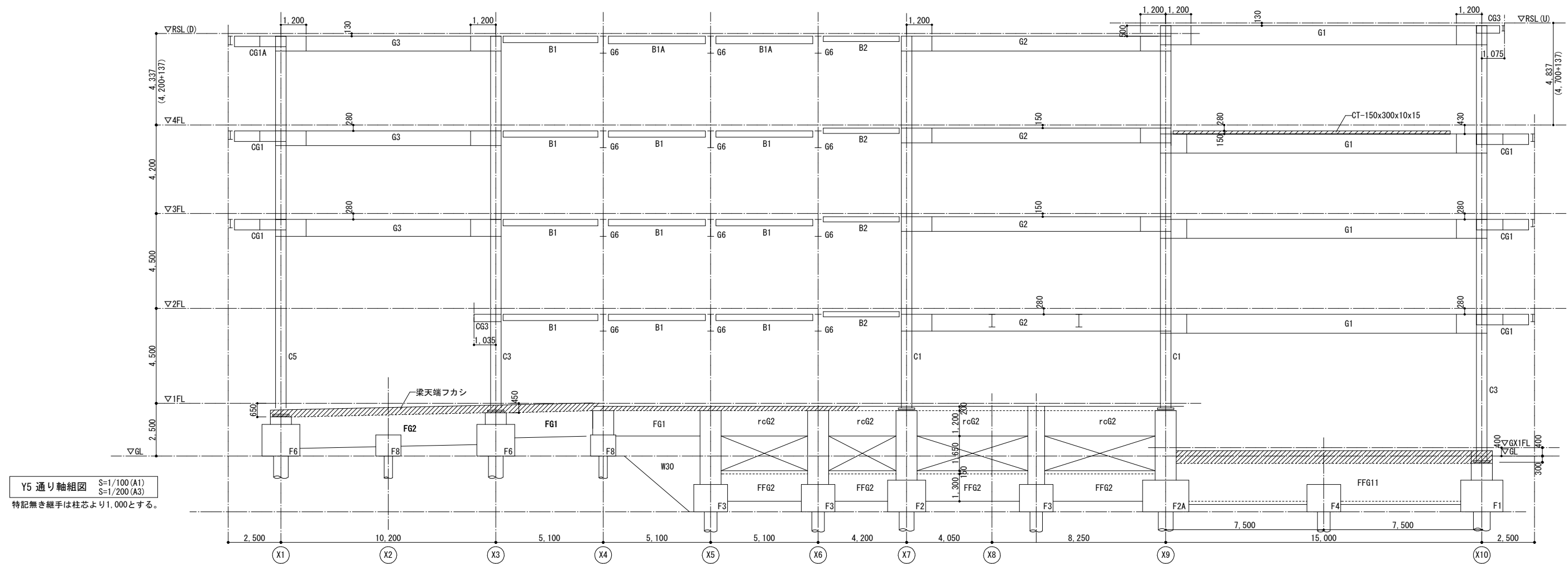
Y2 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。



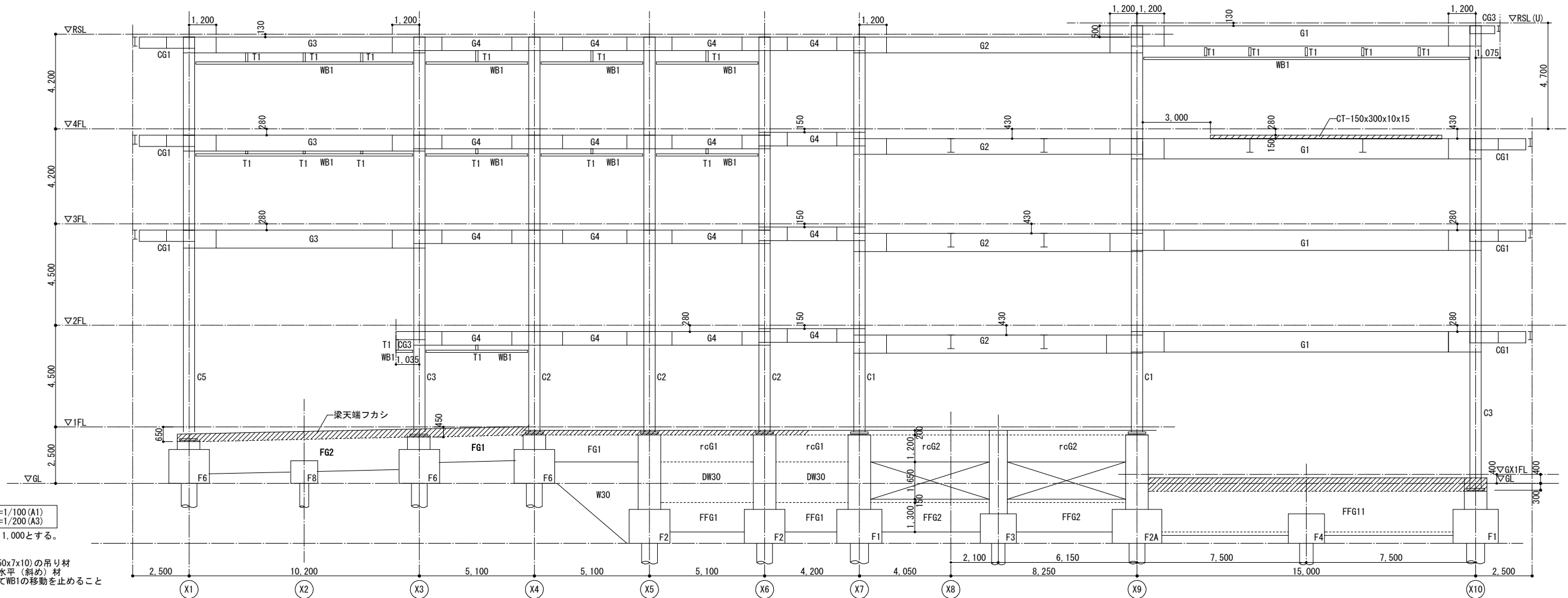
Y3 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。



Y4 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。

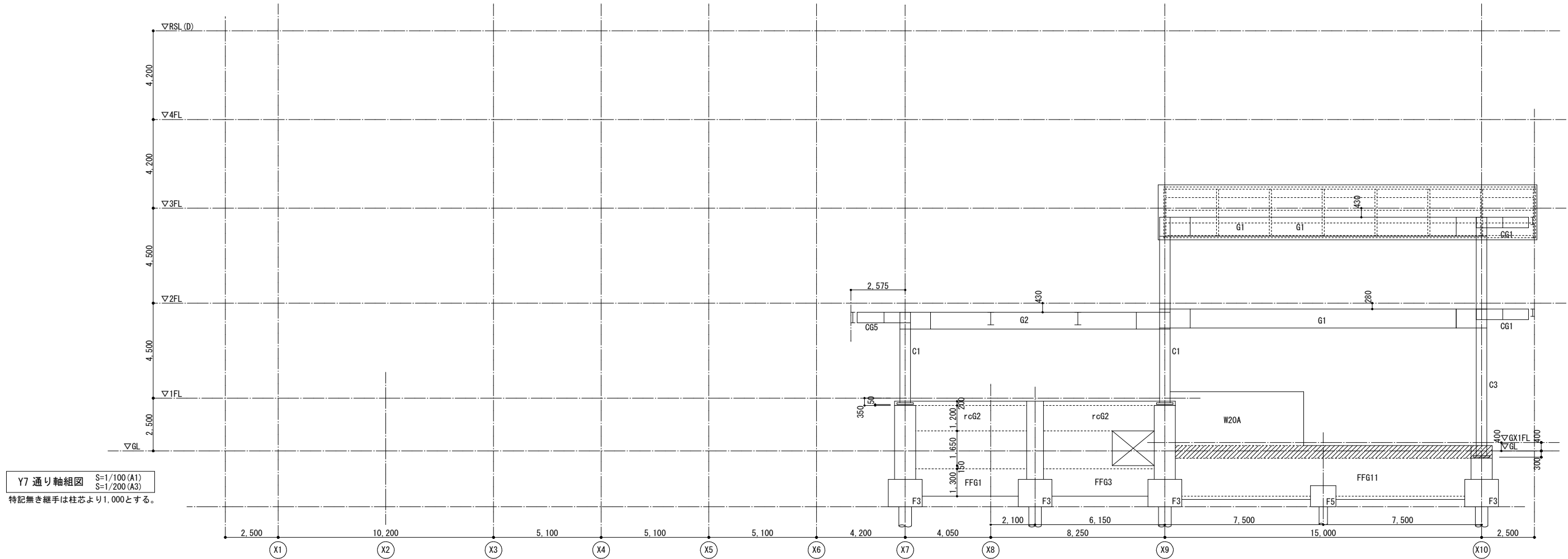


Y5 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。

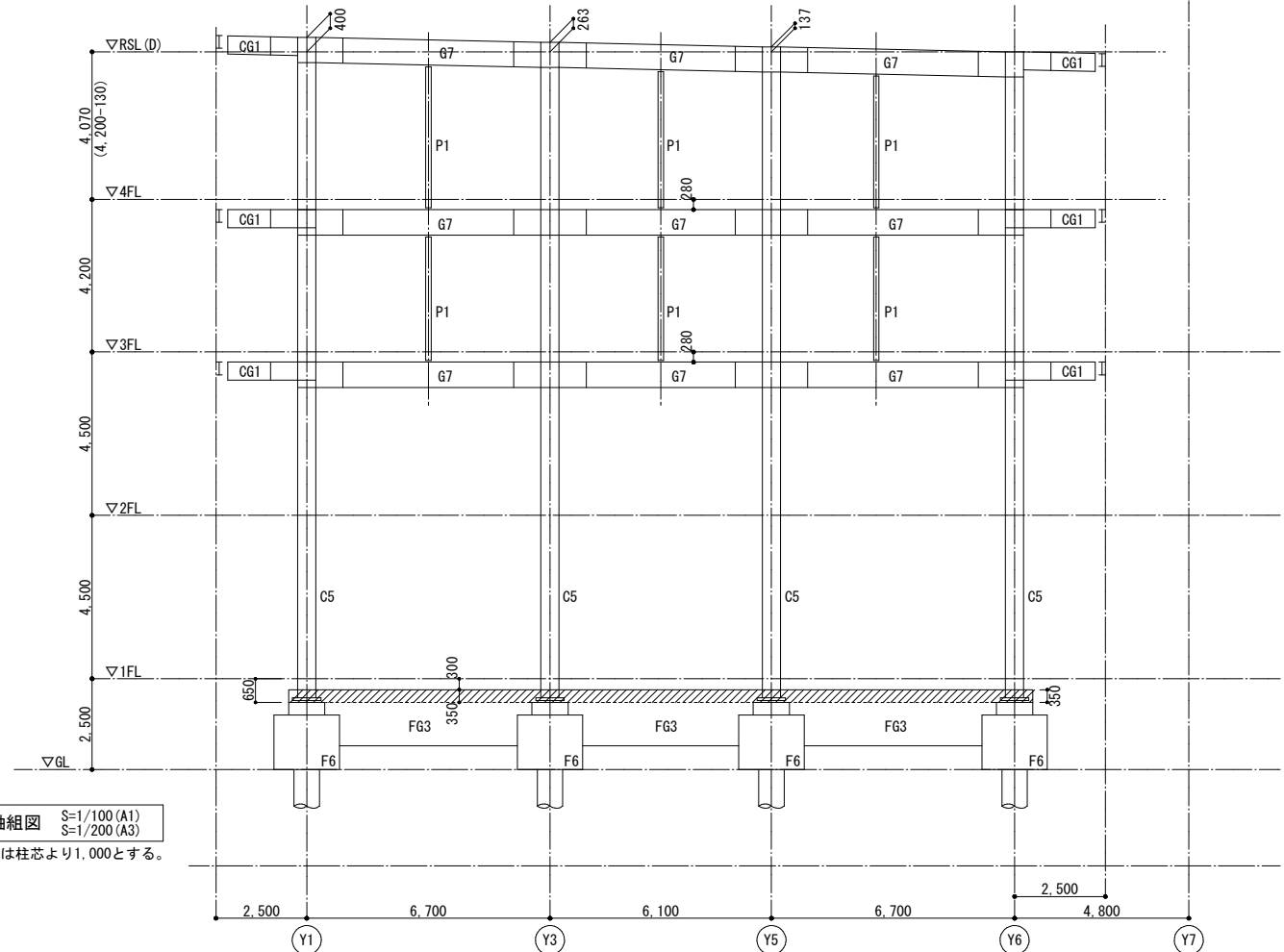


Y6 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。

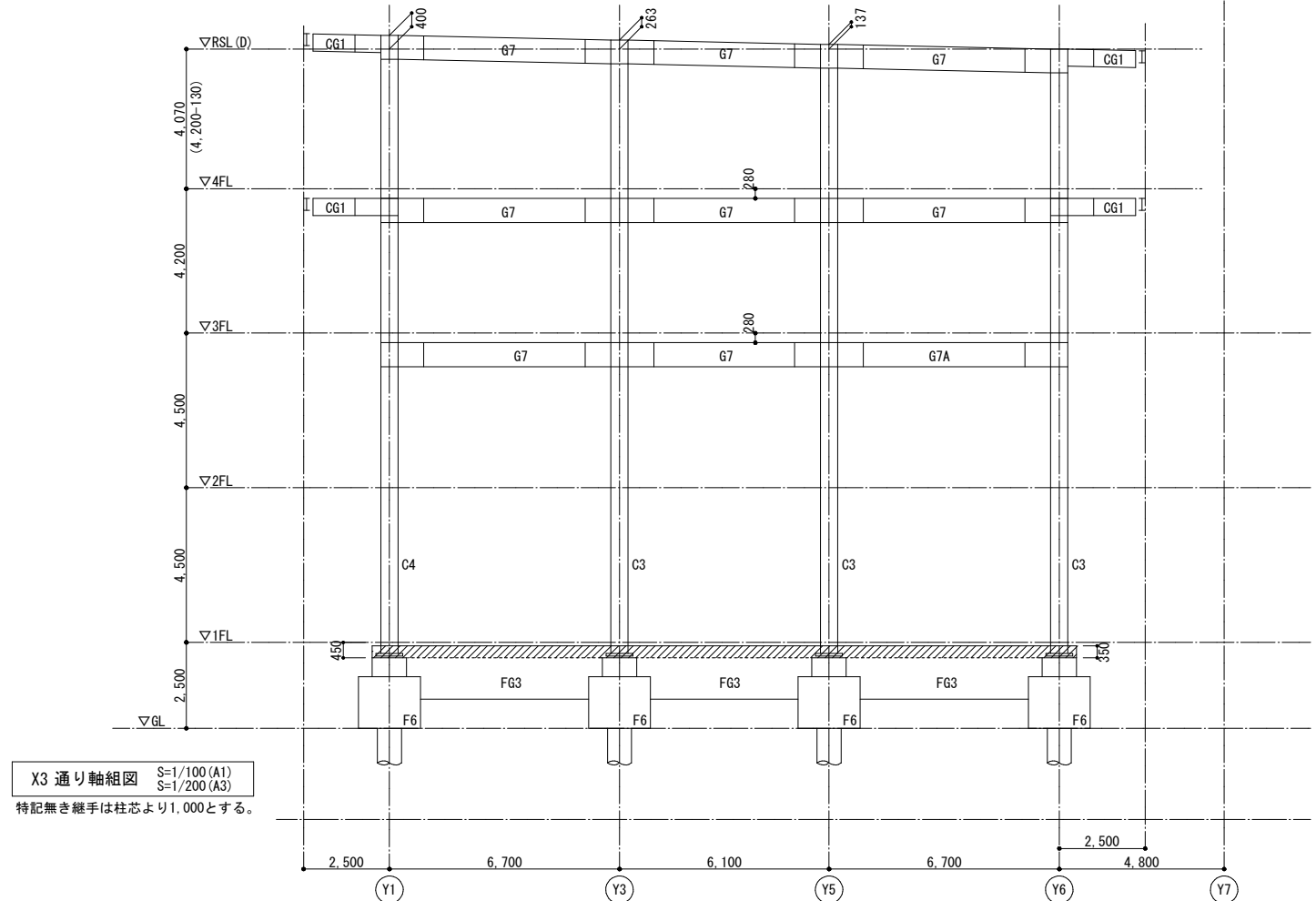
特記
耐風梁 WB1 (横使い: 150x150x7x10) の吊り材
T1 (H-150x150x7x10) 途中に水平 (斜め) 材
HI (150x150x7x10) を配置してWB1の移動を止めること



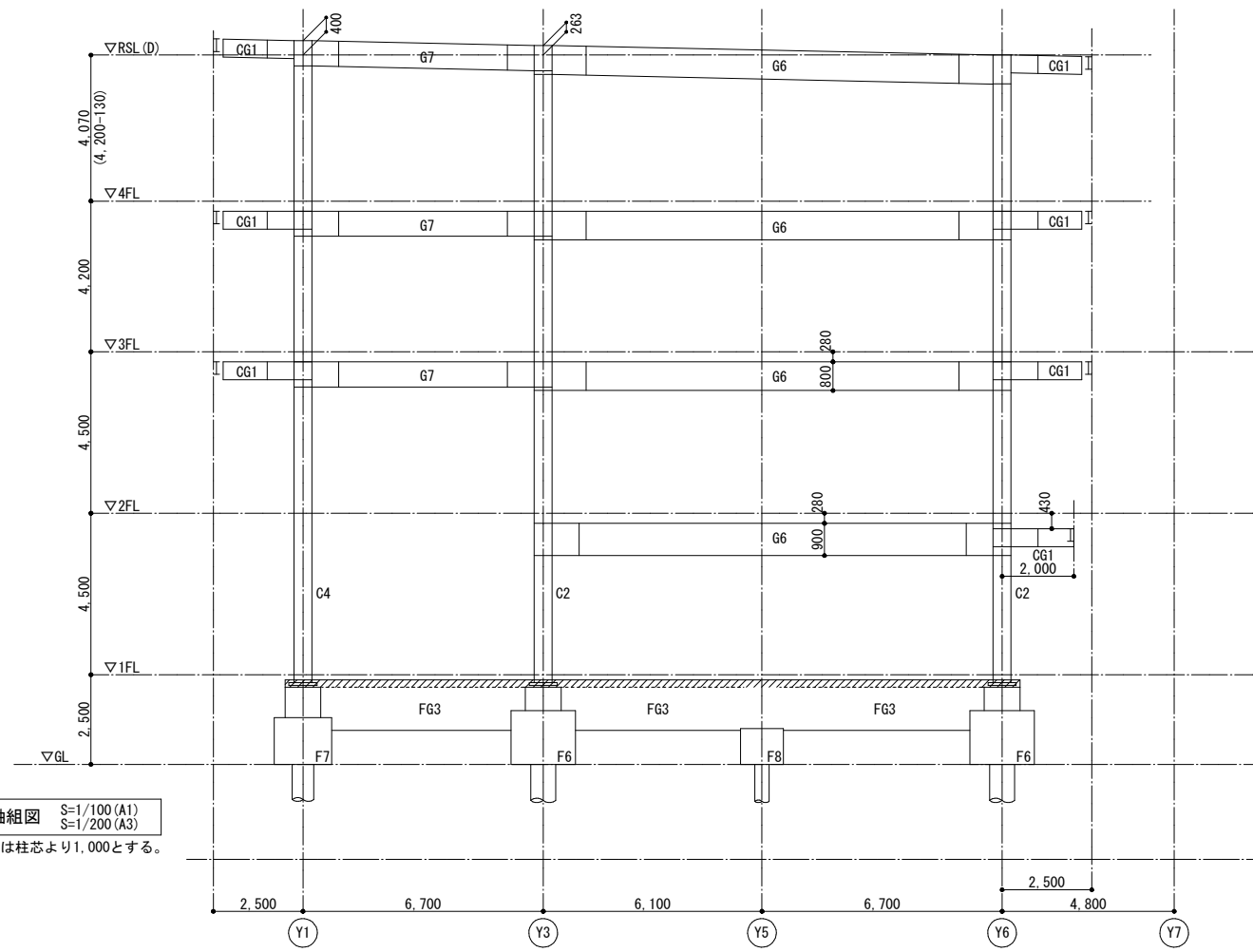
Y7 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。



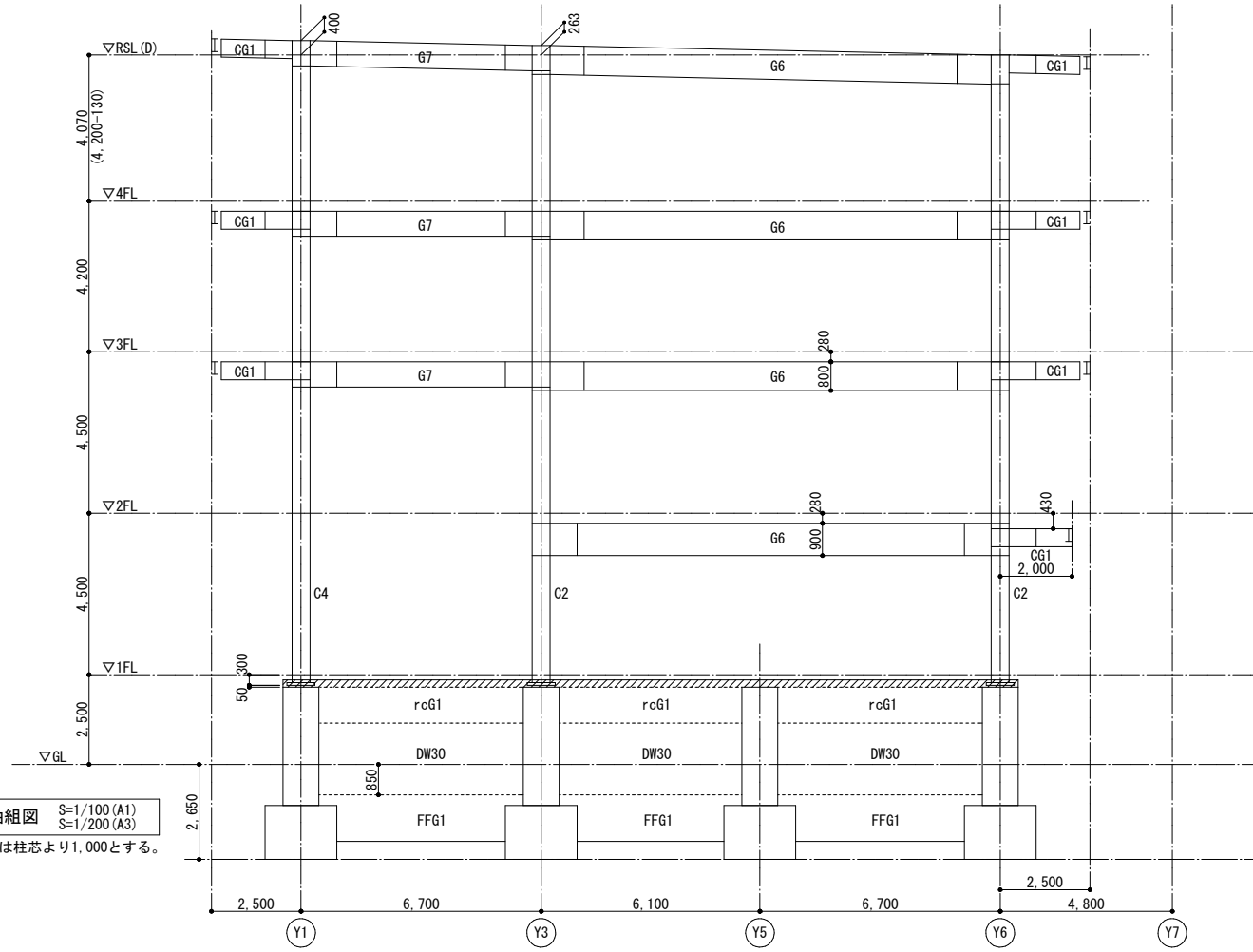
X1 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。



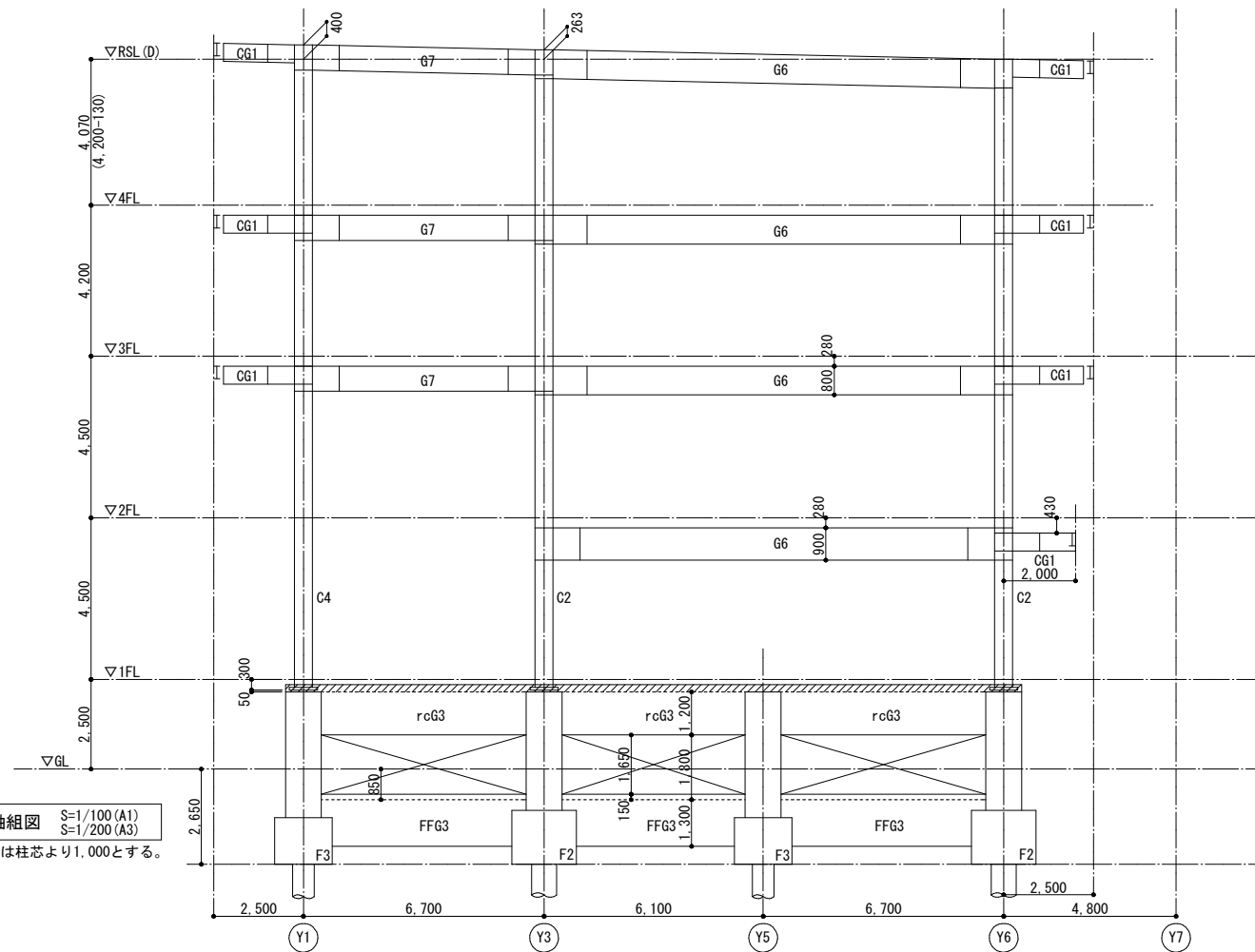
X3 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。



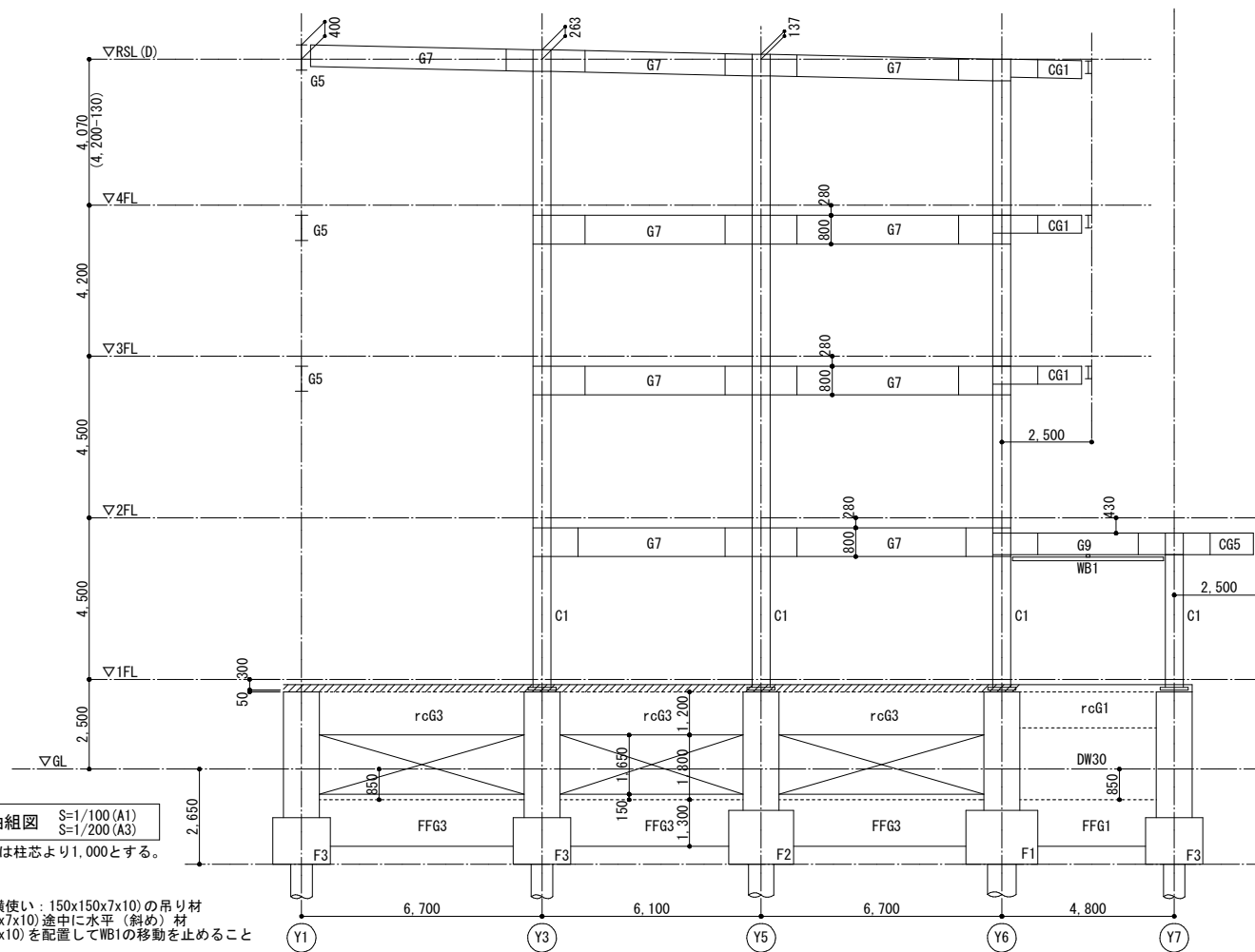
X4 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。



X5 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。

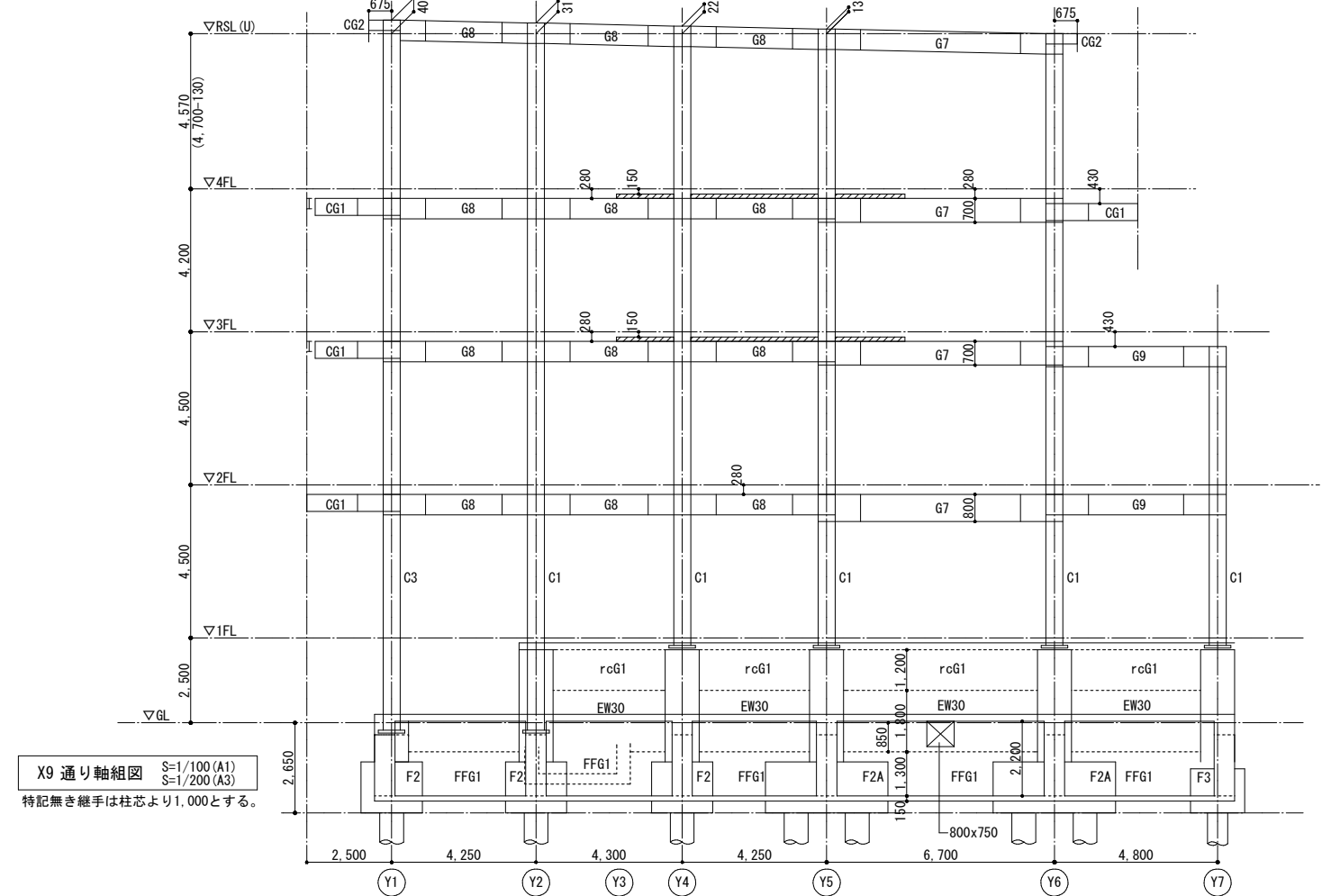
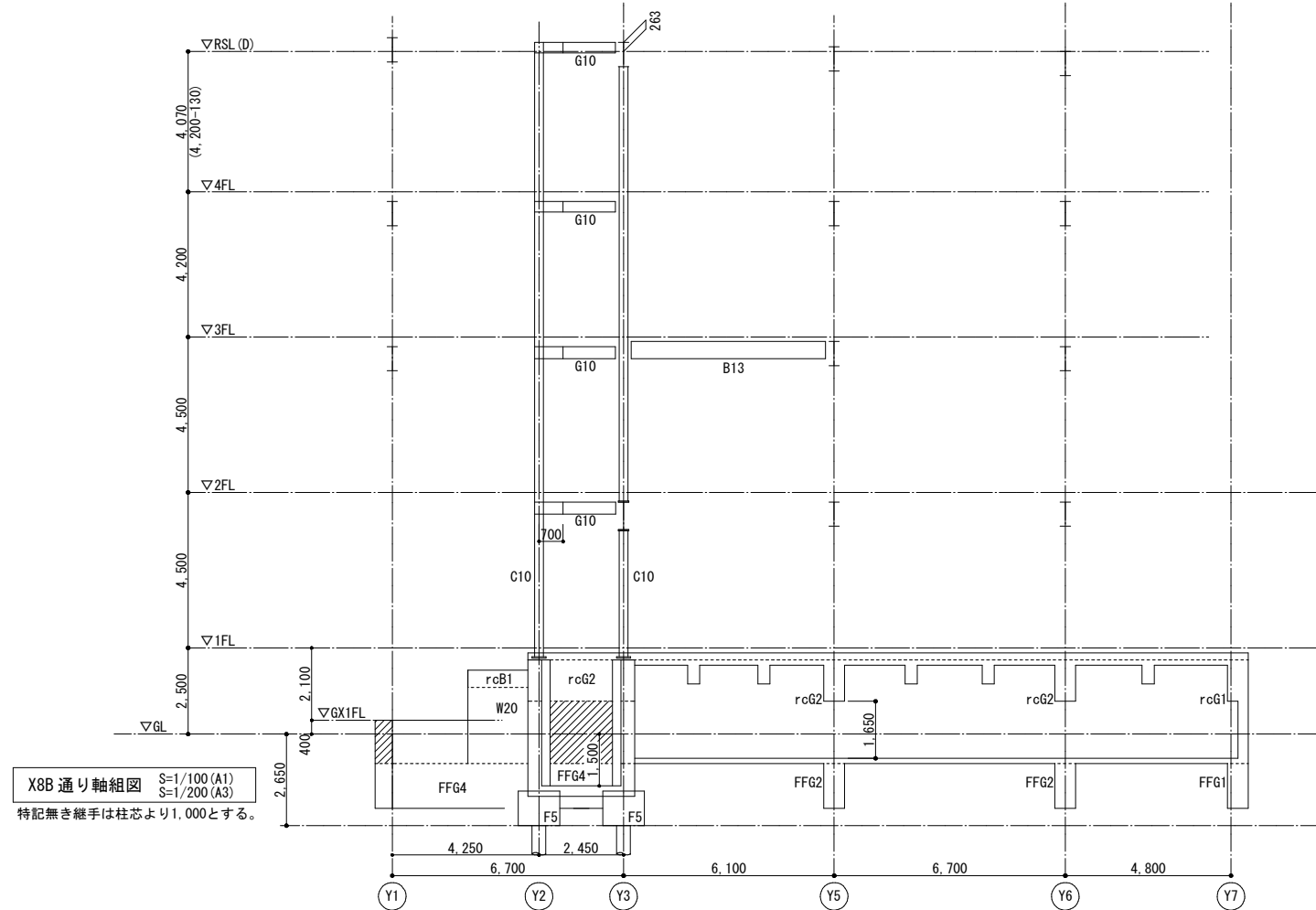
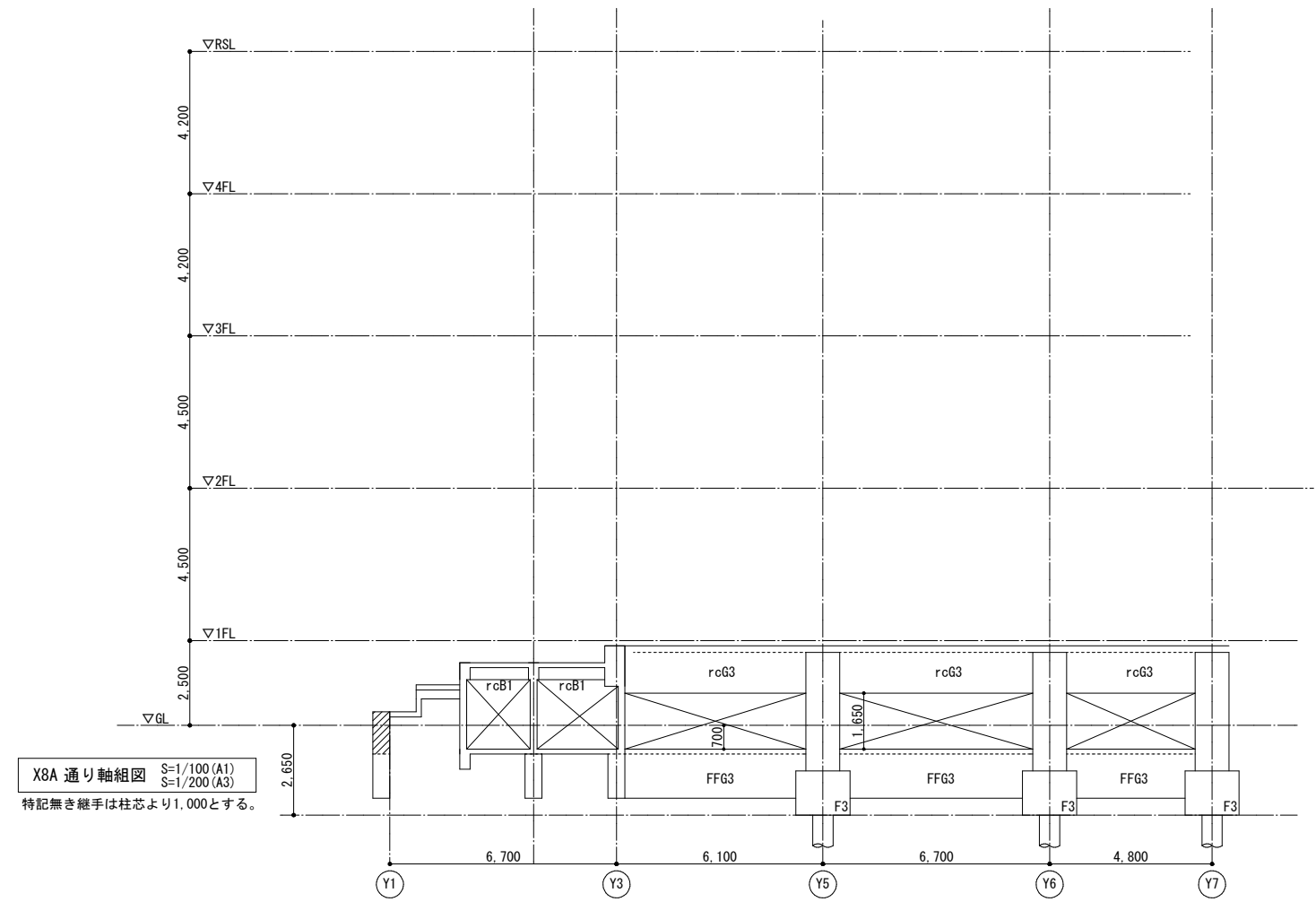
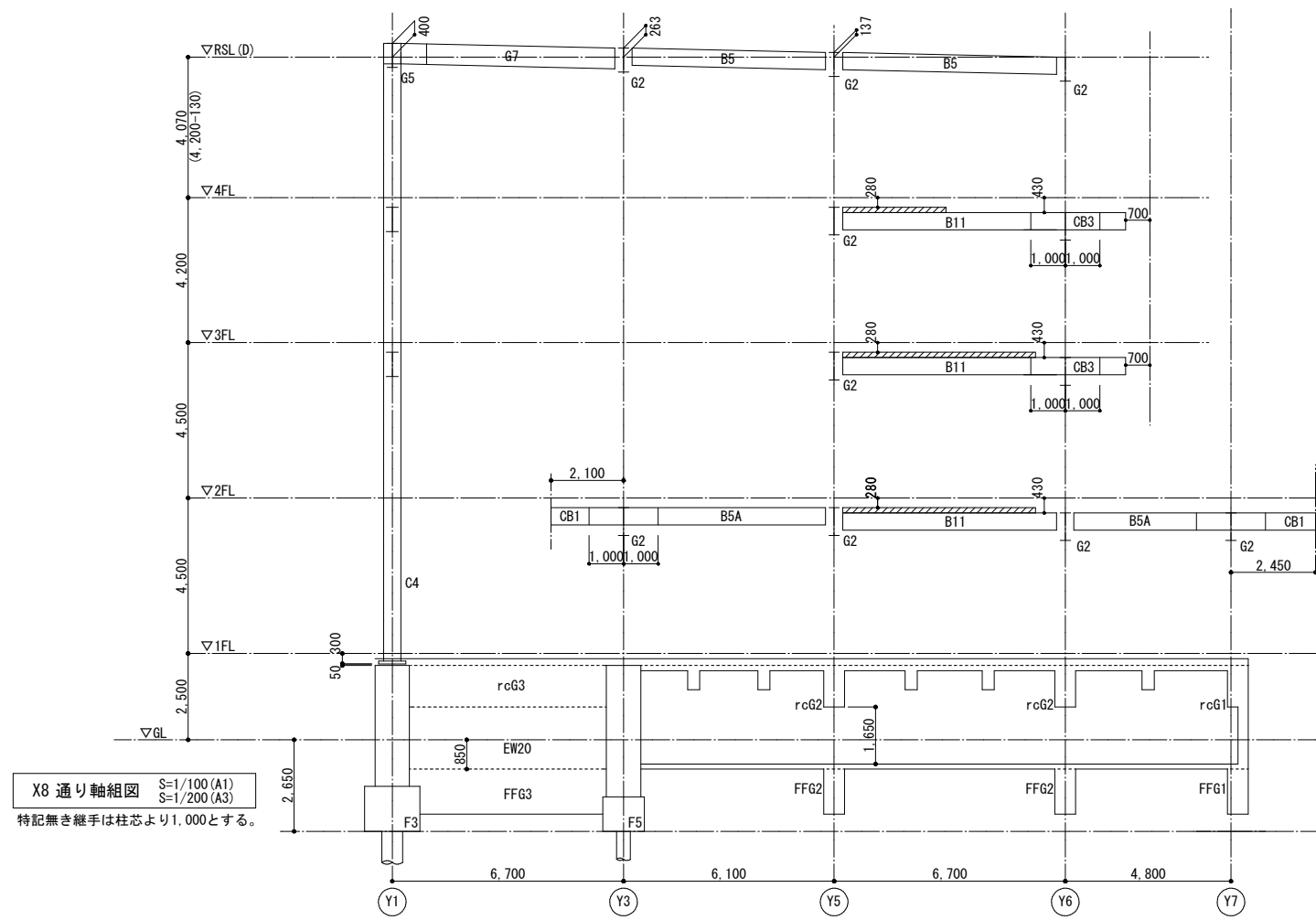


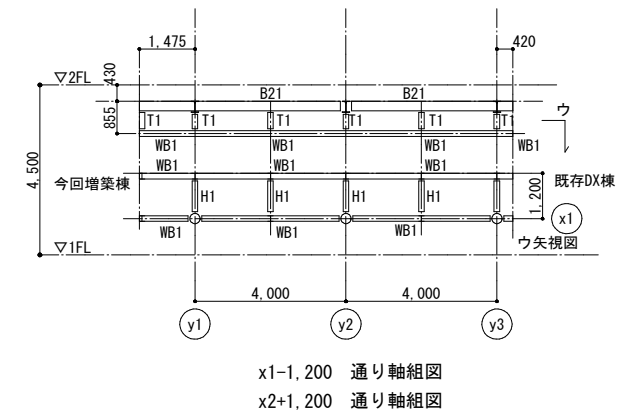
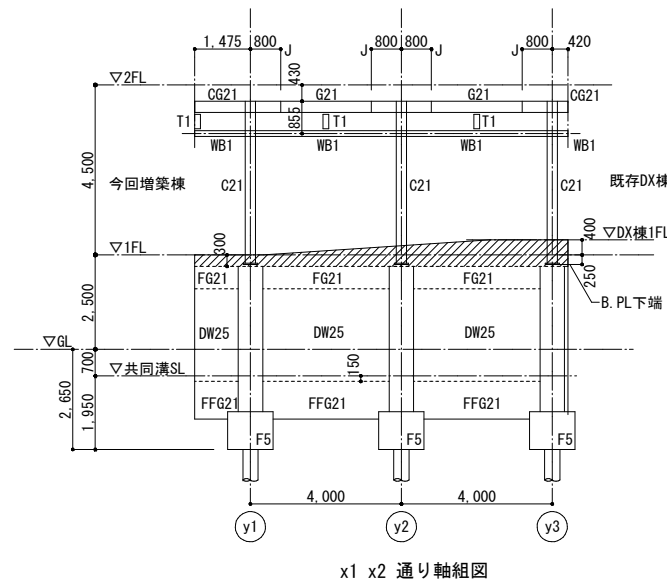
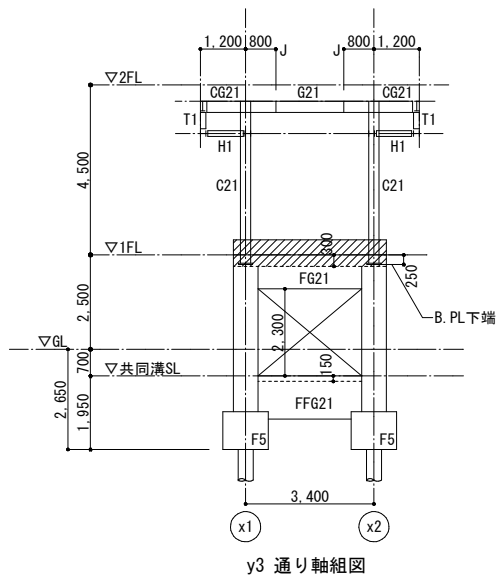
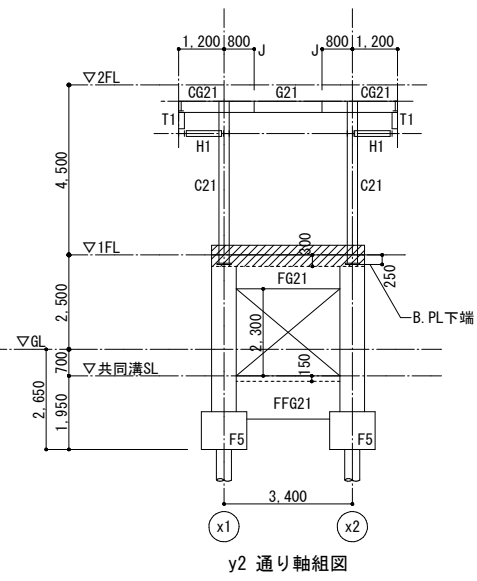
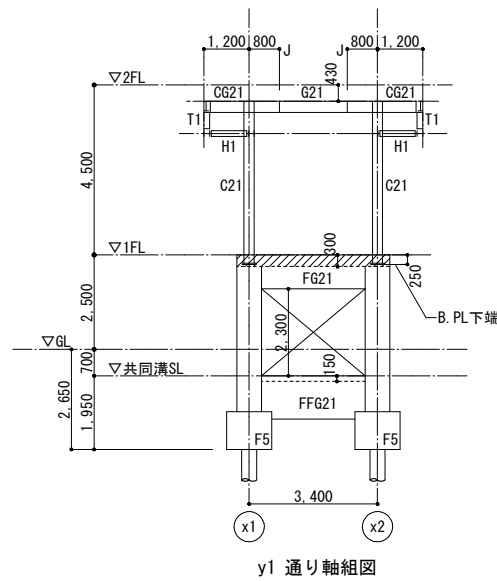
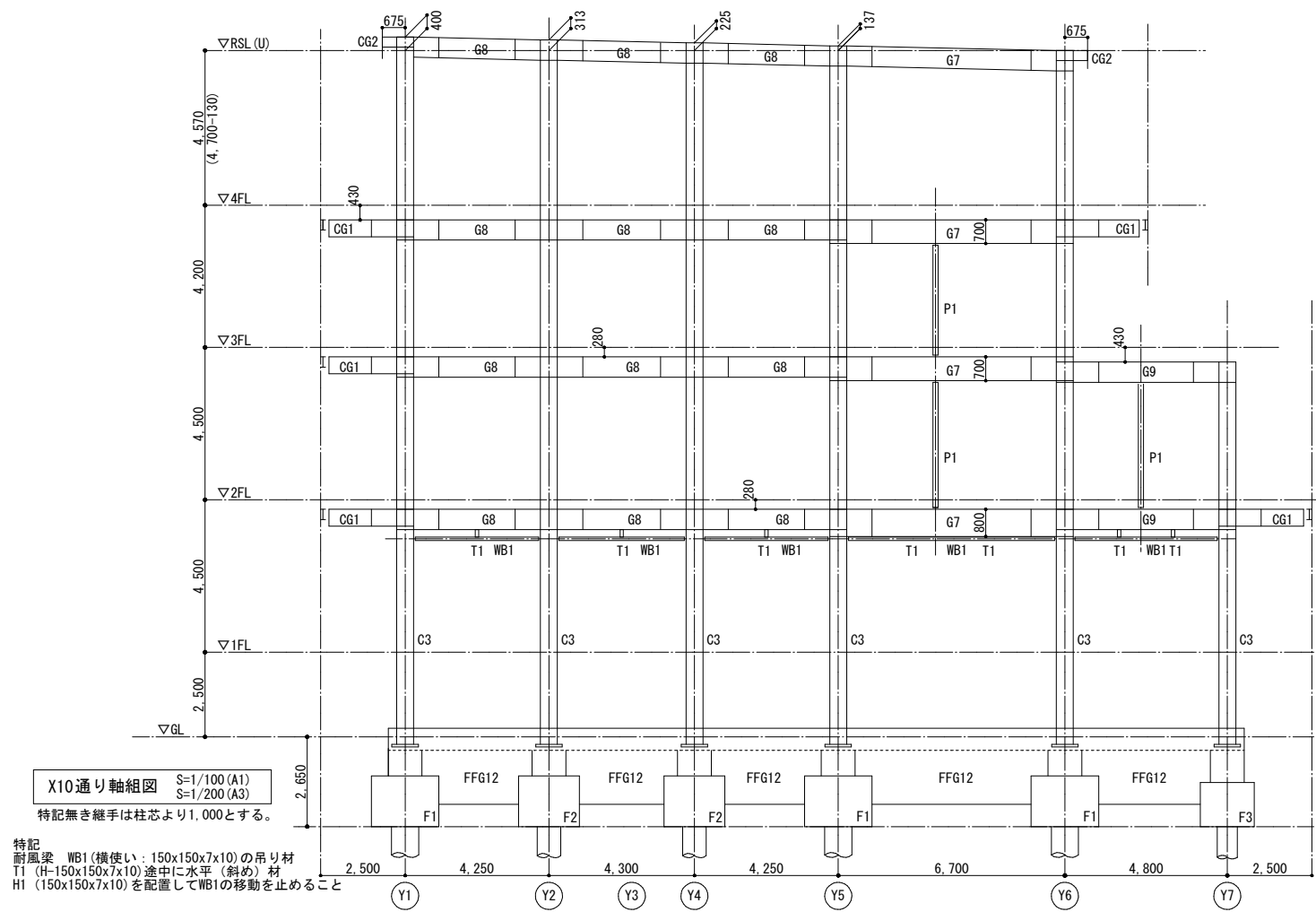
X6 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。



X7 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)
特記無き継手は柱芯より1,000とする。

特記
耐風梁 WB1 (横使い、150x150x7x10) の吊り材
T1 (H=150x150x7x10) 途中に水平 (斜め) 材
H1 (150x150x7x10) を配置してWB1の移動を止めること



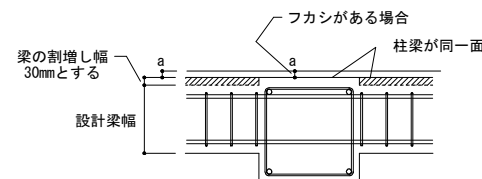


渡り廊下軸組図 S=1/100(A1)
S=1/200(A3)

基礎柱リスト S=1/30(A1)
S=1/60(A3)

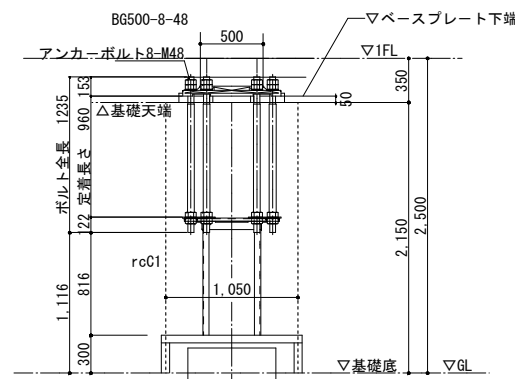
外部・土に面する面はふかし25mmとする。

符号	rcC1	rcC2	rcC2x	rcC2y	rcC10	rcC21
断面	(□-500x500x25) C1, C2, C3, C4, C5 				(□-250x250x16) C10 	(○-267.4x12.7) C21
B x D	1,050 x 1,050	800 x 800	1,050 x 800	800 x 1,050	650 x 650	600 x 600
主筋	20 - D29(SD390)	16 - D25	20 - D25	20 - D25	12 - D19	12 - D19
H O P	D13 - @100	D13 - @100	D13 - @100	D13 - @100	D13 - @100	D13 - @100
備考	BG500-8-48				EB250-4-36	EB250-4-36

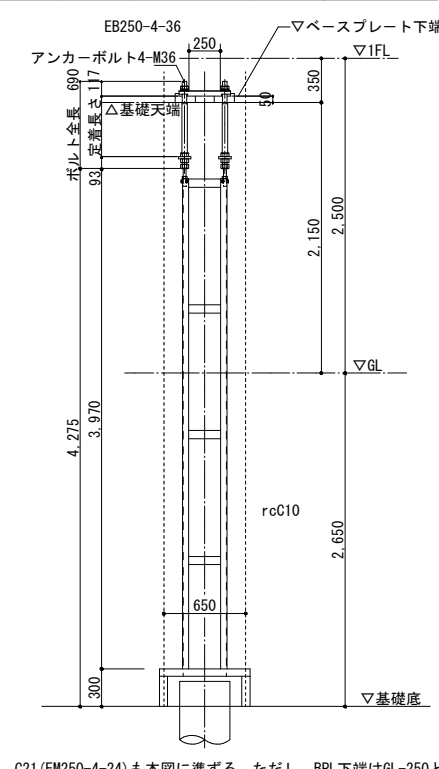
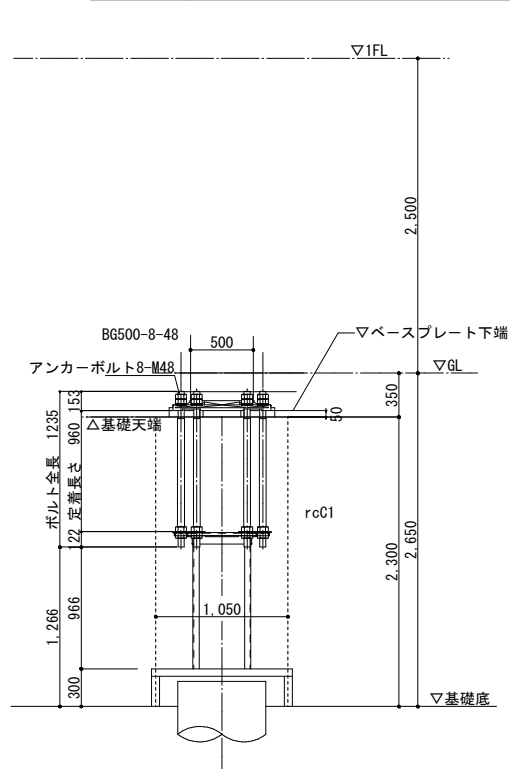
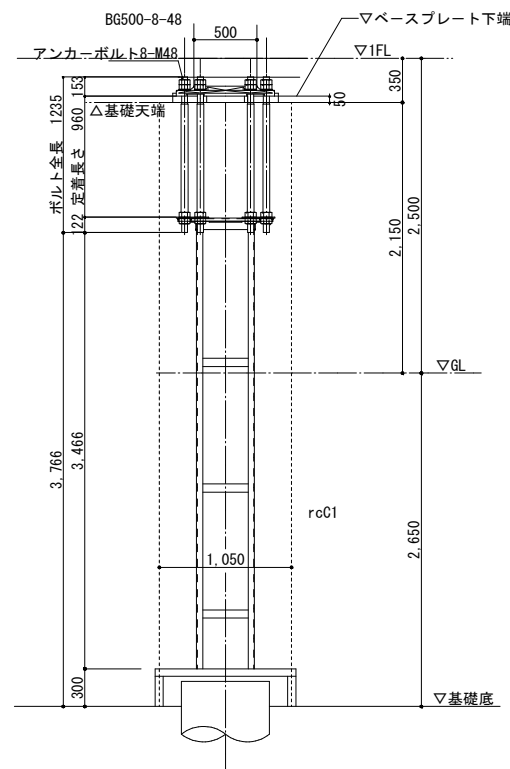
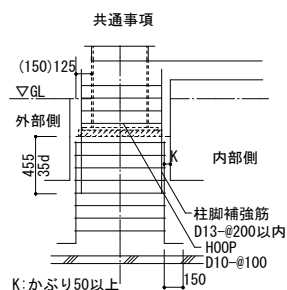


スラブリスト

符号	版厚	位置	主筋方向		配筋方向		備考
			全断面	全断面	全断面	全断面	
S15	150	上端筋	D10・D13 - @200	D10・D13 - @200	D10・D13 - @200	D10・D13 - @200	モチアミ配筋
		下端筋	D10・D13 - @200	D10・D13 - @200	D10・D13 - @200	D10・D13 - @200	
S20	200	上端筋	D13 - @200	D13 - @200	D13 - @200	D13 - @200	モチアミ配筋
		下端筋	D13 - @200	D13 - @200	D13 - @200	D13 - @200	
S20A	200	上端筋	D13 - @150	D13 - @150	D13 - @150	D13 - @150	モチアミ配筋
		下端筋	D13 - @150	D13 - @150	D13 - @150	D13 - @150	
S25	200	上端筋	D13 - @150	D13 - @150	D13 - @150	D13 - @150	モチアミ配筋
		下端筋	D13 - @150	D13 - @150	D13 - @150	D13 - @150	
DS15	150	上端筋	D10 - @200	D10 - @200	D10 - @200	D10 - @200	モチアミ配筋
		下端筋	D10 - @200	D10 - @200	D10 - @200	D10 - @200	
FS15	150	上端筋	D10 - @200	D10 - @200	D10 - @200	D10 - @200	モチアミ配筋
		下端筋	D10 - @200	D10 - @200	D10 - @200	D10 - @200	
FS30	300	上端筋	D16 - @200	D16 - @200	D16 - @200	D16 - @200	モチアミ配筋
		下端筋	D16 - @200	D16 - @200	D16 - @200	D16 - @200	



アンカーボルト設置図 S=1/30(A1)
S=1/60(A3)



C21 (EM250-4-24)も本図に準ずる。ただし、BPL下端はGL-250とする。

rc小梁リスト S=1/30(A1)
S=1/60(A3)

特記無き限り下記による
幅止め筋はD10-@1,000とする 梁末端は取付くスラブ下端とする。

符号	位置	rcB1		rcB2		rcB3			rcB4		rcB5		rcB6		rcB7
		全断面	全断面	端部	中央	内端部	中央	外端部	全断面	全断面	端部	中央	全断面		
断面	フカシ補強筋 														
B x D		300 x 500	300 x 600		350 x 700			300 x 600	300 x 500	400 x 800		300 x 1,200			
上端筋		3 - D19	3 - D19		3/2 - D22			3 - D22	3 - D19	4/2 - D25		3/2 - D19			
下端筋		3 - D19	3 - D19		3 - D22			3 - D22	3 - D19	4 - D25		3/2 - D19			
S T P		□ D10 - @200	□ D10 - @200		□ D10 - @200			□ D10 - @200	□ D10 - @200	□ D13 - @150		□ D10 - @200			
腹筋			2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10		8 - D10			
備考															

1階rc梁リスト S=1/30(A1)
S=1/60(A3)

符号	rcG1		rcG2		rcG3		rcG4	
	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
断面								
B x D	500 x 1,000		600 x 1,200		600 x 1,200		400 x 800	
上端筋	5 - D25	5 - D25	5/2 - D29	5/2 - D29	5/2 - D29	5/2 - D29	4 - D25	4 - D25
下端筋	5 - D25	5 - D25	5/2 - D29	5/2 - D29	5/2 - D29	5/2 - D29	4 - D25	4 - D25
S T P	□ D13 - @200		□ D13 - @150		□ D13 - @200		□ D13 - @200	
腹筋	4 - D13		6 - D13		6 - D13		6 - D13	
備考								

基礎梁リスト-1 S=1/30(A1)
S=1/60(A3)

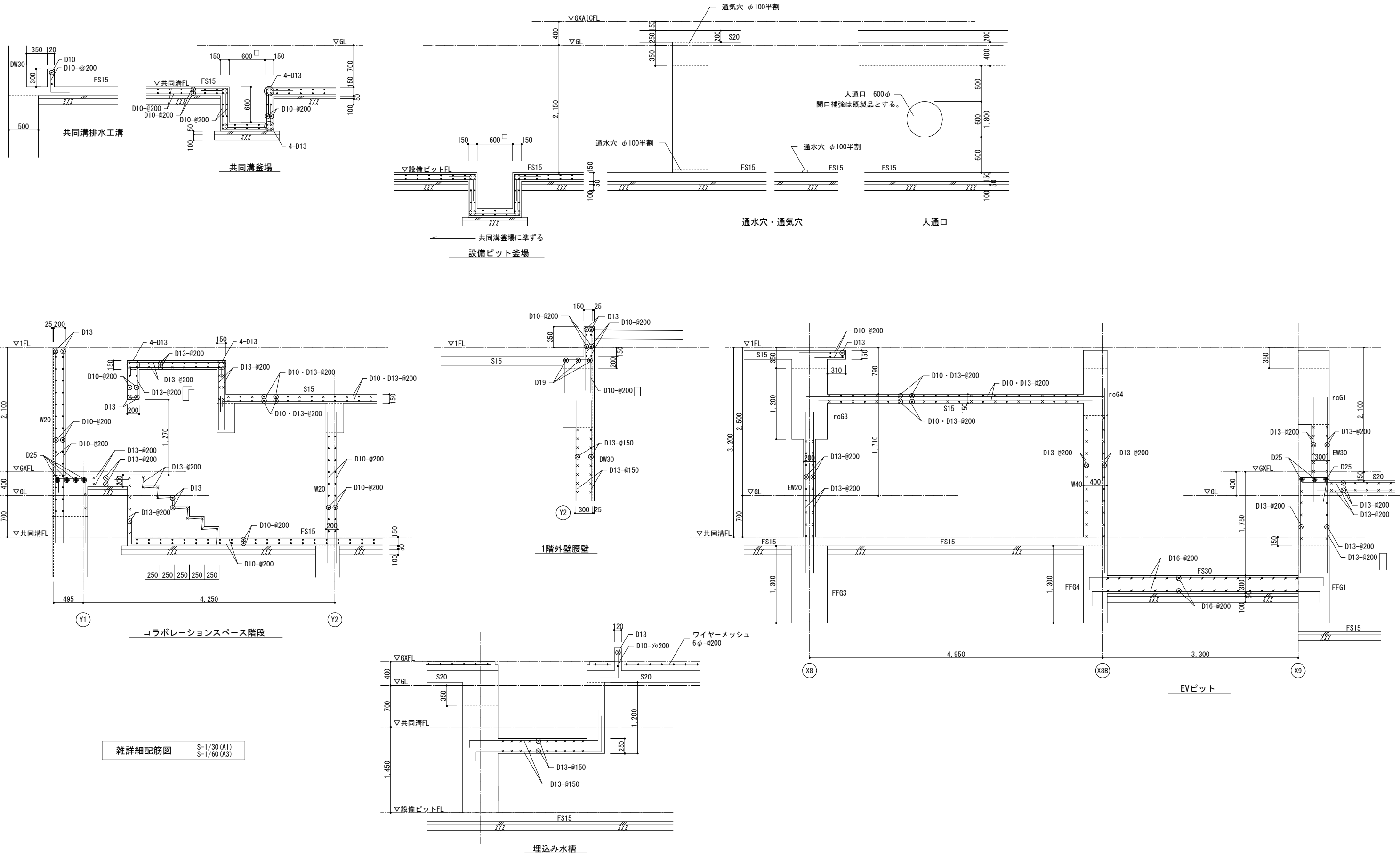
符号	FG1		FG2		FG3		FG3A		FG21		FB1		FB2	
	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
断面														
B x D	500 x 1,200		500 x 1,500		500 x 1,200		500 x 1,200		400 x 600		300 x 600		300 x 800	
上端筋	5/2 - D29	5/2 - D29	5/3 - D29	5/3 - D29	5/2 - D29	5/2 - D29	5/5 - D29	5/5 - D29	4 - D22	4 - D22	3 - D19	3 - D19	3/2 - D22	3/2 - D22
下端筋	5/2 - D29	5/2 - D29	5/3 - D29	5/3 - D29	5/2 - D29	5/2 - D29	5/5 - D29	5/5 - D29	4 - D22	4 - D22	3 - D19	3 - D19	3/2 - D22	3/2 - D22
S T P	□ D13 - @150		□ D13 - @200		□ D13 - @200		□ D13 - @150		□ D13 - @200		□ D10 - @200		□ D10 - @200	
腹筋	8 - D13		10 - D13		10 - D13		10 - D13		2 - D13		2 - D10		2 - D10	
備考									(渡り廊下棟)					

基礎梁リスト-2 S=1/30(A1)
S=1/60(A3)

符号	FFG1		FFG2		FFG3		FFG4		FFG21	
	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
断面										
B x D	500 x 1,300		600 x 1,300		600 x 1,300		400 x 1,300		400 x 1,000	
上端筋	5/5 - D25	5/5 - D25	5/2 - D29	5/2 - D29	5/2 - D29	5/2 - D29	4 - D25	4 - D25	4/1 - D22	4/1 - D22
下端筋	5/5 - D25	5/5 - D25	5/2 - D29	5/2 - D29	5/2 - D29	5/2 - D29	4 - D25	4 - D25	4/1 - D22	4/1 - D22
S T P	□ D13 - @200		□ D13 - @200		□ D13 - @200		□ D13 - @200		□ D13 - @200	
腹筋	6 - D13		6 - D13		6 - D13		6 - D13		4 - D13	
備考									(渡り廊下棟)	

基礎梁リスト-2 S=1/30(A1)
S=1/60(A3)

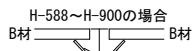
符号	FFG11		FFG12	
	端部	中央	端部	中央
断面				
B x D	600 x 1,800		600 x 1,500	
上端筋	6/2 - D29	6/2 - D29	6 - D29	6 - D29
下端筋	6/2 - D29	6/2 - D29	6 - D29	6 - D29
S T P	□ D13 - @200		□ D13 - @200	
腹筋	10 - D13		8 - D13	
備考				



雑詳細配筋図 S=1/30 (A1)
S=1/60 (A3)

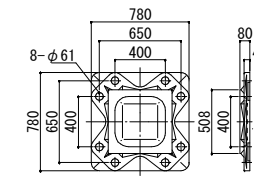
鉄骨部材リスト 鋼材種 大梁・片持梁：SN400B ボックス柱：BCR295 小梁 雑部材：SS400
 伏図・軸組図・鉄骨詳細図に特記ある場合は当該部材とする。継手添え板は母材と同種とすること。

大梁・片持梁仕口はノンスカラップ工法とする。

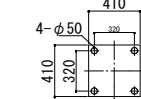


方杖材（横補剛材）あり

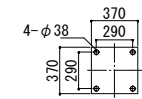
ベースプレート詳細図 GB500-8-48



ベースプレート詳細図 EB250-4-36



ベースプレート詳細図 EM250-4-24



大梁符号				(大梁) (片持梁)		梁天端		ジョイント・仕口等 (ボルト本数は片側の一ヶ所当たりの本数を示す) ボルトはS10Tとする。					
位置				口内数字は大梁仕口ウェブ隅肉溶接サイズを示す。SH - 外法一定H形鋼 BH - ビルトH鋼を示す。○ - SN490B材を示す。[K] - K開先とする。		スタッドボルト		フランジ (幅300の場合は千鳥配置)		ウェブ		ピッチ	
RF	4F	3F	2F	H	φ	φ	φ	φ	φ	φ	φ	φ	φ
G10	G10		G21	H - 294 × 200 × 8 × 12 [6]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-9x200x410	4R-9x80x410	3x2-M20	2R-9x200x170	3x1-M20	60
		G10	G10	H - 340 × 250 × 9 × 14 [7]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-12x250x530	4R-12x100x530	4x2-M20	2R-9x200x290	3x2-M20	60
G4 G7 G8	G4 G8	G4		H - 588 × 300 × 12 × 20 [9]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-12x300x440	4R-16x110x440	4x2-M22	2R-9x440x170	7x1-M22	60
		G8 G9	G4 G8 G9	(H) - 588 × 300 × 12 × 20 [9]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-12x300x530	4R-16x110x530	5x2-M22	2R-9x440x290	5x2-M22	90
G2 G3 G5	G2 G3 G7	G7		H - 700 × 300 × 13 × 24 [10]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-19x300x530	4R-19x110x530	5x2-M22	2R-9x560x170	9x1-M22	60
G2 (X9端)	G2 (X9端)	G7A		(H) - 700 × 300 × 13 × 24 [10]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-19x300x710	4R-19x110x710	7x2-M22	2R-12x530x290	6x2-M22	90
	G5	G5		BH - 700 × 350 × 16 × 32 [12]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-19x350x530	4R-22x140x530	4x4-M22	2R-12x560x170	9x1-M22	60
G6	G6	G2 G3		H - 800 × 300 × 14 × 26 [10]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-19x300x530	4R-19x110x530	5x2-M22	2R-12x620x170	10x1-M22	60
		G2 G7		(H) - 800 × 300 × 14 × 26 [10]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-19x300x710	4R-19x110x710	7x2-M22	2R-12x620x290	7x2-M22	90
G1	G1	G1		H - 900 × 300 × 16 × 28 [12]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-19x300x620	4R-22x110x620	6x2-M22	2R-12x740x170	12x1-M22	60
		G1		(H) - 900 × 300 × 16 × 28 [12]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-19x300x800	4R-22x110x800	8x2-M22	2R-16x620x290	10x2-M22	60
		G6		(BH) - 900 × 350 × 19 × 32 [K]	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	φ19-@200(D)	2R-22x350x650	4R-22x140x650	5x4-M22	2R-16x680x290	11x2-M22	60

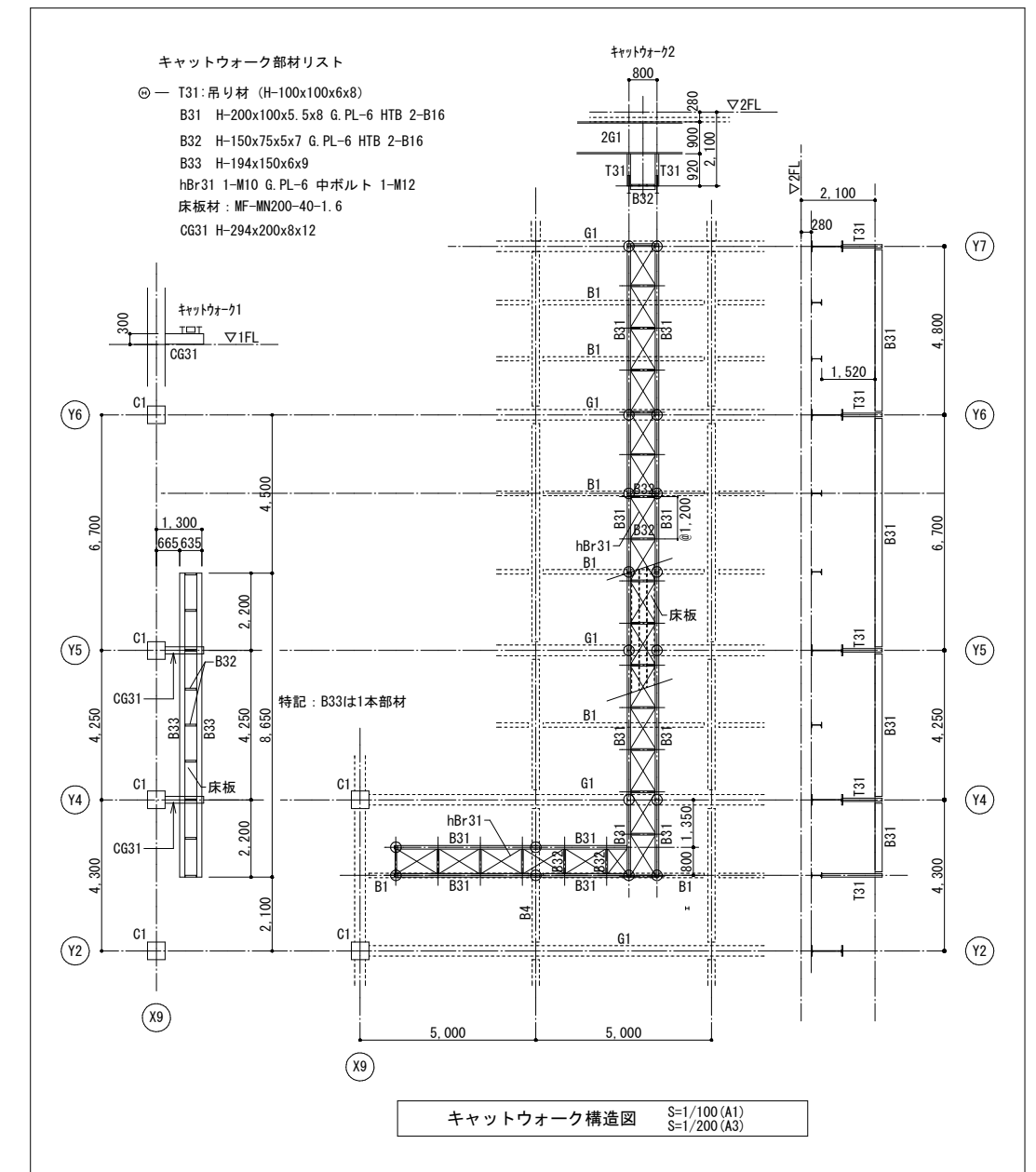
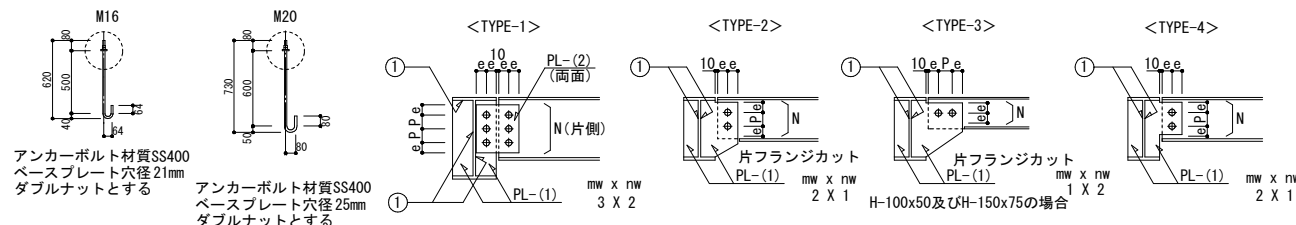
片持ち梁・片持ち小梁 (片持ち小梁連続小梁符号)

CG1	CB1 (B5A)	H - 488 × 300 × 11 × 18 [8]	φ19-@200(S)	2R-12x300x440	4R-16x110x440	4x2-M20	2R-12x350x290	4x2-M20	90
CG1A		(H) - 488 × 300 × 11 × 18 [8]	φ19-@200(S)	2R-12x300x620	4R-16x110x620	6x2-M20	2R-12x350x290	4x2-M20	90
CG2	CB2	H - 300 × 150 × 6.5 × 9 [5]	φ19-@200(S)	2R-9x150x290	4R-9x60x290	2x2-M20	2R-6x200x170	2x1-M20	120
	CB3 (B11XB5)	H - 500 × 200 × 10 × 16 [8]	φ19-@200(S)	2R-12x200x410	4R-12x80x410	3x2-M20	2R-9x320x170	5x1-M20	60
CG3		H - 350 × 175 × 7 × 11 [5]							
	CB6 (B15)	H - 294 × 200 × 8 × 12 [6]		2R-9x200x410	4R-9x80x410	3x2-M20	2R-9x200x170	3x1-M20	60
CG4		H - 300 × 300 × 10 × 15 [7]		2R-12x300x440	4R-12x110x440	4x2-M20	2R-12x200x290	2x2-M20	120
	CB4 (B12)	H - 340 × 250 × 9 × 14 [7]	φ19-@200(S)	2R-12x250x530	4R-12x100x530	4x2-M20	2R-9x200x290	3x2-M20	60
CG5	CB5 (B5B)	H - 588 × 300 × 12 × 20 [9]		2R-12x300x440	4R-16x110x440	4x2-M22	2R-9x440x170	7x1-M22	60

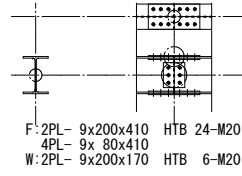
位置				(柱)		(柱脚)	
4F	3F	2F	1F	□ - 500 × 500 × 19 (BCR295)			
C1 C2	C1 C2	C1 C2		□ - 500 × 500 × 22 (BCR295)			
C3 C4 C5	C3 C4 C5	C3 C4 C5	C1 C2 C3 C4 C5	□ - 500 × 500 × 25 (BCR295)	ハイベスNE0工法 GB500-8-48 (B. PL 46x780x780 A. BOLT 8-M48 基礎柱 1000x1000 20-D29 (SD390) D13-@100)		
C10	C10	C10	C10	□ - 250 × 250 × 16 (BCR295)	ハイベスNE0工法 EB250-4-36 (B. PL 40x410x410 A. BOLT 4-M36 基礎柱 650x650 12-D19 (SD345) D13-@100)		
			C21	○ - 267.4 × 12.7 (STK400)	ハイベスNE0工法 EM250-4-24 (B. PL 32x370x370 A. BOLT 4-M24 基礎柱 600x600 12-D19 (SD345) D13-@100)		

符号		(小梁、その他)		梁天端		ウェブ (ボルト本数は一ヶ所当たりの本数を示す) ボルトはS10Tとする。									
				スタッドボルト		タイプ		添え板 (PL-2)		ガセット (PL-1)		mw x nw		ピッチ	
	B16	H - 150 × 75 × 5 × 7				3						2x1 - M16		60	
	B3 B10 B22	H - 148 × 100 × 6 × 9				3						2x1 - M16		60	
	B2	H - 200 × 100 × 5.5 × 8				4						2x1 - M16		60	
	B21	H - 194 × 150 × 6 × 9				4						2x1 - M16		60	
	B2	H - 250 × 125 × 6 × 9				2						3x1 - M16		60	
	B1 B6	H - 244 × 175 × 7 × 11				4						3x1 - M20		60	
	B15	H - 300 × 150 × 6.5 × 9		φ16-@200(S)		4						4x1 - M20		60	
	B7 B1A	H - 294 × 200 × 8 × 12		φ16-@200(S)		4						4x1 - M20		60	
	B12	H - 350 × 175 × 7 × 11		φ16-@200(S)		4						4x1 - M20		60	
	B4 B9	H - 340 × 250 × 9 × 14		φ19-@200(S)		4						4x1 - M20		60	
	B5 B11 B14	H - 400 × 200 × 8 × 13		φ19-@200(S)		4						5x1 - M20		60	
	B8 B13 B5A	H - 390 × 300 × 10 × 16		φ19-@200(S)		4						5x1 - M20		60	
	B5B	H - 500 × 200 × 10 × 16		φ19-@200(S)		4						6x1 - M20		60	
		H - 488 × 300 × 11 × 18		φ19-@200(D)		4						6x1 - M20		60	
		H - 600 × 200 × 11 × 17		φ19-@200(D)		4						7x1 - M20		60	
		H - 588 × 300 × 12 × 20		φ19-@200(D)		4						7x1 - M20		60	
	V	H - 150 × 75 × 5 × 7													
	VV	H - 150 × 75 × 5 × 7													
	B3v	H - 200 × 100 × 5.5 × 8													
	P1	WB1 T1 H1	H - 150 × 150 × 7 × 10												
	vBr1	H - 125 × 125 × 6.5 × 9				3						2x1 - M16		60	

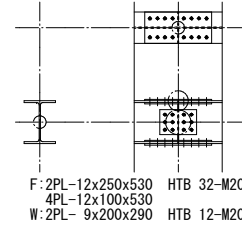
特記
 スタッドボルトのない梁にデッキプレートを留める箇所は
 焼肉栓溶接を行う。



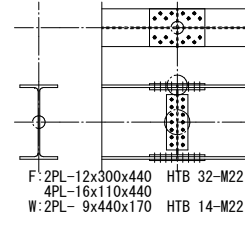
H-294x200x8x12 (M20) (SN400B)
GGF-4X-J-3020-0912-20



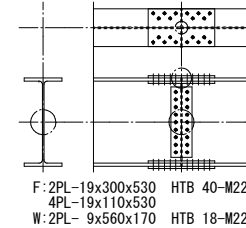
H-340x250x9x14 (M20) (SN400B)
GGF-4X-J-3525-0916-20



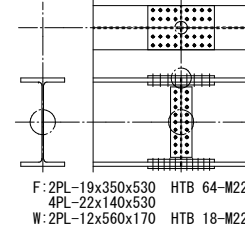
H-588x300x12x20 (M22) (SN400B)
GGF-4X-J-6030-1219-22



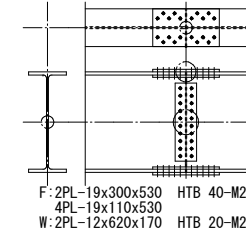
H-700x300x13x24 (M22) (SN400B)
GGF-4X-J-7030-1425-22



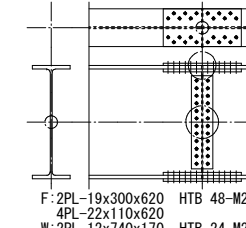
BH-700x350x16x32 (M22) (SN400B)



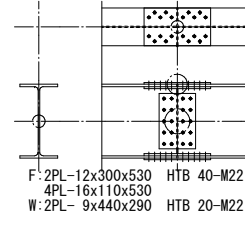
H-800x300x14x26 (M22) (SN400B)
GGF-4X-J-8030-1425-22



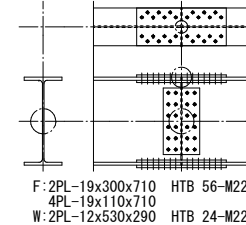
H-900x300x16x28 (M22) (SN400B)
GGF-4X-J-9030-1628-22



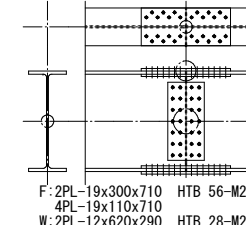
H-588x300x12x20 (M22) (SN490B)
GGF-5X-J-6030-1219-22



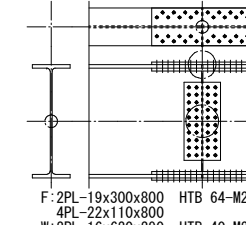
H-700x300x13x24 (M22) (SN490B)
GGF-5X-J-7030-1425-22



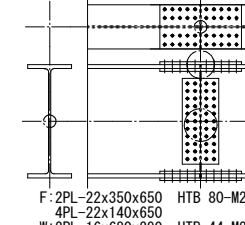
H-800x300x14x26 (M22) (SN490B)
GGF-5X-J-8030-1425-22



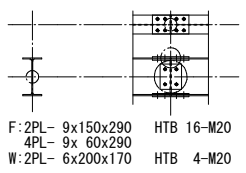
H-900x300x16x28 (M22) (SN490B)
GGF-5X-J-9030-1628-22



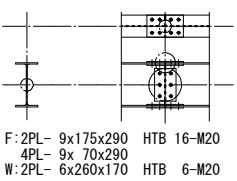
BH-900x350x19x32 (M22) (SN490B)



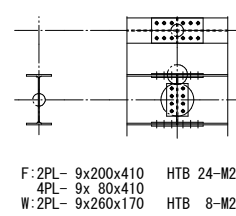
H-300x150x6.5x9 (M20) (SN400B)
GGF-4X-J-3015-0609-20



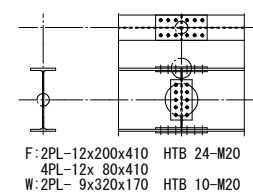
H-350x175x7x11 (M20) (SN400B)
GGF-4X-J-3517-0612-20



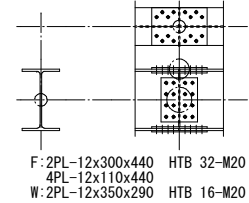
H-400x200x8x13 (M20) (SN400B)
GGF-4X-J-4020-0912-20



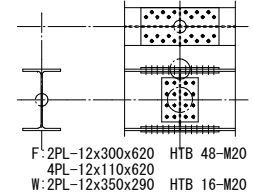
H-500x200x10x16 (M20) (SN400B)
GGF-4X-J-5020-0916-20



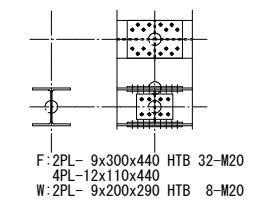
H-488x300x11x18 (M20) (SN400B)
GGF-4X-J-5030-1219-20



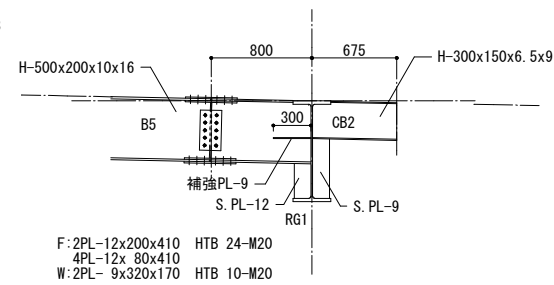
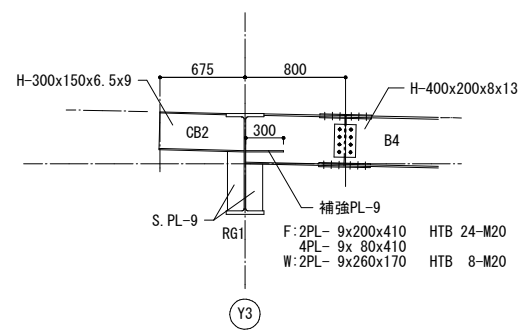
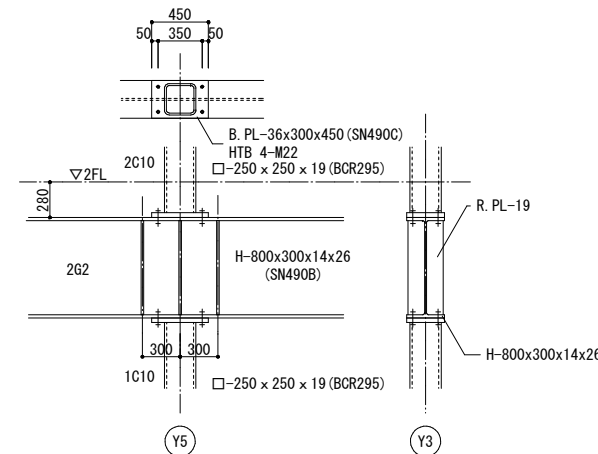
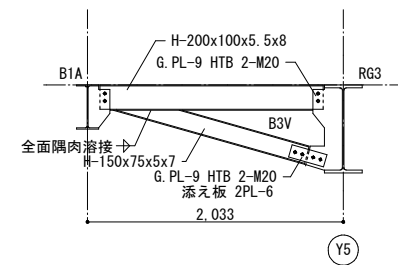
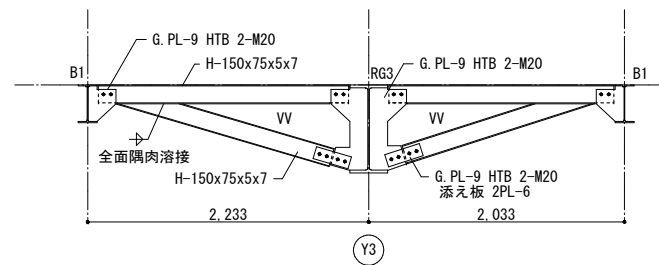
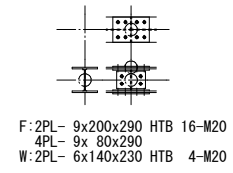
H-488x300x11x18 (M20) (SN490B)
GGF-5X-J-5030-1219-20

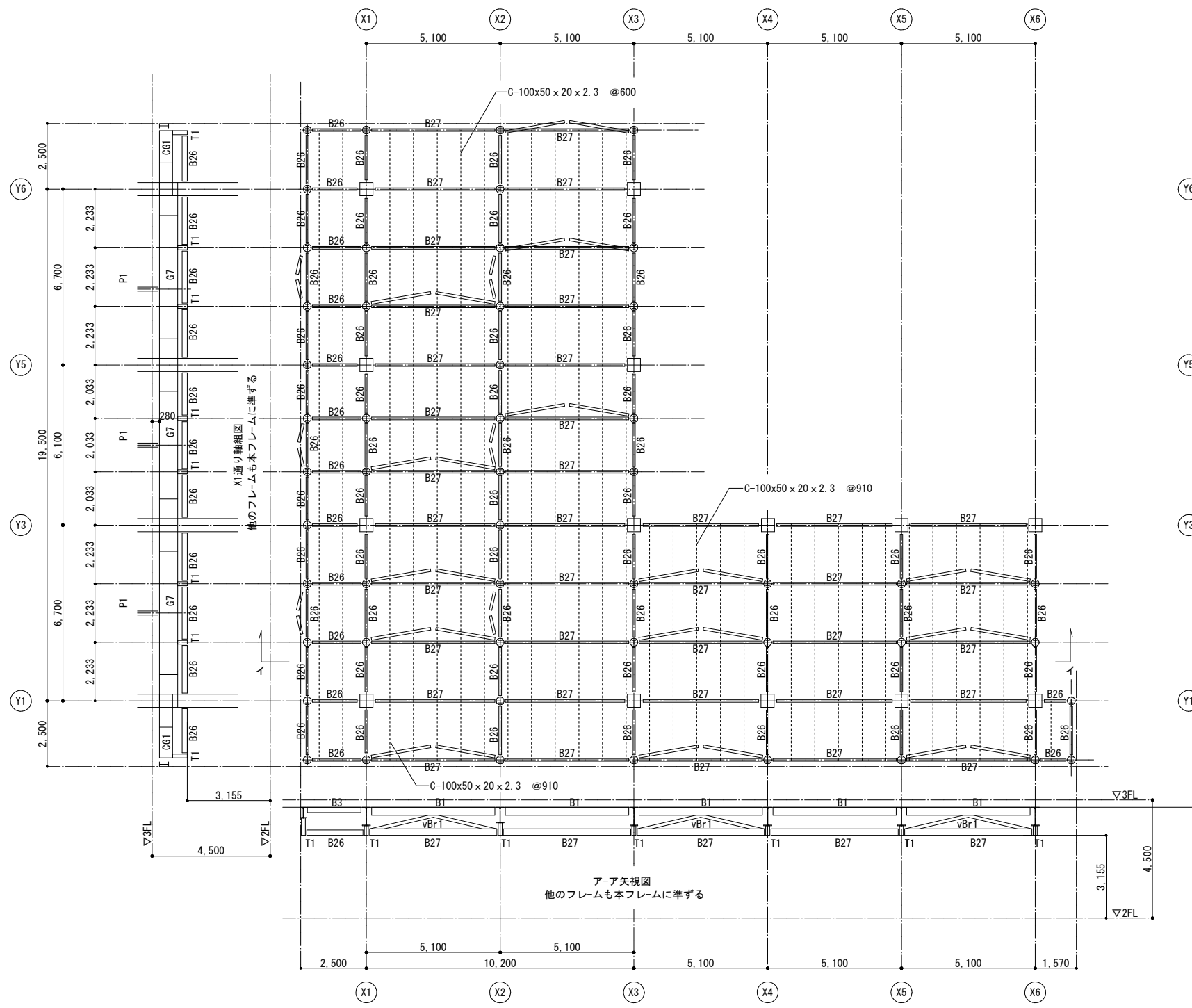


H-300x300x10x15 (M20) (SN400B)
CCF-4X-J-3030-0916-20



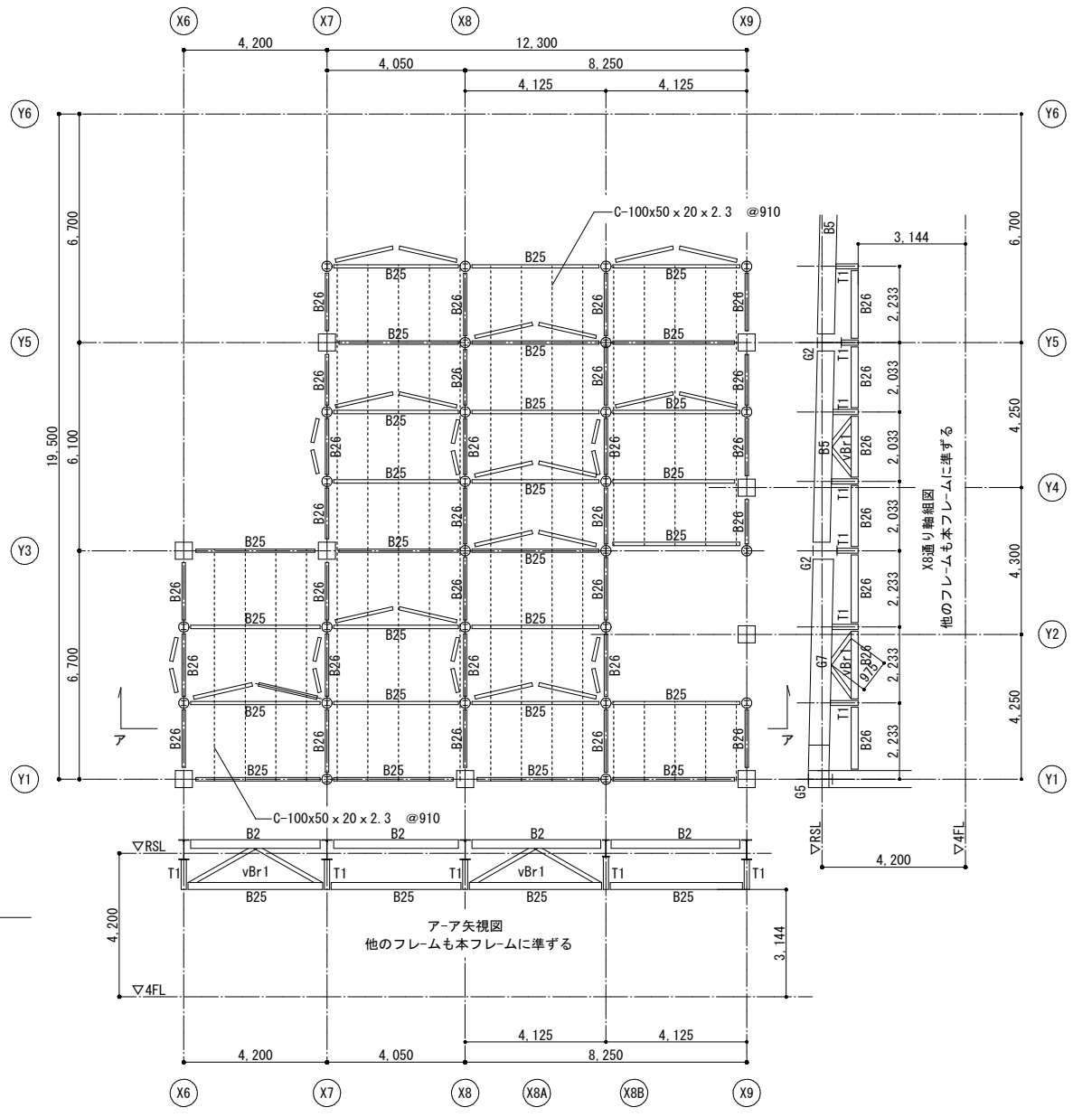
H-200x200x8x12 (SN400B)
CCF-4X-J-2020-0916-20





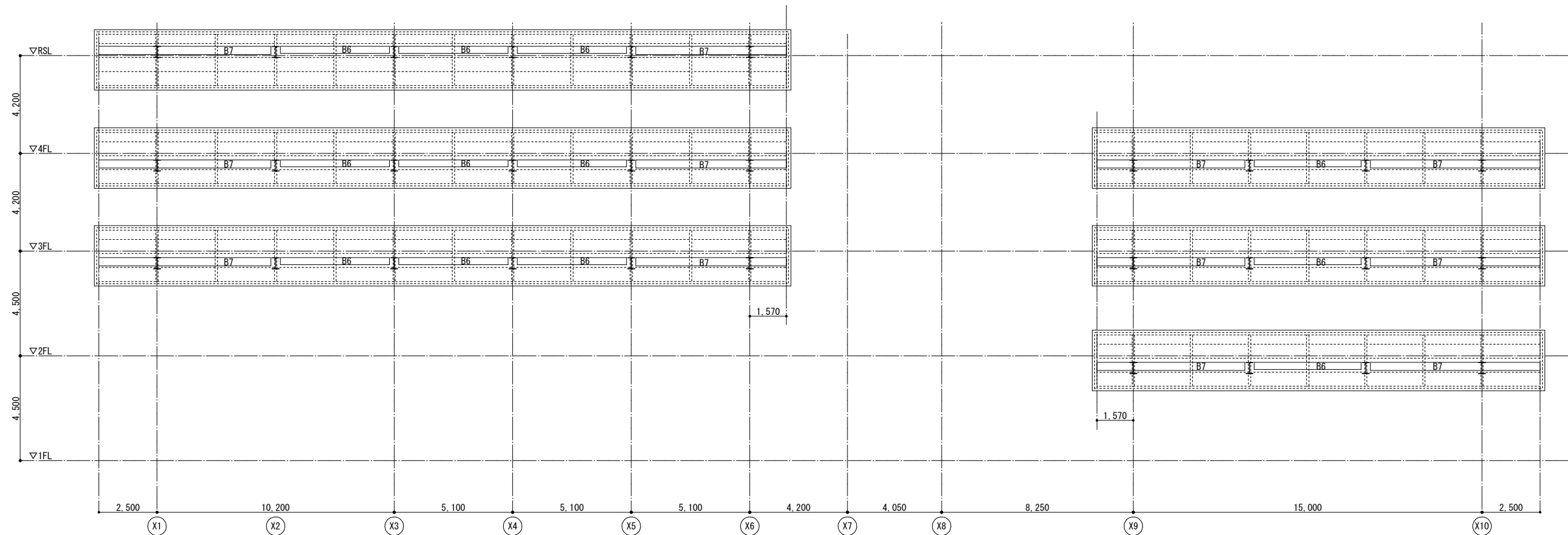
3階天井受け材伏図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

- ⊙ — 3階梁下部からの吊り材 (T1:H-150x150x7x10) 位置を示す。
- — ハ形ブレス材 (vBr1:H-125x125x6.5x9) 位置を示す。
- B26 — H-200x100x5.5x8
- B27 — H-250x125x6x9

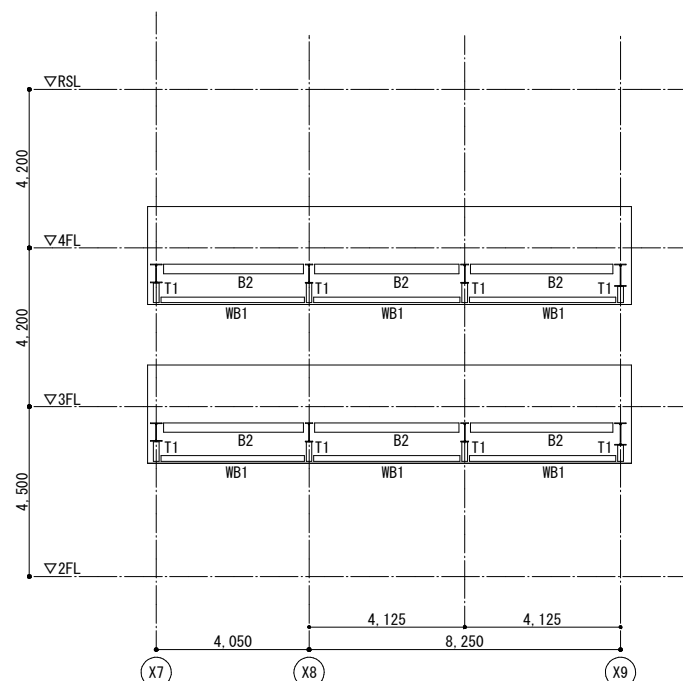


R階天井受け材伏図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

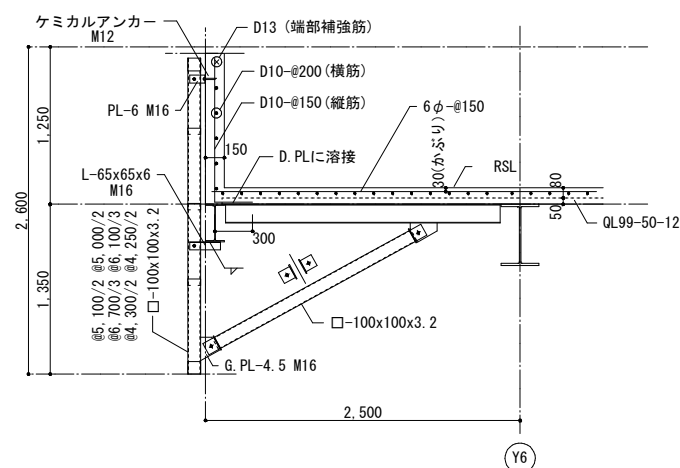
- ⊙ — 屋根梁下部からの吊り材 (T1:H-150x150x7x10) 位置を示す。
- — ハ形ブレス材 (vBr1:H-125x125x6.5x9) 位置を示す。
- B25 B26 — H-200x100x5.5x8



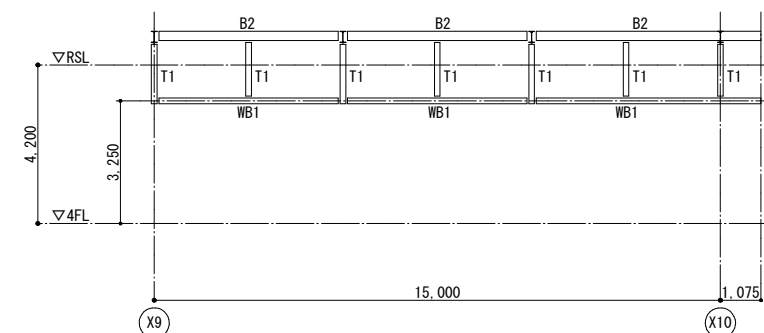
Y1-2.500 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



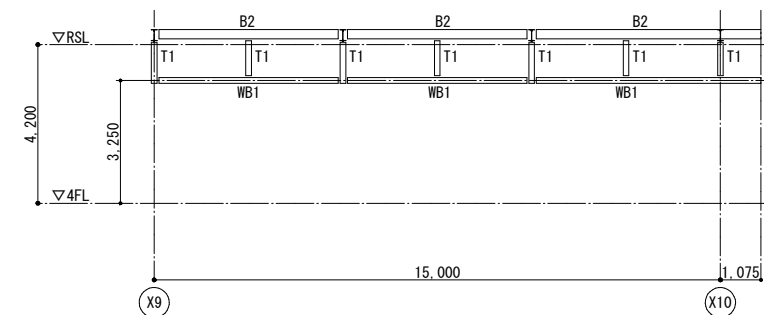
Y6+1.750 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



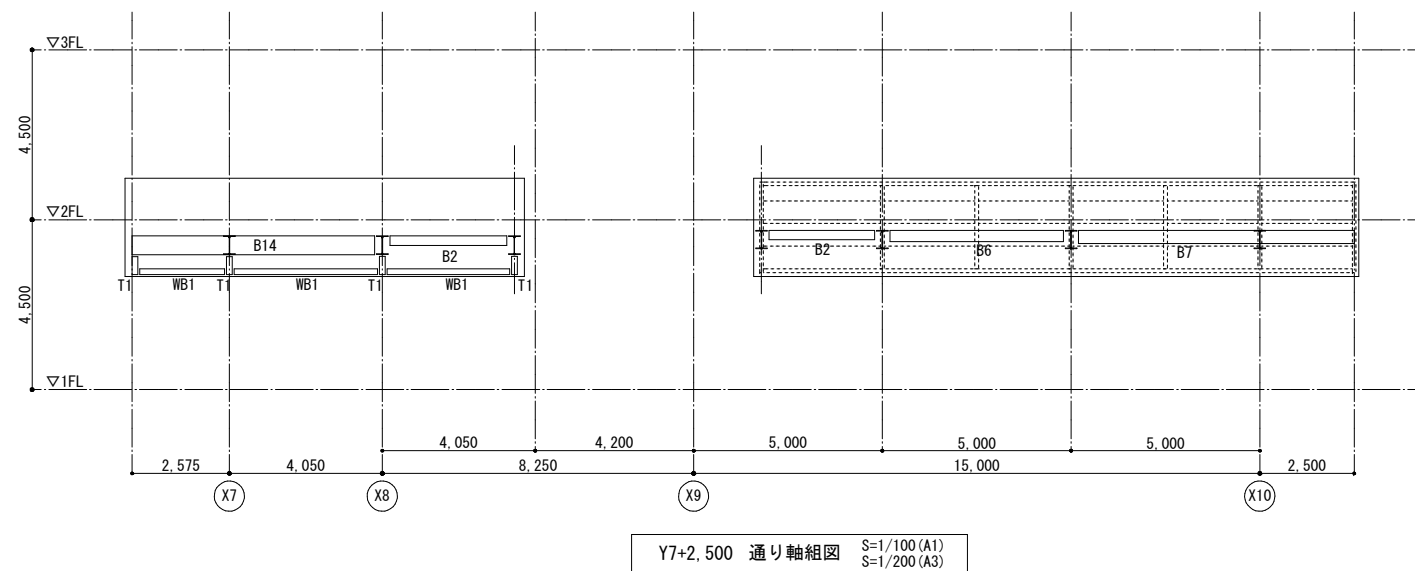
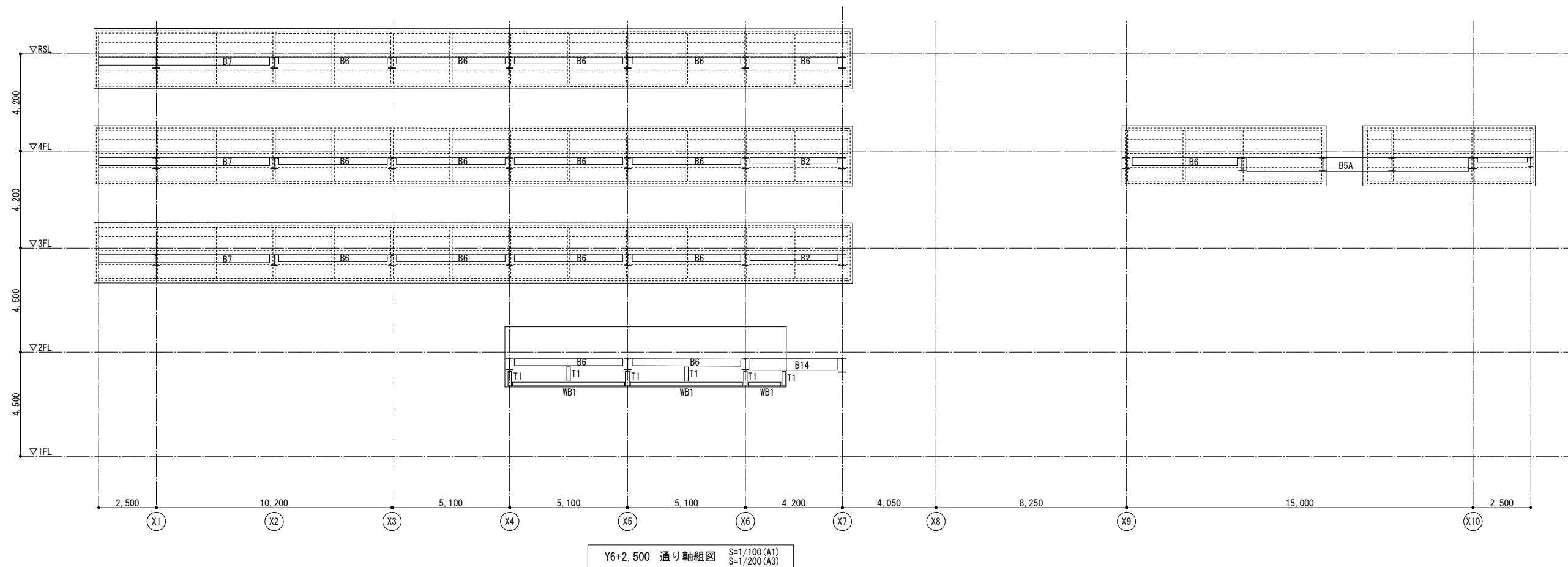
特記
耐風梁 WB1 (横使い: 150x150x7x10) の吊り材 T1 (H-150x150x7x10) 途中に
水平 (斜め) 材 H1 (150x150x7x10) を配置してWB1の移動を止めること

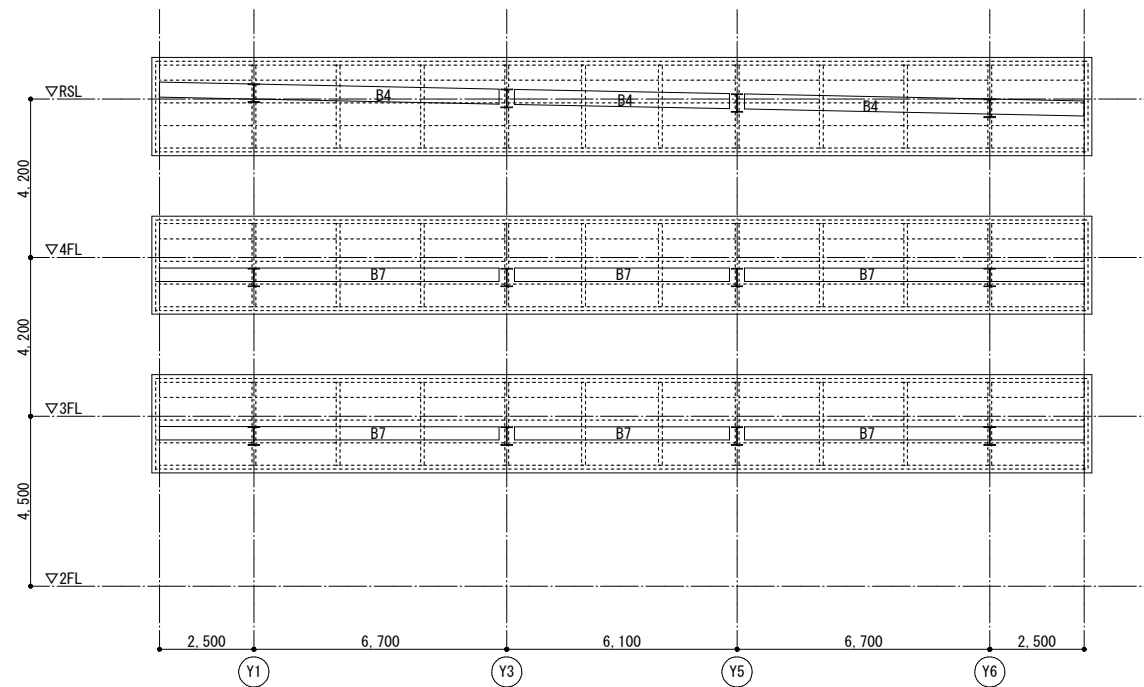


Y1-675 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

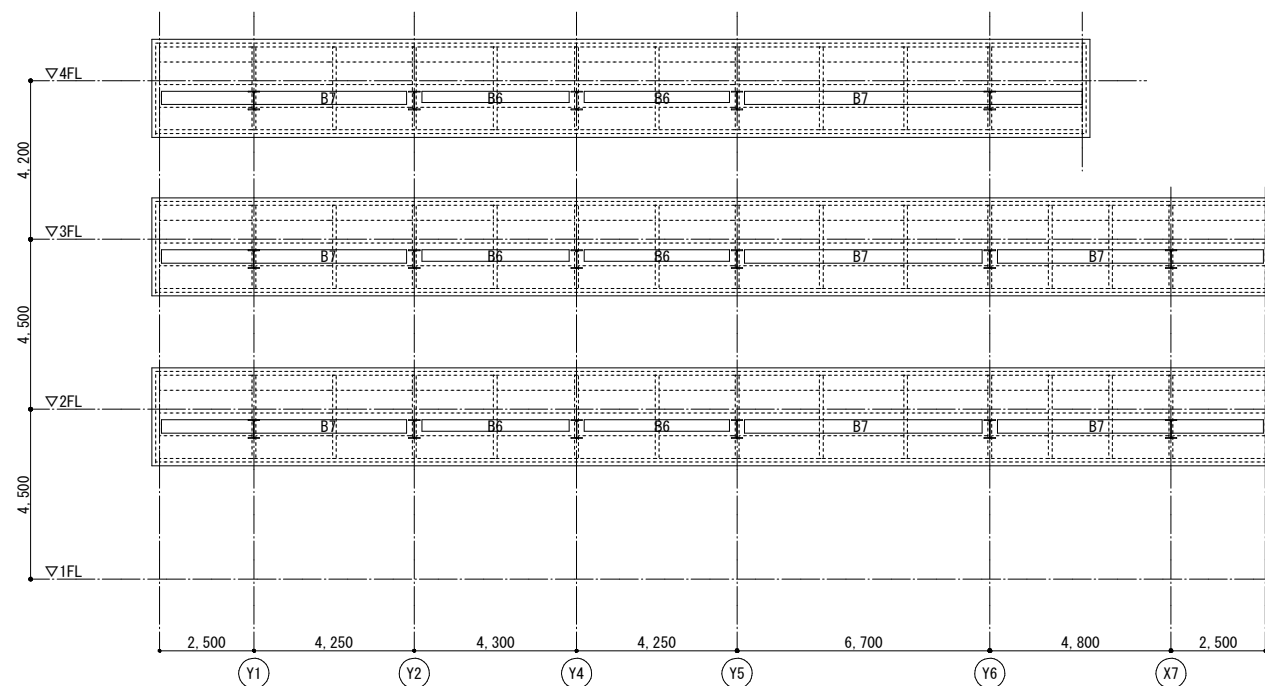


Y6+675 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

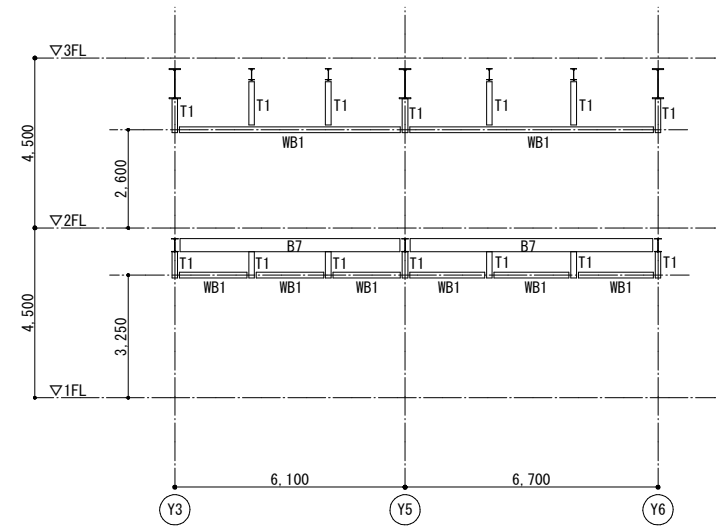




X1-2,500 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

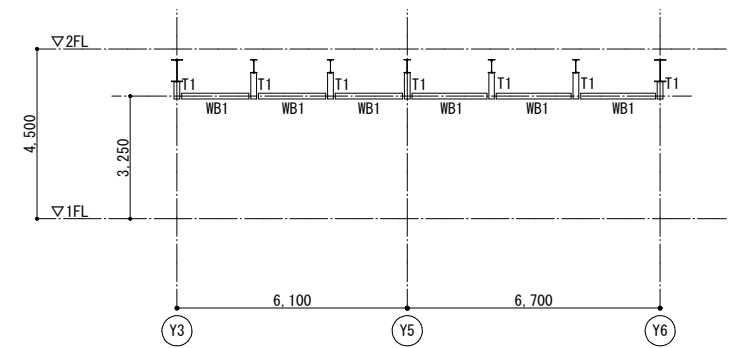


X10+2,500 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

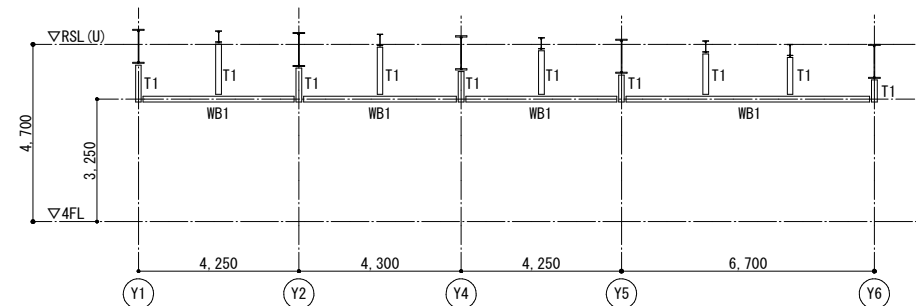


X3-1,035 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

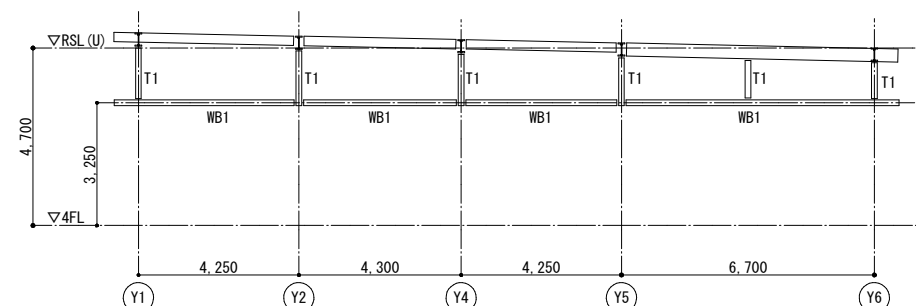
特記
耐風梁 WB1 (横使い: 150x150x7x10) の吊り材 T1 (H-150x150x7x10) 途中に
水平 (斜め) 材 H1 (150x150x7x10) を配置して WB1 の移動を止めること



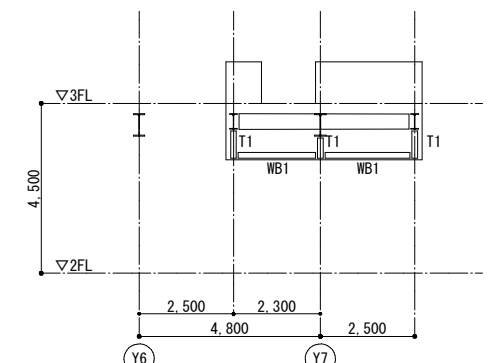
X3+3,175 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



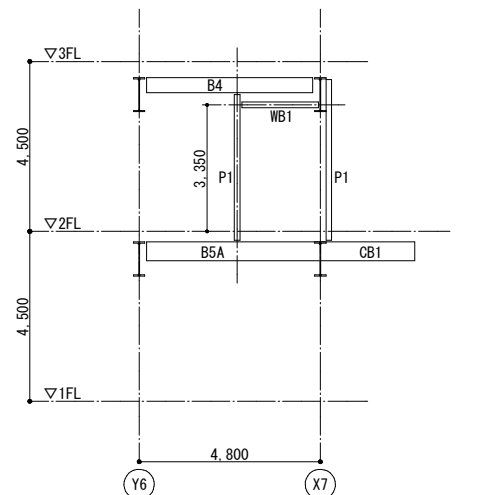
X10-1,500 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



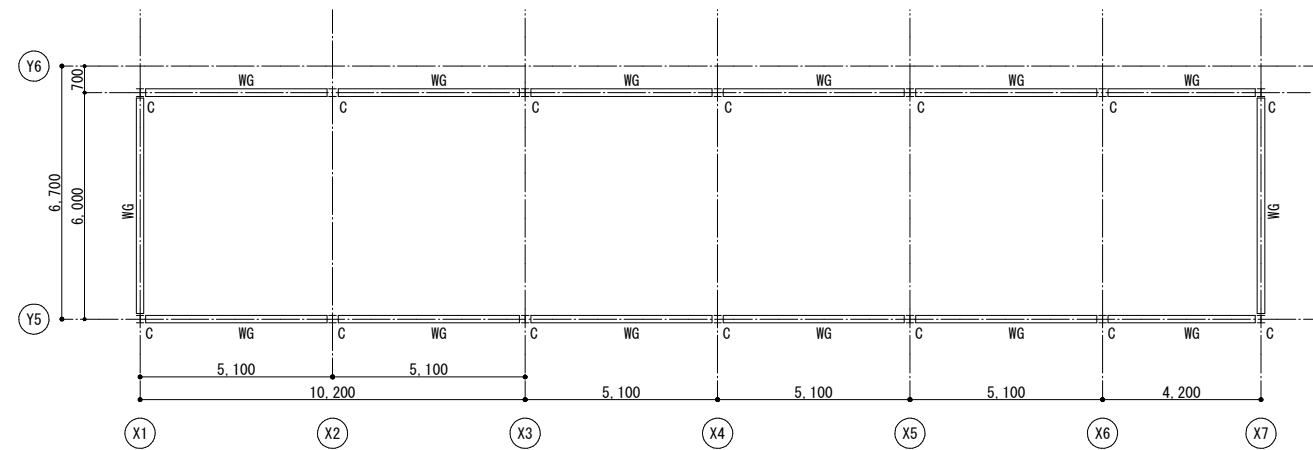
X10+1,075 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



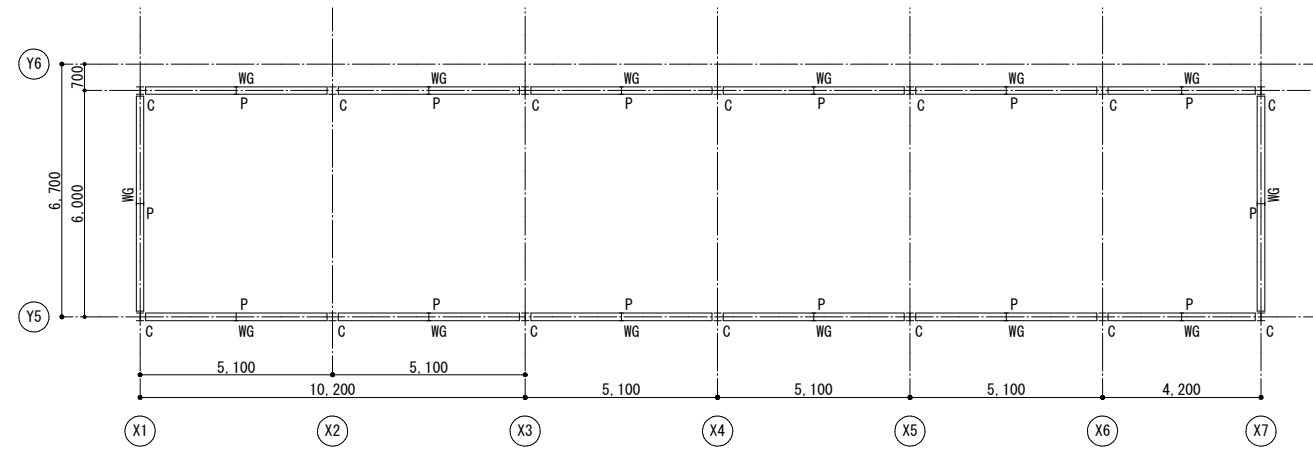
X7-2,575 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



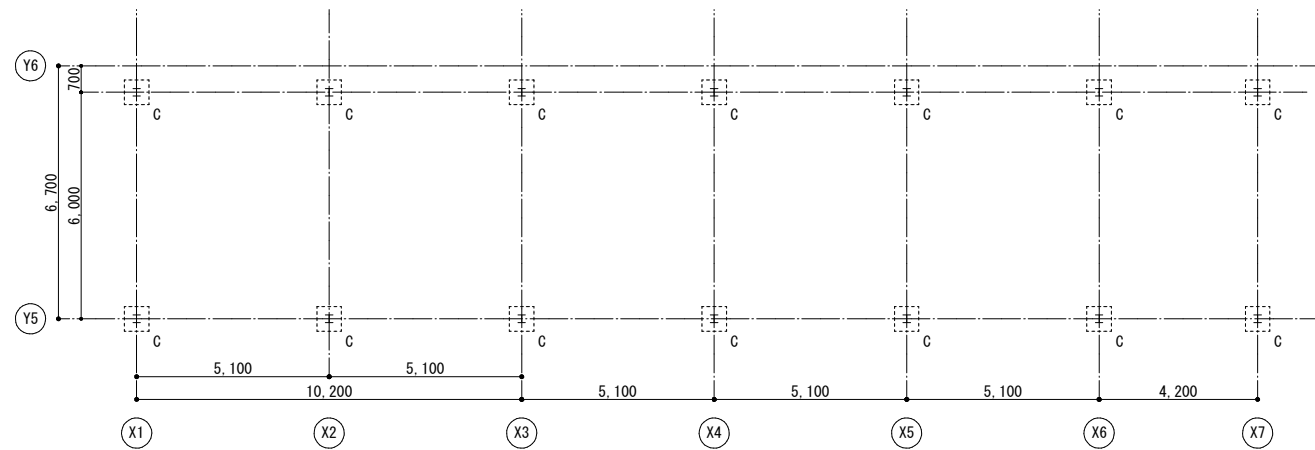
X9+5,000 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



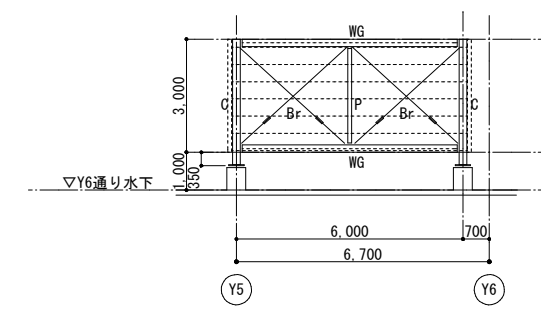
柱頭梁伏図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



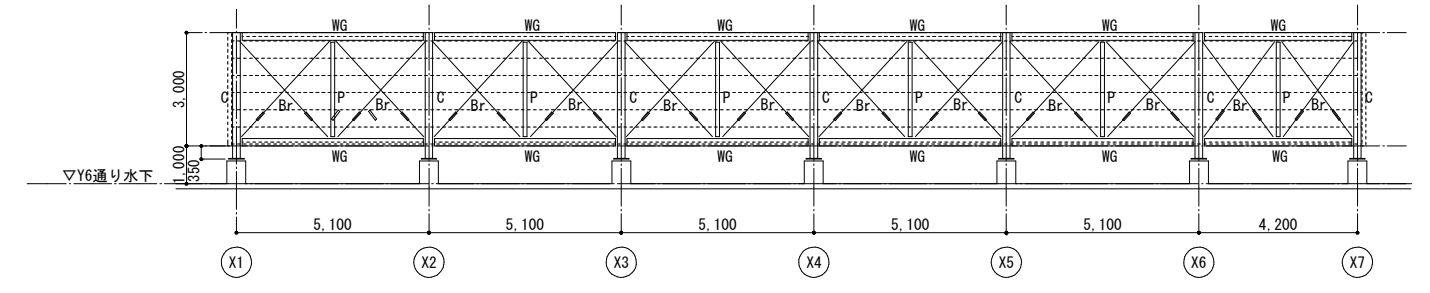
柱脚梁伏図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



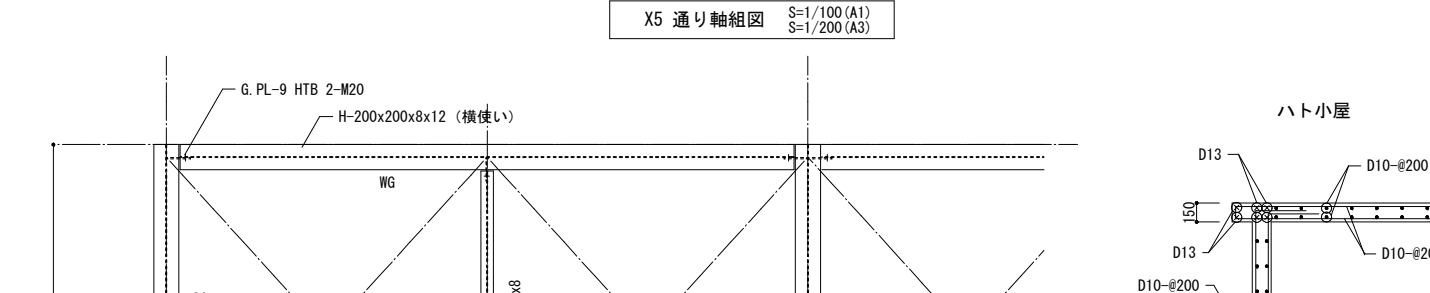
基礎伏図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



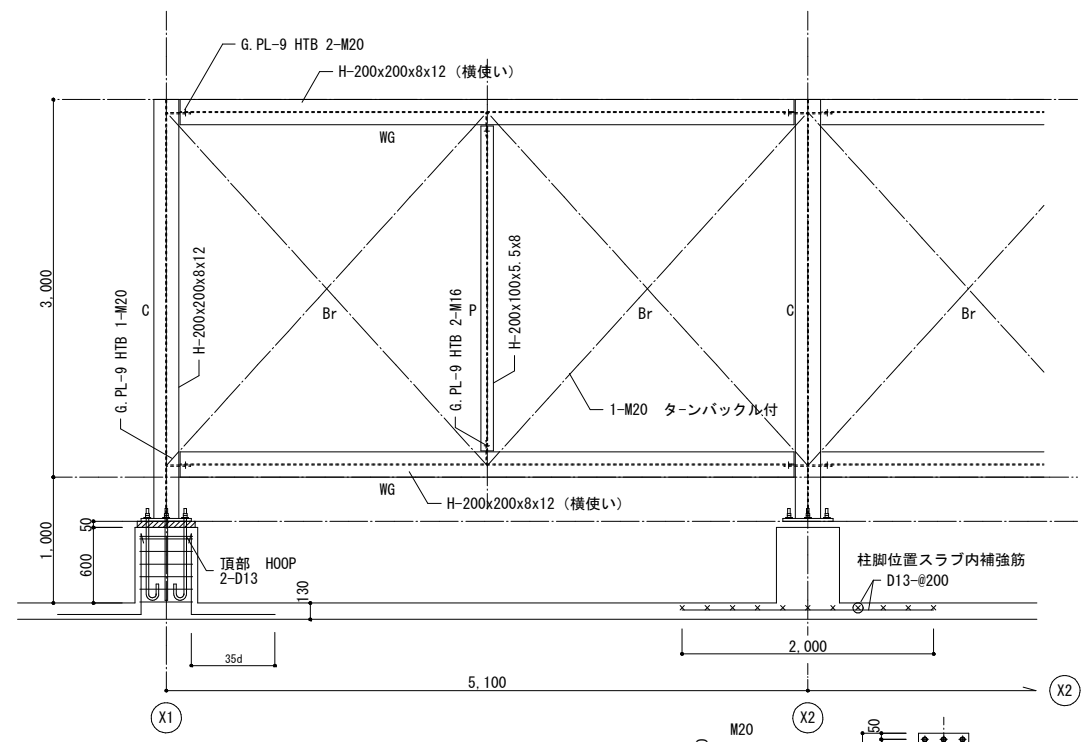
X1, X7 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



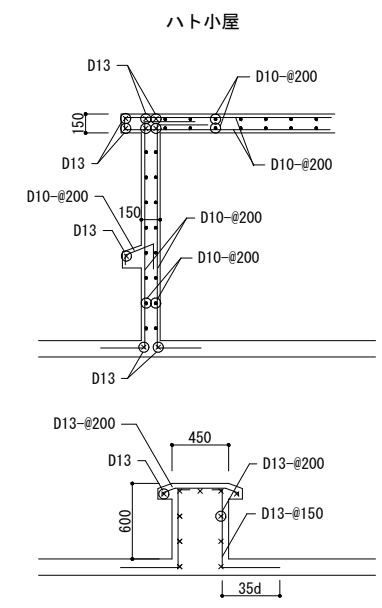
X6-700 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



X5 通り軸組図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



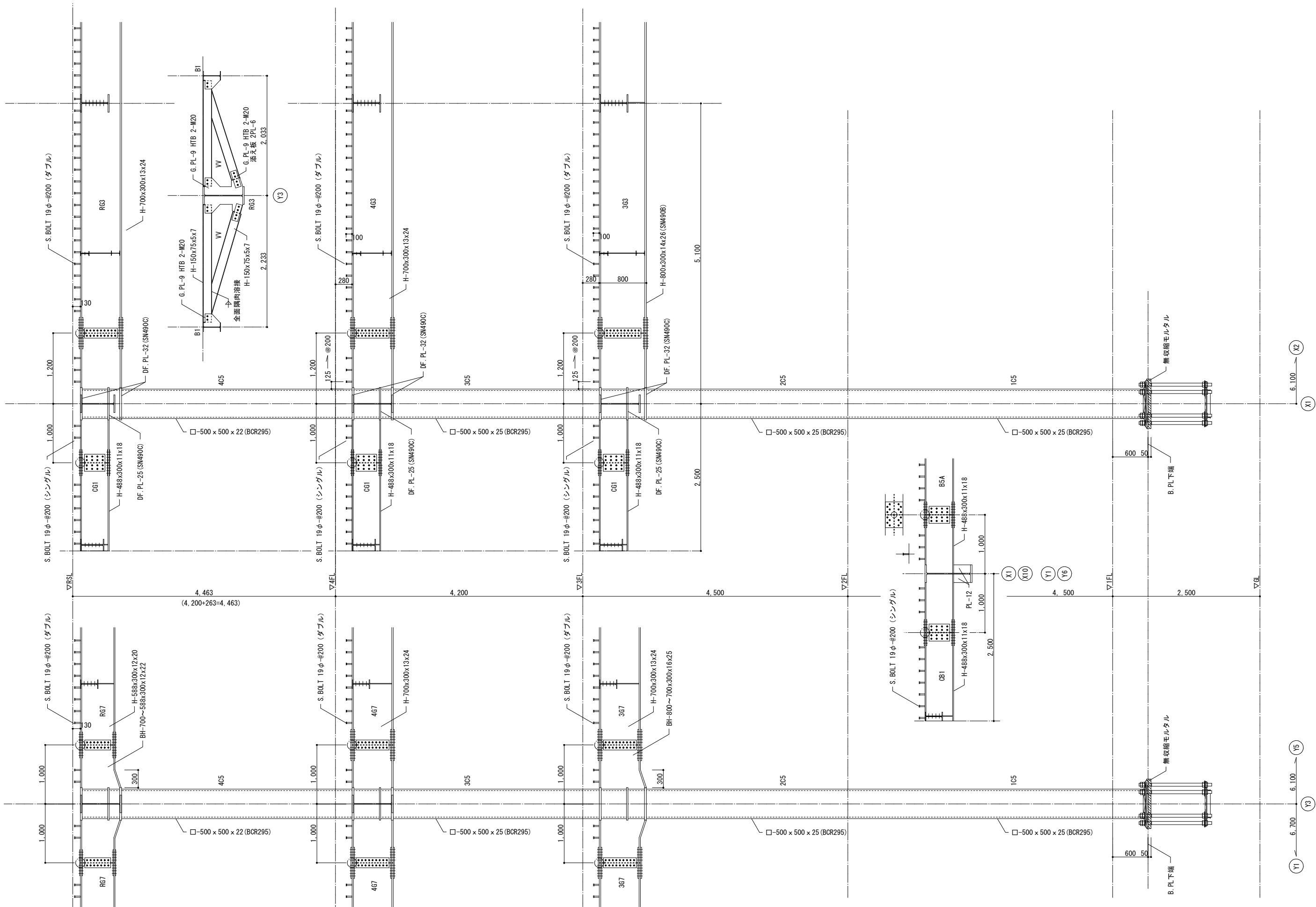
鉄骨詳細図 S=1/30 (A1)
S=1/60 (A3)



設備基礎等配筋図 S=1/30 (A1)
S=1/60 (A3)

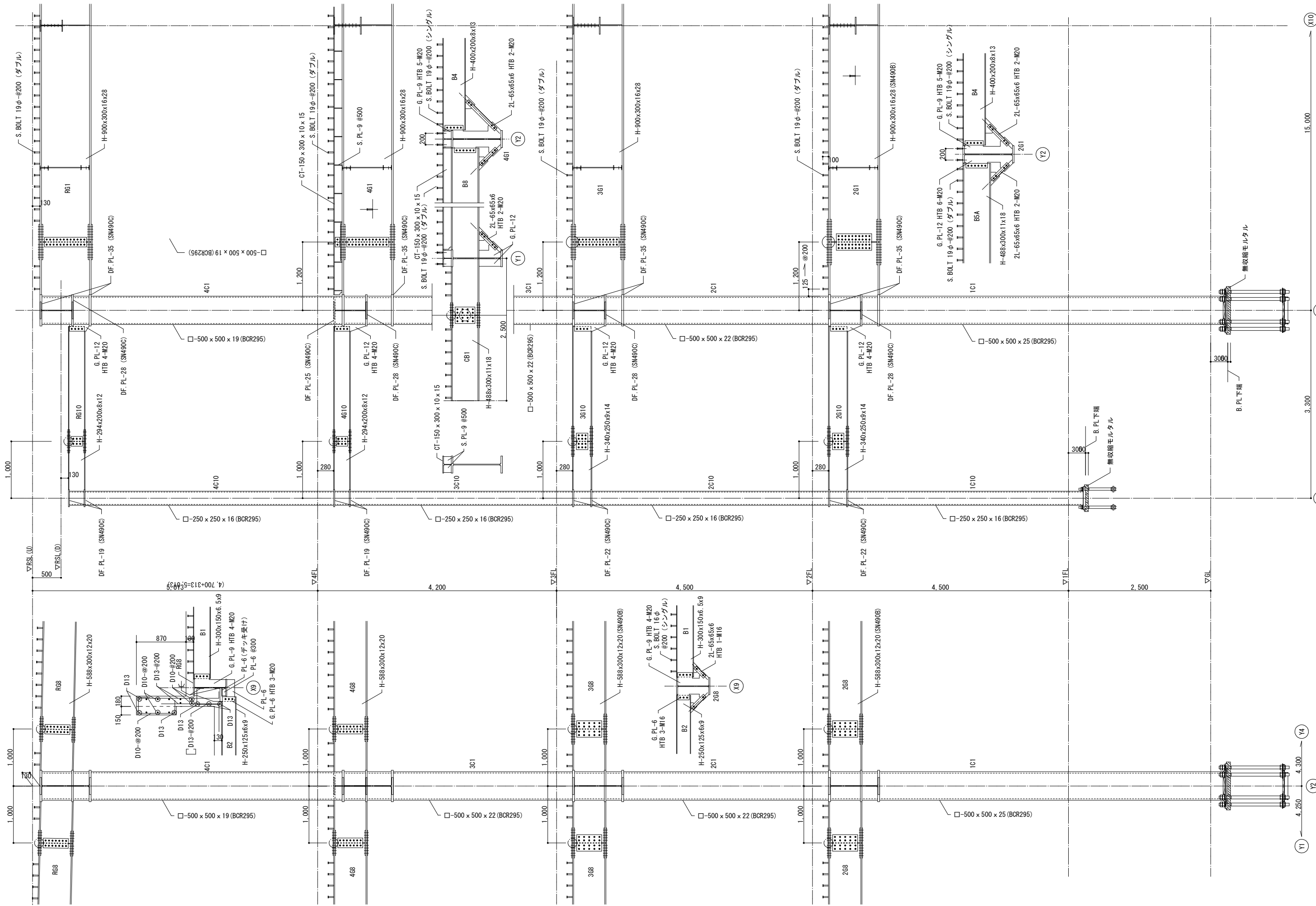
鉄骨部材は全て溶融亜鉛メッキとする。

鉄骨部材リスト		材種 SS400 SSC400 HTB F8T	
WG	H-200x200x8x12	G. PL-9 HTB 2-M20	
C	H-200x200x8x12	B. PL-22x400x400 A. BOLT 6-M20	
P	H-200x100x5.5x8	G. PL-9 HTB 2-M16	
ヨコ胴縁	C-100x50x20x2.3 @455	コーナ-部 □-100x100x2.3	
Br	1-M20 ターンバックル付	G. PL-9 HTB 1-M20	



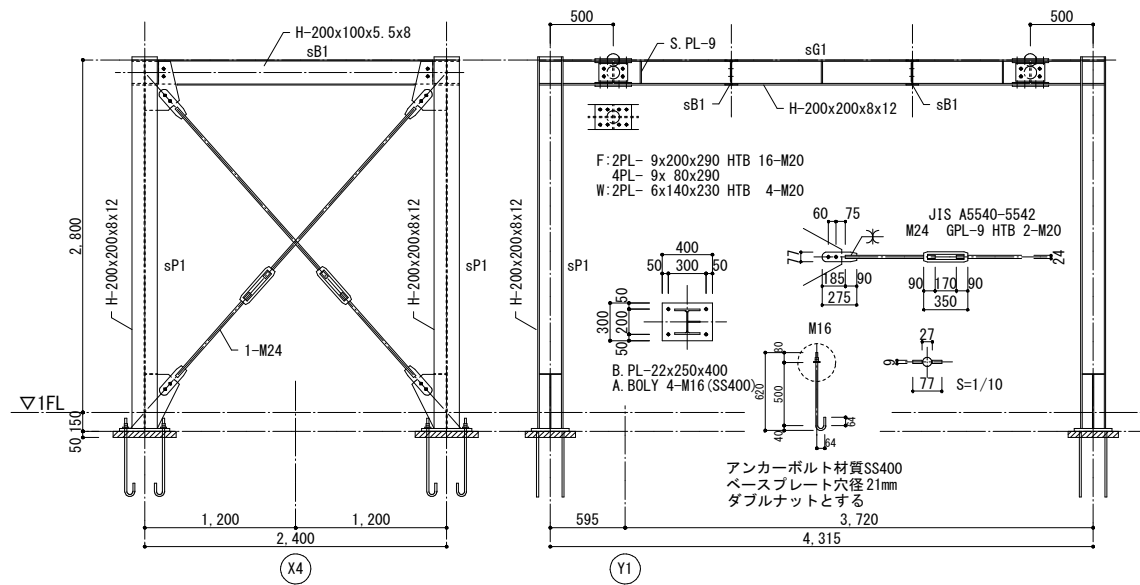
Y3 通り鉄骨詳細図 S-1/30(A1) S-1/60(A3)

X1 通り鉄骨詳細図 S-1/30(A1) S-1/60(A3)

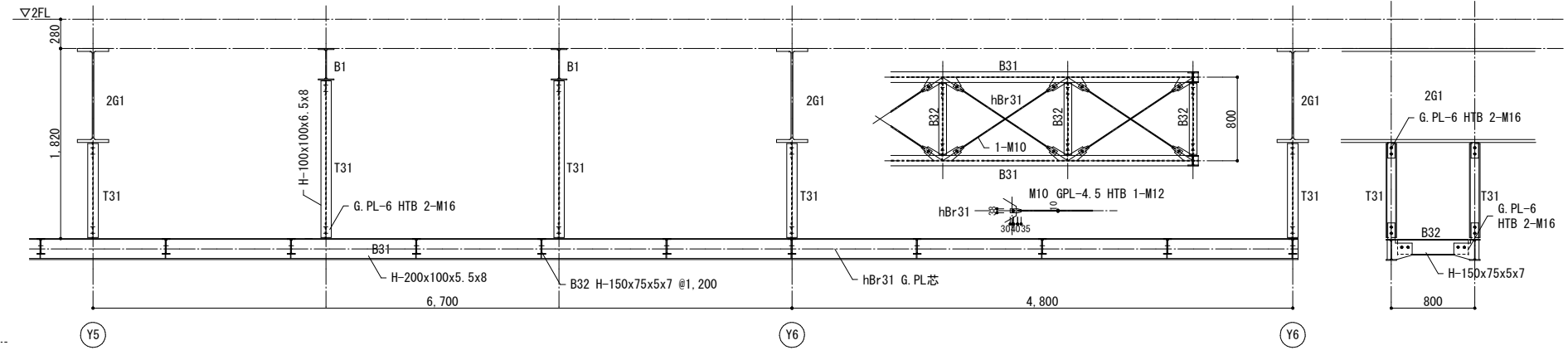


Y2 通り鉄骨詳細図 S=1/30(A1) S=1/60(A3)

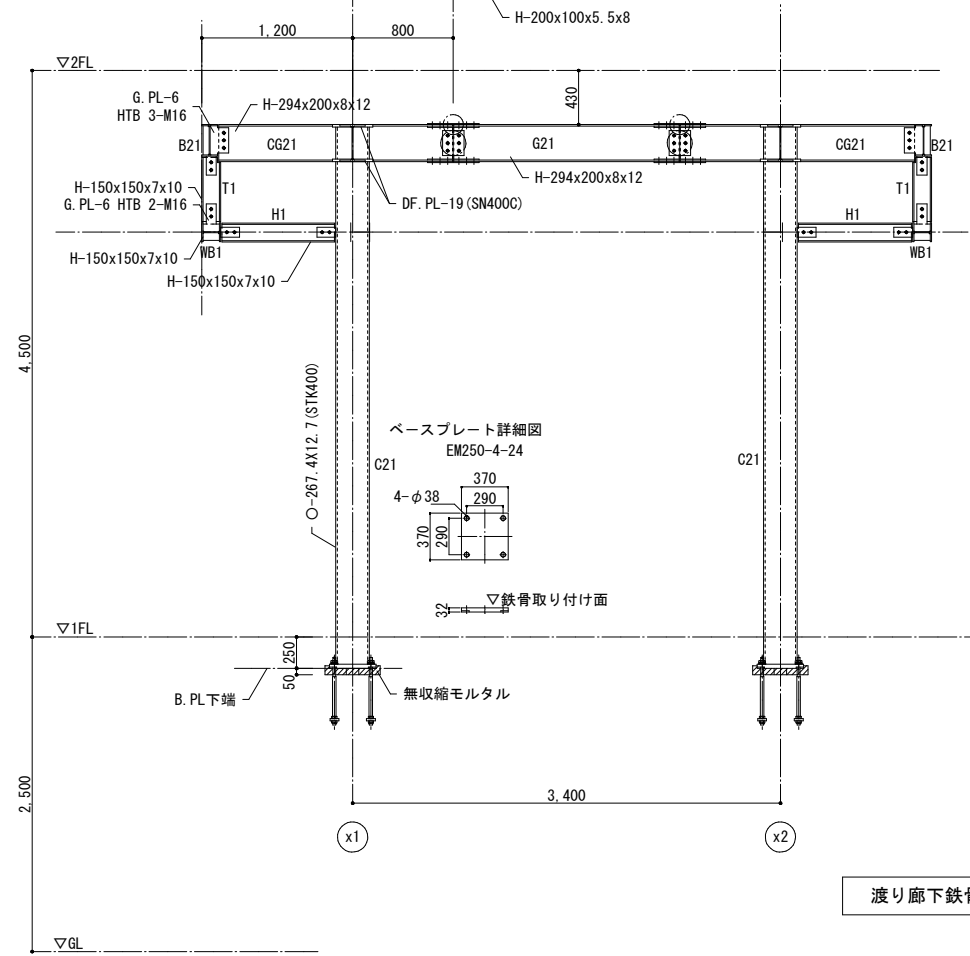
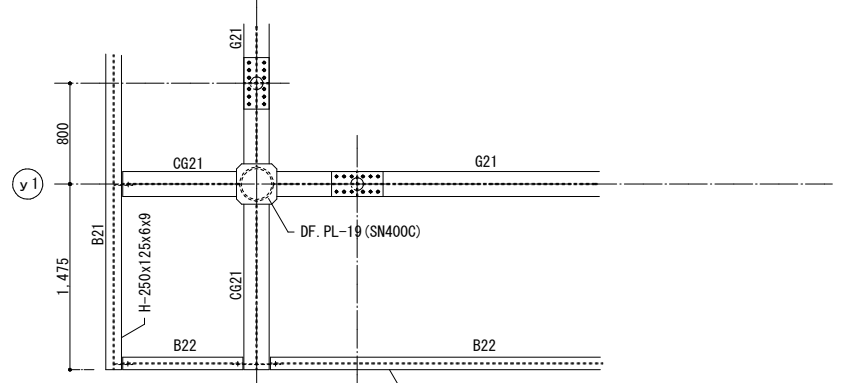
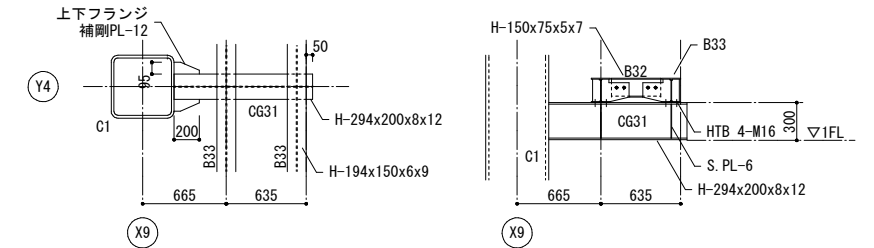
X9 通り鉄骨詳細図 S=1/30(A1) S=1/60(A3)



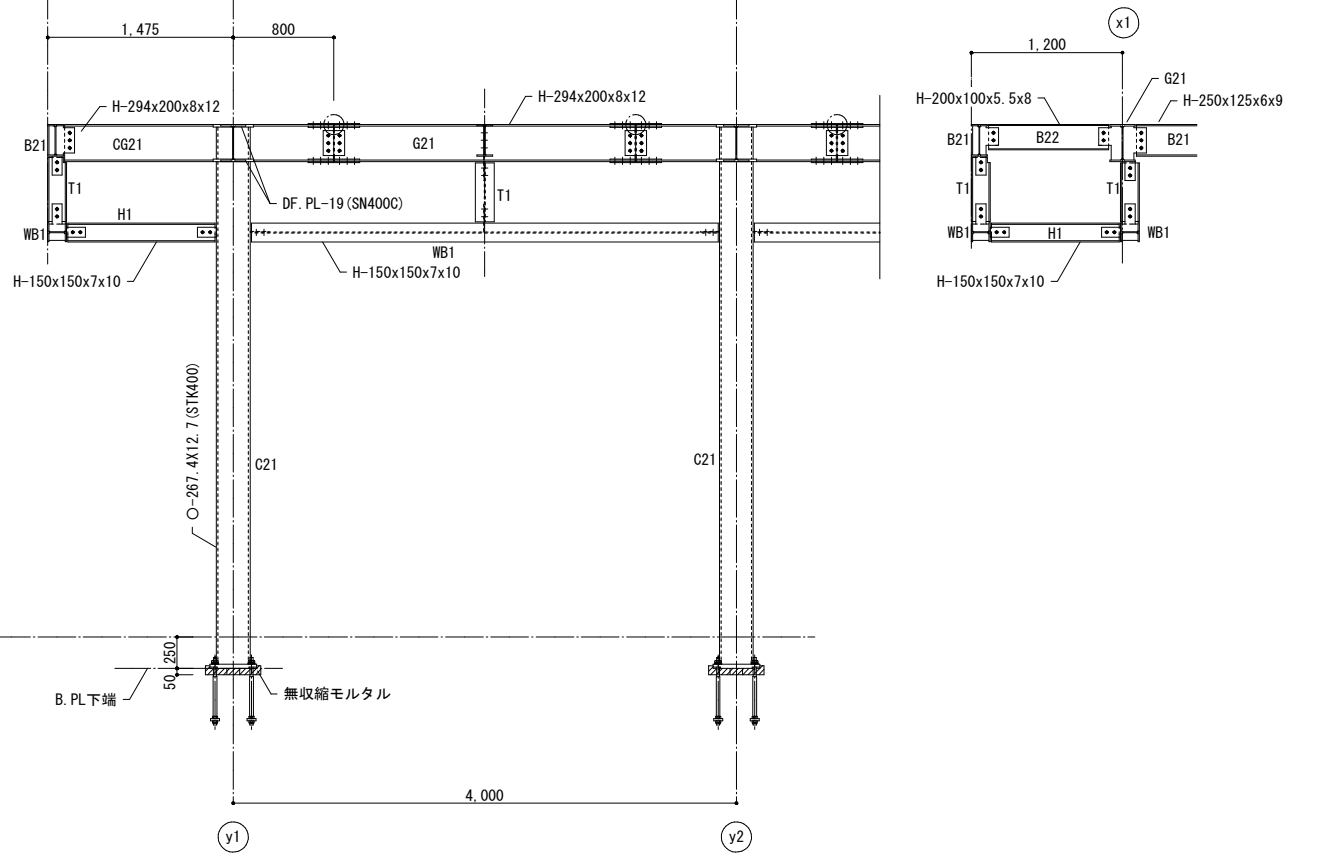
風除室鉄骨詳細図 S=1/30 (A1) S=1/60 (A3)

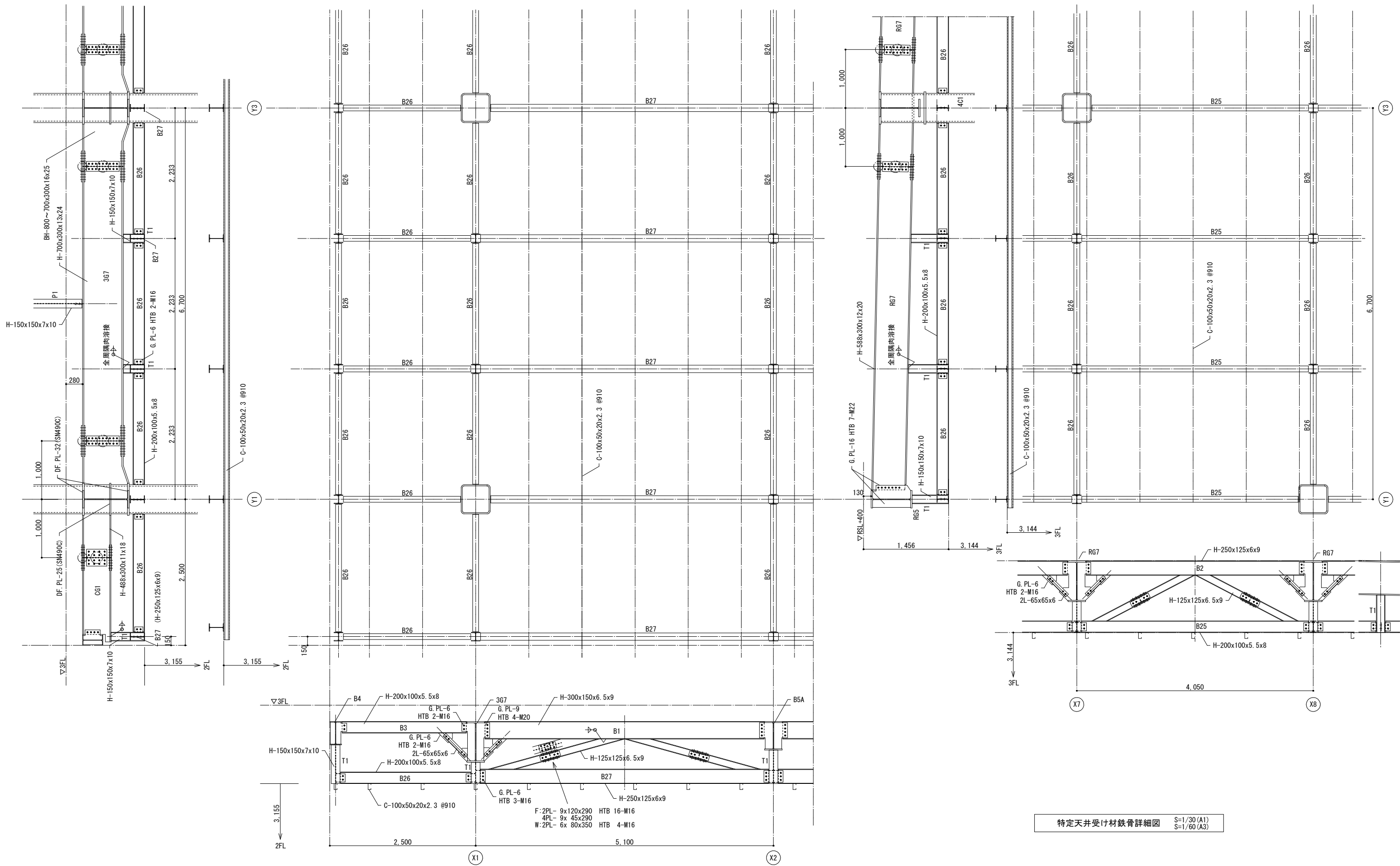


キャットウォーク鉄骨詳細図 S=1/30 (A1) S=1/60 (A3)



渡り廊下鉄骨詳細図 S=1/30 (A1) S=1/60 (A3)





特定天井受け材鉄骨詳細図 S=1/30(A1)
S=1/60(A3)